取扱説明書

FOMA® N900iG '05.1

海外でのネットワークの切り替えについて

➜『FOMA N900iG取扱説明書』P.544

FOMA N900iGでは、「Menu」－「各種設定」－「ネットワーク設定」－「ネットワーク切替」を「自動」に設定していると、適切なネットワークの検索と接続が自動的に行われますが、利用している場所の電波や海外ネットワークの状況によっては、ネットワークが切り替わりにくい場合があります。

なお、ネットワークの検索は3Gネットワークを優先して行われるため、ご利用になる地域が3Gネットワークに対応していないことがあらかじめわかっている場合は、「ネットワーク切替」を「GSM」に設定しておくことをおすすめします。

● お買い上げ時は「ネットワーク切替」が「自動」に設定されています。

● 3Gネットワークを利用できる地域については、WORLD WINGのホームページをご覧ください。

ドコモ
W-CDMA方式

このたびは、「FOMA N900iG」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA N900iGは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMAは無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はTLS／SSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるTLS／SSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しTLS／SSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.

取扱説明書(本書)のご使用にあたって

●目次から引く
まず「目次」(P.2)を見てみましょう。操作説明などのヒントとなる項目が記載されていますので、ここを読んでいくと知りたい情報のページを見つけることができます。

●索引から引く
知りたい項目のキーワードが分かっている場合は、「索引」(P.594)からすばやく目的のページを探すことができます。

●インデックスから引く
カテゴリーごとに検索する場合は、表紙のインデックスから探すことができます。扉には詳細なページ数を記載しています。

●特徴から引く
特徴があらかじめ分かっている場合は「FOMA N900iGの特徴」(P.4、P.5)から、機能名があらかじめ分かっている場合は、「メニュー一覧」(P.554)から探すことができます。

●クイックマニュアルを利用する
FOMA端末の基本的な操作や画面表示について巻末にクイックマニュアルを記載しています。本書から切り離し、折り曲げたりして利用できます。

●この『**FOMA N900iG取扱説明書**』の本文中においては、『**FOMA N900iG**』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
●本書の中ではminiSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードについて→P.376

●本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

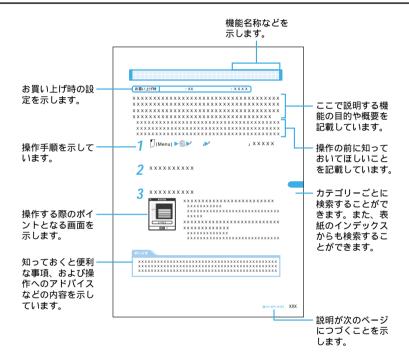
本書の見かた

本書の記載について（クイックマニュアル→P.602）

本書では次のような記載をしています。
それぞれの記載の意味を十分に理解され、本書をより有効にご活用ください。

本書ではメニュー機能からの操作手順などは「(Menu)▶各種設定▶「着信」▶「着信音量」の順に選ぶ」というように説明しています。実際の操作方法については「メニューの選択方法」内の「メニュー操作の表記について」（P.44）を参照してください。

海外で利用するときに役に立つ情報や注意事項などは「海外利用」（P.529）の章にまとめて記載しています。

海外で利用するときには「海外利用」の章をご活用ください。→P.529

ディスプレイの表示について

- 本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」（P.140）にした状態で記載しています。また、操作説明の画面は説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
- 本書は、主にお買い上げのときの設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

クイックマニュアルでは、基本的な操作や表示について記載しています。また、海外利用時に便利なクイックマニュアルも記載しております。

目　次

FOMA N900iGの特徴

FOMAとは、第3世代移動通信システム(IMT-2000)の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードに対応、メールサービスも充実

● **受信最大384kbpsのパケット通信対応により、サイト(番組)接続サービスやインターネット接続、iアプリやiモーションが快適にご利用いただけます。また、お申し込み不要なSMS(無料)とインターネット経由でe-mailとしてもご利用いただけるiモードメールに対応しています。**

●iモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。

・iモード(有料)→P.198
・iモードメール→P.242
・iモーション　→P.332
・iモーションメール→P.260
・iアプリ　→P.310

国際ローミングサービス

➔P.530

● **海外で音声電話、テレビ電話、iモード、iモードメール、SMS、パソコンなどと接続して行うパケット通信※が利用できます。また、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの便利なネットワークサービスも利用できます。**

●国内で使用している電話番号で国際ローミングを利用できます。

●お買い上げのときの設定では、利用可能なネットワークや通信事業者が自動的に識別されるので、滞在先の国や場所を気にせず通信サービスを利用できます。

※：2004年12月現在、海外ではパソコンなどと接続して行うパケット通信をご利用できません。最新の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。

最大384kbpsのパケット通信に対応

➔P.460

● **FOMA端末にパソコンなどの外部機器を接続して、受信最大384kbpsの快適なパケット通信が可能です。**

●パケット通信を行うには、パソコンなどの外部機器が必要になります。

マルチアクセス、マルチタスク機能でより便利に

➔P.404、P.407

● **音声通話とパケット通信を同時に利用できるマルチアクセスによって、iモード中に通話をしたり、通話中にメールの送受信を行ったりすることができます。また、複数のアプリケーションを同時に使用できるマルチタスク機能も搭載しています。**

●iモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。

●マルチアクセスとは別にSMSも同時に使用できます。

FOMAカードに対応

➔P.46

● FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数の端末を使い分けることができます。

あんしん設定

➔P.151

● **FOMA端末の不正な使用を防止でき、お客様の大切なデータを守ることができます。また、状況に応じて携帯電話の操作や機能を制限したり、迷惑電話などを防止することもできるので、快適に安心してFOMA端末を使うことができます。**

・端末暗証番号
・オールロック
・PIMロック
・サイドボタン操作
・シークレットモード／シークレット専用モード
・電話帳指定設定
・呼出時間表示設定
・PINコード(PIN1コード、PIN2コード)
・セルフモード
・ダイヤル発信制限
・履歴表示設定
・セキュリティ設定
・非通知着信設定
・登録外着信拒否

豊富なネットワークサービス

➔P.445

・留守番電話サービス
・キャッチホン
・転送でんわサービス
・迷惑電話ストップサービス
・番号通知お願いサービス
・デュアルネットワークサービス
・英語ガイダンス

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

テレビ電話

➜P.87

- テレビ電話に対応している端末どうしで、相手の顔を見ながら通話できます。ハンズフリーに切り替えると相手の音声をスピーカから再生させることができます。自画像をキャラ電に切り替えて操作すると、さまざまなアクションを使っての通話も楽しめます。
- 外出先から室内のペットの様子を確認したり、工場現場や操業状況の管理などを離れた場所から確認したりなど、カメラ機能を利用した遠隔監視にも対応しています。本FOMA端末は、遠隔監視の発信側／着信側の両方に使用できます。

カメラ機能

➜P.169

- 内側と外側の2つのカメラで写真(静止画)、連続写真、動画を撮影できます。記録画素数123万画素(有効画素数124万画素)の外側カメラで1280×960ドットの大画像も撮影可能です。
- 大切な場面を逃さずに撮影できるように、撮影を終了した時点からさかのぼって動画を記録する「チャンスキャプチャ」機能や、撮影した写真(静止画)に音声を追加する「ピクチャボイス」機能を搭載しています。これらの機能で撮影した動画は、iモードメールに添付して送信することができます。

ピクチャボイス

➜P.179

撮影した写真(静止画)に、音声を追加することができます。本機能で音声を追加した写真は「iモーション」を使って再生したり、iモーションメールとして手軽に送受信できます。

スピードフォトメール

➜P.263

音声通話中に撮影した写真(静止画)を通話中の相手に簡単な操作で送信できます。本機能では、その場で撮影した写真(静止画)だけでなく、FOMA端末に保存されている写真(静止画)を送信することもできます。

デコメール

➜P.254

- 本文の文字の色を変えたり、テロップ、点滅などの装飾をしたメール(デコメール)を作成し、送信できます。また、デコメールを受信することもでき、表現豊かなメールを楽しむことができます。
- あらかじめ登録されているテンプレート(デコメール用の雛形)を利用して、簡単にバースデーカードなどのデコメールを作成できます。

iアプリDX

➜P.310

iモード対応携帯電話の情報と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かお知らせするなど、iアプリをより便利に楽しく利用できます。

miniSDメモリーカード

➜P.376

- 電話帳やスケジュール、メール、画像などのデータをFOMA端末とminiSDメモリーカードとの間でやりとりできます。miniSDメモリーカードに保存されているデータの表示や削除、パソコンと接続してのminiSDリーダライタ機能の使用も可能です。
- カメラ機能の長時間ムービーモードを使用すると、撮影した動画を直接miniSDメモリーカードに保存することができ、最長1時間の動画撮影を行うことができます。

Flash画像対応

➜P.207

表現力がより豊かなFlash画像を使用したサイトを表示できます。また、Flash画像を待受画面に設定することもできます。

バーコードリーダー

➜P.193

カメラ機能を利用してJANコードおよびQRコードを読み取り、読み取った情報によって電話帳登録、iモードメール作成などができます。また、読み取った情報が画像やメロディの場合はそれらの表示や再生、保存ができます。

辞典

➜P.434

英和辞典、和英辞典、国語辞典の3種類の辞典を利用することができます。使いかたも簡単で、メールを入力しながら言葉を調べるといったこともできます。

着信音・着モーション

➜P.124

- FM※1＋WaveTable※2音源を採用した50和音の着信音や声(効果音)などの着信音にも対応しています。
  - ※1：発振回路が作り出す音を合成して、さまざまな音色を表現しています。
  - ※2：デジタル録音した人の声・動物の鳴き声なども、音程を変化させメロディに利用でき、さまざまな音色を表現しています。
- 着モーションにも対応しています。臨場感豊かなサウンドで楽しめます。

FOMA N900iGを使いこなす！

海外で通話やiモードなどを利用できます「国際ローミング」

●海外からでも国内同様に簡単な操作でグローバル・コミュニケーション→P.530

いつもの携帯電話で、いつもの電話番号がそのまま使えます。
音声電話、テレビ電話、iモード、SMS 、パケット通信※や便利なネットワークサービスを利用できます。

※:2004年12月現在、海外では、パソコンなどと接続して行うパケット通信をご利用できません。最新の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。

●自動的に適切なネットワーク／通信事業者に接続→P.531

海外で滞在先を移動したときなど、利用していた通信事業者が圏外になってしまった場合でも、自動的に適切なネットワークや通信事業者を検索して接続し直します。

海外からでも国内で使っている電話帳でそのまま発信できる「ダイヤリングアシスト」

●簡単な操作で国際電話をかけるための機能（自動付加設定）を搭載→P.539

海外で日本に電話をかける場合、電話帳を使っていつもの電話番号に電話をかければ、自動的に日本への国際電話となります。

海外で役に立つその他の機能「リモート時計」／「辞典」

●滞在先の時刻を表示できます（リモート時計）

滞在先の都市を選んで表示設定を行うと、滞在先の時刻と日本の時刻を待受画面に表示できます。サマータイムも設定できます。
リモート時計の設定→P.57

●わからない単語の意味を調べられます（辞典）

英和辞典、和英辞典、国語辞典の3種類を利用できます。
辞典の利用→P.434

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

相手の顔を見ながら会話することができます「テレビ電話」

●テレビ電話で相手の顔を見ながら、リアルタイムコミュニケーション→P.88

相手の音声をスピーカから流して、顔を見ながら会話することができます。
内側カメラと外側カメラを切り替えて、相手側に風景などを見せることもできます。

自画像の代わりにキャラクタを表示させて、口や手足を動かすこともできます。

デジタルカメラやデジタルビデオのように使いこなせます「カメラ」

●写真（静止画）や動画を撮影→P.170

「フォトモード」、「メガピクセルフォト」で撮影して写真（静止画）を保存。メールに添付したり、待受画面や着信画面に設定したり、フレームや文字スタンプなどを付けてアレンジできます。

待受画面に設定

着信画面に設定

画像をアレンジ

「連写モード」で撮影して連続画像を保存。アニメーションのように表示したり、その中のお気に入りを選んで保存できます。

連続写真を表示

お気に入りを保存して利用

「ムービーモード」、「チャンスキャプチャ」、「長時間ムービー」で撮影して動画を保存。「チャンスキャプチャ」は大切な場面をのがさずに撮影できるモードです。「長時間ムービー」はminiSDメモリーカードの容量いっぱいまで撮影できます。撮影した動画は、着信音に設定したり、メールに添付したり、静止画として切り出したり、テロップを編集したりすることができます。

動画を再生

切り出して利用

テロップ表示

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	説明
禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）の取扱いについて（共通）

⚠危険

指示

FOMA端末に使用する電池パック、アダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック N07　卓上ホルダ N05　FOMA海外兼用ACアダプタ 01
FOMA ACアダプタ 01　FOMA DCアダプタ 01　データ通信アダプタ N01

その他互換性のある商品については当社窓口までお問い合わせください。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

1.FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）の取扱いについて（共通）（つづき）

⚠注意

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

2.FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用になるかドライブモードをご利用ください。
道路交通法の改正により、2004年11月1日から運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。
なお、歩きながら使用するときは、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります

指示

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用しますと、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

ハンズフリーを「ON」に設定してスピーカで通話する際は、FOMA端末を耳から離してください。
聴覚に影響を与えたり、耳に障害を与えることがあります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

2.FOMA端末の取扱いについて（つづき）

⚠注意

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

水濡れ禁止

FOMA端末を濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、故障、感電、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

miniSDメモリーカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

指示

miniSDメモリーカードを取り付け、取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますと、けがの原因となります。

禁止

内蔵カメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。
レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

禁止

ライトを目に近づけた状態で点灯しないでください。また、ライト点灯時は、照明部分に目を近づけて直接見ないようにしてください。
視力低下など、目に影響を与える場合があります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

ライトをカメラ撮影以外の用途に使用しないでください。
約30秒間操作しないとライトは消灯しますので、カメラ撮影以外の用途（懐中電灯など）に使用すると、急に暗くなり事故の原因となります。

⚠注意

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
右記の箇所に金属を使用しています。
※使用箇所：材質

マルチファンクションボタン、ファンクションボタン1および2、マルチボタン、メニューボタン、ニューロポインターボタン
：クロムメッキ、下地にニッケルメッキ・銅メッキ

外側カメラレンズ周囲
：アルミニウム蒸着

3.電池パックの取扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
リチウムイオン	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末や卓上ホルダに接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、直接はんだ付けしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

電池パックを濡らさないでください。
電池パックに水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

⚠警告

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、FOMA端末や卓上ホルダから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

直射日光の強いところや炎天下の車などの高温の場所で使用、放置しないでください。
漏液、発熱、性能や寿命を低下させる原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

4.アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

⚠危険

FOMA海外兼用ACアダプタ 01に使用するAC電源コードは、付属のAC電源コードを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を発熱、発火、破裂、漏液、故障させる原因となります。

⚠警告

指定の電源、電圧で使用してください。

- 誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ 01を使用してください。
  FOMA ACアダプタ 01：AC100V
  FOMA海外兼用ACアダプタ 01：AC100～240V
  （家庭用交流コンセントのみに接続すること）
  DCアダプタ：DC12V・24V
  （マイナスアース車専用）
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01に付属のAC電源コード（P.52）のプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。
使用場所、取扱いにご注意ください。

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

分解、改造をしないでください。

感電、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、ふろ場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

感電の原因となります。

プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。

⚠警告

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

禁止

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやソケットからプラグを抜いてから、行ってください。
感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

5.FOMAカードの取扱いについて

⚠警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

⚠注意

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、当社窓口までお問い合わせください。

FOMAカードを分解、改造しないでください。
データの消失､故障の原因となります。

FOMAカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

FOMAカードを火の中に入れたり､加熱したりしないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失､故障の原因となります。

FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードを濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

ICを傷つけないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードはほこりの多い場所には保管しないでください。
故障の原因となります。

FOMAカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

6.医用電気機器近くでの取扱いについて

■ 本記載の内容は『医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針』（電波環境協議会[旧不要電波問題対策協議会]）に準ずる。

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

水をかけないでください。

- FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。ふろ場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

- お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、染みになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

- 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

- 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

極端な高温、低温は避けてください。

- 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でお使いください。

使用中や充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

- 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

- 故障の原因となります。

ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。

- 故障、破損の原因となります。

通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、miniSDメモリーカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。

- ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

電池パックについてのお願い

電池パックは消耗品です。

- 使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

・ 不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、当社窓口へお持ちいただくか、電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

次のような場所では、充電しないでください。

・ 周囲の温度が5℃以下または35℃以上になるところ
・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
・ 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

・ 車のバッテリーを消耗させる原因となります。

抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

FOMAカードについてのお願い

IC部分の取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。

お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

・ 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

環境保全のため、不要になったFOMAカードは当社窓口にお持ちください。

極端な高温・低温は避けてください。

miniSDメモリーカードについてのお願い

miniSDメモリーカードの使用中は、miniSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。

・ データの消失や、故障の原因となります。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

・「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「iモード」「iアプリ／アイアプリ」「iアプリDX」「WORLD CALL／ワールドコール」「WORLD WING／ワールドウィング」「ドライブモード」「XWave／エックスウェーブ」「iメロディ／アイメロディ」「iエリア／アイエリア」「クイックキャスト」「マルチアクセス」「iモーション／アイモーション」「mopera／モペラ」「iモーションメール／アイモーションメール」「着モーション」「デコメール」「キャラ電」「iアニメ／アイアニメ」「iアプリサーチ／アイアプリサーチ」「iショット／アイショット」「sigmarion／シグマリオン」「musea／ミュゼア」「DoPa／ドゥーパ」「ショートメール」「デュアルネットワーク」「M-stage Vライブ」「パケ・ホーダイ」および「FOMA」「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
・miniSD™はSDアソシエーションの商標です。
・Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
・LCフォント/LC FONT®、エルシーフォント®、LCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。
・T9 Text Input®およびT9ロゴマークはTegic Communications社の登録商標です。
・T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
・Dialog Clarity、WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
Dialog Clarity、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
・キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
・QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
・Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
・MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・NetFrontおよび NetFront® は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
Copyright© 1996-2004 ACCESS CO., LTD.
・IrFront®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
Copyright© 1996-2004 ACCESS CO., LTD.
・"Dimo" はBuena Vista Internet Groupの商標または登録商標です。
・© 2004 DEVILROBOTS
・その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

・本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™ テクノロジーを搭載しています。

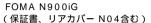
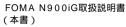
・本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
　・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
　・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
　・MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
　プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。
・下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
　Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
　4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501
　5,506,865 5,109,390 5,511,073 5,228,054 5,535,239
　5,267,261 5,544,196 5,267,262 5,568,483 5,337,338
　5,600,754 5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
　5,710,784 5,778,338
・本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.0 for FOMAを搭載しています。
　NetFront v3.0は、株式会社ACCESSの製品です。
・本製品は、OBEX機能および赤外線通信機能としてIrFront®を搭載しています。
　IrFront®は、株式会社ACCESSの製品です。
・本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

Windowsの表記について

・Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
・Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
・Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
・Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
・Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
・本書では、Windows® 98とWindows® 98SEをWindows 98と記載しています。
・本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
・本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。

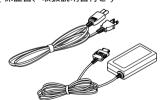
本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

FOMA N900iG
（保証書、リアカバー N04含む）

FOMA N900iG取扱説明書
（本書）

※ P.602にクイックマニュアルを記載しております。

FOMA N900iG用 CD-ROM

主なオプション品

FOMA海外兼用ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ N05
（保証書、取扱説明書付き）

電池パック N07
（取扱説明書付き）

※その他のオプション品について→P.568

ご使用前の確認

各部の名称と機能

本書では、各ボタンを次のようなアイコンで表しています。

内側カメラ
・写真（静止画）や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手側に自分の映像を送信するときに使用します。→P.88、P.170

マイク
・ハンズフリー中は自分の声をここから伝えます。通話中にマイクをふさがないでください。相手にお客様の声が聞こえなくなります。
・外側カメラで動画を撮影するときにマイクになります。

受話口
・相手の声がここから聞こえます。

ディスプレイ
・ディスプレイの見かた→P.32

ホーム／音量大／（☼）ボタン [▲]
・設定したサイトへ簡単に接続できます。→P.219
・FOMA端末を折り畳んだまま押すと、イメージウィンドウのバックライトが点灯します。
・通話中に受話音量を上げます。→P.78
・文字を入力中に同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻します。→P.503
・カメラ撮影のときにライトを点灯します。→P.184
・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。

メモ／確認／音量小／（📷）ボタン [▼]
・着信中に押すと「マナーモード」になり、「伝言メモ」に移ります。→P.85
・伝言メモを再生します。→P.85
・FOMA端末を折り畳んだまま、不在着信・新着メールを確認します。→P.83
・通話中に受話音量を下げます。→P.78
・FOMA端末を折り畳んだまま、写真（静止画）を撮影します。→P.176
・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。

（本書では [▲] と [▼] を合わせてサイドボタンと呼びます。）

外部接続端子
・各種オプション類を接続するときに使用する端子です。→P.52、P.462

送話口／マイク
・自分の声をここから伝えます。
通話中に送話口をふさがないでください。相手にお客様の声が聞こえにくくなります。
・内側カメラで動画を撮影するときや、「ピクチャボイス」で音声を録音するときにマイクになります。

ライト
・カメラ撮影するときに使用します。→P.184

背面

イメージウィンドウ
・FOMA端末の状態をメッセージやアイコン、アニメーションで表示します。→P.34、P.36
・FOMA端末を折り畳んだまま静止画撮影するときにファインダーとして利用できます。→P.176

外側カメラ
・写真（静止画）や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手に風景などの映像を送信するときに使用します。→P.88、P.170

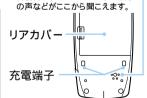
着信／充電ランプ
・音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、メールやメッセージリクエスト／フリーを受信したときに点滅します。ランプの点滅色を変更したり、着信音などのメロディに連動して点滅させることもできます（着信イルミネーション）。→P.147
・充電中は赤色に点灯します。
・カメラで静止画を撮影するとき、動画を撮影している間に点滅します。
・miniSDメモリーカードを差し込んだまま電源を入れたり、電源を切っているときに充電器をつないだ状態でminiSDメモリーカードを差し込んだ場合は、緑色で点滅します。

miniSDメモリーカードスロット
・miniSDメモリーカードを差し込みます。→P.377

背面

スピーカ
・着信音や、ハンズフリー中の相手の声などがここから聞こえます。

リアカバー

充電端子

サイズ（mm）※1	幅50×高さ103×奥行き28
質量（g）※2	約132

※1：高さ、奥行きは折り畳んでいるときのものです。
※2：電池パックを装着しているときのものです。

マルチファンクションボタン

上ボタン
- カーソルまたは反転表示を上方向（逆方向）へ移動させます。
- 表示内容を上方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。
- 電話帳メニュー画面を表示します。
- 入力した文字を漢字、カタカナ、数字に変換します。→P.505

左／着信履歴ボタン
- カーソルを左方向へ移動させます。
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。
- 着信履歴を表示します。→P.75

ニューロポインターボタン
- ニューロポインターの使いかた→P.30

右／リダイヤルボタン
- カーソルを右方向へ移動させます。
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。
- リダイヤルを表示します。→P.63

下ボタン
- カーソルまたは反転表示を下方向へ移動させます。
- 表示内容を下方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。
- 電話帳検索メニュー画面を表示します。→P.114
- 入力した文字を漢字、カタカナ、数字に変換します。→P.505

ファンクションボタン1
- 画面左下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.29

マルチボタン（MULTI）
- タスクメニューを表示します。→P.408

開始ボタン
- 音声電話をかけます。→P.62
- 音声電話に出ます。→P.73
- テレビ電話に代替画像で出ます。→P.91
- 入力した文字を小文字／大文字に切り替えます。→P.505

＊／ドライブモードボタン
- 待受画面表示中に1秒以上押してドライブモードに設定します。→P.81
- 「*」や「http://」などの文字列を入力します。→P.558
- ポーズ（p）を入力します。→P.65

テレビ電話ボタン
- テレビ電話をかけます。→P.89
- テレビ電話に出ます。→P.91
- テレビ電話中に、カメラ映像と代替画像を切り替えます。→P.92

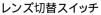
ダイヤルボタン 0～9
- 電話番号を入力します。→P.62
- 文字や数字を入力します。→P.505

ファンクションボタン2
- 画面右下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.29

メニューボタン（Menu）
- メインメニューを表示します。→P.40

電源／応答保留／終了ボタン
- 1秒以上押して電源を入れます。→P.56
- 2秒以上押して電源を切ります。→P.57
- 通話を終了します。→P.62
- 応答を保留します。→P.79
- iモードメニューやメールメニュー、iアプリメニューを終了します。

戻る（クリア）ボタン
- 操作を1つ前の状態に戻します。
- 通話を保留します。→P.63
- 入力した電話番号や文字を削除します。→P.62、P.509
- ページの読み込みを中止します。
- iアプリ待受画面表示中に押すと、iアプリ待受画面に設定したソフトが起動します。→P.326

#／マナーボタン
- 待受画面表示中に1秒以上押してマナーモードに設定します。→P.132
- 着信中に押すと「マナーモード」になり、「伝言メモ」に移ります。→P.85
- 「#」や記号を入力します。→P.558

レンズ切替スイッチ
- 近くのものを撮影するときやバーコードリーダーで情報を読み取るときに、外側カメラのレンズを 🌷(マクロレンズ)に切り替えます。
→P.184、P.194

赤外線ポート
- 赤外線を送受信する窓です。→P.394

イヤホンマイク端子
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込むと、ハンズフリーでご利用になれます。イヤホンジャック変換アダプタを使用すれば、従来のスイッチ付イヤホンマイクなどもご利用になれます。
→P.435、P.568

ストラップ取付穴

<イヤホンマイクの接続方法>

※:FOMA N900iGのアンテナはFOMA端末に内蔵されています。

miniSDメモリーカードスロット
- miniSDメモリーカードを差し込みます。
→P.377

1秒以上押しの機能について

ボタンを1秒以上押すことによって使える機能は次のとおりです。

ボタン	機能	参照ページ
	マルチタスクの切替(マルチタスク中)	P.408
	ネットワーク切替画面の表示(待受画面表示中)	P.544
	待受画面の表示(マルチタスク中)	P.407
	iモード問い合わせ (待受画面表示中)	P.234 P.270
	iアプリのソフト一覧表示 (待受画面表示中)	P.315
	受話音量の調節 (待受画面表示中、通話中)	P.78
	メール本文の文字を縮小表示 (メールの詳細画面表示中)	P.281
	メール本文の文字を拡大表示 (メールの詳細画面表示中)	P.281

ボタン	機能	参照ページ
CLR	メッセージリクエスト／フリー受信の中止(受信中)	P.232
	iモードメール送受信の中止(送受信中)	P.249
	iモード問い合わせの中止(問い合わせ中)	P.234 P.270
5	バックライトの点灯／消灯の切替	P.146
#	マナーモードの設定 (待受画面表示中、通話中、着信中)	P.132
0	「＋」の入力(電話番号を入力する画面)	P.68
*	サイドボタンの設定(メインメニュー表示中)	P.160
	ドライブモードの設定(待受画面表示中)	P.81
▼[メモ/確認]	音声メモの録音(通話中のみ)	P.430
	カメラの起動／終了 (FOMA端末を折り畳んでいるとき)	P.176

ソフトキーの使いかた

待受中や操作中のとき、ディスプレイの最下段に表示される操作や設定に関するガイダンスをソフトキーといいます。表示されたソフトキーを実行するには、対応するファンクションボタンを押します。

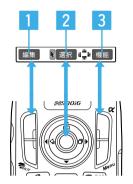
■ 1 のソフトキーを実行する場合

を押すと、1に表示されたソフトキーを実行します。
1 には[文字]、[編集]、[登録]、[完了]、[デモ]、[ ]などが表示されます。

■ 2 のソフトキーを実行する場合

を押すと、2に表示されたソフトキーを実行します。
2には[選択]、[確定]、[再生]、[切替]などが表示されます。

■ 3 のソフトキーを実行する場合

を押すと、3に表示されたソフトキーを実行します。
3には[機能]、[閉]などが表示されます。[機能]が表示されているときにを押すと、機能メニューが表示されます。→P.44

ソフトキーの表記について

本書では、ソフトキーの選びかたを次のように表記します。

操作するファンクションボタン　対応するソフトキーの内容

ニューロポインターの使いかた

ディスプレイの最下段に が表示されているときにニューロポインターをスライドすると、ポインター( )が表示されます。ニューロポインターをスライドしてポインターを移動させると、アイコンや項目をすばやく選ぶことができます。また一覧画面や機能メニューなど、表示している画面が複数のページにまたがる場合は、ニューロポインターを使って前後のページを切り替えることができます。

- ポインターが移動できる範囲は、表示している画面によって異なります。
- 項目やアイコンを決定するときは、ニューロポインターを中央に戻してから押してください。ニューロポインターが中央以外のときは押すことができません。
- 「ニューロポインター設定」で、ポインターの表示／非表示やフォーカス、移動速度などを設定できます。→P.437

■ ニューロポインターでアイコンや項目を選ぶ

1 **待受画面表示中に (Menu)を押してメインメニューを表示させ、●をスライドして を表示させる**

2 **各種設定に をスライドさせて 各種設定の状態にしてから、●[選択]を押す**

各種設定の画面が表示されます。

おしらせ

- 次の場合は、ポインターが消えます。
  - ・ などを押して別の項目を選んだ場合
  - ・ 別の画面に切り替わった場合
- 次の場合は、ポインターが消えます。その後ニューロポインターをスライドしてポインターを再度表示させたときは、消える前の位置に表示されます。
  - ・ 約15秒間ニューロポインターを操作しなかった場合
  - ・ FOMA端末を折り畳んで開いた場合
- ポインターをアイコンや項目のない場所に移動させて●を押した場合は、ポインターから最も近いアイコンや項目が選択され、ポインターもその位置に移動します。ただし、次の画面ではポインターは自動的に移動しません。
  - ・ 画面メモの画面
  - ・ 受信メール／送信メールの詳細画面
  - ・ サイトの画面
  - ・ メッセージリクエスト／フリーの詳細画面
- ポインターの移動速度は操作する画面によって異なる場合があります。
- Flash画像を利用した画面によっては、ニューロポインターが利用できない場合があります。この場合、画面の下に「 」は表示されません。

■ ニューロポインターで前後の画面を切り替える

1 **●をスライドして を表示させ、ポインターの移動範囲の一番下に移動させる**

ポインターが ▲▼ に変わります。

一番上に移動させた場合

ポインターが ▲▼ に変わります。

2 **●[選択]を押す**

次のページが表示されます。

3 **●を左方向にスライドして ▲▼ を ▲▼ に変え、●[選択]を押す**

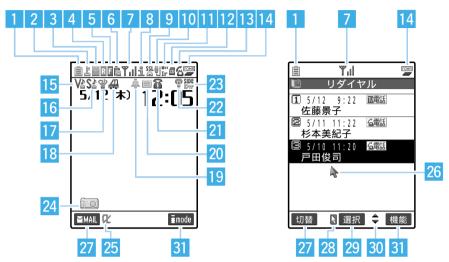
前のページが表示されます。

ディスプレイの見かた

ディスプレイおよびイメージウィンドウに表示されるマーク（、、など）をアイコンといいます。アイコンには次のようなものがあります。

● 海外利用時のディスプレイ表示については、P.535を参照してください。

■ディスプレイ

1 電池残量表示➜P.55

2 オールロック中➜P.156

シークレットモード中、シークレット専用モード中➜P.161

PIMロック中➜P.158

ダイヤル発信制限中➜P.159

ダイヤル発信制限とシークレットモードまたはシークレット専用モードを同時に設定中➜P.159、P.161

ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定中➜P.158、P.159

3 （青）未読メールあり➜P.266

（赤）受信BOX満杯➜P.266

（赤）FOMAカードのSMS満杯➜P.308

（青／赤）未読メールあり／FOMAカードのSMS満杯➜P.308

（赤）受信BOX満杯／FOMAカードのSMS満杯➜P.266、P.308

4 （緑）未読メッセージリクエストあり➜P.232

（赤）メッセージリクエスト満杯➜P.232

5 （紫）未読メッセージフリーあり➜P.232

（赤）メッセージフリー満杯➜P.232

6 （青）iモードセンターにメールあり➜P.270

（青／赤）iモードセンターのメール満杯➜P.270

（青／緑）iモードセンターにメッセージリクエストあり➜P.234

（青／赤）iモードセンターのメッセージリクエスト満杯➜P.234

（青／紫）iモードセンターにメッセージフリーあり➜P.234

（青／赤）iモードセンターのメッセージフリー満杯➜P.234

「メール選択受信設定」が「ON」に設定されているときにiモードセンターにメールあり➔P.269

7 電波の受信レベル➔P.56
圏外 サービスエリア外や電波が届かないところにいるときに表示➔P.56
self セルフモード中➔P.157

8 iモード中➔P.204
iモード通信中➔P.204
パケット通信中➔P.474
パケット通信中(発信)➔P.474
パケット通信中(着信)➔P.474
パケット通信中(データ送信中)➔P.474
パケット通信中(データ受信中)➔P.474

9 TLS/SSL対応のページを表示中➔P.212

10 USBケーブル接続中➔P.393、P.463
miniSDリーダライタ(miniSDモード)使用中➔P.393

11 赤外線通信中➔P.393
赤外線リモコン操作中➔P.400

12 miniSDメモリーカード挿入時➔P.377
miniSDメモリーカード(不正)挿入時➔P.377
miniSDリーダライタ使用中➔P.393

13 音声通話中➔P.62
テレビ電話中➔P.89

14 FOMA 3G GPRS GSM 利用中のネットワーク➔P.535
複数の機能を使用中➔P.407
1つの機能を使用中➔P.407

15 バイブレータ設定中➔P.127

16 着信音量を「消去」に設定中➔P.126

17 マナーモード設定中➔P.132
遠隔監視設定中➔P.99

18 ドライブモード設定中➔P.81

19 ／ アラーム通知機能を設定中➔P.409

20 ～ 伝言メモ設定中➔P.84

21 ～ 留守番電話の伝言メッセージあり➔P.448

22 バックライトを「OFF」に設定中➔P.146

23 サイドボタンを「閉じた時無効」に設定中➔P.160

24 貼り付けたデスクトップアイコン➔P.137

25 iアプリ実行中➔P.315
iアプリ待受画面表示中➔P.325
iアプリDX実行中➔P.315
iアプリDX待受画面表示中➔P.325

26 ポインター(追従型:青)➔P.437
ポインター(非追従型:白)➔P.437
／ ポインターのページスクロール➔P.31

27 MAIL ファンクションボタン1に対応するソフトキーの内容を表示➔P.29

28 ニューロポインター使用可能➔P.30

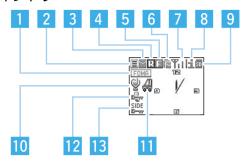
29 選択 ニューロポインターボタン●に対応するソフトキーの内容を表示➔P.29

30 マルチファンクションボタンのそれぞれのボタンが使えるときに表示

31 imode ファンクションボタン2に対応するソフトキーの内容を表示➔P.29

状況によってアイコンの表示色が変わる場合は色名を記載しています。なお、アイコンの色が2色になる場合は右のように表記します。

青
(青/赤)
赤

■イメージウィンドウ

1 FOMA 3G GPRS GSM 利用中のネットワーク➔P.535

2 電池残量表示➔P.55

3 （青）未読メールあり➔P.266

（赤）受信BOX満杯➔P.266

（赤）FOMAカードのSMS満杯➔P.308

（青／赤）未読メールあり／FOMAカードのSMS満杯➔P.308

（赤）受信BOX満杯／FOMAカードのSMS満杯➔P.266、P.308

4 （緑）メッセージリクエストあり➔P.232

（赤）メッセージリクエスト満杯➔P.232

5 （紫）メッセージフリーあり➔P.232

（赤）メッセージフリー満杯➔P.232

6 （青）iモードセンターにメールあり➔P.270

（青／赤）iモードセンターのメール満杯➔P.270

（青／緑）iモードセンターにメッセージリクエストあり➔P.234

（青／赤）iモードセンターのメッセージリクエスト満杯➔P.234

（青／紫）iモードセンターにメッセージフリーあり➔P.234

（青／赤）iモードセンターのメッセージフリー満杯➔P.234

「メール選択受信設定」が「ON」に設定されているときにiモードセンターにメールあり➔P.269

7 電波の受信レベル➔P.56

圏外 サービスエリア外や電波が届かないところにいるときに表示➔P.56

self セルフモード中➔P.157

8 iモード中➔P.204

iモード通信中➔P.204

パケット通信中➔P.474

パケット通信中（発信）➔P.474

パケット通信中（着信）➔P.474

パケット通信中（データ送信中）➔P.474

パケット通信中（データ受信中）➔P.474

9 miniSDメモリーカード挿入時➔P.377

miniSDメモリーカード（不正）挿入時➔P.377

miniSDリーダライタ（miniSDモード）使用中➔P.393

10 マナーモード設定中➔P.132

11 ドライブモード設定中➔P.81

12 シークレットモード、シークレット専用モード、PIMロック、ダイヤル発信制限のいずれか、または同時に設定中➔P.158、P.159、P.161

13 SIDE サイドボタンを「閉じた時無効」に設定中➔P.160

状況によってアイコンの表示色が変わる場合は色名を記載しています。なお、アイコンの色が2色になる場合は右のように表記します。

青
（青／赤）
赤

ご使用前の確認

おしらせ

- 本端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、その特性上、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

表示アイコンの意味を確認する

画面に表示されるアイコンのそれぞれの意味を確認できます。画面に表示されているアイコンから現在FOMA端末に設定されている機能を確認したい場合などに便利です。

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「表示アイコン説明」の順に選ぶ

2 を押して意味を確認したいアイコンにカーソルを合わせる

選んだアイコンの意味が画面の下部に表示されます。

選んだアイコンの意味を表示します。

イメージウィンドウの表示について

イメージウィンドウには、電話やメールなどの着信やアラーム通知などがメッセージや画像、アニメーションで表示されるので、FOMA端末の状況をすぐに確認できます。

●「イメージウィンドウ」(P.143)の設定によって、表示される内容は異なります。

表示について

■ 時計表示

待受中に時計を表示します。次の5種類または「OFF(表示しない)」から選べます。

アナログ時計1

アナログ時計2

デジタル時計1

デジタル時計2

ローカル＆リモート時計

■ 着信中表示

電話がかかってきたときに電話番号を表示します。相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は相手の名前などの情報が表示されます。電話番号が表示されない場合はその理由が表示されます。

相手が電話番号を通知している音声電話着信の場合

相手が電話番号を通知しているテレビ電話着信の場合

電話帳に登録されている相手からの音声電話着信の場合

電話帳に登録されている相手からのテレビ電話着信の場合

電話番号が表示されない音声電話着信の場合

電話番号が表示されないテレビ電話着信の場合

電話番号が通知されなかった音声電話着信の場合

電話番号が通知されなかったテレビ電話着信の場合

■ 通話中表示

通話中に通話の種類を表示します。FOMA端末を開いているときに表示されます。

音声通話中

テレビ電話中

遠隔監視中

■ 発信中表示

FOMA端末を開いているときに表示されます。

■ アラーム通知のとき

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知では、機能に応じたアラーム通知アニメーションが表示されます。

「めざまし時計」のとき

「スケジュール」のとき

「ToDo」のとき

■ 新しいメールを受信したとき

メール表示を「ON」に設定しているときは、送信元、相手が送信した日時、題名が表示されます。

■ パケット通信中表示

FOMA端末を開いているときに表示されます。

電話やメールの相手を確認するとき

イメージウィンドウに「」や「」が表示されている場合は、相手の名前やメールの題名などを確認できます。FOMA端末を閉じた状態で[ホーム]を押すと、不在着信履歴や新着メールの内容が表示されます。続けて[ホーム]を押すと、3件まで内容を確認できます。すべて確認した後にもう一度[ホーム]を押すと、時計表示に戻ります。不在着信と新着メールの両方がある場合は、最初に不在着信が表示され、次に新着メールが表示されます。

- 「不在着信履歴」を表示するか、「不在着信あり」のデスクトップアイコンを消すと、イメージウィンドウの不在着信は消えます。
- ツールグループの機能（P.38）を操作している場合は、イメージウィンドウで不在着信を確認できません。

■ 不在着信表示

このときFOMA端末を開くと、ディスプレイに「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。

このときFOMA端末を開くと、ディスプレイに「不在着信履歴」が表示されます。

すべて確認すると時計表示に戻ります。

■ 新着メール表示

このときFOMA端末を開くと、ディスプレイに「新着メールあり」のデスクトップアイコンが表示されます。

メール表示を「ON」に設定しているときは、送信元、相手が送信した日時、題名が表示されます。

すべて確認すると時計表示に戻ります。

おしらせ

- FOMA端末を閉じた状態で[ホーム]を押すと、バックライトが点灯します。暗い場所で時刻を確認するときなどに便利です。
- 省電力モードに入ると、イメージウィンドウの表示が消えます。[ホーム]を押すと、再びイメージウィンドウが表示されます。

メニュー機能について

FOMA端末でいろいろな機能を設定したり確認したりするには、各機能をメインメニューから呼び出して表示します。メニューは次のような構成になっています。

5/12(木) 12:05

MAIL　imode

↓ （Menu）

MAIN MENU マルチメディア
メロディ、イメージ、iモーション、キャラ電を楽しめます

メール　iモード　iアプリ
各種設定　マルチメディア　アクセサリ
サービス　電話帳　ユーザデータ

選択

<メールグループ>
- メール → P.248

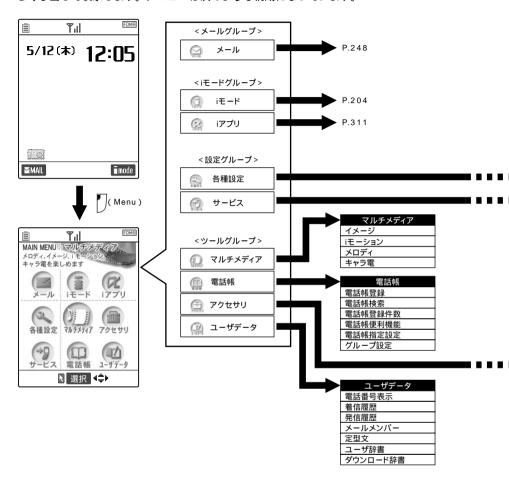
<iモードグループ>
- iモード → P.204
- iアプリ → P.311

<設定グループ>
- 各種設定
- サービス

<ツールグループ>
- マルチメディア
- 電話帳
- アクセサリ
- ユーザデータ

マルチメディア
イメージ
iモーション
メロディ
キャラ電

電話帳
電話帳登録
電話帳検索
電話帳登録件数
電話帳便利機能
電話帳指定設定
グループ設定

ユーザデータ
電話番号表示
着信履歴
発信履歴
メールメンバー
定型文
ユーザ辞書
ダウンロード辞書

マルチタスクに対応

FOMA端末はメインメニューの各グループから最大3つの機能を同時に使うことができる「マルチタスク」に対応しています。マルチタスク中は、使用中のメニューのグループがわく囲みされます。マルチタスクについては、P.407を参照してください。

使用中のグループはわく囲みされます。

各種設定
- 着信
- 通話
- TV電話
- ディスプレイ
- 時間
- 時計
- ロック／セキュリティ
- アプリケーション通信設定
- iアプリ設定
- 外部オプション
- ネットワーク設定
- その他

サービス
- サービス問い合わせ
- 発信者番号通知
- 留守番電話
- キャッチホン
- 転送でんわ
- 迷惑電話ストップ
- 番号通知お願いサービス
- 着信動作選択
- 通話中着信設定
- 遠隔操作設定
- デュアルネットワーク
- 英語ガイダンス
- 海外用サービス
- ローミング設定
- 追加サービス
- サービスダイヤル
- 規制※

アクセサリ
- カメラ
- スケジュール
- めざまし時計
- ToDo
- テキストメモ
- 電卓
- メモの再生／消去
- 伝言メモ
- 待受中音声メモ
- おしゃべり機能
- 赤外線通信
- FOMAカード操作
- 電話帳画像転送
- バーコードリーダー
- SD-PIM
- 辞典

着信
- 着信音量
- 着信音選択
- SRS_WOW設定
- バイブレータ
- 着信イルミネーション
- マナーモード選択
- 電話帳画像着信設定
- 着信アンサー設定
- クローズ動作設定
- iモード中着信設定
- パケット通信中着信設定
- メール／メッセージ鳴動
- 呼出時間表示設定
- 確認機能設定

通話
- ノイズキャンセラ
- 通話品質アラーム
- 再接続機能
- 通話中イルミネーション
- 保留音選択

TV電話
- 画像品質設定
- 発信時自画像送信
- 画像選択
- 音声自動再発信設定
- 遠隔監視設定
- TV電話画面設定

ディスプレイ
- 画面表示設定
- 照明設定
- 配色パターン
- イメージウィンドウ
- フォント設定
- デスクトップ
- Language
- オリジナルメニュー登録
- メニュー画面設定
- ピクチャ表示設定
- オート表示
- 表示アイコン説明

時間
- 通話時間
- 積算リセット
- 通話中時間表示

時計
- ローカル時計設定
- 時計表示設定
- リモート時計設定
- アラーム通知設定

ロック／セキュリティ
- オールロック
- PIMロック
- セルフモード
- ダイヤル発信制限
- 登録外着信拒否
- FDN設定※
- 非通知着信設定
- 端末暗証番号変更
- PIN設定
- シークレットモード
- シークレット専用モード

アプリケーション通信設定
- 接続待ち時間設定
- iモード問い合わせ設定
- 接続先選択
- SMS center設定
- 証明書

iアプリ設定
- ソフト情報表示設定
- α照明設定
- αバイブレータ
- αイメージウィンドウ
- 待受画面終了

外部オプション
- イヤホン切替
- オート着信

ネットワーク設定
- プレフィックス設定
- 国際ダイヤル設定
- ネットワーク接続モード選択
- 優先ネットワーク設定
- ネットワーク名表示設定
- ネットワーク切替

その他
- ボタン確認音
- 充電確認音
- 電池残量
- サイドボタン操作
- 文字入力方式
- 履歴表示設定
- ポーズダイヤル
- サブアドレス設定
- ニューロポインター設定
- USBモード設定
- 設定リセット
- 端末初期化
- ソフトウェア更新

※「規制」、「FDN設定」は本端末では利用できません。

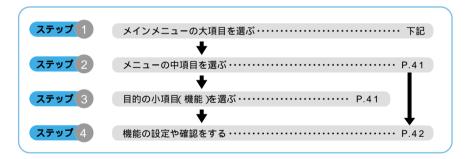
メニューの選択方法

メインメニューまたはオリジナルメニューから、各機能を設定および確認するための画面を表示できます。

- よく使うメールメニュー(P.248)やiモードメニュー(P.204)は待受画面から簡単に表示できます。メールメニューは待受画面で[MAIL]を押すと表示でき、iモードメニューは[mode]を押すと表示できます。

メインメニューから機能を選択する

待受画面で(Menu)を押すとメインメニューが表示されます。メインメニューから大項目アイコンを選ぶと中項目が表示され、さらに目的の小項目を選ぶと設定画面や確認のためのメッセージなどが表示されます。メニューに応じて機能を設定したり、内容を確認してください。

- メニューや項目を選ぶとき、表示されている項目番号と同じ数字のダイヤルボタンを押すと、すばやく項目を選べます<ダイレクトキー選択>。本書ではメニュー項目の選択を「を押して項目を反転表示させ[選択]を押す」方法で説明しています。
- (Menu)＋メニュー番号を押すだけで、すばやく呼び出せる機能があります。詳しくは「メニュー一覧」(P.554)を参照してください。
- 各機能の設定が終わると小項目の選択画面になります。を押すと、メニュー操作を終了して待受画面に戻ります。マルチタスク中は起動中のほかのメニュー機能が表示されます。
- メニュー操作を途中でやめる場合はを押します。設定中の内容を破棄して待受画面や元の画面に戻ります。ただし、メニューによっては設定中の内容を破棄するかしないかのメッセージが表示される場合があります。そのような場合は、を押すと操作をメッセージの前の状態に戻すことができます。
- メニュー機能を操作するには、次のステップで行います。

<例：「通話中イルミネーション」機能の点滅色を設定する場合>

ステップ1　メインメニューの大項目を選ぶ

1 (Menu)を押す

メインメニューが表示され、9項目の大項目アイコンが表示されます。色が変わって浮き出したように表示されているアイコンが、現在選択されている大項目です。

2 を押して大項目アイコンを選ぶ

大項目アイコンを選ぶと、選んだアイコンのガイダンスが表示されます。

連続移動させる場合
　を押し続ける

15秒以上ボタンを押さなかった場合
　メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

ニューロポインターを利用する場合
　ニューロポインターの使いかた→P.30

大項目アイコンのガイダンス

3 （各種設定）を選んで［選択］を押す

中項目の一覧画面が表示されます。

おしらせ

- 「メニュー画面設定」でメインメニューのガイダンスを表示しないように設定できます。→P.425

ステップ 2　メニューの中項目を選ぶ

1 を押して中項目を選ぶ

選んだ中項目が反転表示します。

連続スクロールさせる場合
　を押し続ける

2 「通話」を選んで［選択］を押す

「通話」の小項目の選択画面（詳細表示）が表示されます。

ステップ 3　目的の小項目（機能）を選ぶ

1 を押して目的の小項目（機能）を選ぶ

選んだ小項目（機能）の詳細画面が表示されます。小項目の詳細画面では機能の設定状況やメニュー番号などを確認できます。

連続スクロールさせる場合
　を押し続ける

詳細表示を一覧表示に変更する場合
　メニュー画面設定→P.425

2 「通話中イルミネーション」を選んで●[選択]を押す

通話中イルミネーションの設定画面が表示されます。

端末暗証番号の入力

機能によっては詳細画面が表示される前に、端末暗証番号の入力画面が表示される場合があります。機能の詳細画面を表示するには、端末暗証番号を入力してください。→P.152

1 4～8桁の端末暗証番号を入力して●[確定]を押す

入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
正しい端末暗証番号を入力すると機能の詳細画面が表示されます。

端末暗証番号を間違えた場合

番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

ステップ4 機能の設定や確認をする

機能を設定するには、項目を一覧表示から選ぶ方法や「YES／NO」を選ぶ方法(P.43)、数値を入力する方法(P.43)、チェックマークを付ける方法(P.43)などがあります。

●機能によっては、さらに詳細項目を選ぶ場合があります。
●設定状態などにより、機能を選べない場合があります。

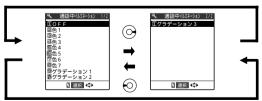
1 を押して設定したい項目を選ぶ

選んだ項目が反転表示します。

連続スクロールさせる場合

を押し続ける

選択する項目が複数のページにわたる場合

画面の右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。一番上の項目を選択しているときにを押すと前のページを、一番下の項目を選択しているときにを押すと次のページを表示します。ページ単位でスクロールさせる場合は、(または[ホーム])を押すと前のページに、(または[メモ／確認])を押すと次のページに切り替わります。

2 ◉[選択]を押す

選んだ項目が設定されます。

3 操作が終わったら[PWR HLD]を押す

メニュー操作を終了して待受画面に戻ります。ただしマルチタスク中を除きます。

■「YES／NO」や「ON／OFF」を選ぶ場合

機能によっては、「YES／NO」や「ON／OFF」を選ぶ画面が表示される場合があります。

1 ◎を押して「YES」(または「ON」)または「NO」(または「OFF」)を選び、◉[選択]を押す

選んだ項目が設定されます。

■数値を入力する場合

機能によっては、数値を入力する画面が表示される場合があります。

1 [0]～[9]を押して数値を入力し、◉[確定]を押す

入力した数値が設定されます。
指定された桁数分の数字を入力すると自動的に確定する場合もあります。このとき◉[確定]を押す必要はありません。

2桁の数値入力画面で1桁の数値を入力する場合
最初に[0]を押してから数値を入力する
3桁の場合も同じです。

■チェックマークを付ける場合

機能によっては、チェックボックスにチェックマークを付ける画面が表示される場合があります。主に複数の項目を選ぶ場合に表示されます。

1 ◎を押してチェックマークを付ける□(チェックボックス)を選ぶ

2 ◉[選択]を押す

チェックボックスが□から☑になります。これが選択された状態です。◉[選択]を押すたびに、□と☑が切り替わります。
ソフトキーに「完了」が表示されている場合は、[完了]を押すと選んだ項目が決定されます。

オリジナルメニューから機能を選択する

オリジナルメニューには、次の機能があらかじめ登録されています。オリジナルメニューを使うと、メインメニューから大項目－中項目－小項目と順番に選んでいく必要がなくなるので、機能を簡単に呼び出せます。

・電話番号表示　・着信音量　・めざまし時計
・iモード問い合わせ　・バイブレータ　・端末暗証番号変更

● オリジナルメニューの内容は、「オリジナルメニュー登録」(P.425)で変更できます。
● オリジナルメニューは「一覧表示」で表示されます。
● オリジナルメニューをデスクトップアイコンとして貼り付けると、すばやく機能を呼び出すことができます。→P.135

■メニューの表示を切り替える

1 (Menu)▶(Menu)

(Menu)を押すごとにメインメニューとオリジナルメニューが切り替わります。

おしらせ

● オリジナルメニューから待受画面に戻った場合、またはオリジナルメニューから機能を呼び出して操作した後に待受画面に戻った場合は、次に(Menu)を押すとオリジナルメニューが表示されます。
● オリジナルメニューに機能が1件も登録されていない場合は、オリジナルメニューを登録するかどうかのメッセージが表示されます。

機能メニューから登録する機能を選択する

登録や編集、削除などができる機能を操作している場合、ソフトキーに「機能」が表示されます。[機能]を押すと機能メニューが表示されます。を押して実行したい機能メニューを反転表示させを押して選んでください。

● 項目が複数のページにわたるときは、機能メニューの右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。機能メニューの一番上の項目を選択しているときにを押すと前のページを、一番下の項目を選択しているときにを押すと次のページを表示します。ページ単位でスクロールさせる場合は、(または[ホーム])を押すと前のページに、(または[メモ／確認])を押すと次のページに切り替わります。
● 操作中の機能によって、表示される機能メニューの内容は異なります。
● 設定状態などにより、機能メニューを選べない場合があります。選べない機能メニューはグレーで表示されます。

メニュー操作の表記について

この「取扱説明書」では、メニュー操作の方法を次のように表記しています。

■ 機能選択の表記

ここでは設定グループの「各種設定」から「ボタン確認音」を選ぶ方法を例にして、機能選択の表記について説明します。

この「取扱説明書」の表記は

大項目　中項目　小項目(機能)

1 (Menu)▶各種設定▶「その他」▶「ボタン確認音」の順に選ぶ

実際の操作は

1 待受画面表示中に(Menu)を押す

2 メインメニューでを押して各種設定を選び、[選択]を押す

3 中項目の選択画面でを押して「その他」を選び、[選択]を押す

4 小項目の選択画面でを押して「ボタン確認音」を選び、[選択]を押す

■ 機能設定の表記

ここでは、「電話帳指定設定」の操作方法を例にして、機能設定の表記について説明します。

この「取扱説明書」の表記は

3 電話番号を確認したい電話帳を選ぶ

選んだ電話帳の電話番号が表示されます。

電話帳指定設定を解除する場合

解除したい電話番号を選ぶ

実際の操作は

1 電話帳の一覧画面でを押して電話番号を確認したい電話帳を選ぶ

2 [選択]を押す

■ メニューを連続で選ぶときの表記

ここでは、「電話帳登録」の操作方法を例にして、メニューを連続で選ぶときの表記について説明します。

この「取扱説明書」の表記は

2 機能メニューから「電話帳登録」ー「本体」を選ぶ

FOMAカードに登録する場合

「FOMAカード」を選ぶ

実際の操作は

1 を押して「電話帳登録」を選び、[選択]を押す

2 を押して「本体」を選び、[選択]を押す

FOMAカードを使う

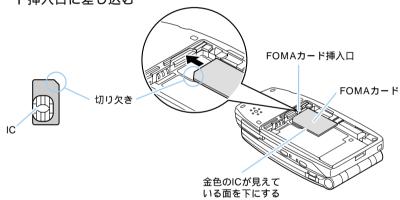
FOMAカードはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードをFOMA端末に差し込むことによって、音声電話やテレビ電話、iモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用できます。また、FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

- FOMAカードには電話帳のデータやSMSを保存することもできます。
- FOMAカードには「PIN1コード」、「PIN2コード」という2つの暗証番号を設定できます。→P.153
- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

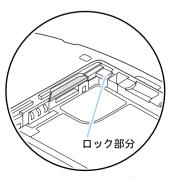
FOMAカードの付け外しは、電源を切り電池パックを外してから、手で持って行ってください。また、FOMAカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

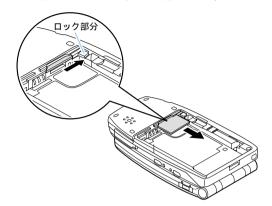
■ 付けかた

1 FOMAカードのIC面を下にして、下図のような向きでFOMAカード挿入口に差し込む

2 FOMAカードが固定されるよう奥まで差し込む

ロック部分が下図のように左側にあることを確認してください。

正しく取り付けられた状態

■ 外しかた

1 FOMAカードを固定しているロックをスライドさせる

FOMAカードが指に当たらないようにご注意ください。

2 FOMAカードが少し出てくるので、まっすぐ静かに引き抜く

外す際にFOMAカードが落ちないようにご注意ください。

おしらせ

- 無理に付けようとするとFOMAカードがこわれることがありますのでご注意ください。
- 外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- FOMAカードを外すときは、強く押し付けないでください。変形や破損する場合があります。
- FOMAカードが外しにくい場合は、奥まで差し込んでもう一度ロックをスライドさせてください。

FOMAカードの暗証番号について　＜PIN1コード、PIN2コード＞

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。→P.153

PIN1コードとは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA端末の電源を入れるたびに入力させる4～8桁の暗証番号です。PIN1コードを入力することにより、発着信および各種通信機能の操作が可能となります。

PIN2コードについては、本FOMA端末には利用する機能はございません。

- PIN1コードおよびPIN2コードは、ご契約時は「0000」に設定されています。
- PIN1コードおよびPIN2コードは変更できます。→P.154
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。

FOMAカード動作制限機能について

FOMAカード動作制限機能とは、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能です。サイトやインターネットホームページからダウンロードしたり、iモードメールに添付されているデータやファイルを取得すると、FOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータ転送などを行うことができます。
別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルには「」が表示され、上記の操作ができなくなります。

● FOMAカード動作制限機能の対象となるデータやファイルは次のとおりです。
- ・サイトやインターネットホームページからダウンロードしたiアプリ／メロディ／画像／キャラ電／ダウンロード辞書
- ・サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーション
- ・メロディ／画像／iモーション／キャラ電／ダウンロード辞書が含まれている画面メモ
- ・受信BOX内のiモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル（メロディ／画像）
- ・送信BOX／保存BOX内のiモードメールに添付されているファイル（メロディ／画像／iモーション。ただし、本FOMA端末で作成または撮影したデータは除く）
- ・ファイル（メロディ／画像）が添付されている、または貼り付けられているメッセージリクエスト／フリー
- ・デコメール本文中に挿入されている画像

● FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、別のFOMAカードを挿入した状態でも移動したり削除することはできます。
● 赤外線通信／ケーブル接続によるデータ転送機能またはminiSDメモリーカードを使って受信したデータ、内蔵カメラで撮影した写真（静止画）／連続写真／動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。

おしらせ

● FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げのときの設定で動作します。たとえば、FOMAカード動作制限機能が設定されている「メロディA」を着信音に設定していても、電話がかかってきたときにはお買い上げのときに設定されていた着信音が鳴ります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、「メロディA」の着信音に戻ります。
● あらかじめ登録されているiアプリでも、一度削除して再度サイトからダウンロードしたりバージョンアップすると、本機能の対象になります。
● iモードメールのメール詳細画面からiアプリを起動する場合は、FOMAカード動作制限機能が設定されていると、起動ができません。
● 別のFOMAカードに差し替えると、「イメージ」および「iモーション」ではFOMAカード動作制限機能が設定された画像や動画は右のように表示されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

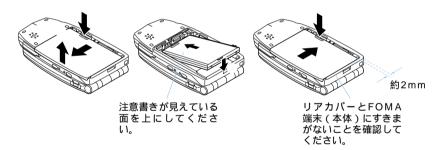
FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには2種類のバージョンがあります。本FOMA端末で「FOMAカード(青色)」をご使用になる場合、「FOMAカード(緑色)」と次のような機能差分がありますのでご注意ください。

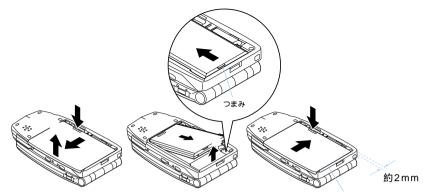
機能	FOMAカード(青色)	FOMAカード(緑色)	参照ページ
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.106
国際ローミングサービス(WORLD WING)	利用不可	利用可	P.530
サービスダイヤル	利用不可	「ネットワークテクニカルオペレーションセンター」および「DoCoMo インフォメーションセンター」の利用	取扱説明書裏面

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから、手で持って行ってください。
- FOMAカードが取り付けられている場合は、正しく取り付けられているかどうかを確認してください(P.46)。正しく取り付けられていないと電池パックを取り付けることができません。また、無理に取り付けようとするとFOMAカードがこわれることがあります。
- 詳しくは電池パック N07の取扱説明書をご覧ください。

■ 取り付けかた

1 **リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、③の方向に持ち上げて取り外す**

2 **電池パックの注意書き面を上にして、電池パックとFOMA端末(本体)の金属端子が合うように④の方向に取り付けてから、⑤の方向へはめ込む**

3 **リアカバーを約2mm開けた状態でFOMA端末(本体)の溝に合わせ、⑥の方向へ押し付けながら⑦の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込む**

次ページへつづく

■ 取り外しかた

1 **リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、③の方向に持ち上げて取り外す**

2 **電池パックのつまみを④の方向に押し付けながら⑤の方向へ持ち上げ、⑥の方向に取り外す**

3 **リアカバーを約2mm開けた状態でFOMA端末（本体）の溝に合わせ、⑦の方向へ押し付けながら⑧の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込む**

携帯電話を充電する

電池の上手な使いかた

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、FOMA端末専用の電池パック N07をご利用ください。

■ 電池の寿命

・電池は消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
・1回で使うことのできる時間が、使いはじめたときに比べ半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。
・電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度取り付けし直してください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

電池の使用時間の目安

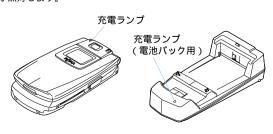
（電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります）

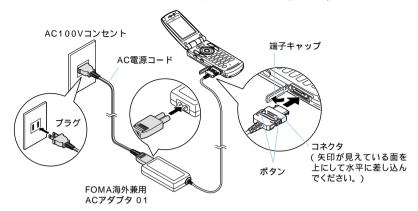
ネットワーク※	連続通話時間	連続待受時間
FOMA／3G	音声電話　：約105分 テレビ電話：約70分	静止時：約150時間 移動時：約110時間
GPRS／GSM	音声電話　：約120分	約110時間

※：本FOMA端末でご利用できるネットワークについてはP.530を、利用できる通信サービスの違いについてはP.537を参照してください。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とはFOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）、滞在国のネットワークの状況などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また通話やiモード通信をしなくても、iモードメールを作成したり、ダウンロードしたiアプリ、iアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- miniSDメモリーカードを取り付けているとき、データ通信やマルチアクセスを実行したとき、カメラやライトを使用したときも、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

充電時のご注意

- 詳しくはFOMA海外兼用ACアダプタ 01、卓上ホルダ N05、FOMA DCアダプタ 01（別売品）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に付けた状態でないと充電できません。
- FOMA 端末（本体）の充電ランプおよびディスプレイの「▯」が消灯し、「充電器異常　充電を中止して下さい」などと表示された場合は、FOMA 端末からACアダプタまたはDCアダプタと電池パックを一旦外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合は、ACアダプタやDCアダプタの異常や故障が考えられますので、当社窓口までご相談ください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話をかけたり受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。「照明設定」の「充電時」を「常時点灯」に設定しているときも充電時間が長くなります。
  なお、充電中にテレビ電話等の機能を利用した場合は電池の使用量が多くなるため、通話開始時の電池残量によっては電池が切れて通話等が切断されることがあります。
- 電池が切れた状態の場合や、電話帳などのデータがいっぱいで電源を切っている場合は、充電をはじめても充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電自体ははじまっています。
- 充電中にACアダプタまたはDCアダプタ、FOMA端末、電池パック、卓上ホルダが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中はFOMA端末の充電ランプが点灯します。電池パック単体を卓上ホルダで充電中は、卓上ホルダの充電ランプが点灯します。

ACアダプタで充電する

FOMA海外兼用ACアダプタ 01をFOMA端末に接続して充電します。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 上図のような向きでACアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

3 ACアダプタにAC電源コードを差し込み、プラグをコンセントに差し込む

電源を切っている場合

充電がはじまります。充電中は充電ランプが赤色に点灯し「 」が点滅します。充電ランプが消灯し、「 」が点灯すれば充電は終わりです。

充電時間の目安
約150分

4 充電が終わったら、ボタンを押しながらACアダプタのコネクタを水平にFOMA端末から引き抜き、ACアダプタのプラグをコンセントから抜く

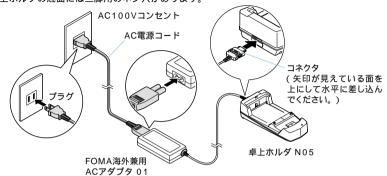
5 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- 「FOMA海外兼用ACアダプタ 01」自体はAC100Vから240Vまで対応していますが、付属のAC電源コード（電源プラグが付いている方のコード）のプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って充電したときの時間です。電源を入れたまま充電することもできますが、電源を切っているときに比べて充電時間が長くなります。

卓上ホルダと組み合わせて充電する

FOMA海外兼用ACアダプタ 01と卓上ホルダ N05を組み合わせて充電します。FOMA端末の端子キャップを開けずに、卓上ホルダに取り付けるだけで充電できるので便利です。

● 電池パック単体とFOMA端末本体(電池パックを取り付けたもの)の両方を、卓上ホルダに取り付けて充電することもできます。この場合、先にFOMA端末本体の充電が開始され、FOMA端末本体の充電完了後に電池パック単体の充電が開始されます(同時には充電されません)。
● 電池パック N07を卓上ホルダに取り付けて充電することもできます。
● 卓上ホルダの底面には三脚用のネジ穴があります。

1 **上図のような向きでACアダプタのコネクタを卓上ホルダ背面の端子に差し込む**

2 **ACアダプタにAC電源コードを差し込み、プラグをコンセントに差し込む**

3 **FOMA端末または電池パックを卓上ホルダにしっかりと取り付ける**

FOMA端末を卓上ホルダに取り付ける場合は、ストラップをはさまないよう注意してください。

FOMA端末本体を卓上ホルダに取り付ける場合

下図の矢印①、②の順でFOMA端末を卓上ホルダにはめ込みます。確実に固定されると「カチッ」と音がして、充電がはじまります。充電中はFOMA端末の充電ランプが赤色に点灯し「▯」が点滅します。充電ランプが消灯し、「▯」が点灯すれば充電は終わりです。

充電時間の目安
約150分

電池パック単体を卓上ホルダに取り付ける場合

下図の矢印①、②の順で電池パックを卓上ホルダにはめ込みます。確実に固定されると「カチッ」と音がして、充電がはじまります。充電中は卓上ホルダの充電ランプが点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終わりです。

充電時間の目安
約150分

FOMA端末本体と電池パック単体の両方を卓上ホルダへ取り付けた場合
FOMA端末本体の充電が終わると、FOMA端末本体の充電ランプが消灯し、「 」が点灯します。その後、電池パックの充電がはじまると、卓上ホルダの充電ランプが点灯します。

4 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末または電池パックの両側を持って矢印の方向へ持ち上げ、FOMA端末または電池パックを卓上ホルダから外す

おしらせ

- 「FOMA海外兼用ACアダプタ 01」自体はAC100Vから240Vまで対応していますが、付属のAC電源コード（電源プラグが付いている方のコード）のプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

<FOMA端末を卓上ホルダに取り付けて充電する場合>

- 充電をはじめる前にFOMA端末に電池パック N07を取り付けておいてください。
- 充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って充電したときの時間です。電源を入れたまま充電することもできますが、電源を切っているときに比べて充電時間が長くなります。

DCアダプタ（別売品）で充電する

別売のFOMA DCアダプタ 01をFOMA端末に接続して充電します。DCアダプタは自動車のシガーライタソケット（DC12V/24V）から電源を供給するアダプタです。

- DCアダプタは、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対にお使いにならないでください。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 上図のような向きでDCアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

3 DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む

電源を切っている場合

充電がはじまります。充電中は充電ランプが赤色に点灯し「 」が点滅します。充電ランプが消灯し、「 」が点灯すれば充電は終わりです。

充電時間の目安
約150分

4 充電が終わったら、ボタンを押しながらDCアダプタのコネクタを水平にFOMA端末から引き抜き、DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットから抜く

5 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- 車種によりDCアダプタが取り付けられない場合があります。
- エンジンを切ったままでお使いになると、車のバッテリーを消耗させる原因となります。お使いの際は、必ずエンジンをかけておいてください。お使いにならないときや車から離れる場合は、DCアダプタをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズは、2Aを使っています。万一、ヒューズ(2A)が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って充電したときの時間です。電源を入れたまま充電することもできますが、電源を切っているときに比べて充電時間が長くなります。

電池残量

電池残量の確認のしかた

電池の残量を2つの方法で確認できます。残量の確認は目安としてご利用ください。

アイコンで確かめる

FOMA端末の電源を入れると、電池残量を示すアイコンが自動的に表示されます。アイコンの表示で電池残量を確認してください。

(緑色)：十分残っています。
(緑色)：少なくなっています。
(赤色)：ほとんど残っていません。充電することをおすすめします。→P.50

電池残量を音と表示で確認する

電池残量を音とグラフィック(絵表示)でお知らせします。

1 (Menu)▶各種設定▶「その他」▶「電池残量」の順に選ぶ

電池残量の確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約3秒たつと電池残量のグラフィックは消えます。

十分残っているとき　　少ないとき

ほとんど残っていないとき
：充電することをおすすめします。

おしらせ

- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合やマナーモード設定中は音が鳴りません。

電池が切れたとき<電池切れアラーム>

電池が切れた場合は、電池切れアラームとともに右のような画面を点滅表示して、電池が切れたことをお知らせします。電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームをとめる場合は[ホーム]、[メモ／確認]以外のいずれかのボタンを押してください。

おしらせ

- 通話中に電池が切れた場合は、電池切れ画面と「ピッピッピッ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。
- 「着信音量」の「電話／TV電話」を「消去」に設定している場合、電池切れアラームは一定の音量で鳴ります。
- 「マナーモード」に設定中で、マナーモード設定中の動作が「マナーモード」、「スーパーサイレント」の場合、または「電話着信音量」を「消去」または「低電圧アラーム」を「OFF」に設定している「オリジナルマナー」の場合、電池切れアラームは鳴りません。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

- お買い上げ後はじめてお使いになる場合(または長時間お使いにならなかった場合)は、必ず充電してからお使いください。また、充電には必ず専用のACアダプタやDCアダプタ(別売品)をお使いください。
- お買い上げのときは、日付・時刻は設定されていません。「ローカル時計設定」で設定してください。→P.57

電源を入れる

1 [PWR HLD]を1秒以上押す

日付・時刻と電池残量が表示されます(待受画面)。

「圏外」の表示が出ている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。ただし、電波が強く「」が表示されていて、移動せずに通話しているときでも、通話が切れる場合があります。

電源を入れた直後に電話帳やメール機能などを使用しようとした場合

FOMAカード読み込み中のため、起動できないことを通知するメッセージが表示される場合があります。そのような場合は、しばらくたってから操作し直してください。

待受画面に表示されている画像をほかの画像やカレンダーに変える場合

画面表示設定→P.140

PIN1コード入力を「ON」に設定している場合

PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると待受画面が表示されます。→P.155

「iアプリ待受画面」を設定している場合

「iアプリ待受画面」を起動するかどうかのメッセージが表示されます。

おしらせ

- 本FOMA端末は国際ローミングに対応しているため、電源を入れた直後は対応している電波の検索に時間がかかることがあります。なお、その間は「圏外」と表示される場合があります。

電源を切る

1 **PWR/HLDを2秒以上押す**

終了画面が表示され、電源が切れます。

iモード中に電源を切った場合

「⇆」が点滅し、電源が切れるまで時間がかかる場合があります。

ローカル時計設定／リモート時計設定

日付・時刻を合わせる

本FOMA端末の日付・時刻を合わせる　<ローカル時計設定>

お買い上げのときは日付・時刻が設定されていません。「ローカル時計設定」に日本国内の日付・時刻を設定してください。

- 日付・時刻を設定後、「リモート時計設定」を設定すると海外の時刻も表示できます。リモート時計は本機能で設定した日付・時刻を基準に表示を行いますので、本機能では必ず日本国内の日付・時刻を設定してください。
- 設定できる日付・時刻は、2003年1月1日00時00分から2099年12月31日23時59分までです。日付・時刻の表示は2099年12月31日23時59分以降進みません。
- 時計を設定すると、待受画面、イメージウィンドウ、発信／着信履歴、メールなどの機能で日付・時刻が表示されるようになります。
- 時計を設定すると、「めざまし時計」や「スケジュール」など、日付・時刻を管理する機能が使えるようになります。

<例：2005年5月12日、12時05分に設定する場合>

1 **(Menu)▶各種設定▶「時計」▶「ローカル時計設定」の順に選ぶ**

2 **年（西暦）、月、日、時刻（24時間表示）を入力する**

を押して反転表示を移動させ、ダイヤルボタンで入力します。ここでは2、0、0、5、0、5、1、2、1、2、0、5と押します。

3 **入力が終わったら●[確定]を押す**

おしらせ

- 通話中でも日付・時刻を設定することができます。
- 日付・時刻を設定しないと、TLS／SSL通信（認証）機能やiアプリ自動起動機能などの機能が使用できなかったり、再生制限・再生期間付きのiモーションの取得ができません。
- FOMA端末は内部にバックアップ電池を装備しています。設定した時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されます。ただし約2週間以上電池パックを外しているとリセットされる場合があります。そのような場合は、電池パックを充電してから、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。また、電池パックをFOMA端末に取り付けた状態で充電すると、バックアップ電池も同時に充電されます。

世界時計を設定する　<リモート時計設定>

お買い上げ時	タイムゾーン：GMT＋00　都市名：ロンドン　サマータイム：OFF

「ローカル時計設定」で設定した日本国内の日付・時刻とは別に、世界各国の都市の時刻を待受画面に表示できます。海外でご利用になるときなどに、滞在先の時刻を待受画面に表示させると便利です。必要に応じてサマータイムも設定できます。

● リモート時計を設定する前に「ローカル時計設定」(P.57)で正確な日付・時刻を設定してください。
● サマータイムを設定するとリモート時計の時刻に1時間加算して表示されます。

1 (Menu)▶各種設定▶「時計」▶「リモート時計設定」の順に選ぶ

2 「タイムゾーン」を選ぶ

サマータイムを設定する場合
「サマータイム」を選んで「ON」を選ぶ

3 設定したいタイムゾーンを選ぶ

タイムゾーンの表示名(都市名)を変更したい場合
[変更]を押してタイムゾーンの表示名(都市名)を選ぶ
なお、タイムゾーンによっては表示名(都市名)を変更できません。

リモート時計を待受画面に表示させるには
設定したリモート時計を待受画面に表示させる場合は以下の設定を行います。
<ディスプレイの待受画面に表示させる場合>
「時計表示設定」で「表示時計種別」を「ローカル＆リモート」に設定する→P.149
<イメージウィンドウの待受画面に表示させる場合>
「イメージウィンドウ」で「待受画面表示」を「ローカル＆リモート時計」に設定する→P.143

発信者番号通知サービス

相手に自分の電話番号を通知する

ご契約時	通知しない	お申し込み	不要	月額使用料	無料

相手の電話機がデジタル端末で発信者番号表示に対応している場合、音声電話やテレビ電話をかけたときにお客様の電話番号(発信者番号)を相手の電話機(ディスプレイ)へ表示させることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

● 「圏外」が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。
● テレビ電話でも発信者番号通知サービスを利用できます。
● 発信者番号通知は相手の電話機がデジタル端末で、発信者番号表示が可能なときだけご利用できます。
● 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが流れた場合は、いったん電話を切って発信者番号を「通知する」に設定するか、相手の電話番号の前に「186」または「＊31＃」をつけてかけ直せば相手に電話がかかります。
● 発信者番号通知サービスの設定にかかわらず、電話をかけるたびに通知する／しないを設定することもできます。→P.64

1 （Menu）▶サービス▶「発信者番号通知」の順に選ぶ

2 「発信者番号通知設定」を選ぶ

発信者番号通知の設定を確認する場合
「番号通知設定確認」を選ぶ

3 「通知する」を選んでネットワーク暗証番号を入力する

ネットワーク暗証番号について→P.152
発信者番号を通知しない場合
「通知しない」を選んでネットワーク暗証番号を入力する

おしらせ

● 電話番号をダイヤルしたときや、「電話帳」、「リダイヤル」または「着信履歴」で電話番号を表示させたときに、発信者番号を通知する／しないを設定することもできます。→P.112

電話番号表示

自分の電話番号を確認する

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局番号）を表示して確認できます。

1 （Menu）0を押す

「メニュー」－「ユーザデータ」の「電話番号表示」を選んでも表示できます。→P.38

おしらせ

● お客様の個人データ（名前、自宅などの電話番号や住所、メールアドレスなど）を登録することもできます。→P.426
● iモードのメールアドレスを個人データとして登録している場合、を押して登録したデータを確認できます。
● iモードのメールアドレスは、「iMenu」－「オプション設定」－「メール設定」－「アドレス確認」の順に操作すると確認できます。

●電話のかけかた／受けかた

電話をかける

電話番号をダイヤルして音声電話をかけます。

● 電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。

1 相手の市外局番からダイヤルする

同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

市外局番 － 市内局番 － 電話番号

携帯電話にかける場合

090－××××－××××
または
080－××××－××××

PHSにかける場合

070－××××－××××

26桁を超えて入力すると先頭の番号から画面に表示されなくなりますが、最大80桁まで入力して発信できます（「＋」「￥」「＃」「p」などを入力した場合も桁数にカウントされます）。

「＋」の入力について→P.68

2 [発信キー]を押す

電話番号が一度消えた後、右端から表示されて電話がかかります。

発信中は「[アイコン]」が点滅し、通話中は点灯します。

●[発信]を押しても電話をかけることができます。

「ツーツー」という話中音が聞こえる場合

相手が話し中です。[PWR HLD]を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合

相手の携帯電話またはPHSの電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。[PWR HLD]を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合

相手が番号通知お願いサービスを「開始」に設定しています。電話番号を通知しておかけ直しください。→P.58、P.64

3 お話しが終わったら[PWR HLD]を押す

おしらせ

- iモード中またはメールの送受信中でも電話をかけることができます。→P.404
- 通話中に通話中画面以外の画面を表示させた場合、[CLR]を押すと通話中画面に戻ります。
- 操作1と2が逆でも電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときは[PWR HLD]を押して表示を消してからおかけ直しください。
- 発信中または通話中に[サイドキー][ハンズフリーOn]を押すとハンズフリーに切り替わります。ハンズフリーに設定すると、相手の音声をスピーカから流して通話できます。ただし、ハンズフリーに設定すると相手の音声が周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。再度[サイドキー][ハンズフリーOff]を押すとハンズフリーを解除します。
- 通話中の相手に内蔵カメラで撮影した静止画を送信すること（スピードフォトメール）もできます。→P.263
- 回線が混雑しているときなどには、「しばらくお待ちください」と表示される場合があります。このような場合は、しばらくたってからおかけ直しください。

電話番号の入力を間違えたとき

■ 番号を挿入する場合

[左右キー]を押して挿入したい位置の１つ右の番号にカーソルを移動して番号を入力します。

■ 番号を削除する場合

[左右キー]を押して削除したい番号にカーソルを合わせて[CLR]を押します。

[CLR]を1秒以上押すと、カーソル位置を含め、その右側にあるすべての番号が削除されます。

■ 番号をすべて訂正する場合

カーソルを番号の先頭か最後に合わせて[CLR]を1秒以上押します。待受画面に戻ります。

通話中に保留にする　＜通話中保留＞

通話中の電話を保留にできます。

1 通話中にCLRを押す

相手に保留音が流れます。テレビ電話の場合は、相手に通話中保留の画像を送信します。

保留中に電話を切る場合

PWR HLDを押す

保留中に相手が電話を切った場合

通話が切れます。

2 電話に出られるようになったら、CLR、または● [通話]を押す

おしらせ

- 通話保留中に流れる保留音は「保留音選択」で設定できます。→P.80
- 通話保留中は、保留にした側のFOMA端末のスピーカからも保留音が流れます。ただし、「着信音量」の「電話／TV電話」を「消去」に設定している場合や「マナーモード」に設定中で、マナーモード設定中の動作が「マナーモード」、「スーパーサイレント」の場合、または「電話着信音量」を「消去」にしている「オリジナルマナー」の場合は、スピーカから保留音は流れません。
- 「クローズ動作設定」を「終話」以外に設定している場合は、FOMA端末を閉じても通話を保留にできます。

リダイヤル

前にかけた相手にかけ直す

リダイヤルで一度かけた音声電話やテレビ電話をかけ直すことができます。相手が話し中などで、もう一度かけ直すときに便利です。

- リダイヤルは音声電話とテレビ電話の電話番号を30件まで記憶できます。
- 同じ電話帳の同じ電話番号にかけたときは、1件として最新のものが記憶されます。
- 30件を超えた場合は、古いものから消去されます。
- シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたときは、リダイヤルに記憶されません。

1 を押してかけ直したい電話番号を選ぶ

➡

選択したリダイヤルの詳細画面が表示されます。

画面右上には「現在のリダイヤル番号／全体のリダイヤル件数」が表示されます。番号が若いほど、最近かけた電話番号となります。

前後のリダイヤルを表示する場合

リダイヤルの詳細画面でを押すたびに、2件目、3件目とリダイヤルがさかのぼって表示されます。を押すたびに、30件目、29件目と新しいリダイヤルへと順番に表示されます。

電話帳に登録した電話番号の場合

名前が登録されていると、その名前も一緒に表示されます。

2 または● [発信]を押す

テレビ電話をかける場合

を押す

3 お話しが終わったらPWR HLDを押す

次ページへつづく

おしらせ

- 「PIMロック」設定中は、電話帳に名前やアイコンが登録されている相手への電話でも、電話番号だけが記憶されます。
- 前にかけた電話番号は「発信履歴」にも記憶されます。同じ番号にかけた場合でも「発信履歴」では別の1件として、電話をかけたときの情報が記憶されます。
- 「ローカル時計設定」で日付・時刻を設定していない場合は、発信した日付・時刻が表示されません。
- リダイヤルでは発信履歴／着信履歴と同じように、機能メニューから記憶されている電話番号を電話帳に登録したりiモードメールを作成して送信したりできます。→P.75

リダイヤルを削除する　＜リダイヤル削除＞

電源を切ってもリダイヤルは削除されません。ほかの人に見られたくないときは、リダイヤルを削除してください。

1 削除したいリダイヤルを表示する

2 機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数のリダイヤルを選んで削除する場合
機能メニューから「選択削除」を選んで削除するリダイヤルを選ぶ

リダイヤルをすべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

おしらせ

- 「全削除」を行うと、「リダイヤル」と「発信履歴」の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残りますのでご注意ください。
発信履歴の削除について→P.76

186／184

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

電話をかけるたびに、電話番号を通知する場合は相手の電話番号の前に「186」を、通知しない場合は相手の電話番号の前に「184」をダイヤルします。

- 国際電話では、「186」／「184」をつけてダイヤルしても無効になりますので、「＊31＃」／「＃31＃」をつけてダイヤルするか、「発番号設定」（P.112）を利用してください。

■ **電話番号を通知する場合**

音声電話：186－相手先の電話番号－[発信]

テレビ電話：186－相手先の電話番号－[テレビ電話]

■ **電話番号を通知しない場合**

音声電話：184－相手先の電話番号－[発信]

テレビ電話：184－相手先の電話番号－[テレビ電話]

おしらせ

- 「186」の代わりに「＊31＃」、「184」の代わりに「＃31＃」をつけてダイヤルしても同じ機能となります。
- 電話番号の通知をお願いするガイダンスが流れた場合は、「186」または「＊31＃」をつけてダイヤルし直すと通話できます。
- 電話番号の前に「186」／「184」をつけて電話をかけた場合、リダイヤルや発信履歴には「186」／「184」がついた電話番号が保存されます。

プッシュ信号を手早く送り出す

FOMA端末からプッシュ信号を送って、ポケットベル*へのメッセージ送信やチケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ダイヤルデータをポーズダイヤルに登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ(p)を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

- 登録できるダイヤルデータは1件、最大128文字まで入力できます。
- ダイヤルデータに登録できる文字は0～9、#、*、ポーズ(p)です。
- ポーズ(p)をダイヤルデータの先頭に入力したり、連続して入力することはできません。
- ポーズ(p)をダイヤルデータの最後に入力すると、ダイヤルデータを登録する際に自動的に削除されます。

1 (Menu)▶各種設定▶「その他」▶「ポーズダイヤル」の順に選ぶ

すでにダイヤルデータが登録されている場合
　登録されているダイヤルデータが表示されます。

2 [編集]を押してダイヤルデータを入力する

0～9、#、*を押してダイヤルデータを入力してください。

ポーズ(p)を入力する場合
　*を1秒以上押す

ダイヤルデータをポーズダイヤルとして送信する

1 (Menu)▶各種設定▶「その他」▶「ポーズダイヤル」の順に選ぶ

ダイヤルデータを削除する場合
　機能メニューから「削除」を選ぶ

2 ● [送信]を押して送信先の電話番号をダイヤルする

「+」を入力する場合は、0を1秒以上押します。

03XXXXXXXX
発信

電話帳から電話番号を入力する場合
　電話番号の一部をダイヤルして○を押して検索する
　○を押して電話帳検索画面から検索方法を選んで検索する
　○を押して着信履歴、または○を押してリダイヤルから検索する

＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

次ページへつづく

3 または [発信]を押す

ポーズダイヤル送信
0120#

入力した電話番号に電話がかかり、呼出中になると最初のポーズ(p)までのダイヤルデータが表示されます。ポーズ(p)は表示されません。

4 または [送信]を押してダイヤルデータを送信する

または [送信]を押すたびに、ポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終えると通話中画面になります。

ダイヤルデータをまとめて送出する場合

を1秒以上押して、ポーズ送出メニューから「一括送出」を選ぶ

おしらせ

- 通話中にポーズダイヤル画面を表示させて [送信]を押すと、通話中の相手にダイヤルデータを送信できます。
- 待受画面で直接ポーズダイヤルを入力してダイヤルデータを送信することもできます。その場合は、最初に相手の電話番号をダイヤルした後、ポーズ(p)、送出したいダイヤルデータの順に入力します。入力後、 を押して電話をかけ、通話中になってから を押すと、次のポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。
- テレビ電話ではポーズダイヤルは無効となり、ポーズ以下のダイヤルデータを送信できません。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

プレフィックス設定

電話番号の前に番号を付ける

お買い上げ時	「WORLD CALL」(009130010)

国際アクセス番号など、よく使用する特定の番号(プレフィックス)をあらかじめ設定します。設定した番号は「ダイヤル入力」、「電話帳」、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」で電話をかけるときに電話番号の前につけてダイヤルできます。「発信者番号通知」などの番号を設定しておくと便利です。

- プレフィックスは7件まで登録できます。
- 番号に登録できる文字は0〜9、#、*です。

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「ネットワーク設定」▶「プレフィックス設定」の順に選ぶ

2 <未登録>を反転表示して [編集]を押す

すでに登録されているプレフィックスの内容を変更する場合

変更したいプレフィックスを反転表示して [編集]を押す

プレフィックスを1件削除する場合

削除したいプレフィックスを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

プレフィックスをすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

3 登録名を入力する

登録名は全角で8文字、半角で16文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

4 番号（プレフィックス）を入力する

番号は10桁まで入力できます。

おしらせ

- 電話帳の詳細画面、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」を表示しているときや、ダイヤル入力時に機能メニューの「プレフィックス」を選ぶと、電話番号にプレフィックスをつけることができます。
- お買い上げのときに登録されている「WORLD CALL」（009130010）は、別の内容に変更できます。

WORLD CALL

国際電話を利用する

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

・通話先は世界約220の国と地域です。
・「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAの通話料金とあわせてご請求いたします。
・お申込手数料・月額使用料は無料です。
　※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 009130−010−国番号−市外局番−相手先電話番号の順にダイヤルする

市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2 [発信キー]を押す

3 お話しが終わったら[PWR/HLD]を押す

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様※1に対し、上記ダイヤル方法の後に[テレビ電話キー]を押して発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。※2
※1： 2004年10月現在、Hutchison3GUK（イギリス）、Hutchison3GHK（香港）と通信可能。
※2： 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
※1・2：詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

おしらせ

- 「009130-010」は「プレフィックス設定」にあらかじめ登録されています。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

簡単な操作で国際電話をかけるには

国際電話をかけるときは、「009130-010（WORLD CALL）」などの国際アクセス番号と、相手先の国番号をつけてダイヤルする必要があります。
本FOMA端末では、電話帳に登録されている相手に国際電話をかけるときに便利なダイヤリングアシスト機能を搭載しています。

- ダイヤリングアシスト機能について、詳しくはP.539を参照してください。
- イタリアなど一部の国・地域に国際電話をかけるときは、市外局番の先頭の「0」が必要な場合があります。「「＋」を利用して国際電話をかける」または「プレフィックス機能で国際電話をかける」の操作を行ってください。

■「＋」を利用して国際電話をかける

先頭に「＋」をつけてダイヤルすると、「＋」を自動的に国際アクセス番号（お買い上げのときは「009130-010（WORLD CALL）」）に置き換えて国際電話をかけることができます。

- あらかじめ、「国際ダイヤル設定」（P.69）の「自動付加設定」を「自動付加」に設定し、「国際電話設定」で国際アクセス番号を設定しておく必要があります。

1　待受画面表示中に、「＋」（0わをん＋－を1秒以上押す）－国番号－市外局番－相手先電話番号の順にダイヤルする

市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2　（発信キー）または●［発信］を押す

操作1で入力した「＋」が国際アクセス番号に置き換わり、国際電話をかけるかどうか確認する画面が表示されます。

3　「発信」を選ぶ

国際電話がかかります。
「元の番号で発信」を選ぶと、操作2で置き換える前の番号に発信されます。

電話をかけるのを中止する場合
　「中止」を選ぶ

■ 国名を選んで国際電話をかける

あらかじめ設定した国名を選ぶだけで009130-010などの国際アクセス番号、国番号をダイヤルすることなく、国際電話をかけることができます。

- お買い上げのときには、「日本」のみが登録されています。日本以外の国名と国番号を追加するには、「国際ダイヤル設定」で設定してください。
- 国際電話は「国際ダイヤル設定」で「国際アクセス番号」に登録されている番号でかかります。お買い上げのときには「WORLD CALL」（009130010）が設定されています。

1　相手先の番号をダイヤルする

市外局番－相手先電話番号をダイヤルします。市外局番の先頭の「0」をダイヤルした場合は、国際電話をかけるときに自動的に削除されます。

電話帳に登録されている相手先の番号を表示する場合
　電話帳の検索のしかた→P.114

2　機能メニューから「国際電話発信」を選んで電話をかけたい国名を選ぶ

あらかじめ「国際ダイヤル設定」で相手の国名と国番号を追加してください（お買い上げのときは「日本」のみ登録されています）。

3 または●[発信]を押す

国際電話がかかります。

■プレフィックス機能で国際電話をかける

お買い上げのときには、「プレフィックス設定」に「WORLD CALL」が設定されているので、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

1 相手先の番号をダイヤルする

国番号－市外局番－相手先電話番号をダイヤルします。
市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話帳に登録されている相手先の番号を表示する場合
電話帳の検索のしかた→P.114

2 機能メニューから「プレフィックス」－「WORLD CALL」を選ぶ

3 または●[発信]を押す

国際電話がかかります。

国際電話の発信を簡単な操作でできるようにする ＜国際ダイヤル設定＞

お買い上げ時	自動付加設定：自動付加　国番号設定：「日本」(国番号：81) 国際電話設定：「WORLD CALL」(009130010)

国際電話をかけるときの「自動付加」の設定を変更したり、よく国際電話をかける相手先の国名を登録したり、国際アクセス番号を変更して「WORLD CALL」以外の国際電話サービスを利用できるように設定します。

●「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は「国際ダイヤル設定」を修正できません。

■自動付加について設定する（自動付加設定）

国際アクセス番号の自動付加について設定します。「自動付加」に設定すると、日本国内から国際電話をかけるときに、ダイヤルした「＋」が自動的に国際アクセス番号に置き換わります。→P.68

●「付加なし」に設定すると、海外でご利用中に電話帳を使って日本に電話をかけるときの「自動付加」も行われなくなります。→P.540

1 (Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「国際ダイヤル設定」の順に選ぶ

2 「自動付加設定」を選ぶ

3 「自動付加」を選ぶ

「国番号設定」に登録されている国名が表示されます。

付加しない場合
「付加なし」を選ぶ

4 「日本」を選ぶ

国名の設定は、海外で本機能を利用して電話をかけるときに有効です。
海外で利用するときの「自動付加設定」について→P.542

次ページへつづく

■ 国番号を登録する(国番号設定)

よく国際電話をかける相手先の国番号と国名を登録します。国番号は3件まで登録できます。

1 **(Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「国際ダイヤル設定」の順に選ぶ**

2 **「国番号設定」を選ぶ**

3 **<未登録>を選んで[編集]を押す**

すでに登録されている項目を変更する場合
すでに登録されている項目を選んで[編集]を押す
すでに登録されている項目を1件削除する場合
削除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ
すでに登録されている項目をすべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

4 **国名称を入力する**

国名称は全角で8文字、半角で16文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

5 **国番号を入力する**

国番号は5桁まで入力できます。
国番号について→P.531

おしらせ

- 「自動付加設定」で「自動付加」が設定された国番号は削除できません。また、いずれかの国番号に「自動付加」が設定されているときは「全削除」を行えません。

■ 国際アクセス番号の登録を変更する(国際電話設定)

日本から国際電話をかけるときに使用する国際アクセス番号を変更します。
- 国際アクセス番号に登録できる番号は1件です。「WORLD CALL」以外の国際電話サービスの国際アクセス番号を登録したいときは、その番号を登録します。

1 **(Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「国際ダイヤル設定」の順に選ぶ**

2 **「国際電話設定」を選ぶ**

登録されている国際アクセス名と国際アクセス番号が表示されます。

3 **[編集]を押して国際アクセス名を入力する**

国際アクセス名は全角で8文字、半角で16文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

4 **国際アクセス番号を入力する**

番号は10桁まで入力できます。

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時	ON

電話番号に含まれる「＊」を区切り文字とし、「＊」以降をサブアドレスとして認識するように設定できます。サブアドレスはISDNで特定の通信機器へ指定着信するときや「M-stageVライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

1 **(Menu)▶各種設定▶「その他」▶「サブアドレス設定」の順に選ぶ**

サブアドレス機能を有効にする場合
「ON」を選ぶ
サブアドレス機能を無効にする場合
「OFF」を選ぶ

おしらせ

- 次のような場合、「＊」はサブアドレスの区切り文字にはなりません。「＊」も含めて普通の電話番号として認識されます。
  - 電話番号の先頭に「＊」がある場合
  - 電話番号の先頭に「186／184」があり、その直後に「＊」がある場合
  - 「プレフィックス」で入力した番号の直後に「＊」がある場合

途切れた通話を自動的に接続する

お買い上げ時	アラームなし

FOMA端末は音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなって通話が途切れても、すぐに電波の状態がよくなった場合には自動的に通話を再接続します。本機能では通話を再接続したときのアラームの鳴りかたを設定できます。

- 本機能の設定にかかわらず、iモード中はアラームは鳴りません。
- ご利用状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。約10秒間が目安です。
- 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 **(Menu)▶** **▶「通話」▶「再接続機能」の順に選ぶ**

アラームを鳴らさない場合
「アラームなし」を選ぶ
高音のアラームを鳴らす場合
「アラーム高音」を選ぶ
低音のアラームを鳴らす場合
「アラーム低音」を選ぶ

おしらせ

- 再接続されるまでの間(最長約10秒間)も通話料金がかかります。
- 電波が途切れている間、相手は無音状態となります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時	ON

ノイズキャンセラとは、周囲の騒音を抑える機能です。周囲に騒音がある場所でも、音声通話やテレビ電話の声を相手に聞きやすくすることができます。

1 **(Menu)▶[各種設定]▶「通話」▶「ノイズキャンセラ」の順に選ぶ**

ノイズキャンセラを有効にする場合
「ON」を選ぶ

ノイズキャンセラを無効にする場合
「OFF」を選ぶ

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す<オプション>

ハンズフリー対応機器(カーナビゲーションなど)とFOMA端末を接続することで、ハンズフリー対応機器から音声電話やテレビ電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器を接続し、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を「消去」に設定中でも、音声電話／テレビ電話やメールなどの着信時にはハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ドライブモード設定中の着信動作は、「ドライブモード」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ」の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器を接続し、FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。

※ 本機能は、ハンズフリー対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。2004年10月現在、ハンズフリー対応機器はリリースされておりません。

電話を受ける

かかってきた音声電話を受けます。

1 電話がかかってきたら[通話キー]または● [通話]を押して、電話を受ける

電話がかかってくると着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
「バイブレータ」を「OFF」以外に設定している場合は、振動でもお知らせします。
イメージウィンドウでも相手の名前などを表示してお知らせします。
→P.36

着信中に意図的に電話を切りたい場合
機能メニューから「着信拒否」を選ぶ

着信中の電話を転送する場合
機能メニューから「転送でんわ」を選ぶ
「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。

着信中の電話を留守番電話サービスセンターへ接続する場合
機能メニューから「留守番電話」を選ぶ
「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターに接続します。

ハンズフリーに切り替える場合
通話中に[サイドキー][スピーカーON]を押す

2 お話しが終わったら[電源/終話キー]を押す

おしらせ

- [通話キー]、● [通話]以外に[0]～[9]、[*]、[CLR]、[マルチカーソルキー]、[サイドキー]、[サイドキー]のいずれかのボタンを押しても電話を受けることができます（エニーキーアンサー）。ただし、FOMA端末を閉じた状態で[サイドキー][ホーム]を押したときは、通話中保留の状態になります。また、ボタンを押すと着信音だけがとまるように設定することもできます。→P.74
- 着信中に[#]または[サイドキー][メモ／確認]を押すと、「マナーモード」になり、同時に「伝言メモ」へ移り、相手の用件を録音できます。→P.85
- 電話帳に登録されている相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、電話番号と相手の名前が表示されます。また、電話帳に画像が登録されている場合は、その画像が表示されます。ただし、シークレットデータとして登録されている場合（P.161）は名前や画像は表示されず、電話番号のみが表示されます。また、電話番号を通知してこない相手の場合は、その理由（発信者番号非通知理由）（P.166）が表示されます。
- 電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。→P.168
- 電話帳に登録されていない電話番号から着信があった場合、着信があった時点から呼び出し動作を開始する（着信を知らせる）までの無音時間を設定できます。→P.167
- 「指定着信拒否」に設定した電話番号からの着信は受けることはできません。また、「指定着信許可」に設定した電話番号以外の着信は受けることはできません。→P.164
- 電話の着信は「着信履歴」に30件まで記憶されます。相手が電話番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が表示されます。
- 「キャッチホン」をご契約いただき、「着信動作選択」を「通常着信」に、「キャッチホン」を「開始」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が鳴り、次の動作が可能です。
  - ・通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。
  - ・「留守番電話サービス」をご契約されている場合は、留守番電話サービスセンターへ転送できます。
  - ・「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、転送先へ転送できます。

  詳しくはP.448を参照してください。
- 転送されてきた電話の場合は、転送元と発信元の電話番号が表示されます。ただし、転送元によっては転送元の電話番号が表示されないことがあります。
- ビル電話など、ダイヤル市外通話のできない電話機からFOMA端末へ電話をかけることはできません。

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時	エニーキーアンサー

電話がかかってきたとき、[発信キー]以外でも電話を受けられるように設定します。また、すぐに着信音をとめられるように設定することもできます。周囲に迷惑がかかるような場所で電話がかかってきた場合などに便利です。
設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	内容
エニーキーアンサー	音声電話がかかってきたとき、[発信キー]、●[通話]以外にも[0]～[9]、[*]、[CLR]、[方向キー]、[サイドキー]、[サイドキー]のいずれかのボタンを押すと、すぐに電話に出ることができます。ただしテレビ電話の場合は無効になります。
クイックサイレント	音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、[0]～[9]、[*]、[CLR]、[方向キー]、[サイドキー]、[サイドキー]のいずれかのボタンを押すかFOMA端末を開くと、着信音およびバイブレータがとまります。着信音をとめても相手には呼び出し音が鳴ったままです。音声電話の場合は、[発信キー]または●[通話]を押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合は、[テレビ電話キー]を押すとカメラ映像で、[発信キー]または●[通話]を押すと代替画像で電話に出ることができます。
OFF	音声電話がかかってきた場合は、[発信キー]または●[通話]を押したときのみ電話に出ることができます。テレビ電話がかかってきた場合は、[テレビ電話キー]、[発信キー]、●[通話]のいずれかのボタンを押したときのみ電話に出ることができます([発信キー]、●[通話]を押したときは代替画像でテレビ電話に出ます)。

1 [Menuキー](Menu)▶[各種設定]▶「着信」▶「着信アンサー設定」の順に選ぶ

エニーキーアンサーで電話を受ける場合
「エニーキーアンサー」を選ぶ

クイックサイレントで電話を受ける場合
「クイックサイレント」を選ぶ

[発信キー]、●[通話]、[テレビ電話キー]のみで電話を受ける場合
「OFF」を選ぶ

おしらせ

- 「クイックサイレント」に設定していても、「マナーモード」設定中は「エニーキーアンサー」として機能します。
- 本機能を「クイックサイレント」に設定していても、テレビ電話および「電話帳画像着信設定」を「ON」に設定しているときに電話帳に画像を登録している相手から電話がかかってきた場合や着モーションを設定している場合は、「クイックサイレント中」というメッセージは表示されません。

FOMA端末を折り畳んで通話を終了／保留する

お買い上げ時	終話

音声通話中やテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	内容
ミュート	音声電話の場合、音声をミュート（消音）します。テレビ電話の場合、音声をミュートして相手側に「代替画像」（P.96）を送信します。保留音は流れません。FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。ただし、通話中保留の状態から閉じて再度開いた場合は、通話中の状態となります。
保留音	通話を保留（通話中保留）にします。音声電話の場合、折り畳んでいる間相手に「保留音選択」で設定した保留音が流れます。また、自分のFOMA端末のスピーカからも保留音が流れます。テレビ電話の場合、「保留音選択」で設定した保留音が流れ、相手側に通話中保留画像（P.96）を送信します。FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。ただし、通話中保留の状態から閉じて再度開いた場合は、通話中の状態となります。
終話	通話を終了します。[PWR/HLD]を押す操作と同じです。

● スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合、本機能は無効になり、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。ただし、カメラ映像でテレビ電話を使用している場合は、FOMA端末を折り畳むと代替画像に切り替わります。

1 **（Menu）▶[各種設定]▶「着信」▶「クローズ動作設定」の順に選ぶ**

FOMA端末を折り畳んだとき音声を消す場合
「ミュート」を選ぶ

FOMA端末を折り畳んだとき保留音を流す場合
「保留音」を選ぶ

FOMA端末を折り畳んだとき通話を終了する場合
「終話」を選ぶ

おしらせ

● 「ミュート」または「保留音」に設定していても、音声メモの録音中は無効になります。
● 「保留音」に設定していても、「キャッチホン」で切り替え通話しているときにFOMA端末を折り畳むと「ミュート」の設定と同じ動作になります。

発信履歴／着信履歴を利用する

電話をかけた相手や、かかってきた相手の電話番号や日付・時刻などの情報は発信履歴／着信履歴として記憶されます。また、電話に出られなかった場合は不在着信履歴として記憶されます。発信履歴／着信履歴／不在着信履歴は、音声電話／国際電話／テレビ電話／国際テレビ電話／パケット通信をアイコンで区別して表示するので、ひとめで履歴の種類がわかります。

● 発信履歴／着信履歴は音声電話とテレビ電話（国際電話／国際テレビ電話を含む）の履歴を30件、パケット通信の履歴を30件、合計60件までそれぞれ記憶できます。
● 履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に消去されます。
● テレビ電話中は、発信履歴／着信履歴を表示できません。
● パケット通信の着信は発信元の接続先（APN）が表示されます。
● 「ローカル時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合は、日付・時刻は記憶されません。
● FOMA端末を閉じた状態で不在着信履歴をイメージウィンドウで確認することもできます。→P.37

次ページへつづく

発信履歴とリダイヤルとの違い

発信履歴とリダイヤルでは次のような違いがあります。

	発信履歴	リダイヤル
記憶する履歴の種類	音声電話、国際電話、テレビ電話、国際テレビ電話、パケット通信	音声電話、国際電話、テレビ電話、国際テレビ電話
同じ電話番号に電話をかけた場合	別の1件として記憶する	古いリダイヤルを消去して最新の1件として記憶する

※：「全削除」を行うと、「リダイヤル」と「発信履歴」の両方がすべて削除されます。発信履歴を「1件削除」、「選択削除」してもリダイヤルからは削除されず、履歴が残りますのでご注意ください。
リダイヤルの削除について→P.64

＜例：着信履歴を利用する場合＞

1 (Menu)▶ ▶「着信履歴」の順に選ぶ

を押しても着信履歴を呼び出すことができます。

発信履歴を利用する場合
「発信履歴」を選ぶ

2 着信履歴の種類を選ぶ

すべての着信履歴を表示する場合
「全着信」を選ぶ

不在着信履歴だけを表示する場合
「不在着信」を選ぶ
未確認件数とは内容を確認していない履歴の件数を表します。

3 確認したい履歴を選ぶ

履歴を1件削除する場合
削除したい履歴を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数の履歴を選んで削除する場合
機能メニューから「選択削除」を選んで削除する履歴を選ぶ

履歴をすべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

全着信履歴の一覧画面から不在着信の呼出時間を表示する場合
機能メニューから「呼出時間表示」を選ぶ
一覧画面には不在着信のみが表示され、各不在着信履歴の呼出時間が表示されます。CLRを押すと着信履歴の一覧画面に戻ります。

4 履歴の内容を確認する

画面右上には「現在の履歴番号／全体の履歴件数」が表示されます。履歴番号が若いほど新しい履歴となります。
不在着信の場合は、日時の横に呼出時間が表示されます。

前後の履歴を確認する場合
- またはを押す
- を押すと前（新しい）の履歴に、を押すと次（古い）の履歴に切り替わります。
- ただし、発信履歴の場合は、を押すと前（新しい）の履歴に、を押すと次（古い）の履歴に切り替わります。

履歴に表示されている電話番号に音声電話をかける場合
- 音声電話をかけたい履歴を表示させてを押す

履歴に表示されている電話番号にテレビ電話をかける場合
- テレビ電話をかけたい履歴を表示させてを押す

テレビ電話中に送信する画像を設定する場合
- 機能メニューから「TV電話画像選択」を選ぶ
- 「自画像」を選ぶと内側カメラの映像が送信されます。そのほかの代替画像についてはP.96を参照してください。

履歴に表示されている電話番号を電話帳に登録する場合
- 登録したい電話番号を表示させて機能メニューから「電話帳登録」を選ぶ
- 電話帳の登録のしかた→P.103

履歴からiモードメールを送信する場合
- iモードメールを送信したい履歴を表示させて機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ
- 履歴の電話番号が登録されている電話帳のメールアドレスが宛先に入力された状態の新規メール作成画面が表示されます。
- iモードメールの作成のしかた→P.248

発信履歴／着信履歴アイコン

- 電話：音声電話の発信／着信があったことを示します。
- INT'L電話：国際電話の発信／着信があったことを示します。
- TV電話：テレビ電話の発信／着信があったことを示します。
- TV INT'L電話：国際テレビ電話の発信／着信があったことを示します。
- 遠隔：遠隔監視の着信があったことを示します。
- パケット：パケット通信の発信があったことを示します。
- パケット：パケット通信からの着信があったことを示します。

不在着信履歴アイコン

- 不在：かかってきた音声電話に出なかったことを示します。
- INT'L不在：かかってきた国際電話に出なかったことを示します。
- 不在 伝言：かかってきた音声電話に出なかったため「伝言メモ」に相手の用件が録音されていることを示します。
- INT'L不在 伝言：かかってきた国際電話に出なかったため「伝言メモ」に相手の用件が録音されていることを示します。
- TV不在：かかってきたテレビ電話に出なかったことを示します。
- TV INT'L不在：かかってきた国際テレビ電話に出なかったことを示します。
- TV不在 伝言：かかってきたテレビ電話に出なかったため「伝言メモ」に相手の用件が録音されていることを示します。
- TV INT'L不在 伝言：かかってきた国際テレビ電話に出なかったため「伝言メモ」に相手の用件が録音されていることを示します。
- TV不在 遠隔：遠隔監視としてかかってきたテレビ電話がつながらなかったことを示します。
- 不在（パケット）：パケット通信からの着信に出なかったことを示します。
- 不在 接続ナシ：パソコンなどの外部機器を接続していないときにパケット通信からの着信を受け取らなかったことを示します。
- 不在（未確認）：不在着信履歴のうち、内容を確認していない不在着信であることを示します。
- INT'L不在（未確認）：不在着信履歴のうち、内容を確認していない国際不在着信であることを示します。
- TV INT'L不在 接続ナシ：GSM／GPRSネットワーク利用時にテレビ電話の着信があったことを示します。

次ページへつづく

おしらせ

<共通>
- 電源を切っても、発信履歴／着信履歴は削除されません。発信／着信した電話番号をほかの人に見られたくない場合は、履歴を削除するか、「履歴表示設定」の「着信履歴」および「リダイヤル／発信履歴」を「OFF」に設定してください。
- 着信履歴の表示中に電話の着信があった場合は、履歴データが更新され「情報更新中」というメッセージが表示される場合があります。メッセージ表示中はほかの履歴に切り替えることはできません。
- 「PIMロック」を設定している場合は、電話帳に名前が登録されている相手の発信／着信でも電話番号だけが記憶されます。

<発信履歴>
- シークレットデータとして登録された電話帳を「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で呼び出して電話をかけても、発信履歴には記憶されません。
- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」を設定すると、それまでの発信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後にかけた電話は発信履歴に記憶されます。

<着信履歴>
- 「不在着信」、「未確認件数」は不在着信がない場合は表示されません。
- 未確認の不在着信の件数は、その内容を確認すると1件ずつ減っていきます。
- 電話番号を通知してきた電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が着信履歴に表示されます。電話番号を通知してこなかった場合は、非通知理由(P.166)が表示されます。
- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」を設定すると、それまでの着信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後に受けた電話は着信履歴に記憶されます。
- 「指定発信制限」を設定しているときに、「指定発信制限」に設定されている電話帳以外の相手から電話がかかってきた場合は、電話番号のみ記憶されます。
- 「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定している場合、呼出動作開始時間内の不在着信は、着信履歴に表示されません。→P.167
- 相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号とは異なった番号が表示されることがあります。
- パケット通信の着信履歴から電話帳に登録したり、新規メールを作成することはできません。

受話音量

相手の声の音量を調節する

お買い上げ時	レベル4

通話中の相手の声の大きさを「レベル1」(最小)～「レベル6」(最大)の6段階で調節できます。

- テレビ電話中やハンズフリーのときも調節できます。
- 着信中は調節できません。
- 通話中および待受中に設定した音量レベルは、電源を切っても保持されます。

通話中に調節する

<例：音声通話中の場合>

1 通話中に[▲][ホーム]または[▼][メモ／確認]を押す

「ピッ」という音が鳴り、受話音量画面が表示されます。
[○]または[○]を1秒以上押しても受話音量画面を表示できます。

2 受話音量を調節する

現在の音量レベル

音量を1レベル上げる場合
[▲][ホーム]を押す

音量を1レベル下げる場合
[▼][メモ／確認]を押す

[▲][ホーム]または[▼][メモ／確認]を1秒以上押すと音量を連続的に調節できます。
受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、通話中の画面に戻ります。

おしらせ

- テレビ電話中の場合は、[○]または[○]を押して受話音量画面を表示し、[○]または[○]で受話音量を調節します。

待受中に調節する

1 **待受中にⓄまたはⓄを1秒以上押す**

2 **ⓄまたはⓄを押して受話音量を調節する**

音量を1レベル上げる場合
　Ⓞを押す
音量を1レベル下げる場合
　Ⓞを押す
ⓄまたはⓄを1秒以上押すと音量を連続的に調節できます。
受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、待受画面に戻ります。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

着信中、すぐに電話に出られないときは、応答保留して相手にしばらく待ってもらうことができます。
● 応答保留中でも、相手に通話料金がかかります。

1 **着信中に[PWR HLD]を押す**

音声電話の場合

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。
相手には現在応答できない旨のガイダンスが流れ、電話がつながった状態のまま保留されます。
応答保留中に電話を切る場合
　[PWR HLD]を押す
応答保留中に相手が電話を切った場合
　通話が切れます。

2 **電話に出られるようになったら、[通話キー]または● [通話] を押す**

「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は[0]～[9]、[*]、[#]、[CLR]、[メール]、[マルチファンクション]、[左ソフト]、[右ソフト]、[▲]、[▼]を押しても電話に出ることができます。

おしらせ

● 応答保留中に流れるガイダンスは「保留音選択」で設定できます。→P.80
● 「着信音量」の「電話／TV電話」を「消去」に設定している場合や「マナーモード」に設定中は、応答保留にしたときの「ピッピッピッ」という音は鳴りません。ただし、「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は音が鳴ります。
● 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、着信中に機能メニューから「留守番電話」または「転送でんわ」を選ぶと、留守番電話サービスセンターへの接続や転送先への転送ができます。
● 応答保留中は、イメージウィンドウに応答保留中のアニメーションが表示されます。

応答保留音／通話中保留音を設定する

お買い上げ時	応答保留音：応答保留音1　通話中保留音：エリーゼのために

音声電話やテレビ電話の応答を保留にしたときや、通話中の電話を保留したときに流れるガイダンスを設定できます。
設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	ガイダンスの種類	ガイダンスの内容
応答保留音	応答保留音1	「ただいま電話に出ることができません。このままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください」
	応答保留音2	「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください」
	おしゃべり1、2※	「おしゃべり機能」で録音した内容→P.128
通話中保留音	エリーゼのために	－
	おしゃべり1、2※	「おしゃべり機能」で録音した内容→P.128

※：「おしゃべり機能」で音声が録音されていない場合は設定できません。

1 (Menu)▶各種設定▶「通話」▶「保留音選択」の順に選ぶ

2 保留音を設定する状況を選ぶ

応答保留音を設定する場合
「応答保留音」を選ぶ
通話中保留音を設定する場合
「通話中保留音」を選ぶ

3 設定したいガイダンスを選ぶ

ガイダンスを聞く場合
[デモ]を押す
ガイダンスが1回再生されます。
CLRを押すとガイダンスを途中でとめることができます。

運転中に電話を受けないようにする

ドライブモード（運転中ガイダンス機能）は、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードに設定すると、相手に運転中のため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れて通話を終了します。

● ドライブモードの設定／解除ができるのは、待受画面表示中のときのみです。画面に「圏外」が表示されているときも設定／解除はできます。
● ドライブモードを設定していても電話をかけることができます。

1 待受画面表示中に[＊]を1秒以上押す

ドライブモードに設定したことを通知するメッセージが表示され、待受画面に「[ドライブモードアイコン]」が表示されます。

ドライブモードを解除する場合

ドライブモードが設定されている状態で、待受画面表示中に[＊]を1秒以上押す
ドライブモードを解除したことを通知するメッセージが表示され、「[ドライブモードアイコン]」の表示が消えます。

■ ドライブモード設定中の着信動作

ドライブモード設定中にお客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話がかかってきたり、メールやメッセージを受信しても着信音、着信ランプ、バイブレータなどの着信動作は行われません。音声電話やテレビ電話の着信は、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。また、メールを受信したときは、「新着メールあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
音声電話をかけてきた相手には運転中のため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ通話を終了します。
テレビ電話をかけてきた相手には、画面に運転中のため電話に出られないことを通知するメッセージが表示されて通話を終了します。ただし、電源が入っていない場合や画面に「圏外」が表示されている場合は、運転中の通知はされずに「圏外」が表示されているときと同じガイダンスが流れます。

■ 各ネットワークサービスとドライブモード設定中の着信動作

ドライブモードと各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、次のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に運転中のガイダンスを流した後、伝言メッセージをお預かりします。※1	テレビ電話では留守番電話サービスを利用できません。相手には運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。
転送でんわサービス	相手に運転中のガイダンスを流した後、転送先に転送します。※2	テレビ電話でも転送でんわサービスを利用できます。転送でんわサービスが優先され、かかってきたテレビ電話をすぐに転送先に転送します。※3
迷惑電話ストップサービス	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に着信拒否ガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に運転中のガイダンスを流した後、通話を終了します。	テレビ電話でも迷惑電話ストップサービスを利用できます。 ・迷惑電話拒否登録している電話番号の場合は、迷惑電話ストップサービスが優先され、相手に着信拒否ガイダンスを流さずに通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に運転中のガイダンスを流した後、通話を終了します。	テレビ電話でも番号通知お願いサービスを利用できます。 ・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流さずに通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。

※1：留守番電話サービスの呼出時間を0秒に設定している場合、ドライブモードガイダンスは流れません。
※2：転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合、ドライブモードガイダンスは流れません。
※3：転送先を3G-324M（P.88）に準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。

次ページへつづく

おしらせ

- マナーモード設定中にドライブモードを設定している場合は、ドライブモードが優先されます。
- 「伝言メモ」(P.83)を「ON」に設定していてもドライブモードが優先され、「伝言メモ」は無効となります。
- ドライブモード設定中に緊急通報番号(110番、119番、118番)へ音声電話をかけると、ドライブモードを解除することを通知するメッセージが表示され、ドライブモードが解除されます。
- ドライブモード設定中には、次の音が鳴りません。
  - ・音声電話／テレビ電話着信音
  - ・メッセージリクエスト／フリー着信音
  - ・スケジュールのアラーム音
  - ・電池切れアラーム音
  - ・iアプリのソフトの鳴動
  - ・メール着信音
  - ・めざましのアラーム音
  - ・ToDoのアラーム音
  - ・充電確認音

電話のかけかた／受けかた

不在着信や新着メールを確認する

FOMA端末を折り畳んだままで、不在着信や新着メールがあるかどうかを、音や振動、着信ランプの点灯／点滅で確認できます。

- 本機能は待受画面に「不在着信あり」または「新着メールあり」のデスクトップアイコンが表示されているときに「あり」としてお知らせします。→P.139
- 次のような場合、本機能で不在着信や新着メールを確認できません。
  - ・オールロック設定中
  - ・PIMロック設定中
  - ・サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定している場合
  - ・確認機能設定を「OFF」に設定している場合

確認結果のお知らせのしかたを設定する ＜確認機能設定＞

お買い上げ時	電子音

1 **(Menu)▶各種設定▶「着信」▶「確認機能設定」の順に選ぶ**

電子音で知らせる場合
「電子音」を選ぶ

声(ボイスモニター)で知らせる場合
「ボイス」を選ぶ

確認の機能をOFFにする場合
「OFF」を選ぶ

不在着信や新着メールがあるか確認する

FOMA端末を折り畳んだ状態で▼[メモ／確認]を押すと、不在着信や新着メールを確認できます。
確認動作は次のとおりです。

確認機能設定	不在着信や新着メールがある場合		不在着信や新着メールがない場合	
	音と振動	着信ランプの色	音と振動	着信ランプの色
電子音	「ピピ、ピピ」という音が鳴り、約1秒間振動します。	「着信イルミネーション」の「電話」、「メール」でそれぞれ設定されている色が約5秒間点灯します。不在着信、新着メールが両方あるときは、それぞれの色※が交互に点滅します。	「ピピピ」という音が鳴り、約0.2秒間振動します。	着信ランプが「色12」で約5秒間点滅します。
ボイス（ボイスモニター）	「ピピ」という音が鳴った後、「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」と声で知らせ、約1秒間振動します。			

※：「着信イルミネーション」の点滅色が「グラデーション」に設定されている場合は、不在着信は「色5」、新着メールは「色1」で点滅します。

おしらせ

- iモードセンターに蓄積されている新着メールを本機能で確認することはできません。
- ボイスモニターの声はFOMA端末を開くか、▲[ホーム]または▼[メモ／確認]のいずれかを押すことでとまります。
- 「ボイス」の音量は「着信音量」の「電話／TV電話」で設定した音量になります。「ステップ」に設定されている場合は「レベル2」の音量になります。「消去」に設定されている場合は音が鳴りません。
- 「バイブレータ」の「電話」を「OFF」に設定している場合は振動しません。
- 「マナーモード」に設定中は音が鳴らず、振動でお知らせします。ただし、「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は音が鳴り、「バイブレータ」を「OFF」に設定している場合は振動しません。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

お買い上げ時	伝言メモ：OFF　応答メッセージ：標準　呼出時間：8秒

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音しておくことができます。

- 録音する前に流れる応答メッセージを選ぶことができます。
- 録音できる件数は5件、録音時間は1件につき約20秒間です。
- 伝言メモを「ON」に設定していなくても、「クイック伝言メモ」で伝言メモを開始することができます。

伝言メモを設定する

1 **(Menu)▶アクセサリ▶「伝言メモ」の順に選ぶ**

2 **設定したい項目を選ぶ**

伝言メモを設定する場合
「ON」を選ぶ
操作3に進んでください。

伝言メモを設定しない場合
「OFF」を選ぶ

次ページへつづく

3 応答メッセージを選ぶ

標準　：「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に20秒以内でお名前とご用件をお話しください。なお、テレビ電話の場合でも音声メッセージのみのお預かりとなります。」と流れます。
プライベート　：「せっかく電話をもらったけど、いま出られません。ピーッという発信音の後にメッセージを入れてね。テレビ電話のときも声しか入らないの。ごめんね。」と流れます。
英語　：「I can't take your call now. Please leave the message. When you call by video phone, you can leave a voice message.」と流れます。
おしゃべり1、2：「おしゃべり機能」(P.128)で録音した音声が流れます。
録音されていないときは「おしゃべり1」、「おしゃべり2」は表示されません。
応答メッセージを反転表示して[デモ]を押すとメッセージがスピーカから流れます。

4 呼出時間を000〜120秒の範囲で入力する

呼出時間設定
呼出時間（秒） 000〜120？ 020

時間は3桁で入力します。000〜120以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。
3桁の時間を入力すると、自動的に伝言メモが設定され、待受画面に「」が表示されます。

表示されている時間をそのまま設定する場合
時間を入力しないで●[確定]を押す

おしらせ

- 伝言メモの呼出時間は「遠隔監視設定」または「オート着信」の応答時間と同じ時間に設定することはできません。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を同時に設定しているときに伝言メモを優先させるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- 「電話帳便利機能」で電話番号ごと、「グループ便利機能」でグループごとに応答メッセージを設定することもできます。

伝言メモを設定したときは

設定した時間を経過すると伝言メモが開始され、相手には設定した応答メッセージが流れます。テレビ電話の場合は「伝言メモ/Record Msg.　<音声録音中/Voice Only>」のメッセージ画像も送信します。

伝言メモの録音がはじまると、録音中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。

音声電話に出る場合
　または●[通話]を押す

テレビ電話に出る場合
カメラ映像で出るときはを押し、代替画像で出るときはまたは●[通話]を押す

録音が終わると元の画面に戻り、待受画面には「不在着信あり」と「伝言メモあり」のデスクトップアイコンが表示されます。
1件録音されると「」が「」の表示に変わり、2件録音されると「」、3件録音されると「」・・・と表示されます。
伝言メモの再生／消去のしかた→P.85
待受画面の「伝言メモあり」アイコンから伝言メモを再生するには→P.139

おしらせ

- 「伝言メモ」を「ON」に設定していてもドライブモードが優先され、「伝言メモ」は無効となります。
- 「圏外」が表示されているときは伝言メモを利用できません。
- テレビ電話がかかってきたときも、音声のみの伝言メモとして録音されます。
- 「PIMロック」設定中は、本機能の設定は「OFF」となり、「 」および「伝言メモあり」のデスクトップアイコンは表示されません。
- 録音件数が5件になると、次にかけてきた相手の用件を伝言メモで録音することはできません。また、相手に応答メッセージも流れません。次の用件を録音できるようにするには、すでに録音されている伝言メモを消去してください。→P.86
- 「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している場合は、本機能の設定よりも「オリジナルマナー」の「伝言メモ」の設定が優先されます。本機能を「ON」に設定していなくても、「オリジナルマナー」の「伝言メモ」を「ON」に設定している状態でマナーモードに設定しておけば、伝言メモで相手の用件を録音できます。ただし、伝言メモがすでに5件録音されているときは、マナーモードで設定した動作で着信します。
- 「留守番電話サービス」を設定している場合は、伝言メモが5件録音されているとき、留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。
- 伝言メモの録音中はほかの電話がかかってきても受けることができません。ほかの電話には話中音が流れます。
- 相手が電話番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が表示されます。

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いします。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを「ON」に設定していなくても、着信中にボタン1つで伝言メモを起動することができます。

1 着信中に[#]または[▾][メモ／確認]を押す

伝言メモの録音が開始され、同時にマナーモードに設定されます。

おしらせ

- 本機能は着信のつど用件を録音します。ただし、この操作は1回のみ有効で、「伝言メモ」を「ON」に設定することはできません。自動的に用件を録音するには、「伝言メモ」で行ってください。
- マナーモード設定中の動作が「オリジナルマナー」で「伝言メモ」を「OFF」に設定していても、伝言メモに移ります。
- 「伝言メモ」がすでに5件録音されている場合は、「伝言メモ」には移らずに「マナーモード選択」で設定したマナーモード設定中の動作になります。
- 通話が終わってもマナーモードに設定されたままです。マナーモードを解除するには[#]を1秒以上押してください。
- 「PIMロック」設定中は、マナーモードに設定しても伝言メモには移りません。

伝言メモ・音声メモを再生／消去する

「伝言メモ」や「音声メモ」で録音した内容を再生したり消去したりできます。

伝言メモ・音声メモを再生する

音声電話からの伝言メモは「電話」、テレビ電話からの伝言メモは「電話」が表示されます。また音声メモが録音されている場合は「★」が表示されます。

- 相手が電話番号を通知してきた伝言メモは、再生中に相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されている場合は名前も表示されます。

次ページへつづく

1 (Menu)▶アクセサリ▶「メモの再生／消去」の順に選ぶ

2 再生する項目を選ぶ

「ピッ」という音が鳴って再生がはじまります。再生が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。

次のメモを再生する場合

[メモ／確認]を押す
[メモ／確認]を押すごとに、新しい順でメモが再生されます。音声メモは一番古い伝言メモの次に再生されます。

再生を途中でとめる場合

CLRまたは●[停止]を押す

再生中に表示されている電話番号に電話をかける場合

を押す

再生中に表示されている電話番号にテレビ電話をかける場合

を押す

再生中のメモを消去する場合

[消去]を押す

おしらせ

- 待受画面表示中に[メモ／確認]を押しても、メモを再生できます。
- 「伝言メモ」と「音声メモ」が1件も録音されていない場合は、録音されていないことを通知するメッセージが表示されます。

伝言メモ・音声メモを消去する

1 (Menu)▶アクセサリ▶「メモの再生／消去」の順に選ぶ

2 消去したい項目を反転表示して機能メニューから「1件消去」を選ぶ

「伝言メモ」をすべて消去する場合

「伝言メモ全消去」を選ぶ

すべてのメモを消去する場合

「全消去」を選ぶ

おしらせ

- メモの再生中に[消去]を押すと、再生中のメモを消去できます。

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いします。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

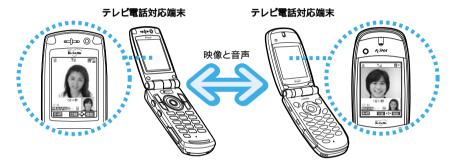
テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでご利用いただけます。また、自分の映像の代わりに静止画やメッセージなどの代替画像、キャラ電などを送信することもできます。

● 機種が違っていてもドコモのテレビ電話対応端末どうしならテレビ電話機能を利用することができます。

● ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2：3G-324M
第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

● テレビ電話は、64kbpsの通信速度で行います。

テレビ電話画面の見かた

① 親画面です。お買い上げのときは相手側のカメラ映像が表示されます。
② 子画面です。お買い上げのときは自分側のカメラ映像が表示されます。
③ 通話時間を示します。
④ 現在の時刻を示します。
⑤ テレビ電話の各種機能の設定内容を示します。

- ：テレビ電話通信中
- ：音声送受信中
- ：音声送受信失敗
- ：映像送受信中
- ：映像送受信失敗
- ：カメラ映像送信中
- ：「画像選択」で設定した代替画像送信中
- ：キャラ電送信中
- ：ハンズフリーOFF
- ：ハンズフリーON
- ：撮影モード／接写
- ：撮影モード／風景
- ：撮影モード／ポートレート
- ：キー操作／DTMFモード※
  ※：DTMFについてはP.556を参照してください。
- ：キー操作／全体アクションモード
- ：キー操作／パーツアクションモード

テレビ電話をかける

テレビ電話をかけると、かけた相手には内側カメラの映像を送信します。テレビ電話中に◉[切替]を押して外側カメラに切り替えてその映像を送信することもできます。また、カメラ映像の代わりにほかの画像(代替画像など)を送信するように設定することもできます。
→P.96

- 相手の顔を見ながら通信するには、ハンズフリーに切り替えるかスイッチ付イヤホンマイクを使用します。スイッチ付イヤホンマイクについて詳しくは、P.435を参照してください。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用することができます。→P.67
- 音声や映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度テレビ電話をかけ直してください。

<例:ハンズフリーに切り替える場合>

1 相手の市外局番からダイヤルする

同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
市外局番 ー 市内局番 ー 電話番号

携帯電話にかける場合
090ー××××ー××××
または
080ー××××ー××××

PHSにかける場合
070ー××××ー××××

2 (テレビ電話キー)を押してテレビ電話をかける

この画面からデジタル通信料がかかります。

テレビ電話発信中は「TV64」が点滅し、通話中は点灯します。

3 テレビ電話がつながったら(ソフトキー)[スピーカーon]を押してハンズフリーに切り替える

「(ハンズフリーアイコン)」が表示され、相手の音声がスピーカから流れます。もう一度(ソフトキー)[スピーカーoff]を押すと、ハンズフリーはOFFになり「(ハンズフリーアイコン)」が「(ハンズフリーOFFアイコン)」に変わります。
ハンズフリーにすると相手の音声が周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。

外側カメラの映像を送信する場合
◉[切替]を押す
◉[切替]を押すたびに外側カメラ/内側カメラを切り替えることができます(カメラ切替)。

通話中のテレビ電話を保留にする場合
(CLR)を押す
相手に保留音が流れ、相手側のテレビ電話映像には保留中の画像が表示されます。保留を解除するには(CLR)を、保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには(テレビ電話キー)を、代替画像で出るには(通話キー)を押します。

スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を利用している場合
ハンズフリーに切り替える必要はありません。相手の声をイヤホンから聞くことができます。

テレビ電話のかけかた/受けかた

次ページへつづく

4 お話しが終わったら[PWR/HLD]を押す

通話時間が表示された後、テレビ電話が終了します。

テレビ電話に関する機能について

送信する画像の大きさや画質など、テレビ電話ではさまざまな機能を設定できます。

ハンズフリー※1 ：テレビ電話中に相手の音声がスピーカから流れます。

内側カメラ／外側カメラの切り替え※1
：テレビ電話中に相手に送信する映像を、内側カメラ／外側カメラに切り替えることができます。

ズーム※1 ：テレビ電話中に自分側の映像を拡大して送信できます。→P.94

親画面自局表示／対局表示
：テレビ電話中に親子画面の映像を切り替えることができます。→P.95

画像品質設定※2 ：映像の画質を重視するか、動きを重視するか選ぶことができます。→P.95

明るさ調節 ：自分側の映像の明るさを調節します。設定内容はカメラの同機能と同じです。→P.187

ホワイトバランス設定
：自分側の映像を光源に合わせて自然な色合いに調節します。設定内容はカメラの同機能と同じです。→P.188

色調切替※1 ：自分側の映像をセピア色（黒茶色）や白黒で送信します。設定内容はカメラの同機能と同じです。→P.188

撮影モード選択※1 ：状況にあった撮影モードにします。設定内容はカメラの同機能と同じです。→P.187

キャラ電設定※2 ：キャラ電で表示するキャラクタの選択、アクションの一覧表示、アクションモードの切り替えを行います。→P.93

照明設定 ：テレビ電話中のディスプレイのバックライトについて設定します。→P.97

TV電話画面設定 ：親画面に表示される映像とそのサイズについて設定します。→P.97

通話中時間表示 ：テレビ電話中に通話時間を表示する／しない（ON／OFF）を設定します。

DTMF送信※1 ：キャラ電中にプッシュ信号の送信モードを設定／解除します。キャラ電以外のテレビ電話中は常にプッシュ信号の送信モードになります。

電話番号表示※1 ：テレビ電話中にお客様の電話番号を表示します。

※1：テレビ電話を終了するとお買い上げのときの設定に戻ります。

※2：「画像品質設定」はテレビ電話を終了すると、[Menu]（Menu）－[各種設定]－「TV電話」－「画像品質設定」で設定した値に戻ります。また、「キャラ電設定」はテレビ電話を終了すると、[Menu]（Menu）－[マルチメディア]-「キャラ電」で設定した値に戻ります。

テレビ電話がかからなかったとき

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由を示すメッセージが表示されます。ただし、状況によっては接続できなかった理由を示すメッセージが表示されない場合があります。また、接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	電話番号を間違えた場合
お話中です	相手が通話中の場合
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源が入っていない場合
ドライブモード中です	相手がドライブモード中の場合
接続できませんでした	上記以外の場合

おしらせ

- 操作1と2が逆でもテレビ電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときは(PWR HLD)を押して表示を消してからおかけ直しください。
- テレビ電話をかけるとき、音声電話と同じように電話帳や「リダイヤル」、「着信履歴」などを利用できます。
- FOMA端末から緊急通報番号(110番、119番、118番)へテレビ電話をかけたときは、自動的に音声電話での発信になります。ただし、「オールロック」を設定しているときは発信できません。
- テレビ電話に対応していない電話機にテレビ電話をかけたときや、相手がテレビ電話に対応していても圏外や電源が入っていないときは接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけたときに「音声自動再発信設定」(P.98)を「ON」に設定している場合は、テレビ電話接続前に相手から切断され、自動的に音声電話でかけ直します。ただし、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M(P.88)に対応していないISDNのテレビ電話等(2004年10月現在)にかけたときや間違い電話をしたときなどは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
- テレビ電話にいったん接続されると、音声電話への再発信は行いません。
- テレビ電話中に音声電話をかけたり、iモードに接続することはできません。
- テレビ電話中に音声電話やテレビ電話の着信があると、「着信履歴」(P.75)には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。
- テレビ電話中にiモードメールやメッセージリクエスト／フリーは受信できません。いったんiモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「iモード問い合わせ」を行って受信してください。
- テレビ電話中でもSMSは受信できます。
- テレビ電話中に「電池充電してください」という電池切れアラームが表示されたときは、相手側に「カメラオフ Camera Off」というメッセージが表示され、約20秒後に切断されます。切断される前に充電を開始した場合でも「カメラオフ　Camera Off」のメッセージのままとなります。
- 相手側の設定により映像が送信されてこないときには、代替画像が表示されます。
- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、デジタル通信料がかかります。
- テレビ電話の発信後「(ハンズフリーアイコン)」が表示されるまでは、ハンズフリーに切り替えることができません。
- テレビ電話を終了するとハンズフリーはOFFになります。
- ハンズフリー中も「受話音量」を調節できます。
- ハンズフリー中は、「受話音量」を大きくすると周囲の状況により雑音が発生することがあります。
- ハンズフリー中に周囲の雑音が大きいと、音声が途切れたり良好な通話ができないことがあります。この場合はスイッチ付イヤホンマイクをお使いください。
- テレビ電話の通話時間は「デジタル通信」時間として加算されます。→P.430
- マナーモード設定中にハンズフリーに切り替えることができます。ハンズフリーを「OFF」にするか、通話を終了するとマナーモードに戻ります。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、ハンズフリーは維持されます。

テレビ電話を受ける

かかってきたテレビ電話を受けます。テレビ電話にすぐに出られないときは、自分側のカメラ映像を相手側に表示させないで代わりの画像(代替画像)でテレビ電話に出ることもできます。

- 音声通話中、iモード中、iモードメール送受信中、パケット通信中にテレビ電話を受けることはできません。

1 テレビ電話がかかってきたら(カメラキー)を押して、電話を受ける

代替画像で出る場合

　または●[通話]を押す

相手側の画面には代替画像が表示されます。

代替画像で出た後でも、を押してカメラ映像に切り替えることができます。

スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を利用している場合

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

代替画像で出ることができます。「オート着信」を「ON」に設定している場合は、設定した呼出時間経過後、自動的に代替画像で出ることができます。

カメラ映像と代替画像を切り替える場合

を押す

スイッチ付イヤホンマイク接続中も同じように操作できます。

着信中のテレビ電話を応答保留にする場合

を押す

相手側のテレビ映像に保留中の画像が表示されます。応答保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るにはを、代替画像で出るにはまたは●[通話]を押します。

着信中に意図的に電話を切りたい場合

機能メニューから「着信拒否」を選ぶ

着信中の電話を転送する場合

機能メニューから「転送でんわ」を選ぶ

「転送でんわサービス」のご契約が必要です。「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。

2 テレビ電話がつながったら[On]を押してハンズフリーに切り替える

「」が表示され、相手の音声がスピーカから流れます。もう一度[Off]を押すと、ハンズフリーはOFFになり「」が「」に変わります。

ハンズフリーにすると相手の音声が周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。

外側カメラの映像を送信する場合

●[切替]を押す

●[切替]を押すたびに外側カメラ／内側カメラを切り替えることができます(カメラ切替)。

通話中のテレビ電話を保留にする場合

を押す

相手に保留音が流れ、相手側のテレビ電話映像には保留中の画像が表示されます。保留を解除するにはを、保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るにはを、代替画像で出るにはを押します。

スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を利用している場合

ハンズフリーに切り替える必要はありません。相手の声をイヤホンから聞くことができます。

3 お話しが終わったらを押す

通話時間が表示された後、テレビ電話が終了します。

おしらせ

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定していても「エニーキーアンサー」でテレビ電話に出ることはできません(「クイックサイレント」に設定している場合は、ボタンを押して着信音だけをとめることができます)。
- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、テレビ電話をかけてきた相手にはデジタル通信料がかかります。
- 代替画像は「画像選択」(P.96)で変更できます。
- 「留守番電話サービス」を「開始」に設定していても、かかってきたテレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。
- 「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても、転送先を3G-324M(P.88)に準拠したテレビ電話対応機器に設定していない場合は、かかってきたテレビ電話を転送できません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。
- 相手側の設定により映像が送信されてこない場合は、代替画像が表示されます。
- 着信中はハンズフリーに切り替えることができません。
- テレビ電話を終了するとハンズフリーはOFFになります。
- ハンズフリー中も「受話音量」を調節できます。
- スイッチ付イヤホンマイク接続中も、接続していないときと同じようにを押すとカメラ映像で、を押すと代替画像でテレビ電話に出ることができます。
- 迷惑電話ストップサービスで拒否登録した相手からテレビ電話がかかってきた場合は、相手に着信拒否ガイダンスを流さずに電話を切ります。

キャラ電を利用する

テレビ電話で自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。
キャラ電のキャラクタは音に反応して口が動いたり、ボタン操作で手足を動かしたり表情をつけたりすることができます。

- キャラ電を楽しむにはあらかじめ次の機能を設定しておいてください。
  - 「代替画像」を「キャラ電」に設定する→P.96
  - 「発信時自画像送信」を「OFF」に設定する→P.95
- キャラ電の操作について詳しくは、P.359を参照してください。
- 内蔵キャラ電として次の3件が登録されています。

©BVIG
ブンブン(Dimo)

チカ(Chica)

ニノ(Nino)

1 **テレビ電話がかかってきたらまたは●[通話]を押して、電話を受ける**

➡

キャラ電

テレビ電話中にカメラ映像からキャラ電に切り替える場合
を押す

次ページへつづく

2 ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する

ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているアクションを表現します。

アクションモードを切り替える場合

機能メニューから「キャラ電設定」−「アクション切替」を選ぶ

「アクション切替」を選ぶたびに「全体アクション」と「パーツアクション」を切り替えることができます。

「全体アクション」とは感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。1～9または#1～#9を押して表現します。

「パーツアクション」とは顔や手足などキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。11～99を押して表現します。

アクション一覧

アクションを確認する場合

機能メニューから「キャラ電設定」−「アクション一覧」を選ぶ

操作できるアクションとそのアクションに割り当てられているボタンが表示されます。

でアクションを選んでそのアクションを実行することもできます。

※：*を押してもアクション一覧を表示できます。

ほかのキャラ電に切り替える場合

機能メニューから「キャラ電設定」−「キャラ電切替」を選ぶ

おしらせ

● 機能メニューから「DTMF送信」を選んだ場合、ダイヤルボタンでプッシュ信号が送信できるようになるため、キャラ電をボタン操作で動かすことができなくなります。機能メニューから「DTMF解除」を選ぶと、キャラ電を再びボタン操作で動かすことができます。
DTMFについて→P.556

相手側に送信する映像について設定する

テレビ電話中に相手に送信する映像などについて設定できます。

送信する映像を拡大する

テレビ電話中に自分側の映像を拡大して相手側に送信できます。

- 内側カメラの映像を送信している場合は約2倍（2段階）まで、外側カメラの映像を送信している場合は約6.6倍（16段階）まで拡大できます。
- テレビ電話中は内側カメラと外側カメラの切替などを行っても、それぞれのズームの倍率を保持します。テレビ電話を終了すると、ズームは標準に戻ります。
- 代替画像を送信中のときは画像を拡大できません。
- 相手側の映像を拡大することはできません。

1 テレビ電話中にを押してZOOM（ズーム）バーを表示する

2 拡大する倍率を調節する

倍率を高くする場合

を押す

倍率を低くする場合

を押す

相手側と自分側のカメラ映像を切り替える

お買い上げ時	親画面：相手側のカメラ映像　子画面：自分側のカメラ映像

テレビ電話中に親画面を自分側のカメラ映像、子画面を相手側のカメラ映像に切り替えることができます。相手に送信している映像を親画面で確認したい場合などに便利です。

1 テレビ電話中に機能メニューから「親画面自局表示／親画面対局表示」を選ぶ

➡
⬅

「親画面自局表示／親画面対局表示」を選ぶたびに親子画面の映像を切り替えることができます。

テレビ電話中の映像の画質を設定する

お買い上げ時	標準

テレビ電話中の映像について、画質を重視するか、動きを重視するかを設定できます。
- テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「TV電話」▶「画像品質設定」の順に選ぶ

2 テレビ電話中の映像の画質を選ぶ

標準　　：画質、動きともに標準の設定です。
画質優先：きめ細やかな映像を表示します。動きが少ない場合に有効です。
動き優先：動きがなめらかな映像を表示します。動きが多い場合に有効です。

おしらせ

- テレビ電話中に機能メニューから「TV電話設定」－「画像品質設定」を選んで設定することもできます。ただし、テレビ電話を終了すると、本機能の設定に戻ります。

発信時に相手側にカメラ映像を送信するかどうか設定する

お買い上げ時	ON

テレビ電話をかけるとき、相手に送信する映像をカメラ映像にするか、代替画像にするかを設定できます。
- テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。
- 「キャラ電」を利用するときは、あらかじめ本機能を「OFF」に設定してください。

1 (Menu)▶ ▶「TV電話」▶「発信時自画像送信」の順に選ぶ

カメラ映像を送信する場合
　「ON」を選ぶ
代替画像を送信する場合
　「OFF」を選ぶ

おしらせ

- 本機能の設定にかかわらず、テレビ電話中にカメラ映像と代替画像を切り替えることができます。
- 送信する代替画像は「画像選択」で変更できます。

テレビ電話中に送信する画像について設定する　＜画像選択＞

お買い上げ時	応答保留、通話中保留、伝言メモ：内蔵　代替画像：キャラ電

カメラ映像の代わりに送信する画像を設定できます。

- 本機能で設定できる画像は、VGAサイズ（640×480ドット）以下のJPEGファイルです。ただし、メール（大）サイズ（176×144ドット）以上の大きさの画像を設定した場合は、メール（大）サイズ（176×144ドット）に縮小されます。
- テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

テレビ電話のかけかた／受けかた

＜例：代替画像を設定する場合＞

1 (Menu)▶各種設定▶「TV電話」▶「画像選択」の順に選ぶ

2 「代替画像」を選ぶ

テレビ電話中に自分の映像の代わりに送信する画像について設定します。

応答保留のときに送信する画像を設定する場合
　「応答保留」を選ぶ

通話中保留のときに送信する画像を設定する場合
　「通話中保留」を選ぶ

伝言メモの起動中に送信する画像を設定する場合
　「伝言メモ」を選ぶ

3 送信する画像を選ぶ

メッセージのみを送信する場合
　「内蔵」を選ぶ

画像とメッセージを送信する場合
　「自作」を選ぶ
　画像の設定のしかた→P.340

キャラ電を送信する場合
　「キャラ電」を選ぶ
　「キャラ電」の「代替画像設定」（P.359）で設定されているキャラ電を送信します。

画像を確認する場合
　確認したい項目を反転表示して[デモ]を押す

送信されるメッセージについて

送信されるメッセージは次のとおりです。

応答保留の場合　　　：「応答保留中　On Hold」
通話中保留の場合　　：「保留　Holding」
代替画像を送信の場合：「カメラオフ　Camera Off」
伝言メモ起動中の場合：「伝言メモ/Record Msg.　＜音声録音中/Voice Only＞」

おしらせ

- メール（大）サイズ以上の大きさの画像を縮小表示するとき、縦横比が変わる場合があります。
- 画像の縮小は表示上のみで、元の画像データに影響はありません。
- テレビ電話をかけるときに、ダイヤル入力画面、電話帳、リダイヤル、発信／着信履歴の詳細画面で機能メニューから「TV電話画像選択」を選んで送信する画像を設定することもできます。また、「Phone To機能」の「TV電話画像選択」を選んで設定することもできます。ただし、テレビ電話を終了すると、本機能の設定に戻ります。
- 代替画像を「キャラ電」に設定していても、カメラの連写モードで撮影中や確認モード画面の表示中にはキャラ電は送信されず、「内蔵」の画像が送信されます。

テレビ電話中に表示される映像について設定する

テレビ電話中に表示される映像やバックライトを設定します。

親画面に表示される映像や映像のサイズについて設定する　<TV電話画面設定>

お買い上げ時	親画面表示：親画面対局表示　画像表示設定：画面サイズで表示

● テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。また、テレビ電話中に本機能の設定を変更した場合は、その設定が反映されます。

1 (Menu)▶各種設定▶「TV電話」▶「TV電話画面設定」の順に選ぶ

2 設定する項目を選ぶ

相手側と自分側の映像の表示位置を切り替える場合
「親画面表示」を選ぶ
親画面に表示する映像を相手側(親画面対局表示)にするか自分側(親画面自局表示)にするかを選びます。

映像を表示するサイズを設定する場合
「画像表示設定」を選ぶ
映像を表示するサイズを「画面サイズで表示／等倍表示」から選びます。

おしらせ

● テレビ電話中に機能メニューから「画像表示設定」を選んで設定することもできます。その場合本機能の設定も変更されます。
● テレビ電話中の画面の動きがなめらかでない場合は、「画像表示設定」を「等倍表示」に設定することをおすすめします。

テレビ電話中のバックライトについて設定する

お買い上げ時	常時点灯

● テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

1 テレビ電話中に機能メニューから「照明設定」を選ぶ

2 設定する項目を選ぶ

テレビ電話中は常に点灯させる場合
「常時点灯」を選ぶ

テレビ電話中の点灯時間を15秒に設定する場合
「15秒点灯」を選ぶ

おしらせ

● テレビ電話中は、「ディスプレイ」の「照明設定」の設定より本機能の設定が優先されます。

テレビ電話の設定を変更する

テレビ電話がかからなかったときの音声電話への切り替えについて設定します。

テレビ電話がつながらなかったときに自動的に音声電話でかけ直す　<音声自動再発信設定>

お買い上げ時	OFF

テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末や「デュアルネットワークサービス」でムーバ利用中のときなど、テレビ電話を受けられない場合に自動的に音声電話でかけ直すことができます。

1 (Menu)▶▶「TV電話」▶「音声自動再発信設定」の順に選ぶ

自動的に音声電話でかけ直す場合
「ON」を選ぶ
音声電話でかけ直さない場合
「OFF」を選ぶ

おしらせ

- 音声電話に切り替えて再発信したときの通話料金は、音声通話料になります。
- 再発信が行われたとき、「発信履歴」には最後の発信だけが1件として記憶されます。
- テレビ電話にいったん接続されると、音声電話への再発信は行いません。
- 音声自動再発信設定を「ON」に設定している場合でも、相手が電波の届かない場所にいるときや通話中など、ネットワークや相手の状況によって再発信が行われない場合があります。

遠隔監視設定

外出先から室内の様子などを確認する

お買い上げ時	対局番号登録：無　応答時間設定：5秒　設定：OFF

FOMA端末のカメラ映像を利用して、外出先から室内のペットの様子などを確認したり、工場現場や操業状況の管理などを離れた場所から確認したりできます。
遠隔監視できるのは3G-324M（P.88）に準拠したテレビ機能を持つ電話機とFOMA端末間、およびFOMA端末どうしです。本FOMA端末は、遠隔監視の発信側としても着信側としても利用できます。

- 遠隔監視を受ける側が監視する側の電話番号をあらかじめ登録していて、遠隔監視設定が「ON」に設定されている場合のみ、遠隔監視を行うことができます。
- 卓上ホルダに三脚を取り付けると、FOMA端末を固定して遠隔監視できます。

着信側の準備をする

遠隔監視を受ける側（着信側）で、発信側の電話番号（対局番号）や遠隔監視を開始するまでの時間（応答時間）を設定します。

- 対局番号は5件まで登録できます。
- 「マナーモード」または「ドライブモード」に設定中は遠隔監視を受けることはできません。

1 (Menu)▶各種設定▶「TV電話」▶「遠隔監視設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

2 「対局番号登録」を選ぶ

3 〈未登録〉の項目を選ぶ

すでに登録されている対局番号を変更する場合
変更したい対局番号を選ぶ

「電話帳」、「発信履歴」、「着信履歴」から入力する場合
機能メニューから「宛先参照入力」を選んで項目を選ぶ

対局番号を1件削除する場合
削除したい対局番号を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

対局番号をすべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

4 対局の電話番号を入力する

入力すると対局番号の一覧画面に戻ります。CLRを押して遠隔監視設定画面に戻ってください。

5 「応答時間設定」を選び応答時間（003～120秒）を入力する

時間は3桁で入力します。3桁の時間を入力すると、応答時間が設定されます。

表示されている時間をそのまま設定する場合
時間を入力しないで●[確定]を押す

6 遠隔監視設定画面で「設定」を選び「ON」を選ぶ

遠隔監視が設定され、待受画面に「 」が表示されます。

遠隔監視を受けない場合
「OFF」を選ぶ

7 FOMA端末を設置する

遠隔監視は内側カメラの映像を発信側に送信します。
着信側のFOMA端末は電源を入れて開いた状態にしたまま設置してください。
閉じたまま設置した場合は、遠隔監視着信は無効となり、着信を拒否します。

おしらせ

- 「伝言メモ」や「オート着信」の呼出時間と同じ時間には設定できません。
- 着信側の「転送でんわサービス」の応答時間が、遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていると「転送でんわ」が優先されます。遠隔監視を優先させるには、「転送でんわサービス」より短い応答時間に設定してください。
- 遠隔監視設定を「ON」に設定した後で対局電話番号をすべて消去すると、「設定」は「ON」のままとなり、「 」の表示も残りますが、遠隔監視を行うことはできなくなります。
- 発信側のFOMA端末を海外で利用するとき（滞在先から国内に設置したFOMA端末を遠隔監視する場合など）は、遠隔監視設定を行う前に、発信側のFOMA端末から受信側のFOMA端末に電話をかけるなどして、どういう番号で着信するか確認してください。「対局番号」は着信番号と一致させる必要があるため、先頭に「＋81」がついた電話番号で着信した場合は、それと同じ番号（「＋81」つき）を登録する必要があります。なお、発信側のFOMA端末から番号が通知されてこない場合（「通知不可能」の場合）は、遠隔監視はご利用になれません。
（例：発信側の「090-XXXX-XXXX」が「＋8190XXXXXXXX」という番号で着信した場合
→「＋8190XXXXXXXX」として登録する）

遠隔監視を行う

着信側のFOMA端末にテレビ電話をかけて、着信側のカメラ映像を確認します。

- 遠隔監視を行うには、必ず着信側で対局番号として登録されたFOMA端末から電話番号を通知してテレビ電話をかけてください。
- 着信側では発信側の映像は表示されず音声も流れません。
- 遠隔監視中、着信側のFOMA端末では送信する画像を代替画像に切り替えることはできません。
- 着信側が「マナーモード」または「ドライブモード」に設定中は、遠隔監視はできません。

1 着信側へテレビ電話をかける

着信側

着信側で設定した応答時間経過後、遠隔監視がはじまります。
発信側では着信側の映像が表示され、音声が流れます。[ ]を押してハンズフリーに切り替えると、着信側の音声をスピーカから流すことができます。スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を利用している場合は、ハンズフリーに切り替えることなく、着信側の音声をイヤホンから聞くことができます。

着信側で遠隔監視を受けずにテレビ電話に出る場合

応答時間が経過する前に、カメラ映像で出る場合は( )を、代替画像で出る場合は( )または(●)[通話]を押す

遠隔監視を終了する場合

( )を押す
通信時間が表示された後、遠隔監視が終了します。
着信側で( )を押しても遠隔監視が終了します。

おしらせ

- オールロック設定中でも、遠隔監視設定で登録した電話番号からの着信は受けられます。
- 電話番号を通知しない場合は、遠隔監視にならずテレビ電話着信となります。
- 着信側で対局番号以外の電話番号に「指定着信許可」が設定されている場合、または対局番号の電話番号に「指定着信拒否」が設定されている場合は、着信が拒否され、遠隔監視はできません。
- 遠隔監視設定と次の機能を同時に設定した場合は、遠隔監視ができなくなります。
  ・ドライブモード　・マナーモード　・指定着信拒否／許可　・登録外着信拒否
- 遠隔監視設定と伝言メモを同時に設定した場合は、伝言メモの呼出時間が遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていても、遠隔監視が優先されます。
- スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を接続している場合は、「イヤホン切替」の設定にかかわらず着信音はイヤホンとスピーカから鳴ります。
- 着信音は遠隔監視専用の着信音となり、変更できません。
- 着信音は「着信音量」で設定した音量で鳴ります。ただし、「消去」や「レベル1」、「ステップトーン」に設定している場合は「レベル2」の音量で鳴ります。
- 遠隔監視の着信時は、「着信イルミネーション」の設定にかかわらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
- 遠隔監視の着信中に応答保留にすることはできません。( )を押すと電話は切れます。
- 着信側で遠隔監視設定を「ON」に設定している場合、対局番号に登録された電話番号からのテレビ電話の着信は、遠隔監視の着信履歴として記憶されます。遠隔監視が実行されなかった場合、「着信履歴」には遠隔監視の「不在着信履歴」として記憶されます。
- 遠隔監視中に着信側のFOMA端末を折り畳むと、「クローズ動作設定」の設定に従って次のような動作となります※1。
  ・ミュート：発信側に代替画像※2を送信します。
  ・保留音　：発信側に通話中保留画像を送信します。
  ・終話　　：遠隔監視を終了します。
  ※1：スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合は、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず代替画像が表示されます。
  ※2：代替画像が「キャラ電」に設定されていても、キャラ電は送信されず、「カメラオフ　Camera Off」というメッセージが送信されます。
- 遠隔監視中は発信側、着信側のどちらも音声電話やテレビ電話を受けることはできません。遠隔監視中に音声電話やテレビ電話の着信があると、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 遠隔監視中は発信側、着信側のどちらもメッセージリクエスト／フリーやiモードメールは受信されず、iモードセンターでお預かりします。遠隔監視終了後、「iモード問い合わせ」を行って受信してください。ただし、遠隔監視中でもSMSは受信できます。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例(迷惑防止条例等)に従い処罰されることがあります。

●電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末(本体)の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の2種類の電話帳があります。お客様の用途に合わせて使い分けてください。

● 本FOMA端末では、電話帳に登録されている相手に国際電話をかけるときに便利なダイヤリングアシスト機能を搭載しています。詳しくはP.539を参照してください。

FOMA端末(本体)とFOMAカードの電話帳の違い

登録内容

FOMA端末(本体)の電話帳とFOMAカードの電話帳の登録内容は次のとおりです。

	FOMA端末(本体)の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数※1	最大700件まで登録可能です。	50件まで登録可能です。
名前の登録方法	姓と名に分けて登録します。	姓と名を合わせて登録します。
グループ※2	グループ00～19に分類可能です。	グループ00～10に分類可能です。
電話番号の登録※3	1つの電話帳につき4個の電話番号まで、電話帳全体で700個の電話番号まで登録可能です。相手の携帯電話の電話番号や会社の電話番号などを1つの電話帳として登録できます。	1つの電話帳に1個の電話番号が登録可能です。
	「 」「 」のような24種類のアイコンを選択して登録できます。相手の「携帯電話の電話番号」「会社の電話番号」などがひとめで区別できます。	アイコンの選択はできません。「 」が自動的に登録されます。
メールアドレスの登録	1つの電話帳につき3個のアドレスまで、電話帳全体で700個のアドレスまで登録可能です。相手の自宅のメールアドレスや会社のアドレスなどを1つの電話帳として登録できます。	1つの電話帳に1個のアドレスが登録可能です。
	「 」「 」のような5種類のアイコンを選択して登録できます。相手の「自宅のメールアドレス」「会社のメールアドレス」などがひとめで区別できます。	アイコンの選択はできません。「 」が自動的に登録されます。
画像の登録	1つの電話帳につき静止画1件、動画1件登録可能です。それぞれ電話帳全体で100件まで登録可能です。	－
その他のデータの登録	1つの電話帳につき郵便番号、住所、メモをそれぞれ1件登録可能です。相手の電話番号やメールアドレスと一緒に1つの電話帳として登録できます。	－

※1：各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。
※2：「グループ01」～「グループ19」(FOMAカードの電話帳では「グループ01」～「グループ10」)のグループ名は変更できます。あらかじめお好きなグループ名に変更しておくと便利です。→P.108
※3：電話番号には0～9、#、+、⁎、pを入力できます。サブアドレス(P.71)を利用する場合は、⁎を入力してください。なお、市内局番や市外局番、電話番号の間などに、#、+、⁎、pを入力すると、正しく発信できません。

FOMA端末(本体)の電話帳の特徴

FOMA端末(本体)の電話帳に登録すると、次のような便利な機能が使えます。

- メモリ番号「000」～「009」に指定すると、ボタン操作2つで電話をかけられる「ツータッチダイヤル」を利用できます。→P.121
- 着信時の設定を電話番号やメールアドレスごと、グループごとに設定できる「電話帳便利機能」、「グループ便利機能」を利用できます。→P.109
- 電話番号ごとに発信や着信を制限する「電話帳指定設定」を利用できます。→P.164
- 知られたくない電話帳を「シークレットモード」、「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録できます。→P.161
- 「シークレットコード」を設定できます。→P.113

FOMAカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがFOMAカードに登録されるので、FOMAカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

名前の表示について

音声電話、テレビ電話

電話番号を電話帳に登録した相手から電話番号を通知してかかってくると、電話番号と名前が表示されます。

また、電話帳に静止画または動画が登録されていて、「電話帳画像着信設定」が「ON」に設定されている場合は、その画像が表示されます。なお、登録した画像のサイズやデータ量によっては、表示が遅れることがあります。

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

iモードメール、SMS

iモードメールのアドレスを電話帳に登録した相手からのiモードメール、または電話番号を電話帳に登録した相手からのSMSは、受信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。その相手にiモードメールまたはSMSを送信した場合も、送信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。
また、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」にも相手の名前が表示されます。

おしらせ

- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳の場合、名前は表示されずに電話番号やメールアドレスのみが表示されます。
- 「指定発信制限」の設定中は、「指定発信制限」に指定されていない電話番号の場合、名前が表示されずに電話番号のみが表示されます。
- 同じ電話番号またはメールアドレスで名前が異なる複数の電話帳を登録した場合は、フリガナの検索順(P.114)で先に表示される電話帳の名前が表示されます。

電話帳登録

FOMA端末(本体)の電話帳に登録する

- 「姓」または「名」は必ず入力してください。どちらも入力していない場合は電話帳の登録ができません。
- FOMAカードの電話帳に登録する場合→P.106

1 (Menu)▶電話帳▶「電話帳登録」の順に選ぶ

2 「本体」を選ぶ

次ページへつづく

3 姓を入力する

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字で入力します。
姓と名を合わせて全角で16文字、半角で32文字まで登録できます。
姓を入力しないで名のみ入力することもできます。
文字の入力のしかた→P.502

4 姓のフリガナを確認する

フリガナが間違っていた場合

カタカナ、英字、数字、記号で修正します。
姓と名を合わせて半角で32文字まで登録できます。
「電話帳検索」のフリガナ検索では、ここで登録した姓のフリガナと名のフリガナの組み合わせによって検索します。

5 名を入力する

姓と同じように入力します。
名を入力しないで姓のみ入力することもできます。

6 名のフリガナを確認する

フリガナが間違っていた場合は、姓のフリガナと同じように修正します。

7 それぞれの項目を設定する

GRグループ：登録するグループを「00」～「19」から選びます。グループを選ばない場合は、自動的にグループ「00」に登録されます。

電話番号：電話番号を入力してアイコンを選びます。
電話番号は26桁まで入力できます。「＋」「\」「＃」「p」などを入力した場合も桁数にカウントされます。
1件目の電話番号を登録すると、電話帳の編集画面に「＜追加登録＞」が表示されます。この項目を選ぶと電話番号を追加登録できます。
一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。
海外の電話番号を登録する場合→P.105

メールアドレス
：メールアドレスを入力してアイコンを選びます。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
1件目のメールアドレスを登録すると、電話帳の編集画面に「＜追加登録＞」が表示されます。この項目を選ぶとメールアドレスを追加登録できます。
文字の入力のしかた→P.502

住所：郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などを入力でき、全角で46文字、半角で93文字まで入力できます。

メモ：メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などを入力でき、全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。

静止画：着信時に表示される静止画を「イメージ」に保存されているデータから選びます。
静止画の選びかた→P.338

動画：着信時に表示される動画を「iモーション」に保存されているデータから選びます。
動画の選びかた→P.349

No.メモリ番号
：メモリ番号は電話帳の登録時に自動的に割り当てられますが、000～699の範囲でお好きな番号に変更できます。
メモリ番号を「000」～「009」に登録すると、ツータッチダイヤルを利用できます。→P.121

8 [完了]を押して電話帳を登録する

海外の電話番号を登録する場合
海外の電話番号の場合は、先頭に「＋」(0を1秒以上押す)と「国番号」をつけて登録すると、この電話帳を表示させて を押すだけで国際電話をかけることができます(ダイヤリングアシスト機能)。→P.539
なお、電話番号の市外局番が「0」ではじまる場合は、「0」を除いて登録します(ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります)。
国番号について→P.531
(例:「01-XX-XX-XX-XX」にフランスの国番号(33)をつける場合
→「＋331XXXXXXXX」として登録)

おしらせ

- 姓、名に「ゥ(全角小文字)」を入力した場合、フリガナは「ｳ(半角大文字)」と表示されます。記号や絵文字を入力した場合は、フリガナに反映されません。また、区点コードで入力した文字はスペースに置き換わります。ただし、区点コードで入力した文字が半角にもある場合(カタカナや英字など)は、フリガナに反映されます。
- 姓、名を入力して●[確定]を押した後に再度入力(修正)した場合、その文字はフリガナに反映されません。
- 記号、絵文字を使って登録された電話帳は、データ転送などを行うと正しく表示されない場合があります。
- メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@(アットマーク)より後の文字のことです。
  (例)docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
  ドメイン名まで正しく登録しないと次の機能が利用できません。
  ・電話帳便利機能、グループ便利機能→P.109
  ・メールの送信元の名前表示→P.281
  ・受信したメールの自動振り分け→P.291
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。
- 電話帳に登録した静止画や動画の元のデータが変更されたり、削除された場合は、電話帳の静止画や動画も同じように変更、削除されます。
- 登録した静止画や動画を着信時に表示させるには、「電話帳画像着信設定」を「ON」に設定してください。
- 登録した静止画や動画が電話帳の詳細画面の画像表示エリアより大きい場合は、縦横同比率で縮小表示されます。小さい場合は画面中央に表示されます。
- 静止画や動画を登録した電話帳の電話番号から着信があったとき、登録した静止画や動画が「画面表示設定」の「電話着信」の画像表示エリアより大きい場合は、縦横同比率で縮小表示されます。小さい場合は画面中央に表示されます。

編集を中断した電話帳があるとき

電話帳の編集中に「電池切れアラーム」が鳴った場合や、マルチタスクを利用してツールグループのタスクを新たに起動した場合は、電話帳の編集が中断されます。このとき、編集中の電話帳は自動的に編集中データとして一時保存されます。編集中データを呼び出して、編集を再開してください。

1 **(Menu)▶ 電話帳 ▶「電話帳登録」の順に選ぶ**

2 **「本体」または「FOMAカード」を選ぶ**

3 **「再編集」を選ぶ**

中断した電話帳の編集を再開できます。
編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中のデータは消えます。

新規に登録する場合
「新規」を選ぶ

おしらせ

- 編集中データとして一時保存されるのは最新の1件のみです。
- 「電池切れアラーム」が鳴って電話帳の編集が中断され、電源が切れてしまった場合でも、編集中のデータは一時保存されます。ただし、FOMAカードの電話帳の場合は、電池パックを取り外すと編集中データが破棄されます。
- 電話帳の編集中に音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、編集中の電話帳のデータはそのままで電話に出ることができます。
  音声通話中の場合は、(MULTI)を押してタスクメニューを表示させて、編集中の項目を選ぶと電話帳の編集画面に戻ることができます。また、音声電話やテレビ電話が終了すると、元の編集画面に戻ります。

次ページへつづく

お願い

- お買い上げ後、はじめてお使いになるときや、約1ヶ月以上電池パックを外した状態および空の状態では、内蔵のバックアップ電池を充電する必要があります。FOMA端末に電池パックを付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。
- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(P.569)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、電話帳の内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末(本体)の電話帳の登録内容は電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月間は保持しますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう可能性があります。また、FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。
- 当社窓口にて新機種にコピーできるのは「1つ目の電話番号」「カナ・漢字氏名」「グループ設定」「1つ目のメールアドレス」「ブックマーク」「シークレット設定」です。なお、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
なお、データリンクソフト(P.569)をご利用いただくことにより、電話帳の内容をパソコンへ転送・保管していただくことができます。

FOMAカードの電話帳に登録する

- 「名前」は必ず入力してください。「名前」を入力していない場合は電話帳の登録ができません。
- FOMA端末(本体)の電話帳に登録する場合→P.103

1 (Menu)▶電話帳▶「電話帳登録」の順に選ぶ

2 「FOMAカード」を選ぶ

3 名前を入力する

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。
名前は全角で10文字、半角英数字(一部の半角記号を含む)で21文字まで登録できます。
文字の入力のしかた→P.502

4 フリガナを確認する

フリガナが間違っていた場合
全角のカタカナ、英字、数字、記号で修正します。
フリガナは全角で12文字、半角英数字(一部の半角記号を含む)で25文字まで登録できます。
「電話帳検索」のフリガナ検索では、ここで登録した名前のフリガナによって検索します。

5 それぞれの項目を設定する

グループ：登録するグループを「00」～「10」から選びます。グループを選ばない場合は、自動的にグループ「00」に登録されます。

電話番号：電話番号を入力します。電話番号は青色のFOMAカードの場合は20桁まで、緑色のFOMAカードの場合は26桁まで入力できます。「＋」「¥」「＃」「p」などを入力した場合も桁数にカウントされます。「＋」が正しい位置に入力されていない場合は、自動的に正しく修正されて登録されます。
一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。
海外の電話番号を登録する場合→P.105

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

メールアドレス
：メールアドレスを入力します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

6 [完了]を押して電話帳を登録する

おしらせ

- 名前に「ッ(全角小文字)」を入力した場合、フリガナは「ツ(全角大文字)」と表示されます。ただし、フリガナ入力で「ッ(全角小文字)」を入力することはできます。記号を入力した場合は、フリガナに反映されません。また、区点コードで入力した文字はスペースに置き換わります。ただし、区点コードで入力した文字が半角にもある場合(カタカナや英字など)は、フリガナに反映されます。
- 姓、名を入力して●[確定]を押した後に再度入力(修正)した場合、その文字はフリガナに反映されません。
- 記号を使って登録された電話帳は、データ転送などを行うと正しく表示されない場合があります。
- メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@(アットマーク)より後の文字のことです。
(例)docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
ドメイン名まで正しく登録しないと次の機能が利用できません。
・メールの送信元の名前表示→P.281
・受信したメールの自動振り分け→P.291
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。

リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」から電話帳に登録したり、電話番号をダイヤルしてから電話帳に登録できます。

- すでに登録してある電話帳に追加登録する場合は、登録してある電話帳を検索して呼び出してから登録できます。

<例：「着信履歴」からFOMA端末(本体)の電話帳に追加登録する場合>

1 登録する電話番号の着信履歴画面を表示する

着信履歴の表示のしかた→P.76

2 機能メニューから「電話帳登録」ー「本体」を選ぶ

FOMAカードに登録する場合
「FOMAカード」を選ぶ

3 「追加登録」を選んで登録する電話帳を検索する

電話帳の検索のしかた→P.114

新規に登録する場合
「新規登録」を選ぶ

FOMAカードの場合
「新規登録」か「上書き登録」を選ぶ

電話帳

4 電話帳の詳細画面を表示して●[選択]を押す

電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。
電話帳の修正のしかた→P.117

5 修正が終わったら[完了]を押す

上書きするかどうかのメッセージが表示された場合
「YES」を選ぶ

おしらせ

- 「発信履歴」、「リダイヤル」に表示される発番号設定の情報(「通知」／「非通知」)は、電話帳には登録されません。
- 返信不可の受信アドレスは電話帳に登録できません。

グループ設定

グループ名を変更する

お買い上げ時	FOMA端末(本体):グループ01～19 FOMAカード:グループ01～10

電話帳を「会社」や「友達」のようなお付き合いごとに、また「野球」や「陶芸」のような趣味ごとにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。
変更できるグループと登録できる文字数は次のとおりです。

	変更できるグループ	登録できる文字数
FOMA端末(本体)	グループ01～グループ19	全角で10文字、半角で21文字
FOMAカード	グループ01～グループ10	全角で10文字、半角で21文字

- 「グループ00」のグループ名は変更できません。
- FOMA端末(本体)の電話帳のグループ01～グループ19には「グループ便利機能」を設定できます。→P.109

1 (Menu)▶電話帳▶「グループ設定」の順に選ぶ

2 名前を変更したいグループを選ぶ

3 グループ名を入力する

FOMAカードのグループには「」がつきます。
FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名をつけた場合でも、別々のグループとして表示されます。
文字の入力のしかた→P.502

グループ名を初期化する

変更したグループ名を初期化して、お買い上げのときのグループ名に戻します。

1 **(Menu)▶ 電話帳 ▶「グループ設定」の順に選ぶ**

2 **初期化したいグループを反転表示して機能メニューから「グループ名初期化」を選ぶ**

おしらせ

● グループ名を初期化しても、そのグループに設定した「グループ便利機能」の設定は解除されません。

電話帳便利機能／グループ便利機能

電話帳やグループごとに着信を区別する

お買い上げ時	すべて解除

電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定できます。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。設定できる機能は次のとおりです。

目的		機能名	参照ページ
誰からの電話かを、音や画像などでわかるようにしたい場合	着信音で区別	音声／TV電話着信音	P.124
	着信ランプの点滅色で区別	着信イルミネーション	P.147
	画像で区別	着信イメージ	P.140
伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えたい場合※		応答メッセージ	P.83
誰からのメールかを、音などでわかるようにしたい場合	着信音で区別	メール着信音	P.124
	着信ランプの点滅色で区別	メールイルミネーション	P.147

※：あらかじめ「伝言メモ」を「ON」に設定しておく必要があります。

● FOMA端末（本体）の電話帳に登録されているすべての電話番号とメールアドレス、および「グループ00」を除くすべてのグループに設定できます。
● FOMAカードに登録された電話帳およびグループには設定できません。
●「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。
● 相手が電話番号を通知してこない場合、電話帳便利機能およびグループ便利機能は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。→P.452

電話番号やメールアドレスに着信の設定をする

指定した電話番号から音声電話／テレビ電話を着信したときやSMSを受信したとき、指定したメールアドレスからiモードメールを受信したときに、設定した便利な機能でお知らせします。

● 電話番号に対して設定する「メール着信音」、「メールイルミネーション」は、SMSや相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」からのメールを受信したときに動作します。

1 **設定したい電話帳の詳細画面を表示する**

設定したい電話番号またはメールアドレスを表示します。
電話帳の検索のしかた→P.114

同じ電話帳に複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合
を押して設定したい電話番号やメールアドレスを表示する

次ページへつづく

2 機能メニューから「電話帳便利機能」を選ぶ

3 設定したい機能を選んでそれぞれの内容を設定する

設定した機能には「★」がつきます。

設定されている機能を解除する場合

「★」がついている機能を選ぶ
機能が解除されて「★」が消えます。

電話帳便利機能を設定すると

電話帳の詳細画面に設定されている便利機能を示すアイコンが表示されます。

：「音声／TV電話着信音」が設定されていることを示します。
：「着信イルミネーション」が設定されていることを示します。
：「着信イメージ」が設定されていることを示します。
：「応答メッセージ」が設定されていることを示します。
：「メール着信音」が設定されていることを示します。
：「メールイルミネーション」が設定されていることを示します。

おしらせ

- 電話番号やメールアドレスを変更すると、本機能の設定は解除されます。
- 設定した項目を変更する場合は、現在の設定を解除してから行ってください。

グループごとに着信の設定をする

電話帳のグループに着信時の便利機能を設定する方法は共通です。

1 (Menu)▶ 電話帳 ▶「グループ設定」の順に選ぶ

2 設定したいグループを反転表示して機能メニューから「グループ便利機能」を選ぶ

3 設定したい機能を選んでそれぞれの内容を設定する

設定した機能には「★」がつきます。

設定されている機能を解除する場合

「★」がついている機能を選ぶ
機能が解除されて「★」が消えます。

おしらせ

- 複数のグループに同じ電話番号やメールアドレスが登録されている場合は、フリガナの検索順(P.114)で先に呼び出される電話番号やメールアドレスのグループの設定が優先されます。
- 「シークレットモード」または「シークレット専用モード」で登録した電話帳(シークレットデータ)と普通の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができます。ただし、シークレットデータとして登録している相手からの着信では、本機能の設定は無効になります。
- 設定した項目を変更する場合は、現在の設定を解除してから行ってください。

電話帳

設定が重なったときの動作の優先順位

電話帳便利機能／グループ便利機能の設定がほかの機能の設定と重なった場合や、それぞれ異なる設定をしているメールやメッセージリクエスト／フリーを同時に受信したときの動作は次のようになります。

着信の設定が重なった場合の着信ランプの動作

優先順位は次のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
①電話帳便利機能の着信イルミネーション設定
②グループ便利機能の着信イルミネーション設定
③着信イルミネーション設定

着信の設定が重なった場合の着信音動作

優先順位は次のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
①電話帳便利機能の着信音
②グループ便利機能の着信音
③着信音選択

着信の設定が重なった場合の着信画像の表示動作

優先順位は次のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。ただし、着信音としてiモーションが動作した場合はそのiモーションが表示されます。
①電話帳登録画像のiモーション
②電話帳便利機能の着信イメージ
③グループ便利機能の着信イメージ
④電話帳登録画像のイメージ
⑤画面表示設定

複数のメールやメッセージリクエスト／フリーを同時に受信した場合

	着信音、着信イルミネーションの動作
複数のメールのみを受信	最後に受信したメールに設定されている条件で動作します。
メッセージリクエストとメッセージフリーを同時に受信	メッセージリクエストに設定されている条件で動作します。
メールとメッセージリクエスト／フリーを同時に受信	最後に受信したメールに設定されている条件で動作します。

電話帳便利機能の設定状況を確かめる

「電話帳便利機能」を設定している電話帳およびグループを各機能ごとに確認できます。また、確認しながらそれぞれの設定を解除することもできます。

1 **(Menu)▶ 電話帳 ▶「電話帳便利機能」の順に選ぶ**

2 **「★」がついている機能を選ぶ**

選んだ機能の項目が表示されます。
本機能が設定されている項目には「★」がついています。

機能の設定をまとめて解除する場合
「★」がついている機能を反転表示して機能メニューから「設定解除」を選ぶ

電話帳

次ページへつづく

3 「★」がついている項目を選ぶ

選んだ項目が設定されている電話帳の名前とグループ名の一覧画面が表示されます。
グループ名の前には「GR」が表示されます。

項目ごとに機能設定をまとめて解除する場合
「★」がついている項目を反転表示して機能メニューから「設定解除」を選ぶ

4 設定されている電話帳およびグループを確認する

電話帳の詳細画面を表示する場合
表示したい電話帳を選ぶ

電話帳に設定されている機能を解除する場合
詳細画面で解除したい電話番号、メールアドレスを選ぶ

グループに設定されている機能を解除する場合
解除したいグループを選ぶ

電話帳に登録する各種機能を設定する

電話帳に発信者番号通知／非通知を設定する　<発番号設定>

音声電話やテレビ電話をかけるたびに、相手にお客様の電話番号を通知するかしないかを設定できます。

● 電話帳に本機能の設定は登録されません。電話をかけるたびに設定してください。本機能を設定しない場合は、「発信者番号通知サービス」(P.58)の設定で電話をかけます。

1 設定したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた→P.114

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合
(方向キー)を押して設定したい電話番号を表示する

2 機能メニューから「発番号設定」を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

相手に電話番号を通知しない場合
「通知しない」を選ぶ
「非通知」と表示されます。
「186／184」がついた電話番号の場合、「186／184」が削除されます。

相手に電話番号を通知する場合
「通知する」を選ぶ
「通知」と表示されます。
「186／184」がついた電話番号の場合、「186／184」が削除されます。

発番号設定を解除する場合
「発番号設定消去」を選ぶ
「186／184」がついた電話番号の場合、「186／184」が削除され、「発信者番号通知サービス」(P.58)の設定となります。

おしらせ

● 「通知」／「非通知」を設定して電話をかけると、「発信履歴」、「リダイヤル」の情報に「通知」／「非通知」が付加されます。
● 電話番号をダイヤル入力したときや、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」で電話番号を表示させたときも、同じように「通知」／「非通知」を設定できます。

FOMA端末を開くだけで、電話番号を表示するようにする　<オート表示>

お買い上げ時	OFF

待受画面表示中に折り畳んだFOMA端末を開くと、指定した電話番号を自動的に表示するように設定できます。を押すだけで、表示された電話番号に音声電話をかけることができます。電話をかけない場合は、、またはを押すと待受画面に戻ります。

- オート表示に指定できる電話番号は1件です。メールアドレスは指定できません。
- FOMAカードに登録された電話帳は指定できません。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳は指定できません。
- 各機能の操作中や文字の入力中にFOMA端末をいったん閉じて再度開いた場合、およびシークレット専用モード時は、オート表示に指定した電話番号は表示されません。
- オート表示中に、同じ電話帳に登録されているほかの電話番号を選ぶことはできません。

■ オート表示機能を有効にします

1 **(Menu)▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「オート表示」の順に選ぶ**

指定した電話番号をオート表示させる場合
「ON」を選ぶ
オート表示させない場合
「OFF」を選ぶ

■ オート表示させる電話番号を指定します

1 **指定したい電話帳の詳細画面を表示する**

電話帳の検索のしかた→P.114
同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合
を押して指定したい電話番号を表示する

2 **機能メニューから「オート表示」を選ぶ**

「オート表示」に「★」がつきます。
オート表示の指定を解除する場合
機能メニューから「オート表示★」を選ぶ
指定が解除されて「★」が消えます。

おしらせ

- 次のような場合、本機能の設定は無効になります。
  - ・PIMロック設定中
  - ・オールロック設定中
  - ・シークレット専用モード設定中
  - ・指定発信制限が設定されている場合
  - ・音声通話中

メールアドレスにシークレットコードを設定する

シークレットコード(P.243)を登録している相手にiモードメールを送る場合は、相手のシークレットコードをメールアドレスに追加する必要があります。メールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に追加されます。

- 電話番号だけを宛先としてiモード端末にiモードメールを送るときのために、電話番号にシークレットコードを設定することもできます。
- メール送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときだけ、シークレットコードが追加されます。ほかのメールアドレスにはシークレットコードを追加できません。
- FOMAカードに登録された電話帳には設定できません。

1 設定したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた→下記

同じ電話帳に複数の電話番号またはメールアドレスが登録されている場合
　を押して設定したい電話番号またはメールアドレスを表示する

2 機能メニューから「シークレットコード」を選んで端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

3 「コード設定」を選ぶ

設定したシークレットコードを確認する場合
　「コード参照」を選ぶ

設定したシークレットコードを解除する場合
　「設定解除」を選ぶ

4 4桁のシークレットコードを入力する

コード設定
シークレットコード入力
123

「0000」には設定できません。

電話帳検索

電話帳から電話をかける

登録した電話帳を呼び出し、電話をかけることができます。電話帳は、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、行(アカサタナ順)の7つの検索方法で呼び出すことができます。

- シークレットデータとして登録した電話帳は、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」にしないと呼び出せません。
- 海外での電話帳を利用した電話のかけかたについては、P.539を参照してください。

検索結果の表示について

メモリ番号検索以外は電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、次の順で検索してその結果を表示します。

50音[フリガナの先頭がスペースからはじまるもの、ア、ァ、イ、ィ・・・・・・・・・ン]
⬇
アルファベット[A、a、B、b・・・・・・・・・Z、z]
⬇
数字[0・・・・・・・・・9]
⬇
記号
⬇
フリガナが登録されていないもの

1 (Menu)▶ ▶「電話帳検索」の順に選ぶ

を押してから「電話帳検索」を選ぶか、を押しても電話帳検索画面を表示することができます。

2 検索する方法を選ぶ

優先して表示する検索方法を設定する場合

優先して表示したい検索方法を反転表示して[優先]を押す

次回検索するときに、待受画面表示中にを押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

検索方法の優先設定を解除する場合

「★」がついている検索方法を反転表示して[解除]を押す

3 電話帳を検索する

フリガナ検索の場合

フリガナの一部を入力してからまたはを押す

フリガナは姓、名の順で先頭から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。

文字の入力のしかた→P.502

名前検索の場合

名前の一部を入力してからまたはを押す

名前（姓、名の順で）は先頭から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。

電話番号検索の場合

電話番号の一部を入力してからまたはを押す

最初の数桁または途中の数桁を入力しても検索できます。

を1秒以上押して「＋」を含む電話帳を検索することもできます。

メールアドレス検索の場合

メールアドレスの一部を入力してからまたはを押す

メモリ番号で検索の場合

3桁のメモリ番号を入力する

FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。

グループ検索の場合

目的のグループを選ぶ

FOMAカードの電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のグループとは別グループになります。

電話帳

行（アカサタナ順）検索の場合

検索したい行に対応するボタンを押す

1：フリガナの頭文字が「ア行」のみ表示
2：フリガナの頭文字が「カ行」のみ表示
3：フリガナの頭文字が「サ行」のみ表示
4：フリガナの頭文字が「タ行」のみ表示
5：フリガナの頭文字が「ナ行」のみ表示
6：フリガナの頭文字が「ハ行」のみ表示
7：フリガナの頭文字が「マ行」のみ表示
8：フリガナの頭文字が「ヤ行」のみ表示
9：フリガナの頭文字が「ラ行」のみ表示
0：フリガナの頭文字が「ワ」「ヲ」「ン」のみ表示
＊：その他を表示

検索が終了すると、検索条件を満たした電話帳が一覧で表示されます。FOMAカードに登録されている電話帳は、検索結果の一覧画面で「 」が表示されます。
検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合は、データがないことを通知するメッセージが表示されます。

登録されているすべての電話帳を一覧で表示する場合

検索条件を入力せずに または を押す
ただし、検索方法が「グループ検索」の場合は、すべての電話帳を一覧で表示できません。

4 目的の電話帳を反転表示して または を押す

を押すと音声電話が、 を押すとテレビ電話がかかります。反転表示した電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

電話帳の詳細画面を表示する

操作4で [選択]を押すと、その電話帳の詳細画面が表示されます。

電話帳の詳細画面から電話をかける場合

電話をかける電話番号を表示して または を押す
を押すと音声電話が、 を押すとテレビ電話がかかります。

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

を押すと、電話番号の表示を切り替えることができます。

おしらせ

- 優先して表示する検索方法を設定しない場合は を押すと電話帳検索画面が表示され、最後に操作したとき選んだ検索方法が反転表示されます。

電話帳を修正する

電話帳に登録されている内容を修正します。
修正した内容を新しい電話帳として登録することもできます。

1 修正したい電話帳の詳細画面を表示して[編集]を押す

電話帳の検索のしかた→P.114

2 それぞれの項目を修正する

「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。
電話帳の登録のしかた→P.103

新しいメモリ番号に登録する場合
「No」を選んで電話帳が登録されていないメモリ番号(000～699)を入力する
修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

3 修正が終わったら[完了]を押して「YES」を選ぶ

FOMAカードの場合
[完了]を押した後、「上書き登録／追加登録」を選ぶ
「上書き登録」を選ぶと、修正した内容で登録します。
「追加登録」を選ぶと、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

おしらせ

- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は電話帳を修正できません。
- シークレットデータの電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしないと修正できません。

電話帳を削除する

登録した電話帳を1件ずつ削除します。また、電話番号、メールアドレス、住所、メモ、静止画、動画を選んで各項目ごとに削除することもできます。
- 電話帳の全件、または複数の電話帳を選択して削除する場合→P.119

1 削除したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた→P.114

電話番号やメールアドレス、住所、メモ、静止画、動画だけを削除する場合
を押して削除する項目を表示する

2 機能メニューから「電話帳削除」を選ぶ

電話帳を削除する場合
「1件削除」を選ぶ

操作1で表示させた項目のみ削除する場合
削除する項目に合わせて「電話番号削除／メールアドレス削除／住所削除／メモ削除／静止画削除／動画削除」を選ぶ

おしらせ

- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は、電話帳を削除できません。
- シークレットデータの電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしないと削除できません。
- 電話番号を複数登録している場合、1〜3番目のいずれかの電話番号を削除するとそれより後に登録した電話番号が繰り上って表示されます。

FOMAカード操作

電話帳をFOMAカードに保存する

電話帳

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりできます。また、FOMA端末(本体)やFOMAカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。

- データのコピー中または削除中は、音声電話やテレビ電話、メールの発信や着信はできません。また、ほかの機能を起動することもできません。
- シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーや削除はできません。
- FOMAカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。
  コピーできる項目や登録件数については、P.102を参照してください。

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間でデータをコピーする

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で電話帳やSMSのデータをコピーします。

- データをコピーしてもコピー元のFOMA端末(本体)やFOMAカードのデータは残ります。
- FOMAカードが差し込まれていない場合は、本機能を利用できません。

1 **(Menu)▶アクセサリ▶「FOMAカード操作」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができないようになり「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、FOMAカード操作を終了します。
端末暗証番号について→P.152

2 **「コピー」を選ぶ**

3 **コピー先を選ぶ**

FOMA端末(本体)からFOMAカードへコピーする場合
「本体→FOMAカード」を選ぶ

FOMAカードからFOMA端末(本体)へコピーする場合
「FOMAカード→本体」を選ぶ

4 **コピーしたい項目を選ぶ**

電話帳をコピーする場合
「電話帳」を選ぶ
電話帳検索を行い、電話帳の一覧画面を表示させます。
電話帳の検索のしかた→P.114

SMSをコピーする場合
「SMS」を選ぶ
「受信BOX／送信BOX」から選び、SMSの一覧画面を表示させます。

5 コピーしたいデータを選んで[完了]を押す

電話帳の場合

データをコピーするかどうかのメッセージが表示されます。

データを全件コピーする場合
　機能メニューから「全選択」を選ぶ

6 「YES」を選ぶ

コピーしない場合
　「NO」を選ぶ

おしらせ

● コピーできないデータがある場合や、電話番号の桁数がFOMAカードに対応していない場合、「+」が正しい位置に入力されていない場合は、コピーするかどうかのメッセージが表示されます。
● データのコピー中に転送先の最大登録(保存)件数を超えた場合は、データがいっぱいであることを通知するメッセージが表示されます。すでに登録(保存)されているデータの中で、不要なものを削除した後、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。
● FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号/メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2番目以降の電話番号/メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。1番目の電話番号/メールアドレスだけがコピーされ、アイコンが「☎」、「✉」になります。
● FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、以下のように一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。
　・FOMA端末(本体)の電話帳をFOMAカードにコピーする場合、絵文字はスペースに変換されます。
　・FOMA端末(本体)のSMSをFOMAカードにコピーする場合、「♥」と「☎」以外の絵文字はスペースに変換されます。
　・FOMAカードの電話帳をFOMA端末(本体)にコピーする場合、フリガナの「ヮ」(全角小文字)は「ﾜ」(半角大文字)に変換されます。
● ほかのFOMA端末で登録したFOMAカードのデータをコピーする場合、半角英数記号(。「」、・-゛゜を除く)以外のラテン文字、ギリシャ文字、一部の記号または区点コード一覧にない全角文字はスペースに変換されます。
● 「SMS report(送達通知)」のみのコピーはできません。ただし、送信SMSのSMS reportを受信している場合は、送信SMSをコピーすると送信SMSに保存されたSMS reportもコピーできます。
● 電話帳の詳細画面を表示して機能メニューから「FOMAカードへコピー」(FOMAカードの場合は「本体へコピー」)を選んで1件ずつコピーすることもできます。
● SMSの詳細画面を表示するか一覧画面でコピーするSMSを反転表示して、機能メニューから「FOMAカード操作」を選ぶと、1件ずつ移動またはコピーできます。→P.307

電話帳やSMSのデータを削除する

FOMA端末(本体)とFOMAカードのデータを削除します。一度にデータを全件削除したり、複数のデータを選択して削除できます。

● 電話帳を1件ずつ削除する場合→P.117

1 (Menu)▶アクセサリ▶「FOMAカード操作」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

2 「削除」を選ぶ

3 削除したいデータの保存先を選ぶ

FOMA端末(本体)のデータを削除する場合
　「本体」を選ぶ

FOMAカードのデータを削除する場合
　「FOMAカード」を選ぶ

電話帳

次ページへつづく

4 削除したい項目を選ぶ

電話帳を削除する場合
「電話帳」を選ぶ
電話帳検索を行い、電話帳の一覧画面を表示させせます。
電話帳の検索のしかた→P.114

SMSを削除する場合
「SMS」を選ぶ
「受信BOX／送信BOX」から選び、SMSの一覧画面を表示させせます。

5 削除したいデータを選んで[完了]を押す

データを削除するかどうかのメッセージが表示されます。

電話帳の場合

データを全件削除する場合
機能メニューから「全選択」を選ぶ

6 「YES」を選ぶ

削除しない場合
「NO」を選ぶ

電話帳登録件数

電話帳の登録状況を確認する

電話帳に登録している件数や登録可能な件数などを確認できます。

1 (Menu)▶ ▶「電話帳登録件数」の順に選ぶ

電話帳登録件数
本体
電話帳 200/700
シークレット 50
静止画 10/100
動画 10/100
追加残 470 630
FOMAカード
電話帳 30/50

本体(FOMA端末に登録されている電話帳)
電話帳　　　：電話帳の登録件数を表示します。
登録されている件数／700(登録できる件数)
シークレット：シークレットデータとして登録されている件数を表示します。「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときのみ表示できます。
静止画　　　：電話帳に登録されている静止画の件数を表示します。
登録されている件数／100(登録できる件数)
動画　　　：電話帳に登録されている動画の件数を表示します。
登録されている件数／100(登録できる件数)
追加残　　：電話番号があと何件登録できるかを表示します。
　　　　　：メールアドレスがあと何件登録できるかを表示します。

FOMAカード(FOMAカードに登録されている電話帳)
電話帳　　：電話帳の登録件数を表示します。
登録されている件数／50(登録できる件数)

おしらせ

● 本体(FOMA端末)の電話帳の登録件数は、シークレットデータの登録件数も含みます。

少ないボタン操作で電話をかける

メモリ番号を「000」～「009」に登録すると、0～9のうちの1つを押して（発信）または●［発信］（テレビ電話の場合は（テレビ電話））を押すだけですばやく電話をかけることができます。

1 0～9のボタンのうち、メモリ番号に該当するボタンを押す

2 （発信）または●［発信］を押す

メモリ番号に登録されている電話番号に電話がかかります。

テレビ電話にかける場合

（テレビ電話）を押す

●音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

携帯電話から鳴る着信音を変更する

お買い上げ時	電話：着信音1　TV電話：着信音1　メール：着信音2 メッセージリクエスト：着信音3　メッセージフリー：着信音3

音声電話、テレビ電話、メール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受けたときのそれぞれの着信音を設定できます。また、特定の電話番号やメールアドレス、電話帳のグループを指定してそれぞれに着信音を設定することもできます。→P.109

- サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーションを着信音に設定できます（着モーション）。
- メール、メッセージリクエスト、メッセージフリーの着信音にはiモーションを設定できません。
- 「おしゃべり」は「おしゃべり機能」（P.128）で音声が録音されていないと着信音に設定できません。
- 「PIMロック」設定中は、あらかじめ登録されているパターン、効果音、メロディ以外のデータを設定できません。また、「PIMロック」設定中は着モーションを着信音に設定できません。

1 (Menu)▶各種設定▶「着信」▶「着信音選択」の順に選ぶ

2 着信音を設定したい項目を選ぶ

電話　：音声電話の着信音を設定します。
TV電話　：テレビ電話の着信音を設定します。
メール　：iモードメール、SMS、パケット通信の着信音を設定します。
メッセージリクエスト：メッセージリクエストの着信音を設定します。
メッセージフリー　：メッセージフリーの着信音を設定します。

3 カテゴリーを選ぶ

メロディ　：あらかじめ登録されているパターン3種類、効果音8種類、メロディ10種類を「プリインストール」フォルダから、またはサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディ最大160種類を「INBOX」またはお客様が作成したフォルダから選びます。
iモーション　：FOMA端末に取り込んだiモーションを「INBOX」、「カメラ」またはお客様が作成したフォルダから選びます。着信時には選んだiモーションに応じて音や映像が再生されます（着モーション機能）。
着モーション機能について→P.200
おしゃべり　：「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」から着信音を選びます。着信時は録音されている音声が再生されます。
ランダムメロディ：メロディが保存されているフォルダを選びます。着信時にはフォルダに保存されているメロディがランダムで選曲され、再生されます。
OFF　：着信音を鳴らしません。

4 着信音に設定したいメロディを選ぶ

メロディを反転表示すると、そのメロディが鳴ります。、、、、、のいずれかのボタンを押すと、メロディはとまります。

iモーションを選んだ場合

[デモ]を押すと、iモーションが再生されます。

あらかじめ登録されている着信音・メロディ一覧

表示	曲名	作曲者
着信音1～3	—	—
Star Wars	Star wars	John Williams
アイーダ	Aida	Giuseppe Fortunino Francesco Verdi
Wonderful Moments	—	—
サマータイム	SUMMER TIME	GERSHWIN GEORGE
さくらさくら	さくらさくら	日本古謡
Scarborough Fair	Scarborough Fair	イギリス民謡
木星	“The Planets” Jupiter	GUSTAV THEODORE HOLST
カノン	Canon	Johann Pachelbel
夢路より	Beautiful Dreamer	Stephen Collins Foster
越天楽	越天楽	Traditional
キラキラ	—	—
ひよこ	—	—
Healing Sound	—	—
Calling	—	—
You've Got Mail	—	—
Techno	—	—
Funky!	—	—
黒電話	—	—

録音許諾番号：T-0400180 JASRAC

あらかじめ登録されている着モーション一覧

表示	曲名	作曲者
Dare To Dream	Dare To Dream	Bhooka & T-Bone

音源提供：株式会社トーリューモン
「iモーション」の「INBOX」フォルダに登録されています。削除してしまった場合は、「iMenu」－「メニューリスト」－「ケータイ電話メーカー」－「みんなNらんど」からダウンロードして元に戻すことができます。

おしらせ

- 「PIMロック」設定中はあらかじめ登録されている着信音のみ設定できます。あらかじめ登録されている着モーションも設定できません。
- 「PIMロック」設定中に着信があった場合、着信音をあらかじめ登録されている着信音以外のデータやファイルに設定していると、お買い上げのときに設定されている着信音が鳴ります。
- 「バイブレータ」で振動パターンを「メロディ連動」に設定し、あらかじめ振動パターンが指定されているメロディを着信音に設定すると、メロディに合わせてFOMA端末が振動します。なお、着モーションはバイブレータに連動しません。
- 「着信イルミネーション」で点滅のしかたを「メロディ連動」に設定し、あらかじめイルミネーションの点滅パターンが指定されているメロディを着信音に設定すると、メロディに合わせて着信ランプが点滅します。なお、着モーションは着信イルミネーションに連動しません。
- 「メロディ」の機能メニューから「着信音」の設定をすると、本機能の設定も同じ内容に変更されます。→P.366
- 「iモーション」の機能メニューから「電話」や「TV電話」の着信音の設定をすると、本機能の「電話」、「TV電話」の設定も同じ内容に変更されます。→P.351
- FOMAカード動作制限機能（P.48）が設定されたデータやファイルを着信音に設定した場合、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げのときの着信音が鳴ります（着信音などの設定は変更されませんので、FOMAカードを元に戻すと設定された着信音が鳴ります）。
- 着信音選択中に再生される着信音の音量は、「着信音量」の「電話／TV電話」および「メール／メッセージ」で設定した音量となります。「着信音量」を「消去」に設定している場合は鳴りません。
- 「♩」、「♩」が付いているメロディは、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのため着信音などに設定した場合は指定部分のみが再生されます。
- 着信音に設定できないiモーションはグレーで表示されます。
- 映像と音のあるiモーションを着信音に設定した場合は、「画面表示設定」で設定した画像ではなく、iモーションの映像が表示されます。
- 相手が電話番号を通知してこない音声電話の着信音は、「非通知着信設定」で設定できます。相手が電話番号を通知してこないテレビ電話の着信音は、本機能の「TV電話」の設定に従います。
- メール着信音の機能を同時に設定したときの優先順位は次のとおりです。①が最も優先度が高くなります。
  ①電話帳便利機能のメール着信音
  ②グループ便利機能のメール着信音
  ③着信音選択のメール着信音

携帯電話から鳴る着信音の音量を変更する

お買い上げ時	電話／TV電話：レベル4　メール／メッセージ：レベル4

音声電話やテレビ電話がかかってきたときや、メールやメッセージリクエスト／フリーを受信したときの着信音の大きさをそれぞれ6段階で調節できます。また、着信音を消したり、次第に音量を大きくする(ステップトーン)こともできます。

- 着信中は調節できません。
- 本機能で設定した「電話／TV電話」の着信音量は、「iモーション」、「メロディ」、音声電話やテレビ電話の「着信音選択」、「スケジュール」や「ToDo」のアラーム音、サイトからダウンロードしたメロディの再生音量などに反映されます。
- 本機能で設定した「メール／メッセージ」の着信音量は、メール、メッセージリクエスト／フリーそれぞれの「着信音選択」や電話帳便利機能の「メール着信音」などの着信音一覧で鳴る音量などに反映されます。

1 (Menu)▶各種設定▶「着信」▶「着信音量」の順に選ぶ

2 着信音量を調節したい項目を選ぶ

音声電話やテレビ電話の着信音量を調節する場合
「電話／TV電話」を選ぶ

iモードメール、SMS、メッセージリクエスト／フリー、パケット通信の着信音量を調節する場合
「メール／メッセージ」を選ぶ

3 着信音量を調節する

音量を1レベル上げる場合
を押す

音量を1レベル下げる場合
を押す

ステップトーン(次第に音を大きくする)に設定する場合
レベル6のときにを押す
ステップに設定しているときに着信すると、3秒ごとに無音、レベル1～6の順で着信音量が大きくなります。

着信音を消すように設定する場合
レベル1のときにを押す
消去に設定すると、着信音が鳴らなくなります。
待受画面のアイコンで、「消去」に設定されている項目が確認できます。
：「電話／TV電話」のみ「消去」に設定したことを示します。
：「メール／メッセージ」のみ「消去」に設定したことを示します。
：「電話／TV電話」と「メール／メッセージ」の両方を「消去」に設定したことを示します。

おしらせ

- 着信音量をステップトーンに設定しても、着信音にiモーションを設定している場合(着モーション)は、一定の音量(レベル2)で再生されます。

SRS_WOW設定

iモーションの再生音に音響効果を加える

お買い上げ時	ON

iモーションを着信音に設定した場合に電話がかかってきたとき、またはiモーションを再生したときに、音響効果が加わるように設定できます。

● 本機能を「ON」に設定すると、スピーカから聞こえる着信音や再生音に「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が加わります。また、イヤホンから聞こえてくるステレオ再生音には「自然な立体音場感」、「豊かな低音」、「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が同時に加わります。
● 本機能の設定は、「」、「」、「」(音符が青)がタイトル前に表示されるiモーションを着信音に設定したときや、再生したときに有効になります。→P.369

1 **(Menu)▶ 各種設定 ▶「着信」▶「SRS_WOW設定」の順に選ぶ**

音響効果を設定する場合
「ON」を選ぶ
音響効果の設定を解除する場合
「OFF」を選ぶ

バイブレータ

着信やアラームを振動で知らせる

お買い上げ時	OFF

音声電話、テレビ電話、メール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受けたときのそれぞれの振動パターンを設定できます。

●「バイブレータ」を「OFF」に設定している「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している場合は振動しません。

1 **(Menu)▶ 各種設定 ▶「着信」▶「バイブレータ」の順に選ぶ**

2 **バイブレータを設定したい項目を選ぶ**

3 **振動パターンを選ぶ**

振動パターンを反転表示すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。
パターン1～3　：一定のパターンでFOMA端末が振動します。
メロディ連動　：着信音に設定されているメロディのパターンに合わせてFOMA端末が振動します。ただし、メロディにバイブレータのパターンが指定されていない場合、または着信音をiモーションに設定している場合は、パターン2で振動します。
OFF　：FOMA端末は振動しません。
待受画面のアイコンで、バイブレータを設定している項目が確認できます。
：音声電話／テレビ電話でバイブレータを設定したことを示します。
：メールでバイブレータを設定したことを示します。
：音声電話／テレビ電話とメールの両方にバイブレータを設定したことを示します。
メッセージリクエスト／フリーのバイブレータ設定はアイコンで確認できません。

おしらせ

●「メール／メッセージ鳴動」を「OFF」に設定している場合、「」は表示されず、メールまたはメッセージリクエスト／フリーを受信しても振動しません。
● Flash画像の効果音が鳴ったときは、バイブレータを設定していても振動しません。
● バイブレータを設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気(ストーブなど)に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。

着信音や応答保留音を録音／再生する

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定できます。

● 録音できる音声は「おしゃべり1」、「おしゃべり2」の2件です。
● 録音できる時間は約15秒です。
● 本機能で録音した音声を設定できる機能は次のとおりです。

・着信音
・非通知着信設定の着信音
・応答保留音
・通話中保留音
・伝言メモの応答メッセージ
・めざまし時計のアラーム音
・スケジュールのアラーム音
・ToDoのアラーム音

※：「メロディ」でも録音した音声を再生できます。→P.365

音声を録音する

1 (Menu)▶アクセサリ▶「おしゃべり機能」の順に選ぶ

2 録音したい項目を選ぶ

3 「録音」を選んで音声を録音する

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。送話口に向かってお話しください。録音時間(約1～15秒間)が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

録音を途中でやめる場合

●[停止]、CLR、PWR/HLDのいずれかのボタンを押す
録音中にPWR/HLDを押した場合、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

おしらせ

● 録音済みの音声がある場合は、すでに録音されていることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選んで新しく音声を録音すると元の音声は上書きされます。
● 録音中に音声電話やテレビ電話の着信があったり、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

録音した音声を再生する

1 (Menu)▶アクセサリ▶「おしゃべり機能」の順に選ぶ

2 再生したい項目を選ぶ

3 「再生」を選んで音声を再生する

再生を途中でやめる場合
　[停止]、CLR、PWR HLDのいずれかのボタンを押す
音声を消去する場合
　「消去」を選ぶ
アラーム通知前に開始音を鳴らすかどうかを設定する場合
　「開始音設定」を選ぶ
　アラーム通知前に開始音を「鳴らす／鳴らさない」(ON／OFF)を設定します。
　「ON」に設定すると「★」が表示されて、録音した音声が「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音として鳴る前に「ピピッ」という開始音が鳴ります。

おしらせ

● 着信音、アラーム音、応答メッセージ、応答保留音などに設定している音声を消去すると、各機能の設定はお買い上げのときの状態に戻ります。「メロディ」の場合は、プログラム編集データが削除されます。

ボタン確認音

ボタンを押したときに鳴る音を設定する

お買い上げ時	ON

周囲に迷惑がかからないように、ボタンを押したときの確認音を鳴らさないように設定できます。

● 本機能を「OFF」に設定した場合、次の音も鳴りません。
　・各種警告音
　・受話音量の調節を開始したときの音
　・電池残量表示の音
　・めざまし時計のスヌーズ解除音
● 本機能の設定にかかわらず、次の操作を行うときは確認音が鳴ります。
　・FOMA端末を閉じた状態で[メモ／確認]を押したとき
　・カメラで撮影したとき
　・電池切れアラーム音が鳴ったとき
　・メモの再生開始時／終了時(受話口から鳴ります)
　・待受中音声メモの録音開始時／終了時(受話口から鳴ります)
　・おしゃべりの録音開始時／終了時(受話口から鳴ります)
● ボタン確認音の音量は「着信音量」の設定にかかわらず一定の音量になります。

1 (Menu)▶各種設定▶「その他」▶「ボタン確認音」の順に選ぶ

ボタン確認音を鳴らす場合
　「ON」を選ぶ
ボタン確認音を鳴らさない場合
　「OFF」を選ぶ

充電確認音

充電時の確認音を設定する

お買い上げ時	ON

充電したままFOMA端末を放置することがないように、充電をはじめたときや完了したときに「ピッピッ」と確認音が鳴るように設定できます。

● 本機能の設定にかかわらず、次の場合は確認音が鳴りません。
・待受画面以外の画面が表示されている場合
・ドライブモード設定中の場合
・マナーモード設定中の場合
・電源がOFFの場合
・「着信音量」の「電話／TV電話」を「消去」に設定している場合

1 **(Menu)▶各種設定▶「その他」▶「充電確認音」の順に選ぶ**

充電確認音を鳴らす場合
「ON」を選ぶ
充電確認音を鳴らさない場合
「OFF」を選ぶ

通話品質アラーム

通話が切れそうなときはアラームで知らせる

お買い上げ時	アラーム高音

音声通話中に電波の状態が悪くなって途中で通話が切れそうな場合は、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。通話が切れる前に電波の状態がよい場所に移動したり、相手の了解を得てから電話を切り、もう一度かけ直すなどの対処ができるので便利です。

● 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
● テレビ電話では本機能は動作しません。

1 **(Menu)▶各種設定▶「通話」▶「通話品質アラーム」の順に選ぶ**

アラームを鳴らさない場合
「アラームなし」を選ぶ
高音のアラームを鳴らす場合
「アラーム高音」を選ぶ
低音のアラームを鳴らす場合
「アラーム低音」を選ぶ

メールやメッセージの着信音を鳴らす時間を設定する

お買い上げ時	5秒

メールやメッセージリクエスト／フリーを受信したときに、着信音を鳴らすかどうか、鳴らす場合にはその時間を設定します。

<例：メールの着信音を設定する場合>

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「着信」▶「メール／メッセージ鳴動」の順に選ぶ

メール／メッセージ鳴動画面に現在の設定が表示されます。

2 設定する項目を選んで「ON」を選ぶ

着信音を鳴らさない場合

「OFF」を選ぶ

着信音を「OFF」に設定すると、メールやメッセージリクエスト／フリーを受信したときに着信音、バイブレータ、マルチファンクションボタンの点滅、バックライトなどによる着信のお知らせをしません。メールの着信音を「OFF」に設定した場合、画面に「」または「」が表示されます。メッセージリクエスト／フリーの着信音を「OFF」に設定した場合には、これらのアイコンは表示されません。

設定を中止または完了する場合

CLRを押す

3 鳴動時間（01〜30秒）を入力する

鳴動時間設定
鳴動時間（秒）
01〜30？ 05

時間は2桁で入力します。1〜9秒に設定するときは0を押してから1〜9を押します。
01〜30以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。

イヤホンだけから着信音を鳴らす<オプション>

お買い上げ時	イヤホン＋スピーカ

スイッチ付イヤホンマイク（別売品）などを接続しているときに、スピーカから音が鳴らないように設定できます。

- スピーカから音が鳴らないように設定しても、着信音や「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音が鳴ってからとめずに約20秒たつと、イヤホンとスピーカの両方から音が鳴ります。
- 本機能の設定にかかわらず、遠隔監視の着信音とカメラのシャッター音はスピーカから鳴ります。
- 本機能の設定にかかわらず、イヤホンマイクを接続している場合はハンズフリーに切り替えてもスピーカから音は鳴りません。

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「外部オプション」▶「イヤホン切替」の順に選ぶ

イヤホンとスピーカの両方から音を鳴らす場合

「イヤホン＋スピーカ」を選ぶ

イヤホンのみから音を鳴らす場合

「イヤホン」を選ぶ

おしらせ

- 本機能を「イヤホン」に設定していても、イヤホンマイクを接続していない場合はスピーカから音が鳴ります。
- 本機能を「イヤホン＋スピーカ」に設定しているときにイヤホンマイクを抜き差しすると、スピーカから鳴る音の音質が変わる場合があります。

電話から鳴る音を消す

周囲に迷惑がかからないように、ボタン1つの操作で着信音やボタン確認音などスピーカから出る音を鳴らさないように設定できます。

● 本機能の設定にかかわらず、静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音／終了音、セルフタイマーの開始音は鳴ります。
● マナーモード設定中は、次の音を振動でお知らせします。
・着信音※
・めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム音※
・FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音
※：「バイブレータ」の設定パターンで振動します。「バイブレータ」が「OFF」に設定されている場合は「パターン2」で振動します。
● マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選ぶことができます。→P.133
● マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定した場合、その設定内容によっては音が鳴ります。
● 着信中にマナーモードにする→P.85

1 待受画面表示中または通話中に(# マナー)を1秒以上押す

マナーモードが設定されて「」が表示されます。
通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定したことを通知するメッセージが表示されます。

マナーモード設定中は「」のほかに、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

V ：「バイブレータ」でお知らせすることを示します。
S、S、S ：「着信音量」を「消去」に設定していることを示します。
〜 ：「伝言メモ」で録音するように設定していることを示します。数字は録音されている伝言メモの件数を示します。

マナーモードを解除する場合

マナーモードが設定されている状態で、待受画面表示中または通話中に(# マナー)を1秒以上押す
マナーモードが解除されて「」の表示が消えます。
通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードを解除したことを通知するメッセージが表示されます。

マナーモードを変更する

お買い上げ時	マナーモード

マナーモード設定中の動作を選ぶことができます。

●お買い上げのとき、「オリジナルマナー」の動作は次のように設定されています。

・伝言メモ：OFF　・バイブレータ：ON　・電話着信音量：消去
・メール着信音量：消去　・めざまし音量：消去　・メモ確認音：ON
・ボタン確認音：OFF　・通話中マイク感度：アップ　・低電圧アラーム：OFF

1 (Menu)▶各種設定▶「着信」▶「マナーモード選択」の順に選ぶ

2 設定する項目を選ぶ

「オリジナルマナー」を選んだ場合は操作3に進んでください。

マナーモード　　　：スピーカから出るすべての音を消去し、着信などをバイブレータ(振動)でお知らせします。
ただし、受話口から鳴る確認音(音声メモやメモの再生／消去で[メモ／確認]を押したときの確認音)は消去しません。

スーパーサイレント：スピーカから出るすべての音と、受話口から鳴る確認音を消去し、着信などをバイブレータ(振動)でお知らせします。

オリジナルマナー　：お客様のお好みによってマナーモード設定中の動作を設定できます。マナーモード設定中に電話がかかってきたときの動作、めざまし時計のアラーム音量などをあらかじめ設定しておくことができます。

3 それぞれの項目を設定する

伝言メモ　　　　：着信中に伝言メモを起動する／しない(ON／OFF)を設定します。
伝言メモについて→P.83

バイブレータ　　：着信中およびアラーム通知を振動で知らせる／知らせない(ON／OFF)を設定します。
バイブレータについて→P.127

電話着信音量　　：音声電話とテレビ電話の着信音量を設定します。
着信音量について→P.126

メール着信音量　：メールやメッセージリクエスト／フリーの着信音量を設定します。
着信音量について→P.126

めざまし音量　　：めざまし時計のアラーム音量を設定します。
めざまし時計について→P.412

メモ確認音　　　：「伝言メモ」や「音声メモ」などの確認音を鳴らす／鳴らさない(ON／OFF)を設定します。

ボタン確認音　　：ボタン確認音を鳴らす／鳴らさない(ON／OFF)を設定します。

通話中マイク感度：通話中のマイクの感度をアップする／しない(アップ／標準)を設定します。

低電圧アラーム　：電池切れアラームを鳴らす／鳴らさない(ON／OFF)を設定します。

4 [完了]を押してオリジナルマナーを設定する

次ページへつづく

マナーモードに設定すると

各マナーモードは次のような設定になります。

	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
電池切れアラーム	OFF		「低電圧アラーム」の設定値 「ON」に設定していても、本機能の「電話着信音量」を「消去」に設定している場合は、電池切れアラームは鳴りません。
通話中のマイクの感度※	アップ		「通話中マイク感度」の設定値
音声電話、テレビ電話の着信音量	消去		「電話着信音量」の設定値
メール、メッセージリクエスト／フリーの着信音量	消去		「メール着信音量」の設定値
バイブレータ	ON		「バイブレータ」の設定値
通話中／応答保留音	OFF		「電話着信音量」の設定値 「消去」以外に設定している場合は、小さい音で鳴ります。
伝言メモの起動	アクセサリの「伝言メモ」（P.83）の設定値		本機能の「伝言メモ」の設定値
FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音	OFF		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は、一定の音量で鳴ります。
ボタン確認音	OFF		「ボタン確認音」の設定値
めざまし時計のアラーム音量	消去		「めざまし音量」の設定値
スケジュール／ToDoのアラーム音量	消去		「電話着信音量」の設定値
音声メモや伝言メモなどの開始音、終了音	ON	OFF	「メモ確認音」の設定値

※：通話中のマイクの感度がアップの状態になっていると、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。ただし、「カメラ」の動画撮影時には、マイク感度は「標準」になります。

おしらせ

- マナーモード設定中の動作をバイブレータでお知らせするように設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないようご注意ください。
- オリジナルマナーでは伝言メモの呼出時間は設定できません。オリジナルマナーの「伝言メモ」を「ON」に設定した場合、伝言メモの呼出時間はアクセサリの「伝言メモ」（P.83）で設定した時間になります。ただし、アクセサリの「伝言メモ」を「OFF」に設定しているときは8秒となります。

デスクトップアイコンを利用する

よくかける電話番号やよく使う機能をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けると、簡単な操作で電話番号を表示したり機能を呼び出したりできます。

- デスクトップに貼り付けられるアイコンは次のとおりです。
  - ・電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像、動画、iモーション、キャラ電、iアプリのソフト
  - ・カメラ、ToDoの一覧画面、バーコードリーダー、辞典、オリジナルメニューの各機能
- デスクトップアイコンは15件まで貼り付けることができます。
- あらかじめFOMA端末に内蔵されているメロディや画像、自作アニメをデスクトップアイコンに貼り付けることはできません。

デスクトップアイコンを貼り付ける

<例：電話帳の電話番号を貼り付ける場合>

1 設定したい電話番号を表示する

電話帳の検索のしかた→P.114

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合
　を押して設定したい電話番号を表示する

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」から電話番号を貼り付ける場合
　一覧画面で貼り付けたい電話番号を反転表示するか、詳細画面を表示する

2 機能メニューから「デスクトップ貼付」を選ぶ

デスクトップに貼り付けるかどうかを表示するメッセージが表示されます。

3 「YES」を選ぶ

おしらせ

- シークレットデータとして登録した電話帳から貼り付けることはできません。
- miniSDメモリーカードに保存されている電話番号、メールアドレス、URL、画像、動画、iモーションをデスクトップアイコンに貼り付けることはできません。
- 「PIMロック」設定中は、デスクトップアイコンの情報確認、タイトル編集、削除、デスクトップの初期化をすることはできません。

その他のデスクトップアイコンの貼り付けかた

メールアドレス

電話帳に登録してあるメールアドレスを貼り付ける場合

貼り付けたいメールアドレスの詳細画面を表示

受信メールの送信元や送信メールの宛先を貼り付ける場合

貼り付けたい送信元または宛先が表示されているメール詳細画面を表示

「Fm」が表示されている送信元のアドレスは貼り付けできません。

受信アドレス一覧または送信アドレス一覧のメールアドレスを貼り付ける場合

一覧画面で貼り付けたいメールアドレスを反転表示

SMSアドレス（電話番号）

受信SMSの送信元、送信SMSの宛先を貼り付ける場合

貼り付けたい送信元または宛先が表示されているメール詳細画面を表示

受信アドレス一覧または送信アドレス一覧のSMSアドレスを貼り付ける場合

一覧画面で貼り付けるSMSアドレスを反転表示

電話帳からSMSアドレスを貼り付けることはできません。

URL

サイトのURLを貼り付ける場合

URLを貼り付けたいページを表示

ブックマークのURLを貼り付ける場合

Bookmark一覧画面で貼り付けたいタイトルを反転表示

URL履歴のURLを貼り付ける場合

URL履歴画面で貼り付けたいURLを反転表示

貼り付けできるURLの文字数は256文字までです。
画像やメロディが保存されているサイトのURLを貼り付けても、デスクトップアイコンからそのサイトを表示できない場合があります。

画像、動画やiモーション、メロディ、キャラ電のデータ

「イメージ」の一覧画面で貼り付けたい画像を反転表示

「iモーション」の一覧画面で貼り付けたい動画／ iモーションを反転表示

「メロディ」の一覧画面で貼り付けたいメロディを反転表示

「キャラ電」の一覧画面で貼り付けたいキャラ電を反転表示

iアプリのソフト

ソフト一覧画面で貼り付けたいソフトを反転表示

「カメラ」機能

カメラメニュー画面を表示

「ToDo」のリスト

「ToDo」の一覧画面を表示

「バーコードリーダー」機能

「バーコードリーダー」の一覧画面を表示

「辞典」の機能

「辞典」の一覧画面を表示

「オリジナルメニュー」

「オリジナルメニュー」の登録画面を表示

➡ **機能メニューから「デスクトップ貼付」を選ぶ**

貼り付けたデスクトップのタイトルについて

表示されるアイコン	種類	タイトル
	電話番号	電話帳に登録されている名前(ない場合は電話番号)
	メールアドレス	電話帳に登録されている名前(登録されていない場合、およびメール詳細画面から貼り付けた場合はメールアドレス)
	SMSアドレス	電話帳に登録されている名前(登録されていない場合、およびメール詳細画面から貼り付けた場合は電話番号)
	URL	ページのタイトル(ない場合は「http://」または「https://」を除いたURLの表示)
	メロディ	メロディのタイトル(ない場合は「メロディ」)
	画像	画像のタイトル(ない場合は「イメージ」)
	動画またはiモーション	動画またはiモーションのタイトル(ない場合は「iモーション」)
	キャラ電	キャラ電のタイトル(ない場合は「キャラ電」)
	iアプリのソフト	ソフト名
	カメラ	それぞれの機能名
	ToDo	
	バーコードリーダー	
	辞典	
	オリジナルメニュー	

※：デスクトップアイコンを選んだときに表示されるタイトルは、いずれの場合も先頭から全角で11文字、半角で22文字までです。

デスクトップアイコンからデータや機能を呼び出す

1 **待受画面表示中に◉を押す**

2 **呼び出したいデスクトップアイコンにカーソルを合わせる**

カーソルの位置にあるデスクトップアイコンのタイトルが表示されます。

デスクトップアイコンが6件以上登録されている場合

画面の左右に「◀ ▶」が表示されます。◯を押してデスクトップアイコンをスクロールできます。

3 **◉[選択]を押す**

- ：貼り付けた電話番号をダイヤル入力した画面に表示します。(発信)や(テレビ電話)を押して音声電話やテレビ電話をかけることができます。
- ：貼り付けたメールアドレスが宛先に入力された新規メール作成画面を表示します。→P.248
- ：貼り付けたSMSアドレス(電話番号)が宛先に入力された新規SMS作成画面を表示します。→P.302
- ：貼り付けたURLのサイトに接続してページを表示します。→P.205
- ：貼り付けたメロディを「メロディ」で再生します。→P.365
- ：貼り付けた画像を「イメージ」で表示します。→P.338
- ：貼り付けた動画やiモーションを「iモーション」で再生します。→P.349
- ：貼り付けたキャラ電を「キャラ電」で再生します。→P.359
- ：貼り付けたiアプリのソフトを起動します。→P.315
- ：「カメラ」が起動します。→P.170
- ：「ToDo」の一覧画面を表示します。→P.421
- ：「バーコードリーダー」を起動します。→P.193
- ：「辞典」を起動します。→P.434
- ：「オリジナルメニュー」を表示します。→P.44

おしらせ

- 「PIMロック」設定中は電話番号、メールアドレス、SMSアドレス、URL、メロディ、画像、動画またはiモーション、キャラ電、iアプリのデスクトップアイコンが表示されなくなります。「PIMロック」を解除すると再び表示されます。
- メロディ、画像、動画またはiモーション、キャラ電、iアプリのデスクトップアイコンから再生または表示できるのは、貼り付けたデータのみとなります。
- メロディやイメージなどのデータをデスクトップアイコンとして貼り付けた場合、元のデータを削除すると、デスクトップアイコンからも呼び出すことができなくなります。

デスクトップアイコンの情報を確認する

デスクトップアイコンに貼り付けた内容やタイトルなどの情報を確認できます。

1 (Menu)▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ

2 確認したいデスクトップアイコンのタイトルを選ぶ

おしらせ

- URLのデスクトップアイコンの情報表示画面では、を押して画面をスクロールしてURLのすべてを確認できます。

デスクトップアイコンのタイトルを変更する

デスクトップアイコンのタイトルを変更できます。

- タイトルは全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。ただし、デスクトップアイコンを選んだときに表示されるタイトルは、先頭から全角で11文字、半角で22文字までです。

1 (Menu)▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ

2 変更したいタイトルを反転表示して機能メニューから「タイトル編集」を選ぶ

3 タイトルを変更する

文字の入力のしかた→P.502

おしらせ

- デスクトップアイコンのタイトルを変更しても、貼り付けた元のデータのタイトルは変更されません。また、元のデータのタイトルを変更してもデスクトップアイコンのタイトルは変更されません。

待受画面に貼り付けられているデスクトップアイコンを削除する

1 **(Menu)▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ**

2 **削除したいデスクトップアイコンを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ**

すべて削除する場合
「全削除」を選ぶ

デスクトップアイコンをお買い上げのときの状態に戻す　<デスクトップ初期化>

待受画面に貼り付けられているデスクトップアイコンを「カメラ」だけの状態に戻します。

1 **(Menu)▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ**

2 **機能メニューから「デスクトップ初期化」を選ぶ**

情報を通知するデスクトップアイコン

新着メールが届いているなどの情報を、デスクトップアイコンで通知します。貼り付けたデスクトップアイコンと同じ操作で、それぞれ関連した機能を呼び出すことができます。

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容	参照ページ
メール	新着メールがあったことを通知します。	最新のメールが保存されている受信フォルダの受信メール一覧画面を表示します。	P.268 P.305
不在	不在着信があったことを通知します。	「不在着信履歴」を表示します。	P.76
伝言	伝言メモが録音されていることを通知します。	「メモの再生／消去」を起動します。	P.85
留守	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることを通知します。	「留守番電話」を起動します。	P.446
アラーム	めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知ができなかったことを通知します。	通知できなかった最新のアラームの情報を表示します。	P.411
ソフト	iアプリのソフトが自動起動できなかったことを通知します。	自動起動情報画面を表示します。	P.322
アプリ	iアプリ待受画面が異常終了したことを通知します。	セキュリティエラー履歴を表示します。	P.329
更新	ソフトウェア更新が終了したことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、更新結果表示画面を表示します。	P.586

おしらせ

- 「留守」が表示されていない場合でも、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っている場合があります。
- 「不在」を選ぶと、「不在着信履歴」が表示され、不在着信が音声電話かテレビ電話かをアイコンによって確認できます。
  不在着信履歴に表示されるアイコンの詳細について→P.77
- 「メール」、「伝言」、「アラーム」、「ソフト」、「アプリ」が表示されているときに「PIMロック」に設定すると、これらのデスクトップアイコンは表示されなくなります。「PIMロック」を解除すると再び表示されます。
  また、「PIMロック」設定中にメールの受信があった場合は、「PIMロック」解除後に「メール」が表示されます。
- 情報を通知するデスクトップアイコンを消したい場合はCLRを1秒以上押します(表示が消えるだけで内容は消去されません)。
- 情報を通知するデスクトップアイコンは電源を切っても消えませんが、電池パックを外すと消えます。
- 情報を通知するデスクトップアイコンから各機能を呼び出した場合、またはメニューから各機能を呼び出した場合、そのデスクトップアイコンは消えます。ただし、「伝言」のデスクトップアイコンは伝言メモを再生または消去しないと消えません。

待受画面の表示を変更する

お買い上げ時	待受画面：イルカ　ウェイクアップ表示：クレスト 電話発信：スタンダード　電話着信：スタンダード メール送信：スタンダード　メール受信：スタンダード 問い合わせ：スタンダード

ディスプレイに撮影した静止画やダウンロードした画像など、お好きな画像を表示させることができます。
設定できる画面は次のとおりです。

設定項目(画面)	設定できる内容
待受画面	待受画面で表示するカレンダーや画像※を設定します。また、動画やiモーション、iアプリ待受画面を設定したり、表示をなし(OFF)に設定することもできます。
ウェイクアップ表示	電源を入れたときに表示するメッセージや画像※を設定します。また、表示をなし(OFF)に設定することもできます。
電話発信	音声電話／テレビ電話をかけているときに表示する画像※を設定します。
電話着信	音声電話／テレビ電話がかかってきたときに表示する画像※を設定します。
メール送信	メールを送信しているときに表示する画像※を設定します。
メール受信	メールやメッセージリクエスト／フリーを受信しているときに表示する画像※を設定します。
問い合わせ	「サービス問い合わせ」や「iモード問い合わせ」、「SMS問い合わせ」をしているときに表示する画像※を設定します。

※：表示する画像には、静止画のほかにアニメーションや自作アニメなども選べます。

● miniSDメモリーカードに保存されている画像、動画、iモーションは本機能で設定できません。

待受画面の表示を設定する

●「ローカル時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合は、「カレンダー」を選ぶことはできません。

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」の順に選ぶ

2 「待受画面」を選ぶ

音／画面／照明設定

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

3 設定したい項目を選ぶ

画像などを表示しない場合
「OFF」を選ぶ

カレンダーを表示する場合
「カレンダー」を選ぶ
「背景画像あり／背景画像なし」を選びます。
「背景画像あり」に設定した場合は、背景の画像を選びます。
画像の選びかた→P.338

画像を表示する場合
「イメージ」を選んで画像を選ぶ
画像の選びかた→P.338

動画やiモーションを表示する場合
「iモーション」を選んで動画やiモーションを選ぶ
iモーションによっては、設定できないものもあります。
動画やiモーションの選びかた→P.349

iアプリ待受画面を設定する場合
「iアプリ待受画面」を選んでソフトを選択する
iアプリ待受画面に設定されている場合は、「★」が表示されます。
iアプリ待受画面について→P.325

待受画面にカレンダーを設定すると

待受画面にカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールを起動できます。

前後の月のカレンダーを確認する場合

待受画面表示中に●を押すか●をスライドさせてポインターをカレンダーに重ねると、カレンダーが選択状態になります。もう一度●[選択]を押すかポインターでカレンダーを選択してから◯を押すと前の月のカレンダーが、◯を押すと次の月のカレンダーが表示されます。
待受画面に「デスクトップアイコン」が貼り付けられている場合は、●[選択]を押すと前回使ったデスクトップアイコンまたはカレンダーが選ばれます。デスクトップアイコンが選ばれた場合は、カレンダーを選んで、もう一度●[選択]を押すかポインターでカレンダーを選択してから◯または◯を押すと前の月、次の月のカレンダーが表示されます。

スケジュール機能を起動する場合

カレンダーの選択状態から●[選択]を押すと、スケジュール機能が起動して表示している月のスケジュールを登録できます。

祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成13年法律第59号)」に基づいています。

おしらせ

- プリインストールのアニメーションまたはイメージに登録されているアニメーションを設定した場合は、FOMA端末を開いたときにアニメーションで表示され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。ただし、SWF※の場合は、CLR、PWR HLDのいずれかのボタンを押すと再生を終了し、終了したときの画面がそのまま待受画面として表示されます。
  ※：SWFとはFlash画像のファイル形式です。→P.207
- 動画やiモーションを待受画面に設定した場合、FOMA端末を開くと動画やiモーションが再生されます。CLR、PWR HLDのいずれかのボタンを押すと再生は終了します。また、マナーモード設定中には映像のみが表示されます。動画やiモーションの再生中は「V」や「Y」、「🔔」など待受画面の2段目に表示されるアイコンや時計、デスクトップアイコンなどは表示されません。
- iモーション待受画面から「Phone To機能」、「Mail To機能」、「Web To機能」を利用することはできません。
- 「オート表示」を設定している場合は、「オート表示」の設定が優先され、FOMA端末を開いたときに画像は表示されません。
- 「iアプリ待受画面」からiアプリ待受画面が設定されている場合は、「iアプリ待受画面」の設定が優先されます。
- 待受画面などに設定している画像や動画、iモーションを削除すると、その設定は解除されてお買い上げのときの状態に戻ります。
- 設定できる画像は、サイズがヨコ640×タテ480ドットまでの画像です。ヨコ1616×タテ1212ドット、ヨコ1280×タテ960ドットの画像は、「トリミング」(P.347)で画像を切り抜いて保存すれば本機能で設定できます。

ウェイクアップ画面の表示を設定する

1 (Menu)▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」の順に選ぶ

2 「ウェイクアップ表示」を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

画像などを表示しない場合
「OFF」を選ぶ

メッセージを表示させる場合
「メッセージ」を選んでメッセージを入力する
全角で50文字、半角で100文字まで登録できます。
文字の入力のしかた→P.502

画像を表示させる場合
「イメージ」を選んで画像を選ぶ
画像の選びかた→P.338

電話の着信中やメールの送信中などの画像を設定する

1 (Menu)▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」の順に選ぶ

2 画像を設定したい項目を選ぶ

電話発信　：音声電話／テレビ電話をかけたときに表示される画像を設定します。
電話着信　：音声電話／テレビ電話がかかってきたときに表示される画像を設定します。
メール送信：iモードメール、SMSを送信したときに表示される画像を設定します。
メール受信：iモードメール、SMS、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときに表示される画像を設定します。
問い合わせ：サービス問い合わせ、iモード問い合わせ、SMS問い合わせを実行したときに表示される画像を設定します。

3 設定したい項目を選ぶ

お客様が作成したフォルダがある場合は、そこから画像を選ぶこともできます。
画像の選びかた→P.338

画像を確認する場合
確認したい項目を反転表示して[デモ]を押す
CLRを押すと画像一覧画面に戻ります。

おしらせ

- 着信の設定が重なった場合の画像表示の優先順位は次のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。ただし、着信音としてiモーションが動作した場合はそのiモーションが表示されます。
  ①電話帳登録画像のiモーション
  ②電話帳便利機能の着信イメージ
  ③グループ便利機能の着信イメージ
  ④電話帳登録画像のイメージ
  ⑤画面表示設定

着信時に電話帳に設定した画像を表示する

お買い上げ時	ON

静止画や動画が登録されている電話帳の電話番号から音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、画像を表示するかしないかを設定できます。

1 (Menu)▶各種設定▶「着信」▶「電話帳画像着信設定」の順に選ぶ

電話帳に登録した画像を表示する場合
「ON」を選ぶ

「画面表示設定」で設定した画像を表示する場合
「OFF」を選ぶ

おしらせ

- 着信の設定が重なった場合の画像表示の優先順位は次のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。ただし、着信音としてiモーションが動作した場合はそのiモーションが表示されます。
  ①電話帳登録画像のiモーション
  ②電話帳便利機能の着信イメージ
  ③グループ便利機能の着信イメージ
  ④電話帳登録画像のイメージ
  ⑤画面表示設定
- 本機能の設定にかかわらず、シークレットデータ(P.161)の電話帳の画像は表示されません。
- 相手が電話番号を通知してこなかった場合は、画像は表示されません。

イメージウィンドウの表示のしかたを設定する

お買い上げ時	設定：ON　待受表示固定：OFF　待受画面表示：アナログ時計1(ピクト表示：ON)　背景設定：プリインストール(イルカ)　着信表示：ON(画像＋着信番号)　メール表示：OFF　通信中表示：ON(バックライトOFF)

イメージウィンドウのメッセージ表示のしかたや背景の設定、時計表示などを設定できます。

1 (Menu)▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「イメージウィンドウ」の順に選ぶ

2 表示のしかたを選ぶ

ON　：イメージウィンドウに表示される内容を設定します。
OFF：イメージウィンドウには何も表示されなくなります。

次ページへつづく

3 それぞれの項目を設定する

待受表示固定 ：イメージウィンドウの表示内容を固定する／しない（ON／OFF）を設定します。「ON」に設定したときは、着信時などにイメージウィンドウのバックライトは点灯しません。着信中のメッセージは表示されずアラーム通知などのアニメーションも表示されません。

待受画面表示 ：表示する時計の種類と電池アイコンなどのピクト表示をする／しない（ON／OFF）を設定します。「ローカル＆リモート時計」を選ぶと、イメージウィンドウの待受画面に「リモート時計設定」で設定した時刻が表示されます。

背景設定 ：イメージウィンドウに背景画像を表示する／しない（ON／OFF）を設定します。「ON」に設定したときは、「プリインストール」フォルダに登録されている画像や内蔵カメラで撮影した写真（画像）、ダウンロードした画像から背景を選ぶことができます。

着信表示 ：着信中に相手の電話番号を表示する／しない（ON／OFF）を設定します。「ON」に設定したときは、表示方法を「画像＋着信番号」、「画像のみ」、「着信番号のみ」から選択できます。

メール表示 ：メールを受信したときに送信元、相手が送信した日時、題名を表示する／しない（ON／OFF）を設定します。

通信中表示 ：音声電話やテレビ電話の発信中や通話中、赤外線通信中やデータ通信中のときの状態を画像、アニメーションで表示する／しない（ON／OFF）を設定します。「ON」に設定したときは、バックライトの点灯をする／しない（ON／OFF）が設定できます。

おしらせ

- 「着信表示」を「ON」に設定すると、電話帳に電話をかけてきた相手の電話番号が登録されているときは、相手の名前（登録されている名前）とアイコンが表示されます。画像が登録されているときや「電話帳便利機能」および「グループ便利機能」で「着信イメージ」が設定されているときは、電話帳に登録されている相手から電話がかかると、そのイメージが表示されます。また、相手が電話番号を通知してこないときは、その理由が表示されます。「OFF」に設定すると「着信中です」と表示されます。
- 新着メールを受信したときは、「受信完了しました」と表示されます。さらに、「メール表示」の設定によって次のように表示が変わります。
  - 「メール表示」を「ON」に設定している場合
    「受信完了しました」の表示とともに、送信元のメールアドレス、相手が送信した日時、題名がしばらく表示された後に、「新着メールあり」アイコンの表示に切り替わります。[ホーム]を押すと送信元のメールアドレス、相手が送信した日時、題名を表示します。もう一度[ホーム]を押すと待受画面に戻ります。また、送信元のメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、送信元を相手の名前（登録している名前）で表示します。複数のメールを受信した場合は、最新3件分のメールアドレスまたは名前と相手が送信した日時、題名を表示します（P.37）。ただし、「セキュリティ設定」されたフォルダに「自動振分けアドレス」が設定されている相手からのメールを受信したときは、送信元、相手が送信した日時、題名は表示されません。
  - 「メール表示」を「OFF」に設定した場合
    「受信完了しました」の表示がしばらく表示された後に、「新着メールあり」アイコンの表示に切り替わります。このとき[ホーム]を押しても送信元や題名は表示されません。
- 「新着メールあり」アイコンの表示は、デスクトップアイコンの「メール」を消しても消えます。
- 「シークレットモード」および「シークレット専用モード」のときに、シークレットデータとして電話帳に登録されている相手からのメールを受信した際に[ホーム]を押したときは、送信元（名前）と題名、受信した日付と時刻が表示されます。通常時は、送信元（メールアドレス）と題名、相手が送信した日時が表示されます。
- 「待受画面表示」を「アナログ時計1～2」に設定したときの時刻表示は目安です。
- 「αイメージウィンドウ」を「ソフト依存」に設定している場合、イメージウィンドウ表示に対応したiアプリを待受画面に設定すると、イメージウィンドウの表示はそのソフトによる表示が優先されます。
- 「待受表示固定」を「ON」に設定すると、「不在着信あり」や「新着メールあり」のアイコンは表示されず、「スケジュール」、「めざまし時計」、「ToDo」のアラーム通知などのアニメーションも表示されません。
- イメージウィンドウのバックライトの点灯／消灯は、「照明設定」の「通常時」の設定に従います。ACアダプタなどの外部電源から電源を供給されているときは、「照明設定」の「充電時」の設定に従います。
- 「照明設定」の「通常時」を「OFF」に設定してイメージウィンドウのバックライトを点灯しないようにしても、本機能の「通信中表示」を「ON」、「バックライト」を「ON」に設定すると音声電話やテレビ電話の発信中や通話中、赤外線通信中やデータ通信中にイメージウィンドウのバックライトは点灯します。
- 本機能の「待受画面表示」で「デジタル時計1」または「デジタル時計2」を設定した場合、表示方法や表示サイズは「時計表示設定」の設定が反映されます。

ディスプレイとボタンの照明を設定する

お買い上げ時	通常時：ON（点灯）＋省電（待ち時間5分）　充電時：標準 範囲：液晶＋ボタン　明るさ：レベル2

ディスプレイ、イメージウィンドウ、ダイヤルボタンのバックライトの点灯方法を設定できます。
設定できる項目は次のとおりです。

目的	設定項目		内容
バックライトの点灯／消灯を設定する	通常時	ON	FOMA端末を開いているとき、ディスプレイとダイヤルボタン※のバックライトが約15秒間点灯します。FOMA端末を閉じているときに電話がかかってきたりメールを受信した場合は、イメージウィンドウのバックライトが点灯します。
		OFF	ディスプレイ、イメージウィンドウ、ダイヤルボタンのバックライトは点灯しません。
	充電時	標準	「通常時」を「ON」にしたときと同じ設定になります。
		常時点灯	FOMA端末を開いているとき、ディスプレイとダイヤルボタン※のバックライトが常に点灯します。FOMA端末を閉じているときは、イメージウィンドウのバックライトが点灯します。
電池の消費を抑える	省電力モード（「通常時」の設定から行います）	ON	設定した待ち時間経過後、待受画面およびイメージウィンドウの表示が消えます（省電力モード）。
		OFF	省電力モードには移りません。
バックライトの点灯範囲を設定する	範囲	液晶＋ボタン	ディスプレイ、イメージウィンドウ、ダイヤルボタンのバックライトを点灯します。
		液晶	ディスプレイとイメージウィンドウのバックライトが点灯します。
バックライトの明るさを設定する	明るさ		「レベル1」（暗い）、「レベル2」（標準）、「レベル3」（明るい）の3段階から設定します。

※：「範囲」を「液晶」に設定した場合は、点灯しません。

<例：通常時のバックライトを設定する場合>

1 （Menu）▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「照明設定」の順に選ぶ

2 「通常時」を選ぶ

充電時のバックライトを設定する場合
「充電時」を選ぶ
バックライトの設定を「標準／常時点灯」から選びます。

バックライトの範囲を設定する場合
「範囲」を選ぶ
バックライトの範囲を「液晶＋ボタン／液晶」から選びます。

バックライトの明るさを設定する場合
「明るさ」を選ぶ
バックライトの明るさを「レベル1～3」から選びます。

次ページへつづく

3 設定する項目を選ぶ

バックライトを点灯する場合
「ON」を選ぶ
省電力モードを「有効にする／無効にする」（ON／OFF）から選びます。
「ON」に設定した場合は、省電力モードに移るまでの時間を02～20分の範囲で設定します。

バックライトを点灯しない場合
「OFF」を選ぶ
待受画面に「」が表示されます。

おしらせ

- テレビ電話中のときは、テレビ電話の「照明設定」の設定が優先されます。
- FOMA端末を開いているときに省電力モードになると、ディスプレイのバックライトが消灯し、、、マルチファンクションボタン、、が約5秒間隔で点滅します。ボタン操作をすると省電力モードが解除されます。
- FOMA端末を閉じているときに省電力モードになると、イメージウィンドウのバックライトが消灯します。
- 「充電時」の設定を「常時点灯」に設定した充電状態であっても、約15秒間操作のない場合は、充電の効率を高めるためにディスプレイのバックライトの明るさを「レベル1」にして点灯し続けます。
- 「充電時」を「常時点灯」、「範囲」を「液晶＋ボタン」に設定してもテレビ電話中の充電状態では、約15秒間何もしないとダイヤルボタンのバックライトが消灯します。
- バックライトの点灯／消灯は5を1秒以上押しても切り替えることができます。
  ただし、文字入力中、テレビ電話中、遠隔監視中、iアプリの実行中は切り替えることはできません。また、充電中にこの操作を行っても照明設定の「充電時」の設定は変更されません。
- メニュー機能を1つでも操作しているときにタスクメニューで待受画面を表示した場合や、「iアプリ待受画面」設定中は省電力モードにはなりません。

配色パターン

画面の色の組み合わせを設定する

お買い上げ時	スタンダード

文字や背景など、ディスプレイの配色を選ぶことができます。

1 (Menu)▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「配色パターン」の順に選ぶ

2 設定したい配色を選ぶ

配色パターンの選択中は、選んでいる配色に合わせてディスプレイの配色が変わります。

おしらせ

- アイコンや画像は本機能を変更しても色は変わりません。またiモードのサイトの画面など、本機能の設定を変更しても配色の変わらないデータや機能があります。

着信時の着信ランプの点滅について設定する

お買い上げ時	電話：色5　TV電話：色5　メール：色1 メッセージリクエスト：色1　メッセージフリー：色1 パターン設定：固定パターン　カラー名：色1～12

音声電話やテレビ電話がかかってきたときや、メール、メッセージリクエスト／フリーを受信したときの着信ランプの点滅色や点滅のしかた（点滅パターン）を設定できます。また、点滅色の名前を変更したり、色合いを調節することもできます。設定できる項目は次のとおりです。

設定項目		内容
着信イルミネーション選択	電話	音声電話がかかってきたときの着信ランプの点滅色※1を選びます。
	TV電話	テレビ電話がかかってきたときの着信ランプの点滅色※1を選びます。
	メール	iモードメールやSMSを受信したとき、パケット通信の着信をしたときの着信ランプの点滅色※1を選びます。
	メッセージリクエスト	メッセージリクエストを受信したときの着信ランプの点滅色※1を選びます。
	メッセージフリー	メッセージフリーを受信したときの着信ランプの点滅色※1を選びます。
パターン設定	固定パターン	着信ランプを一定の間隔で繰り返し点滅するようにします。
	メロディ連動	着信ランプをメロディ※2に合わせて点滅するようにします。
カラー設定	カラー名編集	色1～12のカラー名を変更できます。
	カラー調節	色1～12の色合いを調節できます。

※1： 点滅色は色1～12、グラデーションから選びます。
※2： メロディに点滅パターンが設定されていない場合や着モーションの場合は、固定パターンで点滅します。

● 、、、の点滅のしかたは着信ランプと同じ設定になりますが、点滅色はオレンジ色のみです。
● 指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。→P.109

1 **（Menu）▶ 各種設定 ▶「着信」▶「着信イルミネーション」の順に選ぶ**

2 **それぞれの項目を設定する**

着信イルミネーション選択：
着信時の着信ランプの点滅色を設定します。
設定したい項目を「電話／TV電話／メール／メッセージリクエスト／メッセージフリー」から選んで点滅色を設定します。
点滅色選択中は、選んでいる色に合わせて着信ランプが点灯します。

パターン設定：
着信ランプの点滅パターンを「固定パターン／メロディ連動」から選びます。

カラー設定 ：
着信イルミネーションの「カラー名編集」、「カラー調節」を設定します。
「カラー名編集」は変更したい色を選んでカラー名を入力します。
カラー名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502
「カラー調節」は色1～12から調節したい色を選んで色合いを調節します。色1～12はカラーの種類が異なるため、調節しても同じ色合いにすることはできません。また、グラデーションの調節はできません。

おしらせ

● 着信音に「おしゃべり機能」で録音した音声を設定している場合は、本機能の設定にかかわらず一定のパターンで点滅します。
● 着信音に「着信音1～3」を設定している場合は、本機能の設定にかかわらずメロディに合わせて点滅します。
● 遠隔監視の着信時は、本機能の設定にかかわらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
● miniSDメモリーカードとデータのやりとりをしている間は、本機能の設定にかかわらず「色5」で点滅します。
● 充電中や撮影中の着信ランプの点灯および点滅は「カラー調節」の設定にかかわらず赤色になります。

通話中イルミネーション

通話中の着信ランプの点滅について設定する

お買い上げ時	OFF

音声通話中やテレビ電話中の着信ランプの点滅色を設定できます。

● 点滅色は、7種類の色、3種類のグラデーションから選ぶことができます。

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「通話」▶「通話中イルミネーション」の順に選ぶ

2 設定したい点滅色を選ぶ

通話中に着信ランプを点滅させない場合
「OFF」を選ぶ

フォント設定

文字の設定（フォント）を変更する

お買い上げ時	文字パターン：フォント1　太さ：中太字

ディスプレイ、イメージウィンドウに表示される文字をお好みのフォント（書体）に切り替えることができます。

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「フォント設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

文字パターンを選ぶ場合
「文字パターン」を選ぶ
文字パターンを「フォント1／フォント2」から選びます。
フォント1の文字例：
あいうABC123
フォント2の文字例：
あいうABC123

文字の太さを設定する場合
「太さ」を選ぶ
文字の太さを「細字／中太字／太字」から選びます。

おしらせ

- 「フォント2」に切り替わるのは、英字（全角、半角）、数字（全角、半角）、ひらがな、カタカナ（全角、半角）と一部の記号、ギリシャ文字、ロシア文字だけです。漢字などほかの文字はすべて「フォント1」で表示されます。また電話番号入力や時計表示などの文字も「フォント2」に切り替わりません。
- iモードのサイト表示画面、デコメールの詳細画面、イメージウィンドウの文字、iアプリのソフトの画面などの文字は、本機能の設定にかかわらず「細字」で表示されます。

時計の表示を設定する

お買い上げ時	表示方法：日本語　表示サイズ：大きく表示　表示時計種別：ローカル

待受画面の曜日の表示を日本語または英語に設定したり、時計の表示サイズや種類を設定できます。また、日付や時計を表示しないように設定することもできます。

1 (Menu)▶各種設定▶「時計」▶「時計表示設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

時計の表示のしかたを設定する場合

「表示方法」を選ぶ
表示のしかたを「日本語／英語／OFF」から選びます。

時計の表示サイズを設定する場合

「表示サイズ」を選ぶ
表示サイズを「大きく表示／小さく表示」から選びます。

時計の種類を変更する場合

「表示時計種別」を選ぶ
時計の種類を「ローカル／ローカル＆リモート」から選びます。

おしらせ

- 「表示方法」を「OFF」に設定した場合、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」を設定したときに待受画面に表示される「」および「」も表示されません。
- 「表示サイズ：大きく表示」と「表示時計種別：ローカル＆リモート」を組み合わせて設定することはできません。
- 「イメージウィンドウ」の「待受画面表示」で「デジタル時計1」または「デジタル時計2」を設定している場合、イメージウィンドウに表示される時計の表示方法や表示サイズには、本機能の設定が反映されます。

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時	Japanese

ディスプレイ、イメージウィンドウに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えることができます。

● 本機能の名称は、日本語表示に設定されているときは「Language」、英語表示に設定されているときは「Select language」と表示されます。

1 **(Menu)▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「Language(Select language)」の順に選ぶ**

日本語表示から英語表示に切り替える場合
「English」を選ぶ

英語表示から日本語表示に切り替える場合
「日本語」を選ぶ

おしらせ

● FOMAカードを差し替えた場合は、そのカードの設定によってLanguageの設定が切り替わることがあります。

●あんしん設定

■暗証番号について

■携帯電話の操作や機能を制限する

■発着信や送受信を制限する

■その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほかネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げのときは「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。

・ 端末暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

ネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスご利用時やドコモeサイトでの各種手続き時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に設定します。

・ ネットワーク暗証番号をお忘れの場合は、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。また、ドコモショップなど窓口では、運転免許証等の確認書類により、契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、手続きさせていただきます。 なお、「ユーザID」「パスワード」をお持ちの方は、パソコンからドコモeサイトでも手続きできます。

※「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

PIN（PIN1コード、PIN2コード）

FOMAカードには、PIN1コードとPIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更できます。
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードについては、本FOMA端末には利用する機能がございません。

iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約等を行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります。
iモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更できます。
（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）

・ iモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

認証パスワード

認証パスワードとは、赤外線通信／ケーブル接続を利用してデータの全件転送を行うときに使用する4桁のパスワードです。データの転送をはじめる前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

赤外線通信／ケーブル接続によるデータ転送について→P.393

おしらせ

● いたずら防止のため、端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コード、iモードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。
また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
● 電話番号の下4桁など、わかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時	0000(数字のゼロ4つ)

FOMA端末に登録されているお客様の大切なデータを守り、FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の端末暗証番号(4～8桁)を変更できます。

1 **(Menu)▶各種設定▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

2 **新しい4～8桁の端末暗証番号を入力する**

端末暗証番号を変更するかどうかのメッセージが表示されます。

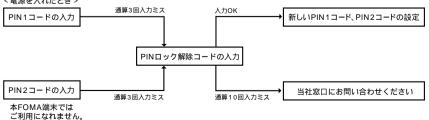
3 **「YES」を選ぶ**

変更を中止する場合
「NO」を選ぶ

PINコードを設定する

ご契約時	PIN1コード：0000(数字のゼロ4つ) PIN2コード：0000(数字のゼロ4つ)　PIN1コード入力設定：OFF

PIN1コードとは、FOMA端末の電源を入れたときにFOMAカードを不正に使用されないための4～8桁の番号(コード)です。

- PIN2コードについては、本FOMA端末には利用する機能がございません。
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。
- PIN1コード、PIN2コードはFOMAカードに登録されます。
- PIN1コード、PIN2コードの入力を通算で3回誤ると自動的にPINロックされ、PINコードが使えなくなります。設定した番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
- FOMA契約申込書(お客様控え)にはPINロック解除コードが記載されています。PINロック解除コードとは、PIN1コード、PIN2コードがロックされたときにロックを解除するための8桁の番号です。
- PINロック解除コードの入力を通算で10回誤ると、FOMAカードが完全にロックされます。FOMA契約申込書(お客様控え)をなくさないように大切に保管してください。
- PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する<PIN1コード入力設定>

FOMAカードを不正に使用されないために、電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

1 **(Menu)▶各種設定▶「ロック/セキュリティ」▶「PIN設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

2 **「PIN1コード入力設定」を選ぶ**

3 **設定したい項目を選ぶ**

電源を入れたときにPIN1コードを入力する場合
「ON」を選ぶ

電源を入れたときにPIN1コードを入力しない場合
「OFF」を選ぶ

「ON」または「OFF」を選んだ後でPIN1コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コードを入力してください。

PIN1/PIN2コードの番号を変更する

- PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

<例:PIN1コードの番号を変更する場合>

1 **(Menu)▶各種設定▶「ロック/セキュリティ」▶「PIN設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

2 **「PIN1コード変更」を選んで現在設定されている4～8桁のPIN1コードを入力する**

PIN1コード入力
PIN1コードを
入力してください
残存入力回数 3回

PIN2コードを変更する場合
「PIN2コード変更」を選んで現在設定されている4～8桁のPIN2コードを入力する

3 **4～8桁の新しいPIN1コードを入力する**

PIN2コードを変更する場合
4～8桁の新しいPIN2コードを入力する

4 **もう一度新しいPIN1コードを入力する**

PIN2コードを変更する場合
もう一度新しいPIN2コードを入力する

電源を入れたときにPIN1コードを入力する

「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定した場合は、電源を入れるとPIN1コードの入力画面が表示されますので、PIN1コードを入力してください。

● PIN1コードの入力画面のままでは、FOMA端末の操作ができず、次の動作も行われませんのでご注意ください。
- 音声電話やテレビ電話の着信
- 「スケジュール」や「ToDo」のアラーム通知
- メール、メッセージリクエスト／フリーの受信
- iアプリのソフトの自動起動
- ソフトウェアの予約更新

1 FOMA端末の電源を入れる

2 4～8桁のPIN1コードを入力する

PIN1コードを正しく入力すると、待受画面が表示されます。

PINロックを解除する

PIN1／PIN2コードの入力が必要な画面で、誤ったPIN1／PIN2コードを通算で3回入力した場合は、PIN1／PIN2コードがロックされます。その場合は、いったんPIN1／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1／PIN2コードを設定する必要があります。

● PINロック解除コードについてはFOMAご契約時にお渡しするFOMA契約申込書（お客様控え）をご確認ください。

＜例：PIN1コードのロックを解除する場合＞

1 8桁のPINロック解除コードを入力する

2 4～8桁の新しいPIN1コードを入力する

PIN2コードのロックを解除する場合
4～8桁の新しいPIN2コードを入力する

3 もう一度新しいPIN1コードを入力する

PIN2コードのロックを解除する場合
もう一度新しいPIN2コードを入力する

各種ロック機能について

FOMA端末には、ほかの人に無断で使われたり、電話帳やメールを見られたりすることを防ぐロック機能があります。
設定できる機能は次のとおりです。

目的	内容	機能名	参照ページ
ほかの人にFOMA端末を使われるのを防ぐ	電源を入れる／切る、遠隔監視の着信を受ける以外の操作ができなくなります。	オールロック	下記
音声電話やテレビ電話の着信を気にしないでFOMA端末を操作する	音声電話やテレビ電話の発着信、iモードの利用、メールの送受信をできないようにします。	セルフモード	P.157
ほかの人に個人情報を見られたり、書き換えられたりするのを防ぐ	「電話帳」や「スケジュール」、「メール」などの個人情報の表示や編集ができなくなります。また、「iモード」、「iアプリ」の起動もできなくなります。	PIMロック	P.158
私用電話を防ぐ	ダイヤル入力による電話の発信やメールの送信ができなくなります。電話帳に登録されている電話番号、メールアドレスおよびその発信履歴、送信アドレス一覧以外は利用できません。	ダイヤル発信制限	P.159
ボタンの誤操作を防ぐ	サイドボタンの機能を無効にします。	サイドボタン操作	P.160
ほかの人に発着信の履歴を見られるのを防ぐ	「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」などを表示できないようにします。	履歴表示設定	P.160
ほかの人に「電話帳」や「スケジュール」のデータを見られることを防ぐ	「電話帳」や「スケジュール」のデータを、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしない限り呼び出せないシークレットデータとして登録します。また、それらのデータを呼び出します(「シークレット専用モード」ではシークレットデータのみを呼び出します)。	シークレットモード／シークレット専用モード	P.161

オールロック

ほかの人が使用できないようにする

お買い上げ時	解除

オールロックをかけると電源を入れる／切る以外の操作ができなくなります。ほかの人にFOMA端末を無断で使われることを防止します。

● オールロック中は音声電話やテレビ電話を受けることも、かけることもできません。
● オールロックは電源を切っても解除されません。

1 **(Menu)▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「オールロック」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

オールロックが設定されて「オールロック」と「」が表示されます。
端末暗証番号について→P.152

オールロックを解除する

● オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできます。

1 **オールロック設定中の画面で端末暗証番号を入力して◉を押す**

オールロックが解除されて「」の表示が消えます。
端末暗証番号について→P.152

おしらせ

● オールロック中は、緊急通報番号（110番、119番、118番）にも電話をかけることができません。
● 待受画面にアニメーションを設定している場合、オールロック中にFOMA端末を開いたときは、アニメーションの最初の1コマのみが表示されます。
● オールロック中は、音声電話やテレビ電話がかかってきても着信音は鳴りません。オールロック解除後、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
● オールロック中でも、「遠隔監視」を受けることができます。
● オールロック中は、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。オールロックを解除後、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
● オールロック中は、メッセージリクエスト／フリー、iモードメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。オールロックの解除後、受信した種別のアイコンが画面に表示されます。
● オールロックを解除するときに、間違った端末暗証番号を入力してもエラーメッセージは表示されません。を押し、再度、正しい端末暗証番号を入力してください。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時	解除

音声電話やテレビ電話の発着信、iモードの利用、メールの送受信ができないように設定できます。音声電話やテレビ電話の着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

● セルフモード中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、相手には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。なお、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。
● セルフモード中は、「不在着信あり」などのデスクトップアイコンによるお知らせもしません。
● セルフモード中は、赤外線通信や外部機器によるデータ通信もできません。
● セルフモード中は、「設定リセット」を実行することができません。
● セルフモードは電源を切っても解除されません。

1 **(Menu)▶各種設定▶「ロック／セキュリティ」▶「セルフモード」の順に選ぶ**

セルフモードを設定するかどうかのメッセージが表示されます。

2 **「YES」を選び、◉[選択]を押す**

セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

セルフモードを設定しない場合
「NO」を選ぶ

セルフモードを解除する場合
セルフモード中に設定と同じ操作を行う
セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

次ページへつづく

おしらせ

- セルフモード中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。
- セルフモード中に禁止されている操作をした場合、セルフモード設定中であることを通知するメッセージが表示されます。
- セルフモード中に送られてきたメッセージリクエスト／フリーやiモードメールはiモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。セルフモードを解除後、「iモード問い合わせ」および「SMS問い合わせ」を行ってメッセージリクエスト／フリー、iモードメール、SMSを受信してください。
- セルフモード中は、通信が必要なiアプリを起動できない場合があります。

PIMロック

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時	解除

ほかの人が個人情報を見たり、書き換えたりするのを防ぐため、「電話帳」や「スケジュール」、「メール」などが起動しないように設定します。

- PIMロックを設定すると、それまでの「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」はすべて削除されます。また、「iモード」、「iアプリ」の起動もできなくなります。本機能の設定後に記憶された履歴は残りますが、電話帳に登録した相手からの電話やメールでも名前は表示されません。
- 電話帳に設定した「電話帳便利機能」、「電話帳指定設定」や音声電話／テレビ電話の発着信時の名前表示、「オート表示」は利用できません。
- PIMロックは電源を切っても解除されません。

あんしん設定

1 (Menu)▶各種設定▶「ロック／セキュリティ」▶「PIMロック」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

PIMロックが設定されて「P」が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「D/P」が表示されます。
端末暗証番号について→P.152

PIMロックを解除する場合

PIMロック中に設定と同じ操作を行う
PIMロックが解除されて「P」の表示が消えます。

おしらせ

- PIMロック中に禁止されている操作をした場合は、PIMロック設定中であることを通知するメッセージが表示されます。
- パソコンなど外部機器に接続したときはPIMロックの設定は無効になることがあります。「電話帳」を使われたくない場合は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」で登録してください。→P.161
- PIMロック中は、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。PIMロックを解除後、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- PIMロック中は、メッセージリクエスト／フリー、iモードメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。PIMロックの解除後、受信した種別のアイコンが画面に表示されます。
- PIMロック設定中は、動画／iモーションおよびプリインストール以外のメロディ、イメージ、キャラ電を表示または再生することはできません。動画／iモーションおよびプリインストール以外のメロディ、イメージを着信音や待受画面などに設定している場合、PIMロック中はお買い上げのときの設定で動作します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時	解除

電話番号をダイヤルして音声電話やテレビ電話をかけることを禁止します。設定前に登録した「電話帳」と設定後の「発信履歴」、「リダイヤル」による発信だけが可能となります。
FOMA端末を会社の業務用としてお使いのときなどは、あらかじめ業務に必要な電話番号を「電話帳」に登録してから本機能を設定すると私用電話を防止できます。

● 本機能を設定すると、それまでの「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」はすべて削除されます。ただし、本機能の設定後にかかってきた電話の「着信履歴」やかけた電話の「発信履歴」、「リダイヤル」および受信したメールの「受信アドレス一覧」、送信したメールの「送信アドレス一覧」は残ります。また、宛先および本文が設定された状態で保存されているメールは、宛先が削除されて本文のみのメールとなります。宛先のみ設定された状態で保存されているメールは削除されます。
● ダイヤル発信制限中は次の機能や操作からの音声電話発信／テレビ電話発信／iモードメール作成／SMS作成ができません。
・ダイヤル入力　・着信履歴　・受信アドレス一覧　・メールメンバー
・デスクトップアイコン　・バーコードリーダー　・伝言メモの再生
● ダイヤル発信制限中は次のような操作ができません。
・電話帳の登録／編集※／削除
※：iアプリDX（P.310）によっては、FOMA端末（本体）の電話帳のグループ01～19のグループ名を変更できる場合があります。
・「Phone To機能」、「Mail To機能」の利用
・メールの宛先をダイヤルボタンで入力
・電話帳に登録されていないメールアドレスへの返信
・赤外線通信での電話帳のデータ転送
・「FOMAカード操作」による電話帳のコピー、削除
・miniSDメモリーカードからの電話帳のインポート
● ダイヤル発信制限は電源を切っても解除されません。

1 **(Menu)▶各種設定▶「ロック／セキュリティ」▶「ダイヤル発信制限」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

ダイヤル発信制限が設定されて「」が表示されます。「シークレットモード」や「シークレット専用モード」が同時に設定されている場合は「」、「PIMロック」が同時に設定されている場合は「」が表示されます。
端末暗証番号について→P.152

ダイヤル発信制限を解除する場合
ダイヤル発信制限中に設定と同じ操作を行う
ダイヤル発信制限が解除されて「」の表示が消えます。

おしらせ

● ダイヤル発信制限中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。
● ダイヤル発信制限中に禁止されている操作をした場合は、ダイヤル発信制限設定中であることを通知するメッセージが表示されます。
● ダイヤル発信制限中に挿入していたFOMAカードでも、ほかのFOMA端末に挿入すると電話帳を登録できるようになります。また、ほかのFOMA端末からは電話帳に登録されている電話番号以外にも電話をかけることができますのでご注意ください。

サイドボタンの誤操作を防止する

お買い上げ時	閉じた時有効

FOMA端末を折り畳んでいるときに、かばんの中などでの誤操作を防ぐためにサイドボタンの機能を無効にできます。

- 次のような場合は、本機能の設定にかかわらずサイドボタンの機能は有効になります。ただし、[メモ／確認]を1秒以上押してのカメラ起動はできません。
  - ・FOMA端末を開いているとき
  - ・スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を接続しているとき
  - ・外部接続端子にパソコンなどを接続し、ディスプレイに「」が表示されているとき
- サイドボタン設定は電源を切っても設定は変わりません。

1 (Menu)▶▶「その他」▶「サイドボタン操作」の順に選ぶ

サイドボタンの機能を有効にする場合
　「閉じた時有効」を選ぶ

サイドボタンの機能を無効にする場合
　「閉じた時無効」を選ぶ
　待受画面に「」が表示されます。

おしらせ

- 本機能は(Menu)を押した後、を1秒以上押して有効と無効を切り替えることもできます。
- 本機能を「閉じた時無効」に設定すると、「確認機能設定」を「電子音」または「ボイス」に設定していても、FOMA端末を折り畳んだ状態での不在着信や新着メールの確認はできません。また、「不在着信履歴」も確認できません。
- 本機能を「閉じた時無効」に設定していても、サイドボタンを押すとイメージウィンドウのバックライトは点灯します。
- 本機能を「閉じた時無効」に設定すると、FOMA端末を折り畳んだ状態での静止画の撮影(シャッターやライトの操作)ができなくなります。

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

お買い上げ時	着信履歴：ON　リダイヤル／発信履歴：ON

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」を表示しないように設定できます。ほかの人に発信や着信の履歴を見られたくないときに便利です。

- 履歴を表示しないように設定した後も、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」の情報は記憶されます。
- 履歴表示設定は電源を切っても設定は変わりません。

1 (Menu)▶▶「その他」▶「履歴表示設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

着信履歴、受信アドレス一覧の表示について設定する場合
　「着信履歴」を選ぶ
　着信履歴を「表示する／表示しない」(ON／OFF)から選びます。

リダイヤル、発信履歴、送信アドレス一覧の表示について設定する場合
　「リダイヤル／発信履歴」を選ぶ
　リダイヤル／発信履歴を「表示する／表示しない」(ON／OFF)から選びます。

おしらせ

- 「着信履歴」の表示を「OFF」に設定している場合に不在着信があっても、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。「不在着信あり」のデスクトップアイコンから「着信履歴」を表示しようとしたときは、履歴表示が「OFF」に設定されていることを通知するメッセージが表示されます。この場合、デスクトップアイコンは消えません。「不在着信あり」のデスクトップアイコンを消すにはCLRを1秒以上押します。
- 「着信履歴」の表示を「OFF」に設定しているときでも「伝言メモ」は再生できます。相手が電話番号を通知してきた場合は、伝言メモの再生中に相手の電話番号が表示されます(電話帳に登録されていれば名前も表示されます)。

シークレットモード／シークレット専用モード

知られたくない電話帳とスケジュールを守る

お買い上げ時	シークレットモード：解除　シークレット専用モード：解除

ほかの人に知られたくない「電話帳」や「スケジュール」のデータは、端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレットデータとして登録できます。シークレットデータにするにはシークレットモード中またはシークレット専用モード中に「電話帳」または「スケジュール」を登録します。
シークレットモードではシークレットデータも含めた「電話帳」、「スケジュール」のすべてのデータを呼び出すことができます。シークレット専用モードではシークレットデータの「電話帳」、「スケジュール」のみを呼び出すことができます。

- シークレットモード中またはシークレット専用モード中に、シークレットモードまたはシークレット専用モードを設定すると、設定中のモードは解除されます。
- シークレットモード中またはシークレット専用モード中に、音声電話やテレビ電話をかけたり受けたりすると、設定中のモードは解除されます。
- FOMAカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。
- シークレットモードおよびシークレット専用モードはPWR/HLDを押すと解除されます。

シークレットデータとして電話帳やスケジュールを登録する

- シークレットモードおよびシークレット専用モード設定中の「電話帳」、「スケジュール」の操作方法は、シークレットモードおよびシークレット専用モードが設定されていない場合と同じです。

<例：シークレットモードで登録する場合>

1 **(Menu)▶各種設定▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

シークレットモードに設定されて「S」が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「D/S」が表示されます。
端末暗証番号について→P.152

シークレットモードを解除する場合

PWR/HLDを押す
シークレットモードが解除されて「S」の表示が消えます。

2 **「電話帳」または「スケジュール」を登録する**

シークレットデータとして登録されます。
電話帳の登録のしかた→P.103
スケジュールの登録のしかた→P.415

おしらせ

- シークレットモードでシークレットデータの「電話帳」または「スケジュール」を表示すると「S」が点滅します。
- シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにしないと、呼び出し、修正、削除ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。
- シークレットデータとして「電話帳」をメモリ番号「000」〜「009」に登録した場合は、シークレットモードやシークレット専用モードにしないと、「ツータッチダイヤル」で電話をかけることはできません。
- シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきたときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードにしていても、登録されている名前は表示されません。また「着信履歴」にも通知された電話番号が記憶されますが、登録されている名前は記憶されません。
- シークレットデータの「電話帳」には次の機能を設定できません。
  - ・オート表示→P.113
  - ・電話帳指定設定→P.164
  - ・電話帳便利機能→P.109
- シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、シークレットモード中に電話番号やメールアドレスを1件でも修正した場合は、修正したメモリ番号に登録されているすべての電話番号やメールアドレスがシークレットデータになります。
- 「電話帳便利機能」が設定された「電話帳」をシークレットデータとして登録すると、その電話帳の「電話帳便利機能」の設定は解除されます。
- 「グループ便利機能」が設定された「電話帳」をシークレットデータとして登録すると、「グループ便利機能」の設定は無効となります。シークレットデータとして登録した「電話帳」を通常の「電話帳」に変更すると、「グループ便利機能」の設定は有効になります。

シークレットデータのみ表示する　＜シークレット専用モード＞

1 **(Menu)▶各種設定▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレット専用モード」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

シークレット専用モードに設定されて「S」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「D/S」が点滅表示します。
約2秒たつと待受画面に戻ります。
端末暗証番号について→P.152

シークレット専用モードを解除する場合

PWR HLD を押す
シークレット専用モードが解除されて「S」の表示が消えます。

2 **電話帳の検索またはスケジュールの確認を行う**

電話帳の検索のしかた→P.114
スケジュールの確認のしかた→P.417

おしらせ

- シークレットデータを呼び出して電話をかけたときは、「発信履歴」、「リダイヤル」には記憶されません。

シークレットデータを通常のデータに戻す

シークレットデータとして登録したデータを通常のデータに変更できます。

1 **シークレットモードまたはシークレット専用モードで解除したい電話帳またはスケジュールを呼び出す**

電話帳の検索のしかた→P.114
スケジュールの確認のしかた→P.417

2 機能メニューから「シークレット解除」を選ぶ

シークレットが解除されます。シークレットモードの場合は、「S」の点滅表示が点灯に変わります。

セキュリティ設定

送受信メールBOX内のメールを無断で表示できないようにする

お買い上げ時	セキュリティなし

ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXにセキュリティをかけます。セキュリティをかけたBOXは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。

● セキュリティをかけたBOXには、「」のアイコンが表示されます。
● 送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

BOXごとにセキュリティをかける

1 [MAIL]▶「メール設定」▶「セキュリティ設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

2 セキュリティをかけたいBOXを選ぶ

選択したBOXがチェックされます。
チェックされたBOXをもう一度選ぶと、選択を解除します。

3 設定が終わったら[完了]を押す

フォルダごとにセキュリティをかける

フォルダごとにセキュリティをかけられます。セキュリティをかけたフォルダは、端末暗証番号を入力しないと開けないようになります。

● セキュリティをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「」、「」などの表示になります。

1 フォルダ一覧画面でセキュリティをかけるフォルダを反転表示し、機能メニューから「セキュリティ設定／解除」を選ぶ

2 端末暗証番号を入力して「YES」を選ぶ

端末暗証番号について→P.152

すでにセキュリティがかかっているフォルダを選んだ場合

セキュリティを解除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶとセキュリティが解除されます。

おしらせ

- BOX全体にセキュリティをかけた場合、BOXを開くときに端末暗証番号(P.152)の入力が必要になります。BOX内のセキュリティをかけたフォルダを開くときに再度、端末暗証番号を入力する必要はありません。
- セキュリティのかかったBOXやフォルダをいったん開くと、メール機能を終了するまで、セキュリティがかかったほかのBOXやフォルダを端末暗証番号の入力をしないで開くことができます。
- BOXやフォルダにセキュリティをかけている間は、メール連動型iアプリをダウンロードできない場合があります。

電話帳指定設定

電話番号ごとに着信や発信を制限する

お買い上げ時	すべて解除

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限できます。
設定できる機能は次のとおりです。

目的		機能名	機能
発信制限	私用電話を防止する	指定発信制限	指定した電話番号のみ、電話をかけることができます。
着信制限	迷惑電話を防止する	指定着信拒否	指定した電話番号からの電話のみ、受けないようにします。 テレビ電話の着信も有効になります。
		指定着信許可	指定した電話番号からの電話のみ受けるようにし、それ以外の電話番号からの電話を受けないようにします。 テレビ電話の着信も有効になります。
	特定の電話番号からの電話を転送したり留守番電話にする	指定転送でんわ	「転送でんわ」を「開始」に設定していなくても、指定した電話番号からの電話を自動で転送できるようにします。 テレビ電話がかかってきた場合は、転送先を3G-324M(P.88)に準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。
		指定留守番電話	「留守番電話」を「開始」に設定していなくても、指定した電話番号からの電話を自動で留守番電話サービスセンターに接続できるようにします。 テレビ電話がかかってきた場合は、留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話の着信が継続されます。

- 電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
- FOMAカードに登録されている電話帳には設定できません。
- 着信制限は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 同じ電話番号に対して「指定着信拒否」と「指定着信許可」、または「指定転送でんわ」と「指定留守番電話」を同時に設定することはできません。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。
- 指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、電話帳指定設定の各機能は解除されます。ただし、「指定発信制限」を設定した場合、電話帳の電話番号を変更したり削除することはできません。

電話番号に発信／着信制限機能を設定する

電話帳に登録されている電話番号に発信制限や着信制限を設定する方法は共通です。

1 設定したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた→P.114

2 機能メニューから「電話帳指定設定」を選んで端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

3 設定したい機能を選ぶ

設定した機能には「★」がつきます。

設定されている機能を解除する場合

「★」がついている機能を選ぶ
機能が解除されて「★」が消えます。

複数の電話番号に発信制限／着信制限の各機能を設定したい場合

CLRを押して電話帳の詳細画面に戻り、◎を押して設定したい電話番号を表示させて操作2～3を行う
PWR/HLDを押して待受画面に戻ると、電話帳指定設定の追加設定ができなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の電話帳指定設定を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

おしらせ

＜指定発信制限＞

- 指定発信制限を設定すると、電話帳の登録、修正、FOMA端末（本体）とFOMAカード間でのコピー、「FOMAカード操作」での電話帳の操作、および指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。
- 指定発信制限を設定すると、「発信履歴」、「リダイヤル」は削除されます。ただし設定後にかけた電話は、「発信履歴」、「リダイヤル」に記憶されます。
- 指定発信制限と同時に「オート表示」をご利用になる場合は、「オート表示」に指定している電話帳に本機能を設定してください。
- 指定発信制限はパソコンなど外部機器からの発信時には無効になる場合があります。
- 指定発信制限設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。

＜指定着信拒否／指定着信許可＞

- 指定着信拒否および指定着信許可は相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効になります。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
- 「PIMロック」を設定している場合、指定着信拒否および指定着信許可は無効になります。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合やサービスエリア外、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。この場合、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。
- 指定着信許可を設定しているときに、指定していた電話番号をすべて解除すると、指定着信許可の設定自体も解除され、着信が拒否されなくなります。

＜指定転送でんわ／指定留守番電話＞

- 「PIMロック」を設定している場合、指定転送でんわおよび指定留守番電話は無効になります。
- 指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続します。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。「キャッチホン」、「着信動作選択」よりも優先して動作しますのでご注意ください。
- 転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。

電話帳指定設定の設定状況を確かめる

「電話帳指定設定」を設定している電話番号を各機能ごとに確認できます。また、確認しながらそれぞれの設定を解除することもできます。

1 **(Menu)▶電話帳▶「電話帳指定設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

端末暗証番号について→P.152

設定されている電話番号がない場合

設定されている電話番号がないことを通知するメッセージが表示されます。

2 **「★」がついている機能を選ぶ**

選んだ機能が設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。

機能の設定をまとめて解除する場合

「★」がついている機能を反転表示して機能メニューから「設定解除」を選ぶ

3 **電話番号を確認したい電話帳を選ぶ**

選んだ電話帳の電話番号が表示されます。

電話帳指定設定を解除する場合

解除したい電話番号を選ぶ

非通知着信設定

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時	すべて許可／通常着信音と同じ

電話番号を通知してこない電話がかかってきた場合、電話番号が通知されない理由(発信者番号非通知理由)が通知されます。通知には「非通知設定」、「公衆電話」、「通知不可能」の3つがありそれぞれに許可／拒否に設定できます。

●「拒否」に設定した発信者番号非通知理由から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、待受画面には「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。

1 **(Menu)▶各種設定▶「ロック／セキュリティ」▶「非通知着信設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

端末暗証番号について→P.152

2 **設定したい非通知理由を選ぶ**

通知不可能　：海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した電話をつなげる(許可)かつなげない(拒否)かを設定します(ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります)。

公衆電話　　：公衆電話などから発信した電話をつなげる(許可)かつなげない(拒否)かを設定します。

非通知設定　：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した電話をつなげる(許可)かつなげない(拒否)かを設定します。

3 設定したい項目を選ぶ

電話番号を通知してこない電話番号からの着信を許可する場合
「許可」を選び、電話がかかってきたときの着信音を選ぶ
着信音の選びかた→P.124

電話番号を通知してこない電話番号からの着信を拒否する場合
「拒否」を選ぶ

おしらせ

- 「許可」に設定した発信者番号非通知理由から電話がかかってきた場合、通知されない理由が表示されます。
- 「許可」に設定したときの着信音を「通常着信音と同じ」に設定した場合は、「着信音選択」の「電話」で設定した着信音になります。
- 発信者番号非通知のテレビ電話がかかってきた場合は、「着信音選択」の「TV電話」で設定した着信音が鳴ります。
- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

呼出時間表示設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時	無音時間設定：0秒　時間内不在着信表示：表示する

電話帳に登録されていない電話番号からの着信や、電話番号を通知してこない着信があった場合、着信があった時点から呼び出し動作を開始する(着信を知らせる)までの無音時間を設定します。呼び出し動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示しないように設定できるので、呼出時間が短い迷惑電話などに対して着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。

- 着信があった時点から「無音時間設定」で設定した時間が経過するまで着信画面は表示されます。それ以外の呼出動作(着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯)は行いません。ただし、呼び出しがはじまる前でも、[通話キー]を押すと電話に出ることができます。

1 [メニューキー](Menu)▶[各種設定]▶「着信」▶「呼出時間表示設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

呼び出し動作を開始するまでの無音時間を設定する場合
「無音時間設定」を選ぶ
無音時間を0～99秒の範囲で設定します。無音時間は2桁で入力してください。

呼び出し動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示するかしないかを設定する場合
「時間内不在着信表示」を選ぶ
不在着信履歴の表示を「表示する／表示しない」から選びます。

おしらせ

- PIMロック中は、電話帳に登録されている相手からの着信でも、「無音時間設定」で設定した時間まで呼び出し動作を開始しません。
- 着信を制限する機能を同時に設定したときの優先順位は次のとおりです。①が最も優先度が高くなります。

＜相手が電話番号を通知してきた場合＞
① 迷惑電話ストップサービス
② 指定着信拒否／指定着信許可／登録外着信拒否
③ ドライブモード
④ 呼出時間表示設定

＜相手が電話番号を通知してこなかった場合＞
① 迷惑電話ストップサービス
② 非通知着信設定
③ ドライブモード
④ 呼出時間表示設定

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時	許可

FOMA端末(本体)およびFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するように設定できます。

● 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
●「PIMロック」を設定している場合、本機能は無効となります。

1 **(Menu)▶ 各種設定 ▶「ロック/セキュリティ」▶「登録外着信拒否」の順に選んで、端末暗証番号を入力する**

端末暗証番号について→P.152

電話帳に登録されていない電話番号からの着信を許可する場合
「許可」を選ぶ

電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否する場合
「拒否」を選ぶ

おしらせ

● 本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、待受画面には「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。
● 着信を制限する機能を同時に設定した場合の優先順位は次のとおりです。①が最も優先度が高くなります。

<相手が電話番号を通知してきた場合>
① 迷惑電話ストップサービス
② 指定着信拒否/指定着信許可/登録外着信拒否
③ ドライブモード
④ 呼出時間表示設定

<相手が電話番号を通知してこなかった場合>
① 迷惑電話ストップサービス
② 非通知着信設定
③ ドライブモード
④ 呼出時間表示設定

● iモードメールやSMSは、本機能の設定にかかわらず受信されます。

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した機能以外にも以下のようなあんしん設定が利用できますのでご活用ください。

目的	内容	機能名やサービス名称	参照
必要なメール以外は受信しない	iモードセンターに届くメールの中から、必要なメールだけを受信できます。	メール選択受信	P.269
迷惑メールが届きにくいメールアドレスに変更する	メールアドレスを変更できます。変更時にはなるべく文字数を増やし、英字と数字の組み合わせにより、簡単に想定できないアドレスにされることをおすすめします。	メールアドレス変更	FOMA iモード操作ガイド
特定の相手からのメールのみ受信する、または特定の相手からのメールを拒否する	iモード携帯電話からのメールのみを受信または拒否できます。	iモードメールのみ受信/拒否	
	指定したメールアドレスからのメールのみ受信または拒否するように設定できます。	アドレス指定受信/拒否	
	au、ボーダフォン、TU-KA、DDIポケットのうち、指定する会社からのメールを受信するように設定できます。	ドメイン指定受信	
	電話番号のアドレスにシークレットコードを登録し、シークレットコードを知らない人からのメールを受信しないように設定できます。	シークレットコード登録	
	1日に1台のiモード端末から送信される200通目以降のiモードメールを拒否するように設定できます。	iモードメール大量送信者からのメール受信制限	
	受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信されるメールを拒否するように設定できます。	未承諾広告※メール拒否	
災害時にiモードを利用する	災害時にiモードを利用して安否情報を登録したり、確認できます。	「iモード災害用伝言板」サービス	
特定の相手からの電話を拒否する	いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの着信を自動的にストップすることができます。	迷惑電話ストップサービス	P.452
FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に保つ	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新できます。	ソフトウェア更新	P.586

カメラ

カメラをご利用になる前に

FOMA端末に内蔵されているカメラを使って、写真(静止画)や動画を撮影できます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.376
- 有効画素数124万画素の外側カメラで「メガピクセルフォト」を選択すると1280×960 ドットの大きな静止画を撮影できます。撮影した静止画をパソコンで利用する場合は、このモードで撮影すると便利です。
- 静止画に記録された撮影情報を利用して、「Exif Ver2.2」、「PIM II(PRINT Image Matching II)」対応プリンタやソフトウェアでイメージどおりのプリントや画像編集が可能です。
- DPOF(Digital Print Order Format)に対応し、プリントしたい静止画や枚数の指定情報をminiSDメモリーカードに登録できます。 →P.389
- 内蔵カメラで撮影した静止画や動画は、miniSDメモリーカードに保存してパソコンで利用できます。また、データリンクソフト(P.569)を使用してパソコンにデータを送信することもできます。
- 動画撮影は映像+音声での撮影のほかに、映像のみの撮影、音声のみの録音を選ぶことができます。→P.189
- セルフタイマーを使って、静止画や動画を撮影することもできます。セルフタイマーを使って撮影すると、撮影時の手ぶれを防ぐことができます。→P.185
- 市販の三脚を卓上ホルダの三脚用背面ネジ穴に接続し、FOMA端末を卓上ホルダに取り付けると、三脚に固定して静止画や動画を撮影できます。
- カメラは外側(背面)カメラと内側カメラの2つを搭載しています。

カメラの使いかた

外側カメラ

ほかの人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。画面には、自分が見たとおりに表示されます(画面に表示された向きで撮影されます)。また、約5cm〜約9cmの近い距離を撮影するときは、外側カメラをマクロレンズに切り替えて撮影すると、画像のピントを合わせることができます(P.184)。

内側カメラ

自分を撮影するときに使うと便利です。画面には鏡と同じ向きに表示されます(画面に表示された向きとは逆向きに撮影されます)。

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、とくに光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズ部をきれいにふいておいてください。レンズ部に指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を閉じるときにレンズ部に力がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていた後は、画質が劣化することがあります。
- レンズに直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

静止画撮影について

● 撮影した静止画は最大400件まで登録できます。ただし、画像サイズなどの設定により最大登録可能件数まで登録できない場合があります。
● 静止画のおおよその登録件数は次のとおりです。

モード	画像サイズ	画像保存設定	登録件数	
			FOMA端末(本体)	miniSDメモリーカード(16Mバイト)
メガピクセルフォト	1280×960	制限なし	約6件	約54件
フォトモード	640×480	制限なし	約20件	約163件
		大容量メール制限	約20件	約163件
フォトモード／連写モード	352×288	制限なし	約40件	約327件
		大容量メール制限	約40件	約327件
	待受(240×269)	制限なし	約40件	約327件
		大容量メール制限	約40件	約327件
	メール大(176×144)	制限なし	約200件	約1,638件
		大容量メール制限	約200件	約1,638件
		メール制限	約222件	約1,820件
	メール小(128×96)	制限なし	約400件	約3,276件
		大容量メール制限	約400件	約3,276件
		メール制限	約400件	約3,276件

動画撮影について

● 撮影した動画は最大100件まで登録できます。ただし、画像サイズなどの設定により最大登録可能件数まで登録できない場合があります。
● 動画は撮影時間によりデータ量が異なるため、最大保存件数も変化します。また、最大撮影時間は、撮影時の設定(「画像サイズ設定」、「動画保存設定」など)や撮影環境によって異なります。
● カメラモードを「ムービーモード」に設定して撮影した場合、1回の撮影あたりの最大撮影時間の目安※1は次のとおりです。

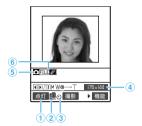
動画保存設定	通常(映像と音声)		映像のみ		音声のみ
	サイズ大(176×144)	サイズ小(128×96)	サイズ大(176×144)	サイズ小(128×96)	
標準	約14秒(約120秒)	約17秒(約140秒)	約19秒(約160秒)	約24秒(約200秒)	約60秒(約520秒)
画質優先	約10秒(約84秒)	約14秒(約120秒)	約12秒(約100秒)	約19秒(約160秒)	
時間優先	約19秒(約165秒)	約33秒(約280秒)	約24秒(約200秒)	約46秒(約400秒)	

※1：(　)は、「動画容量設定」で「動画メモ」を選択したときの数値です。

● カメラモードを「長時間ムービー」に設定して撮影する場合の最大撮影時間の目安※2は次のとおりです。「長時間ムービー」では、miniSDメモリーカードに撮影した動画が保存されます。

画像サイズ設定	動画保存設定	32Mバイト	16Mバイト
サイズ大(176×144)	標準	約74分	約35分
	画質優先	約48分	約24分
	時間優先	約94分	約47分
サイズ小(128×96)	標準	約84分	約42分
	画質優先	約70分	約35分
	時間優先	約154分	約77分

※2：「長時間ムービー」では、1回の撮影あたりの連続撮影時間は最大約60分です。上の表に記載している時間は、「撮影種別設定」を「通常」(映像と音声)に設定している場合(お買い上げのときの設定)に、miniSDメモリーカードに記録可能な撮影時間の合計です。なお、miniSDメモリーカード製造メーカーにより撮影できる時間が異なります。

撮影画面の見かた

フォトモード／連写モード／
メガピクセルフォト

ムービーモード／チャンスキャプチャ／長時間ムービー

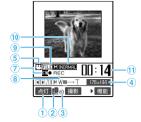
①ライトの点灯／消灯を切り替えます。外側カメラで撮影時に表示されます。

②画像のBRIGHTNESS(明るさ)を示します。「連写モード」(マニュアル)で撮影時は撮影枚数と撮影可能枚数を示すアイコン(1/8)が表示されます。

③セルフタイマーが設定されているときに表示されます。

④撮影する画像サイズが表示されます。

1280×960	：1280×960
640×480	：640×480
352×288	：352×288
176×144	：フォトモード・連写モード時は「メール大(176×144)」、ムービーモード時は「サイズ大(176×144)」
128×96	：フォトモード・連写モード時は「メール小(128×96)」、ムービーモード時は「サイズ小(128×96)」

⑤撮影モードを示します。
- ：メガピクセルフォト
- ：フォトモード
- ：連写モード
- ：ピクチャボイス
- ：ムービーモード／長時間ムービー
- ：チャンスキャプチャ

⑥「画像保存設定」の設定を示します。
- FILE STD ：制限なし
- FILE ：大容量メール制限
- FILE ：メール制限

⑦「撮影種別設定」の設定を示します。
- ：通常
- ：映像のみ
- ：音声のみ

⑧撮影状態を示します。
- STAND BY ：スタンバイ
- ● REC ：撮影中

⑨「動画容量設定」の設定を示します。
- FILE M ：メール
- FILE L ：動画メモ

長時間ムービー撮影時は、「FILE ∞」が表示されます。

⑩「動画保存設定」の設定を示します。
- NORMAL ：標準
- FINE ：画質優先
- LONG ：時間優先

⑪残り撮影時間が「分：秒」で表示されます(撮影前は非表示)。

おしらせ

● 「画像サイズ設定」を「待受(240×269)」に設定した場合は、撮影画面のガイダンス部分は表示されません。

カメラ

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

撮影するときのご注意

● 内蔵カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
● 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れることがありますのでご注意ください。
● 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
● カメラ撮影中は電池の消耗が早いため、撮影が終了したらすみやかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
● 連続写真や動画を撮影中に次の動作があった場合は、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。その後、切り替わった画面を終了させると、カメラの画面に戻りますので、着信やアラーム通知などの前に撮影したデータを保存することができます。カメラのZOOM（ズーム）やBRIGHTNESS（明るさ）を設定中に次の動作があったときには、調節中の設定が確定され、カメラメニューに戻ります。なお、セルフタイマー実行中に次の動作があったときには、セルフタイマーは中止されます。
  ・音声電話やテレビ電話の着信があったとき
  ・めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知が実行されたとき
  ・ほかの機能の操作を行ったとき
  次の場合は中止されません。
  ・カメラ撮影中（撮影画面表示時含む）にメールやメッセージリクエスト／フリーを受信した場合は、「受信表示設定」の設定にかかわらず、受信結果画面は表示されずにカメラの撮影が継続して行われます。
  ・「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しておくと、アラームを設定した時刻になっても、カメラの撮影や設定、セルフタイマーは中止されずに継続して行うことができます。
● シャッター音やタイマーの開始音は、「着信音量」の設定にかかわらず、一定の音量で鳴ります。
● シャッター音やタイマーの開始音は、「マナーモード」や「ドライブモード」に設定中でも鳴ります。また、「イヤホン切替」の設定が「イヤホン」でイヤホンを付けていてもスピーカから鳴ります。
● 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべくFOMA端末が動かないようにしっかりと固定して撮影するか、セルフタイマーを使って撮影してください。
● 静止画の撮影は、◉［撮影］を押した後の画像を取り込みます。シャッター音が鳴った後、取り込みが完了して確認モード画面が表示されるまでは、FOMA端末を動かさないようにしっかりと固定してください。
● 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。この画像のちらつきを抑制するために、「画像チューニング機能」をあらかじめ設定しておくことをおすすめします。ただし、薄暗いところや極端に明るいところでの撮影、および被写体の色合いなどによっては、ちらつきが完全に消えない場合がありますので、ご了承ください。
● 撮影画面を表示したりカメラを切り替えたりカメラの設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。
●「画像サイズ設定」を「352×288」以上のサイズに設定した場合、静止画撮影時のプレビュー画面では、画像サイズが縮小されて表示されます。
● カメラで撮影した動画や静止画をminiSDメモリーカードに保存する場合、撮影の前に保存先フォルダを設定することにより、どのフォルダに保存するかを指定することができます。ただし、電源を切って再度電源を入れると最後に作成したフォルダに保存先の設定が変わります。

著作権について

● FOMA端末を利用して撮影または録音等したものを複製、編集等する場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音等が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

静止画を撮影する

内蔵カメラを使ってお好みの写真(静止画)を撮影できます。撮影した静止画は、保存時に選択した「イメージ」のフォルダにJPEG形式で保存されます。

- 撮影した静止画は、miniSDメモリーカードへ直接保存できます。miniSDメモリーカードへ保存するときは、あらかじめminiSDメモリーカードをFOMA端末に取り付けておいてください。→P.377
- あらかじめ保存先を設定して静止画を撮影後、自動的に保存できます。→P.191
- 明るさの調節や画像サイズの設定など、撮影前のカメラの応用機能を利用したいときは、P.186を参照してください。
- 保存した静止画は「イメージ」で表示したり、加工したりすることができます。→P.338、P.344

1 (Menu)▶ アクセサリ ▶「カメラ」の順に選ぶ

お買い上げのときに、待受画面にある「カメラ」のデスクトップアイコンを選んでもカメラを起動できます。

撮影した静止画の一覧を表示する場合

「フォトリスト」を選ぶ

2 「フォトモード」または「メガピクセルフォト」を選んで撮影画面を表示させる

フォトモードの場合

マルチタスク機能使用時は「メガピクセルフォト」を起動することはできません。

空き容量を確認する場合

機能メニューから「保存容量確認」を選ぶ

カメラを切り替える場合

機能メニューから「内側カメラ」または「外側カメラ」を選ぶ

カメラを終了してもカメラ切り替えの設定は保持されます。

「メガピクセルフォト」のときや「フォトモード」で画像サイズを「640×480」に設定した静止画は、外側カメラ使用時のみ撮影できます。

3 ディスプレイ画面を見ながら撮影したい被写体を表示させる

必要に応じて、FOMA端末の開いた角度を調節して撮影画面を確認します。レンズに指などがかからないようにご注意ください。

3分以上ボタン操作を行わなかったときは、撮影画面が自動的に終了します。

画面がちらつく場合→P.176

4 FOMA端末が動かないようにしっかり固定して●[撮影]または▼[メモ／確認]を押す

撮影時にはシャッター音が鳴り、確認モード画面が表示されます。撮影した静止画を確認してください。

「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、撮影後、設定した保存先(「イメージ」の「カメラ」フォルダまたはminiSDメモリーカード)に自動的に保存されます。

自動保存後は、撮影のやり直しや確認モード画面から静止画を加工したり、iモードメールを作成できません。

撮影をやり直す場合

[取消]またはCLRを押して「YES」を選ぶ

取り消し後、撮影画面に戻りますので撮影し直してください。

カメラ

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

鏡像表示の場合

撮影した静止画を正像表示／鏡像表示に切り替える場合
機能メニューから「正像表示」または「鏡像表示」を選ぶ
「鏡像表示」を選ぶと、画像が左右反転します。
内側カメラ使用時やイメージウィンドウでの確認モードの初期画面は、鏡像表示となります。本表示切替の状態にかかわらず、保存を行うと正像で保存されます。

撮影した静止画を加工する場合
機能メニューから「画像加工」を選んで「YES」を選んだ後、保存先を「本体」または「miniSD」から選び、保存先に「本体」を選んだ場合は保存するフォルダを選ぶ
選択したフォルダに撮影した静止画が保存され、加工を行うことができます。「NO」を選ぶと、撮影した静止画を保存せずに加工することができます。表示されたプレビュー画面の機能メニューから「フレーム合成」または「フォトレタッチ」を選んで設定します。
詳しい操作方法について→P.344
「メガピクセルフォト」のときや「フォトモード」で画像サイズを「640×480」に設定した保存前の静止画は加工することができません。

撮影した静止画をすぐにiモードメールに添付して送る場合
機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ
静止画が添付された新規iモードメールの作成画面が表示されます。→P.264
データ量によっては、静止画をiモードメールに添付することができない場合があります。→P.260
また、「メガピクセルフォト」で撮影した静止画はiモードメールに添付できません。

撮影した静止画を待受画面や代替画像などに設定する場合
機能メニューから「イメージ貼付」を選び、「本体」を選んで選択したフォルダに静止画を保存して、イメージの貼付先を選ぶ
miniSDメモリーカードを保存先として選択できません。

5 ◉[保存]を押して「YES」を選ぶ

撮影した静止画を鏡像保存する場合
◉[保存]を押す代わりに機能メニューから「鏡像保存」を選ぶ
確認モード画面で撮影した静止画が正像表示されていても鏡像で保存されます。
フレームを設定した静止画は鏡像保存できません。

6 保存先を「本体」または「miniSD」から選び、保存先に「本体」を選んだ場合は保存するフォルダを選ぶ

確認モード画面の正像表示／鏡像表示にかかわらず正像で保存されます。
続けて撮影する場合は、操作3〜6を繰り返してください。

保存した静止画のファイル名について→P.370
miniSDメモリーカードを保存先に選んだ場合の保存先フォルダ選択について→P.372

続けて「連写モード」または「ムービーモード」に切り替えて撮影を行いたい場合
撮影画面で機能メニューから「カメラモード切替」を選んで切り替えたいモードを選ぶ

次ページへつづく

フレームを設定して静止画を撮影する場合

撮影画面で機能メニューから「フレーム選択」を選んで設定するフレームを選びます。
あらかじめ登録されているフレーム→P.345
設定したフレームを解除する場合は機能メニューから「フレーム選択」－「OFF」を選びます。
撮影後、確認モード画面で機能メニューから「フレーム取替え」を選ぶとフレームを変更できますが、フレームを解除することはできません。
カメラのモードが「メガピクセルフォト」のときや「フォトモード」で画像サイズを「640×480」に設定した場合は、フレームを設定して撮影することはできません。
フレーム選択時に[デモ]を押すと、設定するフレームを確認できます。
フレームを設定後、FOMA端末を折り畳んで撮影することもできます。ただし、その場合は撮影前に設定したフレームをイメージウィンドウで確認できません。撮影後、フレームが設定された静止画がイメージウィンドウに表示されます。

FOMA端末を折り畳んだまま静止画を撮影する場合

イメージウィンドウに外側カメラの映像を映し出し、外側カメラのファインダーとすることで撮影できます。
マルチタスク機能を使用していない待受画面表示中に、FOMA端末を折り畳んだ状態で[メモ／確認]( )を１秒以上押します。
撮影画面表示中にFOMA端末を折り畳んでも自動的に外側カメラに切り替わり、イメージウィンドウに外側カメラの映像が表示されます。撮影画面で[メモ／確認]を1秒以上押すと、カメラを終了できます。
[メモ／確認]を押すとシャッター音が鳴り、撮影した画像がイメージウィンドウに表示されます。
FOMA端末を開いてP.175の操作5に進みます。
FOMA端末を折り畳んだまま静止画を自動的に保存する場合は、あらかじめ「自動保存設定」を「ON」に設定してから撮影してください。

- 「セルフタイマー設定」(P.185)を「ON」に設定しておくと、FOMA端末を折り畳んだ状態でもセルフタイマーで撮影できます。
- 「サイドボタン操作」を「閉じた時無効」に設定すると、[ホーム]、[メモ／確認]が無効になり、撮影またはライトの点灯(P.184)ができなくなります。
- イメージウィンドウの表示は、画面に合わせ縮小表示されますので、撮影時の目安としてください。

画面がちらつく場合

機能メニューから「画像チューニング」を選んで走査周波数を地域によって「モード1(50Hz地域)」または「モード2(60Hz地域)」に変更します。
カメラを終了しても画像チューニングの設定は保持されます。お買い上げのときの設定は「モード1(50Hz地域)」に設定されています。

カメラ

おしらせ

- 「画像保存設定」で設定したファイル容量の上限を超えたときは、保存できないことを通知するメッセージが表示され、[選択]を押すと確認モード画面に戻ります。また、データ圧縮時にエラーが生じた場合は、撮影できなかったことを通知するメッセージが表示され、[選択]を押すと撮影画面に戻ります。
- 「画像保存設定」を「制限なし」に設定した場合、「iモードメール作成」を行うと、容量が大きすぎるときは、iモードメールを作成できないことを通知するメッセージが表示され、[選択]を押すと確認モード画面に戻ります。また、データ圧縮時にエラーが生じた場合は、撮影できなかったことを通知するメッセージが表示され、[選択]を押すと撮影画面に戻ります。
- すでにFOMA端末の保存先のフォルダが最大保存件数まで保存されているときや容量がいっぱいのときは、不要になった画像を削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選んで不足容量の残りバイト数が0になるまで不要な画像を削除し、保存先を選択します。
保存先にminiSDメモリーカードを選択したときに、miniSDメモリーカード内の容量がいっぱいの場合は、容量がいっぱいであることを通知するメッセージが表示され、保存先選択の画面に戻ります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

連写モードにして静止画を連続撮影できます。撮影した連続写真は、自作アニメとして保存したり、静止画としてすべて保存したり、1枚ずつ選んで保存できます。連続写真を自作アニメとして保存した場合は、「イメージ」でアニメーションのように再生できます。

- 「連写切替」を「オート」に設定し、シャッターを押すと、設定した間隔で自動的に連続撮影したり、セルフタイマーで撮影できます。また、「連写切替」を「マニュアル」に設定すると、シャッターを押すたびに静止画を連続して撮影できます。
- あらかじめ保存先を設定して連続写真を撮影後、自動的に保存できます。→P.191
- 連続撮影中にFOMA端末を閉じると撮影が終了します。また、「連写切替」を「マニュアル」に設定している場合は CLR を押しても撮影を終了できます。このとき、CLR を押す直前まで撮影された写真は保存されます。

＜例：「連写切替」を「オート」にして撮影した連続写真をすべて保存する場合＞

1 「連写モード」を選んで撮影画面を表示させる→P.174

2 ディスプレイ画面を見ながら撮影したい被写体を表示させる

マニュアルで連続撮影する場合

1枚ずつシャッターを押して静止画を連続撮影するには、機能メニューから「連写切替」─「マニュアル」を選ぶ

連続枚数を変更する場合

連続撮影する枚数を変更するには、機能メニューから「撮影間隔／枚数」─「撮影枚数」を選んで撮影枚数を入力する
撮影できない枚数の数値を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。
連続撮影できる静止画の枚数は、「画像サイズ設定」が、「メール大(176×144)」、「メール小(128×96)」の場合は5～20枚、「待受(240×269)」の場合は5～10枚です。
「画像サイズ設定」が「352×288」の場合は、連続撮影できる枚数は4枚となり、「撮影枚数」を選択できません。
撮影枚数を11枚以上に設定したときに「画像サイズ設定」を「待受(240×269)」に変更した場合は、撮影枚数は10枚に設定されます。

連続撮影する間隔を変更する場合

連続撮影する速度を変更するには、機能メニューから「撮影間隔／枚数」─「撮影間隔」を選んで撮影間隔を選ぶ
「0.5秒」、「1.0秒」、「2.0秒」から撮影間隔を選択できます。ただし、「画像サイズ設定」が「352×288」の場合は、「0.5秒」を選べません。

ズームを使用するには→P.183
ライトを使用するには→P.184

3 FOMA端末が動かないようにしっかり固定して●[連写]または▾[メモ/確認]を押す

撮影直後はFOMA端末を動かさないようにしてください。
撮影するたびにシャッター音が鳴ります。
「画像サイズ設定」を「352×288」に設定してマニュアルで連続撮影をすると、撮影するごとに「処理中」というメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間はFOMA端末を動かさないようにしてください。
撮影が終了すると、確認モード画面が表示されます。
✧を押すと静止画が青枠で囲まれます。このとき●[選択]を押すと、枠の色が赤く変わり選択状態になります。すべての静止画を選択状態にする場合は、機能メニューから「全選択」を選びます。
静止画の選択状態を解除するには、解除する静止画を選んで●[選択]を押します。すべての選択状態を解除するには機能メニューから「全解除」を選びます。

静止画を選んで詳細表示する場合
静止画を✧で選んで▯[詳細]を押す
青枠で囲まれた静止画が表示されます。

鏡像表示の場合

撮影した連続写真を正像表示/鏡像表示に切り替える場合
機能メニューから「正像表示」または「鏡像表示」を選ぶ
すべての静止画の表示が切り替わります。「鏡像表示」を選ぶと、画像が左右反転します。
内側カメラ使用時の確認モード初期画面は、鏡像表示となります。

4 機能メニューから「全保存」を選んで「保存」または「鏡像保存」を選び、「YES」を選ぶ

「保存」を選んだ場合は、正像保存されます。確認モード画面の正像表示/鏡像表示にかかわらず、操作4で選んだ内容で保存されます。

連続写真すべてを自作アニメとして保存する場合
機能メニューから「全保存＆自作アニメ」を選ぶ
「YES」を選んで保存するフォルダを選んだ後、リンクファイル(アニメーションファイル)を保存する項目を選びます。
「全保存＆自作アニメ」を選んだ場合は、miniSDメモリーカードに保存することはできません。

選んだ静止画のみ保存したいとき
静止画を選んで機能メニューから「選択保存」を選び、「保存」または「鏡像保存」を選んで「YES」を選ぶ
詳細表示画面で機能メニューから「保存」を選んで「YES」を選ぶと、詳細表示されている静止画を保存することもできます。選択保存した静止画は、確認モード画面には表示がなくなります。

5 保存先を「本体」または「miniSD」から選び、保存先に「本体」を選んだ場合は保存するフォルダを選ぶ

続けて撮影する場合は、操作2～5を繰り返してください。
miniSDメモリーカードを保存先に選んだ場合の保存先フォルダ選択について→P.372

続けて「フォトモード」または「ムービーモード」に切り替えて撮影を行いたい場合
撮影画面で機能メニューから「カメラモード切替」を選んで切り替えたいモードを選ぶ

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

おしらせ

- 「画像サイズ設定」を「352×288」からそれ以外のサイズに変更したときは、撮影枚数は5枚になります。
- 「全保存＆自作アニメ」を選んで連続写真を保存した場合は、保存時に選択した「イメージ」のフォルダに静止画が保存され、「イメージ」の「自作アニメ」フォルダに自作アニメへのリンクファイル（アニメーションファイル）が保存されます。自作アニメおよび静止画のタイトルは、保存後に「イメージ」で変更できます。
- 撮影した連続写真を静止画として保存した場合は、保存時に選択した「イメージ」のフォルダに個々の静止画として保存されます。「自作アニメ設定」で連続写真に含まれる静止画を差し替えることができます。
- 撮影した連続写真を静止画として保存したときは、「イメージ」で加工できます。
- 「画像保存設定」で設定したファイル容量の上限を超えたときは、保存できないことを通知するメッセージが表示され、◉［選択］を押すと確認モード画面に戻ります。また、データ圧縮時にエラーが生じた場合は、撮影できなかったことを通知するメッセージが表示され、◉［選択］を押すと撮影画面に戻ります。
- すでにFOMA端末の保存先のフォルダが最大保存件数まで保存されているときや容量がいっぱいのときは、不要になった画像を削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選んで不足容量の残りバイト数が0になるまで不要な画像を削除し、保存先を選択します。
  保存先にminiSDメモリーカードを選択したときに、miniSDメモリーカード内の容量がいっぱいの場合は、容量がいっぱいであることを通知するメッセージが表示され、保存先選択の画面に戻ります。

写真（静止画）に音声を加える　＜ピクチャボイス＞

撮影した写真に音声を追加することができます。

- 本機能で音声を追加した写真は、動画として保存時に選択した「iモーション」のフォルダに保存されます。保存した後、「iモーション」を使って再生したり、動画として「イメージ切り出し」などの編集を行ったり、iモードメールに添付して送信することができます。→P.349、P.354
- 本機能は、新規で撮影した写真またはフォトリストに保存されている写真のみ有効な機能です。ダウンロードした写真は使用できません。

＜例：新規に撮影した写真に音声を追加して送信するとき＞

1 「ピクチャボイス」－「フォトモード」を選んで撮影画面を表示させる→P.174

FOMA端末に保存されている写真に音声を追加する場合

「フォトリスト」を選ぶ

画像の一覧画面で選べる画像サイズは「メール大（176×144）」、「メール小（128×96）」のみです。

写真の選択について→P.338

2 ◉［撮影］または▾［メモ／確認］を押して静止画を撮影する→P.174

3 ◉［録音］または▾［メモ／確認］を押して音声を録音する

写真と音声の合計のデータ量が95Kバイトを超えると録音は自動的に停止されます。

カメラ

4 ●[停止]または▾[メモ／確認]を押して録音を終了する

iモードメールに添付して送信する場合
機能メニューから「iモードメール作成」を選び、必要なときはタイトルを編集して、●[確定]を押す
動画が添付された新規iモードメールの作成画面が表示されます。→P.264

5 ●[保存]を押して「YES」を選び、必要なときはタイトルを編集して●[確定]を押す

6 保存先を「本体」または「miniSD」から選び、保存先に「本体」を選んだ場合は保存するフォルダを選ぶ

miniSDメモリーカードを保存先に選んだ場合の保存先フォルダ選択について→P.372

おしらせ

● 本機能起動中に「画像サイズ設定」を変更する場合、「メール(大)」、「メール(小)」以外は選ぶことができません。また、「画像サイズ設定」が「メール(大)」、「メール(小)」以外のサイズに設定されている場合は、本機能を起動すると設定は「メール大(176×144)」となります。

動画を撮影する

内蔵カメラを使って音声付きの動画を撮影できます。映像のみ・音声のみの撮影を行うこともできます。→P.189
「ムービーモード」で撮影した動画は、保存時に選択した「iモーション」のフォルダに保存されます。「長時間ムービー」では、連続して最大で約60分までの動画をminiSDメモリーカードに保存できます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.376
- 撮影時間は被写体などの撮影条件によって異なります。
- 動画撮影中にFOMA端末を閉じると撮影が終了します。
- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音やボタン確認音が録音される場合があります。ボタン確認音を録音しないようにするには「マナーモード」に設定したり、「ボタン確認音」を「OFF」に設定してください。
- 「ムービーモード」で撮影した動画は、miniSDメモリーカードへ直接保存できます。「ムービーモード」でminiSDメモリーカードへ保存するときや、「長時間ムービー」で撮影するときは、あらかじめminiSDメモリーカードをFOMA端末に取り付けておいてください。→P.377
- 「ムービーモード」ではあらかじめ保存先を設定して動画を撮影後、自動的に保存できます。→P.191
- 内側カメラで撮影した動画は、確認モードでは鏡像表示されますが、再生や保存を行うと正像となります。動画の鏡像表示での再生や保存はできません。
- 明るさの調節や画像サイズの設定など、撮影前のカメラの応用機能を利用したいときは、P.186を参照してください。
- 撮影した動画は「iモーション」で再生したり、編集することができます。

1 (Menu)▶ アクセサリ ▶「カメラ」の順に選ぶ

お買い上げのときに、待受画面にある「カメラ」のデスクトップアイコンを選んでもカメラを起動できます。

撮影した動画の一覧を表示する場合
「ムービーリスト」を選ぶ

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

2 「ムービーモード」または「長時間ムービー」を選んで撮影画面を表示させる

マルチタスク機能使用時は「長時間ムービー」を起動することはできません。

空き容量を確認する場合

機能メニューから「保存容量確認」を選ぶ

カメラを切り替える場合

機能メニューから「内側カメラ」または「外側カメラ」を選ぶ
カメラを終了してもカメラ切り替えの設定は保持されます。

ズームを使用するには→P.183
ライトを使用するには→P.184

3 撮影画面を見ながら撮影したい被写体を表示させる

3分以上ボタン操作を行わなかったときは、撮影画面が自動的に終了します。
画面がちらつく場合→P.176

4 FOMA端末が動かないようにしっかり固定して◉[撮影]または▾[メモ／確認]を押す

撮影開始時には撮影開始音が鳴り、撮影中の映像が画面に表示されます。
撮影中は着信ランプが点滅します。
被写体などの撮影条件によりデータ量が異なるため、撮影中に表示される撮影残り時間は目安としてください。
設定した動画容量になると撮影を終了したことを通知するメッセージが表示されます。◉[選択]を押すと操作5の確認モード画面が表示されます。

5 ◉[終了]または▾[メモ／確認]を押して撮影を終了する

撮影終了時には撮影終了音が鳴り、確認モード画面が表示されます。
[再生]を押すと、撮影した動画を再生できます。
撮影時のマイク感度は「オリジナルマナー」の「通話中マイク感度」の設定にかかわらず、「標準」の設定になります。

「長時間ムービー」で動画を撮影した場合

撮影した動画がminiSDメモリーカードに自動的に保存されます。

「ムービーモード」で「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、撮影後、設定した保存先（「iモーション」の「カメラ」フォルダまたはminiSDメモリーカード）に自動的に保存されます。
自動保存後は、撮影のやり直しや、確認モード画面からiモードメールを作成できません。

撮影をやり直したい場合

機能メニューから「取り消し」を選んで「YES」を選ぶ
取り消し後、撮影画面に戻りますので撮影し直してください。

撮影した動画をすぐにiモードメールに添付して送る場合

機能メニューから「iモードメール作成」を選び、必要なときはタイトルを編集して◉[確定]を押す
動画が添付された新規iモードメールの作成画面が表示されます。→P.264
データ量によっては、動画をiモードメールに添付することができない場合があります。→P.260
「動画容量設定」で「動画メモ」に設定して撮影すると、iモードメールに添付できる容量を超えてiモードメールに添付して送れない場合があります。

撮影した動画を待受画面に設定する場合

機能メニューから「待受画面設定」を選んで「YES」を選び、必要なときはタイトルを編集して保存先を選ぶ
「長時間ムービー」で撮影してminiSDメモリーカードに保存した動画は、待受画面に設定できません。

次ページへつづく

6 ◉[保存]を押して「YES」を選び、必要なときはタイトルを編集して◉[確定]を押す

保存した動画のタイトル、ファイル名について→P.370

7 保存先を「本体」または「miniSD」から選び、保存先に「本体」を選んだ場合は保存するフォルダを選ぶ

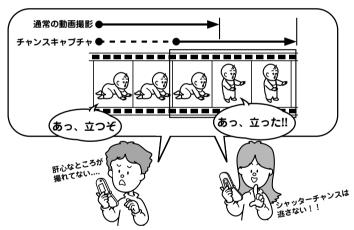
続けて撮影する場合は、操作3～7を繰り返してください。
miniSDメモリーカードを保存先に選んだ場合の保存先フォルダ選択について→P.372

続けて「フォトモード」または「連写モード」に切り替えて撮影を行いたい場合
撮影画面で機能メニューから「カメラモード切替」を選んで切り替えたいモードを選ぶ

おしらせ

- 「長時間ムービー」をご使用時に、撮影中に表示される撮影残り時間がなくなって終了した場合でも、被写体などの撮影条件によりデータ量が異なるため、miniSDメモリーカードに空き容量が残ることがあります。

大切な場面をのがさず撮影する　<チャンスキャプチャ>

内蔵カメラを使って動画を撮影するときに、本機能を利用すると保存可能時間を過ぎても撮りたい場面まで撮影を続けることができるので、大切な場面をのがさずに動画を撮影したいときに便利です。

- 撮影した動画は、撮影を終了した時点から保存可能な時間分（お買い上げのときは約15秒）までさかのぼって撮影開始位置として保存されます。それ以前に撮影した部分は保存されません。
- 保存可能容量を超える前に撮影を終了した場合は、「ムービーモード」と同様に撮影開始時から撮影終了時までが保存されます。

1 「チャンスキャプチャ」を選んで撮影画面を表示させる→P.180

カメラ

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

2 動画を撮影する→P.180

動画撮影中の残り撮影時間表示は、保存可能容量を超えると「XX：XX」と表示されます。

撮影時の設定を変更する

ズームを使う

撮影画面で◯を押すごとに1段階ずつ拡大されます。◯を押すと1段階ずつ縮小されます。ズームの設定を確定するには、◉[確定]を押します。なお、2秒間ボタン操作を行わないと、設定は自動的に確定されます。
拡大できる倍率は次のとおりです。

静止画撮影時

外側／内側カメラ	画像サイズ	ズーム段階	最大倍率
外側カメラ	640×480	16段階	約2倍
	352×288		約3.3倍
	待受(240×269)		約5倍
	メール大(176×144)		約6.6倍
	メール小(128×96)		約10倍
内側カメラ	メール大(176×144)	2段階	約2倍
	メール小(128×96)		約3倍

・カメラのモードを「メガピクセルフォト」に設定して撮影するときや、「フォトモード」で画像サイズを「352×288」または「待受(240×269)」に設定して内側カメラで撮影するときは、ズームを使って拡大することができません。

動画撮影時

外側／内側カメラ	画像サイズ	ズーム段階	最大倍率
外側カメラ	サイズ大(176×144)	16段階	約6.6倍
	サイズ小(128×96)		約10倍
内側カメラ	サイズ大(176×144)	2段階	約2倍
	サイズ小(128×96)		約3倍

・「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合は、ズームを使って拡大することはできません。
・動画撮影中にズーム調節などのボタン操作を行った場合、その音が録音されることがあります。

おしらせ

● 調節する前は「標準」に設定されています。カメラを終了すると、「標準」の設定に戻ります。
● ズームは光学方式ではなくデジタル方式です。

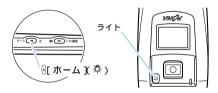
近くのものを撮影する

外側カメラで約5cm〜約9cmの近い距離を撮影するときは、レンズ切替スイッチを🌷（マクロレンズ）に切り替えて撮影すると、画像のピントを合わせることができます。

● 🌷（マクロレンズ）で撮影できるのは外側カメラのみです。
● 接写に適した撮影モードに設定するには→P.187

レンズ切替スイッチを切り替えるときは、●（標準レンズ）、🌷（マクロレンズ）それぞれの位置までしっかりとスイッチをスライドし、途中でとめないでください。
撮影後は、●（標準レンズ）に戻しておくことをおすすめします。

ライトを点灯する

室内など光量が少ない場所での撮影には、ライトを点灯させると便利です。ライトを点灯させるときは、外側カメラで撮影します。ライトは30秒間点灯させることができます。
「連写モード」（オート）、「ムービーモード」の場合は、ライトが点灯している間（30秒間）に撮影を開始すれば、撮影終了まで点灯させることができます。
ライトの「ON」／「OFF」の切り替えは、撮影画面で[点灯]または[消灯]を押すか、[ホーム]（☼）を押して行います。

おしらせ

● ライトを点灯後、機能メニューを表示させたときや機能メニューから設定を行っているときは、ライトは消灯します。機能メニューを終了したり設定を終了すると再度ライトは点灯します。
● 暗闇での撮影では、ライトを点灯させても十分な明るさを得られない場合があります。また、周囲の光源によっては自然な色合いにならない場合があります。このときは「ホワイトバランス設定」でお好みの色合いに調節してください。

セルフタイマーを使う

撮影する前にタイマーを設定しておくと、セルフタイマーで静止画、連続写真、動画を撮影できます。シャッターを自分で押さなくても自動的に撮影してくれるので、撮影時の手ぶれを防ぎたいときや自分も入った撮影をするときに利用すると便利です。

- 「連写モード」で撮影時に「連写切替」を「マニュアル」にした場合は、セルフタイマーを使うことはできません。
- 撮影が終了すると、セルフタイマーの設定は「OFF」に戻ります。ただし、作動時間の設定は、カメラを終了しても保持されます。
- セルフタイマー作動中にFOMA端末を閉じると、セルフタイマーは中止されカウントはクリアされますが、セルフタイマーの設定は継続しています。

1 (Menu)▶ アクセサリ ▶「カメラ」の順に選ぶ

お買い上げのときに、待受画面にある「カメラ」のデスクトップアイコンを選んでもカメラを起動することができます。

2 撮影したいカメラのモードを選んで撮影画面を表示させる

3分以上ボタン操作を行わなかったときは、撮影画面が自動的に終了します。

3 機能メニューから「セルフタイマー設定」を選んで「ON」を選ぶ

4 撮影が開始されるまでの作動時間(01〜15秒)を設定する

作動時間設定
作動時間（秒）
01〜15？ 10

お買い上げのときは「10秒」に設定されています。
時間は2桁で入力します。1〜9秒に設定するときは「01」〜「09」と入力します。
01〜15以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。

5 撮影画面を見ながら撮影したい被写体を表示させる

FOMA端末を机などの上に置いて撮影すると安定します。

6 ●[撮影]または[メモ／確認]を押してセルフタイマーで撮影する

セルフタイマーの開始音が鳴り、セルフタイマーが動きます。タイマー作動中は、「」が点滅します。撮影の5秒前から1秒ごとに「ピピッ」音が鳴ります。
設定した時間がたつと撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。

セルフタイマーを解除する場合

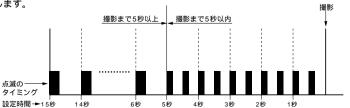
セルフタイマー動作中に[中止]またはCLRを押す

セルフタイマーを一時中断する場合

セルフタイマー動作中に[中止]またはCLRを押し続ける
[中止]またはCLRを放すと、セルフタイマーが再開します。

撮影までの着信ランプの点滅について

撮影の5秒前までは1秒ごとに着信ランプが青色に、、がオレンジ色に点滅します。撮影の5秒以内になると、0.5秒間隔で点滅します。タイマーを5秒以内に設定した場合は、最初から0.5秒間隔で点滅します。

カメラ

カメラの設定を変更する

お好みや用途に合わせて設定して撮影したいときなどは、次のような設定をすると便利です。設定できる機能は次のとおりです。

機能名	設定の内容	設定できるカメラのモード	設定のタイミング	カメラ終了後の設定	参照ページ
明るさ調節	画像の明るさを調節する	すべてのカメラモード	撮影前	保持されない	P.187
撮影モード選択	状況に合わせた撮影モードにする	すべてのカメラモード	撮影前	保持されない	P.187
ホワイトバランス設定	撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調節する	すべてのカメラモード	撮影前	保持される	P.188
色調切替	セピア色(黒茶色)や白黒で撮影できるようにする	すべてのカメラモード	撮影前	保持されない	P.188
画像サイズ設定	撮影する画像サイズを変更する	フォトモード／連写モード	撮影前	保持される	P.188
		ピクチャボイス			
		ムービーモード／チャンスキャプチャ／長時間ムービー			
表示サイズ設定	画面表示サイズを変更する	フォトモード／連写モード	撮影前／撮影後	保持される(撮影時の設定)	P.189
		ピクチャボイス			
		ムービーモード／チャンスキャプチャ／長時間ムービー			
撮影種別設定	映像のみ、音声のみの撮影を行う	ムービーモード／チャンスキャプチャ／長時間ムービー	撮影前	保持されない	P.189
画像保存設定	静止画の保存容量を変更する	フォトモード／連写モード	撮影前	保持されない	P.190
		ピクチャボイス			
動画保存設定	動画の画質を変更する	ムービーモード／チャンスキャプチャ／長時間ムービー	撮影前	保持される	P.190
動画容量設定	動画のファイル容量を変更する	ムービーモード／チャンスキャプチャ	撮影前	保持される	P.190
シャッター音選択	シャッター音を選ぶ	すべてのカメラモード	撮影前	保持される	P.191
自動保存設定	撮影後の保存方法を変更する	メガピクセルフォト／フォトモード／連写モード	撮影前	保持される	P.191
		ムービーモード／チャンスキャプチャ			
保存容量確認	カメラ画像とダウンロード画像の保存容量を確認する	すべてのカメラモード	撮影前	—	P.192
ファイル制限	自分が送付した静止画や動画を送信先(相手)が送信／転送をできないようにする／できるようにする	メガピクセルフォト／フォトモード／連写モード	撮影前／撮影後／保存後※	保持される	P.192
		ピクチャボイス			
		ムービーモード／チャンスキャプチャ			

※： 撮影して保存した後に設定を行うには、静止画および連続写真の場合は「イメージ」で、動画の場合は「iモーション」で行います。

操作の流れ

ここでは、カメラの応用機能を設定する操作の流れを説明します。

1 (Menu)▶ ▶「カメラ」の順に選ぶ

お買い上げのときに、待受画面にある「カメラ」のデスクトップアイコンを選んでもカメラを起動することができます。

2 カメラモードを選んで撮影画面を表示させる

3 機能メニューから設定したい機能を選んでそれぞれの操作を行う

機能名について→P.186

フォトモードの場合

明るさを調節する ＜明るさ調節＞

お買い上げ時	±0

1 明るさを調節する画面で明るさの調節をする

を押すと暗くなり、を押すと明るくなります。
−2〜±0〜＋2の5段階で調節できます。
−2：暗くなります。
−1：やや暗くなります。
±0：標準。
＋1：やや明るくなります。
＋2：明るくなります。
明るさを調節時に、2秒間ボタン操作を行わないと、設定は自動的に確定されます。

撮影モードを選ぶ ＜撮影モード選択＞

お買い上げ時	風景

● 連写モード、ムービーモード、チャンスキャプチャ、長時間ムービーでは「ナイトモード」に設定することはできません。

1 撮影モード選択画面で撮影モードを選ぶ

風景　：風景などを撮影するときに適したモードです。
ポートレート：人物などを撮影するときに適したモードです。
接写　：接近して撮影するときに適したモードです。なお、接近して撮影するときには、外側カメラをマクロレンズに切り替えます。→P.184
ナイトモード：暗いところで撮影するときに適したモードです。メガピクセルフォト、フォトモード撮影時のみ選択できます。

カメラを終了すると、設定は「風景」に戻ります。

おしらせ

● 「ナイトモード」に設定すると、撮影時に画面がちらつくことがあります。
● 「ナイトモード」で撮影時に手ぶれしてしまう場合は、「ナイトモード」以外の撮影モードに設定してください。
● 「ナイトモード」のときに、「ムービーモード」、「連写モード」に切り替えると「風景」に戻ります。

光源に合った自然な色合いに調節する　＜ホワイトバランス設定＞

お買い上げ時	オート

1　ホワイトバランス設定画面で撮影する画質を選ぶ

オート：自動的にホワイトバランスが調節されます。
晴天　：晴天の屋外で撮影するときに設定します。
曇天　：曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに設定します。
電球　：電球などの照明のもとで撮影するときに設定します。

おしらせ

- 暗い場所での撮影時やライトを使用した撮影時は、最適な色合いにならない場合があります。この場合は、本機能を設定することによりお好みの色合いに調節することができます。

セピア色や白黒で撮影できるようにする　＜色調切替＞

お買い上げ時	通常

1　色調切替を設定する画面で撮影する色調を選ぶ

通常　：カラーで撮影されます。
セピア：セピア色(黒茶色)で撮影されます。
白黒　：白黒で撮影されます。
カメラを終了すると、設定は「通常」に戻ります。

撮影する画像サイズを変更する　＜画像サイズ設定＞

お買い上げ時	フォトモード・連写モード・ピクチャボイス：メール大(176×144) ムービーモード・チャンスキャプチャ・長時間ムービー：サイズ大(176×144)

選択できる画像サイズは次のとおりです。

画像サイズ	設定できるカメラのモード	設定の内容
640×480	フォトモード	VGAサイズ(ヨコ640×タテ480ドット)に設定されます。外側カメラで設定できます。
352×288	フォトモード／連写モード	CIFサイズ(ヨコ352×タテ288ドット)に設定されます。
待受(240×269)	フォトモード／連写モード	待受画面用のサイズ(ヨコ240×タテ269ドット)に設定されます。
メール大(176×144)	フォトモード／連写モード	ヨコ176×タテ144ドットに設定されます。
	ピクチャボイス	
サイズ大(176×144)	ムービーモード／ チャンスキャプチャ／ 長時間ムービー	
メール小(128×96)	フォトモード／連写モード	ヨコ128×タテ96ドットに設定されます。
	ピクチャボイス	
サイズ小(128×96)	ムービーモード／ チャンスキャプチャ／ 長時間ムービー	

・「メガピクセルフォト」のときは、画像サイズが1280×960に固定されるため、画像サイズを変更できません。

1 画像サイズ設定画面で撮影する画像サイズを選ぶ

おしらせ

● 画像サイズの設定を変更すると、ズームの設定は「標準」の設定に戻ります。
● 「メガピクセルフォト」起動後にほかのカメラモードを起動すると、「画像サイズ設定」はお買い上げのときの設定に戻ります。
● 画像サイズ設定を変更すると、それぞれのカメラモードに反映されます。ただし、それぞれのカメラモードで設定できない画像サイズの場合は、お買い上げのときの設定に戻ります。

画面表示サイズを変更する　<表示サイズ設定>

お買い上げ時	等倍表示

●「画像サイズ設定」を「待受(240×269)」以上のサイズに設定しているときは、常に画面サイズで表示され、表示サイズの変更はできません。
●「メガピクセルフォト」のときは画面表示サイズを変更できません。

1 表示サイズ設定画面で表示サイズを選ぶ

等倍表示　　　　：画像を等倍サイズで表示します。
画面サイズで表示：画像を画面サイズに合わせて表示します。

おしらせ

● 「フォトモード」、「連写モード」、「ピクチャボイス」、「ムービーモード」、「チャンスキャプチャ」で撮影後、確認モード画面で機能メニューを表示させ、同様に設定できます。ただし、カメラ終了後は撮影画面での設定が保持されます。

映像のみ・音声のみの撮影を行う　<撮影種別設定>

お買い上げ時	通常

●「音声のみ」を設定した場合は、機能メニューから「明るさ調節」、「撮影モード選択」、「ホワイトバランス設定」、「色調切替」、「画像サイズ設定」、「表示サイズ設定」、「動画保存設定」、「画像チューニング」を設定することはできません。また、カメラを切り替えたり、ライトを点灯させることもできません。

1 撮影種別設定画面で撮影する種別を選ぶ

通常　　：映像・音声ともに撮影します。
映像のみ：映像のみを撮影します。
音声のみ：音声のみを記録します。
音声のみを選んだ場合は、音声のみを記録中であることを通知する画面が表示されます。

保存時のファイル容量を設定する　＜画像保存設定＞

画像を保存するときのファイル容量を、メール添付可能な容量に制限します。

●「メガピクセルフォト」のときは設定できません。

●「画像サイズ設定」を「待受（240×269）」以上のサイズに設定しているときは、「メール制限」は設定できません。

1 画像保存設定画面で保存容量を選ぶ

制限なし　：600Kバイトまでの画像ファイルを保存できます。

大容量メール制限　：大きいサイズ（100Kバイトまで）の画像をiモードメールに添付して利用するときは、この設定にします。

メール制限　：画像をiモードメールに添付して利用するときは、通常この設定にします。

おしらせ

● 本機能は、カメラを起動したときに、以下のように設定されます。
・「画像サイズ設定」が「メール大（176×144）」以下のとき　：「メール制限」
・「画像サイズ設定」が「待受（240×269）」以上のとき　：「大容量メール制限」

● 画像保存設定を「制限なし」に設定した場合、「フォトモード」や「連写モード」で撮影した静止画を添付してiモードメールを作成しようとすると、容量が大きすぎるときは、iモードメールを作成できないことを通知するメッセージが表示され、●［選択］を押すと確認モード画面に戻ります。また、データ圧縮時にエラーが生じた場合は、撮影できなかったことを通知するメッセージが表示され、●［選択］を押すと撮影画面に戻ります。

● 画像保存設定を「大容量メール制限」または「メール制限」に設定した場合、画質が劣化することがあります。

画質を設定する　＜動画保存設定＞

お買い上げ時	標準

動画を撮影するときの画質を設定できます。

●「撮影種別設定」で「音声のみ」を選んだ場合は、画質を設定できません。

1 動画保存設定画面で撮影する画質を選ぶ

標準　：画質、撮影時間ともに標準の設定です。

画質優先　：1コマごとの画質または音質は向上しますがコマ数は減ります。動きがなめらかではなくなりますので、動きの少ない撮影向きです。

時間優先　：1コマごとの画質が落ちますが、撮影時間は長くなります。コマ数は減ります。

動画のファイル容量を変更する　＜動画容量設定＞

お買い上げ時	メール

「ムービーモード」で撮影するファイル容量を設定できます。「動画メモ」を選ぶと撮影時間を長くすることができます。

1 動画容量設定画面でファイルの容量を選ぶ

メール　：撮影した動画をiモードメールに添付して利用するときは、この設定にします。1つの動画につき95Kバイトまで保存できます。

動画メモ　：長く撮影するときは、この設定にします。1つの動画につき800Kバイトまで保存できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

シャッター音を選ぶ　＜シャッター音選択＞

お買い上げ時	シャッター音1

撮影するときに鳴るシャッター音を設定できます。
本機能で設定される各撮影モードでのシャッター音は次のとおりです。

撮影モード		シャッター音
メガピクセルフォト／フォトモード／ピクチャボイス		撮影時音
連写モード	オート	撮影時音
	マニュアル	撮影時音
ムービーモード／チャンスキャプチャ／長時間ムービー		撮影時音、撮影終了音

- セルフタイマー撮影時の撮影時音、撮影終了音も設定されます。ただし、セルフタイマーの動作が開始してから撮影するまで鳴るタイマー音は設定されません(タイマー音は固定)。
- 「メガピクセルフォト」、「フォトモード」、「ピクチャボイス」、「連写モード」のいずれかでシャッター音を設定すると、これらのカメラモードのすべてに反映されます。また、「ムービーモード」、「チャンスキャプチャ」、「長時間ムービー」のいずれかでシャッター音を設定すると、これらのカメラモードのすべてに反映されます。

1 シャッター音選択画面でシャッター音を選ぶ

シャッター音1～3を◎で選ぶと、シャッター音が一定の音量で鳴ります。

おしらせ

- マナーモード設定中は、シャッター音を選択しても確認用のシャッター音は鳴りません。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定した場合、その設定内容によってはシャッター音が鳴ります。

写真(静止画)や動画を自動的に保存する　＜自動保存設定＞

お買い上げ時	OFF

自動保存設定を「ON」に設定すると、静止画や動画を撮影後、保存の操作をしないで「イメージ」／「iモーション」の「カメラ」フォルダ、またはminiSDメモリーカードに自動的に保存することができます。

- 「連写モード」で自動保存設定を「ON」に設定している場合は、連続写真を撮影後、「全保存」ですべての連続写真が自動保存され、リンクファイル(アニメーションファイル)は保存されません。
- 撮影時に鏡像表示で静止画を撮影しても正像で自動保存されます。

1 自動保存設定画面で「ON」を選ぶ

自動保存しない場合は「OFF」を選びます。

2 自動保存先を「本体」または「miniSD」から選ぶ

miniSDメモリーカードを保存先に選んだ場合の保存先フォルダ選択について→P.372

おしらせ

- 「画像保存設定」で設定したファイル容量の上限を超えた場合は、自動保存設定を「ON」に設定していても自動保存されず、保存できないことを通知するメッセージが表示されます。●[確認]を押すと確認モード画面に戻ります。
- 自動保存先として「本体」を設定した場合、「イメージ」や「iモーション」の容量がいっぱいのときは、不要な静止画または動画を削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選んで削除する静止画または動画を選びます。自動保存先として「miniSDメモリーカード」を設定した場合、miniSDメモリーカード内の容量がいっぱいのときは、容量がいっぱいであることを通知するメッセージが表示され、保存先選択の画面に戻ります。

保存されている容量を確認する　＜保存容量確認＞

撮影した静止画または動画を保存するFOMA本体のフォルダ内と、miniSDメモリーカード内の空きデータ、保存データの容量を確認できます。

＜例：フォトモードの場合＞

1 保存容量確認画面で保存容量を確認する

miniSDメモリーカードをFOMA端末に取り付けていないときは、miniSDメモリーカードの保存容量は表示されません。

送付先から送信／転送できないようにする　＜ファイル制限＞

お買い上げ時	なし

撮影した静止画や動画を、送付先のFOMA端末から送信／転送できないように設定できます。「ファイル制限」を「あり」に設定すると、送付先では撮影した静止画や動画をiモードメールに添付するなど、FOMA端末外に出力することができなくなります。

● 「ファイル制限」を「あり」に設定した場合でも、赤外線通信機能で送信したときや、miniSDメモリーカードへエクスポートした静止画や動画は、送信先からFOMA端末外へ出力できます。

1 ファイル制限を設定する画面でファイル制限の設定項目を選ぶ

なし ： 撮影した静止画や動画を送付先のFOMA端末から送信／転送できます。
あり ： 撮影した静止画や動画を送付先のFOMA端末から送信／転送できなくなります。

連続写真を選択してファイル制限を設定する場合

確認モード画面で設定したい連続写真を選んで機能メニューから「選択ファイル制限」を選んで「あり」を選ぶ
「全ファイル制限」を選ぶと、すべての連続写真にファイル制限を設定できます。

おしらせ

● 静止画や動画を撮影後、確認モード画面で機能メニューを表示させ、同様に設定することもできます。この場合は、撮影した静止画や連続写真に含まれる静止画、動画を保存する前に設定してください。
● 静止画または動画を撮影して保存した後、ファイル制限を設定する場合は、「フォトリスト」または「ムービーリスト」の一覧画面で設定したい静止画や連続写真に含まれる静止画、動画を選んで機能メニューから設定します。「イメージ」（静止画、連続写真の場合）または「iモーション」（動画の場合）からも設定できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

バーコードリーダーを利用する

内蔵カメラを使って、JANコード、QRコードに含まれる文字列や数字などの情報を読み取ることができます。読み取った情報は次のように利用できます。

目的	反転表示させる文字	利用／登録できる情報
電話帳に登録する	電話番号	電話番号
	メールアドレス	メールアドレス
電話帳に一括登録する	電話帳登録	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモ
メールを作成する	メールアドレス	メールアドレス
	メール作成	メールアドレス、件名、本文
サイトやインターネットホームページを表示する	URL	URL
ブックマークにURLを登録する	URL	URL
	Bookmark登録	URL、サイト名
iアプリを起動する	iアプリ起動	－
音声電話をかける	電話番号	電話番号
テレビ電話をかける		
画像を表示する	画像	画像
画像を登録する		
メロディを再生する	♫	メロディ
メロディを登録する		

- 読み取った情報は5件まで登録できます。
- JANコード、QRコード以外のバーコードや二次元コードを読み取ることはできません。
- FOMA端末が揺れたりしないように、しっかり持って操作してください。FOMA端末の下に手を添えたり、雑誌の上に置いたりすると、FOMA端末の揺れを少なくすることができます。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射の具合、QRコードのバージョンによっては、正しく認識できない場合があります。
- コードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- コードを読み取るときは、外側カメラのレンズをコードから約5cm～約9cm離してください。
- 待受画面にバーコードリーダーをデスクトップアイコンとして貼り付けると、すばやく機能を呼び出すことができます。→P.135

JANコード／QRコードについて

■JANコード

太さや間隔の異なる線(バー)で数字を表現するバーコードです。
8桁または13桁のJANコードを読み取ることができます。

例：4942857113068

■QRコード

英数字や文字のデータを縦、横方向に表現する二次元コードの1つです。画像やメロディのデータを含んでいるQRコードや、1つの情報が複数のQRコードに分かれているものもあります。
最大16個まで分割されたQRコードを1つの情報として読み取ることができます。

例：株式会社NTTドコモ

外側カメラのレンズを切り替える

● コードを読み取るときは、外側カメラのレンズをレンズ切替スイッチで🌷(マクロレンズ)に切り替えます。

レンズ切替スイッチを切り替えるときは、●(標準レンズ)、🌷(マクロレンズ)それぞれの位置までしっかりとスイッチをスライドし、途中でとめないでください。
🌷(マクロレンズ)に切り替えてカメラを使用した後は、●(標準レンズ)に戻しておくことをおすすめします。

コードを読み取る

1 (Menu)▶アクセサリ▶「バーコードリーダー」の順に選ぶ

フォトモードの撮影画面で機能メニューから「バーコードリーダー」を選んでもバーコードリーダーを起動することができます。
すでに情報が登録されているときは、バーコードリーダーの一覧画面が表示されます。「<新規取込>」を選んでコードの取り込みを行ってください。お買い上げのときは、登録されていません。

2 読み取りたいコードを認識範囲に表示させる

読み取りたいコードが認識範囲に入るようになるべく大きく映るようにします。認識範囲にコードが入り切らない場合や、ピントが合わない場合は、外側カメラをレンズ切替スイッチで標準レンズに切り替えて行ってください。

ズームを切り替える場合

拡大するときは◎を押す
縮小するときは◎を押す

ライトを利用する場合

[点灯]または[ホーム](☼)を押す
ライトを消灯する場合は[消灯]または[ホーム]を押します。

3 ◉[撮影]を押してコードを読み取る

読み取りが完了すると、バーコードリーダーの詳細画面に読み取った情報が表示されます。
読み取り開始後約30秒以内に読み取りが正しく行われなかった場合は、読み取りできなかったことを通知するメッセージが表示され、読み取りを中止します。

もう一度やり直す場合

CLRを押す

複数のコードに分割されている情報を読み取る場合

「OK」を選んで操作2～3を繰り返し、情報を読み取る

4 利用する情報を反転表示して、情報を操作する

電話帳に登録する場合
機能メニューから「電話帳登録」を選んで電話帳に登録する→P.103

サイトやインターネットホームページを表示する場合
●[選択]を押す→P.205、P.214

ブックマークにURLを登録する場合
機能メニューから「Bookmark登録」を選び、ブックマークに登録する→P.215

iアプリを起動する場合
●[選択]を押す

音声／テレビ電話をかける場合
●[選択]を押し「音声発信／TV電話発信」－「発信」を選ぶ→P.62、P.89
「音声発信／TV電話発信」を選んで、音声／テレビ電話をかけると、発信者番号の通知は「発信者番号通知サービス」(P.58)の設定に従います。「発番号設定」を選び「通知しない」「通知する」を選ぶと、発信者番号を通知するかどうかを設定して音声／テレビ電話をかけることもできます。
テレビ電話をかけるときに、機能メニューから「電話発信」－「TV電話画像選択」を選ぶと、テレビ電話中に送信する映像を選択できます。

国際電話をかける場合
●[選択]を押し「音声発信／TV電話発信」－「国際電話発信」を選んで国名を選び、「発信」を選ぶ→P.68
元の番号の先頭に国際アクセス番号と国番号が追加されて国際電話がかかります。(電話番号が「0」ではじまる場合は、「0」が削除されます)。

メールを作成する場合
●[選択]を押し、iモードメールを作成する→P.264

画像を保存する場合
機能メニューから「画像保存」を選ぶ

メロディを再生する場合
●[選択]を押す→P.365

メロディを保存する場合
機能メニューから「メロディ保存」を選ぶ

バーコードリーダーの詳細画面で表示される情報を一括して利用する

電話帳に一括登録する場合
「電話帳登録」を反転表示して●[選択]を押し、電話帳に登録する→P.103

メールを作成する場合
「メール作成」を反転表示して●[選択]を押し、iモードメールを作成する→P.264

ブックマークにURLを登録する場合
「Bookmark登録」を反転表示して●[選択]を押し、ブックマークに登録する→P.215

おしらせ

- 「国際ダイヤル設定」で国番号が登録されていない国に対しては、バーコードリーダーから国際電話を発信できません。また、イタリアなど一部の国・地域にかけるときも、バーコードリーダーから国際電話を発信できない場合があります。
- 文字編集画面の機能メニューやiアプリからもバーコードリーダーを起動して情報を読み取ることができますが、登録済みの情報の表示や、読み取った情報の保存を行うことはできません。また、画像やメロディの情報は正しく読み取りできません。なお、文字編集画面で入力できない文字はスペース（空白）に置き換わります。
- 「http://」または「https://」以外ではじまっている情報でインターネット接続しようとしたときは、URLが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。
- 電話番号、メールアドレス、URLで使用できない文字がある場合は、登録の際に警告メッセージが表示されます。
- 新規iモードメールを作成するときや、メールアドレスとして電話帳に登録するときは、50文字までの半角文字を入力できます。50文字を超える文字数を入力すると、文字数がオーバーしていることを通知し、登録するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、50文字までの半角文字が入力され、文字数を超えた部分は削除されます。
- 電話をかけるときは、最大26桁まで入力できます（「＋」「＊」「＃」「p」などを入力した場合も桁数にカウントされます）。26桁を超える文字数を入力すると、文字数を超えた部分は削除されます。
- 電話番号として電話帳に登録するときは、最大26桁まで入力できます（「＋」「＊」「＃」「p」などを入力した場合も桁数にカウントされます）。26桁を超える文字数を入力すると、文字数がオーバーしていることを通知し、登録するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、26桁を超えた部分を削除して登録されます。
- すでに5件の情報が登録されているときに、バーコードリーダーの一覧画面で「<新規取込>」を選ぶと、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、一番古い情報のデータに新規情報が上書きされます。
- 操作2の画面で3分以上ボタン操作をしなかったときは、バーコードリーダーの一覧画面に戻ります。

読み取り結果を保存しておき、あとで利用する

カメラ

バーコードリーダーで読み取った情報を保存しておき、あとで利用できます。

■ 読み取った情報を保存する

1 読み取り結果の表示画面（P.194）で、機能メニューから「登録」を選ぶ

読み取り結果が保存されます。

タイトルを編集する場合

保存後に、バーコードリーダーの一覧画面で機能メニューから「タイトル編集」を選んで変更する

タイトルは全角で9文字、半角で18文字まで入力できます。

文字の入力のしかた→P.502

おしらせ

- コードを読み取った後、情報を登録する前に音声電話やテレビ電話の着信があったり、めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知が実行されたり、ほかの機能の操作を行ったときは、それらの画面に切り替わります。その後、操作を終了させるとバーコードリーダーの読み取り結果の表示画面に戻ります。
- 読み取り結果の保存先を変更することはできません。

■ 保存した情報を利用する

1 (Menu)▶アクセサリ▶「バーコードリーダー」の順に選ぶ

バーコードリーダーの一覧画面が表示されます。

タイトルを1件削除する場合

削除したいタイトルを反転表示して、機能メニューから「1件削除」を選ぶ

タイトルをすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

2 表示したいタイトルを選ぶ

バーコードリーダーの詳細画面が表示されます。

3 利用する情報を反転表示して、情報を操作する→P.195

iモード

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

■ サイト（番組）接続

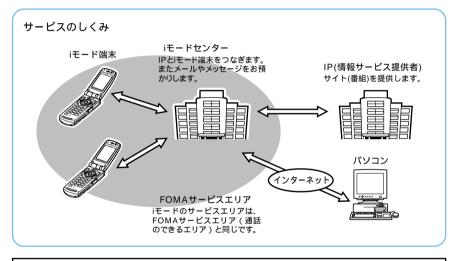
iモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

■ インターネット接続

iモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

■ iモードメール

iモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5,000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

サービスのしくみ

iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関しては、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

おしらせ

- FOMAサービスをご契約いただきますと、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。ただし、サイトによってはFOMAに「マイメニュー」が引き継がれない場合もありますので、その場合は再登録をしてください。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenu内の「お知らせ＆ヘルプ」で確認できます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、iモードメールアドレスはそのままご利用になれます。
- iモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金等につきましては、iモードご契約時にお渡しいたします『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。
- iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト(番組)接続サービス

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IP(情報サービス提供者)が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。
たとえば、銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなど、さまざまなオンラインサービスがあります。

■ サイトを表示するには

iモードセンターに接続すると、最初にiMenuが表示されます。ここから各サイトや「週刊iガイド」などへアクセスします。

サイトの表示方法→P.205

画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

項　目	説　明
1 マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます(P.213)。有料サイトなどは申し込み時に自動的に登録され、合わせて45件まで登録できます。
2 週刊iガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
3 メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
4 とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。(提供：D2コミュニケーションズ)
5 iエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
6 かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリーからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。 ・iアプリサーチ iアプリを情報料が無料のものやゲームができるものなど、利用シーン別に紹介しています。 ・便利サイトサーチ メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
7 マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスする会員向けのサービスです。
8 オプション設定	iモードメールの設定やiモードパスワードの変更などを行います。
9 お知らせ＆ヘルプ	ドコモからのお知らせや、iモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
料金＆お申込	料金の確認やお支払い、ご契約内容の変更、および各種サービスのお申し込みができます。
English	iMenuを英語表記に変更します。

おしらせ

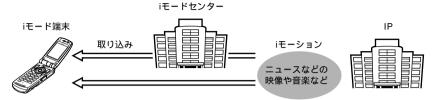
- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの(iモード有料サイト)があります。
- IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- iモードアイコンが点滅していても、iモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- 「デュアルネットワークサービス」ご契約の場合、iMenu画面などが一部異なります。

次ページへつづく

こんなこともできます

iモーション

iモードのサイトから映像や音をiモード端末に取り込み、再生したり、待受画面として楽しむことができます。

- iモーションを取り込むには→P.332
- iモーションを再生するには→P.332
- iモーションを自動再生設定するには→P.336

iモーションを取り込むには、iモードセンターを経由するパケット通信と、経由しないデジタル通信の2種類があります。

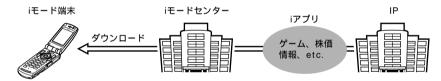
着モーション

iモードのサイトからiモーションをiモード端末に取り込み、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます。
一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません。

- 着モーションを設定するには→P.124

iアプリ

iアプリをサイトからダウンロードする(取り込む)ことにより、iモード端末をより便利に活用いただけます。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックすることなどが可能です。また、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

- iアプリをダウンロードするには→P.312
- iアプリを実行するには→P.315
- iアプリを自動起動するには→P.321

iアプリ待受画面

iアプリ待受画面では、iアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

- iアプリ待受画面を設定するには→P.325

iアプリDX

iアプリDXでは、iモード端末の情報(メールや発着信履歴、電話帳データなど)と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

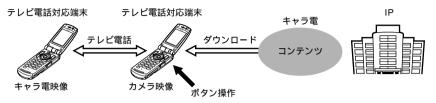
- iアプリDXとは→P.310

iアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をiモード対応端末に取り込み、待受画面や着信画面に表示できます。
→P.222

■ キャラ電

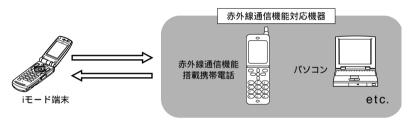
テレビ電話利用時に相手のテレビ電話対応端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画面に設定したり、メールに添付して送ることもできます。メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません。

・ キャラ電をダウンロードするには→P.224
・ キャラ電を確認するには→P.359
・ キャラ電を設定するには→P.359
・ キャラ電を操作するには→P.93、P.360
・ キャラ電を撮影するには→P.362

■ 赤外線通信

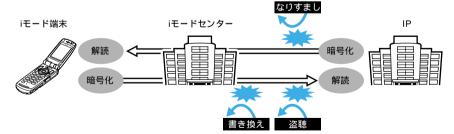
赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどのデータを送受信することができます。※

また、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。例えば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

・赤外線通信機能を利用するには→P.393

※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ TLS／SSL通信

TLSとはTransport Layer Securityの略、SSLとはSecure Sockets Layerの略で、認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。TLS／SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすまし※や書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやり取りできるようにしています。

・TLS／SSL通信を利用するには→P.212

※なりすまし：第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

■ FOMAカード動作制限機能

お客様の情報(電話番号、電話帳(一部)など)を保存しているFOMAカードを、FOMA端末に挿入して、サイトからダウンロードしたりメールから取得したメロディ・静止画・動画などのファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードに差し替えたり、またはFOMAカードを挿入していない状態で電源を入れた場合、取得したファイルの再生や表示をできなくする機能です。

・FOMAカード動作制限機能については→P.48

次ページへつづく

■ iメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をiモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。→P.223
iモーションも着モーションとして設定でき、メロディだけではなくお好きな歌手の歌声と動画なども着信音、着信画像としてご利用いただけます。→P.124

■ Flash™

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をiモード端末にダウンロードして、待受画面に設定できます。→P.222

■ ダウンロード辞書

サイトから方言や専門用語などの辞書をiモード端末にダウンロードして、変換用辞書として設定できます。→P.224

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報(メッセージ)が自動的にお客様のiモード端末に届くサービスです。
メッセージサービスには、メッセージリクエストとメッセージフリーがあります。

メッセージリクエスト	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

・ メッセージフリーの設定方法
「iMenu」−「オプション設定」−「メッセージF設定」−「受信する」を選んでiモードパスワード(数字4桁)を入力し「決定」を選びます。
・ メッセージサービスの受信方法は→P.232、P.234
・ 2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にiモードをお申込みの場合は、「メッセージF設定」のお買い上げのときの設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、「メッセージF設定」をお客様ご自身で「受信しない」に変更していただく必要がございますので、ご了承ください。
※ 上記の場合以外のお客様がメッセージフリーをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。お買い上げのときの設定では、「受信しない」設定になっております。
詳しくは、iモードご契約時にお渡しする『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

電源が入っていない場合や「圏外」が表示されている場合などで受信できないときは、メッセージリクエスト/フリーはiモードセンターに保管されます。
・ iモードセンターでのメッセージの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージリクエスト	300件	72時間
メッセージフリー	300件	72時間

・iモードセンターに保管されたメッセージリクエスト/フリーは、iモード問い合わせにより受信できます。→P.234

■ トクだねニュース便

メッセージリクエスト機能を利用し、ニュースや天気などの情報をiモード端末にドコモが配信するサービスです。トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニューに登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。
・メッセージリクエストの画面の見かたは→P.236

iモードパスワード

有料サイトの申し込みやマイメニューの登録・解除、iモードメールの設定などを行うときには「iモードパスワード」が必要になります。ご契約時は「0000」(数字のゼロ4つ)に設定されていますので、お客様のお好みでiモード端末からご自由にiモードパスワードを変更してください。→P.213
iモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス(URL)を入力することにより、インターネットに接続し、iモード対応のインターネットホームページを表示することができます。
● インターネットホームページの表示方法は→P.214

おしらせ

● iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。iモード対応のインターネットホームページとは、iモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
● パソコン上での表示とは異なる場合があります。
● URLが半角256文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。
● データ量の大きいページに接続した場合などは、読み込み中止操作により通信を中断できます。

便利な機能

サイトのページやメールに表示されている電話番号やメールアドレス、URLなどの情報を利用して、簡単な操作で音声電話やテレビ電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページに接続したりすることができます。

機能	説明	参照ページ
Phone To 機能	電話番号が表示されている各サイト、メッセージリクエスト／フリー、メールの画面などから簡単な操作で音声電話やテレビ電話をかけることができます。	P.225
Mail To 機能	メールアドレスが表示されている各サイト、メッセージリクエスト／フリー、メールの画面などから新規メール画面を表示することができます。	P.226
Web To 機能	URLが表示されている各サイト、メッセージリクエスト／フリー、メールの画面などからインターネットホームページに接続できます。ただし、一部ご利用になれないサイトがあります。	P.227

● そのほかにも、メロディの取り込みと保存（P.223）、画像の保存（P.222）、辞書の取り込みと保存（P.224）、iアプリの起動（P.323）、iモーションの取り込みと保存（P.332）、電話番号やメールアドレスの電話帳への登録（P.211）などができます。

キャッシュに記憶されたページを表示するときは

・キャッシュとは、表示したサイトやインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。サイトやインターネットホームページなどを表示中にを押してページを移動すると、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示します。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示するときは、を押した場合でも通信を行います。また、ページがキャッシュに記憶されていても、そのページの日付時刻情報が更新されている場合は通信を行って最新情報を表示します。
・キャッシュから読み込んだ場合でも、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
・iモードを終了すると、キャッシュはクリアされます。
・TLS／SSL対応のページをキャッシュから読み込んだときは、「TLS/SSLページを表示します」というメッセージが表示されます。

iモードのご使用にあたって

・サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからFOMA端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
・FOMA端末に保存されている内容（メール、メッセージリクエスト／フリー、画面メモ、iアプリ、iモーション）やブックマークなどの登録内容は、電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月は記憶されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えを取っておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・FOMA端末の修理などを行った場合、iモード、iアプリ、iモーションにて取り込んだ情報は、著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れた場合、サイトから取り込んだメロディ、画像、iモーションなどや、iモードメールに添付または貼り付けられているファイル（メロディ、画像、動画やiモーション）、メロディ、画像、iモーションを含んだ画面メモ、メロディ、画像が添付または貼り付けられているメッセージリクエスト／フリーなどの表示や再生ができません。
・FOMAカード動作制限機能（P.48）により表示・再生が制限されているファイルやデータを待受画面や着信音などに設定している場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れると、お買い上げのときの設定で動作します。

iモードメニューを表示する

1 (Menu)▶ iモード の順に選ぶ

iモードメニュー画面が表示されます。iモードメニューは8項目あります。iモードの主な操作はこの画面からはじめます。
待受画面表示中に [imode] を押してもiモードメニューを表示することができます。

「圏外」が表示されているとき

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。iモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア(通話のできるエリア)と同じです。「Y.ıl」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。
- iモードは通信を使ったサービスのため、「圏外」が表示されているときはご利用になれません。
- 「圏外」が表示されているときでも、iモードメニューを表示することはできます。

「⇔」が点滅するとき

サービスエリア内でiモードのサービスを受けていないときに、サイト(P.205)やインターネット(P.214)への接続やiモードメールの送信(P.248)などをしようとしたときは「⇔」が点滅し、iモード開始まで時間がかかることがあります。

「i」が点滅しているとき

iモードのサービスを受けているとき(iモード中)は「i」が点滅します。

項　目	説　明	参照ページ
1 iMenu	iモードセンターへ接続すると、最初に表示されるページです。ここから各サイト(番組)や「週刊iガイド」などへアクセスします。	P.199 P.205
2 Bookmark	お気に入りのホームページアドレスをiモード端末に登録しておくと、次回から直接アクセスできます。	P.215
3 画面メモ	iモード端末に保存されたiモードの画面を見ることができます。	P.219
4 ラストURL	最後に表示したサイトやインターネットホームページを表示します。	P.206
5 Internet	ホームページアドレスを直接入力することでインターネットのiモード対応ホームページに接続することができます。	P.214
6 メッセージ	受信したメッセージリクエスト／フリーを表示します。メッセージサービスは、欲しい情報が自動的に携帯電話に届くサービスです。	P.236
7 iモード問い合わせ	iモードセンターにiモードメールやメッセージリクエスト／フリーが保管されているかどうか問い合わせをします。	P.234 P.270
8 iモード設定	iモードに関係するFOMA端末の設定を行います。	P.227

■ iモードを終了するとき

1 iモード中に(PWR HLD)を押し、「YES」を選ぶ

「⇔」が点滅した後、「i」が消灯します。

おしらせ

- iモードメールやメッセージリクエスト／フリーの送受信中や問い合わせ中にCLRを1秒以上押すと、iモードメールやメッセージリクエスト／フリーの送受信を中止します。ただし、中止したタイミングにより送受信してしまうことがあります。
- PWR HLDを2秒以上押したときは、電源が切れます。
- 「圏外」が表示されているときや、FOMA端末の電源が入っていないときにiモードメールやSMS、メッセージリクエスト／フリーが送られてきた場合は、iモードセンターでiモードメールとメッセージリクエスト／フリーを、SMSセンターでSMSを、それぞれ保管します。

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます。
FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。

- サイトによりサービス内容が異なります。また、別途お申し込みが必要なことがあります。
- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（iモード有料サイト）があります。

サイトに接続する

1 （Menu）▶ iモード ▶「iMenu」の順に選ぶ

iモードを開始します→P.204
ページ取得中のアニメーションが表示されます。

ページの取得を中止する場合

［中止］を押す

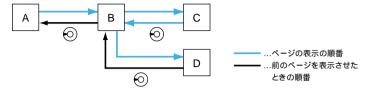
2 「メニューリスト」を選び、利用したいサイトを選ぶ

iモード

次ページへつづく

おしらせ

- 表示したサイトの画面で下線が表示されている項目があるときは、その項目を選ぶことができます。選ぶと反転表示されます。
- 現在表示しているページの前のページに戻るときは◎を押します。いったん戻って、また次のページを表示するときは◎を押します。
- ◎を続けて押すことにより、これまで表示したページをさかのぼって表示することができます。ただし、途中で◎を押して前のページに戻り(「C」から「B」に戻る)、そのページからほかのページ(「B」から「D」)を表示させたときは、「D」から◎を2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページを表示します。

画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき

- Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。
- サイトによっては、サイトの画面の表示色数がFOMA端末の最大表示色数を超えるため、実際のサイトの画面と表示が異なることがあります。
- スケジュール参照登録を実行すると、表示しているページを見ながらスケジュールを登録できます。→P.528

最後に表示したページに再接続する　<ラストURL>

サイトやインターネットで最後に見ていたページを表示したいときは、ラストURLが役に立ちます。ラストURLには、最後に表示していたページのURLが記憶されています。

- データ取得完了画面など、ページによってはラストURLに記憶されない場合があります。

1 iモードメニューから「ラストURL」を選ぶ

iモードメニュー→P.204

ページの取得を中止する場合

[中止]を押す

おしらせ

- お買い上げのときや「ラストURL初期化」を行った後は、「ラストURL」を選ぶとiMenu画面が表示されます。
- ページを表示するたびにラストURLには表示中のページのURLが上書きされます。

サイトの見かたと操作

携帯電話情報について

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選ぶと、携帯電話情報の確認画面が表示されることがあります。

- 携帯電話情報が送信される前には必ず、「携帯電話情報通知」をするかしないかの選択画面が表示されます。自動的に送信されることはありません。

携帯電話情報を送信してもよい場合

「YES」を選ぶ

携帯電話情報を送信したくない場合

「NO」を選ぶ

操作を中止する場合

CLRを押す

携帯電話情報通知画面を表示する前の画面に戻ります。

おしらせ

- 送信するお客様の携帯電話情報(FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号)は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

サイトなどでの画像表示について

サイトやインターネットホームページの画面に、画像が表示されることがあります。

・本端末では、GIF形式、JPEG形式、PNG形式、WBMP形式の各画像と、Flash画像(下記)を表示します。ただし、画像によってはそれらの形式であっても表示できない場合があります。

・画像の取得中は「 」が表示され、取得が終わると画像を表示します。

・画像を表示するかしないかを「画像表示設定」(P.229)で設定できます。サイトなどのページを表示中に、機能メニューの「画像表示設定」で「表示しない」から「表示する」に切り替えた場合、「再読み込み」(P.210)をすると「 」の画像が表示されます。なお、「表示する」から「表示しない」に切り替えた場合は、取得済みの画像は表示されたままです。

表示される画像のアイコンについて

※:画像を取得中、または「画像表示設定」を「表示しない」に設定している場合に表示されます。

:画像を取得できなかった場合や画像が表示できない形式の場合に表示されます。

※:取得できない画像の場合は、アイコンがグレーで表示されます。

Flash画像の操作をする

絵や音によるアニメーション技術を用いたFlash画像に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用することができます。また、Flash画像を取り込み、待受画面に設定することもできます。

- 項目を選んでほかのページを表示したり、メニューを選んで各種の操作をすることができます。また、情報の部分を選んでリンク先のページを表示するなどの操作をすることができます。
- 画像保存(P.222)で保存したFlash画像を再生したとき、サイトでの見えかたと異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- 画面下部に「 」が表示されていなくても、Flash画像の操作ができることがあります。また、Flash画像を利用した画面によっては、ニューロポインターが利用できない場合があります。この場合、画面の下に「 」は表示されません。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定した場合、Flash画像も表示されません。

おしらせ

- Flash画像を再度動作させたい場合は、機能メニューから「リトライ」を選んでください。
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、機能メニューから「効果音設定」を選んで「OFF」に設定してください。また、バイブレータ設定中は、効果音が鳴っていても振動しません。
- 再生中に120秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには、いずれかのボタンを押してください。
- 保存したFlash画像は、サイトでの見えかたと異なる場合があります。

リンク先や項目を選択する

メニュー項目の選びかたには次の2種類の方法があります。

● ここでは例として、iMenuから「メニューリスト」を選ぶ操作を説明します。

■ ダイヤルボタンで項目番号を押して選ぶ方法（ダイレクトキー選択）

1 **項目番号と同じ数字のダイヤルボタンを押す**

ダイレクトキー選択については、一部ご利用になれないサイトがあります。

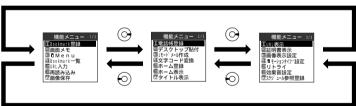
■ マルチファンクションボタンで項目を選ぶ方法

1 **を押して選びたい項目を反転表示し、 [選択]を押す**

機能メニューが複数ページあるときは

次のような操作で前後のページを表示することができます。

（または[ホーム]）…前のページを表示します。

（または[メモ／確認]）…次のページを表示します。

一番下の項目が反転表示のときに…次のページを表示します（一番上の項目が反転します）。

一番上の項目が反転表示のときに…前のページを表示します（一番下の項目が反転します）。

※：機能メニューが1ページだけの場合は、一番上の項目が反転表示のときにを押すと一番下の項目へ、一番下の項目が反転表示のときにを押すと一番上の項目へ移動します。

サイトやホームページでの文字入力などのしかた

サイトやインターネットホームページでアンケートや申し込みなどをするときに、入力する枠や選択するボタンなどが表示されることがあります。

● 詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

■ ラジオボタン

選択肢の中から1つだけ選ぶことができます。◉が選ばれた状態です。

■ チェックボックス

選択肢の中から複数の項目を選ぶことができます。☑が選ばれた状態です。

■ テキストボックス

文字を入力することができます。テキストボックスを選ぶと文字入力の画面が表示されます。

文字の入力のしかた→P.502

■ プルダウンメニュー

選択肢の一覧から項目を選ぶことができます。選択肢の一部のみが見えている状態で表示され、プルダウンメニューを選ぶと隠れている複数の選択肢が一覧で表示されます。

User IDやPasswordを入力する

サイトによっては認証画面が表示されることがあります。サイトによって表示される画面は異なります。

1 「User ID」のテキストボックスを選ぶ

2 User IDを入力して◉[確定]を押す

文字の入力のしかた→P.502

iモード

次ページへつづく

3 「Password」のテキストボックスを選ぶ

4 Passwordを入力して●[確定]を押す

入力したPasswordは「*」で表示されます。
「文字入力方式」を「モード2(2タッチ方式)」に設定しているときは、Passwordを入力するときも「モード2(2タッチ方式)」の方法で入力してください。→P.527

5 「OK」を選ぶ

User ID、Passwordの認証がはじまります。

操作を中止する場合

「Cancel」を選ぶ

認証に失敗した場合は、「パスワードをご確認ください(401)」というメッセージが表示されます。もう一度認証するときは「YES」を選びます。

画面の続きを見る ＜スクロール＞

サイトのページやメッセージリクエスト／フリー、iモードメール、SMSなどを表示している場合に、文章や一覧が画面内におさまらず続きがあるときは、スクロールすることにより続きを見ることができます。

■ 行単位でスクロールするとき

・・・行単位で下方向にスクロールされ、文章や一覧の続きが表示されます。
・・・行単位で上方向にスクロールされ、前の文章や一覧が表示されます。

またはを押したときにスクロールする行数を、1行、3行、5行に設定できます。→P.230、P.295

■ 画面単位でスクロールするとき

[メモ／確認]・・・・・・・・・・ 画面単位で下方向にスクロールされ、文章や一覧の続きが表示されます。
[ホーム]・・・・・・・・・・・・・・ 画面単位で上方向にスクロールされ、前の文章や一覧が表示されます。

情報を再読み込みする ＜再読み込み＞

表示中のページを新しい情報に更新します。

1 ページを表示中に、機能メニューから「再読み込み」を選ぶ

おしらせ

● アンケートの回答などの送信完了画面で「再読み込み」を行った場合、再度送信するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、一度送信した内容と同じものが再び送信されますのでご注意ください。

URLやタイトルを表示する　＜URL表示／タイトル表示＞

表示中のページのURLやタイトルを表示して確認することができます。

- URL表示は半角で512文字まで、タイトル表示は半角で128文字まで、それぞれ表示できます。タイトルがない場合は「無題」と表示されます。
- URLやタイトルの編集はできません。

1 ページを表示中に、機能メニューから確認したい項目を選ぶ

タイトルを確認したい場合
「タイトル表示」を選ぶ
URLを確認したい場合
「URL表示」を選ぶ
表示画面にすべてのタイトルまたはURLが表示されていないときは、●を押してカーソルを表示し、◎でカーソルを移動して確認します。
カーソルを表示した場合は、もう一度●を押すとカーソルが消えます。
「OK」を選ぶとページの画面に戻ります。

文字を正しく表示する　＜文字コード変換＞

ページの文字が正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。

1 ページを表示中に、機能メニューから「文字コード変換」を選ぶ

正しく表示されないときは、操作を繰り返します。

おしらせ

- 文字コード変換の操作を繰り返しても正しく表示できないことがあります。
- 文字コード変換の操作を4回繰り返すと、元の表示に戻ります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換の操作を行うと、正しく表示されなくなることがあります。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する　＜電話帳登録＞

サイトや画面メモ、iモードメール、メッセージリクエスト／フリーなどに表示されている、電話番号、メールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。

＜例：サイトに表示されている電話番号を登録する場合＞

1 登録したい情報のあるページを表示し、登録する電話番号を反転表示する

《グルメ情報》
■おすすめレストラン情報
スパ亭
(イタリア料理)
03XXXXXXXX
デジャブー
(フランス料理)
お問い合わせは
こちらへ
選択　機能

2 機能メニューから「電話帳登録」を選ぶ

電話帳に登録するかどうかのメッセージが表示されます。
「YES」を選ぶと電話帳登録をします。
登録を中止する場合
「NO」を選ぶ

次ページへつづく

3 電話帳に登録する

電話帳に登録します。→P.103
電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されているときは、電話番号とともに入力されます。残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

おしらせ

- サイトのページなどで反転表示された情報(電話番号、メールアドレスなど)に名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの情報が付加されているときに「本体」への「追加登録」を選ぶと、「電話帳検索」のメニューに「自動検索」が表示されます。「自動検索」を選ぶと同じ名前、フリガナの電話帳を検索できます。
- 電話番号やメールアドレスによっては電話帳に登録できない場合があります。
- 電話帳に登録できない文字(絵文字など)が含まれていた場合、その文字はスペースになります。

TLS／SSL対応のページを表示する　<TLS／SSL通信>

FOMA端末は、TLS／SSL通信に対応したサイトや「https://」からはじまるインターネットホームページ(TLS／SSLページ)を表示できます。

■ TLS／SSL対応のページに接続する

TLS／SSL対応のページに接続するときと、TLS／SSL対応のページから通常のページを表示するときにメッセージが表示されます。

1 TLS／SSL対応のページを表示する

➡

TLS／SSL対応のページを表示しているときは、ディスプレイに「SSL」が表示されます。

認証中に中止する場合

[選択]を押す

認証後のページを取得中に中止する場合

[中止]を押す

2 TLS／SSL対応のページから通常のページを表示する

通常のページを表示する

「YES」を選ぶ

TLS／SSL通信が終了し、通常のページが表示されて「SSL」の表示が消えます。

おしらせ

- TLS／SSL対応のページを表示するときに「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか?」などのメッセージが表示されることがあります。これらは、ページのTLS／SSL証明書が期限切れになっている場合や、サポートしていない場合などに表示されます。接続する場合は「YES」を選ぶと続けてページを表示できますが、これらのサイトではお客様の個人情報(クレジットカード番号、連絡先など)を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続しない場合は「NO」を選びます。「TLS/SSL通信を切断しました」というメッセージが表示され、[選択]を押すと元の画面に戻ります。

■ 表示中のページのTLS／SSL証明書を確認する

現在のページを表示するときに使用したTLS／SSL証明書の内容を確認できます。

● サイトのページからだけでなく、画面メモからでも同じ手順で証明書を確認できます。

1 証明書を確認したいページを表示する

サイトのページの場合

TLS／SSL対応のページを表示します→P.212

画面メモの場合

保存した画面メモを表示します→P.220

2 機能メニューから「証明書表示」を選ぶ

TLS／SSL証明書が表示され、証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を確認できます。
証明書が複数枚あるときは、を押すと前の証明書や次の証明書を確認できます。

マイメニュー

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

● マイメニューは最大45件まで登録できます。
● マイメニューに登録できないサイトもあります。
●「iMenu」-「メニューリスト」内の有料サイトに利用申し込みをすると自動的にマイメニューに登録されます。
● マイメニュー登録にはiモードパスワードが必要です。
● 詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

iモードパスワード変更

iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録／削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定などを行うときには4桁の「iモードパスワード」が必要になります。

● ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。お客様のお好みで、FOMA端末からご自由にiモードパスワードを変更してください。
● iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
● iモードパスワードを万一お忘れになったときは、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を当社窓口までご持参いただき、iモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。

1 （Menu）▶ iモード ▶「iMenu」▶「オプション設定」▶「iモードパスワード変更」の順に選ぶ

iMenu→P.205
詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

iモード

インターネットホームページを表示する

任意のURLを入力してインターネットホームページを表示できます。

- URLは、半角の英数字や記号で256文字まで入力できます。
- iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。

URLを入力して表示する

1 **(Menu)▶ iモード ▶「Internet」▶「URL入力」の順に選ぶ**

URL入力画面が表示されます。

2 **「新規入力」を選び、URLを入力する**

あらかじめ「http://」が入力されています。
文字の入力のしかた→P.502

3 **「OK」を選ぶ**

「指定サイトを表示できない場合があります」というメッセージが表示されます。
●[選択]または CLR を押すと、入力したURLのページに接続します。

操作を中止する場合
「Cancel」を選ぶ

ページの取得中に中止する場合
[中止]を押す

「http://」や「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない場合は、URLが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

ページを表示中にURLを入力する場合

サイトやインターネットホームページを表示中に、機能メニューから「URL入力」を選んでURLを入力し、別のページを表示することができます。
Internetアドレスの入力欄には、現在表示されているページのURLが表示されます。入力欄を選んで表示したいページのURLを入力してください。

おしらせ

- 表示したページのURLを「ブックマーク」や「ホームURL」に登録したり、表示したページを「画面メモ」として保存するなど、機能メニューからさまざまな操作をすることができます。

URL履歴を使って表示する

これまでに入力したURLをURL履歴として10件まで記録し、一覧で表示します。一覧から選んでページを表示することができます。

1 (Menu)▶ iモード ▶「Internet」▶「URL入力」の順に選ぶ

2 表示したいURLを選ぶ

選んだURLを編集したい場合
Internetアドレスの入力欄を選んで、URLを編集する

3 「OK」を選ぶ

「指定サイトを表示できない場合があります」というメッセージが表示されます。
◉[選択]または CLR を押すと、選んだURLのページに接続します。
操作を中止する場合
「Cancel」を選ぶ
ページの取得中に中止する場合
[中止]を押す

おしらせ

- 履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に消去されます。
- URLを入力して接続したときは、同じURLでも別の履歴として記録されます。

URL履歴を削除する

1 削除したいURL履歴を反転表示し、機能メニューから削除方法を選ぶ

1件削除 ： URL履歴を1件削除します。
選択削除 ： URL履歴をチェックボックスで選んで削除します。
全削除 ： すべてのURL履歴を削除します。端末暗証番号(P.152)の入力が必要です。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録して素早く表示する

よく見るサイトにすぐに接続できるようにしたいときは、ブックマークに登録します。
- 登録したページは、タイトルを変更したり、フォルダに分けるなどして管理することができます。
- ブックマークにはお買い上げのときにすでに「アドレス確認」のページが登録されています。→P.243

ブックマークに登録する ＜Bookmark登録＞

- ブックマークは100件まで登録できます。
- 登録できる1件あたりのURLの文字数は半角で256文字までです。URLの文字数が半角で256文字を超えるページは、ブックマークに登録できません。
- サイトによってはブックマークに登録できないことがあります。

1 登録したいページを表示し、機能メニューから「Bookmark登録」を選ぶ

登録を確認するメッセージが表示されます。

次ページへつづく

2 「YES」を選び、登録するフォルダを選ぶ

登録したことを通知するメッセージが表示されます。

登録を確認する画面で登録を中止する場合
「NO」を選ぶ

フォルダ選択時に登録を中止する場合
CLRを押す

すでに100件登録されている場合
削除してから登録するかどうかのメッセージが表示されます。
登録するときは「YES」を選び、フォルダを選んで削除するブックマークを選びます。
登録を中止するときは「NO」を選びます。

おしらせ

- ブックマーク登録時にサイトなどの画面上で文字を入力していたり設定項目を選んだりしていても、それらの文字や設定は保存されません。
- ブックマークのタイトルは全角で12文字、半角で24文字までが登録され、超えた部分は削除されます。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

一覧からブックマークを選んで登録したページを表示できます。

1 (Menu)▶ iモード ▶「Bookmark」の順に選ぶ

Bookmarkフォルダ一覧画面が表示されます。
タイトルがない場合や「タイトル編集」(P.217)でタイトルを入力せずに●[確定]を押した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。

2 フォルダを選ぶ

Bookmark一覧画面が表示されます。

3 表示したいブックマークを選ぶ

ページの取得を中止する場合
[中止]を押す

おしらせ

- Bookmark一覧から表示したページのタイトルは、次回Bookmark一覧画面を表示したとき1ページ目の一番目に表示されます。

ブックマークをフォルダで管理する

ブックマークはフォルダに分けて管理することができます。

● 新しいフォルダは9個まで追加することができます。
● お買い上げのときにすでにある「Bookmark」フォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

1 **Bookmarkフォルダ一覧画面を表示させる→P.216**

2 **操作したいフォルダを反転表示して機能メニューを表示し、項目を選ぶ**

フォルダを追加する場合
「フォルダ追加」を選び、フォルダ名を入力する
フォルダ名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

フォルダ名を変更する場合
「フォルダ名編集」を選んでフォルダ名を変更する
フォルダ名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

フォルダを削除する場合
「フォルダ削除」を選ぶ
フォルダとそのフォルダ内のブックマークが削除されます。端末暗証番号(P.152)の入力が必要です。

ブックマークのみをすべて削除する場合
「Bookmark全削除」を選ぶ
フォルダは残したまますべてのブックマークを削除します。端末暗証番号(P.152)の入力が必要です。

文字の入力のしかた→P.502

おしらせ

● ブックマークのフォルダにはセキュリティをかけることはできません。

ブックマークを管理する

ブックマークは機能メニューからさまざまな操作をすることができます。

1 **Bookmark一覧画面を表示させる→P.216**

2 **操作したいタイトルを反転表示して機能メニューを表示し、項目を選ぶ**

タイトルを変更する場合
「タイトル編集」を選び、新しいタイトルを入力する
タイトルは全角で12文字、半角で24文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

ブックマークを削除する場合
削除方法を選ぶ
1件削除　：ブックマークを1件削除します。
選択削除：ブックマークをチェックボックスで選んで削除します。
全削除　　：フォルダ内のすべてのブックマークを削除します。端末暗証番号(P.152)の入力が必要です。

ブックマークのURLをコピーする場合
「URLコピー」を選ぶ
始点を指定した後で範囲を選び、終点を指定します。

別のフォルダへ移動する場合
「フォルダ移動」を選ぶ
移動先のフォルダを選び、移動するブックマークのチェックボックスを選んで[完了]を押します。

次ページへつづく

おしらせ

- 「Bookmark」フォルダの中の「アドレス確認」も別のフォルダに移動したり、タイトルを変更したり、削除することができます。
- ほかの電話機から電話帳データなどをコピーすると、ブックマークに登録されている「アドレス確認」は削除されます。

ブックマークの登録件数を確認するときは

すべてのフォルダの登録件数を確認する場合
Bookmarkフォルダ一覧画面を表示

フォルダごとの登録件数を確認する場合
確認したいフォルダのBookmark一覧画面を表示

➡ **機能メニューから「登録件数確認」を選ぶ**

ホームURL

よく見るサイトを簡単に表示する

よく見るサイトのページを、ホームURLに1件登録できます。登録したページを簡単な操作で表示できる「ホーム表示」を利用することができます。

- 「ホーム表示」を利用するには、ホームURLを登録し、「ホームURL設定」を「有効」に設定します。
- ホームURLに登録できるURLの文字数は、半角で256文字までです。

ホームURLを登録する

1 登録したいページを表示し、機能メニューから「ホーム登録」を選ぶ

登録を確認するメッセージが表示されます。

すでにホームURLが登録されている場合
上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

2 「YES」を選ぶ

登録したことを通知するメッセージが表示されます。

登録を中止する場合
「NO」を選ぶ

ブックマークから登録する場合
iモードメニューの「Bookmark」から「Bookmarkフォルダ一覧画面」－「Bookmark一覧画面」の順に選び、登録したいブックマークを反転表示する

URL履歴から登録する場合
iモードメニューの「Internet」から「URL入力」を選び、登録したいURL履歴を反転表示する

➡ **機能メニューから「ホーム登録」を選ぶ**

iモード

ホームURLを設定する

ホーム表示を利用するための設定をします。

1 **(Menu)▶ iモード ▶「iモード設定」▶「ホームURL設定」の順に選ぶ**

ホームURL欄に、ホームURLに登録されているURLが表示されます。

ホームURLを登録していない場合

ホームURL欄を選んで、登録したいURLを入力する
URLは半角で256文字まで入力できます。
登録していないときは、ホームURL欄に「http://」のみが表示されています。
文字の入力のしかた→P.502

2 **「有効」を選ぶ**

ホーム表示を利用しない場合

「無効」を選ぶ

ホームURLに登録したページを表示する　<ホーム表示>

1 **待受画面表示中に[ホーム]を押す**

ページの取得を中止する場合

[中止]を押す

ページを表示中にホームURLのページを表示するとき

サイトのページで機能メニューから「ホーム表示」を選びます。

iモードメニューから表示するとき

(Menu)▶ iモード ▶「Internet」▶「ホーム表示」の順に選びます。

おしらせ

- 「ホームURL設定」が「無効」に設定されているときは、ホーム表示は利用できません。

画面メモ

サイトの内容を保存する

乗り換え案内をはじめとする情報の検索結果やメロディ・iモーションの取得完了画面など、一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存しておくことができます。ページを表示したときの画面をそのまま保存するので、あとで情報を確認したい場合などに便利です。

- 画面メモは最大100件まで保存できます。保存可能件数は、保存するページのデータ量により3〜100件と変動します。
- スケジュール参照登録を実行して、画面メモを見ながらスケジュールを登録できます。→P.528
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、メロディ、画像、iモーション、キャラ電、ダウンロード辞書が含まれている画面メモを表示できなくなります。元のFOMAカードを挿入し直すと、それらの画面メモを表示できるようになります。→P.48

画面メモを保存する

1 保存したいページを表示し、機能メニューから「画面メモ」を選ぶ

保存を確認するメッセージが表示されます。

2 「YES」を選ぶ

保存したことを通知するメッセージが表示されます。

保存を中止する場合
「NO」を選ぶ

保存されている画面メモがいっぱいの場合
削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。
保存するときは「YES」を選び、削除する画面メモを選びます。
保存を中止するときは「NO」を選びます。

おしらせ

- サイトなどで入力した文字や設定は画面メモには保存されません。
- TLS／SSL対応のページの画面を保存すると、そのページのTLS／SSL証明書も保存されます。→P.213
- 画面メモのタイトルは全角で11文字、半角で22文字までが保存され、超えた部分は削除されます。
- 画面メモには、文字情報だけでなく画像やFlash画像などのデータや、iモーションやメロディ、キャラ電などのデータ取得画面なども保存できます。ただし、再生制限が設定されているiモーション、ストリーミングタイプのiモーション、データが不完全なiモーションの取得完了画面は保存することができません。
- 画面メモに保存した画像などをFOMA端末に保存できます。→P.222
- 同じページを保存したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。

画面メモを表示する

保存した画面メモは画面メモ一覧画面にタイトルが表示されます。

1 (Menu)▶ iモード ▶「画面メモ」の順に選ぶ

画面メモ一覧画面が表示されます。
タイトルがない場合や「タイトル編集」(P.221)でタイトルを入力せずに●[確定]を押した場合は、「無題」と表示されます。

2 表示したいタイトルを選ぶ

画面メモ詳細画面が表示されます。画面メモを表示しているときに◀▶を押すと、前の画面メモや次の画面メモを表示することができます。

保存したページのURLを確認する場合
機能メニューを表示し、「URL表示」を選ぶ
データ取得完了画面などでは「URL表示」を選ぶことはできません。

おしらせ

- 画面メモに保存したページを表示しても、iモードには接続しません。保存したときの情報のため、最新の情報とは異なる場合があります。
- TLS／SSL対応ページの画面メモを表示したときは、画面に「SSL」が表示されます。→P.212

画面メモを管理する

大切な画面メモを保護したり、タイトルを変更したりすることができます。

● 保護できる画面メモは最大50件までです。保護できる最大件数は画面メモのデータ量により変動します。

＜例：画面メモ一覧画面から操作します＞

1 画面メモ一覧画面を表示させる→P.220

2 操作したいタイトルを反転表示して機能メニューを表示し、項目を選ぶ

保護／保護解除する場合

「保護／保護解除」を選ぶ
保護されていない画面メモは保護され、保護されている画面メモは保護解除されます。なお、保護されている画面メモは削除できません。
保護されると、画面メモのタイトルの左に「」が表示されます。

タイトルを変更する場合

「タイトル編集」を選び、新しいタイトルを入力する
タイトルは全角で11文字、半角で22文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

画面メモを削除する場合

削除方法を選ぶ
1件削除 ： 画面メモを1件削除します。
選択削除 ： 画面メモをチェックボックスで選んで削除します。
全削除 ： すべての画面メモを削除します。端末暗証番号（P.152）の入力が必要です。

保存件数を確認する場合

「保存件数確認」を選ぶ

画面メモ詳細画面から操作する場合

「保護／保護解除」、「タイトル編集」、「削除」は、画面メモ詳細画面の機能メニューから操作することもできます。
・ 操作したい画面メモを表示して機能メニューを表示し、項目を選びます。
・「削除」を選ぶと、表示中の画面メモを削除します。

サイトやメッセージから画像を取り込む

サイトや画面メモ、メッセージリクエスト／フリー本文内に表示された画像を保存し、待受画面などに設定できます。

●保存した画像やアニメーションは、待受画面やウェイクアップ表示などに設定できます。
●別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、画像が含まれている画面メモやメッセージリクエスト／フリーを表示できなくなります。元のFOMAカードを挿入し直すと、それらの画面メモやメッセージリクエスト／フリーを表示できるようになります。→P.48

＜例：サイトに表示されている画像を保存する場合＞

1 保存したい画像があるページを表示し、機能メニューから「画像保存」を選ぶ

表示しているサイトなどの画面に画像がない場合、または「画像表示設定」（P.229）を「表示しない」に設定している場合は、機能メニューの「画像保存」は利用できません。

2 保存する画像を選ぶ

保存する画像に□を合わせます。
画像を保存するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選び、保存先のフォルダを選ぶと画像が保存され、保存したことを通知するメッセージが表示されます。

保存されている画像がいっぱいの場合
　不要な画像を削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選び、削除する画像を選びます。

画像の保存を中止する場合
　「NO」を選ぶ

おしらせ

● 保存後に表示される画面で待受画面などに設定することもできます。
● 保存した画像のファイル名が半角英数字のみの場合、そのファイル名で保存されます（ただし、半角で36文字まで）。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。それ以外の場合は、「imagexxx」（xxx：3桁の番号）のファイル名で保存されます。ファイル名の末尾3桁の番号は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。
● 次の条件を満たす画像は、フレーム画像として保存されます。
　・ 透過GIFファイル（アニメーションGIFファイルでない）
　・ ファイルの拡張子が「.ifm」
　・ 画像サイズが「352×288 ドット」、または「240×269 ドット」、「176×144 ドット」、「128×96 ドット」
● PNG形式、WBMP形式の画像は保存できません。その他の形式の画像であっても、画像によっては保存できない場合があります。
● Flash画像を保存する場合、Flash画像によっては画像の一部が保存されない場合があります。
● 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存することができません。

サイトからメロディを取り込む

サイトからメロディをダウンロードして保存し、着信音などに設定できます。

● 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、メロディが含まれている画面メモやメッセージリクエスト／フリーを表示できなくなります。元のFOMAカードを挿入し直すと、それらの画面メモやメッセージリクエスト／フリーを表示できるようになります。→P.48

1 メロディをダウンロードできるサイトを表示し、メロディを選ぶ

メロディを選ぶと、メロディの取り込みがはじまります。
取り込みが完了すると、データ取得完了画面が表示されます。

2 「保存」を選ぶ

保存するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選び、保存先のフォルダを選ぶとメロディを保存し、保存したことを通知するメッセージが表示されます。

保存されているメロディがいっぱいの場合

不要なメロディを削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。保存するときは「YES」を選び、削除するメロディを選びます。

メロディの保存を中止する場合

「NO」を選ぶ

「再生」を選ぶと、メロディを再生します。
「情報表示」を選ぶと、メロディの情報を表示します。

おしらせ

● 保存後に表示される画面で着信音などにも設定できます。
● 取り込んだメロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのようなメロディでは、再生するときにはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。
● 取り込んだメロディは正しく再生されない場合があります。
● データ取得完了画面のURLは「ラストURL」に記憶されません。この場合、「ラストURL」はデータ取得完了画面の前に表示していたページのURLになります。
● 保存したメロディのタイトルは、一覧の一番目に表示されます。メロディにタイトルがつけられていない場合は、「無題」と表示されます。
● 保存したメロディのファイル名が半角英数字のみの場合、そのファイル名で保存されます（ただし、半角で36文字まで）。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。それ以外の場合は、「melodyxxx」（xxx：3桁の番号）のファイル名で保存されます。ファイル名の末尾3桁の番号は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。
● 「マナーモード」に設定中のときは、取り込んだメロディを再生するときに、マナーモード中に再生するかどうかのメッセージが表示されます。
● 通話中はメロディの再生ができません。

サイトから辞書を取り込む

サイトから辞書をダウンロードして保存できます。ダウンロードした日本語変換用の辞書の中から2つまでを変換用辞書として設定できます。**→P.519**

1 辞書をダウンロードできるサイトを表示し、辞書を選ぶ

辞書を選ぶと、辞書の取り込みがはじまります。
取り込みが完了すると、データ取得完了画面が表示されます。

2 「保存」を選ぶ

保存するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選び、<未登録>を選ぶと辞書を保存し、保存したことを通知するメッセージが表示されます。

上書き保存する場合、または保存されている辞書がいっぱいの場合

「YES」を選んだ後、すでに保存されている辞書を選ぶと、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと辞書を保存し、保存したことを通知するメッセージが表示されます。ただし、すでに変換用辞書として設定されている辞書は上書きできません。

辞書の保存を中止する場合

「NO」を選ぶ

「情報表示」を選ぶと、辞書の情報を表示します。

サイトからキャラ電を取り込む

サイトからお好きなキャラ電を3件までダウンロードして保存できます。

● メッセージリクエスト／フリーからキャラ電を登録・保存することはできません。

1 ダウンロードしたいキャラ電のサイトのページを表示する

2 キャラ電を選んでダウンロードする

データの取り込みが完了すると、データ取得完了画面が表示されます。

中止する場合

[中止]を押す

3 データ取得完了画面で「保存」を選ぶ

保存するかどうかのメッセージが表示されます。
「再生」を選ぶと保存する前に「キャラ電」で確認できます。
キャラ電の操作方法→P.360

保存する場合
「YES」を選ぶ
保存したことを通知するメッセージが表示されます。

保存を中止する場合
「NO」を選ぶ
保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

保存されているキャラ電がいっぱいの場合
不要なキャラ電を削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。
保存するときは「YES」を選び、削除するキャラ電を選びます。保存を中止するときは「NO」を選びます。「NO」を選ぶと保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

Phone To／Mail To／Web To機能を使う

表示されている電話番号へ電話をかける　<Phone To機能>

サイトやメールに表示されている電話番号や電話番号が登録された項目（「ご連絡はこちら」など）を利用して、音声電話／テレビ電話をかけることができます。

- テレビ電話でのPhone To機能のことをAV Phone To機能と呼びます。
- 「指定発信制限」「ダイヤル発信制限」「セルフモード」を設定している場合は、Phone To機能で電話をかけることはできません。
- サイトによってはPhone To機能をご利用になれない場合があります。

<例：音声電話をかける場合>

1 表示されている電話番号または電話番号が登録された項目を選ぶ

メール詳細画面では、電話番号または「電話番号@…」の送信元や宛先を選んで電話をかけることもできます。

2 「音声発信」を選ぶ

「TV電話発信」を選ぶと、テレビ電話をかけられます。
テレビ電話をかける場合は、「TV電話画像選択」で送信する画像を選ぶことができます。

iモード

次ページへつづく

3 「発信」を選ぶ

「音声発信／TV電話発信」を選んで、音声／テレビ電話をかけると、発信者番号の通知は「発信者番号通知サービス」（P.58）の設定に従います。

国際電話をかける場合

「国際電話発信」を選び、国名を選んで「発信」を選ぶ
元の番号の先頭に国際アクセス番号と国番号が追加されて国際電話がかかります（電話番号が「0」ではじまる場合は、「0」が削除されます）。

発信者番号の通知／非通知を設定して音声／テレビ電話をかける場合

「発番号設定」を選び、「通知しない」または「通知する」を選ぶ
「発信者番号通知サービス」の設定に従って音声／テレビ電話をかける場合は「発番号設定消去」を選びます。

電話をかけるのをやめる場合

「中止」を選ぶ

おしらせ

- 「国際ダイヤル設定」で国番号が登録されていない国に対しては、Phone To機能を利用して国際電話を発信できません。また、イタリアなど一部の国・地域にかけるときも、Phone To機能が利用できない場合があります。
- パソコンなどと接続してパケット通信を行っているときは、Phone To機能でテレビ電話をかけられません。
- メール、サイト、メッセージリクエスト／フリーの本文に次の条件に当てはまる文字列が表示されているときは、Phone To機能を利用できます。
  - 「+」または数字の「0」からはじまる10～26桁の文字列（文頭の「＋」は桁数に含まない）※
  - 「＊」または「＃」ではじまる5～26桁の文字列（桁数については文頭の「＊」、「＃」を含む）※
  - 「tel:」または「tel-av:」ではじまる3～26桁の文字列※

  ※：「(」、「)」、「.」、「-」の半角文字列が区切り文字として認識されます。「+」が途中に含まれる場合は、「+」の前までとなります。

表示されているメールアドレスにメールを送る　＜Mail To機能＞

サイトやメールなどに表示されているメールアドレスやメールアドレスが登録された項目（「ご連絡はこちら」など）を利用して、iモードメールを送ることができます。

- 「ダイヤル発信制限」を設定しているときは、Mail To機能を利用できません。
- サイトによってはMail To機能をご利用になれない場合があります。

1 表示されているメールアドレスを選ぶ

複数のメールアドレスが反転表示されている場合は、複数の宛先が指定されます。

2 iモードメールを作成して送信する

題名、本文が自動で入力される場合があります。
詳しくは「iモードメールを作成して送信する」（P.248）を参照してください。

おしらせ

- 保存メールが10件ある場合は、Mail To機能を利用できません。
- メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角で50文字までです。

表示されているURLのページに接続する　＜Web To機能＞

サイトやメールなどに表示されているURLやURLが登録された項目(「次へ」など)を利用して、インターネットホームページを表示できます。

1　表示されているURLを選ぶ

インターネットホームページが表示されます。

おしらせ

- URLの表示はサイトにより異なります。
- メールやメッセージリクエスト／フリーの本文中に表示されている「http://」または「https://」ではじまるURLからもページを表示できます。

iモードの設定を行う

接続待ち時間を設定する　＜接続待ち時間設定＞

お買い上げ時	60秒間

サイトなどに接続しようとしたときや「iモード問い合わせ」をしようとしたときに応答がない場合、自動的に接続を中止するまでの待ち時間を設定します。

1　(Menu)▶各種設定▶「アプリケーション通信設定」▶「接続待ち時間設定」の順に選ぶ

2　接続待ち時間を選ぶ

60秒間　：60秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。
90秒間　：90秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。
無制限　：接続を自動的には中止しません。

おしらせ

- 「無制限」の場合、接続は自動的に中止されません。ただし、電波状況によっては通信が切断される場合があります。

※通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時	iモード

iモード以外のサービスを受けるときに使う接続先の設定をします。
「iモード」以外の接続先に変更するとiモードやiモードメールをご利用できなくなります。またiアプリによってはサイトとの通信も利用できなくなります。

ISP接続通信とは

・FOMA端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。※
　ISP接続通信にはパケット通信料がかかります。また、ISP接続通信中にかかったパケット通信料は、「パケ・ホーダイ」の定額料の対象外となります。
　※：ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

・ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料等がかかる場合がありますが、ドコモよりご請求することはありません。
・お客様が閲覧されているサイトによっては、お客様の電話番号が閲覧中のサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。

1 **(Menu)▶各種設定▶「アプリケーション通信設定」▶「接続先選択」の順に選ぶ**

2 **<未登録>を反転表示して[編集]を押し、端末暗証番号を入力する**

端末暗証番号について→P.152
接続先は「iモード」のほかにユーザ指定接続先として10件登録できます。
「iモード」を選ぶと接続先が「iモード」に設定されます。

3 **「タイトル」「接続先名称」「接続先アドレス」をそれぞれ入力し、[完了]を押す**

タイトル　　　：　全角で9文字、半角で18文字までを入力できます。
接続先名称　　：　半角英数で30文字までの接続先名称を入力します。
接続先アドレス：　半角英数で99文字までの接続先アドレスを入力します。
文字の入力のしかた→P.502

「タイトル」「接続先名称」「接続先アドレス」のすべてを入力しないと「完了」は表示されません。

おしらせ

● 登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
● 登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、削除する接続先を反転表示して、機能メニューから「削除」を選びます。
● iモード中やISP接続通信中は設定できません。

文字の表示サイズを設定する　＜文字サイズ設定＞

お買い上げ時	標準表示

サイト画面やメッセージリクエスト／フリーの詳細画面の文字サイズを変更して、画面に表示される文字の量を増やしたり、文字を大きくして見やすくしたりできます。

● 文字サイズ設定を変更すると、文字、絵文字、サイトの入力や選択の文字サイズが変更されます。画像や線などのサイズは変更されません。

1 **(Menu)▶ ▶「iモード設定」▶「文字サイズ設定」の順に選ぶ**

標準表示　：標準の文字サイズで表示されます。
縮小表示　：文字サイズを小さくして表示します。
拡大表示　：文字サイズを大きくして表示します。

画像を表示しないようにする　＜画像表示設定＞

お買い上げ時	表示する

サイト画面や画面メモ、メッセージリクエスト／フリー画面の画像表示について設定します。画像を表示しないように設定すると画像を読み込まないため、ページの表示が早くなります。

1 **(Menu)▶ ▶「iモード設定」▶「画像表示設定」の順に選ぶ**

表示する　：　画像を表示します。
表示しない　：　画像を表示しません。表示されない画像の代わりに「 」のアイコンが表示されます。

おしらせ

● サイト画面表示中に機能メニューから「画像表示設定」を選んで画像を表示するかどうかの設定を行うこともできます。その場合、本設定も変更されます。
● 「表示しない」に設定するとFlash画像も表示されません。

サイトや画面メモの効果音について設定する　＜効果音設定＞

お買い上げ時	効果音ON

サイト画面や画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうか設定します。

1 **(Menu)▶ ▶「iモード設定」▶「効果音設定」の順に選ぶ**

効果音ON　：Flash画像の効果音を鳴らすように設定します。
効果音OFF：Flash画像の効果音を鳴らさないように設定します。

おしらせ

● 本設定で変更されるのは、Flash画像の効果音のみです。
● 効果音の「ON／OFF」は、サイト画面や画面メモを表示中に機能メニューから「効果音設定」を選んでも設定できます。その場合、本設定も変更されます。

スクロール行数を設定する　＜スクロール設定＞

お買い上げ時	1行スクロール

サイト画面や画面メモ、メッセージリクエスト／フリー画面でを押したときに画面が何行分送られて（スクロールされて）表示されるかを設定します。

1 **(Menu)▶ iモード ▶「iモード設定」▶「スクロール設定」の順に選ぶ**

1行スクロール ：1行単位でスクロールされます。
3行スクロール ：3行単位でスクロールされます。
5行スクロール ：5行単位でスクロールされます。

証明書を確認する

TLS／SSL証明書の内容を確認します。

1 **(Menu)▶ 各種設定 ▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書」の順に選ぶ**

2 **内容を確認する証明書を選ぶ**

3 **証明書を確認する**

証明書表示
所有者：
VeriSign, Inc.
US
発行元：
VeriSign Trust Netwo

証明書の所有者、発行元、有効期限およびシリアル番号が表示されます。

証明書の有効／無効を設定する

お買い上げ時	すべて「有効」

TLS／SSL証明書の有効／無効を切り替えます。

1 **(Menu)▶ 各種設定 ▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書」の順に選ぶ**

2 **無効または有効にする証明書を反転表示して、機能メニューから「有効／無効設定」を選ぶ**

有効な証明書を選ぶと無効にしたことを、無効な証明書を選ぶと有効にしたことを通知するメッセージが表示され、証明書の有効／無効が切り替えられます。
証明書有効 ：「」のアイコンが表示されます。
証明書無効 ：「」のアイコンが表示されます。

おしらせ

● 「無効」に設定すると、そのTLS／SSL証明書を持っているTLS／SSL対応のページが表示できなくなります。

iモード設定の内容を確認する　＜iモード設定確認＞

「iモード設定」で設定した内容を確認できます。

1 (Menu)▶ iモード ▶「iモード設定」▶「iモード設定確認」の順に選ぶ

「iモード設定」の次の各項目について、現在の設定が表示されます。

・スクロール
・iモーション自動再生
・開封時メロディ再生
・ホームURL設定
・文字サイズ
・iモーション
・メッセージ貼付メロディ
・効果音
・画像表示
・メッセージ自動表示
・メッセージ一覧表示

ラストURLを初期化する　＜ラストURL初期化＞

記憶されているラストURLを初期化します。初期化すると、ラストURLはiMenu画面のURLになります。

1 (Menu)▶ iモード ▶「iモード設定」▶「ラストURL初期化」の順に選ぶ

ラストURLを初期化するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶとラストURLが初期化されます。

iモード機能の設定を初期状態に戻す　＜iモード設定リセット＞

**「iモード設定」の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。
リセットされる項目およびリセット後の状態は次のとおりです。**

設定項目	設定リセット時
スクロール設定	1行スクロール
文字サイズ設定	標準表示
画像表示設定	表示する
iモーション設定の自動再生設定	自動再生する
iモーション設定のiモーションタイプ設定	標準タイプ
メッセージ自動表示設定	メッセージリクエスト優先
開封時メロディ再生設定	自動再生する
メッセージ貼付メロディ設定	有効
メッセージ一覧表示設定	2行表示
ホームURL設定	無効、ホームURL 初期化(http://)
効果音設定	効果音ON
ラストURL	iMenu画面のURL

1 (Menu)▶ iモード ▶「iモード設定」▶「iモード設定リセット」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152
設定をリセットするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、設定がリセットされます。

メッセージを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージリクエスト／フリーがiモードセンターから自動的に送られてきます。受信したメッセージリクエスト／フリーは、iモードメニューの「メッセージ」内に保存されます。

- 受信したメッセージリクエスト／フリーは、FOMA端末にそれぞれ最大100件まで保存できます。メッセージリクエスト／フリーの保存可能件数はデータ量により、メッセージリクエストが20～100件、メッセージフリーが10～100件と変動します。
- メッセージリクエスト／フリーを受信したときの着信音を「着信音選択」でお好みの音に設定したり、着信ランプの点滅パターンを「着信イルミネーション」で変更できます。

■ 自動表示する場合（お買い上げのときの設定）

- 自動表示しないときは、「メッセージ自動表示設定」(P.234)を「自動表示しない」に設定してください。
- 通話中やiモード中などの操作中にメッセージリクエスト／フリーを受信したときに、着信音が鳴り、受信中画面が表示されるようにも設定できます。→P.296

「R」(緑)や「F」(紫)のアイコンが点滅し「メッセージリクエスト受信中…」または「メッセージフリー受信中…」と表示されます。

- 受信が終わると、アイコンは点灯に変わります。
- 受信中にCLRを1秒以上押すと、受信を中止します。ただし、中止したタイミングによりメッセージを受信することがあります。

- 受信が終わると、受信結果画面に受信したメールやメッセージリクエスト／フリーの件数が約15秒間表示されます。表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わります。
- 「メッセージリクエスト」または「メッセージフリー」を選んで●[選択]を押すと、メッセージリクエスト一覧画面またはメッセージフリー一覧画面が表示されます。

- 待受画面表示中に受信した場合、受信したメッセージリクエスト／フリーの内容が約15秒間表示されます。ただし、メニュー機能をひとつでも操作しているときにタスクメニューで待受画面を表示した場合は自動表示されません。
  待受画面表示中以外で受信したメッセージリクエスト／フリーは自動表示されません。
- メッセージリクエスト／フリー表示中に画面スクロールなどの操作をすると、メッセージリクエスト／フリーの内容が表示され続けます。
- 何も操作しないで約15秒経過すると待受画面に戻ります。

■ 自動表示しない場合

FOMA端末の操作中にメッセージリクエスト／フリーを受信したときは、受信中画面は表示されず、そのまま操作を続けられます。着信音、着信ランプ点灯、バイブレータ、バックライトの点滅は行わず、「R」(緑)や「F」(紫)のアイコン表示によって、メッセージリクエスト／フリーを受信したことが通知されます。

メッセージリクエスト／フリーのアイコン表示について

「R」(赤)または「F」(赤)のアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上メッセージリクエスト／フリーを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで未読のメッセージリクエスト／フリーを読むか、保護を解除(P.238)してください。読んだり、保護を解除したメッセージリクエスト／フリーは、受信時に古いものから順に消去されます。

おしらせ

- FOMA端末に保存されているメッセージリクエスト／フリーが最大保存件数（100件）を超えた場合は、受信時に古いメッセージリクエスト／フリーから順に自動的に消去されます。ただし、未読のメッセージと保護されているメッセージは消去されません。必要なメッセージは保護しておくことをおすすめします。
- メッセージリクエスト／フリーの一覧画面または詳細画面で表示中のメッセージは、ほかのタスクに切り替えを行っても消去されません。メッセージリクエスト／フリーの一覧画面または詳細画面を表示中にメッセージリクエスト／フリーを受信したときは、表示中や未読のメッセージ、保護されているメッセージ以外の古いメッセージから順に消去されます。
- 自動表示後も、メッセージリクエスト一覧またはメッセージフリー一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中に画面スクロールなどの操作を行ったときは、メッセージリクエスト一覧またはメッセージフリー一覧画面では既読となります。
- 自動表示したときは、メロディは自動再生されません。
- メッセージリクエストとメッセージフリーを同時に受信したときは、「着信音選択」の「メッセージリクエスト」で設定されている着信音が鳴ります。
- 着信音の音量は「着信音量」の「メール／メッセージ」で設定した音量になります。

新着メッセージを表示する

- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、メロディや画像が添付または貼り付けられているメッセージリクエスト／フリーの詳細画面を表示できなくなります。元のFOMAカードを挿入し直すと、それらのメッセージリクエスト／フリーを表示できるようになります。→P.48

＜例：メッセージリクエストを見るとき＞

1 **（Menu）▶ iモード ▶「メッセージ」▶「メッセージリクエスト」の順に選ぶ**

メッセージフリーを見る場合
「メッセージフリー」を選ぶ

2 **表示したいメッセージを選ぶ**

メッセージリクエスト詳細画面で前または次のメッセージリクエストを表示させるときはを押します。
メッセージリクエスト詳細画面でCLRを押すと、メッセージリクエスト一覧画面に戻ります。

おしらせ

- メッセージリクエスト／フリーに「OK」や「Cancel」などのボタン、ラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニューなどが表示されることがあります。表示されたときは、サイトなどと同じ操作を行ってください。→P.209
- FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、メッセージリクエスト／フリーを受信したときなどにバックライトを約15秒間点灯します（点灯時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わります）。ただしメッセージリクエスト／フリーの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。なお、「照明設定」の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。

メッセージを自動的に表示する　＜メッセージ自動表示設定＞

お買い上げ時	メッセージリクエスト優先

メッセージリクエスト／フリーを受信したときの自動表示の方法について設定します。

1 (Menu)▶ iモード ▶「iモード設定」▶「メッセージ自動表示設定」の順に選ぶ

メッセージリクエスト優先　：メッセージリクエストを優先して自動表示します。
メッセージフリー優先　：メッセージフリーを優先して自動表示します。
メッセージリクエストのみ　：メッセージリクエストのみを自動表示します。
メッセージフリーのみ　：メッセージフリーのみを自動表示します。
自動表示しない　：メッセージを自動表示しません。

iモード問い合わせ

メッセージがあるかどうか問い合わせる

- iモードセンターに届いたメッセージリクエスト／フリーは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないとき、「圏外」が表示されているとき、メモリがいっぱいのとき、テレビ電話中のとき、遠隔監視中のときなどで受信できないときはiモードセンターに保管されます。iモードセンターにメッセージリクエスト／フリーが保管され、「R」(青／緑または青／赤)、「F」(青／紫または青／赤)のアイコンが表示されたときは、「iモード問い合わせ」を行って受信します。「iモード問い合わせ」を行うと、iモードセンターに保管されているiモードメールとメッセージリクエスト／フリーを受信します。
- メールメニューから「iモード問い合わせ」を選んだり、待受画面表示中に[MAIL]を1秒以上押しても、iモード問い合わせができます。
- 問い合わせる項目は「iモード問い合わせ設定」で設定します。

1 (Menu)▶ iモード ▶「iモード問い合わせ」の順に選ぶ

「✉」(青)と「R」(緑)、「F」(紫)が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、iモードメールやメッセージリクエスト／フリーを受信します。

問い合わせを中止する場合

CLRを1秒以上押す
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりメッセージを受信することがあります。

2 新しく受信したiモードメールとメッセージリクエスト／フリーの件数を確認する

メッセージリクエスト／フリーのアイコン表示について

「R」(青／緑)または「F」(青／紫)のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージリクエストまたはフリーが保管されています。iモードセンターに保管されているメッセージリクエストまたはフリーがいっぱいになると「R」(青／赤)または「F」(青／赤)のアイコンの表示になります。

おしらせ

- 「圏外」が表示されているときは問い合わせできません。
- 「」(赤)、「R」(赤)、「F」(赤)、「」(赤)などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやメッセージリクエスト／フリーを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールやメッセージリクエスト／フリーを削除するか、未読のメールやメッセージリクエスト／フリーを読むか、保護を解除してください。読んだり、保護を解除したメールやメッセージリクエスト／フリーは、受信時に古いものから順に自動的に消去されます。
- iモードセンターでのメッセージリクエスト／フリーの保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージリクエスト	300件	72時間
メッセージフリー	300件	72時間

最大保管件数を超えた場合は、各メッセージの最も古いものから順に自動的に消去されます。
- iモードセンターにメッセージリクエスト／フリーが保管されていても、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「」(青／緑または青／赤)や「」(青／紫または青／赤)のアイコンが表示されないことがあります。
- iモード問い合わせ中にセンターでお預かりしたiモードメールやメッセージリクエスト／フリーは、件数に反映されないことがあります。

メッセージBOXのメッセージを表示する

メッセージ一覧画面／表示画面の見かた

(Menu)－iモード－「メッセージ」－「メッセージリクエスト／フリー」を選ぶと、メッセージリクエスト／フリー一覧画面が表示されます。

- 待受画面表示中に「imode」－「メッセージ」－「メッセージリクエスト／フリー」を選んでも、メッセージリクエスト／フリー一覧画面を表示できます。
- メッセージリクエスト／フリー一覧画面で表示されるアイコンは、メッセージリクエスト／フリー詳細画面でも表示されます。表示されないアイコンもあります。
- メッセージリクエスト／フリー画面は、次のように表示されます。

一覧画面（2行表示）

一覧画面（1行表示）

詳細画面

① メッセージリクエスト／フリーの状態を示しています。
- ：未読のメッセージリクエスト／フリー
- ：既読のメッセージリクエスト／フリー
- ：未読で保護されているメッセージリクエスト／フリー
- ：既読で保護されているメッセージリクエスト／フリー

② 受信した時刻や日付を示しています。
- ②-1　当日受信したメッセージリクエスト／フリーは時刻が表示されます。
- ②-2　前日までに受信したメッセージリクエスト／フリーは日付が表示されます。

③ 添付または貼り付けられているファイルを示しています。
- ：メロディが添付または貼り付けられていることを示しています。
- ：複数のメロディが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
- ：添付または貼り付けられているすべてのメロディのデータが正しくないことを示しています。
- ：画像が添付されていることを示しています。
- ：複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
- ：添付されているすべての画像のデータが正しくないことを示しています。また、「画像表示設定」が「表示しない」に設定されているときに表示されます。
- ：複数のデータが貼り付けられていることを示しています。

次のアイコンは、一覧画面が1行表示の場合に表示されます。
- ：添付または貼り付けられているデータがあることを示しています。
- ：添付または貼り付けられているデータのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
- ：添付または貼り付けられているすべてのデータが正しくないことを示しています。

④ 題名を示しています。

i
モード

メッセージの表示方法を変更する　＜ソート／フィルタ＞

受信したメッセージリクエスト／フリーを目的に応じて順番を並べ替えたり、条件に合うメッセージリクエスト／フリーのみを表示するようにできます。

機能名	表示方法	設定項目	分類方法
ソート	メッセージリクエスト／フリーの順番を並べ替えます。	新しい順	新しい順に並び替えます。
		古い順	古い順に並び替えます。
フィルタ	メッセージリクエスト／フリー一覧画面に、指定した条件に合うメッセージのみを表示します。	未読のみ	未読のメッセージのみ表示します。
		既読のみ	既読のメッセージのみ表示します。
		保護のみ	保護されたメッセージのみ表示します。
		メロディのみ	メロディが添付されたメッセージのみ表示します。
		画像のみ	画像が添付されたメッセージのみ表示します。

- ソートやフィルタでメッセージリクエスト／フリーの表示を変更しても、その画面を終了し再度それぞれの一覧画面を表示すると、新しい順の全表示に戻ります。
- 詳しい操作手順は、iモードメールのソート、フィルタ／メール検索（P.285）を参照してください。

＜例：メッセージリクエストを古い順に表示する場合＞

1 メッセージリクエスト一覧画面の機能メニューから「ソート」を選ぶ

元の表示に戻す（すべてのメッセージを新しい順に表示させる）には、機能メニューから「全表示」を選びます。

2 「古い順」を選ぶ

古いメッセージから順に並べ替えられて表示されます。

おしらせ

- ソートとフィルタを併用できます。たとえば、未読メッセージのみで古い順に表示させたいときは、フィルタメニューの「未読のみ」を選び、ソートメニューの「古い順」を選びます。

メッセージ内の画像を再読み込みする　＜画像再読み込み＞

メッセージリクエスト／フリー本文内の画像が取り込まれずに「」が表示されている場合、画像を再読み込みすると表示されます。

- サイトなどでの画像表示について→P.207

1 メッセージリクエストまたはフリーの詳細画面を表示し、機能メニューから「画像再読み込み」を選ぶ

「画像再読み込み」で再読み込みするのは本文内画像のみです。添付画像は再読み込みしません。

おしらせ

- 画像再読み込みを行っても画像が正常に表示できない場合があります。

開いたときのメロディの再生について設定する　＜開封時メロディ再生設定＞

お買い上げ時	自動再生する

メッセージリクエスト／フリーを開いたときに、添付されているメロディや貼り付けられているメロディがある場合に自動再生するかどうかを設定します。

1 **(Menu)▶ iモード ▶「iモード設定」▶「開封時メロディ再生設定」の順に選ぶ**

自動再生する　：メロディを自動再生します。
自動再生しない：メロディを自動再生しません。

貼り付けられているメロディについて設定する　＜メッセージ貼付メロディ設定＞

お買い上げ時	有効

メッセージリクエスト／フリーに貼り付けられているメロディの再生や保存をできるようにするかどうか設定します。

● 本設定は、メッセージリクエスト／ フリーに貼り付けられているメロディ(「♪」のアイコンがついているメロディ)についてのみ適用されます。メッセージリクエスト／フリーに添付されたメロディには適用されません。

1 **(Menu)▶ iモード ▶「iモード設定」▶「メッセージ貼付メロディ設定」の順に選ぶ**

有効 ：貼り付けられているメロディの再生／保存ができます。
無効 ：貼り付けられているメロディの再生／保存はできません。
「無効」に設定すると、「♪」のアイコンがついているメロディが文字列の表示に変わります。

一覧画面の表示行数を設定する　＜メッセージ一覧表示設定＞

お買い上げ時	2行表示

メッセージリクエスト／フリーの一覧画面を2行表示、または1行表示に切り替えます。

1 **(Menu)▶ iモード ▶「iモード設定」▶「メッセージ一覧表示設定」の順に選ぶ**

2行表示 ：1件につき2行ずつで表示します。
1行表示 ：1件につき1行ずつで表示します。

メッセージを保護する　＜保護／保護解除＞

残しておきたいメッセージリクエスト／フリーを保護できます。保護されたメッセージリクエスト／フリーは、上書きや削除ができなくなります。

● メッセージリクエストとメッセージフリーはそれぞれ最大50件まで保護できます。保護可能件数は、メッセージリクエスト／フリーのデータ量により変動します。

＜例：メッセージリクエストを保護する場合＞

1 **メッセージリクエスト一覧画面を表示する**

iモード

2 保護(または保護解除)するメッセージリクエストを反転表示して、機能メニューから「保護/保護解除」を選ぶ

保護されていないものは保護され(時刻や日付の左側に「」/「」を表示)、保護されているものは保護解除されます。

おしらせ

- FOMA端末に保存されているメッセージリクエストやメッセージフリーが最大保存件数(100件)を超えた場合、メッセージ受信時に、保護されていない既読のメッセージリクエストやメッセージフリーから古い順に消去されます。
- メッセージリクエスト/フリー詳細画面で機能メニューから「保護/保護解除」を選んでも保護/保護解除ができます。
- メッセージリクエスト/フリー一覧画面で機能メニューから「保護全解除」を選ぶと、保護されているメッセージリクエスト/フリーの保護がすべて解除されます。

メッセージを削除する <メッセージ削除>

受信したメッセージリクエスト/フリーを削除します。メッセージリクエスト/フリーの削除には次の方法があります。詳しい操作手順については、iモードメールの削除(P.287)を参照してください。

削除の種類	説明
1件削除	1件のメッセージリクエスト/フリーを削除
選択削除	削除するメッセージリクエスト/フリーを一覧から選んで削除
既読削除	すでに読んだメッセージリクエスト/フリーをすべて削除
全削除	メッセージリクエスト/フリーをすべて削除

<例:メッセージリクエストを1件削除する場合>

1 メッセージリクエスト一覧画面を表示する

2 削除するメッセージリクエストを反転表示して、機能メニューから「1件削除」を選ぶ

削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶとメッセージリクエストが削除され、削除されたことを通知するメッセージが表示されます。

削除を中止する場合

「NO」を選ぶ

おしらせ

- 保護されているメッセージリクエスト/フリーは削除できません。
- フィルタ機能で指定したメッセージリクエスト/フリーだけを表示しているときに「既読削除」や「全削除」を行うと、表示されているメッセージリクエスト/フリーから、既読またはすべての保護されていないメッセージリクエスト/フリーが削除されます。
- メッセージリクエスト/フリー詳細画面で機能メニューから「削除」を選んで削除することもできます。

メッセージリクエスト／フリーの保存件数を確認する　＜保存件数確認＞

メッセージリクエスト／フリーの保存件数、未読件数や保護件数を確認できます。件数を確認できるメッセージリクエスト／フリーの種類は次のとおりです。

表示項目	表示内容
全件	受信したすべてのメッセージリクエスト／フリーの件数を表示
未読	未読のメッセージリクエスト／フリーの件数を表示
保護	保護されたメッセージリクエスト／フリーの件数を表示

● 未読で保護されたメッセージは、未読と保護の両方の件数に加えられます。

＜例：メッセージリクエストの保存件数を確認する場合＞

1 メッセージリクエスト一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選ぶ

メッセージフリーの保存件数を確認する場合は、メッセージフリー一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選びます。
メッセージがない場合は、「メッセージリクエスト（フリー）はありません」と表示されます。

●メール

FOMA端末のメール機能について

FOMA端末は、iモードメールとSMSを送受信できるメール機能を持っています。iモードメールをご利用いただくには「iモード」のご契約が必要です。iモードメールの送信、受信方法についてはP.248、P.266を参照してください。

●iモードを契約しなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。SMSの送信、受信方法についてはP.302、P.303を参照してください。

■ iモードメールについて

iモードを契約するだけで、iモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。

iモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にiモードをご契約の場合

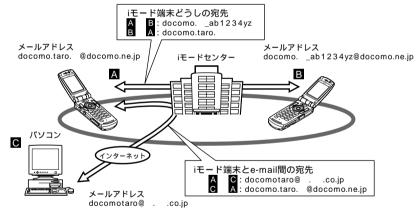
「@」より前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、iモード契約後にご自分のメールアドレスをご確認ください。

(例)　abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

<お客様のメールアドレスの確認方法>

Menu画面 → 8オプション設定 → 1メール設定 → 「アドレス確認」

・iモード端末（mova含む）間でメールをやりとりするときは、「@」より前の部分のみのアドレスで送信可能です。

・パソコンなどのe-mailからiモード端末へメールを送信するときは、「@docomo.ne.jp」も含めたアドレス全部をメールアドレスとして指定します。

・iモードメールの送信方法は→P.248

・iモードメールの受信方法は→P.266

■ メール選択受信

iモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除できます。→P.269

■ メール設定を行う

「iMenu」－「オプション設定」－「メール設定」の順に選び、設定したい項目を選ぶと、以下のメール設定を行うことができます。

・「メール受信設定（受信／拒否設定）」または「メール受信設定（その他設定）」を選び、各項目を選ぶと、メールの受信を制限できます。

項目名		設定内容
アドレス変更		メールアドレスを変更します。 たとえば「docomo.taro_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。
メールアドレス設定（その他設定）	シークレットコード登録	電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けることができます。
	アドレスリセット	メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。
アドレス確認		現在設定されているメールアドレスを確認できます。
メール受信設定（受信／拒否設定）	ドメイン指定受信	・au、ボーダフォン、TU-KA、DDIポケットのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。 ・また上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。 ※NTTドコモのiモード、iショット、一定額到達通知サービス、eビリング請求額お知らせメール、M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信します。
	アドレス指定受信	・受信するすべてのメールのうち指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。
	アドレス指定拒否	
	iモードメールのみ受信	・iモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。
	iモードメールのみ拒否	
メール受信設定（その他設定）	iモードメール大量送信者からのメール受信制限	・1日に1台のiモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のiモードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。
	未承諾広告※メール拒否	・受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信／拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています。）
	SMS拒否設定／確認	すべてのSMSまたは非通知SMSのみを受信しないよう設定したり、設定の状況を確認することができます。
設定状況確認		現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。
メールサイズ制限		あらかじめ指定したサイズによって、受信するiモードメールを制限できます。
メール機能停止		メール機能を利用しない場合は、iモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

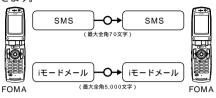
おしらせ

- 詳しくは、iモードご契約時にお渡しする『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。
- 「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「iモードメールのみ受信」、「iモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。
- シークレットコード登録を行うと、ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

次ページへつづく

3種類のメール機能の送受信について

FOMA端末 ⇒ FOMA端末へ

SMSは、相手がFOMA端末の場合のみ送受信できます。

FOMA端末⇒movaサービスのiモード端末へ

FOMA端末からmovaサービスのiモード端末へのメッセージ送信時は、iモードメールを利用します。

movaサービスのiモード端末⇒FOMA端末へ

movaサービスのiモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末ではSMSとして受信できます。

※： ショートメールとは、ドコモの携帯電話どうしで文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA端末からショートメールを送信することはできません。特番1655をダイヤルして送信することもできません。
- FOMA端末では、movaサービスのiモード端末などから送られてきたショートメールをSMSとして受信します。

送受信できる文字数

iモードメール、SMSで送受信できる文字数は、それぞれ次のとおりです。

iモードメール

項目	全角文字(漢字、ひらがな、絵文字など)	半角文字(英字、数字、カタカナなど)
題名	15文字	30文字
宛先	–	50文字
本文	5,000文字※	10,000文字※

※： メロディ、画像、iモーションなどのファイルを添付した場合は、送受信可能な本文文字数は少なくなります。また、デコメールで送信できる文字数は、規定の半分以下の文字数になります。

SMS

項目	全角文字(漢字、ひらがな、絵文字など)	半角文字(英字、数字、カタカナなど)
宛先	–	20文字(数字のみ)
本文	70文字	160文字※

※： 半角の英数字や記号(。「」{ } [ ] | 、・- ゛ ゜ ＾ ｀ ～ を除く)のみの場合(その他の文字が混在する場合は70文字まで)。

おしらせ

<iモードメール>
- iモードメールの本文は全角で5,000文字(10,000バイト)まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- iモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- movaサービスのiモード端末へiモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角で2,000文字までです。また、添付できるファイルはJPEG形式の画像1ファイル(最大10,000バイト)のみで、それ以外の添付ファイルを送信した場合、添付ファイルは削除されます。画像を添付した場合、受信側ではiショットメールとして受信され、本文の文字数は全角で最大184文字まで届きます。ただし、受信側がメールの分割設定をしている場合は、iショットのURL(画像の保管先)を含み最大全角2,000文字まで届きます。
- iモードメールの題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- iモード端末(mova含む)どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。

<SMS>
- SMSの本文に半角カタカナを使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。

メールを受信できないとき

iモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のiモード端末に送信されます。ただしお客様のiモード端末が電源が入っていない、iモード圏外などで受信できないとき、または「メール選択受信設定」を「ON」に設定しているときは、メールはiモードセンターに保管されます。
iモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送します。その他設定により、iモードセンターでiモードメールを選んで受信することができます。

おしらせ

<iモードメール>

- iモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
iモードメール	207～1,000件 (約2Mバイトまで)	720時間

- 保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、iモードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときiモード端末には「」(青／赤)が表示されます。なお、「メール選択受信設定」が「ON」に設定されているときは、保管件数を超えても「」(青／赤)は表示されません。
- iモードセンターに保管されているメールは、「iモード問い合わせ」や「メール選択受信」により受信できます。また新しいメールが届いたときは、保管されているほかのメール、メッセージリクエスト／フリーも合わせて受信できます。
- iモード端末でメールを受信するとiモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはiモード端末に保存されます。
- 極端に容量の大きいメールはiモードセンターで受け付けないことがあります。
- 「メール機能停止」を行っている場合は、iモードセンターで新しいメールの保管を行いません。

<SMS>

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信したSMSの保管期間は「SMS有効期間設定」で設定できます。
- 保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、「SMS問い合わせ」により受信できます。
- FOMA端末がSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。
  FOMA端末が受信したSMSは、FOMAカードに移動／コピーできます。→P.118、P.307

こんなこともできます

ファイル添付メール

・メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディを、iモードメールに添付して送受信できます(メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディは送信できません)。
・iモードメールにメロディを添付して送信するには→P.260
・メロディが添付されたiモードメールを受信したときは→P.274

・画像添付メール

内蔵カメラで撮影した静止画や、サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像をiモードメールに添付して送受信できます(メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されている画像は送信できません)。FOMA端末では、GIF形式とJPEG形式の画像を添付・表示できます。
・iモードメールに画像を添付して送信するには→P.260
・画像が添付されたiモードメールを受信したときは→P.275

デコメール(デコレーションメール)

iモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります(パソコンから装飾したメールを受信する場合、デコメール対応FOMA端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります)。
デコメール非対応端末へ送信した場合は、URLのついたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選んで、デコメールを閲覧できます。(非対応端末への送信については2004年12月サービス開始予定。)
・デコメールを作成／送信する→P.254
・対応機種：90Xiシリーズ、880iES(デコメール受信のみ対応)

テンプレート

あらかじめ登録されているテンプレートを利用してデコメールを送信したり、暑中見舞いやクリスマスカード、年賀状などの楽しいメールを受信することができます。
・テンプレートを利用してデコメールを作成する→P.259

次ページへつづく

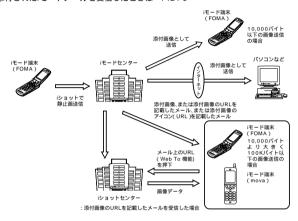
■ iショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画を添付ファイルとしてiモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話へ送受信できます。ただし、10,000バイトより大きく100Kバイト以下の画像をFOMA端末またはmova端末へ送信した場合は、添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付けられて送信され、そのURLを利用してWeb To機能を実行することで画像を取得できます。

10,000バイトより大きく100Kバイト以下の画像を送信する場合は、送信先アドレスの@マークの後に「p.」を付与してください。

（例）10,000バイト以下の静止画像を添付する場合の送信先アドレス
docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
10,000バイトより大きい静止画像を添付する場合の送信先アドレス
docomo.taro.△△@p.docomo.ne.jp

mova端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

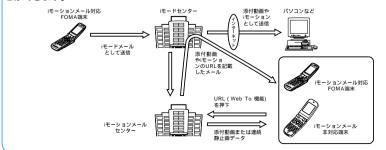
・iモードメールに画像を添付して送信するには→P.260
・画像が添付されたiモードメールを受信したときは→P.275

■ iモーションメール

iモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をiモーションメールとして送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。

・iモーションメールを送信するには→P.260
・iモーションメールを受信したときは→P.277

サービスのしくみ

iモーションメールに添付された動画やiモーションファイルはiモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます。（送信先がパソコン等の場合は、直接添付ファイルとして送信されます。）
iモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを選んで動画やiモーションを取り込むことができます。
iモーションメールをパソコンなどに送信すると添付ファイルとして届きます。
iモーションメール非対応端末へ送信した場合は、iモーションが連続静止画に変換され、URLのついたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選んで、連続静止画を取り込むことができます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

■ メール同報送信

同じiモードメールを、一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。→P.252

■ Cc、Bcc送受信

パソコンと同じように、iモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。→P.252
ただし、Toが1件もない場合は、メールを送信できません。

おしらせ

＜メロディ添付メール／画像添付メール＞
- FOMA端末外への出力が禁止されているメロディや画像は添付できません。
- 内蔵カメラで撮影した写真の場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても送信できますが、受け取った相手がそのファイルを外部へ出力することはできません。
- movaサービスのiモード端末（501全機種、R691i、R209iを除く）へiモードメールを送信した場合、添付できる画像はJPEG形式で1ファイルのみ送信できます（最大10,000バイト）。

＜iショット送受信＞
- iショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間を過ぎた画像は自動的に削除されます。

＜iモーションメール＞
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画やiモーションは送信できません。
- 内蔵カメラで撮影した動画の場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても送信できますが、受け取った相手がそのファイルを外部へ出力することはできません。
- iモーションメールセンターでは最大10日間まで動画やiモーションが保存され、最大保管期間を過ぎた動画やiモーションは自動的に削除されます。

＜メール同報送信＞
- メール同報送信の通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。ただし、追加した宛先情報のデータ量分のみ通信料が増えます。

お願い

- 受信メール、送信メール、保存メールの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.569）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、受信メール、送信メール、保存メールの内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、受信メール、送信メール、保存メールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え受信メール、送信メール、保存メールの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

メールメニューを表示する

1 (Menu) ▶ メール の順に選ぶ

待受画面表示中に[MAIL]を押してもメールメニューを表示できます。

メール
1受信BOX
2送信BOX
3保存BOX
4 i モードメール作成
5SMS作成
6 i モード問い合わせ
7メール選択受信
8SMS問い合わせ
9メール設定
選択

項目	内　容	参照ページ
1受信BOX	受信フォルダ一覧画面を表示します。受信BOXはフォルダごとにメールを分けて管理できます。メール連動型iアプリのメールは専用のフォルダに振り分けられます。 フォルダを開くと、受信したiモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。	P.278
2送信BOX	送信フォルダ一覧画面を表示します。メール連動型iアプリのメールは専用のフォルダに振り分けられます。 フォルダを開くと、送信したiモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。	P.278
3保存BOX	保存メール一覧画面を表示します。一時保存したiモードメールやSMSの内容を確認できます。	P.250
4iモードメール作成	iモードメールを作成する画面を表示します。	下記
5SMS作成	SMSを作成する画面を表示します。	P.302
6iモード問い合わせ	iモード問い合わせを行って、iモードセンターに保管されているiモードメールを受信できます。	P.270
7メール選択受信	iモードセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認し、受信するiモードメールを選択したり、受信前にiモードセンターでiモードメールを削除できます。	P.269
8SMS問い合わせ	SMS問い合わせを行って、SMSセンターに保管されているSMSを受信できます。	P.304
9メール設定	メール設定画面を表示します。iモードメールやSMSの設定を行います。	P.291

iモードメールを作成して送信する

iモードメールを新規に作成して送信します。

- メロディ、画像、動画やiモーションを添付するには→P.260
- メール本文の文字色やサイズを変更したり、本文に動きをつけたり、画像やラインを挿入して装飾できます。
  デコメールについて→P.254

1 (Menu) ▶ メール ▶「iモードメール作成」の順に選ぶ

2 「To」を選び、宛先を入力して●[確定]を押す

宛先は半角で50文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

送信する相手がiモード端末の場合は、宛先にメールアドレスの「@」より前の部分のみを入力しても送信できます。
宛先に「,(カンマ)」やスペースが入力されている場合は、送信できません。また、宛先が電話番号の場合、先頭に「186」/「184」または「*31#」/「#31#」を入力して送信しようとしたときには、発番号設定を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、「186」/「184」または「*31#」/「#31#」を削除してiモードメールを送信します。

3 「Subject」を選び、題名を入力して●[確定]を押す

題名は全角で15文字、半角で30文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

4 「」を選び、本文を入力して●[確定]を押す

本文は全角で5,000文字、半角で10,000文字まで入力できます。
本文編集中に改行することもできます。改行したときは「↵」も全角1文字分としてカウントされます。スペースを入力したときは、全角スペースは全角1文字分、半角スペースは半角1文字分として文字数にカウントされます。

定型文を本文に入力する場合

機能メニューから「定型文入力」を選んで定型文のフォルダから入力したい定型文を選ぶ
定型文について→P.514

電話帳のデータを本文に引用する場合

機能メニューから「電話帳引用」を選んで情報を引用する
電話帳引用について→P.514
●[確定]を押すと本文入力画面に戻ります。

本文を美しく装飾したい場合

あらかじめ用意されているテンプレート(P.259)を使ってデコメールを作成したり、デコレーション(P.254)で文字色などの装飾を加えることができます。

5 内容を確認し、[送信]を押す

メール送信中のアニメーション画面が表示され、iモードメールが送信されます。「OK」を押すとメールメニュー画面に戻ります。
送信プレビュー画面を表示した後、機能メニューから「送信」を選んでも送信できます。送信プレビュー画面を一度も表示しない状態で送信することはできません。

送信を途中で中止する場合

CLRを1秒以上押す
ただし、タイミングによりiモードメールが送信されることもあります。

内容を変更する場合

送信プレビュー画面を表示した後、●[確定]を押して新規メール画面に戻り、内容を変更する
CLRを押すと本文入力画面に戻り、本文を変更できます。
変更後、●[確定]を押すと、送信プレビュー画面が表示されます。送信する場合は[送信]を押します。

iモードメール本文入力中の画面について

iモードメール本文入力中の画面は次のように表示されます。

①メール本文入力画面　：入力を確定したメール本文が表示されます。
②文字入力(編集)画面　：文字入力エリア、操作ガイダンスエリア、情報表示エリアが表示されます。入力確定前の文字はここに表示されます。
文字入力(編集)画面でワード予測機能を利用して入力できます。→P.510

①の画面(②が表示されていないとき)で表示される機能メニューは次のとおりです。

デコレーション：本文を装飾してデコメールを作成します。→P.254
プロパティ　　：本文に挿入した画像のファイル名、ファイルサイズを表示します。
元に戻す　　　：入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。
プレビュー　　：本文のプレビュー画面を表示します。
ウィンドウ切替：参照返信メールの本文入力時に、参照画面と本文入力画面を切り替えます。→P.272
そのほかの機能についてはP.502を参照してください。

文字入力方式を切り替える

②の文字入力(編集)画面では、機能メニューから「入力モード切替」を選ぶか、[文字]を1秒以上押して、文字入力方式を切り替えることができます。
文字入力方式について→P.520

電話帳の画面から、iモードメールを作成する

電話帳に登録されているメールアドレスを検索して表示し、●[MAIL]を押します。

電話帳の検索について→ P.114
表示されていた電話帳のメールアドレスが新規メール画面の宛先に貼り付けられます。

未完成のiモードメールを一時保存する

メール作成中に機能メニューから「保存」を選びます。
作成中のメールが保存BOXに保存されます。SMSと合わせて10件まで保存できます。
なお、保存メールが10件になると、iモードメールもSMSも新たに作成できません。
保存したiモードメールはあとで再編集して送信できます。

iモードメールを再編集して送信する

一度送信したiモードメールや未送信のiモードメールを編集して送信できます。
添付ファイルのある送信済みのiモードメールを再編集しても、添付ファイルは削除されません。
再編集する送信メールの詳細画面で機能メニューから「再編集」を選んで、宛先、題名、本文を編集して送信します。

おしらせ

- FOMA端末に保存されている送信メール（iモードメールとSMSの合計）が最大保存件数（400件）を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に自動的に消去されます。ただし、保護されている送信メールは消去されません。必要な送信メールは保護することをおすすめします。→P.287
- 「ダイヤル発信制限」を設定している場合の宛先入力は、電話帳、送信アドレス一覧、発信履歴、リダイヤルを使った場合のみ行えます。
- 題名や本文に半角カタカナや絵文字が使われていると受信側で正しく表示されないことがあるため、iモード端末どうしでのメールのやりとり以外に使わないでください。
- 送信を行わずに、CLR、PWR/HLDを押したときは、内容を破棄して編集を終了することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、それまで入力した文字は消去されます。入力した文字を消去したくないときは、「NO」を選ぶと元の画面に戻ります。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても「送信できませんでした」と表示される場合があります。
- 相手がiモードの契約をしている場合は、movaサービスのiモード端末に対してもFOMA端末からiモードメールを送信できます。

電話帳から宛先を検索する　＜電話帳＞

1 新規メール画面で機能メニューから「宛先参照入力」－「電話帳」を選んで電話帳を検索する

電話帳の検索について→P.114
宛先の入力方法はこのほかに次の方法があります。
・直接入力→P.249
・アドレス一覧から入力→P.252
・メールメンバーから入力→P.253

2 検索した電話帳の詳細画面で宛先のメールアドレスを選ぶ

入力した宛先を変更する場合
　新規メール画面で宛先を選んでメールアドレスを入力し直す
　新規メール画面で機能メニューから「宛先参照入力」を選んで宛先を変更（上書き）することもできます。
宛先を追加、宛先のタイプを変更するには→P.252

3 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.249の操作3～5を参照してください。

おしらせ

- 「指定発信制限」を設定している場合は、「指定発信制限」に指定されていない電話番号を電話帳参照で呼び出すことはできません。
- 「シークレットコード」が設定されている電話帳の宛先を入力した場合は、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、送信したメールの宛先にはシークレットコードは保存されません。
宛先が電話番号または「電話番号@docomo.ne.jp」以外の場合は、シークレットコードは追加されません。

アドレス一覧を使って宛先を入力する　＜送信アドレス一覧／受信アドレス一覧＞

メールの送信アドレス一覧や受信アドレス一覧を呼び出して、宛先を入力できます。

＜例：送信アドレス一覧を呼び出す場合＞

1 新規メール画面で機能メニューから「宛先参照入力」－「送信アドレス一覧」を選ぶ

送信アドレス一覧／受信アドレス一覧について→P.289

2 宛先にする送信アドレス一覧を選び、メールアドレスを確認して◉［選択］を押す

宛先が入力された新規メール画面が表示されます。

3 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.249の操作3～5を参照してください。

おしらせ

- メールの送信アドレス一覧または受信アドレス一覧には、それぞれ送信／受信したiモードメールのメールアドレスや、SMSの電話番号などが合計30件まで記憶されます。
- メールの送信アドレス一覧や受信アドレス一覧が30件を超えたときは、古いものから順に自動的に消去されます。
- 「PIMロック」および「ダイヤル発信制限」を設定すると、それまでのメールの送信アドレス一覧と受信アドレス一覧はすべて削除されます。

メール

宛先を追加する　＜宛先追加＞

- 宛先は5件まで入力できます。すでに5件の宛先を入力している場合や、宛先を1件も入力していない場合は、機能メニューの「宛先追加」を選ぶことができません。
- 宛先には「To」「Cc」「Bcc」の3種類があります。送信相手の宛先は「To」に入力します。「To」に宛先が1件も入力されていないメールは送信できません。

＜例：電話帳を参照して宛先を追加する場合＞

1 新規メール画面で機能メニューから「宛先追加」－「電話帳」を選んで電話帳を検索する

電話帳の検索について→P.114

2 検索した電話帳の詳細画面で宛先のメールアドレスを選ぶ

さらに宛先を追加するときは操作1～2を繰り返します。

入力した宛先を変更する場合

変更したい宛先を選んでメールアドレスを入力し直す

機能メニューから「宛先参照入力」を選んで宛先を変更（上書き）することもできます。

追加した宛先のタイプを変更する場合

変更したい宛先を反転表示して、機能メニューから「宛先タイプ変更」を選んで項目を選ぶ

To ：送信相手の宛先です。

Cc ：同報の宛先です。Ccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。Toの宛先に送るメールのコピーとしてほかの宛先に送る場合に選択します。

Bcc：同報の宛先です。Bccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手には表示されません。

宛先を削除する場合

削除したい宛先を反転表示して、機能メニューから「宛先削除」を選んで「YES」を選ぶ

削除した宛先の後に宛先が入力されているときは、宛先はつめて表示されます。

宛先が1件しか入力されていないときは、宛先を削除できません。

3 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.249の操作3～5を参照してください。

おしらせ

- 「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、すべて受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合もあります。「Bcc」に入力したメールアドレスは、受信側には表示されません。
- 指定した宛先に送信が成功したかどうかは、送信メール詳細画面で確認できます。→P.280
- 同じ宛先が複数入力されているメールを送信しようとしたときは、重複する宛先を削除して送信するかどうかのメッセージが表示されます。

メールメンバーを使って宛先を入力する <メールメンバー>

メールメンバーを利用すると、一度に複数の宛先を指定できます。

- メールメンバーを利用するには、あらかじめメールメンバーにメールアドレスを登録しておく必要があります。→P.297
- メールメンバーに登録されている宛先すべてが「To」として入力されます。宛先タイプを「Cc」や「Bcc」に変更することもできます。→P.252

1 新規メール画面で機能メニューから「宛先参照入力」－「メールメンバー」を選ぶ

2 メールメンバーを選ぶ

メールメンバーを選ぶと、宛先に入力されます。

3 題名、本文を編集して送信する

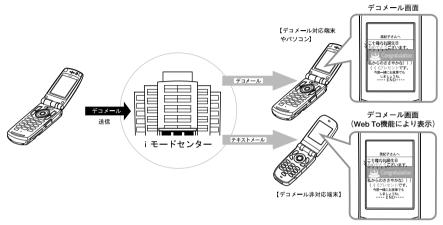
これ以降の詳しい操作手順については、P.249の操作3～5を参照してください。

おしらせ

- 「ダイヤル発信制限」を設定しているときは、メールメンバーを使った宛先の入力はできません。
- すでに宛先が入力されているときにメールメンバーで宛先を入力しようとした場合、宛先をすべて上書きするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、すでに入力されていた宛先はすべて削除され、メールメンバーに登録されている宛先だけが入力されます。ただし、すでにメールメンバーが宛先に入力されている場合は、宛先へのメールメンバーの入力はそのままで、ほかの宛先を後から追加することができます。

デコメールを作成して送信する

デコメールは、iモードメール(テキストメール)本文の文字色、文字サイズや背景色などを変更したり、文字に動きをつけたり、ラインや画像を本文内に挿入して表現力豊かなメールにしたものです。

- デコメールで本文を装飾すると、テキストメールでの本文入力より入力できる文字数が減ります。
- デコメールに対応していない端末に送信した場合は、メール本文にデコメール参照用URLを付けて送信されます。受信者は表示されているURLをクリックすることにより、Web To機能でデコメールを閲覧できます。相手の機種によっては、正しく受信できなかったり、表示できない場合があります。

■ デコメールで利用できる装飾の種類

装飾の種類	装飾の内容	機能名
文字を装飾する	文字の色を変更する	色
	文字のサイズを変更する	サイズ
画像を入れる	本文中に画像を挿入する※	画像
文字に動きをつける	文字を点滅表示する※	点滅
	文字を右から左にテロップ表示する※	テロップ
	文字を左右に揺らす※	スウィング
文字位置を変更する	文字の左右位置を変更する	位置
ラインを入れる	本文中にライン(罫線)を挿入して表示する	ライン
背景色を変更する	背景色を変更する	背景

※:一定の時間が経過すると、自動的に停止します(画像はアニメGIF挿入時の場合)。

■ あらかじめ登録されているデコメールイメージ

メール

1 メール本文入力中に機能メニューから「デコレーション」を選ぶ

画面下半分にデコレーションメニューがアイコンで表示されます。
文字の入力のしかた→P.502

2 装飾したい機能をデコレーションメニューから選んでそれぞれの操作を行う

装飾する機能を選ぶと本文入力画面に戻ります。
デコレーションの機能選択画面では、前回選んだ装飾名が枠で囲まれます。

文字色を変更する場合

「1 色」を選んでカラーパレットから文字色を選ぶ
文字色を元に戻す場合は「指定なし」(黒)を選びます。
文字色を変更すると、挿入した絵文字も指定した色で表示されます。

文字サイズを変更する場合

「2 サイズ」を選んで「1 大」「2 標準」「3 小」から文字サイズを選ぶ

画像を挿入する場合

「3 画像」を選んで画像のあるフォルダを選び、挿入する画像を選ぶ
挿入できない画像は選択できません。また、すでにファイルを10個添付している場合は画像を挿入できません。
画像を挿入する前に文字位置を変更すると、挿入した画像も指定した文字位置に表示されます。
本文中に画像を挿入した場合は1個の画像挿入につき、ファイルを1個添付した状態と同じになります。
同じ画像を複数挿入した場合は1個の画像として扱います。

文字を点滅させる場合

「4 点滅」を選んで「1 開始」を選ぶ
本文を入力し、機能メニューから「デコレーション」－「4 点滅」－「2 終了」を選ぶ
点滅を設定した本文は反転表示されます。

文字をテロップ表示させる場合

「5 テロップ」を選んで「1 開始」を選ぶ
本文を入力し、機能メニューから「デコレーション」－「5 テロップ」－「2 終了」を選びます。
テロップを設定した本文は「 」「 」で囲まれ表示されます。
テロップを設定した文字列を改行すると、その設定は改行の位置までとなり、次の行から新しいテロップの設定が行えます。

文字をスウィングさせる場合

「6 スウィング」を選んで「1 開始」を選ぶ
本文を入力し、機能メニューから「デコレーション」－「6 スウィング」－「2 終了」を選びます。
スウィングを設定した本文は「 」「 」で囲まれ表示されます。
スウィングを設定した文字列を改行すると、その設定は改行の位置までとなり、次の行から新しいスウィングの設定が行えます。

メール

文字位置を変更する場合
「⑦位置」を選んで「①左寄せ」「②センタリング」「③右寄せ」から文字位置を選ぶ
「センタリング」では文字を中央に指定します。
文字位置を指定した行の長さが画面上の1行に表示しきれない場合は、複数の行にわたって文字位置が変更されます。

ラインを挿入する場合
ラインを挿入する行でデコレーションメニューから「⑧ライン」を選ぶ
ラインを挿入する前に文字色を変更すると、挿入したラインも指定した色で表示されます。

背景色を変更する場合
「⑨背景」を選んでカラーパレットから背景色を選ぶ
背景色を元に戻す場合は「指定なし（白）」を選びます。

装飾を1つ前の状態に戻す場合
本文入力画面で機能メニューから「元に戻す」を選ぶ
直前に設定した装飾が解除されます。
直前の操作が文字の貼り付けや、CLRを1秒以上押しての文字削除の場合なども取り消すことができます。

3 本文を確認する

本文入力後、装飾された本文が表示され、左上に「」が、右上に装飾内容を示す以下のアイコンが表示されます。
：文字色を指定したときに表示されます。
／／：
文字サイズがそれぞれ「大」、「標準」、「小」のときに表示されます。
：文字位置を「センタリング」または「右寄せ」に変更したときに表示されます。
：点滅を設定したときに表示されます。
：テロップ表示を設定したときに表示されます。
：スウィングを設定したときに表示されます。

装飾した本文を確認する場合
機能メニューから「プレビュー」を選ぶ
本文の装飾をプレビューできます。

4 本文入力画面で●[確定]を押す

送信プレビュー画面が表示されます。
メール本文に電話番号やメールアドレス、URLが入力されている場合はアンダーラインなどで表示されますが、「Phone To機能」、「Mail To機能」、「Web To機能」を利用することはできません。

5 [送信]を押す

編集を続ける場合
●[確定]を押す

メール

おしらせ

- 挿入できる画像は最大10件までです。ただし、操作によっては10件以下でもメモリ不足を通知するメッセージが表示されることがあります。メモリ不足の警告メッセージが表示された場合は、●[選択]を押して警告メッセージを閉じ、不要な画像を削除してください。
- メール作成画面で「冒頭文貼付」を行った場合、冒頭文は装飾なしの状態で貼り付けられます。そのため、背景色によっては冒頭文が見えなくなることがあります。また、「署名貼付」を行った場合、署名は本文末の文字色、文字サイズの装飾を引き継いだ状態で貼り付けられます。冒頭文、署名の装飾を変更するときは、貼り付けた後にデコレーションの変更を行ってください。
- 同じ画像を挿入した場合は1個の画像として扱いますが、新規メール画面に戻ったり作成中のメールを保存した後に同じ画像を挿入した場合は違う画像として扱うため、その画像の容量分だけ本文に入力できる文字数が減ります。

入力された本文を装飾する

メール本文の入力後にも装飾する範囲を指定して、文字色、文字サイズ、文字位置の変更や、点滅、テロップ、スウィングの設定が行えます。すでに装飾した本文の設定内容を変更することもできます。

- デコレーション変更では背景色の変更、画像の挿入、ラインの挿入は行えません。

1 メール本文入力中に機能メニューから「デコレーション」を選ぶ

画面下半分にデコレーションメニューがアイコンで表示されます。

2 デコレーションメニューから「図 変更」を選ぶ

本文入力画面に戻ります。

3 ◎を押して装飾を変更するはじめの位置で●[始点]を押す

本文をすべて装飾する場合

[全選択]を押す

4 ◎を押して装飾を変更する終わりの位置まで反転表示し、●[終点]を押す

5 デコレーションメニューから設定したい項目を選んで●[選択]を押す

装飾方法について→P.255

文字を点滅、テロップ表示、スウィングさせる場合

デコレーションメニューからそれぞれの項目を選んで「設定」を選ぶ

メール

設定した装飾を解除する

範囲を指定して、色、サイズ、点滅、テロップ、スウィングの装飾を解除します。
- 文字の位置、背景色、挿入したラインや画像は、個別に装飾を解除することはできません。
- 文字の位置、背景色、挿入したラインや画像を削除する場合→下記

1 **メール本文入力中に機能メニューから「デコレーション」を選ぶ**

画面下半分にデコレーションメニューがアイコンで表示されます。

2 **デコレーションメニューから「変更」を選ぶ**

本文入力画面に戻ります。

3 **を押して装飾を解除するはじめの位置で[始点]を押す**

本文すべてを解除する場合
[全選択]を押す

4 **を押して装飾を解除する終わりの位置まで反転表示し、[終点]を押す**

画面下半分にデコレーションメニューがアイコンで表示されます。ここでは変更可能な装飾のみが表示されます。

5 **デコレーションメニューから「解除」を選ぶ**

6 **CLRを押す**

装飾が解除されます。

メール本文の装飾をすべて解除する

文字の位置や背景色、挿入したラインや画像を含むすべての装飾を削除します。
- 色、サイズ、点滅、テロップ、スウィングの装飾のみ削除する場合→上記

1 **メール本文入力中に機能メニューから「デコレーション」を選ぶ**

画面下半分にデコレーションメニューがアイコンで表示されます。

2 **デコレーションメニューから「全解除」を選ぶ**

メールの装飾をすべて解除することを確認するメッセージが表示され、「YES」を選ぶと装飾がすべて解除されて本文入力画面に戻ります。画像が挿入されている場合は、挿入した画像を削除するメッセージが表示されます。
本文の左上の「」の表示が消えます。

テンプレートを利用してデコメールを作成する

あらかじめ登録されているテンプレートを利用して、バースデーカードなどのデコメールを作成できます。

● テンプレートにはあらかじめ装飾情報が含まれています。このため、テキストメールでの本文入力より入力できる文字数が減ります。
● 「デコレーション」(P.254)でメール本文を装飾しているときは、テンプレートを適用できません。ただし、テンプレートを適用したメールに、後から「デコレーション」で装飾を加えることができます。
● 以下のような場合にテンプレートを使用しようとすると本文の編集内容を破棄するか確認するメッセージが表示されます。
・すでにテキストメールが入力されている場合
・冒頭文・署名が自動挿入されている場合
・添付ファイルがある場合

■あらかじめ登録されているテンプレート

Happy！

ショック！

ごめんなさい1

ありがとう1

ありがとう2

約束ね！

誕生日

花火

クラッカー

ごめんなさい2

おめでとう

大好きっ！

Good Luck！

イルカ

BOY

コーヒーブレイク

もみじ

KABUKI！

ジャパネスク！

Dragon

次ページへつづく

1 新規メール画面で、機能メニューから「テンプレート」を選ぶ

2 テンプレートを選ぶ

テンプレートをプレビュー表示する場合
テンプレートを反転表示して[デモ]を押す
プレビュー表示中はを押して他のテンプレートに表示を切り替えることができます。
テンプレートが1画面に収まらない場合はでスクロールできます。
プレビュー表示中にも、[選択]を押してテンプレートを選べます。

3 本文を編集する

テンプレートを適用した後も、本文を編集できます。「デコレーション」(P.254)を使い、さまざまな装飾を追加できます。
文字の入力のしかた→P.502

4 本文入力画面で[確定]を押す

送信プレビュー画面が表示されます。
メール本文に電話番号やメールアドレス、URLやiアプリへのリンクが入力されている場合はアンダーラインで表示されますが、「Phone To機能」、「Mail To 機能」、「Web To 機能」を利用することはできません。

5 [送信]を押す

編集を続ける場合
[確定]を押す

iモードメールにファイルを添付する

iモードメールでは、次のようなファイルを添付して送信することができます。FOMA端末では、内蔵カメラで撮影した写真(静止画)や動画、サイトやインターネットホームページから取り込んだ画像やiモーション(iモーションメール)を添付して送ることができます。

ファイルの種類	1つのメールにつき添付できる最大ファイル数	備考
メロディ	10個	メロディと画像を合わせて最大10個まで添付可能。データ量によって最大ファイル数は減少します。さらに、大容量画像と動画／iモーションはどちらか1つだけ添付可能です。
画像※1		
大容量画像※2	1個	
動画／iモーション(iモーションメール)		

※1： 内蔵カメラで撮影した静止画(P.174)やサイトからダウンロードした10,000バイト以下の画像は、画像の一覧画面でタイトル名の前(ピクチャー一覧表示の場合はポップアップ表示されるタイトル名の前)に「JPG」(水色)、「GIF」(水色)、「JPG」(水色)、「GIF」(水色)のアイコンが表示されます。
※2： 10,000バイトを超える102,400バイトまでのJPEG形式の画像
大容量画像は、画像の一覧画面でタイトル名の前(ピクチャー一覧表示の場合はポップアップ表示されるタイトル名の前)に「JPG」(青)または「JPG」(青)のアイコンが表示されます。

- ファイルを添付したときは、本文に入力できる文字数が少なくなります。
- 受信側がmovaサービスのiモード端末のときは、添付したファイルがJPEG形式の画像1ファイル(最大10,000バイト)の場合、iショットメール(P.261)として送信されます。それ以外の添付したファイルは削除され、本文が全角で最大2,000文字分まで届きます。

＜例：画像またはメロディを添付する場合＞

1 メール作成中に機能メニューから「添付ファイル追加」−「画像添付」を選ぶ

メロディを添付する場合
　機能メニューから「添付ファイル追加」−「メロディ添付」を選ぶ

2 フォルダを選ぶ

3 添付する画像を選ぶ

➡

メールに添付できない画像は表示されません。
画像の件数が多いときや、画像のサイズが大きいときは、画像一覧画面の表示に時間がかかることがあります。

メロディを添付する場合
　添付するメロディを選ぶ
　添付できないメロディはグレー表示となり選択できません。

画像の一覧表示を切り替える場合
　機能メニューから「タイトル名一覧」を選ぶ
　ピクチャ一覧表示がタイトル名一覧表示に切り替わります。添付できない画像は選択できません。
　ピクチャ一覧表示に戻す場合は、機能メニューから「ピクチャ一覧」を選びます。

画像を表示する場合
　表示したい画像を◎で選んで□[デモ]を押す
　一覧画面に戻るときはCLRを押します。

メロディを再生する場合
　再生したいメロディを反転表示して、□[デモ]を押す
　メロディの再生をとめるときは□、□、＊、＃、CLRのいずれかを押します。
　マナーモードに設定中の場合は、再生するかどうかを確認する画面が表示されます。再生するときは「YES」を選びます。

movaサービスのiモード端末へ画像をiショットメールで送る

画像を添付したメールをmovaサービスのiモード端末へiショットメールとして送信できます。
movaサービスのiモード端末へ送信する場合、添付できるファイルは最大10,000バイトのJPEG形式の画像1つだけです。複数のファイルを添付すると、添付したすべてのファイルが削除されて本文だけが相手に届きます。
movaサービスのiモード端末へ送信する場合、相手側がメール分割設定をしていないときは、相手が受信できる本文は全角で184文字までになります。相手側がメール分割設定をしているときは、iショットのURL（画像の保管先）を含み全角で2,000文字まで送信できます。
使用できる画像は最大10,000バイトのJPEG形式の画像です。10,000バイトを超えるサイズのJPEG形式の画像を添付したiモードメールはmovaサービスのiモード端末には送信できません。また、サイトなどからダウンロードしたGIF形式の画像を添付した場合は、画像が削除されて本文だけが相手に届きます。

次ページへつづく

おしらせ

- 次のときはファイルを添付できません。
  - すでに本文(添付したファイルを含む)のデータ量が全角5,000文字(10,000バイト)分のとき
  - ファイルを添付すると、本文(添付したファイルを含む)のデータ量が全角5,000文字(10,000バイト)分を超えてしまうとき※

  ※： 添付できるデータ量を超えている画像は、画像のピクチャ一覧画面で右のように表示されます。

  - すでにメロディまたは画像と、大容量画像または動画やiモーションが合計で11個添付されているとき
  - メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているとき
    内蔵カメラで撮影した静止画を添付する場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても添付／送信できますが、受け取った相手がそのファイルを外部へ出力することはできません。
  - 自作アニメのとき
- 次のときは大容量画像を添付できません。
  - 大容量画像のデータ量が100Kバイト(102,400バイト)を超えるとき
  - 本文(添付したファイルを含む)の残りのデータ量がテキストメールは全角で100文字(200バイト)、デコメールは全角で200文字(400バイト)分未満のとき
  - すでに大容量画像、または動画やiモーションが添付済みのとき
    内蔵カメラで撮影した静止画を添付する場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても添付／送信できますが、受け取った相手がそのファイルを外部へ出力することはできません。
- 大容量画像を添付したiモードメールはiモード端末には送信できません。
- 大容量画像を添付したときは、本文に入力できる文字数がテキストメールは全角で100文字(200バイト)、デコメールは全角で200文字(400バイト)分減ります。
- 画像やメロディを添付した場合、iモードメール作成画面では実際に送信されるデータの容量が表示されます。画像の場合、イメージ情報では本FOMA端末で管理されるファイルサイズが表示されるため、iモードメール作成画面で表示される容量とは異なる場合があります。
- VGAサイズの画像(P.188)をiモードメールに添付して送信した場合、受信側がパソコンや動画表示対応のFOMA端末など、表示部の大きい端末で画像を表示できます。表示可能な場合でも、画像サイズが縮小されて表示されることがあります。また、メモリが不足している場合は最大サイズを超えるため表示できないことを確認するメッセージが表示され、画像を表示することができません。
- iモードメールに添付された画像は正しく表示できない場合があります。また、画像が粗く表示される場合があります。
- 受信側がFOMA N900iG以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。

<例：動画またはiモーションを添付する場合>

1 メール作成中に機能メニューから「添付ファイル追加」－「iモーション添付」を選ぶ

2 添付する動画またはiモーションがあるフォルダを選ぶ

3 添付する動画またはiモーションを選ぶ

➡

動画やiモーションを再生する場合
一覧画面で[デモ]を押す
再生をとめるときはCLRを押します。

メールに添付できない動画やiモーションは選択できません。

おしらせ

- 次のときは動画やiモーションを添付できません。
  - 動画やiモーションのデータ量が100Kバイト(102,400バイト)を超えるとき
  - 本文(添付したファイルを含む)の残りのデータ量がテキストメールは全角で100文字(200バイト)、デコメールは全角で200文字(400バイト)分未満のとき
  - すでに大容量画像、または動画やiモーションが添付済みのとき
  - 再生制限のあるiモーションのとき
    内蔵カメラで撮影した動画を添付する場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても添付／送信できますが、受け取った相手がそのファイルを外部へ出力することはできません。
- 動画やiモーションを添付したときは、本文に入力できる文字数がテキストメールは全角で100文字(200バイト)、デコメールは全角で200文字(400バイト)分減ります。

通話中に撮影した写真(静止画)を送信する

音声通話中の相手に対して、その場で撮影した静止画またはFOMA端末に保存されている静止画を送信できます。

● スピードフォトメールを利用するには、あらかじめ通話中の相手の電話番号とメールアドレスが電話帳の同じ1つのメモリ番号に登録されている必要があります。

<例：その場で撮影した静止画を送信する場合>

1 通話中に、機能メニューから「スピードフォトメール」を選んで「フォトモード」を選ぶ

FOMA端末に保存されている静止画を送信する場合

「フォトリスト」を選ぶ
送信できない静止画はグレー表示となり選択できません。
データ量が9,000バイト以下の「メール(大)」「メール(小)」の画像のみ送信可能です。

2 ◉[撮影]または▾[メモ／確認]を押して静止画を撮影する

撮影時にはシャッター音が鳴ります。
撮影前に明るさの調節や画像サイズの設定などカメラの応用機能を利用できます。→P.186

撮影した静止画を保存してから送信する場合

機能メニューから「保存&メール送信」を選ぶ
また、「イメージ貼付」を選ぶと、撮影した静止画を保存後、「イメージ貼付」を行ってから送信できます。

3 ◉[送信]を押して◉[選択]を押す

➡

送信を確認するメッセージが表示されます。

複数のメールアドレスが登録されている場合

送信する宛先のメールアドレスを選ぶ

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

おしらせ

- 次の場合には本機能を利用できません。
  - 通話中の相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていないとき
  - 通話中の相手の電話番号とメールアドレスが「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で電話帳に登録されているとき
  - 音声電話を受けた側が、電話番号が通知されない状態（非通知設定、通知不可能など）のとき
  - 指定発信制限中、通話中の相手の電話番号が指定発信制限に設定されていないとき
  - PIMロック中
  - パケット通信中（PPP）のとき
  - 保存BOXがいっぱいのとき
  - キャッチホン中
  - ソフトウェア更新中に通話状態になったとき
- 通話中の相手に対して複数のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、送信確認の画面で反転表示されるアドレスの優先順位は次のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ① iモードのアドレス（「@」より後がdocomo.ne.jp）
  ② ドメインのないアドレス、電話番号（ドメイン名とは、「@」より後の文字のことです。）
  ③ 電話帳に登録されている1番目のアドレス
- 本機能で送信したメールは、自分の電話番号が題名となり、送信BOXに保存されます。
- 音声通話中にスピードフォトメールを受信すると、添付された静止画が自動的に表示されます。「スピードフォトメール表示設定」を「自動表示しない」に設定している場合は、静止画は自動表示されません。本機能で送信されたメールを受信した場合、送信元の電話番号が題名となり、本文のない画像添付iモードメールが受信BOXに保存されます。
- 「添付ファイル設定」で、画像の受信を無効に設定した場合、スピードフォトメールの静止画が受信時に削除されます。
- 「画像サイズ設定」が「640×480」、「352×288」、「待受（240×269）」のいずれかで設定されている場合でも、本機能を起動すると設定は「メール大（176×144）」となります。
- 本機能起動中に「画像サイズ設定」を変更する場合、「メール大（176×144）」、「メール小（128×96）」以外は選択できません。

いろいろなデータからiモードメールを作成する

- 次のようなデータの画面から機能メニューを表示させて「iモードメール作成」を選ぶと、そのデータを添付したり、本文に貼り付けたiモードメールを作成できます。
  - サイトのページ、ブックマーク、URL履歴のURL
  - 「メロディ」に保存されているメロディ
  - 「イメージ」に保存されている画像
  - 「iモーション」に保存されている動画やiモーション
  - 内蔵カメラで撮影した静止画や動画※1
  - 「スケジュール」※2
  - 「テキストメモ」

  ※1： 内蔵カメラで撮影した静止画や動画の場合、外部出力を不可に設定していても送信できますが、受け取った相手がそのファイルを外部へ出力することはできません。
  ※2： iモードメールに貼り付けられるスケジュールのデータは、そのスケジュールの日付・開始時刻と内容のみです。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディ／画像／動画やiモーションから、iモードメールを作成することはできません。

＜例：表示しているサイトのページのURLを本文に貼り付けてメールを作成する場合＞

1 **サイトを表示中に機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ**

URLが本文に貼り付けられた新規メール画面が表示されます。

2 **宛名、題名、本文を入力して送信する**

これ以降の詳しい操作手順についてはP.249の操作2～5を参照してください。

<例：内蔵カメラで撮影した写真(静止画)を添付したメールを作成する場合>

1 イメージ一覧画面から添付する画像のあるフォルダを選んで画像を選ぶ

「イメージ」の操作について→P.338

2 機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ

3 宛名、題名、本文を入力して送信する

これ以降の詳しい操作手順についてはP.249の操作2～5を参照してください。

おしらせ

- 受信側がFOMA N900iG以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。
- iモードメールに添付された画像は正しく表示されない場合があります。また、受信側がmovaサービスのiモード端末の場合は、添付できるファイルはJPEG形式の画像1ファイル(最大10,000バイト)のみで、本文は全角で最大184文字まで届きます。ただし、受信側がメールの分割設定をしている場合は、iショットのURL(画像の保管先)を含み最大全角2,000文字分まで届きます。
- 画像のデータ量が100Kバイト(102,400バイト)分を超えるときは、機能メニューで「iモードメール作成」を選ぶことはできません。

メール連動型iアプリを利用してiモードメールを作成する

メール連動型iアプリからiモードメールを作成できます。

- メール連動型iアプリは専用のフォルダ「 」を作成して受信メール、送信メールを保存します。

1 (Menu) ▶ メール ▶「送信BOX」の順に選ぶ

送信BOXが表示されます。

2 メール連動型iアプリのフォルダ「 」を選ぶ

メール連動型iアプリが起動します。
iアプリの一覧からメール連動型iアプリを選んでも起動できます。

3 メール連動型iアプリからメールを作成する画面を選ぶ

iアプリの操作および画面はソフトによって異なります。

4 メールを送る操作を選ぶ

新規メール画面が表示されます。
題名、宛先、本文はメール連動型iアプリから自動で入力される場合もあります。

5 宛名、題名、本文を入力して送信する

入力の手順についてはP.249の操作2～5を参照してください。

メール連動型iアプリのフォルダについて

メール連動型iアプリを利用してiモードメールを送受信する場合は、メール連動型iアプリのダウンロード時に送信BOX、受信BOXそれぞれに作成された専用のフォルダにメールが保存されます。
メール連動型iアプリのフォルダは送信BOX、受信BOXそれぞれに5件まで作成できます。

おしらせ

- メール連動型iアプリは、新規メール画面を表示しないでメールを送信する場合があります。

メール自動受信

iモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、iモードセンターから自動的にiモードメールが送られてきます。メールが届くと、画面の上部に「■」(青または赤)のアイコンが表示されます。受信したメールは「受信BOX」内に保存されます。

- 受信したiモードメールは、FOMA端末にSMSと合わせて最大で1,000件まで保存できます。受信メールの保存可能件数は、メールのデータ量により21〜1,000件と変動します。
- メールを受信したときの着信音を「着信音選択」でお好みの音に設定したり、メールを受信したときの点滅パターンを「着信イルミネーション」で変更したりできます。
- movaサービスのiモード端末から送られてくるiモードメールも、FOMA端末で受信できます。
- FOMA端末の操作中にiモードメールを受信したときは、お買い上げのときの設定では受信中画面は表示されず、そのまま操作を続けることができます。着信音、着信ランプの点灯、バイブレータ、バックライトの点滅は行わず、「■」(青または赤)のアイコン表示によって、メールを受信したことが通知されます。
- FOMA端末の操作中にiモードメールを受信したときに、着信音が鳴り、受信中画面が表示されるように設定することもできます。→P.296

1 iモードメールを受信すると、「■」(青または赤)のアイコンが点滅し「メール受信中…」と表示される

受信が終わると、受信結果画面に受信したメールやメッセージリクエスト／フリーの件数が表示されます。
「メール」を選ぶと、受信メール一覧画面が表示されます。
何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。受信結果画面が表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わります。

iモードメールのアイコン表示について

「■」(青)のアイコンが点滅しているときは、メールを受信中です。受信が完了すると、点灯します。
「■」(赤)のアイコンまたは「■」(赤)のアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、未読のメールを読むか、保護を解除してください。読んだり、保護を解除したメールは、受信時に古いものから順に消去されます。

iショットサービスのメールを受信した場合

movaサービスから送信されたiショットサービスのメールを受信した場合、画像は添付ファイルとして受信します。

おしらせ

- FOMA端末に保存されている受信メール（iモードメールとSMSの合計）が最大保存件数（1,000件）を超えた場合は、受信時にゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に消去されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メールは消去されません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。→P.287
- 表示中（受信メールの一覧画面または詳細画面）の受信メールは消去されません（表示中にタスク切り替えを行った場合も含む）。受信メールの一覧画面または詳細画面を表示中にメールを受信したときは、表示中のメール以外のゴミ箱のメール、古いメール（未読と保護を除く）から順に消去されます。
- 「メール選択受信設定」を「ON」にし、iモードメールを自動受信しないように設定すると、送られてきたiモードメールはiモードセンターに保管されます（画面上部に「」（青、または青／赤）のアイコンが表示されます）。この場合は、「iモード問い合わせ」を行ってセンターに保管されているiモードメールをまとめて受信したり、「メール選択受信」によりセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認してから選択して受信できます。
- iモードメールの本文は、最大で全角で5,000文字、半角で10,000文字まで受信できますが、それを超えたときは本文の最後に「/」または「//」を挿入して、超えた分を自動的に削除します。
- 極端にデータ量の大きいメールが送られてきたときは、iモードセンターで受け付けられずに、エラーメールとともに送信元へ返信されることがあります。
- メールに添付されているメロディや画像を受信するかどうかを「添付ファイル設定」で設定できます。
- FOMA端末がiモードメールを受信すると、iモードセンターに保管されていたiモードメールは削除されます。
- iモードセンターに保管されるiモードメールの件数は最大207～1,000件までとなります。保管件数はiモードメールのデータ量により異なります。保管期間は720時間です。720時間を超えた場合、自動的に削除されます。
- iモードセンターに保管されているiモードメールが最大保管件数を超えたときは、iモードセンターではiモードメールを受信せず、送信先にエラーメッセージまたは、エラーメールとともに返信します。
- iモードメールではメロディや動画／iモーション、画像を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルはiモードセンターで自動的に削除されます。添付ファイルが削除された場合は、「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。ただし、受信したメールによっては「添付ファイル削除」のメッセージが正しく追加されなかったり、添付ファイルを正しく削除できない場合があります。
- 新しいiモードメールが届いたときは、iモードセンターに保管されているほかのiモードメールやメッセージリクエスト／フリーも合わせて受信します。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からiモードメールを受信した場合、自分がTo、Cc、Bccのうちどの宛先タイプで受信したかをメール詳細画面で確認することができます。→P.280
- パソコンなどから装飾されたメールを受信すると、装飾が正しく表示されないことがあります。
- あらかじめ、受信するiモードメールのサイズを制限できます。→P.243
- iモードメールを受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順は次のとおりです（①が最も優先度が高くなります）。
  ① メールアドレスごとに指定した「電話帳便利機能」
  ② グループごとに指定した「グループ便利機能」
  ③ 「着信音選択」、「着信イルミネーション」
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件で、着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。
- 着信音の音量は「着信音量」の「メール／メッセージ」で設定した音量になります。

新着iモードメールを表示する

1 （Menu）▶ メール ▶「受信BOX」▶「受信BOX」の順に選ぶ

追加したフォルダがある場合は、受信BOXフォルダ一覧画面でフォルダを選びます。
受信メール一覧画面が表示されます。

2 表示したいメールを選ぶ

CLRを押すと、受信メール一覧画面に戻ります。

前後のメールを表示する場合

メール詳細画面でを押す

待受画面でメールを受信した場合

iモードメールを受信すると待受画面に「メール」が表示され、これを選ぶと「新着メールあり」と表示されます。
受信BOX画面を表示しているときに受信した場合など、表示されないこともあります。
このアイコンから受信メール一覧画面を表示させることができます。

FOMA端末を閉じているときに受信した場合

iモードメールを受信すると、イメージウィンドウにメールを受信したことを示すアイコンが表示されます。→P.37

おしらせ

- 受信メール一覧画面で機能メニューから「メール情報」を選ぶと、メールを開く前に送信元と題名、iモードセンターに届いた日付・時刻を確認できます。
- iモードメールの送信元や同報者のメールアドレスをデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けることができます。貼り付けたアイコンから、そのメールアドレスを宛先とする新規iモードメールを作成することができます。ただし、「Fm」「To」「Cc」のついたメールアドレスは、デスクトップアイコンとして貼り付けることができません。また同報メールの場合でも、1回の操作で貼り付けられるメールアドレスは1件だけです。

メール連動型iアプリについて

- メール連動型iアプリを利用して送信したiモードメールは、そのメール連動型iアプリ専用フォルダに振り分けられます。
- 送信元がメール連動型iアプリを利用して送信してきたiモードメールは、受信側にそのメール連動型iアプリ専用フォルダがある場合、そのフォルダに振り分けられます。
  専用フォルダがない場合、「自動振分け設定」を設定しているときはその設定に従ってフォルダに振り分けられ、設定されていないときは受信BOXに振り分けられます。
- メール連動型iアプリ専用フォルダを選ぶとソフトが起動します。
- ソフトを起動させずにフォルダ内のメール一覧画面を表示するには、そのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選びます。

iモードメールを選択して受信する

iモードセンターに保管されているメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除できます。

- 本機能を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定しておく必要があります。→P.297
- 詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

メールが届いたときは

「メール選択受信設定」を「ON」に設定しているときは、メールを自動的に受信しません。送られてきたメールはiモードセンターに保管され、画面上部に「」のアイコンが表示されます。

おしらせ

- メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、メール着信音は鳴りません。また、マナーモードやバイブレータを設定している場合でも、振動しません。

メールを選択受信する

1 (Menu) ▶ メール ▶「メール選択受信」の順に選ぶ

「メール選択受信設定」が「OFF」に設定されている場合

メール選択受信を設定するかどうかのメッセージが表示され、「メール選択受信設定へ」を選ぶと「メール選択受信」を設定できます。選択受信を「ON」に設定すると、メール一覧画面に戻ります。

本機能を利用してメール選択受信画面を表示した場合、メールを受信、削除しなくても「」のアイコンは消灯します。

2 メールごとに項目を選んでメール選択受信の操作を行う

おしらせ

- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定していても、「iモード問い合わせ」を行うとiモードセンターに保管されているすべてのiモードメールを受信します。「iモード問い合わせ」利用時にiモードメールを受信したくない場合には、「iモード問い合わせ設定」で「メール」を「問い合わせしない」に設定してください。

iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

お買い上げ時	すべて(メール、メッセージリクエスト、メッセージフリー) 問い合わせする

● iモードセンターに届いたiモードメールは自動的にFOMA端末へ送信されますが、次の場合はiモードセンターに保管されます。
・FOMA端末の電源が入っていないとき
・「圏外」が表示されているとき
・「セルフモード」を設定中のとき
・メモリがいっぱいのとき
・「メール選択受信設定」が「ON」のとき
● 「圏外」が表示されているときは問い合わせできません。
● 問い合わせる項目は「iモード問い合わせ設定」で設定します。メッセージリクエスト／フリーの配信を希望されない場合は、「メッセージリクエスト」および「メッセージフリー」を「問い合わせしない」に設定してください。

1 (Menu) ▶ メール ▶「iモード問い合わせ」の順に選ぶ

メール問い合わせ画面が表示されます。
問い合わせは「メール」→「メッセージリクエスト」→「メッセージフリー」の順で行います。
iモードメニューから「iモード問い合わせ」を選んだり、待受画面表示中に[MAIL]を1秒以上押しても、iモード問い合わせができます。
問い合わせ中は「」(青)、「R」(緑)、「F」(紫)が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、iモードメールやメッセージリクエスト／フリーを受信します。
新しく受信したiモードメールとメッセージリクエスト／フリーの件数が表示されます。

問い合わせを中止する場合

問い合わせ中にCLRを1秒以上押す
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりiモードメールやメッセージリクエスト／フリーを受信することがあります。

iモードメールのアイコン表示について

「」(青)のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにiモードメールが保管されています。
iモードセンターに保管されているiモードメールがいっぱいになると「」(青／赤)のアイコンの表示になります。

おしらせ

● 「」(赤)、「」(赤)、「R」(赤)、「F」(赤)などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやメッセージリクエスト／フリーを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールやメッセージリクエスト／フリーを削除するか、未読のメールやメッセージリクエスト／フリーを読むか、保護を解除してください。読んだり、保護を解除したメールやメッセージリクエスト／フリーは、受信時に古いものから順に消去されます。
● iモードセンターに保管されるiモードメールの件数は最大207～1,000件までとなります。保管件数はiモードメールのデータ量により異なります。保管期間は720時間です。720時間を超えた場合、自動的に削除されます。
● iモードセンターにiモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「」(青、または青／赤)のアイコンが表示されないことがあります。
● iモード問い合わせ中にセンターでお預かりしたiモードメールやメッセージリクエスト／フリーは、件数に反映されないことがあります。

iモードメールに返事を出す

iモードメールの送信元に返信できます。返信には、新たに本文を入力する方法、メールを参照しながら本文を入力する方法、受信したiモードメールの本文を引用する方法があります。

- 「ダイヤル発信制限」を設定している場合、送信元、同報(To、Cc)の宛先がすべて電話帳に登録されているiモードメールにのみ返信できます。
- 返信するiモードメールの題名には「Re:」が追加されます。題名の文字数が「Re:」と合わせて全角で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。

新たに本文を入力して返信する

1 返信するメールの詳細画面を表示し、[返信]を押す

受信したiモードメールを見るには→P.267

複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合

返信画面で「送信元へ」を選ぶ
同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「すべてへ」を選びます。
送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。
同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

2 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.249の操作3～5を参照してください。
送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「 」が「 」に変わります。

おしらせ

- 題名に「Re:」(すべて半角文字)がついたiモードメールに返信する場合、返信するiモードメールの題名に「Re:」の代わりに「Re2:」が追加されます。以降、「Re2:」がついているときは「Re3:」、「Re3:」がついているときは「Re4:」というように、「Re99:」まで追加されます。「Re:」に全角文字が含まれていたり、「RE:」(「E」が大文字)となっている場合は、題名の先頭に新たに「Re:」が追加されます。
- 題名や本文に半角カタカナや絵文字が使われていると、受信側で正しく表示されないことがありますので、iモード端末どうしでのメールのやりとり以外には使わないでください。
- 返信するiモードメールにファイルやiアプリの起動情報(iアプリTo)が添付または貼り付けられているときは、ファイルや情報が削除されます。

受信メールを参照して返信する

● 参照返信では、画面上に本文入力画面、画面下に受信メール本文画面(参照画面)が表示されます。

1 返信するメールの詳細画面を表示し、機能メニューから「参照返信」を選ぶ

受信したiモードメールを見るには→P.267

参照／本文入力画面を切り替える場合

ニューロポインターを使って画面を切り替えます。
「ニューロポインター設定」の「ポインター表示」が「OFF」に設定されている場合は、機能メニューから「ウィンドウ切替」を選ぶか、(i)を1秒以上押して切り替えることができます。

参照画面から本文、題名、アドレスをコピーする場合

参照画面で機能メニューから「コピー」を選んで「本文」、「題名」、「アドレス」を選ぶ
コピー方法について→P.516

複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合

参照返信画面で「送信元へ」を選ぶ
同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「すべてへ」を選びます。
送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。
同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

2 本文を編集して送信する

題名を編集する場合

送信プレビュー画面を表示した後、◉［確定］を押してメール返信画面に戻り、「Subject」を選んで題名を入力し直す

送信プレビュー画面を表示した後、◉［確定］を押してメール返信画面に戻ってから再度本文入力画面を表示したときは、参照画面は表示されません。
これ以降の詳しい操作手順については、P.249の操作4～5を参照してください。
送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「✉」が「↩」に変わります。

本文を引用して返信する

受信したiモードメールの本文を引用して返信できます。

● 受信したデコメールを引用返信した場合は、装飾された本文や挿入された画像は引用された状態で本文が表示されます。
● 引用したiモードメールの添付ファイルは削除されます。

1 返信するメールの詳細画面を表示し、機能メニューから「引用返信」を選ぶ

複数の宛先のあるメールの送信元へ引用返信する場合

引用返信画面で「送信元へ」を選ぶ
同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「すべてへ」を選びます。

返信メールの本文に受信したメールの本文が引用されて表示されます。
引用符(お買い上げのときは「>」)は、引用返信するメールの本文の先頭に1つだけつきます。本文の行頭のすべてにはつきません。
引用符を編集するには→P.293

2 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順についてはP.249の操作3～5を参照してください。
送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「✉」が「↩」に変わります。

iモードメールをほかの宛先に転送する

受信したiモードメールをほかの人に転送できます。

- 転送するiモードメールの題名には「Fw:」が追加されます。題名の文字数が「Fw:」と合わせて全角で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。
- 受信したデコメールを転送した場合は、装飾された本文や挿入された画像は引用された状態で本文が表示されます。

1 転送するメールの詳細画面を表示し、機能メニューから「転送」を選ぶ

受信したiモードメールを見るには→P.267

2 宛先を入力して◉[確定]を押す

宛先の詳しい入力操作について→P.249
題名、本文を編集できます。受信したメールの本文、追加した文、冒頭文、署名、添付されているメロディや画像を合わせて全角で5,000文字分、半角で10,000文字分まで転送できます。

電話帳やアドレス一覧、メールメンバーを使って宛先を入力する場合
メール転送画面で機能メニューから「宛先参照入力」を選ぶ

3 [確認]を押して送信プレビュー画面で内容を確認し、[送信]を押す

送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

おしらせ

- 題名に「Fw:」(すべて半角文字)がついたiモードメールを転送する場合、転送するiモードメールの題名に「Fw:」の代わりに「Fw2:」が追加されます。以降「Fw2:」がついているときは「Fw3:」、「Fw3:」がついているときは「Fw4:」というように、「Fw99:」まで追加されます。「Fw:」に全角文字が含まれていたり、「FW:」(「W」が大文字)となっている場合は、題名の先頭に新たに「Fw:」が追加されます。
- 題名や本文に半角カタカナや絵文字が使われていると、受信側で正しく表示されないことがありますので、iモード端末どうしでのメールのやりとり以外には使わないでください。
- 転送するiモードメールに、iアプリの起動情報(iアプリTo)、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。

メールアドレスを電話帳に登録する

受信したメールの送信元のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

<例：送信元のメールアドレスを電話帳に登録する場合>

1 受信メール一覧画面でメールを選び、機能メニューから「アドレス登録」を選ぶ

登録候補として複数のメールアドレスが存在する場合
メールアドレスを選ぶ画面で登録したいメールアドレスを選ぶ

送信したメールの宛先のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合
送信メール詳細画面の機能メニューから「アドレス登録」を選ぶ
複数の宛先に送信したiモードメールの場合は、表示されるメールアドレスのリストから登録するメールアドレスを選びます。

2 「YES」を選んで「本体」−「新規登録」を選ぶ

電話帳新規登録画面に、入力された項目の内容が表示されます。必要な項目を入力して電話帳に登録します。
電話帳の登録について→P.103

FOMAカードの電話帳に登録する場合
登録先に「FOMAカード」を選ぶ
FOMAカードの電話帳に登録するときは、登録方法の「追加登録」の代わりに「上書き登録」と表示されます。

おしらせ

- 「指定発信制限」や「ダイヤル発信制限」を設定しているときは、電話帳登録はできません。
- 「Fm」「To」「Cc」のアイコンのついたメールアドレスや電話番号は登録できません。

iモードメールからメロディを取り込む

お買い上げ時	自動再生する

受信したiモードメールに添付または貼り付けられたメロディをFOMA端末に保存できます。

- 通話中はメロディの再生ができません。
- 送信元がFOMA N900iG以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

1 受信メール一覧画面で「♫」または「♫」のついたメールを選ぶ

複数のメロディが添付されている場合は、すべて再生されます。
再生したいメロディを選ぶと、そのメロディのみを再生します。

メロディをとめる場合
（通話）、（クリア）、0〜9、*、#のいずれかのボタンを押す

メールを開いたときにメロディを自動再生させたくない場合
「開封時メロディ再生設定」を「自動再生しない」に設定する

2 保存するメロディを反転表示して、機能メニューから「データ保存」を選び、「YES」を選んで保存するフォルダを選ぶ

保存したメロディは続いて表示される画面で着信音に設定することもできます。

■ 保存されているメロディがいっぱいのとき

すでにメロディが最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、不要になったメロディを削除してから保存します。

1 保存時に表示される削除するかどうかのメッセージで「YES」を選び、削除するメロディのあるフォルダを選ぶ

2 削除するメロディを選ぶ

選択したメロディがチェックされます。
画面左下に「完了」と表示されるまでメロディを選択してください。
チェックされたメロディをもう一度選ぶと、選択を解除します。

3 [完了]を押し、「YES」を選んで保存するフォルダを選ぶ

保存したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

- 保存したメロディは一覧の一番目に表示されます。
- 保存したメロディのファイル名が半角英数字のみの場合、そのファイル名で保存されます（ただし、半角で36文字まで）。ファイル名に「.」が含まれている場合は、「.」以降の文字が削除されて保存されます。ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれている場合は、「melodyxxx」（xxx：3桁の番号）のファイル名で保存されます。ファイル名の末尾3桁の番号は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。
- 「貼付メロディ設定」が「無効」に設定されていると、iモードメールの本文に貼り付けられたメロディは文字列で表示され、再生／保存することはできません。
- メール本文中に貼り付けられているメロディが複数ある場合や、iアプリToと一緒に貼り付けられているときには、「 」が表示され、両方のデータが無効となります。「貼付メロディ設定」や「iアプリTo設定」を無効にしても、データは文字として表示されません。
- 着信音などに設定されているメロディ（「★」のついているメロディ）を削除しようとすると、設定中のメロディを削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと削除されます。
- 着信音などに設定されているメロディを削除すると、設定していた項目はお買い上げのときの設定に戻ります。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、添付または貼り付けられているメロディの再生ができません。

画像メールの画像を表示する

添付された画像を表示／保存する

受信したiモードメールに添付された画像を保存します。

1 受信メール一覧画面で「 」または「 」のついたメールを選ぶ

添付された画像が表示されます。
複数の画像が添付されている場合は、すべて表示されます。
デコメールの場合、本文内に挿入されている画像はすべて表示されますが、添付された画像は表示されません。添付された画像のファイル名を選ぶと画像が表示されます。

画像表示をファイル名表示に切り替える場合

画像表示されている画像を選ぶ
画像表示に戻るには、戻したいファイル名を選びます。

メール

次ページへつづく

2 保存する画像を選択して、機能メニューから「データ保存」を選び、「YES」を選んで保存するフォルダを選ぶ

保存した画像は続いて表示される画面で待受画面などに設定することもできます。

おしらせ

- 保存した画像のファイル名が半角英数字のみの場合、そのファイル名で保存されます（ただし、半角で36文字まで）。ファイル名に「.」が含まれている場合は、「.」以降の文字が削除されて保存されます。ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれている場合は、「imagexxx」（xxx：3桁の番号）のファイル名で保存されます。ファイル名の末尾3桁の番号は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。
- iモードメールに添付された画像は、正しく表示できない場合があります。また、画像のサイズによっては、縦横同率で縮小表示される場合があります。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、添付または貼り付けられている画像の表示ができません。

本文に挿入された画像を保存する

デコメールの本文に挿入された画像を保存します。

1 受信メール一覧画面でメールを選び、機能メニューから「挿入画像保存」を選ぶ

送信メール詳細画面の機能メニューから「挿入画像保存」を選んでも、挿入された画像を保存できます。

2 保存する画像を選び、「YES」を選んで保存するフォルダを選ぶ

保存した画像は続いて表示される画面で待受画面などに設定することもできます。

■ 保存されている画像がいっぱいのとき

すでに画像が最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、不要になった画像を削除してから保存します。

1 保存時に表示される削除するかどうかのメッセージで「YES」を選び、削除する画像のあるフォルダを選ぶ

2 削除する画像を選ぶ

選択した画像がチェックされます。
画面左下に「完了」と表示されるまで画像を選択してください。
チェックされた画像をもう一度選ぶと、選択を解除します。

3 [完了]を押し、「YES」を選んで保存するフォルダを選ぶ

保存したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

- 「画面表示設定」などに設定されている画像（「★」のついている画像）を削除しようとすると、設定中の画像を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと削除されます。
- 「画面表示設定」などに設定されている画像を削除すると、設定していた項目はお買い上げのときの設定に戻ります。

iモーションメールからiモーションを取り込む

iモーションメールとして送られてきた動画やiモーションのファイルは、iモーションメールセンターから取り込んでから保存します。

● iモーションメールに添付されている動画やiモーションは、受信者のみiモーションメールセンターから取り込むことができます。

<例：iモーションを保存する場合>

1 受信メール一覧画面で動画やiモーションが添付されているメールを選ぶ

2 メール内のiモーション閲覧用URLを選んで「YES」を選ぶ

iモーションが取り込まれます。

iモーションの取り込みを途中で中止する場合

[中止]を押す

iモーションによっては、データの取り込み中に自動的に再生がはじまります。再生が終わるとデータ取得完了画面が表示されます。

3 「保存」を選び「YES」を選んで保存するフォルダを選ぶ

iモーションを保存したことを通知するメッセージが表示されます。

保存されているiモーションがいっぱいのときは、メッセージに従って不要になったiモーションを削除します。→P.334

iモーションメールから取り込んだ動画やiモーションは、「マルチメディア」の「iモーション」フォルダに保存されます。→P.349

おしらせ

● iモーションメールに添付されている動画やiモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。
● 「自動再生設定」(P.336)が「自動再生する」に設定されている場合、iモーションが自動再生されます。「自動再生しない」に設定されている場合、再生画面は表示されずデータ取得完了の確認画面が表示されます。
● iモーションによっては、データを取り込みながら再生ができないものもあります。
● データを取り込みながら再生できるiモーションの場合、電波状況等によりデータを取り込むことができなくなったときでも、取り込んだところまでは再生されます。なお、データ取得完了画面は表示されず、再度データを取り込むことになります。
● メール本文中に貼り付けられている動画が複数ある場合や、iアプリToと一緒に貼り付けられているときには、両方のデータが無効となり、メール本文のみが受信されます。

送信／受信メールBOXのメールを表示する

送信／受信したメールは、それぞれ「送信BOX」、「受信BOX」に保存されます。送信BOX／受信BOXでは、メールをフォルダごとに管理できます。送信BOX／受信BOX内のメールを表示するときは、メールメニューから送信／受信フォルダー覧画面を表示させ、フォルダを選びます。表示された送信／受信メール一覧画面で、メールを選び内容を確認できます。

- フォルダー覧画面で機能メニューから「フォルダ内表示」を選んで、そのフォルダ内のメール一覧画面を表示することもできます。
- 保存BOXにはフォルダはありません。

〈例：受信BOXの場合〉

メールメニュー

受信フォルダー覧画面

受信メール一覧画面

受信メール詳細画面

フォルダー覧画面の見かた

「送信BOX」の送信フォルダー覧画面、「受信BOX」の受信フォルダー覧画面は、それぞれ次のように表示されます。

- 受信BOXはフォルダごとにメールを保存できます。お買い上げのときは、「受信BOX」フォルダ、内蔵メール連動型iアプリのフォルダ、「ゴミ箱」フォルダのみですが、フォルダは後から追加できます。
- 送信BOXは、メール連動型iアプリで追加される場合を除き、フォルダを追加できません。

■ 送信フォルダー覧画面

① ：送信メールのフォルダを示しています。
　 ：セキュリティ（P.163）がかけられている送信メールのフォルダを示しています。
② ：メール連動型iアプリ（P.266）の送信メールフォルダを示しています。
③ ：メール連動型iアプリの送信メールフォルダで、セキュリティがかけられていることを示しています。

■ 受信フォルダー覧画面

① ：未読メールがないことを示しています。
② ：未読メールがあることを示しています。
③ ：未読メールがなく、セキュリティ（P.163）がかけられていることを示しています。
④ ：未読メールがあり、セキュリティがかけられていることを示しています。
⑤ ：メール連動型iアプリ（P.266）の受信メールフォルダを示しています。
⑥ ：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで未読メールがあることを示しています。
⑦ ：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで、セキュリティがかけられていることを示しています。
⑧ ：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで未読メールがあり、セキュリティがかけられていることを示します。
⑨ ：ゴミ箱のフォルダを示しています。
　 ：ゴミ箱のフォルダで、セキュリティがかけられていることを示しています。

メールの一覧画面は次のように表示されます。メール一覧画面で表示されるアイコンは、メール詳細画面でも表示されます。表示されないアイコンもあります。

①-2

送信BOX 1/ 3
10:35 杉本美紀子
Re:おつかれさま
8:25 中西哲也
電話ください
5/11 杉本美紀子
スケジュールについて
5/11 中西哲也
地図
5/11 中西哲也
映画
選択 機能

① メールの状態を示しています。
 ① -1 受信
 ：未読のメール
 ：既読のメール
 ：転送したメール
 ：返信したメール
 ：未読で保護されているメール
 ：既読で保護されているメール
 ：転送して保護されているメール
 ：返信して保護されているメール
 ① -2 送信
 ：送信に成功したメール
 ：送信に失敗したメール
 ：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が成功したメール
 ：複数の宛先が指定され、その一部に送信が成功したメール
 ：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が失敗したメール
 ：保護されているメール

② 送受信した時刻や日付を示しています。
 ② -1 当日送受信したメールは時刻が表示されます。
 ② -2 前日までに送受信したメールは日付が表示されます。

③ 送信元／宛先を示しています。電話帳に登録がある送信元／宛先の場合、メールアドレスまたは電話番号で表示するか、名前で表示するかを切り替えることができます。送信元のアドレスが電話帳に登録があり、画像が登録されている場合は「 」が表示されます。

④ メールの種別、添付ファイルや貼り付けられている情報の種類を示しています。

〈2行表示の場合〉
：SMSであることを示しています。
：SMSで、SMS report（送達通知）を受信済みであることを示しています。
：SMSで、FOMAカード内にあることを示しています。
：メロディが添付または貼り付けられていることを示しています。
：複数のメロディが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
：添付または貼り付けられているすべてのメロディのデータが正しくないことを示しています。
 また、貼り付けられているメロディで「貼付メロディ設定」が「無効」に設定されているときに表示されます。
：画像が添付されていることを示しています。
：複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
：添付されているすべての画像のデータが正しくないことを示しています。
：大容量の画像が添付されていることを示しています。
：動画やiモーションを添付したiモードメールを送信したときに表示されます。
：メールの本文からiアプリを起動できることを示しています。「iアプリTo設定」が「有効」に設定されている場合の表示です。
：メールの本文からiアプリを起動できないことを示しています。「iアプリTo設定」が「無効」に設定されている場合の表示です。
：メール連動型iアプリが送受信したメールを示しています。
：複数のデータが貼り付けられていることを示しています。また、データがiアプリToと一緒に貼り付けられている場合にも表示されます。
：メールを送受信したときとは違うFOMAカードが使用されているため、添付または貼り付けられているファイルやデータが利用できないことを示しています。

〈1行表示の場合〉
：大容量のファイルを含まず、1個または複数のファイルが添付または貼り付けられていることを示しています。
：大容量のファイルを含まず、複数のファイルが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
：大容量のファイルを含まず、添付または貼り付けられているすべてのファイルデータが正しくないことを示しています。
：大容量のファイルを含み、1個または複数のファイルが添付されていることを示しています。
：大容量のファイルを含み、複数のファイルが添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
：大容量のファイルを含み、添付されているすべてのファイルデータが正しくないことを示しています。

⑤ メールの題名を示しています。題名がないiモードメールの場合、題名が「無題」と表示されます。
 SMSの場合は本文の冒頭が表示されます（SMS reportの場合は「SMS report」が表示されます）。

次ページへつづく

おしらせ

● 「ローカル時計設定」の設定がされていない場合、送信メール一覧画面や保存メール一覧画面では時刻や日付が「--/--」で表示されます。ただし、送信に成功したSMSの場合は日付が表示されます。

メール詳細画面の見かた

メールの詳細画面は次のように表示されます。

受信メール詳細画面

送信メール詳細画面

① メールの状態が表示されます（P.279のメール一覧画面の説明①参照）。
② 送受信した日付と時刻（センターが受信した日付と時刻）を示しています。
③ 受信メールの送信タイプを表示します。
　[To]：送信元から宛先に指定されて受信したメールを示しています。
　[Cc]：送信元から同報に指定されて受信したメールを示しています。
　[Bcc]：送信元からほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定されて受信したメールを示しています。
④ 受信メールで、送信元のメールアドレスを表示します。
　[From]：送信元のメールアドレスを示しています。
　[Fm✕]：送信元に返信できないメールアドレス（メールアドレスが半角で50文字を超えているときなど）を示しています。
⑤ 送信メールで、宛先のメールアドレスおよび宛先のタイプを表示します。
　送信が成功したかどうかを確認できます。宛先が複数指定されているメールでは、宛先がすべて表示されます。
　[To OK]：送信に成功した宛先を示しています。
　[To ✕]：送信に失敗した宛先を示しています。
　[Cc OK]：送信に成功した同報の宛先を示しています。
　[Cc ✕]：送信に失敗した同報の宛先を示しています。
　[Bcc OK]：ほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定し、送信に成功した宛先を示しています。
　[Bcc ✕]：ほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定し、送信に失敗した宛先を示しています。
⑥ 受信メールで、複数指定されている宛先を表示します（受信者本人は含みません）。最大4件まで宛先が表示されます。
　[To]：送信元から宛先に指定されていることを示しています。
　[To✕]：送信元から宛先に指定され、返信できないメールアドレスを示しています。
　[Cc]：送信元からコピーとして送るメールの同報宛先に指定されていることを示しています。
　[Cc✕]：送信元からコピーとして送るメールの同報宛先に指定され、返信できないメールアドレスを示しています。
　返信できないメールアドレスには「[Fm✕]」、「[To✕]」、「[Cc✕]」が表示されます。
　受信メールの送信元または送信メールの宛先が電話帳に登録されているときには、④、⑤、⑥の欄には電話帳に登録されている「名前」が表示されます。
　名前を表示するには、相手のメールアドレスを電話帳に正しく登録しておく必要があります。→P.103
⑦ 題名を示しています。題名がないときは「無題」と表示されます。受信したSMSには「[SMS]」（SMSがFOMAカード内にあるときは「[FOMA]」）のアイコンが表示され、タイトルは「SMS」（SMS reportの場合は「SMS report」）と表示されます。SMS reportを受信済みの場合は、「[report]」もあわせて表示されます。
⑧ 添付ファイルや貼付ファイルがあるときは、アイコンとファイル名、バイト数（ファイルサイズ）が表示されます。メロディが貼り付けられているときは「[♪]」が表示されます。貼り付けられているメロディのデータが正しくない場合は、「[♪✕]」が表示されます。添付ファイルアイコンについて→P.279
⑨ メールの本文を示しています。
⑩ 本文の終わりに表示されます。

次のときは、電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていても「名前」が表示されず、メールアドレスのままの表示となります。
・「指定発信制限」が設定中で、「指定発信制限」に指定されていない電話番号のとき
・シークレット専用モードで、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスからの受信メールや、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスへの送信メールを詳細表示したとき
・シークレットモードまたはシークレット専用モード以外で、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスからの受信メールや、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスへの送信メールを詳細表示したとき

メールの文字サイズや一覧表示方法などを切り替える

■ メールの本文の文字サイズを変えるとき

メール詳細画面を表示しているときに、本文の文字の大きさを変更できます。縮小表示の場合は、送受信日時、送信元や宛先、題名なども縮小表示されます。

縮小表示　　標準表示　　拡大表示

おしらせ

- メール詳細画面以外でを押したときは、ページまたはカーソルの移動になります。
- メール詳細画面以外に移ったときは、縮小表示または拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。詳細画面に戻ったときは、再度、縮小表示または拡大表示になります。
- 上記のボタン操作により表示を切り替えたときは、「文字サイズ設定」(P.295)の設定も変更されます。

■ メール一覧画面の表示切替(1行表示／2行表示)

メールメニューで「メール設定」の「メール一覧表示設定」を選ぶと、メールの宛先や送信元の名前またはメールアドレスと題名の2行で表示するか、名前、メールアドレス、題名のいずれか1行で表示するかを切り替えることができます。

おしらせ

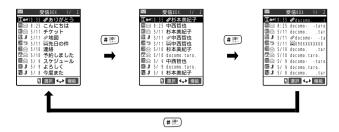
- 「メール一覧表示設定」を変更すると、受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／保存メール一覧画面の表示がすべて切り替わります。

■ メール一覧画面の表示切替(名前表示／アドレス表示／題名表示)

メール一覧画面で、メールを宛先や送信元の名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するか、題名で表示するかを切り替えられます。宛先や送信元の名前が電話帳に登録されている場合、その名前を表示できます。

■ メール一覧画面(2行表示)

メール

■ メール一覧画面（1行表示）

おしらせ

- 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／保存メール一覧画面の機能メニューから「一覧表示切替」を選んで「題名表示」、「名前表示」、「アドレス表示」から項目を選んでも表示の切り替えができます。
- ゴミ箱へ捨てるときや、選択削除、フォルダ移動の選択画面でも表示の切り替えができます。また、「自動振分け設定」の一覧画面でも名前表示とアドレス表示の切り替えができます。

顔が見えるメール

メール一覧画面を表示しているときに、送信元のアドレスが電話帳に登録されており、画像が登録されている受信メールには「」が表示されます。
「」が表示されているメールを選んで[ ]を押すと、登録した画像を見ることができます。

おしらせ

- 画像を表示するには、送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録しておく必要があります。→P.103
- 「メール一覧表示設定」が1行表示で、「表示切替」で「題名表示」を選んでいる場合は、「」は表示されませんが、[ ]を押すと登録した画像が表示されます。

メールの保存件数を確認するとき

■ 受信メール／送信メールの保存件数を確認する場合

すべてのフォルダの保存件数を確認するときは、フォルダ一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選びます。
フォルダごとの保存件数を確認するときは、確認したいフォルダ内のメール一覧画面を表示した後、機能メニューから、「保存件数確認」を選びます。

受信BOXの場合

■ 保存メールの保存件数を確認する場合

保存メールの一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選びます。

バックライト機能について

FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、iモードメールやSMSを送受信したときなどにバックライトを約15秒間点灯します（点灯時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わります）。ただしiモードメールやSMSの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
「照明設定」の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。

フォルダを作成／編集／削除する

受信BOXにフォルダを追加して、受信したメールを管理できます。

- お買い上げのときは「受信BOX」フォルダ、内蔵メール連動型iアプリのフォルダ、「ゴミ箱」フォルダが登録されています。
- 受信BOXには、フォルダを最大23個まで追加できます。メール連動型iアプリのフォルダの場合は、送信BOXと受信BOXそれぞれに最大5個まで追加できます。

<例：フォルダを作成する場合>

1 **(Menu)▶ メール ▶「受信BOX」の順に選んで、機能メニューから「フォルダ追加」を選ぶ**

2 **フォルダ名を入力して● [確定] を押す**

フォルダ名は全角で10文字まで、半角で20文字まで入力できます。
フォルダ名が1文字も入力されていないときは、フォルダを追加できません。
文字の入力のしかた→P.502

フォルダ名を変更する

フォルダ一覧画面でフォルダを反転表示し、機能メニューから「フォルダ名編集」を選んで新しいフォルダ名を入力します。
フォルダ名は全角で10文字まで、半角で20文字まで入力できます。
名前を変更できるのは追加したフォルダのみです。お買い上げのときにすでにある受信BOX／ゴミ箱／送信BOXおよびメール連動型iアプリのメールのフォルダの名前を変更することはできません。

フォルダを削除する

フォルダ一覧画面でフォルダを反転表示し、機能メニューから「フォルダ削除」を選んで端末暗証番号(P.152)を入力します。

・お買い上げのときにすでにある受信BOX／ゴミ箱／送信BOXおよびメール連動型iアプリのフォルダを削除することはできません。ただし、メール連動型iアプリがFOMA端末本体から削除され、メール連動型iアプリの送信／受信フォルダ両方に保護メールがない場合は、メール連動型iアプリのフォルダを削除できます。メール連動型iアプリを削除すると、メール連動型iアプリのフォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、受信BOX、送信BOXのメール連動型iアプリのフォルダが削除されます。
・フォルダ内にメールがあるフォルダを削除しようとした場合は、削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、フォルダ内のメールごと削除されます。フォルダ内のメールを削除しないで、フォルダだけを削除したいときは、フォルダを削除する前に、フォルダ内のメールを別のフォルダに移動してください。
・フォルダ内にメールがなく、かつ「自動振分け設定」が設定されているフォルダを削除しようとした場合は、「振分け条件が設定されています　削除しますか？」と表示されます。「YES」を選ぶと「自動振分け設定」の設定が解除されてフォルダが削除されます。
・フォルダ内に保護されているメールがある場合は、フォルダを削除できません。

フォルダにセキュリティをかける

フォルダごとにセキュリティをかけられます。セキュリティをかけたフォルダを開くには、端末暗証番号を入力する必要があります。詳しくはP.163を参照してください。

送信／受信メールをフォルダに移動する　<フォルダ移動>

<例：受信メールを選択して移動する場合>

1 **移動元のフォルダの受信メール一覧画面で機能メニューから「フォルダ移動」を選ぶ**

メールを1件移動する場合

受信メール詳細画面で移動するメールを表示し、機能メニューから「フォルダ移動」を選んで移動先のフォルダを選ぶ

次ページへつづく

2 移動先のフォルダを選ぶ

3 移動するメールを選ぶ

選択したメールがチェックされます。
チェックされたメールをもう一度選ぶと、選択を解除します。選択を全件解除する場合は、機能メニューから「全選択解除」を選びます。
機能メニューから「全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべてのメールを選択できます。

4 [完了]を押して「YES」を選ぶ

おしらせ

- 移動するメールの選択中にメールを受信した場合、受信BOXがいっぱいのときは受信せずに「」(青、または青／赤)が表示されます。メールの移動後、iモード問い合わせを行ってください。
- SMS reportとFOMAカード内のSMSは、別のフォルダに移動できません。

送信／受信メールから利用できる便利な機能

Phone To ／Mail To／Web To 機能

メール本文の電話番号やメールアドレス、URLやiアプリへのリンクを選ぶと、電話をかけたり、サイトに接続したり、ソフトを実行できます。
メール本文から選べる項目と行える内容は次のとおりです。

項目	内　容	参照ページ
電話番号	選択した電話番号へ電話またはテレビ電話をかける(Phone To、AV Phone To)	P.225
メールアドレス	選択したメールアドレスを宛先に新規メールを作成する(Mail To)	P.226
URL	選択したURLのサイトに接続する(Web To)	P.227
iアプリへのリンク	指定したソフトを起動する(iアプリTo)	P.323

本文などをコピーする

iモードメールの本文、題名、宛先、送信元などをコピーできます。
コピーするメールの詳細画面で機能メニューから「コピー」を選んで項目を選びます。

本文　　：本文をコピーします。
題名　　：題名をコピーします。
アドレス：メールアドレスをコピーします。
コピー方法について→P.516

電話番号、メールアドレスを電話帳に登録する

メールに表示されている、電話番号、メールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。メールの詳細画面で機能メニューから「アドレス登録」を選びます。登録のしかた→P.211

スケジュールの参照登録

メールを参照しながらスケジュールの登録、編集ができます。メールの詳細画面で機能メニューから「スケジュール参照登録」を選びます。登録、編集のしかた→P.528

おしらせ

- パソコンなどから送られたHTML形式のメールでは、Phone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能が利用できない場合があります。

送信／受信メールの並び順を変更する　<ソート>

指定した条件に従って、表示されるメールの順番を並べ替えられます。
利用できるソート方法には次のものがあります。

ソート方法	ソート後に表示される順
新しい順	日付の新しい順に表示します。
古い順	日付の古い順に表示します。
アドレス順(昇順)	送信元や宛先のメールアドレスや電話番号の昇順に表示します。
アドレス順(降順)	送信元や宛先のメールアドレスや電話番号の降順に表示します。
題名順(昇順)	題名の昇順に表示します。
題名順(降順)	題名の降順に表示します。

● ソートを行ってメールの表示順を変更しても、その画面を終了し再度一覧画面を表示すると、元の一覧画面表示(新しい順の全表示)に戻ります。

1 メール一覧画面で機能メニューから「ソート」を選ぶ

2 ソート方法を選ぶ

ソートを解除する場合
　機能メニューから「全表示」を選ぶ
　すべてのメールが新しい順に表示されます。

おしらせ

● iモードメールとSMSは共通の受信BOX、送信BOXに入っています。指定したソート条件は、iモードメールとSMSの両方に適用されます。
● ソートとフィルタを併用できます。たとえば受信メール一覧で未読メールのみ古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選んだ後、フィルタメニューの「未読のみ」を選びます。

送信／受信メールを検索する　<フィルタ／メール検索>

受信したメールを検索して、読みたいメールだけを表示します。
メールを検索する方法は、メールの種別で検索する方法と、アドレスや題名で検索する方法の2種類があります。

■ メールの種別で検索する(フィルタ)

利用できるフィルタの種類には次のものがあります。

フィルタの種類	フィルタ後に表示されるメール	利用できるBOX
未読のみ	未読のiモードメールやSMS	受信BOX
既読のみ	既読のiモードメールやSMS	受信BOX
保護のみ	保護されているiモードメールやSMS	受信BOX／送信BOX
メロディのみ	メロディが添付または貼り付けられているiモードメール	受信BOX／送信BOX
画像のみ	画像が添付されているiモードメール	受信BOX／送信BOX
iモーションのみ	動画やiモーションが添付されているiモードメール	送信BOX
iアプリのみ	iアプリの起動情報(iアプリTo)が貼り付けられているiモードメール(メール連動型iアプリを利用して受信したメールは含まれない)	受信BOX
SMSのみ	SMS	受信BOX／送信BOX
送信失敗のみ	送信に失敗したiモードメールおよびSMS	送信BOX

・フィルタとメールアドレスまたは題名でのメール検索は、合わせて3回まで連続して行えます。

メール

次ページへつづく

1 メール一覧画面で機能メニューから「フィルタ」を選ぶ

2 フィルタの種類を選ぶ

フィルタを解除する場合
機能メニューから「全表示」を選ぶ
すべてのメールが新しい順に表示されます。

おしらせ

- iモードメールとSMSは共通の受信BOX、送信BOXに入っています。指定したフィルタ条件は、iモードメールとSMSの両方に適用されます。
- FOMAカードによって表示・再生が制限されていることを示す「」のアイコンが表示されているデータが添付されているメールは、「メロディのみ」「画像のみ」「iモーションのみ」でフィルタを実行しても表示されません。
- フィルタとソートを併用できます。たとえば受信メール一覧で未読メールのみ古い順に表示させたいときは、フィルタメニューの「未読のみ」を選んだ後、ソートメニューの「古い順」を選びます。

■ メールのアドレスまたは題名で検索する（メール検索）

送信元のアドレスや題名で、読みたいメールを検索して表示できます。

1 受信メール一覧画面で機能メニューから「メール検索」を選ぶ

2 検索する方法を選ぶ

検索結果が一覧表示されます。
検索条件を満たす題名がないときは、データがないことを通知するメッセージが表示されます。

送信元のアドレスで検索する場合
「送信元検索」を選んでアドレスの検索方法を選ぶ
アドレスを直接入力して検索する場合は「直接入力」を選びます。
電話帳の検索について→P.114
アドレス一覧から入力するには→P.252

題名で検索する場合
「題名検索」を選んで検索する題名を入力する
題名の一部を入力しても検索できます。
題名の検索時に文頭または文中にはスペースを入力できます。文末のスペースは削除されます。
文字の入力のしかた→P.502

おしらせ

- 題名の検索時に「無題」を入力した場合、題名に「無題」と入力されたメールは検索されますが、題名が未入力で「無題」と表示されるメールは検索されません。
- SMS は題名で検索できません。

送信／受信メールを保護する　＜保護／保護解除＞

大切なメールは削除や上書きされないように保護できます。

● 受信メールは最大500件、送信メールは最大200件まで(いずれもiモードメールとSMSの合計)保護できます。保護できる最大件数は、メールのデータ量により変動します。

＜例：受信したiモードメールを保護(または保護解除)する場合＞

1 保護したいメールの詳細画面で機能メニューから「保護／保護解除」を選ぶ

保護されていないものは保護され(画面右上に「」／「」／「」が表示)、保護されているものは保護解除されます。なお、保護されているメールは削除できません。
受信メール一覧画面、送信メール一覧画面、送信メール詳細画面で機能メニューから「保護／保護解除」を選んでも保護／保護解除ができます。

メール保護をすべて解除する場合

受信メール一覧画面または送信メール一覧画面で機能メニューから「保護全解除」を選んで「YES」を選ぶ

おしらせ

● FOMA端末に保存されている受信メール(iモードメールとSMSの合計)が最大保存件数(1,000件)を超えた場合、メール受信時にゴミ箱のメールが優先的に消去されます。ゴミ箱にメールがない場合は、保護されていない既読の受信メールのうちから古い順に消去されます。
● FOMA端末に保存されている送信メール(iモードメールとSMSの合計)が最大保存件数(400件)を超えた場合、保護されていない送信メールのうちから古い順に消去されます。

送信／受信メールを削除する　＜メール削除＞

FOMA端末で送受信したメールや未送信のメールを削除します。
メールの削除方法は次のとおりです。

削除の種類	説　明	利用できる画面
1件削除／削除	1件のiモードメールまたはSMSを削除します。	受信／送信／保存メール一覧画面
		受信／送信メールの詳細画面
選択削除	削除するiモードメールやSMSを一覧から選んで削除します。	受信／送信／保存メール一覧画面
既読削除	フォルダ内の、すでに読んだiモードメールやSMSをまとめて削除します。	受信メール一覧画面
ゴミ箱へ捨てる	iモードメールまたはSMSをゴミ箱へ捨てます。	受信メール一覧画面／受信メール詳細画面
SMS report全削除	受信BOX内のSMS reportをすべて削除します。	受信BOXフォルダ内の受信メール一覧画面
全削除	フォルダ内のiモードメールやSMSをすべて削除します。	受信メール／送信メール一覧画面
	保存BOX内のiモードメールやSMSをすべて削除します。	保存メール一覧画面
既読メール全削除	すべてのフォルダのすでに読んだiモードメールやSMSをまとめて削除します。	受信フォルダ一覧画面
受信メール全削除	受信BOXの全フォルダ内のiモードメールやSMSをすべて削除します。	受信フォルダ一覧画面
送信メール全削除	送信BOXの全フォルダ内のiモードメールやSMSをすべて削除します。	送信フォルダ一覧画面

次ページへつづく

■ メールを1件削除する

iモードメールまたはSMSを1件選んで削除します。

● 保護されているメールは削除できません。

<例：受信したiモードメールを1件削除する場合>

1 受信メール一覧画面で削除するメールを反転表示し、機能メニューから「1件削除」を選んで「YES」を選ぶ

送信メール一覧画面、保存メール一覧画面で機能メニューから「1件削除」を選んで削除することもできます。

メール詳細画面から1件削除する場合

機能メニューから「削除」を選ぶ

■ メールを選んで削除する

削除したいメールを選んで削除します。複数のiモードメールやSMSを選んで削除できます。

● 保護されているメールを選ぶことはできません。

<例：受信したiモードメールを選んで削除する場合>

1 受信メール一覧画面で機能メニューから「選択削除」を選ぶ

2 削除するメールを選ぶ

選択したメールがチェックされます。

チェックされたメールをもう一度選ぶと、選択を解除します。選択を全件解除する場合は、機能メニューから「全選択解除」を選びます。

機能メニューから「全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべてのメールを選択できます。

送信メール一覧画面、保存メール一覧画面で機能メニューから「選択削除」を選んで削除することもできます。

3 [完了]を押して「YES」を選ぶ

おしらせ

● 削除するメールの選択中にメールを受信した場合、受信BOXがいっぱいのときは受信せずに「」(青、または青／赤)が表示されます。メールの削除後、iモード問い合わせを行ってください。

メールをゴミ箱に捨てる

削除したいメールをゴミ箱に捨てます。ゴミ箱に捨てたメールはすぐには削除されず、削除されるまではゴミ箱からフォルダに戻すことができます。

ゴミ箱に捨てられたメールは、受信BOXがいっぱいになった場合、優先的に削除されます。

受信メール一覧画面で機能メニューから「ゴミ箱へ捨てる」を選んで、「選択削除」と同じ方法でメールを選ぶと、メール受信時に優先的に自動削除されることを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶとメールがゴミ箱に捨てられます。

■ メールをまとめて削除する

フォルダ内のすでに読んだメールをすべて削除したり、フォルダ内のすべてのメールをまとめて削除できます。また、SMS reportだけをまとめて削除することもできます。

- フォルダ内のメールがすべて削除されても、フォルダは削除されません。フォルダを削除したいときはP.283を参照してください。
- 保護されているメールは削除できません。

＜例：受信BOXフォルダ内のSMSとiモードメールをすべて削除する場合＞

1 受信メール一覧画面で機能メニューから「全削除」を選び、端末暗証番号を入力して「YES」を選ぶ

端末暗証番号について→P.152
送信メール一覧画面、保存メール一覧画面で機能メニューから「全削除」を選んで削除することもできます。

フォルダ内のすでに読んだメールを削除する場合
機能メニューから「既読削除」を選んで「YES」を選ぶ

受信BOXのSMS reportのみをすべて削除する場合
機能メニューから「SMS report全削除」を選んで端末暗証番号を入力し、「YES」を選ぶ

受信メールまたは送信メールをすべて削除する場合
受信フォルダ一覧画面または送信フォルダ一覧画面で機能メニューから「受信メール全削除」または「送信メール全削除」を選んで端末暗証番号を入力し、「YES」を選ぶ

既読メールをすべて削除する場合
受信フォルダ一覧画面で機能メニューから「既読メール全削除」を選んで「YES」を選ぶ

「フィルタ」を使用して条件を満たすメールのみを表示しているときに「既読削除」や「全削除」を行うと、表示されているメールのみが削除されます。→P.285

送信アドレス一覧／受信アドレス一覧

メールの履歴を利用する

メールを送信したり、送信してきた相手のメールアドレスや日付・時刻などの情報は送信アドレス一覧／受信アドレス一覧に記憶されます。送信アドレス一覧／受信アドレス一覧は内容を確認することができ、そこからメールを作成して送信したり、電話帳に電話番号を登録したりできます。また、送信アドレス一覧／受信アドレス一覧は、iモードメール／SMSをアイコンで区別して表示するので、ひとめで履歴の種類がわかります。

- 送信アドレス一覧／受信アドレス一覧は、iモードメールのメールアドレスやSMSの電話番号などをそれぞれ30件まで記憶できます。
- 履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に消去されます。
- テレビ電話中は、送信アドレス一覧／受信アドレス一覧を表示できません。

＜例：送信アドレス一覧を利用する場合＞

1 (Menu) ▶ ユーザデータ ▶「発信履歴」の順に選ぶ

受信アドレス一覧を利用する場合
「着信履歴」を選ぶ

2 [切替]を押す

送信アドレスが一覧で表示されます。

次ページへつづく

3 確認したいアドレスを選ぶ

アドレスを1件削除する場合
削除したいアドレスを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数のアドレスを選んで削除する場合
機能メニューから「選択削除」を選んで削除するアドレスを選ぶ

アドレスをすべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

4 アドレスの内容を確認する

画面右上には「現在のアドレス番号／全体のアドレス件数」が表示されます。アドレス番号が若いほど新しい履歴となります。

前後のアドレスを確認する場合
上または下を押す
上を押すと前（新しい）のアドレスに、下を押すと次（古い）のアドレスに切り替わります。
ただし、受信アドレス一覧の場合は、上を押すと前（新しい）のアドレスに、下を押すと次（古い）のアドレスに切り替わります。

アドレスに表示されているメールアドレスにiモードメールを送信する場合
機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ
iモードメールの作成→P.248

アドレスに表示されている電話番号またはメールアドレスを電話帳に登録する場合
機能メニューから「電話帳登録」を選ぶ
電話帳の登録のしかた→P.103

アドレスに表示されている相手に音声電話／テレビ電話をかける場合
機能メニューから「電話発信」−「音声発信／TV電話発信」を選ぶ
電話帳の1番目に登録されている電話番号に電話をかけます。

おしらせ

- 電源を切っても、送信アドレス一覧／受信アドレス一覧は削除されません。送信／受信したアドレスなどをほかの人に見られたくない場合は、アドレスを削除するか、「履歴表示設定」の「着信履歴」および「リダイヤル／発信履歴」を「OFF」に設定してください。
- 受信アドレス一覧の表示中にメールを受信した場合には、受信を完了するまでの間「情報更新中」というメッセージが表示されます。メッセージの表示中はほかのアドレスに切り替えることはできません。
- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」を設定すると、それまでの送信アドレス一覧／受信アドレス一覧はすべて削除されます。ただし、設定後に送信／受信したメールのアドレスは一覧に記憶されます。
- 「セキュリティ設定」で送信BOX／受信BOXにセキュリティが設定されている場合や、「シークレットモード」および「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録された電話帳のメールアドレスは一覧に記憶されません。

<送信アドレス一覧>

- シークレットコードが設定されている電話帳のアドレスは、シークレットコードを除いた部分が送信アドレス一覧で表示されます。

送信アドレス一覧アイコン

- ：iモードメールの送信があったことを示します。
- ：iモードメールの送信が失敗したことを示します。
- SMS：SMSの送信があったことを示します。
- SMS：SMSの送信が失敗したことを示します。

受信アドレス一覧アイコン

- ：iモードメールの受信があったことを示します。
- SMS：SMSの受信があったことを示します。

FOMA端末のメール機能を設定する

メールを自動的にフォルダに振り分ける　＜自動振分け設定＞

受信したiモードメールやSMSがどのフォルダに保存されるかを、送信元のメールアドレスや電話番号、題名、返信不可のメールなどによって自動的に振り分けられます。あらかじめフォルダごとに振り分ける条件を登録しておくと、登録された相手からメールを受信したときに、メールが自動的にフォルダに振り分けられて保存されます。また、送受信したすべてのメールを指定したiアプリのフォルダに振り分けることもできます。

- 自動振り分けをするメールアドレスや電話番号、電話帳のグループは、受信BOXの全フォルダ合わせて700件まで登録できます。1つのフォルダに複数のメールアドレスや電話番号、電話帳のグループを登録することもできます。題名はそれぞれのフォルダに1つのみ登録できます。
- 受信したメールが複数の振り分け条件に該当する場合、自動振分け設定の優先順位は次のとおりです。①が最も優先度が高くなります。ただし、メール連動型iアプリのメールは自動振分け設定にかかわらず専用のフォルダに振り分けられます。
  ①全件振分け　②題名振分け　③返信不可振分け
  ④メールアドレス／電話番号　⑤電話帳グループ
- メールアドレス／電話番号または電話帳グループで振り分けの設定をした場合、題名振分けと返信不可振分けの設定ができません。
- 自動振分け設定を設定する前に受信したメールは、設定前に保存されているフォルダに残ります。
- SMS report、FOMAカードに保存指定されているSMSは、自動振り分けできません。

振り分けるメールアドレスを登録する

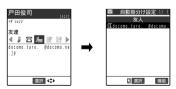
受信メールのフォルダに、自動振り分けをするメールアドレスや電話番号を登録します。電話帳や送受信アドレス一覧を参照して登録することもできます。

＜例：電話帳を参照して受信フォルダに登録する場合＞

1 振り分け条件を登録する受信メールのフォルダを反転表示し、機能メニューから「自動振分け設定」を選ぶ

2 機能メニューから「アドレス振分け」−「アドレス参照入力」−「電話帳」を選んで電話帳を検索する

電話帳の検索について→P.114

3 検索した電話帳の詳細画面で登録するメールアドレスを選ぶ

選択したメールアドレスが自動振分け設定に登録されます。

登録済みのメールアドレスや電話番号を変更する場合
　自動振分け設定画面で変更したいメールアドレスまたは電話番号を選ぶ

自動振分け設定画面の表示を切り替える場合
　自動振分け設定画面の機能メニューから「一覧表示切替」−「名前表示」または「アドレス表示」を選ぶ
　「名前表示」を選んだ場合、電話帳に名前が登録されている受信アドレスは、名前が表示されます。また、(#)を押して「名前表示」と「アドレス表示」を切り替えることもできます。→P.281

おしらせ

- メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、メールアドレスの@（アットマーク）より後の文字です。
  （例）docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
  ドメイン名まで正しく登録しないと本機能が利用できませんのでご注意ください。

振り分けるグループを登録する

電話帳に登録されているグループを自動振分け設定に登録できます。

1 振り分けを条件登録する受信メールのフォルダを反転表示し、機能メニューから「自動振分け設定」－「アドレス振分け」－「グループ参照」を選ぶ

2 登録するグループを選ぶ

選択したグループが自動振分け設定に登録され、グループ名に「GR」が表示されます。
グループ00は選べません。また、すでに登録済みのグループは登録できません。

振り分ける題名を登録する

受信メールのフォルダに、自動振り分けをする題名を登録します。登録した題名を含むメールを受信すると、登録したフォルダに自動的に振り分けられます。

1 振り分け条件を登録する受信メールのフォルダを反転表示し、機能メニューから「自動振分け設定」－「題名振分け」を選ぶ

2 登録する題名を入力して◉［確定］を押す

入力した題名が自動振分け設定に登録されます。
題名は全角で15文字、半角で30文字まで入力できます。
文頭または文中にはスペースを入力できます。文末のスペースは削除されます。
同じ題名は複数のフォルダに設定できません。また、題名にスペースだけの入力はできません。
文字の入力のしかた→P.502

おしらせ

- 自動振分け設定に「無題」を登録した場合、題名に「無題」と入力されたメールは振り分けられますが、題名が未入力で「無題」と表示されるメールは振り分けられません。
- 受信したメールの題名が複数のフォルダの振り分け条件に登録している題名に含まれている場合、受信フォルダ一覧で表示されるフォルダ順にメールが振り分けられます。
- SMSは題名での振り分けを行いません。

メール連動型iアプリのフォルダにすべてのメールを振り分ける

指定したメール連動型iアプリのフォルダに、すべてのメールが振り分けられます。

- 受信BOX、送信BOXのメール連動型アプリのフォルダごとに設定します。それぞれ1つのメール連動型iアプリのフォルダにのみ設定できます。
- 全件振分けを設定すると、メール連動型iアプリを使用せずに送信／受信したメールを含むすべてのメールが設定したフォルダに振り分けられます。ただし、ほかのメール連動型iアプリで送信／受信したメールは全件振分けの対象とならず、送信／受信したメール連動型iアプリのフォルダに保存されます。

1 全件振分けを設定するメール連動型ｉアプリのフォルダを反転表示し、機能メニューから「自動振分け設定」－「全件振分け」を選ぶ

振り分けたメールはiアプリのソフトでの利用になることを通知し、設定するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと設定されます。

おしらせ

- 振り分けられたメールは、メール連動型iアプリを起動して確認できます。全件振分けを設定したフォルダを反転表示し、機能メニューから「フォルダ内表示」を選んで確認することもできます。
- 全件振分けを設定すると、ほかの振分け条件よりも全件振分けが優先されます。

■ 返信不可のメールを振り分ける

iモードメールまたはSMSの返信不可の「Fm」が表示されるメールが振り分けられます。

1 振り分け条件を登録する受信メールのフォルダを反転表示し、機能メニューから「自動振分け設定」ー「返信不可振分け」を選ぶ

「返信不可振分け」は、受信BOX内の1つのフォルダにだけ設定できます。

■ 登録したメールアドレスなどを解除する

「自動振分け設定」に登録されているメールアドレス、電話番号、題名などの振り分け条件を解除します。

<例：メールアドレスを１件解除する場合>

1 自動振分け設定画面で解除するメールアドレスを選び、機能メニューから「1件解除」を選んで「YES」を選ぶ

1件解除　：振り分け条件を1件解除します。
選択解除：メールアドレスや電話番号、電話帳のグループの振り分け条件をチェックボックスで選んで解除します。
全解除　：すべての振り分け条件を解除します。

冒頭文／署名／引用符を登録する　<冒頭文／署名設定>

お買い上げ時	冒頭文／署名（未登録）：自動貼付する　引用符：〉

本文の先頭に書く文章（冒頭文）や、本文の最後に書く自分の名前など（署名）をあらかじめ登録しておくと、簡単な操作でiモードメールの本文に貼り付けることができます。また、受信メールを引用返信するときに引用するメール本文の先頭につける記号や文章（引用符）を編集することもできます。引用符は作成した本文と引用した本文を区別するために使用します。

- 登録できる冒頭文／署名／引用符はそれぞれ1件のみです。
- SMSでは冒頭文／署名／引用符を利用できません。

1 （Menu）▶ メール ▶「メール設定」▶「冒頭文／署名設定」の順に選ぶ

冒頭文、署名、引用符は、それぞれの欄に入力します。

メール

2 冒頭文または署名の「自動貼付」をチェックして冒頭文または署名の入力欄を選び、冒頭文または署名を入力して◉[確定]を押す

冒頭文編集画面の場合

冒頭文、署名は全角で120文字、半角で240文字分まで入力できます。
改行は全角1文字分としてカウントされます。
文字の入力のしかた→P.502

冒頭文または署名を自動貼付させない場合
　冒頭文または署名のチェックを外す

3 引用符の入力欄を選び、変更する引用符を入力して◉[確定]を押す

引用符は全角で10文字、半角で20文字分まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

4 [完了]を押す

おしらせ

- 冒頭文／署名／引用符の文字数は、メール本文の入力可能文字数に含まれます。
- 「冒頭文貼付」を行った場合、冒頭文は装飾なしの状態で貼り付けられます。そのため、背景色によっては冒頭文が見えなくなることがあります。また、「署名貼付」を行った場合、署名は本文末の文字色、文字サイズの装飾を引き継いだ状態で貼り付けられます。
- SMSでは冒頭文／署名／引用符を利用できません。

■ 冒頭文／署名を付ける

あらかじめ作成しておいた冒頭文や署名(P.293)を、iモードメールの本文に貼り付けられます。

1 新規メール画面で機能メニューから「冒頭文貼付」を選ぶ

本文の先頭に冒頭文が貼り付けられます。

2 機能メニューから「署名貼付」を選ぶ

本文の最後に署名が貼り付けられます。
貼り付けられた冒頭文や署名を確認するには、本文を選択して表示します。

おしらせ

- 半角カタカナや絵文字を使った冒頭文や署名をiモードメールの本文に貼り付けて送信すると、受信側で正しく表示されないことがありますので、iモード端末どうしでのメールのやりとり以外には使わないでください。
- 本文と冒頭文、本文と署名の間には改行が入り、それぞれ全角1文字分としてカウントされます。
- 貼り付けようとした冒頭文や署名と本文(添付したメロディ・画像を含む)の合計が全角で5,000文字、半角で10,000文字を超えてしまうときは、冒頭文や署名を貼り付けることができません。

センター問い合わせの内容を設定する　<iモード問い合わせ設定>

お買い上げ時	すべて「問い合わせをする」

「iモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目を設定します。「メール」(iモードメール)、「メッセージリクエスト」、「メッセージフリー」それぞれについて、問い合わせるかどうかを設定します。

1 **(Menu)▶ 各種設定 ▶「アプリケーション通信設定」▶「iモード問い合わせ設定」の順に選ぶ**

2 **問い合わせる項目を選び、[完了]を押す**

☑：問い合わせをする
□：問い合わせをしない

表示される文字のサイズを設定する　<文字サイズ設定>

お買い上げ時	標準表示

メール詳細画面のメール本文の文字の大きさを選びます。

1 **(Menu)▶ メール ▶「メール設定」▶「文字サイズ設定」の順に選ぶ**

2 **文字サイズを選んで◉[選択]を押す**

標準表示：標準の文字サイズで表示されます。
縮小表示：文字サイズが縮小されます。
拡大表示：文字サイズが拡大されます。
メール詳細画面でまたはを1秒以上押して文字サイズを切り替えることもできます。また、メール詳細画面で機能メニューから「文字サイズ設定」を選んでも文字サイズを切り替えられます。いずれの方法で切り替えた場合でも、この設定は変更されます。

スクロール行数を設定する　<スクロール設定>

お買い上げ時	1行スクロール

メール詳細画面でを押したときに、画面が何行分送られて(スクロールされて)表示されるかを選びます。

1 **(Menu)▶ メール ▶「メール設定」▶「スクロール設定」の順に選んで、スクロール行数を選ぶ**

1行スクロール：1行単位でスクロールされます。
3行スクロール：3行単位でスクロールされます。
5行スクロール：5行単位でスクロールされます。
スクロール行数は、メール詳細画面で機能メニューから、「スクロール設定」を選んでも設定できます。この場合、この設定も変更されます。

メールを本文から表示する　＜本文表示設定＞

お買い上げ時　**通常表示**

メールを開いたときに、先頭(受信日時／送信日時)から表示するか、メールの本文から表示するかを設定します。

1 (Menu)▶メール▶「メール設定」▶「本文表示設定」の順に選んで、表示方法を選ぶ

通常表示　：メールの先頭(受信日時／送信日時)から表示します。
本文から表示：メールの本文から表示します。
メールの本文が1ページ以内に表示できる場合は、「本文から表示」を設定しても、メールの先頭の全部または一部と本文が表示されます。

一覧画面の表示について設定する　＜メール一覧表示設定＞

お買い上げ時　**2行表示**

メールの一覧画面を2行表示、または1行表示に切り替えられます。

1 (Menu)▶メール▶「メール設定」▶「メール一覧表示設定」の順に選ぶ

2行表示：メール一覧画面を2行表示に設定します。
1行表示：メール一覧画面を1行表示に設定します。

操作中のメール受信を通知する　＜受信表示設定＞

お買い上げ時　**操作優先**

FOMA端末の操作中にメールやメッセージリクエスト／フリーを受信したとき、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

1 (Menu)▶メール▶「メール設定」▶「受信表示設定」の順に選ぶ

2 優先する表示を選ぶ

通知優先：FOMA端末の操作中にメールやメッセージリクエスト／フリーを受信したときに、受信中画面および受信結果を表示します。
操作優先：FOMA端末の操作中にメールやメッセージリクエスト／フリーを受信したときに、受信中画面および受信結果画面を表示せず、操作中の画面を表示したままにします。

おしらせ

- 「操作優先」に設定し、端末の操作中にメールやメッセージリクエスト／フリーを受信したときは、イメージウィンドウの新着メール表示および、ディスプレイの「」(青)、「」(緑)、「」(紫)の表示でメールやメッセージリクエスト／フリーの受信を知らせます。着信音、バイブレータ、着信ランプの点灯、バックライトの点灯は行いません。
- iアプリ、「iモーション」、「キャラ電」、カメラなどの機能を利用しているときは、「通知優先」に設定していても、メールやメッセージリクエスト／フリーを受信したときに、受信中画面および受信結果画面は表示されません。

メールを選択して受信できるようにする <メール選択受信設定>

お買い上げ時	OFF

メールの選択受信を行うかどうかを選びます。選択受信を行なわない場合は、メールを自動受信します。

- この設定はiモードメールにのみ適用されます。SMSとメッセージリクエスト／フリーは、この設定にかかわらず自動受信します。
- メール選択受信設定を「ON」にすると、iモードメールの自動受信ができなくなります。

1 **(Menu)▶ メール ▶「メール設定」▶「メール選択受信設定」の順に選ぶ**

2 **メールを選択受信するかどうかを選んで◉[選択]を押す**

メールを自動受信する場合
「OFF」を選ぶ
メールを選択受信する場合
「ON」を選ぶ
「ON」に設定すると、センターにメールが届いたときに「」が表示されます。このとき、着信音が鳴ったり、バイブレータが振動することはありません。

おしらせ

- 「ON」に設定していても、「iモード問い合わせ」を行うとiモードセンターに保管されているすべてのiモードメールを受信します。「iモード問い合わせ」利用時にiモードメールを受信したくない場合には、「iモード問い合わせ設定」で「メール」を「問い合わせしない」に設定してください。

宛先をメールメンバーに登録する <メールメンバー登録>

お買い上げ時	未登録

複数の宛先をFOMA端末のメールメンバーに登録することにより、iモードメール作成時に、宛先にメールメンバーを指定するだけで複数の宛先を簡単に入力できます。

- メールメンバーには20件まで登録でき、1件あたりメールアドレスを5件まで登録できます。

<例：電話帳からメールメンバーを登録する場合>

1 **(Menu)▶ ユーザデータ ▶「メールメンバー」の順に選ぶ**

2 **メールアドレスを登録する項目を選ぶ**

3 **「<未登録>」を反転表示して、機能メニューから「アドレス参照入力」－「電話帳」を選ぶ**

送信アドレス一覧から登録する場合
「送信アドレス一覧」を選ぶ
受信アドレス一覧から登録する場合
「受信アドレス一覧」を選ぶ
メールアドレスを入力して登録する場合
「アドレス編集」を選んでメールアドレスを入力する
メールアドレスは半角の英数記号で50文字まで入力できます。
パケット通信の着信履歴はメールメンバーには登録できません。

メール

次ページへつづく

4 電話帳を検索して、電話帳の詳細画面でメールアドレスを選ぶ

選択したメールアドレスがメールメンバーに登録されます。
電話帳の検索について→P.114
メールアドレスを追加登録するときは、操作3～4を繰り返します。

メンバー名を変更する
メールメンバーの一覧画面で変更したいメールメンバーを反転表示して、機能メニューから「メンバー名編集」を選びます。
メンバー名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502
メンバー名をすべて削除して◉[確定]を押すと、お買い上げのときのメンバー名になります。

メンバー名を初期化する
メールメンバーの一覧画面で初期化したいメールメンバーを反転表示して、機能メニューから「メンバー名初期化」を選んで「YES」を選びます。
変更していたメンバー名を初期化するとお買い上げのときのメンバー名になります。

メールアドレスの詳細画面を表示する
メールメンバーの一覧画面でメールアドレスが登録されているメールメンバーを選んで一覧画面でメールアドレスを選びます。

メールメンバーのメールアドレスを変更する
メールアドレスの詳細画面、または一覧画面で変更したいメールアドレスを反転表示して、[編集]を押します。
変更したいメールアドレスを反転表示して、機能メニューから「アドレス編集」を選んでも変更できます。
「電話帳」、「送信アドレス一覧」、「受信アドレス一覧」から参照して入力するときは、メールアドレスの詳細画面、または一覧画面で変更したいメールアドレスを選んで機能メニューから「アドレス参照入力」を選びます。「YES」を選び、項目を選んで変更します。

メールアドレスを1件削除する
メールアドレスの詳細画面、または一覧画面で削除したいメールアドレスを反転表示して、機能メニューから「1件削除」を選んで「YES」を選びます。

メールアドレスをすべて削除する
メールアドレスの詳細画面、または一覧画面で機能メニューから「全削除」を選んで「YES」を選びます。
全削除を行ってもほかのメールメンバーのメールアドレスは削除されません。また、全削除を行ってもメンバー名は削除されません。メンバー名を削除したい場合は、メンバー名を初期化してください。

メロディの自動再生ON／OFFを設定する　<開封時メロディ再生設定>

お買い上げ時	自動再生する

受信したiモードメールを開いたときに、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

1 (Menu)▶メール▶「メール設定」▶「開封時メロディ再生設定」の順に選ぶ

自動再生する　：iモードメールを開いたときにメロディを自動再生します。
自動再生しない：iモードメールを開いたときにメロディを自動再生しません。

メール

iモードメールに貼り付けられたメロディについて設定する　<貼付メロディ設定>

お買い上げ時	有効

メール本文に貼り付けられたメロディの再生や保存ができるようにするかどうかを設定します。

● iモードメールに貼り付けられたメロディ（メール詳細画面で「 」のアイコンのついているメロディ）についてのみ適用されます。iモードメールに添付されたメロディには適用されません。

1 **(Menu)▶ メール ▶「メール設定」▶「貼付メロディ設定」の順に選ぶ**

有効：メロディの再生、保存を可能にします。
無効：メロディの再生、保存は行えず、メロディは本文内にテキストとして表示されます。
「無効」に設定すると、「 」のアイコンがメール一覧画面では「 」または「 」のアイコンに変わります。メール詳細画面では文字列の表示に変わります。

iモードメールからのiアプリの起動について設定する　<iアプリTo設定>

お買い上げ時	有効

iモードメールから、iアプリを起動できるようにするかどうかを設定します。

1 **(Menu)▶ メール ▶「メール設定」▶「iアプリTo設定」の順に選ぶ**

有効：iアプリを起動できます。
無効：iアプリを起動できません。
「無効」に設定すると、「 」のアイコンがメール一覧画面では「 」のアイコンに変わります。メール詳細画面では表示されず、iアプリが起動できなくなります。

iモードメールからのiモーションの取り込みについて設定する　<貼付iモーション設定>

お買い上げ時	有効

iモードメールの本文に貼り付けられたiモーションを取り込めるようにするかどうかを設定します。（2004年11月末以降は、本機能の設定にかかわらず、URLを押下することによりiモーションの取り込みが行われます。）

● この設定は、センターからデータを取得する前のiモーションメールについての設定です。すでにデータ取得済みのiモーションメールには適用されません。

1 **(Menu)▶ メール ▶「メール設定」▶「貼付iモーション設定」の順に選ぶ**

有効：iモーションを取り込みます。
無効：iモーションを取り込みません。
「無効」に設定すると、「 」のアイコンがついているiモーションがメール一覧画面では「 」のアイコンに変わります。メール詳細画面では表示されず、いずれの場合も、iモーションを取得できなくなります。

iモーションを自動で再生しないようにする　<iモーション自動再生設定>

お買い上げ時	自動再生する

受信メール画面からiモーションを取り込んだときに、iモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。（2004年11月末以降は、本機能の設定にかかわらず、「自動再生設定」（P.336）の設定に従って動作します。）

メール

次ページへつづく

1 (Menu)▶ メール ▶「メール設定」▶「iモーション自動再生設定」の順に選ぶ

自動再生する　：iモーションを取り込み中または取り込んだ後、自動再生します。「自動再生する」に設定した場合、iモーションによっては取り込み中に自動的に再生がはじまります。再生が終了するとiモーション取得完了の画面が表示されます。
自動再生しない：iモーションを取り込んだ後、自動再生しません。「自動再生しない」に設定すると、iモーションを取り込んだ後、自動再生を行わず、iモーション取得完了の画面を表示します。

添付ファイルを受信しないようにする　＜添付ファイル設定＞

お買い上げ時	メロディを受信する 画像を受信する

iモードメールに添付されたファイルを受信するかどうかを設定します。

● 「□」(チェックを外した状態)に設定すると、その添付ファイルはiモードセンターで削除されます。削除されたことは通知されませんのでご注意ください。
● この設定は添付されたメロディ、画像にのみ適用されます。本文に貼り付けられたメロディはこの設定にかかわらず受信します。

1 (Menu)▶ メール ▶「メール設定」▶「添付ファイル設定」の順に選ぶ

「メロディ有効」、「画像有効」それぞれについて、受信するかどうかを設定します。

2 受信しない添付ファイルのチェックを外して(「□」の状態) [完了]を押す

スピードフォトメールを受信したときの表示について設定する　＜スピードフォトメール表示設定＞

お買い上げ時	自動表示する

音声通話中にスピードフォトメールを受信したとき、写真(静止画)を自動で表示するかどうかを選びます。

● 「自動表示する」に設定していても「添付ファイル設定」で画像の受信を無効に設定している場合、受信したスピードフォトメールの静止画は削除され、表示されません。

1 (Menu)▶ メール ▶「メール設定」▶「スピードフォトメール表示設定」の順に選ぶ

2 設定する項目を選ぶ

自動表示する　：スピードフォトメールを受信したときに自動で静止画を表示します。
自動表示しない：スピードフォトメールを受信したときに自動で静止画を表示しません。
「自動表示しない」に設定し、スピードフォトメールを受信したときは、静止画が添付されたメールの受信になります。静止画を表示するには、受信したメールを表示します。

メール設定の内容を確認する　＜メール設定確認＞

「メール設定」で設定した内容を確認できます。

1 (Menu)▶ メール ▶「メール設定」▶「メール設定確認」の順に選ぶ

「メール設定」の次の各項目について、現在の設定が表示されます。

- スクロール
- メール一覧表示
- セキュリティ
- 添付ファイル
- 受信表示
- スピードフォトメール表示
- 貼付iモーション
- SMS report
- 文字サイズ
- 本文表示
- 開封時メロディ再生
- メール選択受信
- iモーション自動再生
- 貼付メロディ
- iアプリTo
- SMS有効期間

メール設定を初期状態に戻す　＜メール設定リセット＞

「メール設定」の設定内容を、お買い上げのときの状態に戻します。
リセットされる項目およびリセット後の状態は次のとおりです。

設定項目	メール設定リセット時
スクロール設定	1行スクロール
文字サイズ設定	標準表示
メール一覧表示設定	2行表示
本文表示設定	通常表示（先頭から表示する）
セキュリティ設定	受信BOX：OFF
	送信BOX：OFF
	保存BOX：OFF
開封時メロディ再生設定	自動再生する
添付ファイル設定	メロディ有効　：ON
	画像有効　：ON
メール選択受信設定	OFF
冒頭文／署名設定	冒頭文　：　未登録 自動貼付する
	署名：　未登録 自動貼付する
	引用符：>
受信表示設定	操作優先
iモーション自動再生設定	自動再生する
スピードフォトメール表示設定	自動表示する
貼付メロディ設定	有効
貼付iモーション設定	有効
iアプリTo設定	有効
SMS report設定	要求しない
SMS有効期間設定	3日

1 (Menu)▶ メール ▶「メール設定」▶「メール設定リセット」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152
設定をリセットするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、設定がリセットされ、お買い上げのときの状態に戻ります。

メール

SMSを作成して送信する

SMSを作成して送信する

SMSを新規で作成して送信します。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも、SMSの送受信を行うことができるようになります。サービス開始時期および利用可能な海外通信事業者についてはドコモのホームページでお知らせいたします。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれている場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは、『国際ローミングサービスマニュアル（FOMA N900iG）』をご覧ください。

1 **(Menu)▶メール▶「SMS作成」の順に選ぶ**

2 **「To」を選び、宛先を入力して● [確定]を押す**

SMSの宛先には、20桁までの相手先電話番号を入力します（「＋」は桁数にカウントされません）。また、宛先は1件のみ入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

宛先がドコモ以外の海外の通信事業者の場合
「＋」（0を1秒以上押す）－国番号－電話番号の順に入力する
電話番号が「0」ではじまる場合は、「0」を除いて入力します。

電話帳を参照して宛先を入力する場合
新規SMS画面で機能メニューから「宛先参照入力」－「電話帳」を選んで電話帳を検索する
電話帳の検索について→P.114

入力した宛先を変更する場合
新規SMS画面で宛先を選んで電話番号を入力し直す
新規SMS画面で機能メニューから「宛先参照入力」を選んで宛先を変更（上書き）することもできます。

次の場合は、入力した宛先にSMSを送信することはできません。
- 宛先に数字、「*」、「＃」、「＋」以外の文字が含まれているとき
- 宛先にスペースが含まれているとき
- 宛先に「＋」が複数入力されているとき
- 宛先の先頭以外に「＋」があるとき
- 入力文字数が最大20桁（「＋」を除く）を超えるとき

宛先の先頭に「186」／「184」または「*31＃」／「＃31＃」を入力して送信しようとしたときは、発番号設定を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、「186」／「184」または「*31＃」／「＃31＃」を削除してSMSを送信します。

3 **「本文」を選び、本文を入力して● [確定]を押す**

本文編集画面では、全角で80文字分まで入力できますが、送信できるのは全角／半角カタカナは70文字、半角の英数字や記号（｡｢｣{}[]｜､･-ﾞﾟ＾｀~を除く）のみでは160文字までです。
送信可能な文字数を超えた場合は文字数オーバーのため文末が削除されることを確認するメッセージが表示され、「YES」を選ぶと超えた部分を削除して送信します。
スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
機能メニューから「本文消去」を選ぶと本文のみを消去できます。「SMS削除」を選ぶと編集中のSMSを削除できます。
文字の入力のしかた→P.502

メール

4 新規SMS画面で[送信]を押す

メール送信中のアニメーション画面が表示され、SMSが送信されます。「OK」を押すとメールメニュー画面に戻ります。

未完成のSMSを一時保存する場合

SMS作成中に機能メニューから「保存」を選ぶ
作成中のSMSが保存BOXに保存されます。iモードメールと合わせて10件まで保存できます。保存したSMSはあとで再編集して送信できます。

送信前にSMSの内容を確かめる場合<送信プレビュー>

SMS作成中に機能メニューから「送信プレビュー」を選ぶ
SMSの宛先、本文を確認できます。
送信済み、未送信のSMSを再編集するには→P.250
本文などをコピーするには→P.284
送信を行わずにCLR、PWR HLDを押したときは、内容を破棄して編集を終了することを確認するメッセージが表示されます。

SMS report（送達通知）について〈SMS report表示〉

「SMS report設定」を「要求する」に設定した場合、SMS送信後にSMS reportが送られてきます。SMS reportは受信BOXに保存されますが、送信したSMSにもSMS reportが保存され、送信したSMSが相手に届いたかどうかを確認できます。
SMS report（ ）があるSMSを表示し、機能メニューから「SMS report表示」を選びます。
SMS reportは、受信メール一覧画面でSMS reportを選んでも表示できます。SMS reportは題名に「SMS report」と表示されます。

おしらせ

- FOMA端末に保存されている送信メール（SMSとiモードメールの合計）が最大保存件数（400件）を超えた場合は、送信メールの古いメールから順に自動的に消去されます。ただし、保護されている送信メールは消去されません。必要な送信メールは保護することをおすすめします。→P.287
- 「ダイヤル発信制限」を設定している場合の宛先入力は、電話帳や送信アドレス一覧を使った場合のみ行えます。
- 「指定発信制限」を設定しているときは、「指定発信制限」に指定されていない電話番号を電話帳参照で呼び出すことはできません。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。
- SMSの再編集を行った場合、「SMS report設定」および「SMS有効期間設定」は送信した時の設定で送信されます。
- 送信後、SMSが相手に届いたかどうかを通知するSMS reportが届くように「SMS report設定」で設定できます。「SMS report設定」はSMS作成中に機能メニューから「SMS report設定」を選んでも設定できます。機能メニューで変更した「SMS report設定」および「SMS有効期間設定」の設定は、保存BOX内でも保持されます。
- 発信者番号通知を「通知しない」に設定しても、SMS送信時は受信側に発信者番号が通知されます。

SMSを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。SMSが届くと、画面の上部に「 」（青または赤）のアイコンが表示されます。受信したSMSは、「受信BOX」内に保存されます。

- 受信したSMSは、FOMA端末にiモードメールと合わせて最大で1,000件まで保存できます。受信メールの保存可能件数は、メールのデータ量により21～1,000件と変動します。また、SMSはFOMAカードに20件まで保存することもできます。
- メールを受信したときの着信音を「着信音選択」でお好みの音に設定したり、メールを受信したときの点滅パターンを「着信イルミネーション」で変更したりできます。
- movaサービスのiモード端末から送信されたショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。
- FOMA端末の操作中にSMSを受信したときは、お買い上げのときの設定では受信中画面は表示されず、そのまま操作を続けることができます。着信音、着信ランプの点灯、バイブレータ、バックライトの点滅は行わず、「 」（青または赤）のアイコン表示によって、メールを受信したことが通知されます。
- FOMA端末の操作中にSMSを受信したときに、着信音が鳴り、受信中画面が表示するように設定することもできます。→P.296

次ページへつづく

1 SMSを受信すると、「✉」(青または赤)のアイコンが点滅し「メール受信中…」と表示される

受信が終わると、受信結果画面に受信したSMS、iモードメールやメッセージリクエスト／フリーの件数が表示されます。
「メール」を選ぶと、受信メール一覧画面が表示されます。
何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。受信結果画面が表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わります。
着信音の音量は「着信音量」の「メール／メッセージ」で設定した音量になります。

おしらせ

- FOMA端末に保存されている受信メール(iモードメールとSMSの合計)が最大保存件数(1,000件)を超えた場合は、受信時にゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に消去されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メールは消去されません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。→P.287
- 表示中(受信メールの一覧画面または詳細画面)の受信メールは消去されません(表示中にタスク切り替えを行った場合も含む)。受信メールの一覧画面または詳細画面を表示中にメールを受信したときは、表示中のメール以外のゴミ箱のメール、古いメール(未読と保護を除く)から順に消去されます。
- FOMAカード内のSMSは消去されません。
- SMSを受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順は次のとおりです(①が最も優先度が高くなります)。
  ①電話番号ごとに指定した「電話帳便利機能」
  ②グループごとに指定した「グループ便利機能」
  ③「着信音選択」、「着信イルミネーション」
- 複数のSMSを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件で、着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。
- movaサービスのiモード端末からショートメールを受信した場合は、送信元の電話番号が表示されます。ただし、発信者番号が通知されないときは、通知されない理由(P.166)が表示されます。

センターに保管されているSMSを受信する　<SMS問い合わせ>

- SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないとき、「圏外」が表示されているとき、メモリがいっぱいのときなどで受信できないときはSMSセンターに保管されます。「SMS問い合わせ」を行って受信します。
- 「圏外」が表示されているときは問い合わせできません。

1 (Menu)▶▶「SMS問い合わせ」の順に選ぶ

問い合わせ中は、「問い合わせ中…」と表示されます。問い合わせが終わると問い合わせを行ったというメッセージが表示されるので、●[選択]を押します。
センターにSMSが保管されていれば、自動受信がはじまります。問い合わせを行った後、自動受信がすぐにはじまらない場合があります。

問い合わせを中止する場合

CLRを1秒以上押す
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりSMSを受信することがあります。

おしらせ

- 「✉」(赤)、「✉」(赤)などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやSMSを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してください。読んだり、保護を解除したメールは、受信時に古いものから順に消去されます。
- SMS問い合わせ中にセンターでお預かりしたSMSは、件数に反映されないことがあります。

新着SMSを表示する

- 受信メール一覧画面の題名にはSMSの本文の先頭が表示されます。
- SMS report（送達通知）の題名は「SMS report」と表示されます。

1 **(Menu)▶ メール ▶「受信BOX」▶「受信BOX」の順に選ぶ**

追加したフォルダがある場合は、受信BOXフォルダ一覧画面でフォルダを選びます。
受信メール一覧画面が表示されます。

2 **表示したいメールを選ぶ**

前後のメールを表示する場合
メール詳細画面で を押す
受信したSMSに表示できない文字が含まれている場合、その文字はスペースで表示されます。
CLRを押すと、受信メール一覧画面に戻ります。

待受画面でメールを受信した場合

SMSやSMS reportを受信すると待受画面に「メール」が表示され、これを選ぶと「新着メールあり」と表示されます。ただし、受信BOX画面を表示しているときに受信した場合など、表示されないこともあります。このアイコンを選ぶと受信メール一覧画面が表示されます。
FOMA端末を閉じているときにSMSを受信すると、イメージウィンドウにメールを受信したことを示すアイコンが表示されます。→P.37

おしらせ

- 表示したSMSの本文で反転している情報から、電話をかけたり新規iモードメールを作成するなどの操作が行えます。
- 表示したSMSの送信元の電話番号は反転表示されます。反転した状態で●[選択]を押すと、表示されている電話番号に音声電話やテレビ電話をかけられます（Phone To機能／AV Phone To機能）。また、送信元の電話番号が電話帳に登録されているときは、登録されている「名前」が反転表示されます。この場合も同じ操作で電話をかけられます。
- 「SMS report設定」でSMS reportを要求するように設定した場合のみ、SMS reportが送られてきます。
- 受信メール一覧画面で機能メニューから「メール情報」を選ぶと、メールを開く前に送信元とSMSセンターに届いた日付・時刻を確認できます。
- SMSの送信元の電話番号をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けられます。貼り付けたアイコンから、その電話番号を宛先とする新規SMSを作成できます。
ただし、「Fm」のついた電話番号はデスクトップアイコンとして貼り付けられません。

受信したSMSに返信／転送する

SMSの送信元に返信／転送できます。

- 詳しい操作手順はiモードメールの返信（P.271）、転送（P.273）を参照してください（題名の入力はできません）。
- 「ダイヤル発信制限」（P.159）を設定しているときは、返信できません。ただし、「ダイヤル発信制限」を設定していても、送信元の電話番号が電話帳に登録されている場合は返信することができます。

<例：SMSに返信する場合>

1 **返信するSMSの詳細画面を表示し、[返信]を押す**

次ページへつづく

2 本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.302の操作3～4を参照してください。

おしらせ

- SMSでは引用返信、参照返信はできません。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
- SMS reportは返信／転送することはできません。
- FOMAカード内のSMSを返信／転送した場合、受信メール一覧画面、受信メール詳細画面で「」／「」のアイコンは表示されず「」のアイコンの表示のままとなります。

SMSの設定を行う

SMS reportを要求するようにする ＜SMS report設定＞

お買い上げ時	要求しない

SMSを送信したときに、SMS report(送達通知)を要求するかどうかを設定します。

1 (Menu)▶メール▶「メール設定」▶「SMS report設定」の順に選ぶ

2 「要求する」を選ぶ

要求する　：SMSの送信後にSMS report が届きます。
要求しない：SMSを送信してもSMS reportは届きません。

おしらせ

- SMS reportの要求は、SMS作成時の新規SMS画面の「機能メニュー」から「SMS report設定」を選んでも設定できます。この場合、設定内容は作成している新規SMSに対してのみ有効となり、この設定は変更されません。

SMSの有効期間を設定する ＜SMS有効期間設定＞

お買い上げ時	3日

●送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を設定します。

1 (Menu)▶メール▶「メール設定」▶「SMS有効期間設定」の順に選ぶ

2 SMSセンターに保管される期間を選ぶ

おしらせ

- SMSの有効期間は、SMS作成時の新規SMS画面の機能メニューから「SMS有効期間設定」を選んでも設定できます。この場合、設定内容は、作成している新規SMSに対してのみ有効であり、この設定は変更されません。

メール

SMSセンターについて設定する　＜SMS center設定＞

※通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時	ドコモ

ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します。

＜例：他社のSMSセンターを利用する場合＞

1 (Menu)▶各種設定▶「アプリケーション通信設定」▶「SMS center設定」の順に選ぶ

ドコモ　　：ドコモのSMSセンターを利用します。
ユーザ設定：他社のSMSセンターを利用します。

お買い上げのときの設定（ドコモ）に戻す場合

「リセット」を選び、端末暗証番号（P.152）を入力して●[確定]を押す
確認のメッセージが表示されますので、「YES」を選ぶと設定がリセットされます。
「リセット」を行うと「ユーザ設定」で設定した内容が削除されます。

2 「ユーザ設定」を選んでSMSセンターのアドレスを入力し、●[確定]を押す

アドレスは20桁まで入力できます。

3 「Type of number」を選ぶ

「International」または「Unknown」から選びます。

おしらせ

- SMS center設定を誤って変更すると、SMSが送信できなくなります。
- 入力したSMSセンターアドレスに、「＃」「＊」が含まれていた場合、「Type of number」の「International」を選ぶことはできません。
- 操作3で「International」を選ぶと、操作2で入力したアドレスの先頭に「＋」がついて登録されます。

FOMAカード操作

SMSをFOMAカードに保存する

FOMA端末（本体）に保存されているSMSを、FOMAカードに移動したり、コピーして保存できます。また、FOMAカードに保存されているSMSを本体に移動またはコピーできます。

- FOMAカードには、受信SMSと送信SMSを合計20件まで保存することができます。

SMSをFOMAカードに移動またはコピーする

＜例：受信フォルダ内のSMSをFOMAカードに移動する場合＞

1 受信メール一覧画面でFOMAカードに移動するメールを反転表示し、機能メニューから「FOMAカード操作」を選ぶ

2 操作内容を選んで「YES」を選ぶ

FOMAカードへ移動　：FOMA端末（本体）のSMSをFOMAカードへ移動します。
FOMAカードへコピー：FOMA端末（本体）のSMSをFOMAカードへコピーします。
受信SMSをFOMAカードに移動またはコピーすると、移動またはコピーしたSMSは受信BOXフォルダ内に表示されます。
送信メール一覧画面、送信メール詳細画面、受信メール詳細画面で機能メニューから「FOMAカード操作」を選んでも移動またはコピーできます。

次ページへつづく

おしらせ

- 電池パックを外すと、FOMAカード内の送信SMSの日付・時刻が消去され、一覧の最後に表示されます。ただし、SMS reportが一緒に保存されている送信SMSの場合、日付・時刻は消去されません。
- 返信／転送したSMSをFOMAカードへ移動またはコピーすると、「」や「」のアイコンが「」のアイコンに変わります。
- FOMAカードへ移動またはコピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードに移動またはコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。
- 送信したSMSのSMS reportがある場合、SMSと送信したSMSに含まれているSMS reportは一緒にFOMAカードに移動またはコピーされます。
- 受信BOX内のSMS reportはFOMAカードへ移動またはコピーできません。
- FOMAカード内にすでにSMSを20件保存しているときは、画面上部に「」(赤)または「」(青／赤)、「」(赤)のアイコンが表示され、FOMAカードへの移動またはコピーはできません。
- アクセサリの「FOMAカード操作」を利用してSMSのコピー／削除することもできます。→P.118

FOMAカード内のSMSをFOMA端末(本体)に移動またはコピーする

<例：FOMAカード内のSMSを受信フォルダに移動する場合>

1 受信メール一覧画面でFOMA端末(本体)に移動するメールを反転表示し、機能メニューから「FOMAカード操作」を選ぶ

2 操作内容を選んで「YES」を選ぶ

FOMAカードから移動　：FOMAカードのSMSをFOMA端末(本体)へ移動します。
FOMAカードからコピー：FOMAカードのSMSをFOMA端末(本体)へコピーします。

送信メール一覧画面、送信メール詳細画面、受信メール詳細画面で機能メニューから「FOMAカード操作」を選んでも移動またはコピーできます。

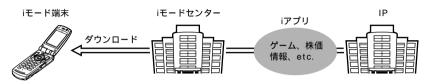
おしらせ

- 送信したSMSのSMS reportがある場合、SMSと送信したSMSに含まれているSMS reportは一緒にFOMA端末(本体)に移動またはコピーされます。
- FOMA端末(本体)の、受信メールの最大保存件数(1,000件)を超える場合、および送信メールの最大保存件数(400件)を超える場合は、FOMA端末(本体)への移動またはコピーはできません。
- アクセサリの「FOMAカード操作」を利用してSMSのコピー／削除することもできます。→P.118

iアプリ

＜お買い上げ時に登録されているiアプリソフト一覧＞

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードする(取り込む)ことにより、iモード対応FOMA端末(以下、iモード端末)を便利に活用いただけます。たとえばiモード端末にいろいろなゲームを取り込んで楽しんだり、株価情報のiアプリを取り込むことにより、株価を定期的に自動チェックできます。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけを取り込むため、スムーズなスクロールが可能です。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などマルチメディアと連動できるiアプリもあります。

●iアプリをダウンロードするには→P.312
●iアプリを実行するには→P.315
●iアプリを自動起動するには→P.321

おしらせ

- ソフトによってはiモード端末の携帯電話情報(FOMA端末の機種や製造番号、FOMAカードの識別番号など)を利用する場合があります。
- ソフトによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

登録データを利用する

iアプリのソフトには、お客様のiモード端末の登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報)を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

・ 電話帳登録
・ アイコン情報利用
・ ブックマーク登録
・ スケジュール登録
・ マルチメディアからの画像取得
・ マルチメディアへの画像保存

■ iアプリDXとは

iアプリDXでは、iモード端末の情報(メールや発着信履歴、電話帳のデータなど)と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。→P.319

登録データを利用する

iアプリDXのソフトでは、通常のiアプリで利用できる登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報)に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

・ 電話帳登録
・ 電話帳参照
・ アイコン情報利用
・ ブックマーク登録
・ スケジュール登録
・ メールメニューの利用
・ iモードメール作成画面利用
・ 最新の発信履歴参照
・ 最新のリダイヤル参照
・ 最新の着信履歴参照
・ 最新の未読メール参照
・ メロディ保存
・ 着信音変更(電話、メール、メッセージ)
・ マルチメディアからの画像取得
・ マルチメディアへの画像保存
・ 画面設定の変更(待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージリクエスト/フリー受信)

おしらせ

- iアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず自動的に通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- iアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。→P.57

メール連動型iアプリとは

メール連動型iアプリはiアプリDXの一種で、iモードメールで情報をやり取りすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

・ メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

こんなこともできます

iアプリ待受画面

iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。→P.140、P.325

・iアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

iアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。→P.321

カメラ撮影

ソフトからiモード端末のカメラを使って撮影できます。→P.329

・カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

赤外線通信

ソフトから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより幅広い使いかたができます。→P.330

・赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
・相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。→P.400

赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

iアプリメニューを表示する

1 (Menu)▶ の順に選ぶ

項目	説明	参照ページ
1 ソフト一覧	ソフトの一覧を表示します。	P.315
2 自動起動設定	指定した日時にiアプリを自動的に起動するかどうかを設定します。	P.321
3 iアプリ実行情報	iアプリ待受画面の強制終了や自動起動の日時など、iアプリの実行情報を確認します。	P.322 P.329

iアプリをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末で実行できます。

- ダウンロードしたソフトは最大200件まで(メール連動型iアプリは5件まで)保存できます。保存可能件数はソフトのデータ量により10〜200件と変動します。
- メール連動型iアプリをダウンロードした場合、送信フォルダおよび受信フォルダ一覧にiアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型iアプリ名がつき、変更できません。
- メール連動型iアプリ専用のフォルダが5件ある場合、または同じ受信フォルダ、送信フォルダを利用するメール連動型iアプリがすでに保存されている場合は、メール連動型iアプリをダウンロードできません。
- 「セキュリティ設定」で送信BOX／受信BOXにセキュリティが設定されている場合は、メール連動型iアプリをダウンロードできません。
- メール連動型iアプリを利用して送受信したメールは、メール連動型iアプリをダウンロードするときに作成されるフォルダに自動的に振り分けられます。また、受信したメールを手動で振り分けることもできます。
- フォルダを残して削除したメール連動型iアプリをもう一度ダウンロードした場合は、残していたフォルダを利用することができます。また、残していたフォルダを削除して新規のフォルダを作成することもできます。残していたフォルダを利用せずに、新規のフォルダも作成していない場合は、メール連動型iアプリがダウンロードできません。

■ 保存件数やメモリに空きがある場合

1 サイトの画面などからソフトを選んでダウンロードする

ダウンロードが完了すると、「完了しました」というメッセージが表示されます。ただし、サイトからすぐに起動するソフト(P.313)の場合、メッセージは表示されずにソフトが起動します。

データの受信中にダウンロードを中止する場合

●[選択]を押す

2 「YES」を選んでソフトを起動する

ソフトを起動すると画面下に「」が表示されます。

ソフトを起動しない場合

「NO」を選ぶ

ソフトの起動を中止する場合

ソフトの起動中に●[選択]を押す

おしらせ

- ダウンロード中に電波の状況などにより失敗した場合には、ダウンロードしたソフトは登録されません。
- ダウンロード中はタスクの切り替えができません。
- iアプリDXや登録データまたは携帯電話情報を利用するiアプリをダウンロードする場合は、登録データや携帯電話情報を利用することを通知するメッセージが表示されます。
- TLS／SSL対応のサイトからソフトの情報やソフトをダウンロードする場合は、「SSL」が表示されます。→P.212
- 通信して利用するソフトや待受画面に設定できるソフトをダウンロードした場合は、ソフト設定画面が表示されます。ダウンロードしたソフトに応じて設定したあと、CLRを押してください。
- ソフトの起動中に通信を許可するかどうかのメッセージが表示される場合があります。
- メール連動型iアプリ名とiアプリメール用フォルダ名は異なることがあります。

保存されているソフトがいっぱいの場合

すでにソフトが200件保存されている場合やメモリの空きが不足している場合は、ソフトがいっぱいであることを通知するメッセージが表示されます。すでに保存されているソフトを削除して新しいソフトをダウンロードする容量を確保してください。

1 保存時に表示される削除するかどうかのメッセージで「YES」を選ぶ

ソフトを削除しない場合
「NO」を選ぶ

2 削除するソフトを選ぶ

メモリの空きが不足している場合

ソフトを選ぶたびに「不足バイト数」とバーの目盛りが減ります。「不足バイト数」とバーの目盛りが0になるまで削除するソフトを選んでください。

3 [完了]を押して「YES」を選ぶ

ダウンロードが再開されます。

おしらせ

- ダウンロードを行う際に、電波の状況などにより失敗した場合には、ダウンロードしたソフトは登録されず、削除しようとしたソフトも削除されません。
- iアプリ待受画面に設定されているソフト(「★」のついているソフト)や自動起動するように設定されているソフトを削除しようとすると、設定中のソフトを削除して保存するかどうかのメッセージが表示されます。
- iアプリ待受画面に設定されているソフトを削除すると、「画面表示設定」の「待受画面」で設定されている待受画面になります。
- メール連動型iアプリを削除する場合は、対応するメール連動型iアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されます。メール連動型iアプリのみを削除する場合は「NO」を選びます。メール連動型iアプリと対応するメール連動型iアプリ専用の送信／受信フォルダおよびフォルダ内のすべてのメールを削除する場合は「YES」を選びます。ただし、メール連動型iアプリ専用の送信／受信フォルダが使用中の場合、フォルダにセキュリティが設定されている場合、または保護メールがある場合は、メール連動型iアプリやメール連動型iアプリ専用の送信／受信フォルダは削除できません。
- フォルダを残してメール連動型iアプリを削除した場合は、機能メニューからフォルダ内のメール本文を確認できます。
- メール連動型iアプリを削除すると、削除するソフトを選んでいる間に受信した新着メールが削除されることがあります。

すぐに起動するソフトについて

通常のiアプリのソフトとは異なり、ダウンロードを開始するとすぐに起動するiアプリのソフトがあります。ダウンロードが完了しても「完了しました」の画面が表示されず、すぐにソフトが起動します。

- ソフトの実行中に、通信するかどうかのメッセージが表示される場合があります。
- FOMA端末に保存できるソフトとできないソフトがあります。すぐに起動するソフトはダウンロードが完了して起動しても、FOMA端末にはまだ保存できていません。

  FOMA端末に保存できるソフトの場合
  ソフトを終了した後、保存するかどうかのメッセージが表示されます。FOMA端末に保存するときは「YES」を選びます。保存しないときは「NO」を選びます。

  FOMA端末に保存できないソフトの場合
  ソフトを終了するとサイト画面に戻ります。もう一度ソフトを起動する場合は、ダウンロードからやり直します。
- 保存したソフトは通常のiアプリのソフトと同様に実行することができます。

ダウンロード時にiアプリの情報を見る　＜ソフト情報表示設定＞

お買い上げ時	表示しない

ソフトをダウンロードするときにソフトの情報を確認できるように設定できます。ソフトの情報を確認した後、ダウンロードを継続するか中止するかを選べるので便利です。

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「iアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」の順に選ぶ

ソフト情報を表示する場合
「表示する」を選ぶ
ダウンロード時にソフト情報画面が表示されます。ソフト情報を確認したら●[確定]を押し、ダウンロードするかどうかを選んでください。

ソフト情報を表示しない場合
「表示しない」を選ぶ

ソフトの情報を確認する　＜ソフト情報＞

FOMA端末に保存されているソフトの情報を見ることができます。

1 (Menu)▶ iアプリ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 情報を確認するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト情報」を選ぶ

3 ソフト情報を確認する

またはを押すとページが切り替わります。
CLRを押すとソフト一覧画面に戻ります。

おしらせ

- TLS／SSL対応のページからダウンロードしたソフトの場合は、「TLS／SSL通信」の欄に「使用」と表示されます。
- 本機能で表示されるソフトのソフト名は変更できません。

iアプリ

ソフトの一覧画面のアイコン表示について

ソフト一覧画面では次のようなアイコンでソフトの種類や設定を確認できます。

：iアプリDXであることを示しています。→P.310
：メール連動型iアプリであることを示しています。
：「iアプリTo設定」や「iアプリ待受画面設定」（P.324、P.325）、「自動起動時刻設定」（P.321）を設定できるソフトであることを示します。ただし、「自動起動時刻設定」が設定できるソフトでも、「自動起動設定」（P.321）が「許可しない」に設定されている場合は「」は表示されません。
：「自動起動時刻設定」が設定されていることを示しています。→P.321
：「iアプリ待受画面設定」に設定されていることを示しています。
：「自動起動時刻設定」が設定され、「iアプリ待受画面設定」に設定されていることを示しています。
：TLS／SSL対応のページからダウンロードしたソフトであることを示しています。

iアプリを実行する

ソフト一覧画面からソフトを選んで起動します。

● ソフトによって操作するボタンは変わります。
● ソフトの実行中に再生されるメロディは、「着信音量」の「電話／TV電話」で設定した音量で鳴ります。
● ソフトの配色は「配色パターン」を変更しても変わりません。

1 **(Menu)▶ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ**

ソフト一覧画面が表示されます。
待受画面表示中に[imode]を1秒以上押しても表示できます。

2 **起動するソフトを選ぶ**

ソフトが起動され、画面下に「」が表示されます。iアプリDXの場合は「」が表示されます。

ソフトの起動を中止する場合
ソフトの起動中に[選択]を押す

■ ソフトを終了するには

1 **CLRを1秒以上押して「YES」を選ぶ**

を押して「YES」を選んでもソフトを終了できます。

ソフトを終了しない場合
「NO」を選ぶ

iアプリ

ソフトキーの使いかた

ソフトによっては、ディスプレイの最下段に[EXIT][BACK]など、設定や操作に関するガイダンスが表示されます。これをソフトキーといいます。ソフトキーを実行するには、対応するファンクションボタンを押してください。

おしらせ

- 「自動起動設定」を「許可する」に設定し、「自動起動時刻設定」を設定すると、ソフトを自動で起動できます。→P.321
- ソフトによってはダウンロードした後も自動的に通信するものがありますが、このサービスを利用するにはあらかじめFOMA端末での設定が必要です。
- ソフトの実行中にiモードメールを受信した場合は、「 」(青または赤)が表示されます。受信したメールを表示するには、ソフトを終了するか、またはマルチタスク機能をご利用ください。
- ソフトの起動中に通信を許可するかどうかのメッセージが表示される場合があります。→下記
- ソフト実行中(自動起動時も含む)に自動的に通信を行うには、あらかじめ「通信設定」(下記)を「通信する」に設定しておく必要があります。また、iアプリ待受画面に設定したソフトから自動的に通信を行うようにするには、あらかじめ「iアプリ待受画面通信設定」(P.326)を「通信する」に設定しておく必要があります。
- ソフトの実行中にiモーション(映像や音のデータ)が再生される場合があります。→P.332
- 3Dポリゴン※エンジン搭載により、iアプリで立体画像を表示できます。
  ※: 多角形(三角形や四角形など)を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ソフトの実行中は電池パックを外さないでください。それまでのデータや情報が保存されません。
- iアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
  ※: iアプリで利用する画像とは、カメラ連携(連動)のiアプリからカメラを起動して撮影した画像、iアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、iアプリがサイトやインターネット経由で取得した画像、iアプリがマルチメディアから取得した画像を指します。

通信を行うかどうかを設定する　<通信設定>

ソフトの実行中に通信できるように設定します。

●通信を利用しないソフトの場合は、本機能を設定できません。

1 (Menu)▶ iアプリ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」－「通信設定」を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

ソフトを起動するたびに通信するかしないかを選ぶ場合
「起動ごとに確認」を選ぶ

ソフト実行中に自動で通信する場合
「通信する」を選ぶ

ソフト実行中に通信しない場合
「通信しない」を選ぶ
ソフトの起動時に通信が許可されていないことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

- 「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。
- 「セルフモード」の設定中または「デュアルネットワークサービス」でムーバを有効にしている場合は、通信を行うソフトを起動できないことがあります。

アイコン情報通知を許可するかどうかを設定する　＜アイコン情報＞

未読メールやマナーモードなどのアイコン情報をiアプリで利用できるように設定します。

- アイコン情報を利用できないソフトの場合は、本機能を設定できません。

1 **(Menu)▶ iアプリ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ**

2 **設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」－「アイコン情報」を選ぶ**

3 **設定する項目を選ぶ**

アイコン情報を利用する場合
「利用する」を選ぶ

アイコン情報を利用しない場合
「利用しない」を選ぶ

おしらせ

- iアプリ待受画面に設定されているソフトの本機能を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号）と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

電話帳や履歴の参照を許可するかどうかを設定する　＜電話帳／履歴参照＞

iアプリDXを実行するときに、電話帳や最新の発信履歴、着信履歴、最新の未読メールを参照できるように設定します。

- シークレットデータの電話帳は、シークレットモードまたはシークレット専用モードに設定しないと参照できません。
- 履歴は「履歴表示設定」で「着信履歴」または「リダイヤル／発信履歴」が「OFF」に設定されていると参照できません。
- 電話帳や履歴を参照できないソフトの場合は、本機能を設定できません。

1 **(Menu)▶ iアプリ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ**

2 **設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」－「電話帳／履歴参照」を選ぶ**

3 **設定する項目を選ぶ**

参照を許可する場合
「許可する」を選ぶ

参照を許可しない場合
「許可しない」を選ぶ

着信音や画面の変更を許可するかどうかを設定する　<着信音／画像変更>

iアプリDXを実行するときに、電話やメールの着信音および待受画面やメール送受信時などの画像を自動的に変更できるように設定します。

● 着信音や画像を変更できないソフトの場合は、本機能を設定できません。

1 (Menu)▶ iアプリ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」－「着信音／画像変更」を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

ソフトが自動変更しようとするたびに変更するかどうかを確認する場合
「変更ごとに確認」を選ぶ

自動変更を許可する場合
「許可する」を選ぶ

自動変更を許可しない場合
「許可しない」を選ぶ

照明やバイブレータの設定をする　<α照明設定／αバイブレータ／αイメージウィンドウ>

お買い上げ時	すべてシステム依存

iアプリ実行中にバックライト、バイブレータ、イメージウィンドウの動作を、FOMA端末の設定(システム依存)に従わせるかソフトの設定(ソフト依存)に従わせるかを設定します。

動作箇所	iアプリ設定項目	動作内容	
		システム依存	ソフト依存
バックライト	α照明設定	「照明設定」→P.145	iアプリの設定に依存します。
バイブレータ	αバイブレータ	動作しません※	
イメージウィンドウ	αイメージウィンドウ	「イメージウィンドウ」→P.143	

※：「αバイブレータ」をシステム依存に設定した場合は、「バイブレータ」(P.127)の設定にかかわらず動作しません。

<例：バックライトの動作を設定する場合>

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「iアプリ設定」▶「α照明設定」の順に選ぶ

バックライトの動作をFOMA端末の設定に従わせる場合
「システム依存」を選ぶ

バックライトの動作をソフトの設定に従わせる場合
「ソフト依存」を選ぶ

iアプリ

ソフトからほかのソフトを起動する

起動中のソフトからほかのソフトを起動することができます。指定されたソフトを起動するソフトをダウンロードすることにより、ソフト一覧画面に戻らずにソフトを起動することができます。

●ほかのソフトを起動することに対応したソフトをダウンロードしておく必要があります。
●起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを指定します。

■ ソフトを起動する

1 ソフト起動中にほかのソフトを起動する操作を行う

ソフトを起動する方法はソフトによって異なります。
ソフトを起動するかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「YES」を選ぶ

起動中のソフトが終了し、起動先のソフトが起動します。

ソフトの起動を中止する場合
「NO」を選ぶ

■ ソフトを登録する

ソフトによっては、起動するソフトをあらかじめ登録しておく必要があります。

1 ソフト起動中にほかのソフトを登録する操作を行う

ソフトを登録する方法はソフトによって異なります。

2 「YES」を選ぶ

ソフト一覧画面が表示されます。

3 登録するソフトを選ぶ

ソフトが登録され、起動中のソフトに戻ります。

お買い上げ時に登録されているソフト

本FOMA端末には「Dimo 絵文字メール」「チェインアロー」「TVリモコン」のソフトがあらかじめ登録されています。

● 長時間ディスプレイを見ていると、目が疲れる場合がありますのでご注意ください。
● 「Dimo 絵文字メール」と「TVリモコン」は、iアプリ待受画面、通常のiアプリのどちらでも起動できます。起動する方法によって操作できるメニューや内容が一部異なります。
● 「TVリモコン」についてはP.400を参照してください。
● FOMA端末にあらかじめ登録されているiアプリのソフトを削除した場合、元に戻したいときは「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなNらんど」からダウンロードしてください。
「みんなNらんど」への接続のしかたは以下のとおりです。
待受画面表示中に[imode]－1(iMenu)－3(メニューリスト)－「ケータイ電話メーカー」－「みんなNらんど」を選ぶ

iアプリ

■ Dimo 絵文字メールを楽しむ

メール内の絵文字に反応して、キャラクタ達が愉快に動き回り、楽しいメールのやりとりができます。
また、相手がDimo対応の機種の場合は、キャラクタ達が電話やメールの着信を教えてくれたり、FOMAの未読メール情報などを伝えてくれます。

1 「Dimo 絵文字メール」を起動し、●を押して自分のデータを設定する

ソフトを起動する→P.315

©BVIG

2 メニューから項目を選ぶ

メール	：	メールを利用します
グループチャット	：	グループチャットを利用します。
ペアチャット	：	ペアチャットを利用します。
メンバー登録	：	自分のデータや送信先のメンバーを設定します。
背景の設定	：	画面の背景を設定します。
Dimoとお話	：	キャラクタ達の部屋を表示します。

詳しい使いかたと最新の情報を表示する場合

[HELP]を押して見たいメニューにカーソルを合わせてから●を押す

[HELP]を押して[接続]を押すと、サイトに接続して最新の情報を見ることができます。

おしらせ

- 「Dimo 絵文字メール」はメール連動型iアプリ(P.311)でiアプリDX(P.310)の一種です。
- ほかのメール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは正しく表示できない場合があります。
- 「Dimo 絵文字メール」を楽しむ場合は、あらかじめ「ローカル時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。
- 詳しい使いかたは、『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

■ チェインアローを楽しむ

ブロックを移動させて積み上げていき、同じ矢印のブロックを3つ以上並べてブロックを消していきます。

1 「チェインアロー」を起動し、●を押す

ソフトを起動する→P.315
ゲームがはじまります。

詳しい操作方法を表示する場合

ゲーム中からは[中断]を押した後、[ヘルプ]を押す

iアプリを自動起動する

自動起動するかどうかを設定する　＜自動起動設定＞

お買い上げ時	許可しない

ソフトが自動起動するように設定できます。

● 自動起動を許可した場合は、自動起動させたいソフトの起動日時を設定してください。→下記

●「ローカル時計設定」で日付・時刻を設定していない場合は、自動起動時刻を設定できません。

1   **▶「自動起動設定」の順に選ぶ**

ソフトを自動起動する場合
　「許可する」を選ぶ

ソフトを自動起動しない場合
　「許可しない」を選ぶ

起動日時を設定する　＜自動起動時刻設定＞

お買い上げ時	すべてOFF

ソフトが自動起動する日時を設定します。自動起動する時間間隔が設定されているソフトの場合は、ソフトに設定されている時間間隔を有効にするかしないかを設定できます。

● 自動起動を設定できるソフトは最大3件までです。

●「自動起動設定」を「許可する」に設定していないと、自動起動時刻設定を設定できません。

●「自動起動設定」を「許可する」に設定していないと、ソフトは自動起動しません。ただし、「自動起動設定」を「許可する」に設定していて、自動起動時刻設定を設定していなくても、ソフトによっては自動起動するものがあります。

● 次のような場合、ソフトは自動起動しません。

・電源を切っている場合
・通話中
・めざまし時計、スケジュール、ToDoの設定時刻が自動起動の時刻と同じ場合
・ほかの機能が起動している場合
・iアプリメニューが起動している場合
・ソフトウェア更新の予約時刻が自動起動の時刻と同じ場合

1 (Menu)▶ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「自動起動時刻設定」を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

ソフトに設定されている時間間隔を有効にする場合
　「時間間隔設定」を選ぶ

起動日時を設定する場合
　「起動時刻設定」を選ぶ

「起動時刻設定」を選ばずに[完了]を押すと、ソフト一覧画面に戻ります。

iアプリ

4 [完了]を押して起動日時を設定する

起動日時を設定する場合

表示されている日時を選んで、起動日時を入力する

起動日時の設定のしかたは、スケジュールの登録(P.415)と同様の操作です。

自動起動の繰り返しを設定する場合

表示されている繰り返し設定を選んで、「毎日」または「曜日指定」の繰り返しを設定する

繰り返しの設定のしかたは、スケジュールの登録(P.415)と同様の操作です。

5 [完了]を押す

自動起動を設定したソフトには「」が表示されます。
すでに待受画面に設定されているソフトに自動起動を設定した場合は、「」が表示されます。

おしらせ

- すでに「自動起動」が3件設定されている場合は、すでに3件設定済みであることを通知するメッセージが表示されます。
- すでにほかのソフトで同じ時刻が設定されている場合は、すでに同じ時刻に設定済みであることを通知するメッセージが表示されます。違う時刻に設定し直してください。
- 自動起動の時間間隔が設定されていないソフトの場合は、「時間間隔設定」を選べません。

自動起動したことを確認する ＜自動起動情報＞

ソフトが設定した時刻に自動起動したかどうかを確認できます。

●「自動起動時刻設定」を設定しているソフトが1件もない場合、「自動起動情報」は利用できません。

1 (Menu)▶ ▶「iアプリ実行情報」▶「自動起動情報」の順に選ぶ

ソフト名、自動起動時刻、起動したかどうかの情報が表示されます。
自動起動した場合は「起動○」、自動起動しなかった場合は「起動×」、自動起動実行前の場合は「未起動」と表示されます。
確認した後はCLRを押すとiアプリ実行情報画面に戻ります。

おしらせ

- 自動起動できなかった場合は、待受画面に「」(未起動ソフトあり)というデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選ぶと、自動起動情報画面が表示されます。デスクトップアイコンについては、P.135を参照してください。
- 「自動起動時刻設定」を解除すると、自動起動情報は消去されます。

サイトやメールからiアプリを実行する

サイトやメールなど、iアプリ以外の機能からiアプリを起動できます。iアプリを起動できる機能は次のとおりです。

機能	内容
サイト機能(サイト表示中)	選んだ項目にiアプリの起動が指定されている場合は、iアプリが起動します。
メール機能(iモードメール表示中)	iモードメールの本文からiアプリの起動が指定されている項目を選ぶと、iアプリが起動します。
赤外線通信機能	赤外線通信中にiアプリの起動信号を受信すると、iアプリが起動します。
バーコードリーダー機能	認識したコードがiアプリの起動を指定している場合は、iアプリが起動します。

●「iアプリTo設定」で各機能から起動するかどうかを設定できます。→P.324

■ サイトまたはメールからiアプリを起動する

<例：サイトからiアプリを起動する>

1 ソフトにリンクしている項目を選ぶ

iアプリを起動するかどうかのメッセージが表示されます。

2 「YES」を選ぶ

iアプリが起動します。

ソフトを起動しない場合

「NO」を選ぶ

おしらせ

● 該当するソフトがない場合は、指定されたソフトがないことを通知するメッセージが表示されます。サイトからiアプリを起動するときに該当するiアプリがない場合は、メッセージが表示されません。

■ 赤外線通信機能でiアプリを起動する

1 (Menu)▶ アクセサリ ▶「赤外線通信」の順に選ぶ

赤外線通信を利用する→P.393

2 「1件受信」を選ぶ

通信が終了したことを通知するメッセージが表示された後、iアプリが起動します。

おしらせ

● 該当するソフトがない場合は、指定されたソフトがないことを通知するメッセージが表示されます。

■ バーコードリーダー機能でiアプリを起動する

1 **iアプリを起動する情報を含んだコード（JANコード、QRコード）を読み取る**

コードの読み取りについて→P.193

2 **バーコードリーダーの詳細画面で「iアプリ起動」を選んで「YES」を選ぶ**

iアプリが起動します。

ソフトを起動しない場合

「NO」を選ぶ

おしらせ

● 該当するソフトがない場合は、指定されたソフトがないことを通知するメッセージが表示されます。

iアプリToで起動するかどうかを設定する　<iアプリTo設定>

お買い上げ時	すべて起動する

サイト、メール、赤外線通信、コードからソフトを起動するように設定します。

● ソフトごとにそれぞれ設定できます。
● 設定できない項目は選べません。

1 **(Menu)▶ iアプリ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ**

2 **設定するソフトを反転表示して機能メニューから「iアプリTo設定」を選ぶ**

3 **設定する項目を選ぶ**

iアプリTo設定
☑サイトから iアプリTo
☐メールから iアプリTo
☑赤外線から iアプリTo
☑バーコードから iアプリTo
完了　選択

項目を選ぶたびに☑(起動する)と☐(起動しない)が切り替わります。

4 **[完了]を押す**

iアプリ

iアプリ待受画面を設定する

iアプリのソフトを待受画面として設定できます。よく使用するソフトを待受画面に設定しておくと、待受画面から直接ソフトを起動できるので便利です。

- 選んだiアプリのソフトを待受画面として設定します。iアプリ待受画面の表示中は、画面下に「」または「」が表示されます。
- iアプリ待受画面に設定できるiアプリは1件のみです。
- iアプリ待受画面から「Web To機能」は利用できません。
- 内蔵iアプリ以外をiアプリ待受画面に設定したとき、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、iアプリ待受画面が設定されていても「画面表示設定」の「待受画面」で設定された画面が表示されます。元のFOMAカードを挿入し直すと、設定したiアプリ待受画面が表示されます。
- 待受画面に設定できないソフトもあります。

1 (Menu)▶ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」ー「待受画面設定」を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

ソフトを待受画面に設定する場合

「設定する」を選ぶ

待受画面に設定したソフトには「」が表示されます。

ソフトを待受画面に設定しない場合

「設定しない」を選ぶ

おしらせ

- 通信するソフトをiアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- iアプリ待受画面が設定されている場合、「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像は待受画面に表示されません。ただし、マルチタスクの状態で待受画面を表示した場合は、iアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定されている画像が表示されます。また、iアプリとして起動したあとに待受画面の状態に戻す機能を持つソフトであっても、待受画面から起動したあと、ほかのタスク(機能)が動作している間は待受画面の状態に戻すことはできません。ソフトによっては、待受画面の状態に戻す際、継続動作できないことを通知するメッセージが表示されてソフトが終了し、待受画面設定も解除される場合があります。
- 次の場合には、iアプリ待受画面が終了します。
  - ・「メガピクセルフォト」モードでカメラ機能を起動したとき
  - ・ソフトをバージョンアップしたとき
  - ・iアプリ待受画面がメール連動型iアプリの場合、メール機能からそのメール連動型iアプリのフォルダを参照したとき

  など
- iアプリ待受画面を設定している状態で電源を入れ直した場合、iアプリ待受画面を起動するかどうかのメッセージが表示されます。
- iアプリ待受画面表示中に「オールロック」または「PIMロック」を設定すると、iアプリ待受画面は終了し、「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が表示されます。「オールロック」または「PIMロック」を解除すると、iアプリ待受画面が表示されます。
- iアプリ待受画面と通常の待受画面を設定した場合、iアプリ待受画面が優先して表示されます。

iアプリ待受画面からの通信を許可するかどうかを設定する　<iアプリ待受画面通信設定>

待受画面に設定したソフトが通信するソフトである場合、通信できるように設定します。

●通信を利用しないソフトの場合は、本機能を設定できません。

1 **(Menu)▶ iアプリ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ**

2 **設定するソフトを反転表示して機能メニューから「ソフト設定」−「待受画面通信」を選ぶ**

3 **設定する項目を選ぶ**

ソフト実行中に自動で通信する場合
　「通信する」を選ぶ

ソフト実行中に通信しない場合
　「通信しない」を選ぶ

おしらせ

●「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

iアプリ待受画面を起動する

iアプリ待受画面に設定したソフトを起動して、ソフト一覧から起動したときと同じ状態にできます。

1 **iアプリ待受画面表示中にCLRを押す**

➡

iアプリが起動し、画面下の「」または「」が、「」または「」の点滅表示に変わります。

iアプリ待受画面を解除する　<待受画面終了>

iアプリ待受画面の設定を解除して、待受画面を「画面表示設定」の「待受画面」で設定された画像に戻します。

●iアプリ待受画面は以下のときに解除できます。
・iアプリ待受画面の起動中：画面下に「」または「」が点滅表示されているとき
・iアプリ待受画面の表示中：画面下に「」または「」が表示されているとき

■ iアプリ待受画面の起動中に解除する

1 **iアプリ待受画面の起動中にCLRを1秒以上押す**

2 **「解除する」を選ぶ**

iアプリ待受画面を解除したことを通知するメッセージが表示されます。

iアプリ待受画面の解除をキャンセルする場合
　「キャンセル」を選ぶ

iアプリを終了してiアプリ待受画面表示に戻る場合
　「終了する」を選ぶ
　終了したことを通知するメッセージが表示され、iアプリ待受画面に戻ります。

■ iアプリ待受画面の表示中に解除する

1 **(Menu)▶ 各種設定 ▶「iアプリ設定」▶「待受画面終了」の順に選ぶ**

2 **「設定解除」を選ぶ**

iアプリ待受画面を解除したことを通知するメッセージが表示されます。

iアプリ待受画面表示に戻る場合

「終了」を選ぶ

iアプリ待受画面の終了情報を確認する ＜待受画面終了情報＞

iアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラーが発生したソフト名、発生時刻、発生理由などが記憶され、その内容を確認できます。

● 終了したときにエラーが発生しなかった場合は記憶されません。

1 **(Menu)▶ iアプリ ▶「iアプリ実行情報」▶「待受画面終了情報」の順に選ぶ**

ソフト名、エラーの発生日時と発生理由が表示されます。
画面の右下に「機能」と表示されている場合は、機能メニューを呼び出せます。

待受画面終了情報をコピーする場合

機能メニューから「情報コピー」を選ぶ

待受画面終了情報を削除する場合

機能メニューから「情報削除」を選ぶ

iアプリを管理する

iアプリをバージョンアップしたり、不要なiアプリを削除できます。

iアプリをバージョンアップする ＜バージョンアップ＞

ダウンロードしたソフトがサイトでより新しいソフトに更新されている場合は、ソフトをバージョンアップできます。

●ソフトが更新されている場合は、ソフトを起動したときに自動的にバージョンアップできます。

● 次のような場合、メールフォルダ名を変更するメール連動型iアプリをバージョンアップできません。

- 送信BOX／受信BOXに「セキュリティ設定」を設定中
- メールのフォルダに「セキュリティ設定」を設定中
- バージョンアップするメール連動型iアプリのフォルダを使用中

1 **(Menu)▶ iアプリ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ**

2 **バージョンアップするソフトを反転表示して機能メニューから「バージョンアップ」を選ぶ**

ソフトをバージョンアップするかどうかのメッセージが表示されます。

3 **「YES」を選ぶ**

ソフトがバージョンアップされます。

バージョンアップしない場合

「NO」を選ぶ

iアプリ

次ページへつづく

おしらせ

- ソフトが更新されていない場合は、ソフト情報を取得したあとに現在のソフトが最新であることを通知するメッセージが表示されます。
- TLS／SSL対応ページの場合は、TLS／SSL通信を開始することを通知するメッセージが表示されます。
- 「ソフト情報表示設定」を「表示する」に設定している場合は、バージョンアップする前にソフトの情報を確認できます。→P.314
- バージョンアップの前に、携帯電話の製造番号およびFOMAカードの識別番号を利用することを通知するメッセージが表示される場合があります。
- 同じソフトを再度ダウンロードするときに、ソフトが新しいバージョンに更新されていることを確認した場合は、バージョンアップするかどうかのメッセージが表示されます。
- ソフトによっては、自動的にバージョンアップを実行する場合があります。その場合、バージョンアップするかどうかのメッセージが表示されます。

iアプリを削除する

保存されているソフトを1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。

1 (Menu)▶ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 削除するソフトを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数のソフトを選んで削除する場合
「選択削除」を選んで削除するソフトを選ぶ
すべてのソフトを削除する場合
「全削除」を選んで端末暗証番号を入力する
端末暗証番号について→P.152
ソフトを削除するかどうかのメッセージが表示されます。

3 「YES」を選ぶ

ソフトが削除されます。
削除しない場合
「NO」を選ぶ

おしらせ

- iアプリ待受画面に設定されているソフト(または「★」のついているソフト)や自動起動するように設定されているソフトを削除しようとすると、ソフトの設定状態と削除するかどうかのメッセージが表示されます。
- iアプリ待受画面に設定されているソフトを削除すると、「画面表示設定」の「待受画面」で設定されている待受画面になります。
- 「全削除」すると、あらかじめ登録されているソフト(P.319)も削除されます。
- メール連動型iアプリを削除する場合は、対応するメール連動型iアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されます。メール連動型iアプリのみを削除する場合は「NO」を選びます。メール連動型iアプリと対応するメール連動型iアプリ専用の送信／受信フォルダおよびフォルダ内のすべてのメールを削除する場合は「YES」を選びます。ただし、メール連動型iアプリ専用の送信／受信フォルダが使用中の場合、フォルダにセキュリティが設定されている場合、保護メールがある場合は削除できません。
- メール連動型iアプリを削除すると、削除するソフトを選んでいる間に受信したiアプリに対応している新着メールが削除されることがあります。
- メール連動型iアプリを削除した後にiアプリに対応したメールを受信すると、受信BOXに保存されます。
- 送信BOXまたは受信BOXに5件のメール連動型iアプリ専用フォルダがある場合には、新しくメール連動型iアプリをダウンロードできません。

セキュリティエラーの履歴を表示する　<セキュリティエラー履歴>

iアプリやiアプリDXで許可されていない動作を実行しようとした場合は、セキュリティエラーが発生してソフトを終了し、その内容がセキュリティエラー履歴に記憶されます。また、iアプリ待受画面でセキュリティエラーが発生した場合は、iアプリ待受画面を強制終了します。

- セキュリティエラー履歴は10件まで記憶されます。
- FOMA端末にセキュリティエラー情報が保存されていない場合は、履歴を表示できません。

1 **(Menu)▶ ▶「iアプリ実行情報」▶「セキュリティエラー履歴」の順に選ぶ**

ソフト名、セキュリティエラーの発生日時と発生理由が表示されます。

セキュリティエラー履歴をコピーする場合
機能メニューから「情報コピー」を選ぶ

セキュリティエラー履歴を削除する場合
機能メニューから「情報削除」を選ぶ

おしらせ

- 待受iアプリが起動していないときにセキュリティエラーが発生した場合は、待受画面に「」というデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選ぶと、セキュリティエラー履歴画面が表示されます。デスクトップアイコンについてはP.135を参照してください。
- iアプリ待受画面でセキュリティエラーが発生した場合は、セキュリティエラー履歴のほかに「待受画面終了情報」にも記憶されます。

■ ソフトを作成される方へ

ソフトを作成して正常に動作しないときは、トレース情報が参考になる場合があります。

- トレース情報のメモリの空きがなくなると、古い情報から順番に消去されます。
- FOMA端末にトレース情報が記憶されていない場合は、トレース情報を表示できません。

1 **(Menu)▶ ▶「iアプリ実行情報」▶「トレース情報」の順に選ぶ**

ソフトのトレース情報が発生した順番で表示されます。

トレース情報をコピーする場合
機能メニューから「情報コピー」を選ぶ

トレース情報を削除する場合
機能メニューから「情報削除」を選ぶ

iアプリのさまざまな機能を利用する

iアプリからカメラ機能を利用する

起動中のソフトからカメラ機能(P.170)を利用することができます。

- iアプリ待受画面からカメラ機能を利用することはできません。
- iアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は「イメージ」には保存されず、iアプリの一部として保存されます。
- iアプリからカメラを起動した場合は、画像サイズの変更はできません。画像サイズが240×240の場合、「i-αppli」が表示されます。

1 ソフトを起動中にカメラを起動する操作を行う

カメラ機能が起動してカメラモードになります。
設定できる項目や設定方法、カメラの起動方法はソフトによって異なります。

2 カメラで撮影する

おしらせ

- ソフトで利用する画像やお客様が入力したデータなどは、お客様の意思にかかわらずインターネットを経由して送信されることがあります。
  ソフトで利用する画像とは、起動中のソフトからカメラ機能を起動して撮影した静止画、起動中のソフトから赤外線通信機能を利用して取得した画像、起動中のソフトからサイトに接続して取得した画像、起動中のソフトが「イメージ」から取得した画像と、ソフト内に保存されている画像です。

iアプリからバーコードリーダーを利用する

起動中のソフトからバーコードリーダー(P.193)を利用することができます。

- バーコードリーダーを利用することに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- iアプリ待受画面からバーコードリーダーを利用することはできません。
- 読み取った情報はソフト内で利用します。バーコードリーダーの一覧画面(P.196)には登録されません。
- iアプリからバーコードリーダーを起動した場合、読み取ったデータはソフトで利用される場合があります。「バーコードリーダー」には保存されません。

1 ソフトを起動中にバーコードリーダーを起動する操作を行う

バーコードリーダーの起動方法はソフトによって異なります。

2 コードを読み取る

コードの読み取り結果は自動的に登録されます。

iアプリから赤外線通信を利用する

起動中のソフトから赤外線通信機能(P.393)を利用することができます。

- 赤外線通信機能を利用することに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- iアプリ待受画面から赤外線通信機能を利用することはできません。
- 「セルフモード」を設定している場合は、赤外線通信機能を利用することができません。

1 ソフトを起動中に赤外線通信を起動する操作を行う

赤外線通信の起動方法はソフトによって異なります。

2 「YES」を選ぶ

操作を中止する場合
「NO」を選ぶ

赤外線通信を中止する場合
「通信中」というメッセージが表示されているときに◉[選択]を押す

●iモーション

iモーションとは

iモーションは、映像や音声、音楽のデータで、iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込んで再生したり、待受画面に設定したりできます。また、着信音に設定して楽しむこともできます（着モーション）。

●iモーション対応サイトは、iMenuの「メニューリスト」から探すことができます。
- iモーションを取り込むには→下記
- iモーションを再生するには→下記
- iモーションの自動再生設定をするには→P.336
- 待受画面として設定するには→P.140
- 着モーションとして設定するには→P.124

iモーションのタイプ

iモーションには、大きく分けて次の2つのタイプがあります。取得したiモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。

■ 標準タイプ

FOMA端末に最大300Kバイトまで保存することができ、次の2つの形式があります。
iモーションによっては、標準タイプでも保存できない場合があります。
① 取り込んだ後に再生可能な形式（最大300Kバイトまで）
② 取り込みながら再生可能な形式（最大300Kバイトまで）

■ ストリーミングタイプ

FOMA端末に保存することはできません。データを取り込みながら同時に再生するタイプで、最大2Mバイトまで再生できます。再生し終わったデータは破棄されるため、再生させるたびにデータを取り込みます。
ストリーミングタイプのiモーションのデータを取り込みながら再生することを「ストリーミング再生」と呼びます。

おしらせ

● 再生できるiモーションはMP4（Mobile MP4）形式です。
● iモーションを待受画面に設定した場合、その再生画面から「Phone To機能」、「Mail To機能」、「Web To機能」を利用することはできません。

iモーションを取り込む

サイトからiモーションを取り込み再生する

1 取り込みたいiモーションのサイトのページを表示する

2 iモーションを選んで取り込む

データの取り込みが完了すると、データ取得完了画面が表示されます。

中止する場合
[中止]を押す

標準タイプのiモーションのとき
「iモーション設定」の「自動再生設定」で取り込みながら自動再生するかどうかを設定できます。ただし、iモーションによっては自動再生されない場合があります。

ストリーミングタイプのiモーションのとき

「iモーションタイプ設定」が「標準タイプ」に設定されている場合は取り込むことができません。

「このiモーションを再生するためにはiモーションタイプ設定を変更してください」と表示されたとき

・「iモーション設定」の「iモーションタイプ設定」が「標準タイプ」に設定されています。●[選択]を押してサイトの画面に戻り、機能メニューから「iモーションタイプ設定」を選んで「標準・ストリーミング」に設定を変更してから、再度iモーションを取り込んでください。

「ストリーミング再生しますか？」と表示されたとき

・「YES」を選ぶと再生がはじまります。「NO」を選ぶとサイトの画面に戻ります。
・「YES」を選んだ後、再生中に中止したい場合は、[中止]を押します。

3 データ取得完了画面で「再生」を選ぶ

取り込んだiモーションを再生します。

「もう一度データを取得してストリーミング再生しますか？」と表示された場合

ストリーミングタイプのiモーションのときに表示されます。「YES」を選ぶとデータを取り込み、再生がはじまります。「NO」を選ぶとデータ取得完了画面に戻ります。

iモーション再生中の操作について

iモーションを再生中には次の操作を行うことができます。

再生中の場合

テロップ表示の場合

音量調節の場合

操作ボタン	iモーションの動作
●	再生一時停止／再開
◎(▲)、◎(▼)	音量調節
(右ソフトキー)	早送り再生
(左ソフトキー)	消音（ミュート）（音声や音楽がないときは無効になります）
◎(◀)を1秒以上	スキップ戻し※
◎(▶)を1秒以上	スキップ送り※
●で再生一時停止後、(右ソフトキー)	コマ送り（押すごとにコマが進みます）
●で再生一時停止後、機能メニューから「スロー再生」	スロー再生
CLR	終了

※：iモーションによっては利用できない場合があります。

・標準タイプのiモーションを取り込みながら再生している場合（初回再生時のみ）は、早送り・コマ送り・スロー再生の操作はできません。ストリーミング再生の場合は、これらの操作のほかに一時停止の操作もできません。[中止]を押すと中止します。

おしらせ

- データを取り込みながら再生する場合、電波状況等によりデータを取り込むことができなくなったときでも、取り込んだところまでは再生されます。データは途中までしか取り込まれていないため、データ取得完了画面が表示されない場合があります。すべて再生するには、再度データを取り込んでください。
- データを取り込みながら再生する場合、電波状況等により再生が停止したり、画像が乱れたりすることがあります。
- iモーションには、次のような再生制限が設定されている場合があり、次の条件のときには取り込みや保存ができません。

再生制限の種類	取り込みできない条件	保存できない条件
再生期間（開始日と終了日の指定あり）	再生期間前および再生期間後	－
再生期限（終了日のみ指定あり）	再生期限後	－
再生回数（再生可能回数の指定あり）	再生回数に誤りがある場合	再生回数の残りが0回

- 再生制限が設定されているiモーションの場合は、データ取得完了画面のタイトルの左に「🕒」が表示されます。
- iモーションを再生するときに、「このデータは2MBの場合があります　再生しますか？」というメッセージが表示される場合があります。「YES」を選ぶと再生をはじめますが、最大サイズを超えたストリーミングタイプのiモーションのときは再生が中断される可能性があります。また、このiモーションをもう一度取り込んだ場合でも、再生が途中で中断され、データの最後まで再生することはできません。
- 取り込んだiモーションによっては、正しく再生できないことがあります。
- iモーションによっては取り込むことができないものがあります。
- データ取得完了画面のURLは「ラストURL」に記憶されません。この場合、ラストURLはデータ取得完了画面の前に表示していたページのURLになります。
- iモーションを再生すると表示されるテロップに記載されている、iモーションの文字情報を用いて、「Phone To 機能」、「Mail To 機能」、「Web To 機能」を利用できるものがあります。また、表示される電話番号やメールアドレスは電話帳に登録することができます。

iモーションを保存する

データ取得完了画面で「保存」を選べるiモーションは、FOMA端末に保存することができます。

- iモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- 保存したiモーションは「iモーション」で再生やプログラム編集などさまざまな操作をすることができます。
- iモーションはカメラでの撮影動画と合わせて100件まで保存できます。iモーションの保存可能件数は、iモーションのデータ量によって3～100件に変動します。

1 データ取得完了画面で「保存」を選ぶ

保存するかどうかのメッセージが表示されます。

保存する場合

「YES」を選ぶ

保存したことを通知するメッセージが表示されます。

保存を中止する場合

「NO」を選ぶ

保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

保存されているiモーションがいっぱいの場合

不要なiモーションを削除してから保存するかどうかのメッセージが表示されます。

保存するときは「YES」を選び、削除するiモーションを選びます。

保存を中止するときは「NO」を選びます。「NO」を選ぶと保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

おしらせ

- 保存したiモーションは、「iモーション」のフォルダ内で一覧の一番目に表示されます。なお、タイトルがないiモーションはファイル名で表示されます。
- 次のiモーションは保存することができません。
  - 保存不可に設定されているiモーション
  - ストリーミングタイプのiモーション
  - 取り込みながら再生を中止したiモーション
  - 正常に取り込みが完了しなかったiモーション
  - 再生可能期間、再生可能期限が過ぎたiモーション
  - データ取得完了画面で連続して保存しようとしたiモーション
- iモーションは、データ取得完了画面を「画面メモ」として保存し、画面メモから再生することもできます。画面メモに保存する場合は、データ取得完了画面で機能メニューから「画面メモ」を選びます。
  ただし、次のiモーションのデータ取得完了画面は「画面メモ」に保存することができません。
  - 再生制限が設定されているiモーション
  - ストリーミングタイプのiモーション
  - データが不完全なiモーション
- 画面メモに保存したiモーションは、「iモーション」のフォルダ内の一覧には含まれません。そのため、プログラム再生や待受画面設定などの機能は利用できません。
- iモーションによっては、再生終了後にほかのページへのリンクが表示されることがあります。このリンクを選ぶと、見ていたiモーションを保存するかどうかのメッセージが表示される場合があります。保存したいときは、メッセージに従って保存してからほかのページを表示してください。

iモーションの詳細情報を表示する

iモーションのタイトル、ファイルサイズ、再生制限の有無などの詳しい情報を確認することができます。

1 データ取得完了画面で「情報表示」を選ぶ

データ情報表示画面が表示されます。 で画面をスクロールし、情報を確認します。
情報を確認したら CLR を押します。

自動再生設定

iモーションを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時	自動再生する

以下の場合に、iモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。
・サイト画面からiモーションを取り込んだとき
・受信メール画面からiモーションを取り込んだとき
・iモーションを含んでいる画面メモを表示したとき
など

●「自動再生設定」は、標準タイプのiモーションのみ、設定が有効になります。ストリーミングタイプのiモーションは、本設定にかかわらず自動再生されます。
iモーションのタイプ→P.332

1 **(Menu)▶ iモード ▶「iモード設定」▶「iモーション設定」▶「自動再生設定」の順に選ぶ**

2 **自動再生するかどうかを選ぶ**

自動再生する　：iモーションを取り込んだ後、自動再生します。一部のiモーションは、データを取り込みながら再生します。
自動再生しない：iモーションを取り込んでも、自動再生せずにiモーション取得完了画面を表示します。

iモーションタイプ設定

取り込むiモーションのタイプを設定する

お買い上げ時	標準タイプ

サイトから新しいiモーションを取り込むとき、取り込むiモーションのタイプを設定します。

1 **(Menu)▶ iモード ▶「iモード設定」▶「iモーション設定」▶「iモーションタイプ設定」の順に選ぶ**

2 **再生するタイプを選ぶ**

iモーションのタイプ→P.332
標準タイプ　　　　　　　　：標準タイプのiモーションのみを取り込みます。
標準・ストリーミングタイプ：標準タイプおよびストリーミングタイプのiモーションを取り込みます。

●データ表示／編集／管理

保存した画像を表示する

お買い上げ時	画像表示設定：標準

待受画面の画像やウェイクアップ、内蔵カメラで撮影した写真(静止画)やダウンロードした画像、自作したアニメーション、テレビ電話に設定できる画像を表示できます。

●「イメージ」のフォルダ構成やファイル形式について→P.368
●表示する画像のヨコのサイズが1616ドットを超えるもの、またはタテのサイズが1212ドットを超えるものは表示できません。

1 (Menu)▶マルチメディア▶「イメージ」の順に選ぶ

フォルダ一覧画面

「イメージ」のフォルダ一覧画面が表示されます。
PIM ロック中のときは、プリインストールフォルダ、フレームフォルダが表示されます。

2 画像のあるフォルダを選ぶ

画像一覧画面

画像一覧画面が表示されます。
表示する件数が多い場合やファイルサイズが大きい場合は、画像一覧画面の表示に時間がかかることがあります。

画像の情報を確認する場合

画像一覧画面で確認したい画像を選択して、機能メニューから「イメージ情報」を選ぶ
自作アニメの場合は、自作アニメ一覧画面で確認したい自作アニメを反転表示して、機能メニューから「イメージ情報」を選びます。
イメージ情報では、ファイル名、ファイルサイズ、ファイル制限、イメージ貼付などの情報を確認できます。イメージ情報では、本FOMA端末で管理されるファイルサイズが表示されます。自作アニメは、イメージ貼付の情報のみ確認できます。
イメージ情報を確認したらCLRを押します。

3 画像を選ぶ

を押すと前後の画像を表示します。
表示を終了するときはCLRを押します。

画像表示サイズを変更する

画像の表示画面の表示サイズを変更できます。
機能メニューから「画像表示設定」を選んで表示サイズを「標準」または「画面サイズで表示」から選びます。

データ表示／編集／管理

ピクチャ一覧画面／タイトル名一覧画面の見かた

画像一覧画面(P.338)の表示を、1画面あたり4枚ずつの「ピクチャ一覧」または「タイトル名一覧」に切り替えることができます。

ピクチャ一覧

タイトル名一覧

- 画像のタイトル前に表示される2つのアイコンは、左側がデータの形式、右側がデータの取得方法を示しています。
  タイトル前のアイコンについて→P.369
  タイトルについて→P.370
- 画像のタイトルは変更できます。→P.375
- 自作アニメは、ピクチャ一覧表示にすることはできません。

■ 表示を切り替える

- 表示を切り替えても、設定は保持されません。画像一覧画面の表示は、「ピクチャ表示設定」の設定に従います。

1 画像一覧画面で、機能メニューから「ピクチャ一覧」または「タイトル名一覧」を選ぶ

全画面表示にする場合
画像一覧画面から全画面表示にするには、画像を反転表示して、◉[表示]を押す
全画面表示から画像表示一覧に戻るには、CLRを押します。

■ 「ピクチャ表示設定」の設定を変更する

お買い上げ時	ピクチャ一覧

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「ピクチャ表示設定」の順に選ぶ

ピクチャ一覧に設定する場合
「ピクチャ一覧」を選ぶ
タイトル名一覧に設定する場合
「タイトル名一覧」を選ぶ

静止画をメールで送信する

保存した静止画をメールで送信できます。

- メールに添付できない画像のときは、「iモードメール作成」を選ぶことはできません。また、データ量などによっては、画像をiモードメールに添付することができない場合があります。→P.260
- 自作アニメフォルダ内の画像を添付してiモードメールを作成することはできません。

1 画像一覧画面（P.338）を表示させる

2 添付したい画像を反転表示して、機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ

iモードメール新規作成について→P.264
画像表示中も機能メニューからiモードメールを作成できます。

画像を待受画面などに設定する　＜イメージ貼付＞

画像を待受画面、ウェイクアップ、音声電話の発信中や着信中、メールの送受信中の画面などに設定できます。テレビ電話時の応答保留画面、通話中保留画面、代替画像画面、伝言メモ画面にも設定できます。

- 「TV電話応答保留」、「TV電話通話中保留」、「TV電話代替画像」、「TV電話伝言メモ」には、内蔵カメラで撮影した写真（静止画）のほかに、サイトなどからダウンロードしたファイル制限の設定のないJPEG画像も設定できます。

1 画像一覧画面（P.338）を表示させる

2 設定したい画像を選んで、機能メニューから「イメージ貼付」を選ぶ

すでに設定されている項目には「★」マークがつきます。ただし「TV電話応答保留」、「TV電話通話中保留」、「TV電話代替画像」、「TV電話伝言メモ」を設定しても「★」マークは表示されません。
(●)［表示］を押して画像を表示させた後、機能メニューから「イメージ貼付」を選んでも設定できます。

3 設定する画面を選ぶ

設定した画像を解除するときは、「画面表示設定」でほかの画像などに設定を変更してください。

おしらせ

- 設定できる画像は、ファイルサイズが100Kバイト以下で画像サイズがヨコ640×タテ480ドットまでの画像です。
- ダウンロードした画像のサイズによっては、設定した画面ですべてを表示できない場合があります。
- 「待受画面」、「ウェイクアップ表示」、「電話発信」、「電話着信」、「メール送信」、「メール受信」、「問い合わせ」は、「画面表示設定」でも画像を設定できます。
- 「TV電話応答保留」、「TV電話通話中保留」、「TV電話代替画像」、「TV電話伝言メモ」に設定した画像を有効にするには、「画像選択」で「自作」に設定します。→P.96

■ 表示する位置を設定する（貼付表示位置）

縦方向が画像表示エリアよりも小さな画像を貼り付けるときに、画像を表示する位置を設定します。

● 縦方向が画像表示エリアよりも大きい画像を貼り付けたとき、本機能は無効になります。
● 「プリインストール」、「自作アニメ」、「miniSD」、「フレーム」フォルダ内の画像や内蔵TV電話画像や自作TV電話画像に設定することはできません。

＜例：待受画面の場合＞

中央に表示の場合

上部に表示の場合

下部に表示の場合

1 画像一覧画面（P.338）を表示させる

2 設定したい画像を反転表示して、機能メニューから「貼付表示位置」を選ぶ

◉[表示]を押して画像を表示させた後、機能メニューから「貼付表示位置」を選んでも設定できます。

3 表示位置を選ぶ

おしらせ

● 画像を登録したときは自動的に「中央に表示」に設定されます。お好みに応じて画像の表示位置を設定してください。
● 設定した画像が、貼り付け先より大きいときは「切り出し範囲」の設定に従って画像を表示します。

■ 切り出す範囲を設定する（切り出し範囲）

縦方向が画像表示エリアよりも大きな画像を貼り付けるときに画像を表示させる部分を設定します。

● 縦方向が画像表示エリアよりも小さい画像を貼り付けたとき、本機能は無効になります。
● 「プリインストール」、「自作アニメ」、「miniSD」、「フレーム」フォルダ内の画像や内蔵TV電話画像や自作TV電話画像に設定することはできません。

＜例：電話着信の場合＞

中央を表示の場合

上部を表示の場合

下部を表示の場合

次ページへつづく

1 画像一覧画面(P.338)を表示させる

2 設定したい画像を反転表示して、機能メニューから「切り出し範囲」を選ぶ

◉[表示]を押して画像を表示させた後、機能メニューから「切り出し範囲」を選んでも設定できます。

3 切り出し範囲を選ぶ

おしらせ

- 画像を登録したときは自動的に「中央を表示」に設定されます。お好みに応じて画像の切り出す範囲を設定してください。
- 設定した画像が、貼り付け先より小さいときは「貼付表示位置」の設定に従って画像を表示します。

画像を電話帳に設定する　＜電話帳イメージ登録＞

電話帳に画像を登録して「電話帳画像着信設定」を「ON」に設定すると、登録した画像が着信時に表示されます。

- 100KバイトまでのJPEG画像を登録できます。ただし、「ファイル制限」が「あり」の画像は登録できません。これらの情報は、「イメージ情報」で確認できます。ファイル制限が「あり」に設定されていても、内蔵カメラで撮影した静止画、「キャラ電撮影」で撮影した「撮影後ファイル制限」が「なし」の静止画や赤外線通信などにより転送されたり、miniSDメモリーカードから取得した画像は電話帳に登録できます。
- 「自作アニメ」に保存されているアニメーションや連続写真のリンクファイルを登録することはできません。

1 画像一覧画面(P.338)を表示させる

2 添付したい画像を反転表示して、機能メニューから「電話帳イメージ登録」を選ぶ

「イメージ」の「INBOX」、「カメラ」からも機能メニューから「電話帳イメージ登録」を選ぶと、電話帳に登録できます。

3 「本体」を選ぶ

4 設定したい項目を選ぶ

新規で登録する場合

「新規登録」を選び、「電話帳登録」(P.103)と同様の操作を行う

追加で登録する場合

「追加登録」を選んで登録する電話帳を検索し、P.108の操作4～5と同様の操作を行う

電話帳の検索のしかた→P.114

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

登録されている画像を使って20フレームまでのアニメーションを作ることができます。

- 内蔵カメラで撮影した連続写真のリンクファイル(アニメーションファイル)を編集することもできます。自作アニメの設定を解除しても、設定されていた画像は削除されません。
- 自作アニメのリンクファイルは20件まで作成できます。
- GIF形式の静止画、アニメーションやプリインストールフォルダ、miniSDメモリーカード内の画像を設定することはできません。

＜例：内蔵カメラで撮影した写真(静止画)を設定する場合＞

1 「イメージ」のフォルダ一覧画面(P.338)で「自作アニメ」フォルダを選んで＜未登録＞を選ぶ

すでに自作アニメのリンクファイルが登録されているときは、自作アニメ一覧画面に表示されます。

設定済みの自作アニメを編集する場合

　編集する自作アニメを反転表示し、機能メニューから「自作アニメ設定」を選ぶ

2 フレームを選んで設定する画像のあるフォルダを選ぶ

3 画像を選ぶ

[デモ]を押すと画像を表示します。

設定した画像を解除する場合

　フレーム一覧画面で解除する画像を選んで「イメージ解除」を選ぶ

4 操作2～3を繰り返して画像を設定する

5 設定が終わったら[完了]を押す

自作アニメの設定を解除する場合

　「イメージ」のフォルダ一覧画面で「自作アニメ」フォルダを選んで設定を解除したい自作アニメのリンクファイルを選び、機能メニューから「自作アニメ解除」を選ぶ

静止画を編集する

内蔵カメラで撮影した写真(静止画)や、赤外線通信などにより転送されたり、サイトなどからダウンロードした画像を加工することができます。

- 画像の加工を繰り返し行うと、画質が劣化したり、データ量が大きくなることがあります。
- 画像によっては、加工の効果が表れにくい場合があります。
- 画像のサイズによっては画像を加工できない場合があります。この場合、「トリミング」や「メール用サイズ変更」などにより対応する画像サイズに縮小することで、加工ができるようになります。
- 加工できる画像について→P.370

1 画像一覧画面(P.338)で加工したい画像を選んで、機能メニューから「イメージ編集」を選ぶ

選択した画像が表示されます。

2 機能メニューから加工したい機能を選んでそれぞれの操作を行う

機能名	加工の内容	対応画像サイズ	参照ページ
フォトレタッチ	静止画をセピア調にしたり、シャープな感じの静止画にするなどの効果をつける。	ヨコ352×タテ288ドットまで※	P.345
明るさ	画像の明るさを調節する。		
フレーム合成	画像にフレーム(枠)をつける。		
マーカースタンプ	画像にハートなどのマーク(マーカースタンプ)を付ける。		P.346
文字スタンプ	画像に文字入力したスタンプを加える。		P.347
回転	画像を左右90度または180度回転させる。	ヨコ1616×タテ1212、ヨコ1280×タテ960、ヨコ640×タテ480ドットまで	
トリミング	画像の一部を切り抜いて保存する。	ヨコ1616×タテ1212、ヨコ1280×タテ960、ヨコ640×タテ480、ヨコ320×タテ240、ヨコ352×タテ288、ヨコ240×タテ269、ヨコ176×タテ144ドットまで	
4枚画像合成	4つの画像を1つの画像に合成する。	ヨコ640×タテ480ドットまで	P.348
メール用サイズ変更	画像をメールに添付できる画像サイズに縮小する。	ー	

※： 画像サイズがヨコ352×タテ288ドット、ヨコ240×タテ269ドット、ヨコ176×タテ144ドット、ヨコ128×タテ96ドット以外の画像にはフレームを合成することはできません。

3 加工した画像を確認して●[確定]を押す

取り消したいときは[取消]を押します。

4 ●[保存]を押す

加工した画像を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、加工した画像が上書きされます。「NO」を選ぶと、操作1で選んだ画像があるフォルダに加工した画像が保存されます。

保存せずに続けてほかの加工をしたい場合

機能メニューから加工方法を選ぶ

効果をかける　<フォトレタッチ>

1　フォトレタッチ画面で加工方法を選ぶ

フォトレタッチの一覧画面が表示されます。選択できる加工方法は次のとおりです。
シャープ：輪郭部分のコントラストを強調します。
ソフト　：輪郭部分をぼかします。
セピア　：色調をセピア調にします。
浮き彫り：レリーフのような凹凸感を出します。
ネガ　　：ネガ状態に反転画像にします。
ミラー　：左右反対の向きにします。
フォトレタッチの「セピア」と、「色調切替」(P.188)の「セピア」で加工した画像を比べると、色味などが多少異なります。

画像の明るさを調節する　<明るさ>

画像の明るさを5段階に調節できます。

1　明るさを調節する画面で明るさの調節をする

◎を押すと暗くなり、◎を押すと明るくなります。
−2〜±0〜+2の5段階で調節できます。
−2：暗くなります。
−1：やや暗くなります。
±0：標準。
+1：やや明るくなります。
+2：明るくなります。

フレームを重ねる　<フレーム合成>

画像にフレーム(枠)を設定できます。
● 選択した画像サイズに合ったフレームデータが合成されます。
● サイトからダウンロードしてフレームを追加できます。→P.222
● あらかじめ登録されているフレームは次のとおりです。

カラーパネル

シャーク

ナイトタウン

ウッドフレーム

バブル

1　フレームの選択画面でフレームを選ぶ

➡

フレームの画像表示一覧画面が表示されます。

マーカースタンプを貼り付ける　＜マーカースタンプ＞

画像にシールを貼るような感覚でハートなどのマーク(マーカースタンプ)を貼り付けることができます。

● マーカースタンプは32種類の中から選んで自由な位置に貼り付けることができます。また、回転したり拡大・縮小することもできます。
● あらかじめ登録されているマーカースタンプは次のとおりです。

十字	＋	怒り		バツ	✕
ハート1		右	➡	人	
ハート2		下	⬇	車	
チュッ		左	⬅	スヤスヤ	zz
涙		上	⬆	ハテナ	？
炎		ココ	ココ	ビックリ	！
稲妻		1番	①	キラキラ	
ゴメン		2番	②	渦	
音符	♪	3番	③	パンチ	
花		飲み会		鼻	
LOVE	LOVE LOVE	マル	○		

1 ［マーカー］を押してマーカースタンプの画像表示一覧画面からマーカースタンプを選ぶ

➡

2 ●をスライドさせてニューロポインターボタンでマーカースタンプの位置を決める

を押して位置を決めることもできます。

●［配置］を押すとマーカースタンプが貼り付きます。複数のマーカースタンプを貼り付けたい場合は［追加］を押して操作1、2を繰り返します。CLRを押すとそれまで貼り付けたマーカースタンプをまとめて削除できます。確定後はマーカースタンプを削除することはできませんのでご注意ください。

マーカースタンプを編集する場合

機能メニューから編集したい項目を選ぶ
右90度 ： 時計回りに90度回転します。
左90度 ： 反時計回りに90度回転します。
180度 ： 180度回転します。
拡大 ： 2倍のサイズに拡大します。
縮小 ： 1/2のサイズに縮小します。

文字を貼り付ける　＜文字スタンプ＞

お買い上げ時	文字色：黒　フォント：ゴシック体　文字サイズ：通常サイズ

画像に文字入力したスタンプを加えることができます。

● 全角で15文字、半角で30文字までの文字スタンプを入力できます。絵文字も入力できます。ただし、画像サイズによっては入力可能文字数が変動する場合があります。

1 文字スタンプの入力画面で文字を入力して◉[確定]を押す

文字の入力のしかた→P.502

2 ◉をスライドさせてニューロポインターボタンで文字スタンプの位置を決める

✥を押して位置を決めることもできます。

文字スタンプを編集する場合

機能メニューから編集したい項目を選ぶ

文字色　　：文字の色を変更します。そのほかの色を選ぶ場合は、[切替]を押して色を選びます。
フォント　：フォントの種類を変更します。
文字サイズ：文字のサイズを変更します。

回転する　＜回転＞

● ヨコ1616×タテ1212ドット、ヨコ1280×タテ960ドットの画像を「右90度」または「左90度」に回転すると、ヨコ480×タテ640ドットに、「180度」に回転するとヨコ640×タテ480ドットに縮小されます。
● 回転させた結果、画像サイズがヨコ352×タテ288ドット、ヨコ240×タテ269ドット、ヨコ176×タテ144ドット、ヨコ128×タテ96ドットとならない画像にはフレームを合成することはできません。

1 回転画面で回転する方向を選ぶ

右90度：時計回りに90度回転します。
左90度：反時計回りに90度回転します。
180度：180度回転します。
「右90度」または「左90度」に回転した場合、画像の横サイズが画面より大きい部分は表示されません。

トリミングする　＜トリミング＞

画像の一部を切り抜いて保存できます。画像サイズが大きな画像を切り抜いて、メール添付できるサイズにするときなどに便利です。

● ヨコ352×タテ288ドット、ヨコ320×タテ240ドット、ヨコ240×タテ269ドット(待受)、ヨコ176×タテ144ドット(メール大)、ヨコ128×タテ96ドット(メール小)の5サイズに切り抜くことができます。

1 切り抜き画面で切り抜く画像サイズを選ぶ

元の画像サイズと同じ、または大きいサイズは選択できません。
ヨコ1616×タテ1212ドット、ヨコ1280×タテ960ドットの画像は、ヨコ640×タテ480ドットに縮小されます。

2 を押して切り抜く範囲を選んで ●［確定］を押す

●をスライドさせてニューロポインターボタンで切り抜く範囲を選ぶことができます。

合成する　＜4枚画像合成＞

「イメージ」に保存されている画像を4つ選んで1つの画像に合成できます。

● 合成に使った4つの画像は削除されません。

1 画像一覧画面で機能メニューから「4枚画像合成」を選ぶ

2 配置する位置を選んで合成する画像を選ぶ

設定した画像を解除する場合

解除する画像を選んで「イメージ解除」を選ぶ

3 操作2を繰り返して4つの画像を設定し、［完了］を押す

合成された画像が表示されます。
4つの画像を設定しないと1つの画像として保存できません。

4 画像を確認して●［保存］を押す

合成された画像は操作1で機能メニューの「4枚画像合成」を選んだフォルダに保存されます。

4枚画像合成を取り消す場合

［取消］を押す

画像サイズを変更する　＜メール用サイズ変更＞

JPEG画像をメールに添付できるサイズに変更します。

● 9,000バイト以下のJPEG画像はサイズ変更できません。

1 画像一覧画面で機能メニューから「メール用サイズ変更」を選んで項目を選ぶ

メールサイズ（大）：ヨコ640×タテ480ドットを超える画像をヨコ640×タテ480ドットに縮小し、ファイルサイズを100Kバイト以下に変更します。
100Kバイト以下の画像の場合は、メールサイズ（大）を選択できません。

メールサイズ（小）：ヨコ176×タテ144ドットを超える画像をヨコ176×タテ144ドットに縮小し、ファイルサイズを9,000バイト以下に変更します。

撮影した動画やiモーションを再生する

お買い上げ時　等倍表示

内蔵カメラで撮影した動画、サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーションを再生します。

●「ピクチャボイス」で作成したデータを再生します。
● 再生中の映像を静止画や動画として切り出したり、待受画面に設定できます。
● 動画やiモーションのタイトルを編集したり、情報を見ることができます。
●「iモーション」のフォルダ構成やファイル形式について→P.368
● iモーションのFOMA端末への取り込みについて→P.332

1 (Menu)▶ ▶「iモーション」の順に選ぶ

フォルダ一覧画面

「iモーション」のフォルダー一覧画面が表示されます。
「プログラム」を選ぶと動画やiモーションを10件まで選んでプログラム再生をすることができます。→P.352

2 動画やiモーションのあるフォルダを選ぶ

動画やiモーションの一覧画面

動画やiモーションの一覧画面が表示されます。
タイトル前のアイコンについて→P.369

動画やiモーションの情報を確認する場合

一覧画面で確認したい動画やiモーションを反転表示して、機能メニューから「iモーション情報」を選ぶ
iモーション情報では、iモーションのファイル名、初期タイトル、ファイルサイズ、ファイル制限、再生制限などの情報を確認できます。
iモーション情報を確認したらCLRを押します。

3 再生したい動画やiモーションを選ぶ

動画またはiモーションの再生がはじまります。
「着信音量」の「電話／TV電話」で設定されている音量で再生します。「消去」または「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で再生します。

次ページへつづく

おしらせ

- マナーモード設定中に音声のある動画またはiモーションを再生しようとしたときは、再生するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと音声付きで再生されます。「NO」を選ぶと音声なしで映像のみが再生されます。映像もテロップもないiモーションの場合は、一覧画面に戻ります。
- iモーションには、再生期間、再生期限、再生回数といった再生制限が設定されている場合があります。それぞれ次の場合は再生することができません。
  - ・ 再生期間：再生期間前および再生期間後のとき
  - ・ 再生期限：再生期限後のとき
  - ・ 再生回数：再生可能回数が0回になったとき
- 再生期間制限、再生期限制限が設定されているiモーションを再生しようとすると、その制限についてのメッセージが表示されます。メッセージが消えると再生がはじまります。
- 再生回数制限が設定されているiモーションを再生しようとすると、その制限についてのメッセージが表示されます。再生するときは、「YES」を選びます。再生を中止するときは「NO」を選びます。
- 再生制限により再生できないiモーションを再生しようとしたときは、iモーションの削除をするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、再生しようとしたiモーションが削除されます。「NO」を選ぶと、再生しようとしたiモーションは削除されません。
- 長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付・時刻の情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限や再生期間が決められているiモーションを再生することはできません。
- 内蔵カメラで撮影した動画をメールに添付した際、その出力先からさらに送信や出力をできなくするファイル制限(P.375)が設定されている場合があります。再生制限やファイル制限については、「iモーション情報」で確認できます。
- 音声や音楽がないときは、「🔈→Off」は表示されず、再生画面の再生経過時間の横に「🔇」が表示されます。
- 動画やiモーションの再生中に、音声電話やテレビ電話の着信があると、再生は中止されます。
- 動画やiモーションの再生中にメールやメッセージリクエスト／フリーなどを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。
- FOMA N900iG以外で撮影した動画は正しく再生できない場合があります。

iモーション再生中の操作について

「iモーション」を再生中には次の操作を行うことができます。

再生中の場合

テロップ表示の場合

音量調節の場合

操作ボタン	「iモーション」の動作
●	再生一時停止／再開
▲(▲)、▼(▼)	音量調節
◀▶	前後の動画やiモーションの再生(再生経過時間が10秒以上のときに◀を押すと、頭出しの動作となります)
╔	早送り再生
╗	消音(ミュート)(音声や音楽がないときは無効になります)
◀を1秒以上	スキップ戻し※
▶を1秒以上	スキップ送り※
●で再生一時停止後、╔	コマ送り(押すごとにコマが進みます)
●で再生一時停止後、機能メニューから「スロー再生」	スロー再生
CLR	終了

※：iモーションによっては利用できない場合があります。

データ表示／編集／管理

着信音の設定をする場合

動画やiモーションの一覧画面(P.349)で設定したい動画やiモーションを反転表示して、機能メニューから「着信音設定」を選びます。
設定する項目を選んでください。すでに設定されている項目には「★」マークがつきます。
設定した着信音を解除するときは「着信音選択」でほかのメロディ、動画やiモーションに変更します。
動画やiモーションを設定できるのは、電話とテレビ電話の着信音のみです。

動画を電話帳に登録する

電話帳に動画を登録して「電話帳画像着信設定」を「ON」に設定すると、登録した画像が着信時に表示されます。
「iモーション」の「INBOX」、「カメラ」、ユーザ作成フォルダの動画やiモーションの一覧画面(P.349)で機能メニューから「電話帳iモーション登録」を選びます。「本体」を選んでから、新規で登録するときは「新規登録」を選び、「電話帳登録」(P.103)と同様の操作で登録します。追加で登録するときは「追加登録」を選び、P.108の操作4〜5と同様の操作で追加登録します。

・100Kバイトまでの動画を登録できます。ただし、サイトなどから取り込んだiモーションや、「キャラ電撮影」で撮影した「撮影後ファイル制限」が「あり」の動画は登録できません。

Phone To機能、Mail To機能、Web To機能を利用する

再生が終わった後、画面に下線のついた電話番号やメールアドレス、URL等が表示された場合は、「Phone To機能」、「Mail To機能」、「Web To機能」を利用できます。また、「Phone To機能」や「Mail To機能」を利用できる場合は、電話帳に登録できます。再生が終わった後、機能メニューから「電話帳登録」を選びます。新規で登録するときは「新規登録」を選び、「電話帳登録」(P.103)と同様の操作で登録します。追加で登録するときは「追加登録」を選び、P.108の操作4〜5と同様の操作で追加登録します。

Phone To機能の場合

Mail To機能の場合

Web To機能の場合

おしらせ

- 再生中にFOMA端末を閉じると「iモーション」は終了し、フォルダ一覧画面に戻ります。
- 再生中に音量を変更しても、「iモーション」の動画やiモーションの一覧画面へ戻ると「着信音量」で設定されている音量に戻ります。
- 動画やiモーションの再生画面の表示サイズを変更するときは、機能メニューから「画像表示設定」を選んで表示サイズを「等倍表示」または「画面サイズで表示」から選びます。

タイトル一覧画面／プレビュー表示画面の見かた

「iモーション」の「INBOX」、「カメラ」、ユーザ作成フォルダ、「miniSD」に表示される動画やiモーションの一覧画面(P.349)を、最大5行のタイトルとプレビュー画面の表示に切り替えることができます。プレビュー画面の表示では、動画やiモーションの最初の1コマ目が表示されます。

タイトル一覧

プレビュー表示

データ表示／編集／管理

次ページへつづく

●映像がないiモーションの場合はプレビュー画面が表示されません。
●動画タイトル前に表示される2つのアイコンは、左側がデータの形式、右側がデータの取得方法を示しています。
タイトル前のアイコンについて→P.369
タイトルについて→P.370
●動画のタイトルは変更できます。→P.375

■ 表示を切り替える

1 **動画やiモーションの一覧画面で、機能メニューから「一覧表示切替」を選ぶ**

2 **設定したい項目を選ぶ**

プレビュー画面を表示する場合
「タイトル+画像」を選ぶ
タイトル一覧を表示する場合
「タイトル」を選ぶ

動画やiモーションを特定の位置から再生する

1 **再生停止中に機能メニューから「再生位置選択」を選び、[←→]を押して再生位置を選んで[●][確定]を押す**

選んだ位置から動画やiモーションが再生されます。

動画を好きな順に再生する <プログラム再生>

10件まで選んで登録しておき、複数の動画やiモーションを連続して再生できます。

1 **「iモーション」のフォルダー覧画面(P.349)で「プログラム」を反転表示して、機能メニューから「プログラム編集」を選ぶ**

2 **登録する番号を選ぶ**

登録した番号順に再生します。

3 **フォルダを選んで登録する動画やiモーションを選ぶ**

4 **操作2〜3 を繰り返して[ ][完了]を押す**

登録した動画やiモーションを解除する場合
解除する動画やiモーションを選んで「ムービー解除」を選ぶ

5 ◉[再生]を押してプログラム再生する

動画やiモーションの再生がはじまります。
プログラム再生を停止するまで繰り返し再生されます。
プログラムの登録内容は、「iモーション」を終了しても解除されません。

登録した動画やiモーションをすべて解除する場合

「iモーション」のフォルダ一覧画面で「プログラム」を反転表示して、機能メニューから「プログラム解除」を選ぶ

おしらせ

- プログラム再生しているときは、「Phone To機能」、「Mail To機能」、「Web To機能」は利用できません。

動画やiモーションを待受画面に設定する

- 動画やiモーションを待受画面に設定した場合、待受画面ではその動画やiモーションの１コマ目の画像が表示されます。

1 動画やiモーションの一覧画面（P.349）を表示させる

2 設定したい動画やiモーションを反転表示して、機能メニューから「待受画面設定」を選ぶ

3 「YES」を選ぶ

設定した動画やiモーションを解除するときは、「画面表示設定」でほかの画像などに設定を変更してください。

おしらせ

- 音声だけの動画やiモーション、テキストだけのiモーション、再生制限が設定されているiモーションは、待受画面に設定することはできません。
- 待受画面に設定された動画やiモーションはFOMA端末を開くと再生されます。この場合、再生中に可能な操作は音量調節だけで、マナーモード中には映像のみが再生されます。また、「Phone To機能」、「Mail To機能」、「Web To機能」は利用できません。

動画をメールで送信する

- データ量などによっては、動画やiモーションをiモードメールに添付できない場合があります。→P.260

1 動画やiモーションの一覧画面（P.349）を表示させる

2 iモードメールで送信したい動画を反転表示して、機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ

iモードメールに添付できない動画やiモーションのときは、「iモードメール作成」を選ぶことはできません。
動画再生中も機能メニューからiモードメールを作成できます。

3 iモードメールを作成する

iモードメール新規作成について→P.264

動画を編集する

編集できる種類は次のとおりです。

機能名	編集内容	参照ページ
イメージ切り出し	内蔵カメラで撮影した動画の1コマを静止画として切り出す	下記
iモーション切り出し	内蔵カメラで撮影した動画の一部を切り出す	P.355
メールサイズ切り出し	内蔵カメラで撮影した動画をメール添付できるファイルサイズに切り出す	P.355
テロップ編集	動画に新しくテロップを追加・変更する	P.356
アフレコ編集	動画に新規で音声を録音する	P.358

- 動画編集中は、マルチタスク機能を利用できません。
- 編集できる動画について→P.370

1 **動画やiモーションの一覧画面(P.349)で編集したい動画を反転表示して、機能メニューから「iモーション編集」を選ぶ**

2 **機能メニューから編集したい機能を選んでそれぞれの操作を行う→上記表**

動画の1コマを切り出して保存する　<イメージ切り出し>

内蔵カメラで撮影した動画を再生中、早送り再生中、スロー再生中に一時停止させて、静止画を切り出して保存することができます。

- 保存した静止画は「イメージ」で表示したり、加工したりすることができます。→P.338、P.344

1 **機能メニューから「イメージ切り出し」を選ぶ**

動画の1コマ目を切り出したい場合は、操作3へ進みます。

2 **◉[再生]を押し、切り出したい場面で◉[停止]を押し、一時停止させる**

動画が再生されます。
早送り再生中、スロー再生中でも◉[停止]を押して一時停止させることができます。
一時停止後、◎を押して1コマごとに進めることができます。

3 **[確定]を押して「YES」を選ぶ**

「イメージ」のフォルダ一覧画面(P.338)が表示されます。

4 **保存するフォルダを選んで◉[選択]を押す**

操作2～3で選択した場面が静止画として切り出されて保存されます。

動画の一部を切り出す　＜iモーション切り出し＞

内蔵カメラで撮影した動画のお好きな場面を切り出して保存することができます。「ピクチャボイス」も同様に切り出して保存することができます。

1 機能メニューから「iモーション切り出し」を選ぶ

動画の途中の場面から切り出しをはじめたい場合

●[再生]を押して切り出しをはじめる場面まで再生して●[停止]を押す
再生中に◯を1秒以上押して早送り再生ができます。

2 [始点]を押して動画切り出しを開始する

動画が再生され、切り出しが開始されます。
再生中に◯を1秒以上押して早送り再生ができます。

3 動画を切り出す最後の場面になったら●[停止]を押して[終点]を押す

切り出した動画が再生されます。
早送り再生中、スロー再生中でも●[停止]を押して停止させることができます。
停止後、◯を押して1コマごとに進めることができます。
中止するときはCLRを押します。

4 ●[確定]を押す

切り出した動画を確認する場合

[デモ]を押す

5 ●[保存]を押して「YES」を選ぶ

元の動画と同じフォルダに切り出した動画が保存されます。

動画をメールに添付できるサイズに切り出す　＜メールサイズ切り出し＞

内蔵カメラで撮影した動画を、メールに添付できるファイルサイズに切り出せます。

1 機能メニューから「メールサイズ切り出し」を選ぶ

動画の途中の場面から切り出しをはじめたい場合

●[再生]を押して切り出しをはじめる場面まで再生して●[停止]を押す
再生中に◯を1秒以上押して早送り再生ができます。

次ページへつづく

2 [始点]を押して動画切り出しを開始する

動画が再生され、切り出しが開始されます。
メールに添付できる最大ファイルサイズになると、自動的に再生が停止します。

3 ◉[確定]を押す

切り出した動画を確認する場合
[デモ]を押す

4 ◉[保存]を押して「YES」を選ぶ

元の動画と同じフォルダに切り出した動画が保存されます。

おしらせ

- 「メールサイズ切り出し」で切り出すことができる動画は、内蔵カメラで撮影した100Kバイト以上のiモーションです。

動画のテロップを編集する　＜テロップ編集＞

お買い上げ時	文字色：黒　背景色：白　文字サイズ：標準　文字位置：左寄せ 点滅／下線／スクロール：OFF

動画に新しくテロップを追加したり、編集することができます。

- 1つの動画につき、5件のテロップを編集できます。1件につき全角で20文字までテロップを入力できます。

＜例：テロップを新規作成する場合＞

1 機能メニューから「テロップ編集」を選んで「新規作成」を選ぶ

動画の途中の場面からテロップを編集する場合
◉[再生]を押してテロップ表示をはじめる場面まで再生して◉[停止]を押す

すでにテロップがある動画を編集する場合
テロップ情報が削除される可能性があることを通知するメッセージが表示されます。
テロップを編集する場合は「YES」を選びます。「編集」を選んで編集するテロップを一覧から選んでください。

テロップを追加する場合
機能メニューから「テロップ編集」を選んで「編集」を選び、機能メニューから「テロップ追加」を選ぶ
「＜追加可能＞」を選んでテロップを追加してください。
すでに別のテロップが登録されている場合は、テロップを追加できる位置に「＜追加可能＞」が複数表示されますので追加したい位置を選んでください。

2 [始点]を押してテロップを入力し、◉[確定]を押す

[始点]を押す代わりに、機能メニューから「テロップ表示始点」を選んでもテロップ表示の始点を設定できます。
文字の入力のしかた→P.502

データ表示／編集／管理

3 項目を選んでテロップを編集する

文字色または背景色を変更する場合
「文字色」または「背景色」を選んで変更する色を選ぶ
そのほかの色を選ぶ場合は、[切替]を押して色を選びます。

文字サイズを変更する場合
「文字サイズ」を選び、文字のサイズを「標準」または「拡大」から選ぶ

文字位置を変更する場合
「文字位置」を選び、文字位置を「左寄せ」、「センタリング」、「右寄せ」から選ぶ

テロップを点滅させる場合
「点滅」を選び、「ON」を選ぶ

テロップに下線を追加する場合
「下線」を選び、「ON」を選ぶ

スクロール方法を設定する場合
「スクロール」を選び、スクロール効果の種類を「OFF」、「スクロールイン」、「スクロールアウト」、「スクロールイン・アウト」から選んで、テロップをスクロールする方向を「右から左へ」、「左から右へ」、「下から上へ」、「上から下へ」から選ぶ

4 編集が終わったら「設定完了」を選ぶ

5 ●[再生]を押してテロップを表示する範囲を再生する

新規作成するテロップ表示の範囲を再生中に、すでに登録されているテロップの始点の位置になった場合は、その位置を終点にするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶとテロップが新規登録されます。「NO」を選ぶと、テロップの一覧画面に戻ります。

6 テロップ表示を終了する場面になったら●[停止]を押して[終点]を押す

[終点]を押す代わりに、機能メニューから「テロップ表示終点」を選んでもテロップ表示の終点を設定できます。

7 テロップ編集が終わったら、機能メニューから「テロップ編集完了」を選ぶ

テロップリストが表示された場合
[完了]を押す

テロップ編集した動画を確認する場合
機能メニューから「テロップ編集完了」を選んだ後または[完了]を押した後、[デモ]を押す

8 ●[確定]を押す

9 ●[保存]を押して「YES」を選ぶ

元の動画と同じフォルダに編集後の動画が保存されます。

データ表示／編集／管理

次ページへつづく

登録済みのテロップの詳細を確認する場合

操作1の画面で「編集」を選んだ後、確認したいテロップを反転表示して、◉[詳細]を押す

登録済みのテロップを編集する場合

操作1の画面で「編集」を選んだ後、編集したいテロップを反転表示して、機能メニューから次の項目を選ぶ

- 文字変更　　：入力したテロップを変更します。
- 効果変更　　：文字色、文字位置、スクロールの方向などを変更します。
- 開始位置変更：テロップを表示する開始位置を変更します。
- 終了位置変更：テロップを表示する終了位置を変更します。

登録済みのテロップを削除する場合

操作1の画面で「編集」を選んだ後、削除したいテロップを反転表示して、機能メニューから「テロップ削除」を選ぶ

動画にアフレコを録音する　＜アフレコ編集＞

動画の音声部分を消して新たに音声を録音できます。

1 機能メニューから「アフレコ編集」を選ぶ

2 [始点]を押してアフレコの録音をはじめる

動画の途中の場面からアフレコを録音する場合

◉[再生]を押してアフレコの録音をはじめる場面まで再生して[始点]を押す

3 アフレコの録音が終わったら[終点]を押して◉[完了]を押す

4 ◉[確定]を押す

録音したアフレコを確認する場合

[デモ]を押す

5 ◉[保存]を押して「YES」を選ぶ

元の動画と同じフォルダに編集後の動画が保存されます。

キャラ電とは

テレビ電話をお使いのときに、相手のFOMA端末に自分側のカメラ映像を送る代わりにキャラクタを代替画像として送ることができます。

- ボタン操作でキャラクタにいろいろな動き(アクション)を与えたり、音声に合わせてキャラクタの口を動かし、キャラクタも話しているような動作をすることができます。→P.361
- 「キャラ電撮影」(P.362)で撮影した静止画や動画を待受画面に設定したり、iモードメールに添付して送ることができます。
- キャラクタは内蔵キャラクタのほかに、サイトからお好きなキャラクタをダウンロードして登録することができます。→P.224

キャラ電を表示する　<キャラ電>

お買い上げ時	画像表示設定：画面サイズで表示　代替画像設定：ブンブン(Dimo)

内蔵キャラ電やサイトからダウンロードしたキャラ電を表示します。

- 内蔵キャラ電として次の3件が登録されています。

© BVIG
ブンブン(Dimo)

チカ(Chica)

ニノ(Nino)

1 (Menu)▶ ▶「キャラ電」の順に選ぶ

キャラ電一覧画面が表示されます。

2 表示したいキャラ電を選ぶ

選択したキャラ電が表示されます。

画面表示サイズを変更する

機能メニューから「画像表示設定」を選んで表示サイズを「等倍表示」または「画面サイズで表示」から選ぶ

キャラ電の情報を確認する場合

キャラ電一覧画面で確認したいキャラ電を反転表示して、機能メニューから「キャラ電情報」を選ぶ

キャラ電情報ではキャラ電の初期タイトル、ファイル名、撮影後ファイル制限、ファイル制限、ファイルサイズなどの情報を確認できます。

キャラ電情報を確認したら(CLR)を押します。

表示したキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定する場合

機能メニューから「代替画像設定」を選ぶ

操作1のキャラ電一覧画面でキャラ電を反転表示して、機能メニューから「代替画像設定」を選んでも設定できます。

おしらせ

- 「撮影後ファイル制限」が「あり」の場合は、「キャラ電撮影」で撮影した静止画や動画を編集したり、miniSDメモリーカードへの保存、iモードメール添付などを行うことができません。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、ダウンロードしたキャラ電は再生できなくなり、「代替画像設定」に設定されている場合はお買い上げのときの設定で動作します。元のFOMAカードを挿入し直すと、それらの表示や設定した動作ができるようになります。→P.48

キャラ電を操作する

キャラ電の感情やしぐさなどを表現するために、用意されているいろいろなアクションから選んで再生できます。

- キャラ電の操作をしていないときも、選択しているキャラ電の種類によって異なる特有のアクションを続けます。

1 キャラ電を表示する→P.359

2 (＊)を押してアクション一覧を表示する

一覧で表示されるアクションは、キャラ電の種類によって異なります。

機能メニューから「アクション一覧」を選んでもアクション一覧を表示できます。

アクション一覧でアクション名の右にある「1」や「#1」などは、キャラ電表示中にそのダイヤルボタンを押すと、対応するアクションを再生することができます。→P.361

アクションの詳細を表示する場合

確認したいアクションを反転表示して、[詳細]を押す

アクションの詳細を確認したら[閉]を押します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

アクションモードを切り替える場合

キャラ電表示中に機能メニューから「アクション切替」を選ぶ
(パーツアクションモード)は全体アクションモードに、(全体アクションモード)はパーツアクションモードに切り替わります。

(全体アクション)：
感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。

(パーツアクション)：
頭や手足などのキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。

3 再生したいアクションを選ぶ

選択したアクションを再生します。

選択したアクションの再生を中止する場合

0を押す

キャラ電表示中にダイヤルボタンでアクションを選ぶ場合

キャラ電表示中の画面で次のダイヤルボタンを押してアクションを再生します。

「全体アクション」　：アクション一覧でアクション名の右にある1桁の数字(1～9)または#1～#9を押す

「パーツアクション」：アクション一覧でアクション名の右にある2桁の数字(11～99)を押す

<例：全体アクション「怒る」を選ぶ場合>

上記操作2の画面で2を押す

<例：パーツアクション「右側の手を上げる」を選ぶ場合>

上記操作2の画面で33を押す

音声に合わせてキャラ電の口の動きに変化をつける

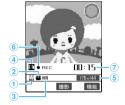
キャラ電によっては表示中に音声を入力すると、音声に合わせてキャラ電も一緒に話しているような口の動きを与えることができるものもあります。

機能メニューやダイヤルボタンを押してアクションの再生が行われた場合は、音声を入力しても選択したアクションの動きが優先されます。

「キャラ電」で再生したキャラ電を、静止画や動画に切り出して保存することができます。

- 切り出された静止画は「イメージ」のINBOXフォルダに、動画は「iモーション」のINBOXフォルダにそれぞれ保存されます。
- 撮影時の設定について→P.364

■ キャラ電撮影時の見かた

静止画撮影の場合

動画撮影の場合

①現在選択されているアクションモード（P.361）を示します。
　：全体アクション
　：パーツアクション

②撮影モードを示します。
　：静止画撮影
　：動画撮影

③「動画保存設定」の設定を示します。
　LONG：時間優先
　NOR：標準
　FINE：画質優先

④「撮影種別設定」の設定を示します。
　：通常
　：映像のみ

⑤「画像サイズ設定」に設定しているサイズが表示されます。
　176×144：サイズ大（176×144）
　128×96：サイズ小（128×96）

⑥撮影の状態を示します。
　STAND BY：スタンバイ
　● REC：撮影中

⑦残り撮影時間が「分：秒」で表示されます（撮影前は非表示）。

■ 静止画を撮影する

1 キャラ電を表示する→P.359

2 機能メニューから「キャラ電撮影」を選ぶ

静止画撮影画面が表示されます。

動画撮影に切り替える場合

「」が表示されているときに、機能メニューから「ムービーモード」を選ぶ
アイコンが「」に切り替わります。

キャラ電を切り替える場合

機能メニューから「キャラ電切替」を選んで切り替えるキャラ電を選ぶ
キャラ電を切り替えると、選択できるアクションや操作していないときの動きなどがすべて切り替わります。

3 撮影したいキャラ電のアクションを選ぶ

アクションについて→P.361

選択したアクションの再生を中止する場合

0を押す

4 キャラ電の表示を確認して●[撮影]を押す

撮影時にはシャッター音が鳴り、確認モード画面が表示されます。

撮影をやり直したい場合

CLRを押す

静止画撮影画面に戻りますので撮影し直してください。

撮影した静止画をすぐにiモードメールに添付して送る場合

[MAIL]を押す

静止画が添付された新規iモードメールの作成画面が表示されます。→P.264

「撮影後ファイル制限」が「あり」の場合は、iモードメール添付を行うことはできません。

5 ●[保存]を押す

撮影した静止画は「イメージ」のINBOXフォルダに保存されます。
続けて撮影する場合は、操作3～5を繰り返してください。

■ 動画を撮影する

1 キャラ電を表示する→P.359

2 機能メニューから「キャラ電撮影」を選ぶ

3 機能メニューから「ムービーモード」を選ぶ

動画撮影画面が表示されます。

静止画撮影に切り替える場合

「🎥」が表示されているときに、機能メニューから「フォトモード」を選ぶ

アイコンが「📷」に切り替わります。

キャラ電を切り替える場合

機能メニューから「キャラ電切替」を選んで切り替えるキャラ電を選ぶ

キャラ電を切り替えると、選択できるアクションや操作していないときの動きなどがすべて切り替わります。

4 キャラ電の表示を確認して●[撮影]を押す

撮影開始時には撮影開始音が鳴り、撮影中の映像が画面に表示されます。

撮影をやり直したい場合

CLRを押す

撮影できる最大ファイルサイズになると、自動的に撮影が停止します。

●[終了]を押すと操作6の確認モード画面が表示されます。

5 ダイヤルボタンを押してアクションを再生する

アクションについて→P.361

撮影中に続けてアクションを選びます。

選択したアクションの再生を中止する場合

0を押す

データ表示／編集／管理

次ページへつづく

6 ◉[終了]を押して撮影を終了する

撮影終了時には撮影終了音が鳴り、確認モード画面が表示されます。

撮影した動画を確認する場合

機能メニューから「再生確認」を選ぶ

撮影をやり直したいとき

CLRを押す

動画撮影画面に戻りますので、撮影し直してください。

撮影した動画をすぐにiモードメールに添付して送る場合

[MAIL]を押す

動画が添付された新規iモードメールの作成画面が表示されます。
→P.264

「撮影後ファイル制限」が「あり」の場合は、iモードメール添付を行うことはできません。

7 ◉[保存]を押す

撮影した動画は「iモーション」のINBOXフォルダに保存されます。
続けて撮影する場合は、操作4〜7を繰り返してください。

おしらせ

- 「キャラ電」で動画撮影中は着信ランプは点滅しません。また、「マナーモード」に設定しているときは、シャッター音や撮影開始／終了音は鳴りません。
- キャラ電撮影中にボタン操作を行うと、操作音やボタン確認音が録音される場合があります。ボタン確認音を録音しないようにするには「マナーモード」に設定したり、「ボタン確認音」を「OFF」に設定してください。
- キャラ電撮影後、保存する前に着信やアラーム通知などがあった場合は、撮影したデータが自動的に保存されます。
- 「イメージ」や「iモーション」に空き容量がない場合に撮影しようとしたときは、容量不足というメッセージが表示され、撮影できません。

■ キャラ電撮影の設定をする

お買い上げ時	画像サイズ設定　：サイズ大（176×144）　撮影種別設定：通常 動画保存設定　　：標準

静止画撮影の画像サイズを設定します。動画撮影の場合は画質の設定や、映像と音声または映像のみの撮影種別を選択することができます。
設定の内容はキャラ電撮影時の画面で確認できます。**→P.362**

- キャラ電を終了してもキャラ電撮影の設定は保持されます。

1 キャラ電撮影画面で機能メニューを表示させる→P.362

画像サイズを設定する場合

機能メニューから「画像サイズ設定」を選んで記録サイズを選ぶ
サイズ大（176×144）：静止画や動画をQCIFサイズで保存します。
サイズ小（128×96）　：静止画をSub-QCIFサイズで保存します。

動画の撮影種別を設定する場合

機能メニューから「撮影種別設定」を選んで動画の撮影種別を選ぶ
通常　　　：映像・音声ともに撮影します。
映像のみ　：映像のみを撮影します。

動画の画像品質を設定する場合

機能メニューから「動画保存設定」を選んで動画の画像品質を選ぶ
時間優先　：1コマごとの画質が落ちますが、撮影時間は長くなります。
標準　　　：画質、撮影時間ともに標準の設定です。
画質優先　：1コマごとの画質は向上しますが、撮影時間は短くなります。

おしらせ

- 静止画撮影の際に「画像サイズ設定」を「サイズ小（128×96）」に設定しても、動画撮影に切り替えると「サイズ大（176×144）」に切り替わります。

メロディを再生する

内蔵メロディや効果音、サイトなどから取り込んだメロディ、iアプリやバーコードリーダーから登録したメロディを再生します。また、おしゃべり機能で録音した音声を確認することもできます。

●「メロディ」のフォルダ構成やファイル形式について→P.368

1 (Menu)▶マルチメディア▶「メロディ」の順に選ぶ

フォルダー覧画面

「メロディ」のフォルダ一覧画面が表示されます。
「プログラム」を選ぶと10 曲まで選んでプログラム再生をすることができます。→P.367
「PIMロック」設定中は、プリインストールフォルダのみが表示されます。

2 再生したいメロディがあるフォルダを選ぶ

メロディ一覧画面

メロディ一覧画面が表示されます。
タイトル前のアイコンについて→P.369

3 再生したいメロディを選ぶ

メロディの再生がはじまります。
「着信音量」の「電話／TV電話」で設定されている音量で再生します。「消去」または「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で再生します。

メロディ再生中の操作について

「メロディ」を再生中には次の操作を行うことができます。

操作ボタン	メロディの動作
(左右キー)	前後の曲の再生
(上下キー)(サイドキー▲)、(上下キー)(サイドキー▼)	音量調節
0〜9、*、#、(発信)、(カメラ)、(サイドキー)、●	再生の停止
CLR	終了

- 音量を調節した後、●[確定]を押すか、約2秒間待つと「メロディ」の画面に戻ります。
- 再生中に音量を変更しても、「メロディ」を終了すると「着信音量」で設定されている音量に戻ります。

メロディの情報を確認する場合

メロディ一覧画面(P.365)で確認したいメロディを反転表示して、機能メニューから「メロディ情報」を選ぶ

メロディ情報では、メロディの初期タイトル、ファイル名、ファイル制限、着信音やアラーム音の設定状況などの情報を確認できます。メロディ情報を確認したらCLRを押します。

着信音の設定をする場合

メロディ一覧画面(P.365)で設定したいメロディを反転表示して、機能メニューから「着信音設定」を選ぶ

設定する項目を選んでください。すでに設定されている項目には「★」マークがつきます。
メロディ再生中も機能メニューから着信音を設定できます。
設定した着信音を解除するときは「着信音選択」でほかのメロディに変更します。

iモードメールを作成する場合

メロディ一覧画面(P.365)で添付したいメロディを反転表示して、機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ

iモードメール新規作成について→P.264
メロディ再生中も機能メニューからiモードメールを作成できます。
メールに添付できないメロディのときは、「iモードメール作成」を選ぶことはできません。また、データ量などによっては、メロディをiモードメールに添付することができない場合があります。
→P.260

おしらせ

- マナーモード設定中に再生しようとしたときは、再生するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶとメロディが再生されます。
- メロディの再生中に、音声電話やテレビ電話の着信があったり、めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知が実行されたり、ほかの機能の操作を行ったときは、再生は中止されます。
- タイトルの前に「(アイコン)」、「(アイコン)」がついているメロディは、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。「メロディ」ではメロディのすべての部分を再生できます。
- 「(アイコン)」がついていたり、メロディ情報のファイル制限が「なし」の場合でも、メール添付や赤外線通信による転送ができないことがあります。

10曲まで選んで登録しておき、複数の曲を連続して再生できます。

1 「メロディ」のフォルダ一覧画面（P.365）で「プログラム」を反転表示して、機能メニューから「プログラム編集」を選ぶ

2 登録する番号を選ぶ

登録した番号順に再生します。

3 フォルダを選んで登録するメロディを選ぶ

[デモ]を押すと、メロディを再生します。

4 操作2〜3 を繰り返して[完了]を押す

登録したメロディを解除する場合
　解除するメロディを選んで「メロディ解除」を選ぶ

5 ●[再生]を押してプログラム再生する

メロディの再生がはじまります。
プログラムの登録内容は、「メロディ」を終了しても解除されません。

登録したメロディをすべて解除する場合
　「メロディ」のフォルダ一覧画面で「プログラム」を反転表示して機能メニューから「プログラム解除」を選ぶ
　次の場合はプログラムが解除されます。
- 登録されたメロディを1つでも削除したとき
- 登録されたメロディのタイトルを1つでも変更したとき
- 登録されたメロディのファイル名を1つでも変更したとき

フォルダとデータを操作する

内蔵カメラで撮影した写真(静止画)や動画、メールやサイトなどから取り込んだデータ、miniSDメモリーカード内のデータなどは、データの種類に合わせてフォルダに振り分けられます。
フォルダ内のデータは着信音や待受画面など、いろいろな機能に設定できるほか、メールに添付したり、パソコンに送信したりできます。
また、ユーザ作成フォルダを追加してデータを整理することもできます。

- ●「イメージ」は内蔵カメラで撮影した静止画と合わせて最大400件まで、「iモーション」は内蔵カメラで撮影した動画と合わせて最大100件まで、「メロディ」は最大160件まで保存することができます。保存可能件数はデータ量により変動します。
- ●「イメージ」、「iモーション」、「メロディ」にそれぞれ20個までフォルダを追加できます。ユーザ作成フォルダはフォルダ名を編集できます。お買い上げのときはユーザ作成フォルダは登録されていません。

マルチメディアのフォルダ構成と保存可能データ

フォルダ		ファイル形式	保存できるデータ
イメージ		—	—
	INBOX	GIF JPEG SWF※1	すべての画像の保存先として選択することができます。 キャラ電から切り出した静止画、赤外線通信などにより転送された画像、miniSDメモリーカードからインポートした画像はINBOXフォルダに保存されます。
	カメラ		
	(ユーザ作成フォルダ1〜20)		
	プリインストール	GIF JPEG SWF※1	内蔵の待受画面やウェイクアップの画像、アニメーション、デコメールイメージ
	自作アニメ	—	自作したアニメーション、内蔵カメラで撮影した連続写真のアニメーション
	miniSD	JPEG	内蔵カメラで撮影した写真(静止画)や加工した静止画
	フレーム	GIF (IFM)	ダウンロードしたフレーム、メール添付されたフレームなどのアイテム
iモーション		—	—
	INBOX	MP4	すべての動画やiモーションの保存先として選択することができます。 赤外線通信などにより転送された動画やiモーション、miniSDメモリーカードからインポートした動画やiモーションはINBOXフォルダに保存されます。 また、お買い上げのときは内蔵着モーション(P.125)も保存されています。
	カメラ		
	(ユーザ作成フォルダ1〜20)		
	miniSD	MP4 ASF※2	内蔵カメラで撮影した動画や編集した動画やiモーション
メロディ		—	—
	INBOX	SMF MFi	すべてのメロディの保存先として選択することができます。 赤外線通信などにより転送されたメロディの最初の保存先はINBOXフォルダとなります。
	(ユーザ作成フォルダ1〜20)		
	プリインストール	MFi	内蔵のメロディ、効果音
	おしゃべり	—	おしゃべり機能で録音した音声
キャラ電		AFD	キャラ電

※1 ：「SWF」とはFlash画像(P.207)のファイル形式です。
※2 ： ASF形式は再生のみ可能です。

おしらせ

- ●「iモーション」、「メロディ」にある「プログラム」フォルダは、プログラム再生に利用します。「プログラム」フォルダはほかのフォルダと異なり、データの保存、フォルダ移動、フォルダ名の編集やフォルダの削除などはできません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

タイトル前のアイコンについて

各フォルダの一覧画面で表示されるタイトル前の２つのアイコンは、左側がデータの形式、右側がデータの取得方法を示しています。表示されるそれぞれのアイコンの種類は次のとおりです。

■ データの形式（左側）

アイコン	ファイル形式		ファイル制限	容量／再生制限
JPG（青）／GIF（青）	JPEG GIF	静止画 アニメーション	なし	大容量
JPG（水色）／GIF（水色）				通常
JPG（紺色）／GIF（紺色）				制限なし
JPG（青）／GIF（青）			あり	大容量
JPG（水色）／GIF（水色）				通常
JPG（紺色）／GIF（紺色）				制限なし
	SWF		あり	通常
	GIF(IFM)		なし	通常
			あり	通常
	MP4	動画／iモーション	なし	再生制限なし（再生可）
			あり	
		iモーション		再生制限あり（再生可）
				再生制限あり（再生不可）
（音符が青）※1			なし	再生制限なし（再生可、音響効果可）
（音符が青）※1			あり	
（音符が青）※1				再生制限あり（再生可、音響効果可）
				再生制限あり（再生不可）
（音符がオレンジ色）※2	ASF	iモーション	なし	—
（音符がオレンジ色）※2			あり	
／	MFi SMF	メロディ	なし	—
／			あり	
	AFD	キャラ電	あり	—
	—	FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ	—	—

※1：タイトルの前に「」、「」、「」（音符が青）がついているiモーションは、お買い上げのときは再生音に音響効果を加えるように設定されています。音響効果の設定について→P.127

※2：タイトルの前に「」、「」（音符がオレンジ色）がついているiモーションは、miniSDメモリーカードにのみ保存可能なファイル形式です（本FOMA端末には保存できません）。

■ データの取得方法（右側）

アイコン	取得方法
アイコンなし	プリインストールデータ
	メール添付、サイトなどからのダウンロード、iアプリから取得したデータ
	内蔵カメラで撮影した静止画や動画
	赤外線通信／ケーブル接続などによる転送、バーコードリーダー、miniSDメモリーカードから取得したデータ
	キャラ電撮影で取得したデータ
	フレームデータ※

※：フレームは取得方法にかかわらず共通のアイコンが表示されます。

次ページへつづく

タイトル、ファイル名について

内蔵カメラまたは「キャラ電」で撮影した静止画や動画には自動的にタイトルとファイル名がつきます。
ダウンロードしたiモーションやメロディ、キャラ電にはオリジナルのタイトルがつきます。ダウンロードした画像にはファイル名と同じタイトルがつきます。
タイトルは「iモーション情報」、「メロディ情報」、「キャラ電情報」で表示されます。
ファイル名は、機能メニューから「イメージ情報」を選んだときや、パソコンに送ったときなどに表示されます。

＜例：内蔵カメラで撮影した静止画の場合＞
・タイトル：yyyy/mm/dd hh:mm
　（yyyy/mm/dd hh:mm →保存した年月日と時刻）
・ファイル名：yyyymmddhhmmxxx
　（yyyymmddhhmm →保存した年月日と時刻、xxx ：3桁の番号）
　ファイル名の末尾3桁の番号は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。
　日付・時刻が設定されていないときや、ファイル名に含める情報がないときのファイル名は「imagexxx」になります。
　タイトルとファイル名の変更について→P.375

画像加工・動画編集できるデータについて

フォルダ	アイコン	データ	画像加工／動画編集
イメージ	JPG（青）／JPG（水色）／JPG（紺色）	JPEG画像※1	加工可能
	（アイコン）	キャラ電で撮影した静止画※2	
	GIF（青）／GIF（水色）／GIF（紺色）	GIF画像	加工不可
	JPG（青）／JPG（水色）／JPG（紺色）	ファイル制限が設定されているJPEG画像※3	
	GIF（青）／GIF（水色）／GIF（紺色）	ファイル制限が設定されているGIF画像	
	（アイコン）	Flash画像	
	（アイコン）／（アイコン）	フレーム	
	（アイコン）	FOMAカード動作制限が設定されている画像（別のFOMAカードに差し替えている場合など）	
iモーション	（アイコン）	内蔵カメラで撮影した動画※3	編集可能
	（アイコン）	赤外線通信などにより転送（受信）した動画	
	（アイコン）	キャラ電で撮影した動画※2	
	（アイコン）	サイトなどから取り込んだiモーション	編集不可

※1：画像サイズによって加工できる機能が異なります。→P.344
※2：「撮影後ファイル制限」が「あり」の静止画や動画は加工、編集ができません。
※3：内蔵カメラで撮影した静止画や動画は「ファイル制限」が「あり」の場合でも加工、編集ができます。

● 画像の加工方法、動画の編集方法について→P.344、P.354
●「miniSD」フォルダ内の静止画や動画は編集できません。

お願い

・登録した各フォルダ内のデータの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.569）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、データの内容をパソコンに保管することもできます。
・FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したデータが消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したデータは、別にメモをお取りくださるようお願いします。

フォルダ内のデータを確認する

＜例：「イメージ」のデータを確認する場合＞

1 **（Menu）▶（マルチメディア）▶「イメージ」の順に選ぶ**

「イメージ」のフォルダ一覧画面が表示されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

2 確認したいデータのあるフォルダを選ぶ

選択したフォルダのデータ一覧画面が表示されます。
データが1件も登録されていないときは、データがないことを通知するメッセージが表示されます。

3 確認したいデータを選ぶ

データが表示または再生されます。
データ一覧画面に戻る場合は、CLRを押します。

フォルダを作成／編集／削除する

「イメージ」、「iモーション」、「メロディ」の各フォルダ内(「miniSD」フォルダを含む)に新しくフォルダを追加して、データを整理することができます。

● フォルダはそれぞれ20個まで追加することができます。また、フォルダ名は編集することもできます。

<例：「イメージ」にフォルダを追加する場合>

1 「イメージ」のフォルダ一覧画面(上記)で機能メニューから「フォルダ追加」を選ぶ

2 フォルダ名を入力して●[確定]を押す

フォルダ名は、全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
すでに存在するフォルダ名と同じ名前のフォルダを追加することができます。フォルダ名が1文字も入力されていないときは、フォルダを追加することはできません。
文字の入力のしかた→P.502

フォルダ名を変更する場合

フォルダの一覧画面で変更したいフォルダを反転表示して、機能メニューから「フォルダ名編集」を選んでフォルダ名を変更する

フォルダ名を変更できるのは、ユーザ作成フォルダのみです。

フォルダを削除する場合

フォルダの一覧画面で削除したいフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ削除」を選び、端末暗証番号を入力して「YES」を選ぶ

・フォルダを削除すると、フォルダ内のデータも削除されます。
・フォルダを削除できるのは、ユーザ作成フォルダのみです。
・待受画面などに設定されている画像、動画やiモーション、自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像、プログラムやランダムメロディに設定されているメロディのあるフォルダを削除しようとしたときは、削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選んで削除した場合、設定されていた画面などは次のようになります。
　・設定されていた待受画面などはお買い上げのときの状態に戻ります。
　・自作アニメは解除されます。
　・ランダムメロディを着信音に設定しているときは、お買い上げのときの状態に戻ります。
　・スケジュールの一覧画面に表示されるユーザアイコンの「1」〜「5」は、「時計」に変わります。

■ miniSDメモリーカードの保存先フォルダを選択する

カメラで撮影した動画や静止画をminiSDメモリーカードに保存する場合、撮影の前に保存先フォルダを設定することにより、どのフォルダに保存するかを指定することができます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.376
- 撮影の後では保存先フォルダを指定することはできません。
- 「miniSD」フォルダ内に複数のフォルダがある場合、カメラで撮影した静止画や動画を、どのフォルダに保存するかを設定できます。

<静止画をminiSDメモリーカードに保存する場合>

1 **(Menu)▶(マルチメディア)▶「イメージ」の順に選ぶ**

フォルダ一覧画面が表示されます。

動画をminiSDメモリーカードに保存する場合

(Menu)▶(マルチメディア)▶「iモーション」の順に選ぶ

2 **「miniSD」を選ぶ**

3 **設定したいフォルダを選択して機能メニューから「保存先フォルダ選択」を選ぶ**

4 **「YES」を選ぶ**

おしらせ

- 電源を切ったときや、miniSDメモリーカードのチェック、miniSDメモリーカードのフォーマット、miniSDメモリーカードの取り外しを行うと、保存先フォルダはFOMA端末で作成した最新のフォルダに設定されます。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。
- パソコンでフォルダを作成、編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

データを別のフォルダに移動する

一度に複数のデータを選んで別のフォルダに移動することができます。「INBOX」、「カメラ」、ユーザ作成フォルダに登録されているフォルダ間で移動することができます。

＜例：「メロディ」のデータを移動する場合＞

1 メロディ一覧画面(P.365)で機能メニューから「フォルダ移動」を選んで移動先のフォルダを選ぶ

「イメージ」、「iモーション」のデータを1件移動する場合
移動するデータを反転表示し、機能メニューから「フォルダ移動」を選んで移動先のフォルダを選ぶ

「イメージ」、「iモーション」のデータを複数移動する場合
機能メニューから「複数選択」を選んで移動する画像を選び、機能メニューから「移動」を選んで移動先のフォルダを選ぶ

2 移動したいデータを選ぶ

選択したデータがチェックされます。
チェックされたデータをもう一度選ぶと、選択を解除します。選択を全件解除する場合は、機能メニューから「全選択解除」を選びます。
機能メニューから「全選択」を選ぶとフォルダ内の全データを選択できます。

3 [完了]を押して「YES」を選ぶ

データを削除する

画像や動画、iモーション、メロディ、キャラ電を削除します。

- 1件ずつデータを削除したり、削除したいデータを複数選択して削除したり、すべてのデータを一括して削除できます。ただし、キャラ電は複数選択して削除できません。
- 「プリインストール」フォルダ内のデータや内蔵キャラ電は削除できません。

■ データを1件ずつ削除する

1 データの一覧画面で削除したいデータを反転表示して、機能メニューから「1件削除」を選ぶ

2 「YES」を選ぶ

削除を中止する場合
「NO」を選ぶ

次ページへつづく

■ データを複数選択して削除する

1 データの一覧画面で機能メニューから「複数選択」を選ぶ

メロディの場合
　機能メニューから「選択削除」を選ぶ

2 削除したいデータを選ぶ

画像の場合
　削除したい画像を選ぶ
　選択した画像の枠が赤く変わります。
　選んだ画像をもう一度選ぶと、選択を解除します。選択を全件解除する場合は、機能メニューから「全選択解除」を選びます。機能メニューから「全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべての画像を選択できます。

INBOX 1/2
サッカー
がんばれ日本
ホームラン
ヒット曲
スキー
スケート
ゴール場面集
話題の映画
四季の風景
最新ニュース
選択 機能

動画、iモーション、メロディの場合
　一覧から削除したいタイトルを選ぶ
　選択したタイトルがチェックされます。チェックされたタイトルをもう一度選ぶと、選択を解除します。選択を全件解除する場合は、機能メニューから「全選択解除」を選びます。機能メニューから「全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべてのタイトルを選択できます。

3 それぞれの操作を行う

画像、動画、iモーションの場合
　機能メニューから「削除」を選んで「YES」を選ぶ
メロディの場合
　[完了]を押して「YES」を選ぶ
削除を中止する場合
　「NO」を選ぶ

■ データを全件削除する

● 全件削除しても内蔵のキャラ電は削除されません。

1 データの一覧画面で機能メニューから「全削除」を選ぶ

2 端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

おしらせ

● 待受画面などに設定している画像や動画、iモーションを削除すると、その設定は解除されてお買い上げのときの状態に戻ります。
● 電話やメールなどの着信音に設定しているメロディを削除すると、「着信音選択」、「電話帳便利機能」、「グループ便利機能」の設定は解除されてお買い上げのときの状態に戻ります。
● 自作アニメのリンクファイルに設定している画像を削除すると、その設定は解除されてお買い上げのときの状態に戻ります。
● データの削除中に電話がかかってきたときは、すぐに電話に出られない場合があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

各種データを管理する

各種データを管理するために、次の操作を行うことができます。

■ タイトルを変更する場合

データ一覧画面で変更したいデータを反転表示する→機能メニューから「タイトル編集」を選ぶ→タイトルを変更する

- データ一覧画面に表示されるタイトルが変更されます。
- 画像、動画やiモーションは全角で9文字、半角で18文字まで、メロディは全角で25文字、半角で50文字まで、キャラ電は全角で18文字、半角で36文字まで入力できます。
  文字の入力のしかた→P.502

■ タイトルを初期化する場合

初期化したいデータを反転表示する→機能メニューから「タイトル初期化」を選ぶ→「YES」を選ぶ

- 変更していたタイトルが、初期タイトルに戻ります。
- 「イメージ」のデータはタイトルを初期化できません。

■ ファイル名を編集する場合

データ一覧画面でファイル名を編集したいデータを反転表示する→機能メニューから「ファイル名編集」を選ぶ→ファイル名を編集する

- ファイル名は半角英数字で36文字（拡張子を除く）まで入力できます。半角の「.」「@」「/」「(」「)」「,」「-」「_」「:」「'」「~」「&」「?」「!」「\」「#」「*」はファイル名として入力できません。
- ファイル名を編集する場合は、拡張子以外の部分が編集可能になります。ファイル名を編集後、ファイル形式に適した拡張子が自動的に追加されます。

文字の入力のしかた→P.502

■ 表示順を並び替える場合

データ一覧画面で機能メニューから「ソート」を選ぶ→並べ替える表示順を選ぶ

- 表示順を「新しい順／古い順／タイトル昇順／タイトル降順／大きい順／小さい順／ファイル取得順」から選んで並び替えることができます。
- お買い上げのときは、「新しい順」に表示されます。
- 並び替えた後、フォルダの一覧画面を表示させたり、「イメージ」、「iモーション」を終了させても設定は保持されます。メロディについては、「メロディ」を終了させると、「新しい順」に戻ります。
- キャラ電の一覧画面を並び替えることはできません。

■ 保存容量を確認する場合

データ一覧画面で機能メニューから「保存容量確認」を選ぶ（キャラ電の場合は「保存件数確認」を選ぶ）

- FOMA端末の残りメモリと使用メモリの情報が表示されます。キャラ電の場合は、登録しているキャラ電の件数、保存できるキャラ電の残り件数が表示されます。保存容量を確認したらCLRを押します。

■ ファイル制限を設定する場合

データ一覧画面でファイル制限を設定したいデータを反転表示する→機能メニューから「ファイル制限」を選ぶ

- メールに添付した際、その出力先からさらに送信や出力ができないようにするには「あり」を、送信や出力ができるようにするには「なし」を選びます。ただし、「ファイル制限」を「あり」に設定した場合でも、赤外線通信により転送したときや、miniSDメモリーカードに保存したときは、送信先からFOMA端末外へ送信や出力ができます。ただし、送信先がFOMA N900iG以外の場合は、送信や出力ができないことがあります。

■ ファイル情報を確認する場合

- 「イメージ」、「iモーション」、「キャラ電」、「メロディ」に保存しているデータのファイル情報をそれぞれ確認することができます。→P.338、P.349、P.360、P.366
- 「プリインストール」、「おしゃべり」フォルダ内のデータや「フレーム」フォルダにあらかじめ保存されているデータのファイル情報は確認できません。

■ miniSDメモリーカードの保存先を選択する場合

- 電源を切ったときやminiSDメモリーカードのチェック、miniSDメモリーカードのフォーマット、miniSDメモリーカードの取り外しを行うと、保存先フォルダはFOMA端末で作成した最新のフォルダに設定されます。設定が変更された場合は、再度「miniSDメモリーカードの保存先フォルダを選択する」（P.372）で保存先フォルダを設定してください。
- パソコンでフォルダを作成、編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度「miniSDメモリーカードの保存先フォルダを選択する」（P.372）で保存先フォルダを設定してください。

miniSDメモリーカードについて

SDメモリーカードをさらに小型化した"miniSDメモリーカード"を、FOMA端末内に挿入し、外部メモリとして利用できます。さらにminiSDメモリーカードは、miniSDメモリーカードアダプタに装着して、SDメモリーカードに対応したパソコンなどでも利用できます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- FOMA端末で撮影した静止画や動画、電話帳やメール、ブックマークなどのデータをminiSDメモリーカードにエクスポートしたり、miniSDメモリーカードに保存されているデータをFOMA端末にインポートしたり、置き換えることができます。また、miniSDメモリーカードに保存されている静止画や動画のデータなどをFOMA端末で再生することもできます。
- FOMA端末で画面表示などに設定する画像や動画として、miniSDメモリーカードに保存されている画像や動画を利用することはできません。本体にインポートしてから設定してください。
- miniSDメモリーカード装着時には「」が表示されます。
- miniSDメモリーカード内のデータを操作したり、データをエクスポート／インポートするときには充電ランプが緑色（色5）で点滅します。また、miniSDメモリーカードを入れたまま電源を入れたときや、電源を切っているときに充電器をつないだ状態でminiSDメモリーカードを入れたときなどにも、充電ランプが緑色（色5）で点滅します。
- 本FOMA端末では、128MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています。（2004年10月現在）
  対応miniSDメモリーカードについての最新情報は下記のサイトをご覧ください。
  iモード：「iMenu」－「メニューリスト」－「ケータイ電話メーカー」－「みんなNらんど」
  パソコンなど：NECワイワイもばいる　http://www.n-keitai.com/

取扱い上のご注意

※ フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、使用できないことがあります。 **→P.391**

miniSDメモリーカードを取扱う場合のご注意は、次のとおりです。

- miniSDメモリーカードおよびminiSDメモリーカードアダプタの取扱い上の注意については、miniSDメモリーカードおよびminiSDメモリーカードアダプタに添付の取扱説明書をご覧ください。
- miniSDメモリーカードは、FOMA端末の電源を切った状態で取り付けや取り外しを行ってください。
- miniSDメモリーカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとご利用になれません。
- miniSDメモリーカードは、ご使用になる前にフォーマットしてください。フォーマットしないとFOMA端末からデータをエクスポートすることができません。
- 次のような操作をしているときには、miniSDメモリーカードをFOMA端末から抜いたり、FOMA端末の電源を切ったり、電池パックを取り外さないでください。
  - ・miniSDメモリーカードをフォーマットしているとき
  - ・データをエクスポート／インポートしているとき
  - ・「長時間ムービー」で撮影しているとき
  - ・「miniSDリーダライタ」として利用しているとき

  など
- FOMA端末の電池残量が少ないときは、miniSDメモリーカードを利用することができない場合があります。
- 長時間お使いになった後、取り外したminiSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- 本FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存されたデータを他の機種や機器で読み込んだり、他の機種や機器からminiSDメモリーカードに保存されたデータを本FOMA端末で読み込んだ場合は、機種や機器によっては読み込みができないことがあります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り付け、取り外しを行ってください。
miniSDメモリーカードは、無理に差し込んだり引き抜いたりしないでください。

■ miniSDメモリーカードを取り付ける

1 **miniSDメモリーカードスロットのキャップを開ける**

2 **miniSDメモリーカードスロットにminiSDメモリーカードを差し込み、ロックされるまで押し込む**

miniSDメモリーカードの印刷面を上にしてゆっくりと差し込んでください。
完全に奥まで押し込むとロックされます。

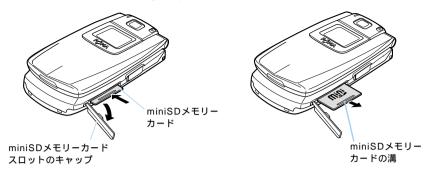
3 **miniSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる**

miniSDメモリーカードを取り付け後、電源を入れると、ディスプレイに「SD」が表示されます。

おしらせ

● miniSDメモリーカードに不具合のある場合や、正常にフォーマットできなかった場合には「SD」が表示されます。

次ページへつづく

■ miniSDメモリーカードを取り外す

1 miniSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

2 miniSDメモリーカードを軽く押し込む

miniSDメモリーカードを押し込んで手を離すと、miniSDメモリーカードが少し出てきます。このとき、miniSDメモリーカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

3 miniSDメモリーカードをゆっくりと引き抜いて取り外す

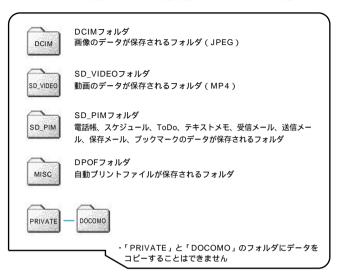
miniSDメモリーカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜いてください。

4 miniSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

フォルダの構成について

miniSDメモリーカードには、保存するデータの種類別に以下のフォルダが用意されています。

おしらせ

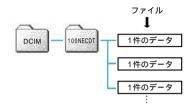
● パソコンなどからminiSDメモリーカードにデータを保存するときも、データの種類に合ったそれぞれのフォルダに保存してください。種類の違うデータをほかのフォルダに保存することはできますが、種類の違うデータはFOMA端末で認識できず表示されません。また、これらのフォルダを削除したり別のフォルダの中に移動したりすると、FOMA端末に取り付けたときにフォーマットするかどうかのメッセージが表示されることがあります。フォーマットすると、保存されていたデータはすべて削除されます。フォーマットしない場合は、削除や移動していないフォルダに保存されているデータを表示することができます。たとえば、DCIMフォルダを削除しても、SD_VIDEO、SD_PIMの各フォルダに保存されているデータは表示できます。

作成されるファイルについて

「ファイル」とは、1件または複数のデータを1つにまとめて保存したデータのことです。
データをエクスポートすると、データの種類によって保存するフォルダが自動的に選ばれ、自動的にフォルダ名、ファイル名がつけられてminiSDメモリーカードに保存されます。各フォルダに保存されるファイルは次のようになります。

■ DCIMフォルダ

はじめて静止画をエクスポートするときに自動的に作成されるフォルダで、フォルダ内にデータが保存されます。
静止画データ1件ごとに1件のファイルとなります。
作成されるフォルダ名とファイル名は次のとおりです。

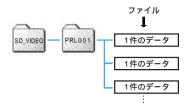
- フォルダ名：nnnNECDT（nnn = 100〜999）
- ファイル名：NEC_mmmm（mmmm = 0001〜9999）

おしらせ

- パソコンなどからminiSDメモリーカードにファイルを保存するときも、「NEC_mmmm」のように半角の英数字でファイル名をつけてください。「NEC」の部分は、任意の英数字にすることもできます。これ以外のファイル名だと、FOMA端末では認識できず表示されません。
- 同じフォルダ内にファイル名の「mmmm」の部分が同じ静止画が複数保存されている場合、一覧表示のタイトルが「---------」と表示され、コピー、移動、削除以外の操作ができなくなります。このようなデータは、別のフォルダにコピー、移動すると自動的に新しいファイル名がつけられ、画像の表示やタイトル編集などができるようになります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

■ SD_VIDEOフォルダ

はじめて動画をエクスポートするときに自動的に作成されるフォルダで、フォルダ内のPRL001フォルダにデータが保存されます。
動画データ1件ごとに1件のファイルとなります。
作成されるフォルダ名とファイル名は次のとおりです。

- フォルダ名：PRLxxx（xxx = 001～FFF：16進数）
- ファイル名：MOLxxx（xxx = 001～FFF：16進数）

おしらせ

● パソコンなどからminiSDメモリーカードにファイルを保存するときも、「MOLxxx」のように半角の英数字でファイル名をつけてください。これ以外のファイル名だと、FOMA端末では認識されず表示できません。また、「MOL」の部分を変更しても、FOMA端末では認識されません。

■ SD_PIMフォルダ

1件エクスポートしたデータも、全件エクスポートしたデータも、1件のファイルで保存されます。
たとえば、受信メールを全件コピーすると、作成されたファイルには受信メールのすべてのデータがまとめて保存されます。
作成されるファイル名は次のとおりです。

- ファイル名：PIMnnnnn（nnnnn = 00001～65535）

miniSDメモリーカードに保存できる件数について

miniSDメモリーカードに保存できる件数は、ご使用になるminiSDメモリーカードのメモリ容量によって変わります。1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数は次のとおりです。フォルダを追加して、エクスポートする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
DCIM	900件	9,999件
SD_VIDEO	4,095件	4,095件
SD_PIM	1件	65,535件

miniSDメモリーカードのメモリ容量とメモリ空き容量は「保存容量確認」で確認できますが、表示されるメモリ容量は、ご使用のminiSDメモリーカードに記載されているメモリ容量より少なくなります。

- miniSDメモリーカードの空き容量が不足している場合、電話帳、スケジュール、ToDo、テキストメモ、メール、ブックマークをエクスポートしようとすると、容量不足でエクスポートできないというメッセージが表示されます。また、静止画、動画のときは機能メニューの「エクスポート」がグレー表示となります。このようなときは、ほかのminiSDメモリーカードに交換するか、不要なデータを削除してからエクスポートし直してください。
- エクスポート先のフォルダ内のファイルが最大件数になっているときは、件数がいっぱいというメッセージが表示され、miniSDメモリーカードにエクスポートできません。
- miniSDメモリーカード内の容量がいっぱいの場合、静止画、動画のフォルダ追加やタイトル編集、コピー／移動などはできません。不要なデータを削除してから操作を行ってください。

FOMA端末とminiSDメモリーカード間でコピーできるデータについて

FOMA端末とminiSDメモリーカード間でコピーできるデータは、以下のとおりです。

データの種類	詳細
静止画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、miniSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内にあるJPEG形式のデータ
動画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、miniSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内にあるMP4形式のデータ
電話帳	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモ、静止画、動画、メモリダイヤル番号、シークレット属性※1 ※2、グループ番号※1、グループ名※1
スケジュール	開始日時、終了日時、内容、分類、アラーム設定、繰り返し設定、シークレット属性※1 ※2
ToDo	内容、分類、完了日、期限、状態、優先順位、アラーム設定
テキストメモ	作成日時、最終修正日、分類、内容
受信メール※3、 送信メール、 保存メール、 SMS	未読／既読、メッセージタイプ、メッセージボックス、差出人、宛先、タイトル、受信／送信日時、本文、添付
ブックマーク※3	URL、タイトル

※1：「全件エクスポート」、「追加全件インポート」、「上書全件インポート」の操作でのみコピーできます。
※2：シークレット属性は、シークレットモードに登録してあるデータのことです。
※3：受信メール、ブックマークの全件エクスポートでは、フォルダ（フォルダ名）の転送が可能です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

おしらせ

- 静止画のエクスポート／インポート時には、必要に応じてデータを変換・圧縮しますので、ファイルサイズが変わったり、画像が劣化することがあります。
- 画像サイズがヨコ640×タテ480ドットを超える静止画の場合、画像によってはヨコ640×タテ480ドットに縮小されることがあります。
- 画像サイズがヨコ1616×タテ1212ドットを超える静止画や容量が600Kバイトを超える静止画はインポートできません。また、静止画によっては596Kバイトを超えると保存できない場合があります。
- 電話帳に登録されている静止画と動画の情報は、「電話帳画像転送」を「しない」に設定している場合は、電話帳をエクスポートするときにエクスポートされません。
- 電話帳のシークレットコードは、エクスポート／インポートできません。
- 本FOMA端末は短縮ダイヤルに対応していないため、短縮ダイヤルのデータは表示されません。
- 電話帳やスケジュールを「1件エクスポート」する場合には、シークレット属性は「なし」でエクスポートします。
- 電話帳を「全件エクスポート」する場合には、電話番号表示のデータも電話帳のデータとしてエクスポートします。
- 保護されている受信メールまたは送信メールを1件エクスポート／インポートすると、保護の設定は解除されます。全件エクスポート／インポートでは、保護の設定もコピーされます。
- ファイル制限が「あり」のメロディ（赤外線通信やケーブル接続で受信したデータ、miniSDメモリーカードからインポートしたデータを除く）が添付または貼り付けられているメール、iアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、メロディおよびiアプリの起動指定を削除してエクスポートします。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピーする

FOMA端末に登録されているデータをminiSDメモリーカードにエクスポートできます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.376
- データをFOMA端末からminiSDメモリーカードへコピーする操作をエクスポートといいます。
- データのエクスポートのしかたとして、1件エクスポートと全件エクスポートがあります。

	内容	参照ページ
1件エクスポート	選んだデータ1件をminiSDメモリーカードに保存します。	P.384
全件エクスポート	選んだ項目のすべてのデータをminiSDメモリーカードに保存します。	P.385

おしらせ

- データの件数によっては、エクスポートに時間がかかる場合があります。
- SD-PIMのデータのエクスポート中は、圏外となります。音声電話やテレビ電話、iモード、iモードメール、パケット通信などはできません。
- エクスポートが終わるまで、miniSDメモリーカードを抜かないでください。
- エクスポート中に◉［選択］または（PWR/HLD）を押してエクスポートを中止した場合でも、データの一部がminiSDメモリーカードに保存されることがあります。
- 同じデータをエクスポートしたときは、上書きされず別のデータとして保存されます。
- FOMA端末の電池残量が少ないときは、miniSDメモリーカードを利用することができない場合があります。また、エクスポート中に電池切れアラームが鳴ったときは中断されます。

FOMA端末のデータを1件ずつminiSDメモリーカードにエクスポートする

■ 静止画、動画データの場合

・エクスポートは、INBOXフォルダ、カメラフォルダ、ユーザ作成フォルダから行うことができます。

＜例：「イメージ」の静止画データを1件エクスポートするとき＞

1 (Menu)▶ マルチメディア ▶「イメージ」の順に選ぶ

2 エクスポートするデータのあるフォルダを選ぶ

3 エクスポートするデータを反転表示する

データを表示する場合
　表示するデータを反転表示して●[表示]を押す

4 機能メニューから「エクスポート」を選ぶ

操作3で反転表示したデータが、miniSDメモリーカードにエクスポートされます。
保存先フォルダにあるデータが保存できる最大件数を超えている場合は、自動的に新しいフォルダが作成され、新しいフォルダにデータが保存されます。

■ 電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのデータの場合

＜例：電話帳のデータを1件エクスポートするとき＞

1 (Menu)▶ 電話帳 の順に選ぶ

2 エクスポートする電話帳を選ぶ

スケジュールのデータをエクスポートする場合
　スケジュールの内容を確認する→P.417

ToDoのデータをエクスポートする場合
　ToDoの内容を確認する→P.422

受信メール、送信メール、保存メールをエクスポートする場合
　メール詳細画面を表示させる→P.278

テキストメモのデータをエクスポートする場合
　テキストメモの内容を確認する→P.433

ブックマークのデータをエクスポートする場合
　Bookmark一覧画面でエクスポートしたいブックマークを反転表示する→P.216

3 機能メニューから「1件エクスポート」を選ぶ

4 「YES」を選ぶ

データがエクスポートされます。

「1件エクスポート」を中止する場合
　「NO」を選んで●[選択]を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

FOMA端末のデータをまとめてminiSDメモリーカードにエクスポートする

● 静止画、動画のデータを全件エクスポートすることはできません。

＜例：電話帳のデータを全件エクスポートするとき＞

1 **(Menu)▶ ▶「SD-PIM」の順に選ぶ**

2 **「電話帳」を反転表示させ、機能メニューから「本体からエクスポート」を選ぶ**

スケジュール、ToDoのデータを全件エクスポートする場合
「スケジュール」を反転表示させ、機能メニューから「本体からエクスポート」を選ぶ
受信BOX、送信BOX、保存BOXのデータを全件エクスポートする場合
「受信BOX」、「送信BOX」、「保存BOX」を反転表示させ、機能メニューから「本体からエクスポート」を選ぶ
テキストメモのデータを全件エクスポートする場合
「テキストメモ」を反転表示させ、機能メニューから「本体からエクスポート」を選ぶ
ブックマークのデータを全件エクスポートする場合
「Bookmark」を反転表示させ、機能メニューから「本体からエクスポート」を選ぶ

3 **端末暗証番号を入力する**

端末暗証番号を入力して◉[確定]を押します。
入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
端末暗証番号について→P.152

4 **「YES」を選ぶ**

データがエクスポートされます。
「本体からエクスポート」を中止する場合
「NO」を選んで◉[選択]を押す

miniSDメモリーカードのデータをプレビューする

miniSDメモリーカードに保存されているデータを表示して、確認できます。
● miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.376

■静止画、動画データの場合

＜例：miniSDメモリーカード内の「iモーション」の動画データを表示するとき＞

1 **(Menu)▶ ▶「iモーション」の順に選ぶ**

2 **「miniSD」を選ぶ**

3 **表示させたいデータのあるフォルダを選ぶ**

4 表示させたいデータを反転表示して●[再生]を押す

データが再生されます。

■ 電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのデータの場合

<例：テキストメモのデータを表示するとき>

1 (Menu)▶ アクセサリ ▶「SD-PIM」の順に選ぶ

2 「テキストメモ」を選ぶ

電話帳のデータを表示する場合
　「電話帳」を選ぶ
スケジュール、ToDoのデータを表示する場合
　「スケジュール」を選ぶ
受信BOX、送信BOX、保存BOXのデータを表示する場合
　「受信BOX」、「送信BOX」、「保存BOX」を選ぶ
ブックマークのデータを表示する場合
　「Bookmark」を選ぶ

3 表示させたいデータを選ぶ

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする

miniSDメモリーカードに登録されているデータをFOMA端末にインポートできます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.376
- データをminiSDメモリーカードからFOMA端末へコピーする操作をインポートといいます。
- データのインポートのしかたとして、次のものがあります。

	内容	参照ページ
追加1件インポート	miniSDメモリーカードに保存されている1件のデータをFOMA端末に追加登録します。	P.387
追加全件インポート、追加インポート	miniSDメモリーカードに保存されている1件のファイルの全データをFOMA端末に追加登録します。	P.387
上書全件インポート、上書インポート	FOMA端末のデータを削除してminiSDメモリーカードに保存されている1件のファイルの全データをFOMA端末に登録します。	P.388

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

おしらせ

- データの件数によっては、インポートに時間がかかる場合があります。
- インポート中は圏外となります。音声電話やテレビ電話、iモード、iモードメール、パケット通信などはできません。
- インポートが終わるまで、miniSDメモリーカードを抜かないでください。
- インポート中に◉[選択]または☎を押してインポートを中止した場合でも、データの一部がFOMA端末に保存されることがあります。
- 同じデータをインポートしたときは、上書きされず別のデータとして保存されます。
- FOMA端末の電池残量が少ないときは、miniSDメモリーカードを利用することができない場合があります。また、インポート中に電池切れアラームが鳴ったときは中断されます。

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にインポートする

miniSDメモリーカードに保存されているデータを、FOMA端末にインポートすることができます。

- 静止画、動画のデータを全件インポートすることはできません。
- 「ダイヤル発信制限」設定中は電話帳の追加インポートはできません。
- インポート中にFOMA端末のデータがいっぱいになったときは、インポートできないというメッセージが表示され、それまで読み込んだデータのみ追加されます。
- 800Kバイトを超えるMP4形式のデータは、800Kバイト以下のデータに処理して保存するため、インポートに時間がかかるというメッセージが表示されます。また、その場合テロップ付きの動画データは、テロップを削除してインポートされます。

■ 静止画、動画データの場合

<例：「イメージ」の静止画データを1件インポートするとき>

1 **(Menu)▶(マルチメディア)▶「イメージ」の順に選ぶ**

2 **「miniSD」を選ぶ**

3 **インポートしたいデータのあるフォルダを選ぶ**

4 **インポートしたいデータを反転表示する**

データを表示する場合

表示するデータを反転表示して◉[表示]を押す

5 **機能メニューから「インポート」を選ぶ**

操作4で反転表示したデータが、FOMA端末にコピーされます。
タイトルのない静止画データは「年/月/日_時:分」で、タイトルのない動画データはファイル名で表示されます。

■ 電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのデータの場合

<例：スケジュールのデータを1件インポートするとき>

1 **(Menu)▶(アクセサリ)▶「SD-PIM」の順に選ぶ**

2 **「スケジュール」を選ぶ**

データ表示／編集／管理

次ページへつづく

3 インポートしたいデータを選ぶ

4 機能メニューから「追加1件インポート」を選ぶ

データををまとめてインポートする場合
「追加全件インポート」を選んで●[選択]を押し、端末暗証番号を入力して●[確定]を押す
端末暗証番号について→P.152

5 「YES」を選ぶ

データがインポートされます。
FOMA端末の保存量を超えたデータはインポートされませんが、インポート済みのデータについてはFOMA端末に登録されます。ただし、受信BOX／送信BOXのメールを追加1件インポートするときは、保護されていない既読のメール(送信BOXの場合は保護されていないメール)のうち一番古いものが消去されて保存されます。

追加インポートを中止する場合
「NO」を選んで●[選択]を押す

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末に上書きインポートする

miniSDメモリーカードに保存されているデータを、FOMA端末のデータに上書きします。上書きをすると、FOMA端末の選んだ項目のデータが削除されて、上書きしたデータに入れ替わります。上書きする前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
- 静止画、動画のデータを上書きすることはできません。
- 「指定発信制限」や「ダイヤル発信制限」設定中は電話帳の上書きインポートはできません。
- 「指定着信拒否」、「指定着信許可」が設定されているデータでも、すべて上書きされて削除されます。
- 上書きの途中でFOMA端末のデータがいっぱいになったときは、インポートできないというメッセージが表示され、それまで読み込んだデータで上書きされます。

<例：電話帳のデータを上書きする場合>

1 (Menu)▶ アクセサリ ▶「SD-PIM」の順に選ぶ

2 「電話帳」を選ぶ

3 機能メニューから「上書インポート」を選ぶ

4 端末暗証番号を入力する

端末暗証番号を入力して●[確定]を押します。
入力した暗証番号は「＿」で表示されます。
端末暗証番号について→P.152

5 「YES」を選ぶ

データがインポートされます。

「上書インポート」を中止する場合
「NO」を選んで●[選択]を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

miniSDメモリーカードの管理について

miniSDメモリーカードの画像を指定印刷するように設定したり、データを削除したり、データの情報を確認したり、miniSDメモリーカードを初期化して管理できます。また、miniSDメモリーカードに不具合などがないかチェックすることもできます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.376
- miniSDメモリーカードにフォルダを作成したり、編集または削除することもできます。→P.371

プリント設定する ＜DPOF設定＞

miniSDメモリーカードに保存されている静止画データの中からプリントしたいデータや枚数の情報をあらかじめ設定しておくと、DPOF(Digital Print Order Format)に対応したプリンタやプリントサービスのお店で簡単に指定印刷できます。

- miniSDメモリーカードの空き容量が不足している場合は設定できません。

1 **(Menu)▶ ▶「イメージ」の順に選ぶ**

2 **「miniSD」を選ぶ**

3 **DPOF設定をするデータのあるフォルダを選ぶ**

4 **DPOF設定をするデータを反転表示して、機能メニューから「DPOF設定」を選ぶ**

5 **「プリント指定」を選ぶ**

DPOF設定を解除する場合
「プリント指定解除」を選ぶ
すべてのデータのDPOF設定を解除する場合
「プリント指定全解除」を選ぶ

6 **プリント枚数(01〜99枚)を設定する**

データを削除する

miniSDメモリーカードに保存されているデータを削除します。

- 電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのデータについては、1件エクスポートしたデータも、全件エクスポートしたファイルも、1件のデータとして保存されます。全件エクスポートしたデータを削除する場合は「1件削除」を選びます。

■ 静止画、動画データの場合

＜例：「iモーション」の動画データを削除するとき＞

1 **(Menu)▶ ▶「iモーション」▶「miniSD」の順に選ぶ**

2 **削除するデータのあるフォルダを選ぶ**

データ表示／編集／管理

次ページへつづく

3 削除するデータを反転表示させ、機能メニューから「1件削除」を選ぶ

データをまとめて削除する場合
「全削除」を選んで●[選択]を押し、端末暗証番号を入力して●[確定]を押す
端末暗証番号について→P.152

4 「YES」を選ぶ

データが削除されます。
データの削除を中止する場合
「NO」を選んで●[選択]を押す

■ 電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのデータの場合

<例：ブックマークのデータを削除するとき>

1 (Menu)▶アクセサリ▶「SD-PIM」▶「Bookmark」の順に選ぶ

2 機能メニューから「1件削除」を選ぶ

データをまとめて削除する場合
「全削除」を選んで●[選択]を押し、端末暗証番号を入力して●[確定]を押す
端末暗証番号について→P.152

3 「YES」を選ぶ

データが削除されます。
データの削除を中止する場合
「NO」を選んで●[選択]を押す

データの情報を確認する <保存容量確認>

miniSDメモリーカードの残りメモリと使用メモリを確認します。

<例：「イメージ」の静止画データの情報を確認するとき>

1 (Menu)▶マルチメディア▶「イメージ」▶「miniSD」の順に選ぶ

2 情報を確認するフォルダを選ぶ

3 機能メニューから「保存容量確認」を選ぶ

FOMA端末、miniSDメモリーカードそれぞれの残りメモリと使用メモリの情報を表示します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

miniSDメモリーカードをフォーマットする　＜miniSDフォーマット＞

※ フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、使用できないことがあります。

miniSDメモリーカードをフォーマットして、FOMA端末で使用できるようにします。

- miniSDメモリーカードをフォーマットすると、保存されているデータはすべて削除されます。フォーマットをするときは、大切なデータが保存されていないことを確認してください。
- miniSDメモリーカードのフォーマットでは、全領域のデータ消去後、システム領域の設定を行います。
- miniSDメモリーカードに不具合のある場合は、miniSDメモリーカードのフォーマットを行うことはできません。

1 **(Menu)▶ アクセサリ ▶「SD-PIM」の順に選ぶ**

2 **機能メニューから「miniSDフォーマット」を選ぶ**

3 **端末暗証番号を入力する**

端末暗証番号を入力して、◉[確定]を押します。
入力した端末暗証番号は、「＿」で表示されます。
端末暗証番号について→P.152

4 **「YES」を選ぶ**

miniSDメモリーカードがフォーマットされます。
miniSDフォーマットの途中で[中止]を押して中止したとき、また着信などで中止したときには、「」が表示されます。

「miniSDフォーマット」を中止する場合
「NO」を選んで◉[選択]を押す

miniSDメモリーカードをチェックする

miniSDメモリーカードの操作をしているときに電源が切れたときには、データに不具合が生じることがあります。このような場合に、miniSDメモリーカードの状態をチェックして修復できることもあります。

- miniSDメモリーカードに不具合のある場合は、チェックディスクを行うことはできません。

1 **(Menu)▶ アクセサリ ▶「SD-PIM」の順に選ぶ**

2 **機能メニューから「miniSDチェックディスク」を選ぶ**

3 **「YES」を選ぶ**

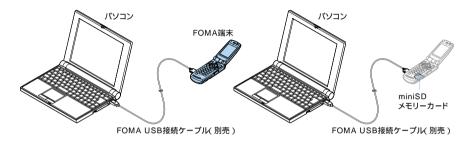
miniSDメモリーカードのデータをチェックします。

チェックを中止する場合
「NO」を選んで◉[選択]を押す

miniSDリーダライタとして利用する

miniSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態で、パソコンのminiSDリーダライタとして利用でき、miniSDメモリーカード内のデータを見ることができます。

● miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.376

USBモード設定	内容
通信モード	外部接続端子をパケット通信用またはケーブル接続によるデータ転送用に使います。
miniSDモード	外部接続端子をminiSDメモリーカードのリードライト用に使います。FOMA端末からminiSDメモリーカードへのエクスポート／インポート、メモリ内のデータ表示、フォーマットなどはできません。

● FOMA端末をminiSDリーダライタとして利用するためには、次の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	・ FOMA USB接続ケーブル（別売）
パソコン	・ FOMA USB接続ケーブル（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	・ Windows Me、Windows 2000、Windows XP（各日本語版）

お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末へデータをコピー中の着信／充電ランプが点滅している状態では、FOMA USB接続ケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

FOMA端末をminiSDリーダライタとして使う

お買い上げ時　通信モード

● パソコン、FOMA端末のどちらでフォーマットしてもminiSDリーダライタとして利用できますが、FOMA端末からminiSDメモリーカードを利用する場合は、パソコンと接続しないでFOMA端末からフォーマットしないと、使用できません。
● 本機能は、赤外線通信またはケーブル接続によるデータ転送、およびパケット通信中に利用することはできません。
● デバイスドライバは、OS標準のものをご利用ください。

1 **(Menu)▶ 各種設定 ▶「その他」▶「USBモード設定」の順に選ぶ**

2 **「miniSDモード」を選ぶ**

3 **FOMA端末とパソコンを、FOMA USB接続ケーブルで接続する**

「miniSDモード」中には「」が、データの送受信中には「」がそれぞれ表示されます。
パソコンの「マイ コンピュータ」に、miniSDメモリーカードがストレージメモリとして表示されます。FOMA端末とminiSDメモリーカードの間でデータの送受信中には、パソコンにリーダライタとして認識されません。
取り付けかた→P.462

「miniSDモード」を解除する場合
FOMA USB接続ケーブルを外してから、「通信モード」に切り替えてください。
取り外しかた→P.463

おしらせ

● miniSDメモリーカードをFOMA端末からフォーマットするには、FOMA USB接続ケーブルを外し、「通信モード」に切り替えてから「miniSDフォーマット」を行ってください。
●「miniSDモード」のまま、パソコンからminiSDメモリーカードをフォーマットすることもできますが、FOMA端末からは利用できなくなります。
● FOMA端末の「SD-PIM」からminiSDメモリーカードのデータを参照したり、FOMA端末とminiSDメモリーカードの間でデータをやり取りしている間は、「miniSDモード」に切り替えできません。
●「長時間ムービー」で動画を撮影している間は、「miniSDモード」に切り替えできません。
● FOMA端末で認識できないデータを、miniSDメモリーカードに書き込んでも、FOMA端末から見ることはできません。

赤外線通信／OBEX

赤外線通信／ケーブル接続によるデータ転送について

赤外線通信またはケーブル接続で、パソコンやほかのFOMA端末との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送できます。

● 赤外線通信機能を搭載したほかのFOMA端末やパソコンなどと赤外線通信して、データを1件ずつまたはまとめて転送できます。赤外線通信中は、ディスプレイに「」が表示されます。
● パソコンと「FOMA USB接続ケーブル(別売)」を使ってケーブル接続し、データ通信用のプロトコルであるOBEXを利用してパソコンからデータを1件ずつ受信したり、パソコンとFOMA端末の間でデータをまとめて転送できます。ケーブル接続中は、ディスプレイに「」が表示されます。
● 転送できるデータは次のとおりです。
・電話帳　・電話番号表示の個人データ　・スケジュール
・ToDo　・送信メール　・受信メール
・保存メール　・テキストメモ　・メロディ※
・写真(静止画)※　・動画※　・ダウンロードした静止画※
・サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーション※　・ブックマーク
※：メロディ、写真(静止画)、動画、ダウンロードした静止画、およびサイトやインターネットホームページから取り込んだiモーションは、赤外線通信で全件送信できません。

赤外線通信でデータ転送するときは

赤外線通信でデータ転送するときには、次のことにご注意ください。

● 受信側のFOMA端末を先に受信状態にして、送信側FOMA端末と受信側FOMA端末の赤外線ポートを20cm以内に近づけます。

● 机などの安定した台の上に、赤外線ポートが平行に向き合うように置いてください。
● 通信中はFOMA端末を動かさないでください。
● 通信中はFOMA端末の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
● データ転送できなかったときは、FOMA端末の位置を調節して再度通信を行ってください。
● 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。

ケーブル接続でデータ転送するときは

ケーブル接続でデータ転送するときには、次のことにご注意ください。

● 次の機器が必要です。

項　目	説　明
必要な機器	・FOMA USB接続ケーブル(別売) ・USBポートが使用可能なパソコン
OS	・Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP(各日本語版)
必要なソフト	・N900iG通信設定ファイル

● データ転送用のソフトの動作環境、インストール方法については、データ転送用のソフトの取扱説明書をご覧ください。
● データ転送の前に、「USBモード設定」を「通信モード」に設定しておく必要があります。→P.393

お願い

・ FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データを転送できないだけでなく、データが失われることがあります。
・ FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データ転送ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
・ パソコンからFOMA端末への全件送信の途中で送信エラーが起こると、FOMA端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全件送信の前にケーブルの接続、FOMA端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

データ転送するときのご注意

データ転送を行う前に

- ほかの機能が動作中は、データ転送できません。ほかの機能をすべて終了させてから操作を行ってください。また、データ転送中は、ほかの機能を利用できません。
- 音声通話中やテレビ電話中、iモード中、パケット通信中は、データ転送できません。→P.567
- 「PIMロック」中、「オールロック」中、「セルフモード」中は、データ転送できません。また、「ダイヤル発信制限」中は、電話帳のデータを送受信できません。
- 「指定発信制限」が設定されている場合、電話帳のデータは受信できません。ただし、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、「電話番号表示」のデータを送信できます。
- 送信する相手のFOMA端末の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコメールの内容などが正常に登録できない場合があります。
- FOMA端末の赤外線通信およびケーブル接続によるデータ転送機能はIrMC1.1に準拠しています。IrMC1.1に準拠していない端末やパソコンとデータ転送できない場合があります。また、相手の機種やアプリケーションによっては、IrMC1.1に準拠していても転送できないデータがあります。
- 静止画およびメロディ、動画やiモーションをケーブル接続でデータ転送する場合は、IrMC規格外となるため、FOMA N900iGに対応したデータ転送用のソフトが必要です。

データ転送中の動作について

- データ転送中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、iモード、iモードメール、パケット通信などはできません。ただし、データ転送を開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データ転送は中止されます。また、データ転送の終了後、しばらく圏外の状態が続くことがあります。
- 赤外線通信中、次のようなときは通信が中断されて、続けるかどうかのメッセージが表示されます。
  - 受信側で約30秒以内にデータの受信がないとき
  - 送信側で受信側の端末を検出できないとき

  「YES」を選ぶと、もう一度通信をやり直すことができます。通信をやめるときは、「NO」を選びます。このとき、約30秒以内に操作しないと、自動的に赤外線通信を終了します。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。電話帳を転送するときは、登録されている静止画や動画も転送されるため、転送に時間がかかることがあります。送信の時間を短縮するために、「電話帳画像転送」を「しない」に設定し、電話帳の静止画や動画を送信しないようにできます。

データ転送で送受信されるデータについて

- 本FOMA端末で受信したデータは、次のように登録されます。
  - 静止画や動画、iモーション、メロディは、すべてINBOXフォルダに登録されます。
  - 静止画や動画を全件受信すると、電話帳に登録された静止画や動画もすべて削除されます。
  - ブックマークのデータを1件ずつ受信したときは、「Bookmark」フォルダに登録されます。
  - 「電話番号表示」の個人データは、1件の電話帳として登録されます。
  - 電話帳のデータは、「010」～「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「699」がすべて登録されているときは、「000」～「009」(「ツータッチダイヤル」(P.121))の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
  - 電話帳を全件受信すると、受信した電話帳に登録されていた静止画は「イメージ」に、動画は「iモーション」に登録されます。ただし保存可能容量を超えた静止画や動画は登録されません。
  - 静止画や動画、iモーションのタイトルは、全角で最大9文字、半角で最大18文字を送受信できます。メロディのタイトルは、半角で最大50文字を送受信できます。タイトルが最大文字数を超えた場合、超えた分の文字が削除されて登録されます。
- 次のデータは、送受信できません。
  - FOMAカードの電話帳、SMS
  - フレームのデータやFlash画像
  - FOMAカード動作制限が設定されたメロディ、静止画、動画やiモーション
- 次のデータは、受信できません。
  - JPEG、GIF形式以外の静止画
  - MP4形式以外の動画
  - 本FOMA端末で扱うことのできないサイズや容量の静止画、動画、iモーション、メロディ

● 次の場合は、データを登録できないことを通知するメッセージが表示され、登録できません。
- 同じURLのブックマークを受信したとき
- 同じ日付時刻で同じ繰り返し設定(なし/あり)のスケジュールのデータを受信したとき
- ローカル時計設定が行われていないときに、スケジュールまたはToDoのデータを受信したとき
- すでにデータの最大保存件数まで保存されていたり、メモリがいっぱいの状態で、同じ種類のデータを受信したとき

● 電話帳のデータを転送するときは、次のことに注意してください。
- 転送される電話帳のデータは、名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモ、静止画、動画の各データおよびアイコン情報です。電話帳に複数の電話番号およびメールアドレスが登録されているときは、すべてのデータが転送されます。
- 電話帳のシークレットコードは転送できません。
- シークレットデータとして登録された電話帳を赤外線通信で1件送信すると、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」が解除されて転送されます。
- 全件送信をすると、電話帳はメモリ番号順に送信されます。
- 電話帳を全件送信すると、「電話番号表示」のデータが一緒に送信されます。受信側では、「電話番号表示」に登録されている個人データ(電話番号を除く)が上書きされます。
- 電話帳に絵文字や記号を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字や一部の記号が正しく表示されないことがあります。

● メールのデータを転送するときは、次のことに注意してください。
- 保護されている送受信メールは、受信側では保護が解除されて登録されます。
- iアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、添付されているのが内蔵カメラで撮影した写真(静止画)や動画のときや、ケーブル接続で受信したデータ、miniSDメモリーカードからインポートしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
- 受信BOXフォルダの空き容量がないときは、ゴミ箱フォルダ内のメールを削除して受信BOXフォルダに登録されます。受信したメールが空き容量より大きいときは、保護されていない既読の受信メールの最も古いものに上書きされます。
- 送信メールは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
- メール連動型iアプリの受信メールフォルダは転送できません。フォルダ内のメールはすべて受信BOXフォルダに登録されます。
- メールの本文などに絵文字や記号を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字や一部の記号が正しく表示されないことがあります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

データを1件ずつ転送する

パソコンやほかのFOMA端末との間でデータを1件ずつ転送します。

● ケーブル接続でFOMA端末からパソコンへ1件ずつデータを送信することはできません。

赤外線通信でデータを1件ずつ送信する

1回の通信で送信できるのは1件のみです。

1 送信するデータを表示させる

2 機能メニューから「赤外線送信」を選ぶ

3 「YES」を選んでデータを送信する

相手の端末を受信状態にしておきます。→下記
データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。

中止する場合
「NO」を選ぶ

赤外線通信でデータを1件ずつ受信する

1回の通信で受信できるのは1件のみです。

● iアプリ起動のデータを受信して利用できます。→P.323

1 (Menu)▶アクセサリ▶「赤外線通信」の順に選ぶ

2 「1件受信」を選ぶ

受信モードになります。

データの受信を中止する場合
CLRまたはPWR HLDを押す

3 相手のFOMA端末からデータを送信する

送信のしかたについて→上記
データの受信がはじまります。

通信相手がFOMA端末ではない場合
通信状況を表すバーが表示されないことがあります。

受信後、約30秒間操作しない場合
受信したデータを破棄します。

4 「YES」を選ぶ

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

受信したデータを登録しない場合
「NO」を選ぶ

ケーブル接続でデータを1件ずつ受信する

● データ転送の操作方法は、データ通信用のソフトによって異なります。詳しくは、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

<例：パソコンから電話帳のデータを1件ずつ受信する場合>

1 **パソコンでデータ通信用のソフトを使って、「1件書き込み」の操作をする**

データ送信のしかたについては、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

2 **パソコンからデータを送信する**

データのサイズによっては通信状況を表すバー表示の進み具合が遅くなることがあります。
電話帳に登録するかどうかのメッセージが表示されます。

3 **「YES」を選ぶ**

受信が完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。FOMA端末で受信が終わり、左画面の状態で約30秒以内に操作をしないと、受信したデータを破棄して画面を終了します。

データをまとめて転送する

パソコンやほかのFOMA端末との間でデータをまとめて転送します。

● 全件受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メールやシークレットデータも含めてすべて削除されます。ただし、フレームやFlash画像は消去されません。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。
● データをまとめて転送するとき、送信側と受信側を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードについて→P.152
● 通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。
● データをまとめて転送すると、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。

赤外線通信でデータをまとめて転送する

1 **(Menu)▶アクセサリ▶「赤外線通信」の順に選ぶ**

2 **「全件転送」を選んで送信／受信の準備をする**

3 **端末暗証番号を入力する**

入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
端末暗証番号について→P.152

4 設定したい項目を選ぶ

データを送信する場合
「送信」を選び、まとめて送信するデータを選ぶ
データを受信する場合
「受信」を選ぶ

5 認証パスワードを入力する

送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。入力した認証パスワードは「＿」で表示されます。
認証パスワードについて→P.152
データを送信する場合
「YES」を選ぶ
データを受信する場合
「YES」を選ぶ
全件受信データを上書きするかどうかのメッセージで「YES」を選ぶと、転送完了を通知するメッセージが表示されます。

ケーブル接続でデータをまとめて転送する

● データ転送の操作方法は、データ通信用のソフトによって異なります。詳しくは、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

＜例：FOMA端末からパソコンへデータを全件送信する場合＞

1 データを送信（全件送信）する

データ送信のしかたについては、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。
パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
認証パスワードは4桁の数字を入力してください。

2 FOMA端末で端末暗証番号を入力する

入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
端末暗証番号について→P.152

3 FOMA端末で認証パスワードを入力する

操作1で送信側で入力したのと同じ認証パスワードを入力します。入力した認証パスワードは「＿」で表示されます。
認証パスワードについて→P.152

4 データを送信する

送信が完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

● 次のような場合は、データを登録できません。
・600Kバイトを超える静止画（データによっては600Kバイト以内でも登録できない場合があります）
・800Kバイトを超える動画
● 相手の機器によっては、通信状況（バー表示）が表示されないことがあります。

赤外線リモコン機能を利用する

サイトなどからテレビやビデオなどのリモコン用iアプリのソフトをダウンロードすると、FOMA端末を赤外線リモコンとして利用できます。

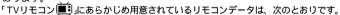
● ご使用になりたい製品に該当するソフトをダウンロードしてください。ただし、ご使用になりたい製品に該当するソフトがない場合もあります。また、該当するソフトでもその製品には対応しておらずリモコン操作ができない場合があります。
● FOMA端末で利用できるリモコンのソフトは、iMenuの中のサイトからダウンロードすることができます。
●「セルフモード」に設定しているときはリモコン操作ができません。

リモコン操作について

● FOMA端末の赤外線ポートを、テレビなどのリモコン受信部の正面に向けてリモコン操作をしてください。操作できる範囲は正面でおおよそ4mですが、周囲の明るさによって変わります。
● リモコン操作をしているときは、画面に「▦」が表示されます。

TVリモコン▣を利用する

FOMA端末には、テレビのリモコンとして利用できるiアプリのソフトが用意されています。

●「TVリモコン▣」には、あらかじめ20種類のリモコンデータが用意されています。ご使用のテレビに該当するリモコンデータを選んで設定してください。ただし、ご使用の製品に該当するリモコンデータがない場合があります。
● リモコンデータに該当するメーカー製のテレビでも、その製品には対応しておらずリモコン操作ができない場合があります。また、一部の機能が操作できない場合もあります。

メーカー設定 1/2
松下 1
松下 2
ソニー
シャープ 1
シャープ 2
NEC
アイワ1
アイワ2
三洋1
三洋2
戻る 次へ

●「TVリモコン▣」にあらかじめ用意されているリモコンデータは、次のとおりです。

・松下1/2　・ソニー　・シャープ1/2　・NEC
・アイワ1/2　・三洋1/2　・パイオニア　・JVC1/2
・フナイ1/2/3　・三菱　・東芝　・日立
・富士通ゼネラル

1 **(Menu)▶ iアプリ ▶「ソフト一覧」の順に選ぶ**

2 **「TVリモコン▣」を選んで● [選択]を押す**

はじめてTVリモコンを起動したときや、操作したいテレビが変わったときは、ご使用のテレビメーカー(リモコンデータ)を設定します。

3 TVリモコンとして操作する

テレビメーカーを設定して、TVリモコンのデザインを変える

ご使用のテレビに合ったリモコンデータを選んだり、TVリモコンをお好みのデザインに変更します。

1 「TVリモコン」を起動して[設定]を押す

リモコンデータを設定する場合
「メーカー設定」を選んで●を押し、リモコンデータを選んで●を押す

TVリモコンのデザインを変更する場合
「デザイン設定」を選んで●を押し、デザインを選んで●を押す

iアプリ待受画面に設定したときのスリープ時の画面を設定する場合
「待受画像設定」−「画像選択」−「YES」の順に選び、フォルダを選んで画像を選ぶ
「プリインストール」フォルダの画像は選択できません。

スリープするまでの時間を設定する場合
「スリープ設定」を選んで●を押し、時間（30秒〜3分）を選んで●を押す
iアプリ待受画面として使用したときに、設定した時間、操作しないと「待受画像設定」で選択した画像を表示します。

すぐにスリープさせたい場合
「スリープ強制移行」を選んで●を押す
(Menu)− −「ソフト一覧」から「TVリモコン」を起動した場合は、設定メニューに「スリープ強制移行」は表示されません。

リモコン画面に戻る場合
[戻る]を押す

電話帳の画像を転送しないように設定する

お買い上げ時	する

赤外線通信／ケーブル接続によるデータ転送や、miniSDメモリーカードへのエクスポートを行うときに、電話帳に登録されている静止画、動画、iモーションを転送しないように設定します。

● 電話帳を転送すると、電話帳に登録されている静止画、動画、iモーションも転送されるため転送に時間がかかることがあります。転送の時間を短縮するために、本機能で「しない」に設定し、電話帳の静止画、動画、iモーションを転送しないようにできます。

1 **(Menu)▶ アクセサリ の順に選ぶ**

2 **「電話帳画像転送」を選ぶ**

「する」を選んだ場合
電話帳を転送するときに、すべてのデータを送信します。

「しない」を選んだ場合
電話帳を転送するときに、静止画、動画、iモーション以外のデータを送信します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって音声通話中にメールを受信したり、iモード中に音声電話をかけたりできます。

● 国際ローミング中の機能差分については、P.538を参照してください。

同時に使用可能な通信回線

FOMA端末はマルチアクセス機能によって、次の3回線を同時に使用できます。

通信の種類	使用する回線
音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール	いずれか1回線
パソコンなどと接続して行うパケット通信	
SMS	1回線

● マルチアクセスの組み合わせについては、P.567を参照してください。

おしらせ

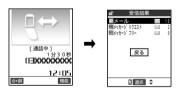
● テレビ電話中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSの受信のみ同時に使用できます。
● マルチアクセス中(音声通話中にiモードを使用したときなど)は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。

通信中に着信があったとき

通信中にほかの回線からの着信があった場合は、現在の通信を中断せずに同時に通信を行うことができます。

■ 音声通話中のiモードメール受信

音声通話中にiモードメールを受信すると、音声通話中画面のままiモードメールを受信します。受信したiモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

1 **(MULTI)を1秒以上押す**

iモードメールの受信結果画面に切り替わります。

タスクメニューから切り替える場合
タスクメニューの切り替えについて→P.408

2 **iモードメールを見る**

iモードメールの見かた→P.267

3 **(MULTI)を1秒以上押す**

音声通話中画面に切り替わります。

おしらせ

- 音声通話中にiモードメールやメッセージリクエスト／フリーを受信した場合、着信音は鳴らずに「メール」アイコンが点滅・点灯して受信をお知らせします。
- 「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合、音声通話中にiモードメールを受信すると、「」(青または赤)が点滅し、iモードメールの受信中画面に切り替わります。受信後●[選択]を押すと、iモードメールを見ることができます。また、受信してから約15秒間何も操作しないと、通話中画面に戻ります。

■ iモード中／パケット通信中の音声電話着信

iモードの接続中やメールの送受信中、パソコンなどと接続して行うパケット通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、iモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

- iモード中にテレビ電話を受けることはできません。

1 **を押す**

音声通話中画面に切り替わり通話ができます。

音声電話に出ないでiモード画面に戻る場合

(MULTI)を1秒以上押す

相手にメッセージは流れず、呼び出し中になります。

2 **通話が終了したら を押す**

➡

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

音声通話中のままiモード画面に戻る場合

(MULTI)を1秒以上押す

通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。

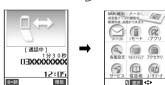
- マルチアクセス中に画面を切り替えるには、(MULTI)を1秒以上押すか、タスクメニューから表示したい機能を選びます。→P.408

■ 音声通話中のiモード接続

音声通話中に(Menu)を押して、メインメニューのiモードメニューからiモードに接続できます。→P.204

■ 音声通話中のiモードメール送信

音声通話中に(Menu)を押して、メインメニューのメールメニューからiモードメールを作成して送信できます。

1 **音声通話中に(Menu)を押してメールメニューを選ぶ**

メニューの操作のしかた→P.40

2 iモードメールを作成して送信する

iモードメールの作成／送信のしかた→P.248

3 (MULTI)を1秒以上押す

音声通話中画面に戻ります。

■ iモード中の音声電話発信

iモードの接続中やメールの送受信中に、iモードを終了しないで音声電話をかけられます。

1 iモード中に(Menu)を1秒以上押す

➡

待受画面が表示されます。

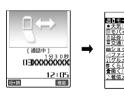
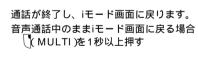
2 音声電話をかける

音声電話のかけかた→P.62

3 通話が終了したら(PWR HLD)を押す

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

音声通話中のままiモード画面に戻る場合

(MULTI)を1秒以上押す

おしらせ

- iモード中にテレビ電話をかけた場合は、「iモード通信終了」というメッセージが表示され、その後テレビ電話の発信を行います。テレビ電話を終了すると、iモード画面に戻ります。

その他の便利な機能

マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に使用できる機能です。メインメニューにある次のグループの中からそれぞれ1つずつの機能を最大3つまで同時に操作できます。

グループ	大項目(タスク)
メールグループ	メール
iモードグループ	iモード、iアプリ
設定グループ	各種設定、サービス
ツールグループ	マルチメディア、電話帳、アクセサリ、ユーザデータ

- iモードグループ、設定グループ、ツールグループでは、同じグループにある機能を2つ以上同時に使用することはできません。
- 音声通話中にほかの機能を同時に使っている間でも、音声通話料は加算されます。
- マルチタスクの組み合わせについては、P.567を参照してください。

タスク(機能)の呼び出しかた

2つ目、3つ目のタスクを呼び出す方法は次のとおりです。

1 (Menu)を1秒以上押す

待受画面が表示されます。

2 起動していないグループのタスクを選ぶ

メインメニューから呼び出す場合
(Menu)を押してからタスクを選ぶ→P.40

メニュー番号から呼び出す場合
呼び出したいタスクのメニュー番号を入力する→P.554

メールメニューを呼び出す場合
[MAIL]を押す→P.248

iモードメニューを呼び出す場合
[imode]を押す→P.204

タスクの起動状況はアイコンで確認できます。

(アイコン) ： 複数のタスクを起動していることを示します。
(アイコン) ： タスクを1つだけ起動していることを示します。
アイコンなし ： タスクは起動していません。

おしらせ

- 同じグループのタスクを呼び出そうとすると、タスクを切り替えるかどうかのメッセージが表示される場合と、自動的に切り替わる場合(メールメニュー表示中やiモードメニュー表示中など)があります。切り替えるかどうかのメッセージが表示された場合は、「YES」を選ぶと新しく呼び出したタスクに切り替わります。その場合、元のタスクは終了し、編集中のデータがある場合は自動的に保存されます。ただし、タスクによっては編集内容が保存されないものもあります。
- 3つのタスクを同時に起動しているときに、4つめのタスクを起動しようとすると、これ以上起動できないことを通知するメッセージが表示されます。

タスクの切り替えかた

複数のタスクが起動している場合、操作するタスクを切り替えることができます。タスクを切り替えるには、(MULTI)を押してタスクメニューを表示させ、そこから操作するタスクを選ぶ方法と、(MULTI)を1秒以上押して1つずつタスクを切り替える方法があります。

■タスクメニューでタスクを切り替える

複数のタスクが起動しているときに(MULTI)を押すと、タスクメニューが一覧で表示されます。一覧からタスクを選ぶと、選んだタスクが画面に表示されます。

● 待受画面は常にタスクメニューの最後に表示されます。
● 音声通話中の場合、タスクメニューに待受画面は表示されません。

1 **(MULTI)を押す**

タスクメニューが一覧で表示されます。

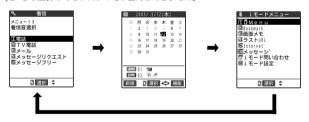
2 **使用したいタスクを選ぶ**

選んだタスクが画面に表示されます。

■タスクを1つずつ切り替える

(MULTI)を1秒以上押すと、起動した順にタスクを切り替えることができます。タスクを切り替えても、動作中のタスクが終了したり、音声電話が切れたりすることはありません。

● メインメニュー表示中は、(MULTI)を1秒以上押してもタスクは切り替わりません。
● マルチタスク中に(MULTI)を1秒以上押しても、待受画面を表示させることはできません。また、待受画面で(MULTI)を1秒以上押してもタスクの切り替えはできません。

おしらせ

● マルチタスク中に待受画面を表示した場合は、「iアプリ待受画面」を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定されている画面が表示されます。
また、起動した後に待受画面の状態に戻す機能を持つソフトであっても、ほかのタスクが動作している間は待受画面の状態に戻すことはできません。ソフトによっては、待受画面の状態に戻す際、継続動作できないことを通知するメッセージが表示されてソフトが終了し、待受画面設定も解除される場合があります。

■ タスクを終了する

タスクを終了する方法は次のとおりです。

・終了したいタスクに切り替えて(PWR HLD)を押す
・タスクメニュー表示中に終了したいタスクを反転表示して(PWR HLD)を押す
・タスクメニュー表示中に[END ALL]を押してすべてのタスクを終了する

おしらせ

● FOMA端末の電源を切ると、すべてのタスクが終了します。

アラーム通知を利用する

お買い上げ時 | 通知優先

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定できます。「操作優先」に設定すると、待受画面表示中のときのみアラームを通知します。FOMA端末の操作中にアラームを通知したくない場合に設定します。「通知優先」に設定すると、FOMA端末の操作中や通話中でもアラームを通知します。どのような場合でもアラームで通知してほしい場合に設定します。

1 **(Menu)▶ 各種設定 ▶「時計」▶「アラーム通知設定」の順に選ぶ**

操作を優先する場合
　「操作優先」を選ぶ
アラーム通知を優先する場合
　「通知優先」を選ぶ

アラーム通知の動作

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアラーム通知の設定を示すアイコンが表示されます。設定した時刻になると、それぞれの機能に応じてアラームを通知します。

■ アラーム通知を設定すると

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。
当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合
　「」が表示されます。
明日以降の設定がある場合
　「」が表示されます。

■ 設定した時刻になると

各機能ごとに次のような動作でアラームを通知します。

めざまし時計の場合

スケジュールの場合※

ToDoの場合※

※ ：「スケジュール」および「ToDo」のアラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリーによって変わります。

次ページへつづく

状態	機能名	
	めざまし時計	スケジュール、ToDo
待受画面表示中	「スヌーズ通知しない」に設定している場合は、アラーム音が約5分間繰り返し鳴ります。「スヌーズ通知する」に設定している場合は、アラーム音が約1分間繰り返し鳴り、その動作を約5分おきに6回まで繰り返します。ディスプレイ、イメージウィンドウにはアニメーションが表示されます。	アラーム音が約5分間繰り返し鳴り、ディスプレイ、イメージウィンドウにはアニメーションが表示されます。
電源が切れている	設定した時刻になってもアラームを通知しません。電源を切ったまま設定時間を過ぎると、繰り返しなし(「設定なし」)の場合、設定は「OFF」になります。繰り返しあり(「毎日」、「曜日指定」)の場合は、翌日以降の設定は継続されます。	設定した時刻になってもアラームを通知しません。ただし設定はそのまま残ります。
通話中	受話口から時刻アラーム音(ピッピピ…)が3回繰り返し鳴ります。ディスプレイにはアニメーションが表示されます。	
電話の着信中／発信中	「通話中」の場合と同じようにアラームを通知します。着信中のときは、電話に出たときに「通話中」の場合と同じようにアラームを通知します。	
iモード中／メール送受信中	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。	
SD-PIM機能の操作中、または赤外線通信／ケーブル接続によるデータ転送中	設定した時刻になってもアラームを通知しません。データ転送終了後、待受画面に「アラーム」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンが表示されます。→P.411	
イヤホンマイク接続中(「イヤホン切替」を「イヤホン」に設定している場合)	イヤホンからアラーム音が約20秒間鳴ります。約20秒たつとアラーム音がイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ディスプレイ、イメージウィンドウにはアニメーションが表示されます。	
PIN1コード入力設定が「ON」に設定されていて、電源を入れた後のPIN1コード入力画面を表示しているとき	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム通知の画面表示を消すと、PIN1コード入力画面に戻ります。	正しいPIN1コードを入力した後にアラームを通知します。
オールロック中／PIMロック中	設定した時刻になってもアラームを通知しません。オールロック／PIMロック解除後、待受画面に「アラーム」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンが表示されます(P.411)。オールロック中／PIMロック中で電源も切っている場合は、設定した時刻になっても電源は入らず、オールロック／PIMロック解除後も「アラーム」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンは表示されません。	設定した時刻になってもアラームを通知しません。オールロック／PIMロック解除後、待受画面に「アラーム」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンが表示されます。→P.411

おしらせ

- 「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は次のとおりです。①が最も優先度が高くなります。
  ①めざまし時計
  ②ToDo
  ③スケジュール
  アラーム通知できなかった場合は、待受画面に「アラーム」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンを表示してお知らせします。
- シークレットデータとして登録された「スケジュール」のアラーム通知では、シークレットのアニメーションが表示され、アラームメッセージは表示されません。「シークレットモード」または「シークレット専用モード」設定中のアラーム通知では、登録されたメッセージとアニメーションが表示されます。アラーム音は「シークレットモード」、「シークレット専用モード」にかかわらず、設定されたアラーム音が鳴ります。
- 「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音の音量は、「着信音量」の「電話／TV電話」で設定した音量になります。
- 通話中の時刻アラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- マナーモード設定中のアラーム音の音量は、「マナーモード選択」で設定した音量になります。
- 「バイブレータ」を「OFF」以外に設定している場合は、アラーム音と振動でお知らせします。

アラーム音をとめるには

■ めざまし時計のアラーム音

「スヌーズ通知しない」に設定している場合
いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になります。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。
「スヌーズ通知する」に設定している場合
いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になり、アラームメッセージは「スヌーズ中…」と表示されます。「スヌーズ中…」の表示中は約5分たつと再度アラームを通知します。「スヌーズ中…」の表示中に[PWR HLD]を押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■ スケジュール、ToDoのアラーム音

いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます。ただし、FOMA端末を閉じた状態でサイドボタンを押した場合は、アラーム通知の画面は消えません。

■ アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「めざまし時計」のスヌーズも解除されます。

おしらせ

- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合、スヌーズ通知の解除音は鳴りません。

通知できなかったアラームの内容を確認する

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「[アラーム]」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容(未通知アラーム情報)を確認できます。

- 未通知アラーム情報は、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のいずれか1件の最新の内容が記憶されます。

1 待受画面で(●)を押して「[アラーム]」を選ぶ

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」の未通知アラーム情報が表示されます。

「[アラーム]」のデスクトップアイコンを消す場合
[CLR]を1秒以上押す
「[アラーム]」のデスクトップアイコンを消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

2 内容を確認したら[CLR]を押す

待受画面に戻り、「[アラーム]」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンは消えます。

おしらせ

- 「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知が同じ時刻に設定されていてアラームを通知できなかった場合は、それぞれの未通知アラーム情報が表示されます。

その他の便利な機能

めざまし時計を利用する

お買い上げ時	OFF

FOMA端末をめざまし時計として利用できます。設定した時刻になるとアラーム音とアニメーションでお知らせします。

- めざまし時計は3件まで登録でき、そのうちの1件を有効にできます。
- あらかじめ「ローカル時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。→P.57
- 「PIMロック」設定中はめざまし時計を設定できません。
- めざまし時計のアラーム通知については、P.409を参照してください。

めざまし時計の時刻を設定する

1 **(Menu)▶アクセサリ▶「めざまし時計」の順に選ぶ**

2 **[確定]を押す**

めざまし時計が設定されていない場合

めざまし時計が設定されている場合

登録されているめざまし時計の一覧画面が表示されます。

めざまし時計が1件も登録されていない場合
めざまし時計の登録がはじまります。操作4に進んでください。

3 **<未登録>を反転表示して[編集]を押す**

すでに登録されているめざまし時計の内容を変更する場合
変更したいめざまし時計項目を反転表示して[編集]を押す

4 **それぞれの項目を順番に設定する**

時刻入力　：アラームを鳴らす時刻を入力します。
繰り返し　：めざまし時計の繰り返しを設定します。「設定なし」に設定すると、めざまし時計を設定したその日のみアラームを鳴らします。「毎日(D)」に設定すると、毎日設定した時刻にアラームを鳴らします。「曜日指定(W)」に設定すると、毎週指定したすべての曜日にアラームを鳴らします。
アラーム音　：アラーム音を「INBOX」フォルダ、お客様が作成したフォルダ、「プリインストール」フォルダ(「時刻アラーム音」(ピッピピ、ピッピピ)、「着信音1～3」、「メロディ」、「効果音」)、「おしゃべり」フォルダ、「OFF」から選びます。
音の選びかた→P.124
めざまし音量　：アラーム音の音量を「ステップ」、「1～6」、「消去」の8段階から設定します。「ステップ」に設定すると、アラーム音がだんだん大きくなります。「1～6」は数値が大きいほど音量が大きくなります。「消去」に設定すると、アラーム音は鳴りません。
スヌーズ通知　：スヌーズ通知(繰り返し通知)のする／しないを設定します。「スヌーズ通知する」に設定すると、アラーム音が約1分間鳴り続け、その動作を約5分おきに6回まで繰り返します。「スヌーズ通知しない」に設定すると、アラーム音が約5分間鳴り続けます。

めざまし時計を切り替える

めざまし時計が複数登録されている場合に、どのめざまし時計を有効にするか選んで切り替えます。

● めざまし時計は3件まで登録できます。

1 **(Menu)▶ アクセサリ ▶「めざまし時計」の順に選ぶ**

2 **● [確定]を押す**

登録されているめざまし時計の一覧画面が表示されます。

3 **めざまし時計を選ぶ**

選んだめざまし時計が有効になります。

めざまし時計の設定をOFFにする場合
「OFF」を選ぶ

登録されている内容を変更する場合
変更したいめざまし時計を反転表示して[編集]を押す

めざまし時計の設定を解除する

めざまし時計の登録を解除できます。

● 現在有効にされているめざまし時計を解除した場合は、めざまし時計の設定が「OFF」になります。

1 **(Menu)▶ アクセサリ ▶「めざまし時計」の順に選ぶ**

2 **● [確定]を押す**

登録されているめざまし時計の一覧画面が表示されます。

3 **削除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件解除」を選ぶ**

すべての項目の登録内容を削除する場合
「全解除」を選ぶ

スケジュール機能を利用する

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や記念日も登録できます。登録したスケジュールや休日はカレンダーでひとめで確認できます。また、カレンダーは1ヶ月表示と1週間表示に切り替えることができ、当日のスケジュールの件数や用件が表示されます。定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録しておいたり、スケジュールの内容に合わせたアラーム音やアニメーションを設定したり、1日に複数のスケジュールを登録したりなど、いろいろな方法でスケジュールを管理できます。

● スケジュール、休日、記念日はそれぞれ100件まで登録できます。ただし、お買い上げのときに登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
● スケジュールは1日に複数の件数を登録できます。休日、記念日は1日に1件のみ登録できます。
● あらかじめ「ローカル時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。→P.57
● スケジュールのアラーム通知については、P.409を参照してください。

スケジュールの表示を切り替える

お買い上げ時	1ヶ月表示

スケジュールを表示するカレンダーには「1ヶ月表示」と「1週間表示」の2種類があります。
◎を押して確認したい日付を反転表示させると、選んだ日付に登録されているスケジュールの件数やアイコンを確認できます。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 機能メニューから項目を選ぶ

1ヶ月表示から1週間表示に切り替える場合
「1週間表示」を選ぶ

1週間表示から1ヶ月表示に切り替える場合
「1ヶ月表示」を選ぶ

カレンダーの表示内容

当日の午前と午後に登録されているスケジュールの件数とアイコンを表示します。

当日の午前と午後に設定されているスケジュールの件数、アイコン、スケジュール内容を表示します。

青色の日付 ：土曜日を示します。
赤色の日付 ：日曜日・祝日を示します。
◌ ：記念日を示します。
＿ ：当日を示します。
□ ：午前のスケジュールが登録されていることを示します。
■ ：午後のスケジュールが登録されていることを示します。

おしらせ

- 「画面表示設定」の「待受画面」に「カレンダー」を設定した場合、待受画面に表示されるカレンダーでは記念日に登録した日付に「◌」は表示されません。
- 登録したスケジュールのアイコンを「休日」アイコンに設定した場合、そのスケジュールが登録されている日付は休日を示す赤色ではなく、スケジュールを示す「□」(午前)、「■」(午後)が表示されます。
- 祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成13年法律第59号)」に基づいています。祝日が変更・新設された場合は、休日を登録してください。休日は内容を変更したり、削除したり、元の登録内容にリセットしたりできます。

休日や記念日を登録する

誕生日や結婚記念日、新しく制定された祝日などを休日や記念日として登録します。休日に登録した日付はカレンダー画面で赤色に表示されます。記念日に登録した日付はカレンダー画面で「◯」が表示されます。

＜例：記念日を設定する場合＞

1 (Menu)▶アクセサリ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 [新規]を押して「記念日」を選ぶ

休日を登録する場合
「休日」を選ぶ

3 それぞれの項目を設定する

年月日 ：休日、記念日に登録する年月日を入力します。
繰り返し ：休日、記念日の繰り返しを設定します。「設定なし」に設定すると、登録した休日、記念日をその年のみ設定します。「毎年( )」に設定すると、登録した休日、記念日を毎年の休日、記念日として設定します。
メッセージ(休日、記念日の内容)
：休日、記念日の内容を入力します。メッセージは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

4 [完了]を押して記念日を登録する

おしらせ

- 設定した年月日にすでに休日、記念日が登録されている場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- うるう年の2月29日に「毎年」の繰り返しを設定した場合は、2月29日のある年のみ休日、記念日が設定されます。

スケジュールを登録する

旅行や約束などの用件をスケジュールとして登録しておくと、設定した日時にアラーム音やアニメーションでお知らせします。

- 設定した日時を過ぎてもスケジュールは自動的に削除されません。101件目のスケジュールを登録しようとした場合は、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。不要なスケジュールを削除して登録し直してください。
- 「アラームメッセージ(スケジュールの内容)」は必ず入力してください。「アラームメッセージ」を入力していない場合はスケジュールの登録ができません。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 [新規]を押して「スケジュール」を選ぶ

3 それぞれの項目を設定する

開始日時　：スケジュールの開始日時を入力します。
終了日時　：スケジュールの終了日時を入力します。開始日時以降の日時を入力してください。
繰り返し設定　：スケジュールの繰り返しを設定します。「設定なし」に設定すると、スケジュールを設定したその日のみアラームを鳴らします。「毎日（D）」に設定すると、毎日設定した時刻にアラームを鳴らします。「曜日指定（W）」に設定すると、毎週指定したすべての曜日にアラームを鳴らします。
アラーム通知設定　：開始時刻になったときのアラームの通知について設定します。「通知する」に設定すると、設定した開始日時にアラームを通知します。「事前通知する」に設定すると、開始時刻の何分前にアラームを通知するかを01〜99分の範囲で設定し、その時間にアラームを通知します。「通知しない」に設定すると、開始時刻になってもアラームを通知しません。
アラーム音　：アラーム音を「INBOX」フォルダ、お客様が作成したフォルダ、「プリインストール」フォルダ（「時刻アラーム音」（ピッピピ、ピッピピ）、「着信音1〜3」、「メロディ」、「効果音」）、「おしゃべり」フォルダ、「OFF」から設定します。
アラームメッセージ（スケジュール内容）
：アラーム通知時に画面に表示するメッセージを入力してアイコンを選びます。メッセージは全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

4 ［完了］を押してスケジュールを登録する

おしらせ

- 同じ日付の同じ時刻に2つのスケジュールを登録しようとした場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- 同じ日付の同じ時刻に登録できるのは「繰り返し」（毎日／曜日指定）と「繰り返しなし」（設定なし）の組み合わせのみです。このような場合は「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。
- 開始日時で設定した日付の曜日と曜日指定繰り返しで指定した曜日が違う場合は、曜日指定繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。
- 音声通話中にスケジュールを登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。
- シークレットデータとして登録されたスケジュールは、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしないと表示されません。→P.161
- 待受画面にカレンダーを設定している場合は、カレンダーからスケジュールを登録できます。→P.141

お願い

- 登録したスケジュールの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.569）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、スケジュールの内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したスケジュールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したスケジュールの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

お好みの画像をユーザアイコンとして設定する

「イメージ」（P.338）に登録されている画像やアニメーションをユーザアイコンとして設定できます。設定したユーザアイコンは、アイコン選択の画面で「1」〜「5」と表示されます。ユーザアイコンを設定すると、アラーム通知時に設定した画像やアニメーションが表示されます。また、イメージウィンドウには「」が表示されます。

- ユーザアイコンは最大5件まで設定できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

1 (Menu)▶アクセサリ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 機能メニューから「ユーザアイコン設定」を選ぶ

3 <未登録>を選ぶ

すでに設定されているユーザアイコンを変更する場合
すでに設定されている項目を選ぶ

ユーザアイコンの設定をすべて解除する場合
「全解除」を選ぶ
すでにユーザアイコンが設定されている場合のみ解除できます。

4 画像が保存されているフォルダを選ぶ

お客様が作成したフォルダがある場合は、そこから画像を選ぶこともできます。
画像の選びかた→P.338

選んだ項目のユーザアイコンを解除する場合
「ユーザアイコン解除」を選ぶ
すでにユーザアイコンが設定されている項目を選んだ場合のみ解除できます。

5 設定したい画像を選ぶ

プレビュー表示する場合
表示したい項目を反転表示して[デモ]を押す

タイトル名の一覧表示に切り替える場合
機能メニューから「タイトル名一覧」を選ぶ

4枚ずつの画像表示に切り替える場合
機能メニューから「ピクチャ一覧」を選ぶ

おしらせ

- ユーザアイコンに設定した画像が画面に表示しきれない場合は、「イメージ」の「切り出し範囲」(P.341)で設定した範囲が表示されます。
- スケジュールで使用されているユーザアイコンを変更または解除しようとしたときは、解除するかどうかのメッセージが表示されます。ユーザアイコンを変更または解除すると、そのユーザアイコンを使用していたスケジュールのアイコンは「」に変わります。

スケジュールの内容を確認する

詳細画面を表示して登録したスケジュールの内容を確認できます。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 内容を確認したいスケジュールが登録されている日付を選ぶ

登録されているスケジュールが一覧で表示されます。

次ページへつづく

3 内容を確認したい項目を選ぶ

一覧表示では次のようなアイコンが表示されます。

- ：設定したスケジュールアイコンが表示され、スケジュールが登録されていることを示します。
- ：休日が登録されていることを示します。
- ：記念日が登録されていることを示します。
- ：アラーム通知が設定されていることを示します。
- D：毎日繰り返しが設定されていることを示します。
- W：曜日指定繰り返しが設定されていることを示します。
- Y：毎年指定繰り返しが設定されていることを示します。

4 内容を確認する

スケジュールの詳細画面

休日の詳細画面

記念日の詳細画面

おしらせ

- シークレットデータとして登録されたスケジュールは、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」に設定しないと表示されません。

スケジュールをアイコン別に表示する

登録時に設定したアイコンや休日、記念日ごとにスケジュールを表示できます。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 機能メニューから「アイコン別表示」を選ぶ

3 アイコンを選ぶ

選んだアイコンが設定されているスケジュールが一覧で表示されます。

おしらせ

- アイコン別一覧画面では、繰り返しを設定しているスケジュール（「D」または「W」）は1件の項目として表示されます。日付は、今後のスケジュールで最も近い日付が表示されます。

登録件数を確認する

登録されているスケジュールの件数や登録できる残り件数などを確認できます。

● シークレットデータの登録件数はスケジュールの登録件数に含まれます。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 機能メニューから「登録件数確認」を選ぶ

3 スケジュールの登録件数を確認する

スケジュール
スケジュール登録件数 21/100
休日登録件数 6/100
記念日登録件数 13/100
シークレット 8

スケジュール登録件数：スケジュールの登録件数を表示します。
登録されている件数／最大登録件数

休日登録件数：休日の登録件数を表示します。
登録されている件数／最大登録件数

記念日登録件数：記念日の登録件数を表示します。
登録されている件数／最大登録件数

シークレット：シークレットデータとして登録されたスケジュールの登録件数を表示します。

おしらせ

● シークレットデータの登録件数は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」に設定しないと表示されません。

スケジュールの内容を変更する

1 内容を変更したいスケジュールの詳細画面を表示する

詳細画面の表示のしかた→P.417

2 [編集]を押す

スケジュールの編集のしかた→P.415

祝日をリセットする

あらかじめ登録されている国民の祝日を削除しても、リセットして元の登録内容に戻すことができます。「1ヶ月表示」または「1週間表示」画面で、機能メニューから「祝日リセット」を選びます。

おしらせ

● スケジュールの一覧画面で[編集]を押しても、スケジュールの内容を変更できます。

スケジュールをコピーする

内容が似ているスケジュールを新しく登録する場合などは、すでに登録されているスケジュールの内容をコピーして登録できます。「開始日時」以外は登録内容がそのままコピーされます。

1 コピー元のスケジュールの詳細画面を表示する

詳細画面の表示のしかた→P.417

2 機能メニューから「コピー」を選ぶ

3 新しいスケジュールを登録する

最初に開始時刻の設定画面が表示されます。開始時刻を設定すると、スケジュールの登録画面が表示されます。必要に応じて項目を設定してください。
スケジュールの登録のしかた→P.415

おしらせ

● コピー元のスケジュールで「繰り返し設定」が「毎日（D）」または「曜日指定（W）」に設定されていても、コピー先では「設定なし（繰り返しなし）」に変更されます。

スケジュールを削除する

登録されているスケジュール、休日、記念日を1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。
削除の方法は次のとおりです。

削除の方法	内容	実行できる画面
1件削除	選んだ項目を1件のみ削除します。	一覧画面 詳細画面
前日まで削除	選んだ日付より前の項目をすべて削除します。「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」から選びます。	カレンダー画面 一覧画面 詳細画面
選択削除	削除するスケジュールをチェックボックスで選び、選んだスケジュールのみ削除します。	一覧画面 詳細画面
全削除	選んだ項目の内容をすべて削除します。「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」から選びます。	カレンダー画面

●「前日まで削除」および「選択削除」では、お買い上げのときに登録されている祝日は削除されません。また「全削除」では、祝日はリセットされてお買い上げのときの登録内容に戻ります。

■ スケジュールを1件削除する

1 削除したい項目が登録されている日付の一覧画面を表示する

一覧画面の表示のしかた→P.417

2 削除する項目を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

■ 選択したスケジュールのみを削除する

1 削除したい項目が登録されている日付の一覧画面を表示する

一覧画面の表示のしかた→P.417

2 機能メニューから「選択削除」を選んで削除するスケジュールを選ぶ

■ スケジュールをまとめて削除する

1 (Menu)▶アクセサリ▶「スケジュール」の順に選ぶ

2 日付を選んで機能メニューから「前日まで削除」を選ぶ

すべてのスケジュールを削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

3 削除する項目を選ぶ

すべての項目を削除する場合
「すべて」を選ぶ

おしらせ

- 繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールを1件削除または選択削除しようとした場合、繰り返しの予定を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと繰り返しのスケジュールがすべて削除されます。
- 前日まで削除を行った場合、繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールは選んだ前日までのスケジュールが削除され、選んだ日以降のスケジュールは残ります。
- スケジュールをアイコン別に表示した場合、機能メニューから「選択削除」を選ぶと、アイコン別表示を行う前の画面で選んでいた日付の一覧画面での選択削除画面を表示します。アイコン別表示画面での選択削除はできません。

ToDo

ToDoリストを登録する

会議や旅行など忘れてはいけない重要な用件をToDoとして登録しておくと、設定した期日にアラーム音やアニメーションでお知らせします。また、期日が過ぎた用件のアイコンは赤色で表示します。内容や期日など6つのカテゴリーに分けて用件を管理したり、優先度をつけて重要な用件の順に確認したり、「予定」や「完了」などの状態を設定してある特定の状態にある用件のみを抽出して確認したりなど、いろいろな方法で用件を管理できます。

- ToDoには100件まで用件を登録できます。
- あらかじめ「ローカル時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。→P.57
- ToDoのアラーム通知については、P.409を参照してください。
- ToDoをデスクトップアイコンとして貼り付けると、すばやく機能を呼び出すことができます。→P.135

用件を登録する

- 「用件」は必ず入力してください。「用件」を入力していない場合はToDoの登録ができません。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「ToDo」の順に選ぶ

2 [新規]を押す

すでに用件が登録されている場合
機能メニューから「新規登録」を選ぶ

3 それぞれの項目を設定する

内容：用件の内容を入力します。内容は全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

期日：用件の期日を入力します。ダイヤルボタンで直接入力する場合は「直接入力」を、カレンダーから選ぶ場合は「カレンダーから入力」を、期日を設定しない場合は「なし」を選びます。

優先度：用件の優先度を設定します。

カテゴリー：用件のカテゴリーを設定します。カテゴリーを設定しておくと、用件をカテゴリー別に表示させることができます。

アラーム通知設定：設定した期日になったときのアラームの通知について設定します。「通知する」に設定すると、設定した期日にアラームを通知します。「事前通知する」に設定すると、期日の何分前にアラームを通知するかを01～99分の範囲で設定し、その時間にアラームを通知します。「通知しない」に設定すると、期日になってもアラームを通知しません。

アラーム音：アラーム音を「INBOX」フォルダ、お客様が作成したフォルダ、「プリインストール」フォルダ（「時刻アラーム音」（ピッピピ、ピッピピ）、「着信音1～3」、「メロディ」、「効果音」）、「おしゃべり」フォルダ、「OFF」から設定します。

4 [完了]を押して用件を登録する

おしらせ

● 音声通話中に用件を登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。

お願い

● 登録したToDoリストの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.569）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、ToDoリストの内容をパソコンに保管することもできます。
● FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したToDoリストの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したToDoリストの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

その他の便利な機能

用件を確認する

詳細画面を表示して登録した用件の内容を確認できます。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「ToDo」の順に選ぶ

2 確認したい用件を選ぶ

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

3 用件を確認する

おしらせ

- 設定した期日が現在の日付・時刻を過ぎると、用件の状態を示すアイコンが赤色に変わります。ただし、状態を「完了」に設定している場合は赤色に変わりません。

用件の表示のしかたを変更する

登録されている用件をカテゴリー別に表示したり、期日順や登録順などに並べ替えたり、特定の状態の用件だけを抽出して表示したりできます。特定のカテゴリーの用件のみを表示したい場合や、まだ済んでいない用件を優先して表示したい場合などに便利です。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「ToDo」の順に選ぶ

2 機能メニューから「カテゴリー別表示」または「ソート／フィルタ」を選ぶ

カテゴリー別に用件を表示する場合
「カテゴリー別表示」を選んで表示するカテゴリーを選ぶ

用件を並べ替える、または特定の状態の用件のみを抽出する場合
「ソート／フィルタ」を選んで並べ替え、または抽出の方法を選ぶ

おしらせ

- 用件を「期日順」で並べ替えた場合、期日の古い用件から順に並べ替えられます。
- 用件を「期日順」または「完了日順」で並べ替えた場合、期日または完了日が設定されていない用件は最後に表示されます。
- 用件を「期日順」または「完了日順」で並べ替えた場合、期日または完了日が同じ用件は優先度の高いものから順に表示されます。さらに優先度も同じ場合は、登録順に表示されます。

用件の状態を変更する

用件の状態を「予定」、「承諾」、「依頼」、「暫定」、「確認」、「拒否」、「完了」、「代理」の中から設定できます。用件を済ませてアラーム通知する必要がなくなったら、用件の状態を「完了」に設定してください。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「ToDo」の順に選ぶ

2 状態を設定したい用件を反転表示して機能メニューから「状態」を選ぶ

次ページへつづく

3 設定したい項目を選ぶ

「完了」を選んだ場合
完了日を入力できます。入力方法を「直接入力／カレンダーから入力／なし」から選んで、完了日を入力してください。

おしらせ
- ToDoの詳細画面でも機能メニューから「状態」を選んで設定できます。

用件を変更する

1 (Menu)▶アクセサリ▶「ToDo」の順に選ぶ

2 変更したい用件を反転表示して[編集]を押す

用件の編集のしかた→P.421

おしらせ
- 用件の詳細画面で[編集]を押しても、用件の内容を変更できます。

用件を削除する

登録されている用件を1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「ToDo」の順に選ぶ

2 削除したい用件を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数の用件を選んで削除する場合
「選択削除」を選んで削除する用件を選ぶ
状態が「完了」に設定されている用件のみを削除する場合
「完了済み削除」を選ぶ
すべての用件を削除する場合
「全削除」を選ぶ

おしらせ
- ToDoの詳細画面でも機能メニューから削除できます。

よく使う機能を手早く実行する

メニューの表示のしかたを変更したり、オリジナルメニューを登録したりなど、より使いやすいメニュー表示に変更できます。

メニュー表示のしかたを設定する　<メニュー画面設定>

お買い上げ時	ガイダンス表示：ON　メニュー表示：詳細表示

大項目の選択画面で選んでいる大項目アイコンのガイダンスを表示するかしないか、また「各種設定」のメニュー小項目（機能）の表示を一覧表示にするか詳細表示にするかを設定できます。

● 本機能の設定にかかわらず、オリジナルメニューは一覧表示されます。

ガイダンス表示について

「ON」の場合

「OFF」の場合

メニュー表示について

「詳細表示」の場合

「一覧表示」の場合

1　**(Menu)▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」の順に選ぶ**

2　**設定したい項目を選ぶ**

大項目のガイダンス表示を設定する場合
「ガイダンス表示」を選ぶ
ガイダンス表示を「表示する／表示しない」（ON／OFF）から選びます。

小項目の表示のしかたを設定する場合
「メニュー表示」を選ぶ
小項目の表示のしかたを「詳細表示／一覧表示」から選びます。

オリジナルメニューを作成する　<オリジナルメニュー登録>

お買い上げ時	電話番号表示、iモード問い合わせ、着信音量、バイブレータ、めざまし時計、端末暗証番号変更

よく使う機能を「オリジナルメニュー」として登録しておくと、オリジナルメニューから直接機能を呼び出せます。メインメニューから大項目ー中項目ー小項目と順番に選んでいく必要がなくなるので、使いたい機能を簡単に呼び出せます。

● オリジナルメニューは最大10件まで登録できます。
● オリジナルメニューに登録できる機能は、「メール」、「iモード」、「iアプリ」の大項目と、「各種設定」、「マルチメディア」、「アクセサリ」、「サービス」、「電話帳」、「ユーザデータ」の各中項目および小項目です。
● 同じ機能を登録することはできません。
● オリジナルメニューを使う→P.44

1　**(Menu)▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「オリジナルメニュー登録」の順に選ぶ**

その他の便利な機能

次ページへつづく

2 <未登録>を選ぶ

すでに登録されている機能を変更する場合
機能が登録されている項目を選ぶ
すでに登録されている機能を解除する場合
解除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件解除」を選ぶ
すでに登録されている機能をすべて解除する場合
機能メニューから「全解除」を選ぶ
お買い上げのときの設定に戻す場合
機能メニューから「オリジナルメニュー初期化」を選ぶ

3 メニューのカテゴリーを選ぶ

4 登録したい機能を選ぶ

選んだカテゴリーが「iモード」の場合
選べるのは「メール／iモード／iアプリ」の大項目のみです。

おしらせ

- あらかじめ登録されている機能を変更したり、解除することもできます。
- すでに機能が登録されている項目に登録しようとした場合、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

電話番号表示

自分の名前や画像を登録する

お買い上げ時 | 自局番号のみ

名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人データを登録できます。個人データを登録しておくと、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力(編集)画面で登録されている内容を引用できます。

- 自局番号を変更したり削除することはできません。
- 自局番号以外の項目はFOMA端末に記憶されます。ほかのFOMAカードを差し込んでも、自局番号以外の項目は登録した内容が表示されます。

1 (Menu)▶ユーザデータ▶「電話番号表示」の順に選ぶ

(Menu)0を押しても表示できます。

2 [編集]を押して端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

3 それぞれの項目を設定する

- 姓 名 名前：お客様の名前を「姓」と「名」で入力します。姓名は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などを入力でき、全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。
  文字の入力のしかた→P.502
- カナ フリガナ：お客様の名前のフリガナを入力します。「姓」、「名」を入力すると自動的に設定されるので必要に応じて変更してください。フリガナは半角のカタカナ、英字、数字、記号を入力でき、32文字まで入力できます。
- 電話番号：自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選びます。電話番号は最大3件まで登録、26桁まで入力できます。「＋」「¥」「＃」「p」などを入力した場合も桁数にカウントされます。
  新しく電話番号を登録すると、個人データの編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選ぶと電話番号を追加登録できます。
- メールアドレス：メールアドレスを入力してアイコンを選びます。メールアドレスは最大3件まで登録でき、半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
  1件目のメールアドレスを登録すると、個人データの編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選ぶとメールアドレスを追加登録できます。
- 住所：郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などを入力でき、全角で46文字、半角で93文字まで入力できます。
- メモ：メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などを入力でき、全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。
- 静止画：個人データで表示される静止画を「イメージ」に保存されているデータから選びます。
  画像の選びかた→P.338

4 [完了]を押して個人データを登録する

おしらせ

- メールアドレスを登録する場合は、iモードメールアドレスをメールアドレスの1番目に登録することをおすすめします。1番目に登録したメールアドレスは(Menu)0を押して電話番号を表示したときにも表示されるので、自局番号と同時にメールアドレスも確認できます。
- iモードのメールアドレスは、iモードのオプション設定で確認できます。詳しくは、『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。
- 自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録しても、本機能のメールアドレスは自動的に変更されませんので、本機能のメールアドレスも変更してください。
- 登録した画像が電話番号表示画面の画像表示エリアより大きい場合は、縦横同比率で縮小表示します。画面表示エリアより小さい場合はセンタリング表示します。

個人データを表示する

本機能を起動したときは名前、自局番号、1件目のメールアドレスのみ表示できます。端末暗証番号を入力するとすべてのデータが表示できるようになります。

1 (Menu)▶ ▶「電話番号表示」の順に選ぶ

(Menu)0を押しても表示できます。

2 機能メニューから「全データ表示」を選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

3 を押して内容を確認する

データをコピーする場合
コピーする項目を表示して機能メニューから「名前コピー」または「電話番号コピー／メールアドレスコピー／住所コピー／メモコピー」を選ぶ
コピーしたデータは文字入力画面で貼り付けることができます。→P.516

データを削除する場合
削除する項目を表示して機能メニューから「電話番号削除／メールアドレス削除／住所削除／メモ削除／静止画削除」を選ぶ

おしらせ

- すべてのデータを表示しなくても1件目のメールアドレスは削除できますが、その場合も端末暗証番号（P.152）の入力が必要です。

個人データを初期化する

自局番号以外の個人データを初期化（削除）して、お買い上げのときの状態に戻します。

1 (Menu)▶ ▶「電話番号表示」の順に選ぶ

(Menu)0を押しても表示できます。

2 機能メニューから「個人データ初期化」を選んで、端末暗証番号を入力する

個人データを初期化するかどうかのメッセージが表示されます。
端末暗証番号について→P.152

すべてのデータを表示している場合
端末暗証番号を入力する必要はありません。

3 「YES」を選ぶ

個人データを初期化しない場合
「NO」を選ぶ

おしらせ

- 本機能で個人データを初期化しても、実際のメールアドレスは初期化されません。実際のメールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」にリセット（初期化）するには、iモードのオプション設定の「アドレスリセット」を行ってください。詳しくは、『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

自分の声や相手の声を録音する

音声メモには、待受画面表示中に自分の声を録音できる「待受中音声メモ」と、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」の2種類があります。簡単な用件を音声でメモできるので便利です。

● 録音できる件数は、待受中音声メモまたは通話中音声メモのどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
● 録音できる時間は約20秒です。
● 録音した音声メモの再生、消去については、P.85を参照してください。

自分の声を録音する

「待受中音声メモ」を使って自分の声を録音できます。

1 (Menu)▶(アクセサリ)▶「待受中音声メモ」の順に選ぶ

録音を開始するかどうかのメッセージが表示されます。

2 「YES」を選ぶ

音声メモを録音しない場合
「NO」を選ぶ

3 音声メモを録音する

「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

録音を途中でやめる場合
●[停止]、CLR、PWR HLDのいずれかのボタンを押す
PWR HLDを押した場合は、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

おしらせ

● 通話中の場合は、メニューの「待受中音声メモ」が「通話中音声メモ」になります。

通話中に相手の声を録音する

音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できます。ボタン操作1回で必要な用件をすばやく録音できます。

1 通話中に▼[メモ／確認]を1秒以上押す

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。録音時間(約20秒間)が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

録音を途中でやめる場合

●[停止]、CLR、PWR HLDを押すか▼[メモ／確認]を1秒以上押す
PWR HLDを押した場合は、通話も終了します。

おしらせ

● 録音中に音声電話の着信があったり、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

通話中時間表示

通話中に通話時間を表示する

お買い上げ時	ON

音声通話中やテレビ電話中に通話時間を表示するかしないかを設定できます。

● 通話時間が「19時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」から再カウントされます。
● 表示される通話時間はあくまでも目安であり、正確なものではありません。
● iモード中およびパケット通信中の通信時間はカウントされません。

1 (Menu)▶各種設定▶「時間」▶「通話中時間表示」の順に選ぶ

通話中に通話時間を表示する場合
「ON」を選ぶ

通話中に通話時間を表示しない場合
「OFF」を選ぶ

通話時間／積算リセット

通話時間を確認する

音声通話やテレビ電話などの積算通話時間や前回通話時間を確認したり、そのデータをリセットしてゼロに戻すことができます。音声通話とデジタル通信それぞれの積算通話時間を確認したい場合や1ヶ月ごとの積算通話時間を確認したい場合などに便利です。

通話時間を確かめる

音声電話、テレビ電話の直前の通話時間、積算の通話時間、前回積算リセットした日時を表示して確認できます。

● 前回の通話時間には、直前に通話した音声電話通話時間とデジタル通信通話時間(テレビ電話通話時間)のどちらか一方が表示されます。
● 積算の通話時間には、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間(テレビ電話通話時間)が別々に表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方の通話時間がカウントされます。
● 表示される通話時間はあくまでも目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1 ▯(Menu)▶[各種設定]▶「時間」▶「通話時間」の順に選ぶ

通話時間
前回通話時間
1時間　6分　2秒
積算通話時間
音声通話
34時間23分48秒
デジタル通信
9時間13分32秒
積算リセット日時
4/27 10:24

前回通話時間　：直前の通話時間の目安を表示します。発信、着信どちらの通話でも通話時間を表示します。

積算通話時間　：前回リセットしたとき（「0秒」に戻したとき）から現在までの積算時間を表示します。「音声通話」は音声電話の積算通話時間を表示します。「デジタル通信」はテレビ電話の積算通話時間を表示します。

積算リセット日時　：前回積算リセットをした日時を表示します。

おしらせ

- iモード通信、パケット通信の通信時間はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。
- 前回の通話時間が「19時間59分59秒」を超えた場合や積算の通話時間が「199時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」に戻ってカウントします。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」になります。
- 電源を切っても、積算通話時間の情報は残ります。
- お買い上げのときや「ローカル時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合、積算リセット日時は「--/-- --:--」と表示されます。

積算時間をリセットする

「通話時間」に表示される前回の通話時間および積算通話時間をゼロに戻すことができます。

1 ▯(Menu)▶[各種設定]▶「時間」▶「積算リセット」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

2 ◉[選択]を押して「YES」を選ぶ

積算リセットを中止する場合

◉[選択]を押して「NO」を選ぶ

おしらせ

- 前回積算リセットした日時は「通話時間」で確認できます。

電卓

電卓として使う

FOMA端末で四則演算（＋、−、×、÷）を行うことができます。電卓画面はマルチファンクションボタン周辺を表しており、FOMA端末のボタンを押すとそれに該当する画面のボタンが反転表示します。数字はダイヤルボタンを押して入力します。

- 数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。
- 計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。

1 ▯(Menu)▶[アクセサリ]▶「電卓」の順に選ぶ

2 計算する

入力した数字、計算結果が表示されます。

「23＋57」を計算する場合

2 3 ＋ 5 7 ＝

負の数を計算する場合

先頭の数字に「－」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。

－ 2 3 ＋ 5 7 ＝

おしらせ

● CLR（ACまたはC）は、次のようなときに使います。
・＋、－、×、÷、＝を押した後はACの表示になり、CLRを押して計算を最初からやり直すことができます。
・数字や小数点の入力中はCの表示となり、CLRを押して打ち間違えた数字や小数点を消去することができます。

テキストメモ

メモを入力する

簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成できます。作成したテキストメモはスケジュールの内容やメールの本文に貼り付けることができます。

● テキストメモは10件まで登録できます。
● テキストメモは全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。

テキストメモを入力する

1 (Menu)▶アクセサリ▶「テキストメモ」の順に選ぶ

2 <未登録>を反転表示して[編集]を押す

すでに登録されているテキストメモの内容を変更する場合

変更する項目を反転表示して[編集]を押す

3 内容を入力する

文字の入力のしかた→P.502

おしらせ

● 機能メニューの「編集」を選んでも、テキストメモの登録／変更ができます。

お願い

● 登録したテキストメモの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.569）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、テキストメモの内容をパソコンに保管することもできます。
● FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したテキストメモの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したテキストメモの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

テキストメモを確認／修正する

詳細画面を表示して登録した内容を確認できます。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「テキストメモ」の順に選ぶ

2 内容を確認したい項目を選ぶ

3 内容を確認する

テキストメモ
すみません。電車のダイヤが乱れているため、少し遅刻します。
編集 機能

作成日時を確認する場合
機能メニューから「テキストメモ情報」を選ぶ
作成日時、最終更新日時、分類を確認できます。

テキストメモを分類する場合
機能メニューから「分類」を選ぶ

テキストメモの内容をスケジュールに登録する場合
機能メニューから「スケジュール作成」を選ぶ
スケジュールの登録のしかた→P.415

テキストメモの内容をiモードメールで送信する場合
機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ
iモードメールの作成のしかた→P.264

おしらせ

- テキストメモの一覧画面でも機能メニューを選ぶことができます。

テキストメモを削除する

登録されているテキストメモを1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。

1 (Menu)▶アクセサリ▶「テキストメモ」の順に選ぶ

2 削除したいテキストメモを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数のテキストメモを選んで削除する場合
「選択削除」を選んで削除するテキストメモを選ぶ

すべてのテキストメモを削除する場合
「全削除」を選ぶ

おしらせ

- テキストメモの詳細画面でも機能メニューから削除できます。

辞典を利用する

英和辞典、和英辞典、国語辞典の3つの機能を利用できます。

- 待受画面に辞典をデスクトップアイコンとして貼り付けると、すばやく機能を呼び出すことができます。→P.135
- 検索の結果、入力した語句と合う単語がない場合は、入力した語句に近い単語の一覧が表示されます。入力した語句に近い単語がない場合は、選択した辞典の先頭データから一覧が表示されます。

辞典を起動する

1 **(Menu)▶（アクセサリ）▶「辞典」の順に選ぶ**

2 **「直接入力」を選ぶ**

以前に検索した単語の履歴から検索する場合
　「検索履歴」を選んで履歴から単語を選び操作4へ

辞典機能をデスクトップに貼り付ける場合
　機能メニューから「デスクトップ貼付」を選ぶ

3 **検索したい語句を入力する**

最大全角32文字／半角64文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502
辞典では、かな、カナ（全角／半角）、漢字、英字（全角／半角）を検索できます。
英和辞典では英字のみ、和英辞典と国語辞典では英字以外を検索対象とします。

4 **辞典の種類を選ぶ**

5 **検索結果の一覧から単語を選ぶ**

➡

前後の一覧を表示させたい場合
　一覧表示中にを押す

前後の単語を表示させたい場合
　単語表示中にを押す

入力した単語を別の辞典で検索したい場合
　機能メニューから「別の辞典で検索」を選ぶ

おしらせ

- 機能メニューから「コピー」を選ぶと、一覧表示中は反転している単語の【 】内の文字を、詳細表示中は範囲を指定してコピーすることができます。
文字のコピーのしかた→P.516
- 「検索履歴」には過去に入力した履歴が最大10件まで保存され、10件を超える分は古いものから順に自動的に消去されます。検索履歴を消したい場合は、検索履歴を表示させ削除したい項目を反転表示させて、機能メニューから「1件削除」または「全削除」を選びます。

検索結果の詳細画面からさらに検索する

検索結果の詳細画面から検索したい語句を選択して検索します。

1 **辞典で単語を検索して「検索結果詳細」画面を表示させる→P.434**

2 **機能メニューから「結果詳細から検索」を選ぶ**

3 **◎を押して検索したい語句のはじめの位置で● [始点]を押す**

4 **◎を押して検索したい語句の終わりの位置まで反転表示し、● [終点]を押す**

5 **辞典の種類を選び検索結果の一覧から単語を選んで● [選択]を押す**

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた<オプション>

スイッチ付イヤホンマイクを利用すると、相手の声をイヤホンで聞くことができるので、音漏れを気にすることなく通話できます。
スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P.28

イヤホンマイクのご利用にあたって

- イヤホンマイクの接続プラグは確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと音が聞こえない場合があります。
- 着信音が鳴っているときにイヤホンマイクを接続すると、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻きつけないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
- 電源を入れた瞬間に「パチッ」という音がする場合がありますが故障ではありません。
- 通話中にイヤホンマイクのプラグを途中まで差し込んだ状態にすると、「プー」という音がする場合がありますが故障ではありません。

スイッチを使って電話を受ける

スイッチ付イヤホンマイクを使用中は、イヤホンのスイッチを押すだけでかかってきた音声電話やテレビ電話に出ることができます。

- ご利用いただけるスイッチ付イヤホンマイクについては、「オプション・関連機器のご紹介」(P.568)を参照してください。
- FOMA端末を折り畳んだ状態でも、利用できます。
- 「ボタン確認音」の設定にかかわらず、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。

1 電話がかかってきたら、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

音声電話の場合

「ピッ」という音が鳴り、音声電話に出ます。

テレビ電話の場合

「ピッ」という音が鳴り、代替画像でテレビ電話に出ます。(カメラ)を押すとカメラ映像に切り替えることができます。

2 お話しが終わったら、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

FOMA端末で電話を切る場合

(PWR/HLD)を押す

おしらせ

- スイッチ付イヤホンマイクを接続していても、FOMA端末のボタンを押して電話に出ることができます。音声電話に出る場合は(発信)を、カメラ映像でテレビ電話に出る場合は(カメラ)を、代替画像でテレビ電話に出る場合は(発信)を押してください。
- 「イヤホン切替」でスイッチ付イヤホンマイクを接続しているときにスピーカから音が鳴らないように設定できます。ただし、遠隔監視着信時の着信音およびカメラのシャッター音はスピーカから鳴ります。
- 「オート着信」を「ON」に設定すると、かかってきた電話をスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すことなく自動的に受けることができます。→下記
- 「着信音量」の「電話／TV電話」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中は、着信音は鳴りません。ただし、マナーモードが「オリジナルマナー」で「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は着信音が鳴ります。
- 通話中にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押してもハンズフリーにはなりません。スイッチを1秒以上押すと通話が切れますのでご注意ください。
- 「キャッチホン」をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して出ることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。
- スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

オート着信

イヤホンをつないで自動で電話を受ける<オプション>

お買い上げ時	オート着信：OFF　呼出開始：6秒

スイッチ付イヤホンマイク（別売品）などを接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話を自動で受けるように設定できます。

- 電話を受ける場合、呼出時間を1秒～120秒の範囲で設定します。
- 呼出時間は「伝言メモ」または「遠隔監視設定」の応答時間と同じ時間に設定することはできません。
- 次の電話番号から電話がかかってきた場合は、自動で電話を受けません。
  - 「指定着信拒否」を設定した電話番号
  - 「指定着信許可」を設定した以外の電話番号
  - 「指定留守番電話」を設定した電話番号
  - 「指定転送でんわ」を設定した電話番号

1 (Menu)▶(各種設定)▶「外部オプション」▶「オート着信」の順に選ぶ

オート着信を有効にする場合

「ON」を選んで「呼出時間」を1～120秒の範囲で設定する

オート着信を無効にする場合

「OFF」を選ぶ

おしらせ

- 本機能を「OFF」に設定している場合は、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すと電話に出ることができます。
- テレビ電話をオート着信した場合、相手側には代替画像が表示されます。テレビ電話中に(カメラ)を押すと、代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を同時に設定している場合に本機能を優先させるには、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間よりも本機能の呼出時間を短く設定してください。

ニューロポインターの設定をする

お買い上げ時	ポインター表示：ON　フォーカス設定：追従型

ニューロポインターボタン(◉)で操作するポインター(：青色／：白色)をより使いやすくするために、ポインター表示のON/OFFやフォーカスの選びかた、移動速度などを設定できます。
設定できる項目は次のとおりです。

設定項目		内容	参照ページ
ポインター表示		ポインターを表示する／表示しない(ON／OFF)を設定します。「OFF」に設定すると、◉をスライドしてもポインターは表示されません。	P.438
フォーカス設定		ポインターの移動に合わせて項目を自動選択する／自動選択しない(追従型：(青色)／非追従型：(白色))を設定します。 「追従型：(青色)」に設定した場合、ポインターの重なっている項目が自動的に選択状態になるため、◉を押すだけで項目を決定できます。 「非追従型：(白色)」に設定した場合、選びたい項目にポインターを合わせて◉を押すと選択状態になり、もう一度◉を押すと決定になります。	P.438
速度調節	通常画面	一覧画面やアイコン選択画面など、一般的な画面のポインター速度を調節します。	P.438
	MainMenu画面	メインメニューのポインター速度を調節します。	
	T9候補・ワード予測画面	T9方式(モード3)の読み候補表示中画面やワード予測表示中画面のポインター速度を調節します。	
	ソフト実行画面	iアプリ実行中画面のポインター速度を調節します。※	
	速度リセット	ポインターの速度をお買い上げのときの状態に戻します。	
スライド設定	スライド調整	ポインターを正しく動かせるように、ニューロポインターの最大スライド範囲を調節します。	P.439
	リセット	スライドの調整値をお買い上げのときの状態に戻します。	

※：iアプリのソフトによっては、本機能の設定が反映されない場合があります。

- ポインターは「」が表示される画面で使用できます。

1 (Menu)▶ 各種設定▶「その他」▶「ニューロポインター設定」の順に選ぶ

ニューロポインター設定画面が表示されます。

表示を設定する場合

「ポインター表示」を選ぶ
ポインターを「表示する／表示しない」(ON／OFF)を設定します。

フォーカス方法を設定する場合

「フォーカス設定」を選ぶ
ポインターのフォーカス方法を「追従型／非追従型」から選びます。

移動速度を調節する場合

「速度調節」を選ぶ

スライド範囲を調節する場合

「スライド設定」を選ぶ

おしらせ

- 「ポインター表示」を「OFF」に設定していても、ポインターを使える画面では画面の下に「 」が表示されます。

ポインターの移動速度を調節する

ポインターの移動速度をお好みの速さに調節できます。ポインターを使って速度を調節すると、調節中の値がポインターに反映されるため、速度を確認しながら調節できます。

- ポインターの移動速度を正しく調節するために「①初速」、「②低速」、「③高速」の順に調節してください。

1 ニューロポインター設定画面(上記)で「速度調節」を選ぶ

2 速度を調節したい項目を選ぶ

速度調節値をリセットする場合

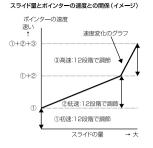
「速度リセット」を選ぶ

3 を押して「初」、「低」、「高」を選び、を押して速度を調節する

速度はそれぞれ0(左端)～11(右端)の12段階で調節できます。調節値を右にずらすほど速度が速くなり、左にずらすほど遅くなります。

4 「OK」を選ぶ

速度調節について

ポインターの移動速度は、ニューロポインターのスライドの量に応じて「最初の速度(①初速)」→「初速からの加速(②低速)」→「低速からの加速(③高速)」の３段階で速くなります。「①初速」の速度は「①初速」の調節値に、「②低速」の速度は「①初速」と「②低速」の調節値を合計した値に、高速の速度は「①初速」と「②低速」と「③高速」の調節値を合計した値になります。したがって、「②低速」と「③高速」の調節値を０(左端)にした場合は、「①初速」の値に何も足されないため、ポインターの移動速度は「①初速」を保ちます。一方「②低速」と「③高速」の調節値を１以上に設定した場合は、「①初速」に「②低速」と「③高速」の調節値が足されるため、ニューロポインターのスライド量を大きくするほどポインターの移動速度が速くなります。

おしらせ

- 「ポインター表示」を「OFF」に設定した場合でも、◎を押して速度調節を行えます。ただし、ポインターを使って速度を確認しながら調節することはできません。
- ポインターの移動速度や、(追従型)で自動的に項目が選ばれる速度は、操作する画面によって異なる場合があります。

スライド範囲を調節する

ポインターの動きが不安定になった場合は、ニューロポインターの最大スライド範囲を調節します。

- スライド調整は、上方向、下方向、左方向、右方向の順に行います。

1 ニューロポインター設定画面(P.438)で「スライド設定」を選ぶ

2 「スライド調整」を選ぶ

スライド調整をするかどうかのメッセージが表示されます。

スライド調整値をリセットする場合

「リセット」を選ぶ

3 「YES」を選ぶ

スライド調整を行わない場合

「NO」を選ぶ

その他の便利な機能

4 画面のガイダンスに従ってニューロポインターをスライドする

ニューロポインターは上下左右いっぱいまでスライドさせ、ガイダンスが消えるまでしばらくとめてください。
上下左右のスライド調整が終了すると、スライド調整したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

- スライド調整中に音声電話やテレビ電話の着信があったり、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、調整値が破棄されます。各機能の操作を終了するとスライド調整画面に戻りますので、もう一度上方向のスライド調整からやり直してください。

設定リセット

各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能の設定をお買い上げのときの設定内容に戻すことができます。

- 「PIMロック」設定中、「セルフモード」設定中はリセットできません。
- パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード設定」はお買い上げのときの設定内容に戻りません。
- 本機能でリセットできない項目については、P.583を参照してください。

1 (Menu)▶各種設定▶「その他」▶「設定リセット」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

設定リセットをするかどうかのメッセージが表示されます。
端末暗証番号について→P.152

2 「YES」を選ぶ

リセットしない場合
「NO」を選ぶ

設定リセットされる機能一覧

機能名			お買い上げ時の設定
各種設定	着信	着信音量	電話／TV電話：レベル4 メール／メッセージ：レベル4
		着信音選択	電話：着信音1 TV電話：着信音1 メール：着信音2 メッセージリクエスト：着信音3 メッセージフリー：着信音3
		SRS_WOW設定	ON
		バイブレータ	電話：OFF TV電話：OFF メール：OFF メッセージリクエスト：OFF メッセージフリー：OFF
		着信イルミネーション	電話：色5 TV電話：色5 メール：色1 メッセージリクエスト：色1 メッセージフリー：色1 パターン設定：固定パターン カラー名：色1～12 カラー調節：初期値
		マナーモード選択	マナーモード オリジナルマナーの設定 　伝言メモ：OFF 　バイブレータ：ON 　電話着信音量：消去 　メール着信音量：消去 　めざまし音量：消去 　メモ確認音：ON 　ボタン確認音：OFF 　通話中マイク感度：アップ 　低電圧アラーム：OFF
		電話帳画像着信設定	ON
		着信アンサー設定	エニーキーアンサー
		クローズ動作設定	終話
		iモード中着信設定	通常着信
		パケット通信中着信設定	通常着信
		メール／メッセージ鳴動	メール：ON 　鳴動時間設定：5秒 メッセージリクエスト：ON 　鳴動時間設定：5秒 メッセージフリー：ON 　鳴動時間設定：5秒
		呼出時間表示設定	無音時間設定：0秒 時間内不在着信表示：表示する
		確認機能設定	日本語表示のとき：電子音 英語表示のとき：ON
	通話	ノイズキャンセラ	ON
		通話品質アラーム	アラーム高音
		再接続機能	アラームなし
		通話中イルミネーション	OFF
		保留音選択	応答保留音：応答保留音1 通話中保留音：エリーゼのために

次ページへつづく

機能名			お買い上げ時の設定
各種設定	TV電話	画像品質設定	標準
		発信時自画像送信	ON
		画像選択	応答保留：内蔵 通話中保留：内蔵 代替画像：キャラ電 伝言メモ：内蔵
		音声自動再発信設定	OFF
		遠隔監視設定	対局番号登録：設定なし 応答時間設定：5秒 設定：OFF
		TV電話画面設定	親画面表示：親画面対局表示 画像表示設定：画面サイズで表示
	ディスプレイ	画面表示設定	待受画面：イルカ ウェイクアップ表示：クレスト ウェイクアップメッセージ：未入力状態に戻す 電話発信：スタンダード 電話着信：スタンダード メール送信：スタンダード メール受信：スタンダード 問い合わせ：スタンダード
		照明設定	通常時：ON＋待受画面省電力モードON＋待ち時間設定5分 充電時：標準 範囲：液晶＋ボタン 明るさ：レベル2
		配色パターン	スタンダード
		イメージウィンドウ	設定：ON 待受表示固定：OFF 待受画面表示：アナログ時計1（ピクト表示：ON） 背景設定：プリインストール（イルカ） 着信表示：ON（画像＋着信番号） メール表示：OFF 通信中表示：ON（バックライトOFF）
		フォント設定	文字パターン：フォント1 太さ：中太字
		オリジナルメニュー登録	電話番号表示 iモード問い合わせ 着信音量 バイブレータ めざまし時計 端末暗証番号変更
		メニュー画面設定	ガイダンス表示：ON メニュー表示：詳細表示
		ピクチャ表示設定	ピクチャ一覧
		オート表示	OFF
	時間	通話中時間表示	ON
	時計	時計表示設定	表示方法 日本語表示のとき：日本語 英語表示のとき：ON 表示サイズ：大きく表示 表示時計種別：ローカル
		リモート時計設定	タイムゾーン：GMT＋00 都市名：ロンドン サマータイム：OFF
		アラーム通知設定	通知優先

機能名			お買い上げ時の設定
各種設定	ロック／セキュリティ	ダイヤル発信制限	OFF（解除）
		登録外着信拒否	許可
		非通知着信設定	すべて許可／通常着信音と同じ
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定	60秒間
		iモード問い合わせ設定	メール：ON メッセージリクエスト：ON メッセージフリー：ON
		接続先選択	iモード ユーザ指定接続先：未登録状態に戻す
		SMS center設定※1	ドコモ
		証明書	すべて有効
	iアプリ設定	ソフト情報表示設定	表示しない
		α照明設定	システム依存
		αバイブレータ	システム依存
		αイメージウィンドウ	システム依存
	外部オプション	イヤホン切替	イヤホン＋スピーカ
		オート着信	OFF 呼出時間：6秒
	ネットワーク設定	プレフィックス設定	登録名：WORLD CALL プレフィックス：009130010 （ユーザ設定は未登録状態に戻す）
		国際ダイヤル設定	自動付加設定：自動付加、日本、81 国番号設定：日本、81 国際電話設定：WORLD CALL、009130010
		ネットワーク接続モード選択	オート
		ネットワーク名表示設定	表示あり
		ネットワーク切替	自動
	その他	ボタン確認音	ON
		充電確認音	ON
		サイドボタン操作	閉じた時有効
		文字入力方式	入力モード：すべて有効 優先入力方式：モード1（かな方式） ワード予測：ON ガイダンス表示：ON
		履歴表示設定	着信履歴：ON リダイヤル／発信履歴：ON
		サブアドレス設定	ON
		ニューロポインター設定	ポインター表示：ON フォーカス設定：追従型 速度調節：初期値
		USBモード設定※2	通信モード

機能名		お買い上げ時の設定
アクセサリ	カメラ	カメラ設定：外側カメラ 撮影間隔：0.5秒 撮影枚数：5枚 連写切替：オート 画像サイズ設定 フォトモード、連写モード、ピクチャボイス：メール大（176×144） ムービーモード、チャンスキャプチャ、長時間ムービー：サイズ大（176×144） 動画容量設定：メール 動画保存設定：標準 ファイル制限：なし 自動保存設定：OFF セルフタイマー作動時間：10秒 ホワイトバランス設定：オート シャッター音選択：シャッター音1 表示サイズ設定：等倍表示 画像チューニング：モード1（50Hz地域）
	スケジュール	1ヶ月表示 ユーザアイコン：未登録状態に戻す
	めざまし時計	OFF
	伝言メモ	OFF 応答メッセージ：標準 呼出時間：8秒
	おしゃべり機能	開始音設定：ON
	電話帳画像転送	する
サービス	着信動作選択	通常着信
電話帳	電話帳便利機能	すべてOFF
	電話帳指定設定	すべてOFF
ユーザデータ	定型文	固定定型文初期化 （フォルダ名を含めてフォルダ1、2のリセット）
マルチメディア	イメージ	画像表示設定：標準
	iモーション	一覧表示切替：タイトル＋画像 画像表示設定：等倍表示
	キャラ電	キャラ電撮影：フォトモード 代替画像設定：ブンブン（Dimo） 画像表示設定：画面サイズで表示 画像サイズ設定：サイズ大（176×144） 撮影種別設定：通常 動画保存設定：標準
その他	受話音量調節	レベル4
	マナーモード	OFF
	ドライブモード	OFF
	テレビ電話のTV電話設定	明るさ調節：0
	テレビ電話の照明設定	常時点灯
	電話帳検索のラストワン機能※3	フリガナ検索
	デスクトップアイコンのラストワン機能※3	1ページの左端

※1：FOMA端末にFOMAカードが取り付けられていないときは、本設定はリセットされません。
※2：FOMA端末にUSBケーブルが接続されているときには、本設定はリセットされません。
※3：「ラストワン機能」とは、最後に操作したときに選んでいた機能が、次の操作のときにあらかじめ選ばれている機能です。

ネットワークサービス

「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「デュアルネットワークサービス」、「iモード」は、お申し込みが必要なサービスです。ネットワークサービスについてご不明な点は、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください(番号をよくお確かめの上、おかけください)。

「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」はドコモeサイトにてお申し込みいただけます。詳しくは、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、便利なドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法は次のようになります。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	要	有料	下記
キャッチホン	要	有料	P.448
転送でんわサービス	要	無料	P.450
迷惑電話ストップサービス	要	有料	P.452
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.58
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.452
ドライブモード	不要	無料	P.81
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.453
英語ガイダンス	不要	無料	P.454
ショートメッセージサービス(SMS)	不要	無料	P.242
国際ローミングサービス(WORLD WING)	要	無料	P.530
iモード	要	有料	P.198

- ネットワークサービスセンターに接続して操作するネットワークサービスの場合は、「圏外」が表示されているところでは操作できません。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供された場合は、新しいサービスをメニューに登録できます。→P.456
- ネットワークサービスの詳細については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。
- 海外でのネットワークサービスのご利用については、P.538を参照してください。

留守番電話サービス(有料)

お申し込み　必要　　月額使用料　有料

留守番電話サービスとは、「圏外」が表示されているとき、電源が入っていないときなどに音声電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。伝言メッセージは、日本全国のどこからでも確認できます。

- 「圏外」が表示されているところで、FOMA端末から留守番電話サービスの操作はできません。あらかじめ「遠隔操作設定」(P.456)で遠隔操作ができるように設定しておくと、FOMA端末から操作できないときにプッシュ式の一般電話や公衆電話などから、「ネットワーク暗証番号」を利用して留守番電話サービスの操作ができます。
- 留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。

留守番電話サービスについて

- 伝言メッセージの録音時間は1件あたり約3分間、20件まで録音できます。
- 伝言メッセージは最大72時間保存されます。
- 相手からテレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを「開始」に設定していても、留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。
- 留守番電話サービスは、「転送でんわサービス」を「開始」に設定すると、自動的に「停止」になります。
- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない音声電話がかかってきた場合は、番号通知お願いガイダンスが流れ、伝言メッセージはお預かりできません。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

↓

お客様のFOMA端末に音声電話がかかる

↓

音声電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

↓

相手が用件を伝言メッセージに録音する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに#を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

伝言メッセージを再生する

おしらせ

- 音声電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。「留守番サービス設定」で設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定していても、通常どおり音声電話をかけたり、受けたりできます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに音声電話がかかってきた場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった音声電話は留守番電話サービスセンターに接続します。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 通話中にかかってきた音声電話も留守番電話サービスセンターに接続できます。→P.454
- 留守番電話サービスの設定にかかわらず、「電話帳指定設定」で指定した電話番号からの音声電話を留守番電話サービスセンターへ自動的に接続させることもできます。

留守番電話サービスを開始する

1 (Menu)▶ サービス ▶「留守番電話」の順に選ぶ

2 「留守番サービス開始」を選ぶ

留守番サービスを開始するかどうかのメッセージが表示されます。

呼出時間のみ変更する場合
「留守番呼出時間設定」を選ぶ

留守番電話サービスを停止する場合
「留守番サービス停止」を選ぶ

3 「YES」を選ぶ

サービスを開始しない場合
「NO」を選ぶ

4 呼出時間(000～120秒)を入力する

0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。
000～120以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。

留守番電話サービスの設定を確認する

留守番電話サービスの設定内容をセンターに問い合わせて確認できます。また、確認中に設定内容を変更することもできます。

1 (Menu)▶ サービス ▶「留守番電話」の順に選ぶ

2 「留守番設定確認」を選ぶ

3 設定を確認する

現在の留守番電話サービスの設定内容が表示されます。

留守番電話サービスを開始する場合
機能メニューから「留守番サービス開始」を選ぶ

留守番電話サービスを停止する場合
機能メニューから「留守番サービス停止」を選ぶ

呼出時間を変更する場合
機能メニューから「呼出時間設定」を選ぶ

音声ガイダンスで留守番電話サービスの設定を変更する

音声ガイダンスに従って、保存した伝言メッセージの再生や不在案内機能、応答メッセージの変更などができます。

- 通話中は操作できません。

1 (Menu)▶ サービス ▶「留守番電話」の順に選ぶ

2 「留守番サービス設定」を選ぶ

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

おしらせ

- 音声ガイダンスに従ってボタン操作(0～9、*、#)を行った場合、☎を押しても通話が終わらないことがあります。この場合はもう一度☎を押してください。

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るように設定する ＜件数増加鳴動設定＞

留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージが増えたとき、着信音を鳴らすことができます。

- 件数が増えたときの着信音は、「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が約5秒間鳴ります。

1 (Menu)▶ サービス ▶「留守番電話」の順に選ぶ

次ページへつづく

2 「件数増加鳴動設定」を選ぶ

おしらせ

- サービス問い合わせをして伝言メッセージが増えたときにも、「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が鳴ります。

伝言メッセージがあるかどうか確認する　＜サービス問い合わせ＞

留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしているかどうか確認できます。

1 (Menu)▶サービス▶「サービス問い合わせ」の順に選ぶ

問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。
留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、待受画面に「」（留守番電話アイコン）と「留守」（「留守番電話あり」のデスクトップアイコン）が表示されます。留守番電話アイコンは保存されている伝言メッセージの件数によって、「」、「」、「」…「」（10件以上）と表示が変わります。

おしらせ

- 表示される伝言メッセージの件数は、新しくお預かりした伝言メッセージの件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- 伝言メッセージが保存されていない場合は、留守番電話アイコンと「留守番電話あり」のデスクトップアイコンは表示されません。
- 留守番電話アイコンは、留守番電話サービスセンターに電話をかけて伝言メッセージを消去するか、伝言メッセージの保存時間（72時間）が経過して消去されるまで表示されます。
- 通話が途中で途切れたり、電波の状態によっては、問い合わせできないことがありますのでご了承ください。
- サービス問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。

伝言メッセージを再生する

- 通話中は操作できません。

1 (Menu)▶サービス▶「留守番電話」の順に選ぶ

2 「留守番メッセージ再生」を選ぶ

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージの再生をします。

おしらせ

- 音声ガイダンスに従ってボタン操作（0〜9、*、#）を行った場合、を押しても通話が終わらないことがあります。この場合はもう一度を押してください。

留守番電話アイコンを消去する

待受画面に表示された「」（留守番電話アイコン）を消去します。

1 (Menu)▶サービス▶「留守番電話」の順に選ぶ

2 「留守番アイコン消去」を選ぶ

おしらせ

- 留守番電話アイコンを消去しても、伝言メッセージは消去されません。サービス問い合わせを行うと再び留守番電話アイコンが表示されます。

キャッチホン（有料）

お申し込み	必要	月額使用料	有料

キャッチホンとは、通話中にかかってきた音声電話を受けることができるサービスです。また、通話中の音声電話を保留にして、新たに別の相手へ音声電話をかけることもできます。

- 「圏外」が表示されているところで、キャッチホンの操作はできません。
- キャッチホンを使用する場合は、あらかじめ「着信動作選択」（P.454）を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することができません。
- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない音声電話がかかってきた場合、番号通知お願いガイダンスが流れ、音声電話を受けることはできません。
- 次のような場合、キャッチホンは動作しません。
  - ・110番、119番、118番、117番※、104番などの3桁の電話番号と通話しているとき
  - ・ダイヤル中および相手を呼び出し中のとき

ネットワークサービス

・テレビ電話中のとき（「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶されます）
・音声通話中にテレビ電話がかかってきたとき（「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶されます）
・1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけているとき
・「留守番電話サービス」をご利用のお客様で、メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間
※：117番と通話中に音声電話を着信した場合、「ププ…ププ…」という音が聞こえますが、電話に出ることはできません。

キャッチホンを使えるようにする

1 （Menu）▶ サービス ▶「キャッチホン」の順に選ぶ

2 「キャッチホン開始」を選ぶ

キャッチホンを停止する場合
「キャッチホン停止」を選ぶ
キャッチホンの設定を確認する場合
「キャッチホン設定確認」を選ぶ

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら または ［通話］を押す

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

あとからかかってきた相手との通話を終了する場合
 を押した後、 または ［通話］を押す
あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。
あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合
 を押す
あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
 を押すたびに通話の相手が切り替わります。
保留中の音声電話を終了する場合
機能メニューから「保留呼切断」を選ぶ

おしらせ

● 通話中保留のときも電話をかけた方の料金は加算され続けます。
● 「マルチ接続中」と画面に表示されているときに別の音声電話がかかってくると、保留か通話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。
● 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご契約いただいている場合、「着信動作選択」を「通常着信」に設定して「通話中着信設定」を「開始」に設定すると、通話中にかかってきた音声電話を留守番電話サービスや転送でんわサービスに接続できます。→P.454

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら を押す

最初の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります。iモーションを着信音に設定している場合は、「着信音1」が鳴ります。

2 または ［通話］を押す

あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手に音声電話をかけることができます。

次ページへつづく

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルして[発信]を押す

最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。
電話帳を検索することもできます。
電話帳の検索のしかた→P.114

2 最初の相手との通話に切り替える

新しくかけた相手との通話を終了する場合

[終話]を押した後、[発信]または●[通話]を押す

新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

新しくかけた相手との通話を保留にする場合

[発信]を押す

新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
[発信]を押すたびに通話の相手が切り替わります。

保留中の音声電話を終了する場合

機能メニューから「保留呼切断」を選ぶ

おしらせ

- 通話中保留のときも電話をかけた方の料金は加算され続けます。
- 「マルチ接続中」と画面に表示されているときに別の音声電話がかかってくると、保留か通話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。

転送でんわサービス(無料)

お申し込み	必要	月額使用料	無料

転送でんわサービスとは、「圏外」が表示されているとき、電源が入っていないときなどにかかってきた音声電話やテレビ電話を、ご家庭やオフィスなど、あらかじめ登録しておいた転送先に転送するサービスです。

- 「圏外」が表示されているところで、FOMA端末から転送でんわサービスの操作はできません。あらかじめ「遠隔操作設定」(P.456)で遠隔操作ができるように設定しておくと、FOMA端末から操作できないときにプッシュ式の一般電話や公衆電話などから、「ネットワーク暗証番号」を利用して転送でんわサービスの操作ができます。

転送でんわサービスについて

- 転送先は1件登録できます。
- 相手からテレビ電話がかかってきたときは、転送先が3G-324M(P.88)に準拠したテレビ電話対応端末のときのみ接続します。
- 転送でんわサービスは、「留守番電話サービス」を「開始」に設定すると、自動的に「停止」になります。
- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない電話がかかってきた場合は、番号通知お願いガイダンスが流れ、転送されません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する
↓
転送でんわサービスを開始に設定する
↓
お客様のFOMA端末に音声電話/テレビ電話がかかる
↓
音声電話/テレビ電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者 ➡ 転送でんわサービスのご契約者 ➡ 転送先

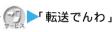
発信者に通話料がかかります。 / 転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

・転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始/停止、呼出時間設定の通信料は無料です。
・転送を行ったとき、転送でんわサービスを契約しているFOMA端末が位置登録しているエリアから転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。お出かけ先で転送の設定をしたまま、FOMA端末の電源を入れないでいると、本機能の通話料金が高くなることがありますので、ご注意ください。
たとえば、転送先として東京の会社の電話番号を登録し、大阪出張のときに大阪で本機能を開始に設定。その後FOMA端末の電源を切ったままにしておくと、転送されるお客様負担分は大阪から東京の会社までとなります。
お出かけ先から戻ってきたら、電源を入れ直してください。位置登録が自動的に行われます。

おしらせ

- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、通常どおり音声電話やテレビ電話をかけたり、受けたりできます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった音声電話やテレビ電話は転送先に転送します。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- サービスエリア外や電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。
- 通話中にかかってきた電話も転送できます。→P.454
- 転送でんわサービスの設定にかかわらず、「電話帳指定設定」で指定した電話番号からの音声電話やテレビ電話を転送先へ自動的に転送させることもできます。
- 転送先からの申し出があり、必要なときには、お客様に代わって転送を中止することがありますのでご了承ください。
- 転送でんわサービスを開始(転送中)にしている場合、コレクトコール(料金着信払電話)での着信はできません。

転送でんわサービスを開始する

1 (Menu)▶▶「転送でんわ」の順に選ぶ

2 「転送サービス開始」を選ぶ

サービスを停止する場合
「転送サービス停止」を選ぶ

転送先のみを変更する場合
「転送先変更」を選んで転送先の電話番号を入力した後、転送でんわサービスを「開始」にしている場合は「転送先変更」、「停止」にしている場合は「転送先変更＋転送開始」を選ぶ

サービスの設定を確認する場合
「転送サービス設定確認」を選ぶ

3 転送先と呼出時間を設定する

転送先を設定する場合
「転送先設定」を選ぶ
転送先の電話番号を入力してください。設定すると「転送先設定」に「★」がつきます。
を押すと電話帳を検索して入力できます。
電話帳の検索のしかた→P.114

呼出時間を設定する場合
「呼出時間設定」を選んで呼出時間(000～120秒)を入力する
設定すると「呼出時間設定」に「★」がつきます。
0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。
000～120以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。

4 「開始」を選ぶ

おしらせ

- 転送でんわサービスを「開始」に設定しても、転送先を3G-324M(P.88)に準拠したテレビ電話に対応した機器に設定していない場合は、かかってきたテレビ電話を転送できません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。
- 104番や117番など3桁の電話番号やクイックナンバー、フリーナンバー、フリーダイヤルの番号、「186」や「131＊」、「#」、「＋」などがついた電話番号は、転送先として指定できません。
- 社内専用電話(PBX)、ポケットベル*、FAXを転送先としたとき、かけてきた相手に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。

転送先が通話中のときに留守番電話サービスセンターに接続する ＜転送先通話中時設定＞

転送先が通話中のときに、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続することができます。

- 「留守番電話サービス」へのご契約が必要です。
- かかってきた電話がテレビ電話の場合は、留守番電話サービスセンターに接続できません。

1 (Menu)▶▶「転送でんわ」の順に選ぶ

2 「転送先通話中時設定」を選ぶ

＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

迷惑電話ストップサービス（有料）

お申し込み	必要	月額使用料	有料

迷惑電話ストップサービスとは、いたずら電話や悪質なセールス電話など、特定の相手からの電話を着信しないように登録できるサービスです。登録後はその相手からの着信をネットワーク上で自動的に拒否し、相手には着信拒否ガイダンスで応答します。

- 「圏外」が表示されているところで、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。
- 拒否登録した相手からテレビ電話がかかってきた場合は、相手に着信拒否ガイダンスを流さずに電話を切ります。
- 最大30件まで拒否登録できます。
- 迷惑電話ストップサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

最後に着信した迷惑電話を拒否登録する　＜迷惑電話着信拒否登録＞

最後に通話した相手の電話番号を拒否登録できます。

- 相手が電話番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
- 着信した電話に応答（通話）した場合のみ拒否登録できます。なお、以下の場合は拒否登録できません。
  - 迷惑電話ストップサービス契約前の通話の場合
  - 不在着信（着信があっても通話しなかった場合）※の場合
  - 国際電話の場合

  ※：留守番電話サービスセンターに接続された場合も含まれます。
- 「キャッチホン」をご利用の場合は、最後に電話を切った相手が拒否登録されます。
- 拒否登録した電話番号の確認や問い合わせはできません。拒否登録した電話番号はメモなどを取っておくことをおすすめします。

1 （Menu）▶ サービス ▶「迷惑電話ストップ」の順に選ぶ

2 「迷惑電話着信拒否登録」を選ぶ

すでに30件登録済みの場合
最も古い番号を削除して登録するかどうかのメッセージが表示されます。
新しく登録する場合は、メッセージに従って最も古い番号を削除してから、最後に着信した迷惑電話を拒否登録してください。

おしらせ

- 電話番号を指定して拒否登録することもできます。この場合は、待受画面から直接「144」に音声電話をかけて、音声ガイダンスの指示に従って登録してください。

拒否登録した迷惑電話を削除する

1 （Menu）▶ サービス ▶「迷惑電話ストップ」の順に選ぶ

2 拒否登録した電話番号を削除する

最後に拒否登録した電話番号を1件削除する場合
「迷惑電話1登録削除」を選ぶ
削除できるのは最後に拒否登録をした電話番号のみです。
削除の操作を繰り返しても、それ以前に拒否登録した電話番号は削除できません。

拒否登録した電話番号をすべて削除する場合
「迷惑電話全登録削除」を選ぶ

番号通知お願いサービス（無料）

お申し込み	不要	月額使用料	無料

番号通知お願いサービスとは、電話番号を通知してこない音声電話に対し、ガイダンスの案内により「番号の通知のお願い」をし、自動的に電話を切るサービスです。相手がわからないことなどによるトラブルを防ぎ、FOMA端末を安心して活用できます。

- 「圏外」が表示されているところで、番号通知お願いサービスの操作はできません。
- 非通知の理由が、発信者の意思により電話番号を通知しない「非通知設定」のときだけ働きます。「公衆電話」「通知不可能」は対象外です。
- 番号通知お願いサービスの開始／停止の通信料は無料です。
- ガイダンスにかかわる通話については、発信者に通話料金がかかります。
- 「留守番電話サービス」と番号通知お願いサービスを同時に設定している場合、番号通知お願いサービスが優先され、かかってきた電話を切ります。留守番サービスセンターに接続はされません。
- 「転送でんわサービス」と番号通知お願いサービスを同時に設定している場合、番号通知お願いサービスが優先され、かかってきた電話を切ります。設定した転送先へは転送されません。

●「キャッチホン」と番号通知お願いサービスを同時に設定している場合、番号通知お願いサービスが優先され、かかってきた電話を切ります。キャッチホンは動作しません。
●「ドライブモード」と番号通知お願いサービスを同時に設定している場合、番号通知お願いサービスが優先され、かかってきた電話を切ります。運転中のため電話に出られないことを通知するガイダンスは流れません。
●「迷惑電話ストップサービス」と番号通知お願いサービスを同時に設定している場合は、「迷惑電話ストップサービス」が優先され、着信を拒否します。
●「非通知着信設定」と番号通知お願いサービスを同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先されます。
●番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスを開始する

1 **(Menu)▶サービス▶「番号通知お願いサービス」の順に選ぶ**

2 **「番号通知お願い開始」を選ぶ**

番号通知をお願いしない場合
「番号通知お願い停止」を選ぶ
番号通知お願いサービスの設定を確認する場合
「番号通知お願い確認」を選ぶ

デュアルネットワークサービス(有料)

お申し込み	必要	月額使用料	有料

デュアルネットワークサービスとは、高品質な通信サービスのFOMA端末と広範囲なサービスエリアのムーバとを、同じ電話番号で使い分けることができるサービスです。

●「圏外」が表示されているところで、デュアルネットワークの操作はできません。
●デュアルネットワークサービスで切り替えられるネットワークとは、iモードセンターやネットワークサービスセンターも含めたサービス全体を表しています。
●デュアルネットワークサービスやムーバからの操作について詳しくは、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

デュアルネットワークサービスについて

●デュアルネットワークサービスの切り替えは、サービスを利用できない状態のFOMA端末またはムーバから行います。
●FOMA端末でご契約されているネットワークサービスは、ムーバご使用時にもご利用いただけます。ただし、次の設定はそれぞれの端末から行い、相互には反映されませんのでご注意ください。
・発信者番号通知サービス
・ドライブモード
・着信動作選択
●FOMA端末とムーバの両方を同時にネットワークに接続することはできません。
●次の機能はFOMA端末のみ使用可能です。
・テレビ電話の発信と着信
・メッセージリクエスト／フリーの受信
・SMSの送受信
・SMS問い合わせ
●iモード対応のムーバの場合、iモードメールをムーバで自動受信するか、iMenu内の「メール確認サイト」にて未受信のメールを確認／返信するかを選ぶことができます。
●FOMA端末でご契約されているネットワークサービスは、ムーバご使用時にもご利用いただけます。ただし、それぞれの端末から行ったネットワークに対する設定には、相互に反映されるものと相互に反映されないものがあります。
●FOMA端末からはムーバへ切り替えることはできません。

ムーバからFOMA端末へ切り替える

●切り替えを行うときは、受信レベル表示でサービスエリアにいることを確認してください。ただし、FOMA端末およびムーバの受信レベルは電波状態を示しているもので、ネットワークの利用可能、不可能の状態を示しているものではありません。

1 **(Menu)▶サービス▶「デュアルネットワーク」の順に選ぶ**

2 **「デュアルネットワーク切替」を選ぶ**

ネットワークを切り替えるかどうかのメッセージが表示されます。
FOMA端末が利用可能状態であるか確認する場合
「デュアルネットワーク状態確認」を選ぶ

3 **「YES」を選んでネットワーク暗証番号を入力する**

ネットワーク暗証番号について→P.152
切り替えない場合
「NO」を選ぶ

おしらせ

● 海外から帰国後は、FOMA端末の電源を入れて、「ネットワーク切替」で「自動」または「3G」に設定し「FOMA」が表示されていることを確認してから、デュアルネットワークサービスをご利用ください。

英語ガイダンス

お申し込み	不要	月額使用料	無料

発着信時に流れる音声ガイダンス、および「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などの各種ネットワークサービス設定時に流れる音声ガイダンスの言語を設定できます。

●「圏外」が表示されているところで、英語ガイダンスの操作はできません。
● テレビ電話では英語ガイダンスを利用できません。
● 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。
● 英語ガイダンスのサービス内容、英語ガイダンスに対応しているネットワークサービスについては、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 **(Menu)▶サービス▶「英語ガイダンス」の順に選ぶ**

2 **「ガイダンス設定」を選ぶ**

ガイダンスの設定を確認する場合
「ガイダンス設定確認」を選ぶ

3 **設定したい項目を選ぶ**

発信時と着信時の言語を設定する場合
「発信時＋着信時」を選んで発信時、着信時の順に言語を設定する
発信時の言語を「日本語／英語」、着信時の言語を「日本語／日本語＋英語／英語＋日本語」から選びます。

発信時の言語のみ設定する場合
「発信時」を選ぶ
発信時の言語を「日本語／英語」から選びます。

着信時の言語のみ設定する場合
「着信時」を選ぶ
着信時の言語を「日本語／日本語＋英語／英語＋日本語」から選びます。

サービスダイヤル

ドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ簡単に電話をかけることができます。

●「圏外」が表示されているところで、サービスダイヤルの操作はできません。

1 **(Menu)▶サービス▶「サービスダイヤル」の順に選ぶ**

故障の問い合わせ先へ電話をかける場合
「ドコモ故障問合せ」を選んで●[発信]を押す

総合案内・受付へ電話をかける場合
「ドコモ総合案内・受付」を選んで●[発信]を押す

おしらせ

● FOMAカードのバージョンによっては、サービスダイヤルを利用できない場合があります。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選ぶ

通話中にかかってきた音声電話にどのように対応するかを設定できます。「キャッチホン」をご契約されていない場合に利用すると便利です。対応方法を設定するには、通話中着信設定を「開始」に設定し、着信動作選択で通話中にかかってきた音声電話の対応を設定します。

●「圏外」が表示されているところで、通話中着信設定の操作はできません。
● テレビ電話の場合、着信動作選択の設定は無効となります。
● 通話中にかかってきた音声電話を、手動で留守番電話サービスセンターや転送先へ接続することもできます。
●「留守番電話サービス」および「転送でんわサービス」を未契約の場合は、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターや転送先に接続できません。

通話中にかかってきた電話への対応を選ぶ ＜着信動作選択＞

お買い上げ時	通常着信

1 **(Menu)▶サービス▶「着信動作選択」の順に選ぶ**

ネットワークサービス

2 設定したい項目を選ぶ

留守番電話：
「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
転送でんわ：
「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話を転送先へ転送します。
着信拒否：
通話中にかかってきた音声電話の着信を拒否します。
通常着信：
「キャッチホン」が「開始」に設定されている場合、「キャッチホン」の動作となります。
「キャッチホン」が「停止」に設定されている場合、次のいずれかの動作が可能です。
- 通話中の音声電話を終了し、かかってきた音声電話に出ることができます。
- 通話中にかかってきた音声電話を、機能メニューから手動で留守番電話サービスセンターや転送先へ接続したり着信拒否できます。→P.73
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

おしらせ

- 本機能を「留守番電話」、「転送でんわ」、「着信拒否」に設定した場合、通話中にかかってきた音声電話は「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

通話中着信設定を開始する ＜通話中着信設定＞

1 (Menu)▶サービス▶「通話中着信設定」の順に選ぶ

2 「通話中着信設定開始」を選ぶ

通話中着信設定を停止する場合
「通話中着信設定停止」を選ぶ
通話中着信設定を確認する場合
「通話中着信設定確認」を選ぶ

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る

着信動作選択を「通常着信」、通話中着信設定を「開始」にすると、通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出ることができます。

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら PWR HLD を押す

通話中の電話が切れ、着信音が鳴ります。
「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されていて、「ププ…ププ…」という音が聞こえているうちに呼出時間を経過すると、留守番電話サービスセンターや転送先に接続されます。

2 またはⓞ[通話]を押す

かかってきた音声電話を受けます。

手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスに接続したり、着信拒否したりする

- 次のような設定の場合は、通話中に別の音声電話がかかってきたとき、かかってきた音声電話を機能メニューから留守番電話サービスセンターや転送先に接続したり、着信拒否したりできます。
  - 「キャッチホン」が「開始」で、着信動作選択が「通常着信」のとき
  - 通話中着信設定が「開始」で、着信動作選択が「通常着信」のとき
- 「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」の設定にかかわらず留守番電話や転送でんわを利用できます。

＜例：キャッチホンが「開始」に設定されている場合＞

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、[機能]を押して機能メニューを表示する

2 かかってきた電話の対応方法を選ぶ

かかってきた電話を着信拒否する場合
「着信拒否」を選ぶ
かかってきた電話を転送先へ転送する場合
「転送でんわ」を選ぶ
かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続する場合
「留守番電話」を選ぶ

いずれの場合も最初の相手との通話に戻ることができます。

おしらせ

- 転送先が登録されていない場合は、「転送先番号が未登録です」というメッセージが表示されます。
- 「110番(警察への緊急通報)」、「119番(消防・救急への緊急通報)」および「118番(海上で事件・事故が起きたときの緊急通報)」に電話をかけているときは、機能メニューからの操作はできません。
- 着信中以外(サービスエリア外、音声電話やテレビ電話に出られない状態、電源が入っていないときなど)は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」の「開始／停止」の設定に従って動作します。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の操作を、公衆電話などの遠隔地から行うことができます。

- 「圏外」が表示されているところで、遠隔操作はできません。

遠隔操作ができるようにする

1 **(Menu)▶サービス▶「遠隔操作設定」の順に選ぶ**

2 **「遠隔操作開始」を選ぶ**

遠隔操作を停止する場合
「遠隔操作停止」を選ぶ
遠隔操作の設定を確認する場合
「遠隔操作設定確認」を選ぶ

遠隔操作の方法について

公衆電話などからネットワークサービスを操作するには、次のようにダイヤルします。

090−310−XXXX

・XXXXには操作したい項目の番号をダイヤルします。
・操作方法について詳しくは、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

追加サービス

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたとき、FOMA端末に新しいネットワークサービスを登録できます。新しいネットワークサービスが提供されると、そのネットワークサービスを利用するための「特番」または「サービスコード」が通知されます。FOMA端末には「特番」または「サービスコード」とサービス名を登録してください。

- 新しいネットワークサービスは最大10件まで登録できます。
- 「サービスコード」は追加サービス登録画面の「USSD」という項目に入力します。
- 登録したネットワークサービスを「サービスコード(USSD)」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録することもできます。

新しいサービスを登録する

1 **(Menu)▶サービス▶「追加サービス」の順に選ぶ**

2 **「追加サービス」を選ぶ**

3 **〈未登録〉を反転表示して機能メニューから「設定追加」を選ぶ**

設定を変更する場合
登録されている項目を反転表示して機能メニューから「設定変更」を選ぶ

4 **サービス名を入力する**

サービス名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

5 **接続方法を選ぶ**

「特番」で接続する場合
「特番」を選んで特番を入力する
「サービスコード」で接続する場合
「USSD」を選んでサービスコードを入力する

登録したサービスを利用する

1 **(Menu)▶サービス▶「追加サービス」の順に選ぶ**

2 **「追加サービス」を選んで利用したいサービスを選び、◉[送信]を押す**

応答メッセージを登録する

登録したネットワークサービスを「サービスコード(USSD)」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録できます。

● 応答メッセージは最大10件まで登録できます。

1 **(Menu)▶ ▶「追加サービス」の順に選ぶ**

2 **「応答メッセージ設定」を選ぶ**

3 **〈未登録〉を反転表示して機能メニューから「設定追加」を選ぶ**

設定を変更する場合
登録されている項目を反転表示して機能メニューから「設定変更」を選ぶ

4 **コマンドを入力する**
コマンドは20桁まで入力できます。

5 **応答メッセージを入力する**
応答メッセージは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

登録したサービスや応答メッセージを削除する

1 **(Menu)▶ ▶「追加サービス」の順に選ぶ**

2 **削除したい項目を選ぶ**

追加サービスを削除する場合
「追加サービス」を選ぶ
応答メッセージを削除する場合
「応答メッセージ設定」を選ぶ

3 **削除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ**

すべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

●データ通信

本FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続してパケット通信を利用します。

● FOMA N900iGは、64Kデータ通信には対応しておりません。「FOMA PC設定ソフト」の「かんたん設定」(P.471)では、接続方法として「64Kデータ通信」という項目が表示されますが、64Kデータ通信はご利用になれません。

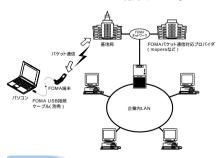
■ パケット通信とは

・パケット通信とは、データをパケット(小包)と呼ばれる単位にして送受信する通信方式です。
　1つの回線を同時に複数の端末で利用できるため、効率よく通信を行うことができ、最大384kbpsの通信速度でデータを受信することができます。

・パケット通信は通信時間や距離に関係なく、送受信されたデータ量に応じて課金されますので、メールなどの文字データの送受信など、比較的少ない量のデータを高速でやり取りする場合に適しています。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になる恐れがありますのでご注意ください。

・FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信を行うこともできます(別途、第1種専用回線等接続サービスまたはXWave®(第2種専用回線等接続サービス)のご契約が必要となります)。

■ パケット通信をするには

パケット通信はFOMA USB接続ケーブル(別売)を使って、FOMA端末をパソコンと接続して通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。

おしらせ

● FOMA端末からは、PIAFSなどのPHSサービス(32Kデータ通信および、64Kデータ通信)およびFAX通信をご利用になれません。
● FOMA端末をPDAと接続してパケット通信を行うこともできます。詳しくはお使いの機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。
・DoPaのアクセスポイントには接続できません。
・PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト(ダイヤルアップネットワーク)でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

おしらせ

<パケット通信について>
● パケット通信の着信は、「着信履歴」として記憶されます。
● ダイヤルアップ接続、切断の操作はパソコン側で行います。
● 「ドライブモード」の設定をしているときも、パケット通信の着信を行います。

<パケット通信中にできること>
● パケット通信中に、SMSの送受信ができます。
● パケット通信中に、音声電話をかけたり、受けたりすることができます。

<パケット通信中にできないこと>
● パケット通信中は、次の操作ができません。
　・テレビ電話の利用
　・iモードの利用
　・iモードメールの送受信
　・赤外線通信
　・ケーブル接続によるデータ転送

手順を確認する

ここでは、パケット通信の接続から設定完了までの流れを説明します。接続をする前に一度読んで、作業内容の確認をしてください。

- パケット通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAパケット通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。
- パケット通信を行うには、N900iG通信設定ファイル(ドライバ)をインストールし、「ダイヤルアップネットワーク」の設定を行う必要があります。

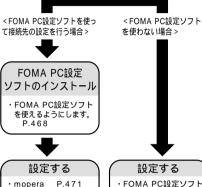
添付の「FOMA N900iG用CD-ROM」について

- N900iG通信設定ファイル(ドライバ)とFOMA PC設定ソフトが入っています。
- N900iG通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続して、パケット通信やデータ転送(OBEX)を行うときに必要なソフトウェア(ドライバ)です。N900iG通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。FOMA PC設定ソフトを使うと、パケット通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

おしらせ

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信の設定を行うこともできます。
ダイヤルアップネットワークの設定→P.478

設定完了までの流れ

パケット通信を利用するための準備について説明します。

※:「mopera」はお申し込み手続き不要のドコモのインターネット接続サービスです。簡単にインターネットに接続をしたいという方には、「mopera」での通信の設定をおすすめします。

おしらせ

- 「インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する」(P.466)で「FOMA N900iG」が表示されていないときには、インストールに失敗しています。通信設定ファイルをアンインストールし(P.466)、再度インストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし(P.466)、再度インストールしてください。
- 自動検索の設定などで、誤って異なるOSのドライバをインストールすると、正しく動作しません。一度、通信設定ファイルをアンインストールしてから、正しくインストールし直してください。

パソコンとFOMA端末を接続する

FOMA USB接続ケーブルを使ってパソコンとFOMA端末を接続します。

動作環境について

パケット通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項 目	説 明
パソコン本体	・PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 ・USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠) ・ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color(65,536色)以上を推奨
OS	・Windows 98、 Windows Me、Windows 2000、Windows XP(各日本語版)
必要メモリ	・Windows 98、Windows Me：32Mバイト以上※ ・Windows 2000：64Mバイト以上※ ・Windows XP：128Mバイト以上※
ハードディスク容量	・5Mバイト以上の空き容量※

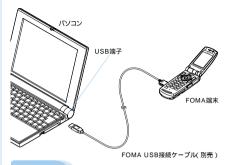
※：必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

おしらせ

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion II」または「musea」と接続してパケット通信を行う場合、「sigmarion II」または「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

必要な機器

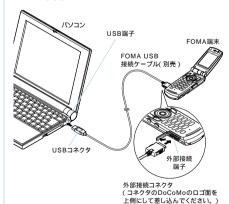
FOMA端末とパソコン以外に次のハードウェア、ソフトウェアを使います。

・FOMA USB接続ケーブル(別売)
・添付の「FOMA N900iG用CD-ROM」

おしらせ

- USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

取り付けかた

FOMA USB接続ケーブルの取り付け方法について説明します。

- パケット通信を行う場合、「USBモード設定」を「通信モード」に設定しておく必要があります。→P.393

1 **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける**

2 **FOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する**

3 **FOMA端末の外部接続端子の向きを確認して、FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む**

FOMA USB接続ケーブルを接続するとFOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

- FOMA USB接続ケーブルのコネクタは無理に差し込まないでください。各コネクタは、正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- FOMA端末に表示される「 」は、N900iG通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。通信設定ファイルのインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「 」も表示されません。

取り外しかた

FOMA USB接続ケーブルの取り外し方法について説明します。

1 **FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く**

2 **パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く**

3 **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる**

おしらせ

- FOMA USB接続ケーブルは無理に取り外さないでください。故障の原因となります。
- FOMA USB接続ケーブルの取り付け・取り外しは、連続して行わないでください。一度、取り付け・取り外しを行った場合は間隔をおいてから再び行ってください。

通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

ここでは、パソコンとの接続から、N900iG通信設定ファイル(ドライバ)をインストールするまでの手順を説明します。

FOMA端末とパソコンを接続する

1 **FOMA USB接続ケーブルをパソコンのUSB端子に接続する**

2 **Windowsを起動して、「FOMA N900iG用CD-ROM」をパソコンにセットする**

3 **「終了」をクリックして、「FOMA N900iGご利用にあたって」画面を終了させる**

この画面は、「FOMA N900iG用CD-ROM」をパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。その場合は、そのまま操作4へ進みます。
N900iG通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「終了」をクリックします。

4 **FOMA端末の電源を入れて、パソコンと接続したFOMA USB接続ケーブルをFOMA端末に接続する**

Windows 98、Windows Meの場合
「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示される

Windows 2000、Windows XPの場合
「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示される

データ通信

次ページへつづく

おしらせ

- USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

N900iG通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

- N900iG通信設定ファイルをインストールするときは、必ずすべてのドライバ(P.466)を一度にインストールしてください。インストールの途中でパソコンからFOMA USB接続ケーブルを抜いたときや、「キャンセル」をクリックしてインストールを中止した場合は、N900iG通信設定ファイルが正常にインストールできなくなることがあります。このような場合には、アンインストール(P.466)の手順に従ってN900iG通信設定ファイルをいったん削除してから、再度インストールし直してください。
- Windows 2000またはWindows XPでN900iG通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限(「Administrator権限」または「コンピュータの管理者権限」)を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- N900iG通信設定ファイルのインストール手順は、OSによって異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明を参照してください。
Windows 2000の場合は下記を参照してください。
Windows XP、Windows 98／Meの場合はP.465へ進んでください。

■ Windows 2000の場合

1 **FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する**

P.463の操作4でFOMA USB接続ケーブルをFOMA端末に接続すると、自動的に上の画面が表示されます。

2 **「次へ」をクリックする**

3 **「ハードウェア デバイス ドライバのインストール」画面が表示されたら、「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選んで「次へ」をクリックする**

4 **「ドライバ ファイルの特定」画面が表示されたら、「場所を指定」をチェックして「次へ」をクリックする**

5 **検索するフォルダを指定し、「OK」をクリックする**

フォルダは、「<CD-ROMドライブ名>:\USB Driver\Win2000」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。上の画面ではCD-ROMドライブ名が「E」です。

6 **「ドライバ ファイルの検索」画面が表示されたら、ドライバ名を確認して「次へ」をクリックする**

ここでは「FOMA N900iG」と表示されます。

7 **「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする**

8 **ほかのドライバもインストールする**

操作1～7を参考にして、ほかのドライバ(P.466)をすべてインストールします。
操作7の終了後、「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が出なくなれば、ドライバのインストールは終了です。「インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する」(P.466)に進みます。

■ Windows XPの場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する

P.463の操作4でFOMA USB接続ケーブルをFOMA端末に接続すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されます。

2 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選んで「次へ」をクリックする

3 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選んで、「リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)を検索」のチェックを外し、「次の場所を含める」をチェックして検索するフォルダを指定し、「次へ」をクリックする

フォルダは「<CD-ROMドライブ名>:\USB Driver\Win2000」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。上の画面ではCD-ROMドライブ名が「E」です。
ドライバはWindows 2000と共通です。

4 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする

5 ほかのドライバもインストールする

操作1～4を参考にして、ほかのドライバ(P.466)をすべてインストールします。
操作4の終了後、「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が出なくなればドライバのインストールは終了です。
すべてのドライバのインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というメッセージが数秒間表示されます。次の「インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する」(P.466)に進みます。

■ Windows 98／Windows Meの場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する

P.463の操作4でFOMA USB接続ケーブルをFOMA端末に接続すると、自動的に「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。

2 画面の指示に従ってドライバをインストールする

Windows 2000の場合(P.464)やWindows XPの場合(上記)の操作を参考にドライバをインストールします。
ドライバを検索するフォルダは、「<CD-ROMドライブ名>:\USB Driver\Win98」を指定します。

3 ほかのドライバもインストールする

「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が出なくなるまでドライバをインストールしてください。インストールが終了したら、「インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する」(P.466)に進みます。

インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

N900iG通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

1 Windowsのコントロールパネルを開く

Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選ぶ
Windows XPの場合
「スタート」→「コントロールパネル」を選ぶ

2 コントロールパネル内の「システム」を開く

Windows Meの場合
コントロールパネルに「システム」アイコンが表示されないときは「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックする
Windows XPの場合
「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

3 デバイスマネージャを開く

Windows 98、Windows Meの場合
「デバイスマネージャ」タブをクリックする
Windows 2000、Windows XPの場合
「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

次のデバイス名の下にドライバ名が表示されていることを確認します。

ポート(COM ／LPT)
・FOMA N900iG Command Port
・FOMA N900iG OBEX Port

モデム
・FOMA N900iG

ユニバーサルシリアルバス(USB)コントローラ、またはUSB(Universal Serial Bus)コントローラ
・FOMA N900iG
・FOMA N900iG Command※
・FOMA N900iG Modem※
・FOMA N900iG OBEX※
※:Windows 98／Meのみ

ドライバ名を確認したら、「FOMA PC設定ソフトについて」(P.467)へ進みます。

〈例:Windows XPの場合〉

おしらせ

● 上記の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合や、間違って違うOS用の通信設定ファイルをインストールした場合は、アンインストール(下記)の手順に従ってN900iG通信設定ファイルをいったん削除してから、再度インストールしてください。

通信設定ファイル(ドライバ)をアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合(Windowsをバージョンアップした場合など)は、次の手順で行ってください。ここではWindows XPを例にしてアンインストールを説明します。

● Windows 2000またはWindows XPでN900iG通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限(「Administrator権限」または「コンピュータの管理者権限」)を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブルで接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外す

2 Windowsを起動して、「FOMA N900iG用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 「FOMA N900iGご利用にあたって」画面が表示されたら、「終了」をクリックする

この画面は「FOMA N900iG用CD-ROM」をパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。その場合は、そのまま操作4に進みます。

4 「スタート」→「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選ぶ

5 CD-ROM内の「USB Driver」フォルダを開き、「UnInst」フォルダを開いて、「n900igun.exe」をダブルクリックして、アンインストールプログラムを実行する

お使いのパソコンの設定によって「n900igun」と表示されることがあります。

6 「FOMA N900iG Driverを削除します。」と表示されたら、「OK」をクリックしてアンインストールする

アンインストールを中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

7 再起動するかどうかを確認する画面が表示されたら、「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をPCに接続してパケット通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信の設定を行うこともできます。→P.478
- FOMA PC設定ソフトの最新版は、ドコモのホームページから入手できます。

かんたん設定
ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを自動で行います。

W-TCPの設定
「FOMA パケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要となります。

接続先(APN)の設定
パケット通信を行う際に必要な接続先(APN)の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN(Access Point Name)と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号(cid)を接続先電話番号欄に指定して接続します。moperaについてはAPN:mopera.ne.jpがcidの1番に登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。
cid [Context Identifier]…パケット通信の接続先(APN)に対応した番号のこと。
FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

おしらせ

- 本FOMA端末に同梱されていないW-TCP環境設定ソフト、FOMAデータ通信設定ソフトがすでにインストールされている場合は、本FOMA端末のFOMA PC設定ソフトのインストールを行う前にそれらのソフトをアンインストールしてください。
- FOMA N900iGは、64Kデータ通信には対応しておりません。接続方法として「64Kデータ通信」という項目が表示されますが、64Kデータ通信はご利用になれません。
- FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、「FOMA PC設定ソフト」は動作しません。

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

STEP 1　ソフトのインストール

FOMA PC設定ソフトをインストールします

・「旧W-TCP設定ソフト」および「旧APN設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う前にあらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
「旧W-TCP設定ソフト」および「旧APN設定ソフト」がインストールされている場合、「FOMA PC設定ソフト」のインストールはできません。

STEP 2　設定前の準備

通信設定前の準備をします

・各種設定の前にFOMA端末とパソコンが接続され、かつ正しく認識されていることを確認してください。
・「FOMA端末とパソコンの接続方法」については、P.462を参照してください。
・「FOMA端末をパソコンに正しく認識させる方法」については、「通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする」(P.463)を参照してください。
・FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行うことができません。その場合はP.463を参照して通信設定ファイルのインストールを行ってください。

STEP 3　各種設定作業

「かんたん設定」で通信の設定をします

・moperaを利用する場合は、P.471を参照してください。
・mopera以外のプロバイダを利用する場合は、P.472を参照してください。

STEP 4　接続

インターネットに接続します

・接続方法は、P.473を参照してください。

インストールをする前に

動作環境を確認してください。

●FOMA PC設定ソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項 目	必要環境
パソコン本体	・PC-AT互換機
OS	・Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP(各日本語版)
必要メモリ	・Windows 98、Windows Me: 32Mバイト以上※ ・Windows 2000:64Mバイト以上※ ・Windows XP:128Mバイト以上※
ハードディスク容量	・5Mバイト以上の空き容量※

※:必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

●Windows 2000またはWindows XPでFOMA PC設定ソフトのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限(「Administrator権限」または「コンピュータの管理者権限」)を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットし、「FOMA PC設定ソフトのインストール」をクリックする

「FOMA N900iGご利用にあたって」画面が自動的に表示されます。何らかの原因によりCD-ROMが自動再生されない場合は、「マイコンピュータ」からCD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選んで「start．exe」をダブルクリックします。次に「FOMA PC設定ソフトのインストール」をクリックします。

2 「次へ」をクリックする

セットアップをはじめる前に、現在使用中または常駐しているほかのプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックし、使用中のプログラムを終了させた後、インストールを再開してください。
「旧W-TCP設定ソフト」および「旧APN設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合は、P.470を参照してください。

3 「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「はい」をクリックする

「いいえ」をクリックすると、インストールは中止されます。

4 「次へ」をクリックする

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」常駐の可否を選択できます。「W-TCP通信」の最適化の設定･解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。とくに問題がない場合は「タスクトレイに常駐する」を☑にしたまま「次へ」をクリックして、インストールを続行してください。「タスクトレイに常駐する」のチェックを外して設定した場合でもFOMA PC設定ソフトの「メニュー」、「W-TCP設定をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定を変更できます。
（参考）:「タスクトレイに常駐する」設定が有効になっている場合は選択できません。

デスクトップ右下（通常）のタスクトレイに表示されます。

5 「インストール先の選択」画面が表示されたら、インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は「参照」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。
ハードディスクスペースの問題などで、違うドライブにインストールすることもできますが、通常はそのままお進みください。

6 「プログラム フォルダの選択」画面が表示されたら、プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は新規フォルダ名を入力し、「次へ」をクリックしてください。

7 「セットアップの完了」画面が表示されたら、「完了」をクリックする

セットアップを完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。このまま各種設定をはじめられます。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

<「旧W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合>

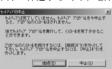
・「旧W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合、この画面が表示されます。
・「アプリケーション(プログラム)の追加と削除」から「旧W-TCP設定ソフト」を削除してください。

<「旧APN設定ソフト」がインストールされている場合>

・「旧APN設定ソフト」がインストールされている場合、この画面が表示されます。
・「はい」をクリックすると、「旧APN設定ソフト」のアンインストールが自動的に行われた後、FOMA PC設定ソフトがインストールされます。

<「FOMA PC設定ソフト」がすでにインストールされている場合>

・すでにFOMA PC設定ソフトがインストールされている場合、この画面が表示されます。
・「はい」をクリックすると、FOMA PC設定ソフトのアンインストールが自動的に行われた後、FOMA PC設定ソフトがインストールし直されます。

<インストール途中で「キャンセル」を押した場合>

・セットアップ途中で「キャンセル」や「いいえ」をクリックし、先へ進まない命令を出した場合、この画面が表示されます。インストールを継続する場合は「継続」を、意図的に中止する場合は、「中止」をクリックしてください。

通信設定

FOMA PC設定ソフトは、お客様の選択した「接続方法」および「接続先プロバイダ」の情報に従い、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

● 最大384kbpsのパケット通信の設定を行います。
パケット通信：受信最大384kbps、送信最大64kbps(一部機種を除く)のパケット通信が可能です。送受信したデータ量に応じて課金されますので、時間を気にせずデータ通信ができます。通信環境や輻輳状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。

● 「パケット通信」を利用して画像を含むホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

Windows XPの場合

「スタート」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を開く

FOMA PC設定ソフトを起動すると下図の操作画面が表示されます。

moperaを利用する場合→P.471
mopera以外のプロバイダを利用する場合→P.472

かんたん設定「moperaを利用した通信設定」

● ここではmoperaを利用する場合の通信設定方法を説明します。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選んで「次へ」をクリックする

3 「mopera接続」を選んで「次へ」をクリックする

mopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.472を参照してください。

4 「FOMA端末設定取得」画面が表示されたら、「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力し、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。
入力禁止文字 \/:*?!<>｜"(半角のみ)は使用できません。

6 ユーザー名・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

mopera接続の場合は、ユーザー名・パスワード入力が省略できます。

(Windows2000、Windows XP)

(Windows 98、Windows Me)

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をしてください。どちらのユーザーを選択してよいか分からない場合は、「すべてのユーザー」を選択してください(お買い上げのときの設定)。
ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

次ページへつづく

7 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。
設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

8 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。

9 「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。
設定した通信を実行します。→P.473

かんたん設定「その他のプロバイダを利用した通信設定」

● ここではmopera以外のプロバイダを利用する場合の通信設定方法を説明します。

1 P.471の操作1～2を行い、操作3で「その他」を選んで、操作4を行う

2 パケット通信設定を行う

端末設定取得が完了すると、「パケット通信設定」画面が表示されます。
「接続名」の空欄に任意の接続名を入力してください。
接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。
入力禁止文字 \ /:＊?!<>｜ ”(半角のみ)は使用できません。
「発信者番号通知を行う」をチェックすると、通信実行時に発信者番号を通知します。
「接続先(ＡＰＮ)の選択」欄には標準でｍｏｐｅｒａに接続するためのＡＰＮ：mopera.ne.jpが設定されています。

3 接続先(APN)設定を行う

番号(cid)の1番にはあらかじめ「mopera.ne.jp」が設定されています。
「追加」をクリックして表示される「接続先(APN)の追加」画面で、ご利用のプロバイダのFOMAパケット通信に対応した接続先(APN)を正しく入力し、「OK」をクリックしてください。「接続先(APN)設定」画面に戻ります。
接続先には、半角で英数字、ハイフン(-)、ピリオド(.)のみ入力できます。
cidは10番目まで登録できます。

4 高度な設定(TCP/IPの設定)をする

「パケット通信設定」において、「詳細情報の設定」をクリックすると、「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

5 接続先を選択し、「OK」をクリックする

操作2の画面に戻ります。
「接続先(APN)の選択」には、操作3で設定した接続先(APN)が表示されます。

6 「接続先(APN)の選択」で接続先(APN)を確認して「次へ」をクリックする

7 ユーザー名・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をしてください。

(Windows 2000、Windows XP)

(Windows 98、Windows Me)

ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

8 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されませんので、操作9に進みます。

9 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。

10 「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。
設定した通信を実行します。→下記

設定した通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明しています。

● ダイヤルアップアイコンからの発信は、アイコン作成時のFOMA端末のみ有効です。
したがって、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイルのインストールが必要となります。

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

デスクトップに接続アイコンがない場合は次の操作を行ってください。

Windows 98/Windows Meの場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」を開き、接続先を開く

Windows 2000の場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開き、接続先を開く

Windows XPの場合
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開き、接続先を開く

次ページへつづく

2 「ダイヤル」をクリックし、接続を実行する

moperaを選んだ場合は「ユーザー名」・「パスワード」とも空欄のまま、「ダイヤル」をクリックしてください。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力し、「ダイヤル」をクリックしてください。
「パスワードを保存する」をチェックすると、次回からは入力の必要がなくなります。

3 接続されたことを確認し、「OK」をクリックする

通常の状態で、ダイヤルアップを接続すると、上のような接続画面が表示されます。
以前に「接続」のメッセージを表示しない設定にしてあると、この画面は表示されません。

● パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

(通信中、データ送信中)
(通信中、データ受信中)
(通信中、データ送受信なし)
(発信中、または切断中)
(着信中、または切断中)

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合がありますので、次の操作で確実に切断してください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2 「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

こんなときには

● ネットワークに接続できない(ダイヤルアップ接続ができない)場合は、まず次の項目について確認してください。

「FOMA N900iG」がパソコン上で認識できない

・お使いのパソコンが動作環境(P.462、P.468)を満たしているかを確認してください。
・N900iG通信設定ファイルがインストールされているか確認してください。
・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。
・FOMA USB接続ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
・USBモード設定(P.393)が「通信モード」になっているか確認してください。

相手先に接続できない

・ID(ユーザー名)やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。
・FOMA USB接続ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。

- 接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。
- モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。
- 接続先のAPNが正しいかどうかを確認してください。
- 上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

FOMA PC設定ソフト アンインストール手順

FOMA PC設定ソフトのアンインストール手順を説明します。

1 アンインストールを実行する前に

「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

(1) タスクトレイに常駐している「W-TCP設定」を常駐させないようにする
デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」を右クリックして「常駐させない」をクリックする。

(2) 起動中のプログラムを終了させる
「FOMA PC設定ソフト」や「W-TCP設定」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、「アンインストール中断」画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

2 Windowsの「アプリケーションの追加と削除」を起動する

Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」アイコンをクリックする
Windows 98、Windows Meの場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

Windows XPの場合
「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」アイコンをクリックする

3 「FOMA PC設定ソフト」を選択して「変更と削除」をクリックする

「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して

ここをクリック

4 「ファイル削除の確認」画面が表示されたら、削除するプログラム名を確認し、「はい」をクリックする

アンインストールが開始されます。

5 プログラムの削除が完了したら、「OK」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

おしらせ

●「W-TCP最適化」の解除
「W-TCP最適化」がされている場合は下の画面が出ます。アンインストールする場合は「はい」をクリックしてください。

W-TCP最適化の解除は再起動後に行われます。

データ通信

W-TCPの設定

「W-TCP設定」はFOMAネットワークで「パケット通信」を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

<Windows XPの場合>

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1 プログラムを起動する

(1)「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合

プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

(2) タスクトレイから操作する場合

デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

2 次の操作を行う

(1) システム設定が最適化されていない場合

「最適化を行う」をクリックする

「W-TCP(ダイヤルアップ)設定」画面が表示されます。最適化するダイヤルアップを選んで「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

現在開いているすべてのプログラムを終了させ画面表示に従ってパソコンを再起動してください。システム設定は、再起動した後、最適化が有効になります。

(2) システム設定が最適化されている場合

「W-TCP(ダイヤルアップ)設定」画面が表示されます。

内容の変更等がある場合は設定を行ってください。

現在開いているすべてのプログラムを終了させ画面表示に従ってパソコンを再起動してください。システム設定は、再起動した後、最適化が有効になります。

(3) 最適化を解除する場合

「システム設定」をクリックする

「W-TCP設定」画面が表示されます。

「最適化を解除する」をクリックしてください。現在開いているすべてのプログラムを終了させ、画面表示に従ってパソコンを再起動した後、最適化解除が有効となります。

<Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合>

1 プログラムを起動する

(1)「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合

プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

データ通信

（2）タスクトレイから操作する場合
デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

左クリック

2 次の操作を行う

（1）最適化されていない場合

「W-TCP設定」画面で「最適化を行う」をクリックし、現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化設定を有効にするために、再起動を実行する

（2）最適化されている場合

「W-TCP設定」画面で「現在、最適化されています。」と表示されます。FOMA端末以外での通信等の理由から設定を解除する場合は、「最適化を解除する」をクリックしてください。現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化解除を有効にするために、再起動を実行してください。

接続先（APN）の設定

パケット通信の接続先（APN）を設定します。最大10件まで設定でき、cid（登録番号）の1～10に登録して管理します。

- APN設定（FOMAパケット通信の接続先）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度APN登録をする必要があります。
- PC上のAPNを継続利用する場合は、同一APN設定（cid設定）番号を端末に登録してください。
- 初期状態ではAPN1にmoperaが設定されています。

1 「FOMA PC設定ソフト」起動後、「接続先（APN）設定」をクリックする

2 FOMA端末設定取得画面で「OK」をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスして登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。
FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。

3 接続先（APN）の設定を行う

接続先（APN）の追加・編集・削除

- **接続先（APN）を追加する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、「追加」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を編集する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「編集」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を削除する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「削除」をクリックする
  番号（cid）の1に登録されている接続先（APN）は削除できません。

データ通信

次ページへつづく

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先(APN)設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先(APN)設定を保存する場合は、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、接続先(APN)設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み

保存された接続先(APN)設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりする場合には、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、パソコンに保存されている接続先(APN)設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先(APN)情報の書き込み

「接続先(APN)設定」画面で「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先(APN)設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能

「接続先(APN)設定」画面で追加・編集された接続先(APN)を選択して「ダイヤルアップ作成」をクリックします。
FOMA端末設定書き込み画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。接続先(APN)への書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
任意の接続名を入力して「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください。
moperaの場合は不要です。
ユーザー名とパスワードを入力して(Windows 2000、Windows XPの場合は使用可能ユーザーの選択をして)「OK」をクリックしてください。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録して、「OK」をクリックしてください。
設定入力後、「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックして上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。次のような流れになります。

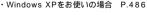
パケット通信の設定方法
取り付け方法→P.462
通信設定ファイル(ドライバ)をインストールします。→P.463

COMポートの確認
COMポートを確認します。→P.479

APNの設定
接続先（APN）の設定をします。→P.480
・接続先がmoperaの場合、この設定は不要です。

発信者番号の設定
発信者番号の通知／非通知を設定します。→P.482

その他の設定
その他の設定をします。（ATコマンド）→P.490

ダイヤルアップネットワークの設定
・設定内容の詳細についてはインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。
・Windows 98をお使いの場合→P.487
・Windows Meをお使いの場合→P.487
・Windows 2000をお使いの場合→P.483
・Windows XPをお使いの場合→P.486

接続する→P.488

ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、「パケット通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認(表示)をすることができます。

おしらせ

- 「発信者番号の通知/非通知」は必要に応じて設定してください。moperaをご利用になる場合は、「通知」に設定する必要があります。
- 「その他の設定」は必要に応じて設定してください。お買い上げのときのままでも利用できます。
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- FOMA端末で次の設定を行っている場合は、ダイヤルアップ接続はできません。
  - ・オールロック→P.156
  - ・セルフモード→P.157

COMポートを確認する

- 接続先(APN)の設定を行う場合、N900iG通信設定ファイルのインストール後に組み込まれた「FOMA N900iG」(モデム)に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先(APN)の設定(P.480)で使用します。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera」をご利用になる場合、接続先(APN)の設定(P.480)が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。「発信者番号の通知/非通知を設定する」(P.482)へ進んでください。

接続先について<APN/cid>

- パケット通信の接続先には、APN(P.480)を設定して接続します。
- APN設定とは、パソコンからパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1から10の登録番号(cid)を付与して登録し、その登録番号(cid)を接続先番号の一部として使用します。※1
- APNは「cid(1~10までの管理番号)」によって管理されます。接続する接続先番号を「*99***<cid番号>#」とするとcid番号の接続先に接続します。
- cid番号の1番には、moperaに接続するためのAPN:mopera.ne.jpがあらかじめ登録されているので、接続先番号を「*99***1#」とすると、簡単にmoperaを利用することができます。※2
- APN設定は、携帯電話に相手先情報(電話番号など)を登録するのと同じように接続先をFOMA端末に登録します。携帯電話の電話帳と比較すると以下のようになります。

登録するデータ

APN設定	携帯電話の電話帳
APN	電話番号
cid	電話帳のメモリ番号
—	相手の名前

登録のしかた(パソコンを使って登録する)

APN設定	携帯電話の電話帳
○(FOMA PC設定ソフトなどを使用)	○(専用ソフトが必要)

登録のしかた(携帯電話を使って登録する)

APN設定	携帯電話の電話帳
×(確認もできません)	○

使いかた

APN設定	携帯電話の電話帳
cidを指定して接続	電話帳から探してかける
—	FOMA端末のダイヤルボタンから直接電話番号を入力してかける

※1:「ダイヤルアップネットワーク」の電話番号欄にAPNを入力して接続するのではなく、FOMA端末側に接続先(インターネットサービスプロバイダ)についてあらかじめAPN設定を行います。

※2:ほかのインターネットサービスプロバイダなどに接続する場合は、APNを設定し、cid番号の2番以降に登録してください。APNの設定と登録方法については、P.480を参照してください。

■ Windows 2000でCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N900iG」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(次項)で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

■ Windows XPでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「プリンタとその他のハードウェア」から、「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N900iG」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(下記)で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

■ Windows 98／MeでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開き、「モデム」を開く

2 「FOMA N900iG」がセットアップされていることを確認して、「検出結果」タブをクリックしてCOMポートを確認する

確認したCOMポート番号は接続先(APN)の設定(下記)で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先(APN)を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp　cid2～10：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- パケット通信を行う場合の接続先(APN)を設定します。接続先(APN)は最大10件設定でき、登録番号cid1～cid10(P.479)を付けて管理します。
- cid1には、すでにドコモのインターネット接続サービス「mopera」に接続するためのAPN、「mopera.ne.jp」があらかじめ設定されていますので、cidを設定するときは、2～10の番号に設定することをおすすめします。

データ通信

● 登録したcid はダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
● mopera 以外の接続先(APN)については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
● P.482の操作6以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが見えないことがあります。このようなときは、
ATE1⏎
と入力すれば、以降に入力するATコマンドが見えるようになります。

<例:Windows XPの場合>

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルを接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

3 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてハイパーターミナルを起動する

Windows 98の場合
「ハイパーターミナル」を開いた後、「Hypertrm.exe」をダブルクリックする

Windows Me、Windows 2000の場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に開く

4 「名前」欄に任意の名前を入力して「OK」をクリックする

ここでは例として「sample」と入力します。

5 「接続方法」から「FOMA N900iG」を選択し、[OK]をクリックする

「FOMA N900iG」のCOMポートを選べる場合

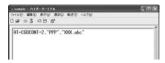
COMポートのプロパティが表示されるので「OK」をクリックする

ここでは例として「COM3」を選びます。実際に「接続方法」で選ぶ「FOMA N900iG」のCOMポート番号は、P.479の「COMポートを確認する」を参照して確認してください。

「FOMA N900iG」のCOMポートを選べない場合

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、次の操作を行ってください。

(1)「ファイル」→「プロパティ」を選ぶ
(2)「sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」で「FOMA N900iG」を選ぶ
(3)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す
(4)「OK」をクリックする

6 接続先（APN）を入力して↵を押す

AT+CGDCONT=<cid>,"PPP","APN"の形式で入力する
<cid>：2～10までのうち任意の番号を入力する

すでにcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。
"APN"：接続先（APN）を" "で囲んで入力します。
"PPP"：そのまま"PPP"と入力します。
「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合
AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"↵と入力します。

7 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューを開き、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてハイパーターミナルを終了する

『"sample"と名前付けされた接続を保存しますか？』と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合
・リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定のみ「mopera.ne.jp」（初期値）に戻り、cid=2～10の設定は未登録となります。
＜入力方法＞
AT＋CGDCONT=↵（すべてのcidをリセットする場合）
AT＋CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）

ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合
・現在の設定内容を表示させます。
＜入力方法＞
AT＋CGDCONT?↵

ATコマンドを入力しても画面に何も表示されない場合
＜入力方法＞
ATE1↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

お買い上げ時　通知

● パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知する、しないの設定）を行うことができます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。
● 発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定できます。
● 発信者番号の通知／非通知、または「設定なし」（初期値）に戻すには＊DGPIRコマンド（P.491）で設定します。

1 「ハイパーターミナル」を起動する

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力します。
発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合
AT＊DGPIR=1↵
と入力する
発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合
AT＊DGPIR=2↵
と入力する

3 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューの「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

データ通信

ダイヤルアップネットワークでの186（通知）／184（非通知）設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186／184を付けることができます。

＊ DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186／184の設定を行った場合、次のようになります。

＊99＊＊＊1#（cid＝1の場合）

＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
設定なし	通知
非通知	非通知
通知	通知

186＊99＊＊＊1#（cid＝1の場合）

＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの通知186が優先される）
非通知	
通知	

184＊99＊＊＊1#（cid＝1の場合）

＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの通知184が優先される）
非通知	
通知	

おしらせ

- DGPIRコマンドによる通知／非通知設定を「設定なし」に戻すには、「AT＊DGPIR=0」と入力してください。
- ドコモのインターネット接続サービスmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

ダイヤルアップの設定を行う

ここでは、<cid>＝1を使いドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合の接続先の設定を説明しています。

- mopera以外のプロバイダに接続する場合の設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。

Windows 2000でダイヤルアップの設定を行う

1 **「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順に開く**

2 **ネットワークとダイヤルアップ接続内の「新しい接続の作成」をダブルクリックする**

3 **「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して「OK」をクリックする**

「所在地情報」画面は操作2で「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。
2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されるので、操作5に進んでください。

4 **「電話とモデムのオプション」画面が表示されてから、「OK」をクリックする**

5 **「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されてから、「次へ」をクリックする**

6 **「ネットワーク接続の種類」画面が表示されたら、「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選んで、「次へ」をクリックする**

次ページへつづく

7 **「インターネット接続ウィザードの開始」画面が表示されたら、「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選んで、「次へ」をクリックする**

8 **「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選んで、「次へ」をクリックする**

9 **「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が、「FOMA N900iG」になっていることを確認して、「次へ」をクリックする**

「FOMA N900iG」になっていない場合は、「FOMA N900iG」を選ぶ

「FOMA N900iG」以外のモデムがインストールされていない場合は、この画面は表示されません。

10 **「電話番号」に接続先の番号を入力して、「詳細設定」をクリックする**

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外してください。

11 **「接続」タブの中を画面例のように設定して、「アドレス」タブをクリックする**

mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「接続の種類」、「ログオンの手続き」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

12 **「アドレス」タブのIPアドレスおよびDNS(ドメインネームサービス)アドレスを画面例のように設定して、「OK」をクリックする**

mopera以外のプロバイダに接続する場合、「IPアドレス」、「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

13 **操作10の画面に戻るので、「次へ」をクリックする**

データ通信

14 「ユーザー名」、「パスワード」に何も入力せずに、「次へ」をクリックする

ユーザー名、パスワードを空白のままにしておくかという確認画面が続けて表示されるので、画面ごとに「はい」をクリックします。
moperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。
mopera以外のプロバイダに接続する場合、上画面のように「ユーザー名」、「パスワード」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

15 「接続名」に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

16 「インターネット メール アカウントの設定」画面が表示されたら、「いいえ」を選んで、「次へ」をクリックする

17 「今すぐインターネットに接続するにはここを選び[完了]をクリックしてください」のチェックを外して、「完了」をクリックする

18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックする

19 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」で「モデムーFOMA N900iG」にチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付ける

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

20 「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択する

コンポーネントは「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のみをチェックします。

21 「設定」をクリックする

22 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

データ通信

次ページへつづく

23 操作20の画面に戻るので「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「新しい接続ウィザード」の順に開く

2 「新しい接続ウィザード」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「ネットワーク接続の種類」画面が表示されたら、「インターネットに接続する」を選んで、「次へ」をクリックする

4 「準備」画面が表示されたら、「接続を手動でセットアップする」を選んで、「次へ」をクリックする

5 「インターネット接続」画面が表示されたら、「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選んで、「次へ」をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデム－FOMA N900iG（COMx）」を選んで「次へ」をクリックする

「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
（COMx）は、「COMポートを確認する」（P.479）で表示されるCOMポートの番号です。

7 「ISP名」に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

8 「電話番号」に接続先の番号を入力して、「次へ」をクリックする

電話番号はmoperaへ接続する場合の例です。実際にはお客様がお使いになる接続先番号を入力します。

9 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」には何も入力せずに、「次へ」をクリックする

moperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。
mopera以外のプロバイダに接続する場合は、上画面のように「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

10 「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されたら、「完了」をクリックする

11 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

12 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」で「モデムーFOMA N900iG」にチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付ける

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選ぶ

「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選びます。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

15 「設定」をクリックする

16 すべてのチェックを外して「OK」をクリックする

17 操作14の画面に戻るので「OK」をクリックする

Windows 98/Windows Meでダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」の順に開く

2 ダイヤルアップネットワーク内の「新しい接続」をダブルクリックする

「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

次ページへつづく

3 画面の指示に従ってダイヤルアップの設定を行う

Windows 98の場合

「サーバーの種類」タブをクリックして各種設定を行う
「ダイヤルアップサーバーの種類」には「PPP：インターネット、Windows NT Server、Windows 98」を選択してください。
「使用できるネットワークプロトコル」は「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のみをチェックします。

Windows Meの場合

「ダイヤルアップサーバーの種類」は、「PPP：インターネット、Windows 2000/NT、 Windows Me」を選択する
「使用できるネットワークプロトコル」は「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のみをチェックします。

ダイヤルアップ接続を実行する

ここでは、設定したダイヤルアップを使って、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明しています。

● Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合は次の操作を参考に接続を実行してください。

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

2 接続先を開く

P.486の操作7で設定したISP名のダイヤルアップの接続先アイコンを選んで「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選ぶか、接続先のアイコンをダブルクリックする

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

上の画面はmoperaに接続する場合の例です。moperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。

<接続中の状態を示す画面が表示されます>

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。
接続が完了すると、タスクバーのインジケータから「(接続先名)に接続しました」というポップアップのメッセージが表示されます。

<接続の完了>

接続が完了すると、デスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、上のようなメッセージが数秒間表示されます。
ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用することができます。
この画面が表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。
通信状態については、P.474を参照してください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。次の操作で確実に切断してください。

● Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合は次の操作を参考に切断してください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2 「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンド一覧

FOMA端末で使用できるATコマンド

●ATコマンド一覧では、次の略を使用しています。
[&F] ：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[&W] ：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。

モデムポートコマンド一覧

FOMA N900iG(モデム)で使用できるコマンドです。

AT コマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付与することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	―	AT OK
AT%V	FOMA 端末のバージョンを表示します。	―	AT%V Ver1.00 OK
AT&C*n* [&F] [&W]	DTE への回路CD 信号の動作条件を選びます。	*n*=0 ：CD は常にON *n*=1 ：CD は相手モデムのキャリアに応じて変化する(初期値)	AT&C1 OK
AT&D*n* [&F] [&W]	DTE から受け取る回路ER 信号がON ／OFF 遷移したときの動作を選びます。	*n*=0 ：ERの状態を無視する(常にONとみなす) *n*=1 ：ERがONからOFF に変わると、オンラインコマンド状態になる *n*=2 ：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる(初期値)	AT&D1 OK
AT&F*n*	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	*n*=0のみ指定可能(省略可)	オンラインコマンドモード時 AT&F NO CARRIER (オフラインモードへ移行) オフライン時 AT&F OK AT&F? ERROR AT&F=? ERROR
AT&S*n* [&F] [&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	*n*=0 ：DR は常にON (初期値) *n*=1 ：DR は回線接続時(通信呼確立時)にON	AT&S0 OK
AT&W*n*	現在の設定値を記憶します。	*n*=0のみ指定可能(省略可)	AT&W0 OK AT&W OK AT&W? ERROR AT&W=? ERROR

AT コマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT＊DGANSM=*n*	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	*n*=0 ：着信拒否設定（AT＊DGARL）および着信許可設定（AT＊DGAPL）を無効にする（初期値） *n*=1 ：着信拒否設定を有効にする *n*=2 ：着信許可設定を有効にする AT＊DGANSM? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。APNの設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*=0 ：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加する *n*=1 ：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGAPL? ：着信許可リストを表示する	AT＊DGAPL=0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL=1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。APN設定は、+CGDCONT で定義された<cid>パラメータを用います。	*n*=0 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加する *n*=1 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGARL? ：着信拒否リストを表示する	AT＊DGARL=0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL=1 OK AT＊DGARL? OK
AT＊DGPIR=*n*	本コマンドの設定は、パケット通信の発信時、着信時の通知・非通知設定が有効となります。ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。（P.482）	*n*=0 ：APNをそのまま使用する（初期値） *n*=1 ：APNに" 184 "を付加して使用する（常に非通知） *n*=2 ：APNに" 186 "を付加して使用する（常に通知） AT＊DGPIR? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	ー	（オンラインデータモード） +++（表示は見えない） OK
AT+CEER	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.500）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.497	P.497
AT+CGEQMIN	PPP パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=[パラメータ]（P.497） AT+CGEQMIN=? ：設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQMIN? ：現在の設定値を表示する	P.498
AT+CGEQREQ	PPP パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ ＝[パラメータ]（P.498） AT+CGEQREQ=? ：設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQREQ? ：現在の設定値を表示する	P.498
AT+CGMR	FOMA 端末のバージョンを表示します。	ー	AT+CGMR 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CGREG=*n* [&F] [&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。 応答される通知により圏内／圏外を表示します。	*n*=0 ：通知なし（初期値） *n*=1 ：通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CGREG? ：現在の設定値を表示する +CGREG：<*n*>,<stat> *n* ：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内（ローミング中）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG:1

次ページへつづく

AT コマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CGSN	FOMA 端末の製造番号を表示します。	―	AT+CGSN 12345XXXXXXXXXX OK
AT+CMEE=*n* [&F] [&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	*n*=0 ：通常のERROR リザルトを用いる(初期値) *n*=1 ：+CME ERROR:<err> リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる *n*=2 ：+CME ERROR:<err> リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE? ：現在の設定値を表示する 右記はFOMA 端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1 ：no connection to phone 10 ：SIM not inserted 15 ：SIM wrong 16 ：incorrect password 100 ：unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR ：10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR ：SIM not inserted
AT+CNUM	FOMA 端末の自局電話番号を表示します。	number：電話番号 type：129 もしくは145 129：「+」を含まない 145：「+」を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+8190XXXXXXXX",145 OK
AT+CR=*n* [&F] [&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	*n*=0 ：表示しない(初期値) *n*=1 ：表示する <serv>： パケット通信を意味する“GPRS”のみ表示する (回線種別により“AV64K”を表示) AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR=1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR ：GPRS CONNECT
AT+CRC=*n* [&F] [&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	*n*=0 ：+CRING を使用しない(初期値) *n*=1 ：+CRING.<type>を使用する +CRING の書式は次のとおり +CRING：AV64K +CRING：GPRS "PPP",,,"<APN>" AT+CRC? ：現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC ：0 OK (AV64K着信時) +CRING:AV64K (PPPパケット着信時) +CRING:GPRS "PPP",,,"<APN>"
AT+CREG=*n* [&F] [&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 ・ OS によっては設定できない場合があります。	*n*=0 ：通知なし(初期値) *n*=1 ：通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CREG? ：現在の設定値を表示する +CREG ：<*n*>,<stat> *n* ：設定値 stat ： 0 ： 音声圏外 1 ： 音声圏内 4 ： 不明 5 ：音声圏内 (ローミング中)	AT+CREG=1 OK (通知ありに設定) AT+CREG? +CREG ：1,0 OK (圏外) (圏外から圏内に移動した場合) +CREG ：1
AT+GMI	メーカー名(NEC)を表示します。	―	AT+GMI NEC OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名(FOMA N900iG)を表示します。	―	AT+GMM FOMA N900iG OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	―	AT+GMR Ver1.00 OK

AT コマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+IFC=*n,m* [&F] [&W]	フロー制御方式を選びます。	*n* ：DCE by DTE *m*：DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON ／XOFF フロー制御 2：RS ／CS （RTS/CTS ）フロー制御 初期値はn,m=2.2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC:2,2 OK AT+IFC=? +IFC:(0,1,2),(0,1,2) OK
AT+WS46 [&F] [&W]	FOMA端末のネットワーク切替設定を応答します。	*n*=12 ：GSM *n*=22 ：3G *n*=25 ：自動切り替え	AT+WS46? 25 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードにしたがって着信処理を行います。	―	RING ATA CONNECT
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	―	A/ OK
ATD	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD＊99＊＊＊<cid># ：パケット通信 <cid>1～10：＋CGDCONT設定したAPNを表す AT+CBST=134,1,0 ATD<電話番号> ：AV64K通信	<パケット通信> ATD＊99＊＊＊1# CONNECT <AV64K通信> AT+CBST=134,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT
ATE*n* [&F] [&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	*n*=0 ：エコーバックなし *n*=1 ：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH*n*	FOMA端末に対してオンフック動作を行います。	*n*=0 ：回線を切断する（省略可）	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER
ATI*n*	認識コードを表示します。	*n*=0：「NTT DoCoMo 」を表示する *n*=1：製品名を表示する（+GMMと同じ） *n*=2：FOMA端末のバージョンを表示する（+GMR と同じ）	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA N900iG OK
ATO*n*	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	*n*=0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT
ATQ*n* [&F] [&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	*n*=0：リザルトコードを表示する（初期値） *n*=1：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません）
ATS0=*n* [&F] [&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	*n*=0：自動受信しない（初期値） *n*=1- 255：指定したリング回数で自動受信する ATS0?：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=*n* [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	*n*=43 ：初期値 *n*=127：エスケープ処理は無効 ATS2?：現在の設定値を表示する	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=*n* [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	*n*=13 ：初期値（n=13 のみ指定可） ATS3?：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK

次ページへつづく

AT コマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS4=*n* [&F]	ラインフィード(LF)キャラクタの設定を行います。	*n*=10 ：初期値(n=10 のみ指定可) ATS4? ：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=*n* [&F]	バックスペース(BS)キャラクタの設定を行います。	*n*=8 ：初期値(n=8 のみ指定可) ATS5? ：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=*n* [&F]	ダイヤルするまでのポーズ時間(秒)を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作は致しません。	ATS6=5 OK ATS6? 005 OK ATS6=? ERROR
ATS7=*n* [&F] [&W]	発信時、設定時間以内に接続できなければ、回線を切断します。	*n*= 1 ～120 (初期値は60)(単位：秒) 121 ～255 の指定は120 とみなす ATS7?：現在の設定値を表示する	ATS7=60 OK ATS7? 060 OK
ATS8=*n* [&F]	カンマダイヤルによるポーズ時間(秒)を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作は致しません。	ATS8=3 OK ATS8? 003 OK ATS8=? ERROR
ATS10=*n* [&F][&W]	自動切断遅延時間設定(1/10 秒)	本コマンドは設定できますが、動作は致しません。	ATS10=1 OK ATS10? 001 OK ATS10=? ERROR
ATV*n* [&F] [&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	*n*=0 ：リザルトコードを数値で返送する *n*=1 ：リザルトコードを文字で返送する(初期値)	ATV1 OK
ATX*n* [&F] [&W]	接続時のCONNECT 表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	*n*=0 ：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし *n*=1 ：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=2 ：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=3 ：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり *n*=4 ：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり(初期値)	ATX1 OK
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	−	(オンラインコマンドモード時) ATZ NO CARRIER (オフラインコマンドモード時) ATZ OK

AT コマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT\S	現在設定されている各コマンド、S レジスタの内容を表示します。	ー	AT\S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 \ V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S103=001 S104=001 OK
AT\V*n* [&F] [&W]	接続時の応答コード仕様を選びます。	*n*=0：拡張リザルトコードを使用しない(初期値) *n*=1：拡張リザルトコードを使用する	AT\V0 OK
AT+CPIN	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式 ： AT+CPIN="<PIN>","<newpin>" 本コマンドはAT+CPIN?を入力して応答されるリザルトコードの状態によってFOMA端末のPIN1コードおよびPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。画面にてPINコード入力やPINロック解除コードを要求されている場合でもAT+CPIN?入力時のリザルトコードの状態によっては本コマンドを利用してPIN入力ができない場合がございます。 PINコード変更を目的として本コマンドを使用しないでください。 <pin>と<newpin>は""で囲んでください。 AT+CPIN?のリザルト +CPIN:READY：PIN1コード、PIN1ロック解除コードが入力できない状態 +CPIN:SIM PIN：PIN1入力待ち状態 +CPIN:SIM PUK：PIN1ロック状態(PIN1ロック解除コード入力可) 右記はPINコード「1234」、「12345678」の入力例です。	(+CPIN?入力時に、+CPIN:READYが応答される状態) AT+CPIN="1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN:READYが応答される状態) AT+CPIN="12345678","1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN:SIM PINが応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN:SIM PUKが応答される状態：PINロック状態) AT+CPIN="12345678","1234" OK AT+CPIN? +CPIN:READY OK AT+CPIN=? OK
AT+CLIP=*n*	AV64K通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。	*n*=0 ：リザルトを出さない(初期値) *n*=1 ：リザルトを出す リザルト：+CLIP(*n*、*m*) *m*=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 *m*=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 *m*=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP=? +CLIP:(0.1) OK (+CLIP=1設定時に着信) RING +CLIP: "090XXXXXXXX",177, "123",136
AT+CLIR=*n*	AV64K通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	*n*=0 ：CLIRサービスの契約に従い、発番通知される(されない) *n*=1 ：通話相手に番号発信しない *n*=2 ：通話相手に番号発信する(初期値) リザルト：+CLIR(*n*、*m*) *m*=0：CLIRは起動していない(常時通知) *m*=1：CLIRは起動している(常時非通知) *m*=2：不明 *m*=3：CLIR テンポラリーモード(非通知デフォルト) *m*=4：CLIR テンポラリーモード(通知デフォルト) ※#31#、＊31#が付加されていない場合はCLIR設定が優先されます。	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK

次ページへつづく

AT コマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS103=*n*	着サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0 ：＊ *n*=1 ：/（初期値） *n*=2 ：￥（￥マークあるいはバックスラッシュ）	ATS103=0 OK ATS103? 000 OK ATS103=? ERROR
ATS104=*n*	発サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0 ：# *n*=1 ：%（初期値） *n*=2 ：&	ATS104=0 OK ATS104? 000 OK ATS104=? ERROR
AT＊DANTE	移動機のアンテナ本数を表示します。	＝0：移動機のアンテナが圏外 ＝1：移動機のアンテナが1本 ＝2：移動機のアンテナが2本 ＝3：移動機のアンテナが3本	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE＝? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DRPW	移動機の受信電力指標値を表示します。	－	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK （3Gの場合） AT＊DRPW=? ＊DRPW:(0-75) OK （GSMの場合） AT＊DRPW=? ＊DRPW:(0-63) OK

■ AT コマンドの補足説明

■ 動作しないコマンド

次のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。

・ATT（トーン設定）

・ATP（パルス設定）

■ コマンド名：+CGDCONT

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は次のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※ ： 1 ～10
<APN>※ ： 任意

※ ： <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10 が登録できます。<cid>=1 にはmopera.ne.jp が初期値として登録されていますが、書き換えは可能です。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT= ： すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGDCONT=<cid> ： 指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=? ： 設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT? ： 現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

abc というAPN名を登録する場合のコマンド（cid が3の場合）
AT+CGDCONT=3,"PPP","abc"
OK

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、次のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※ ： 1 ～10
<Maximum bitrate UL>※ ： なし（初期値）または64
<Maximum bitrate DL>※ ： なし（初期値）または384

※ ：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps] の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

次ページへつづく

・ パラメータを省略した場合の動作
+CGEQMIN= ： すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid> ： 指定された<cid>を初期値に設定します。

・ コマンド実行例
次の4パターンのみ設定できます。(1)の設定が各cid に初期値として設定されています。
(1) 上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド(cid が2の場合)
AT+CGEQMIN=2
OK
(2) 上り64kbps/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド(cid が3の場合)
AT+CGEQMIN=3,,64,384
OK
(3) 上り64kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド(cid が4の場合)
AT+CGEQMIN=4,,64
OK
(4) 上りすべての速度/下り384kbps の速度のみ許容する場合のコマンド(cid が5の場合)
AT+CGEQMIN=5,,,384
OK

■ コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

・ 概要
PPP パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS (サービス品質)を設定します。
設定は次のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・ 書式
+CGEQREQ=[<cid>]

・ パラメータ説明
<cid>※ ：1 ～10

※ ： <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先(APN)を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。

・ パラメータを省略した場合の動作
+CGEQREQ= ： すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid> ： 指定された<cid>を初期値に設定します。

・ コマンド実行例
次の1パターンのみ設定できます。各cidに初期値として設定されています。
上り64kbps/下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド(cidが3の場合)
AT+CGEQREQ=3
OK

モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT＋CGDCONTコマンドによる接続先(APN)設定(P.497)、AT＋CGEQMIN／AT＋CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL／AT＊DGARL／AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定およびAT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知／非通知の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。なお、[&W]がついているコマンドについては、設定後に
AT&W ↵
と入力することにより保存できます。このとき、[&W]がついているほかの設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF／ON後であっても、
ATZ ↵
と入力することにより、設定値を呼び戻すことができます。

■ データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
5	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
6	BUSY	話中音検出中です。
7	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1,200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2,400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4,800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7,200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9,600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14,400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19,200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38,400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57,600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115,200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230,400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460,800bpsで接続しました。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
3	AV64K	AV(テレビ電話)[64K] で接続
5	PACKET	PACKETで接続

おしらせ

- ATV*n*コマンド(P.494)が*n*=1に設定されている場合には文字表示形式(初期値)、*n*=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」(数字表示：100)が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

リザルトコード表示例

■ ATX0が設定されている場合

AT\Vnコマンド（P.495）の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例　：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　CONNECT
数字表示例　：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　1

■ ATX1が設定されている場合

- ATX1、AT\V0が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。
  文字表示例　：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例　：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　　1　21
- ATX1、AT\V1が設定されている場合※
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  CONNECT <FOMA端末－PC間の速度> PACKET <接続先APN> / <上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度> / <下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>
  次の例は、mopera.ne.jpに、送信最大64kbps、受信最大384kbpsで接続したことを表します。
  文字表示例　：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp /64/384
  数字表示例　：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　　1　21　5
  ※：ATX1、AT\V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT\V0だけでのご利用をおすすめします。

切断理由一覧

リクエストの内容に関する切断理由は、次のとおりです。

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

■ AV（テレビ電話）通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出中のため通信ができません。
21	相手側が通信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

●文字入力

文字入力について

FOMA端末ではダイヤルボタンを使って文字を入力できます。文字の入力は「メール」、「電話帳登録」、「テキストメモ」などの機能を利用するときに必要となりますので、あらかじめ入力の方法を覚えておいてください。
文字入力については次のような構成で説明しています。

機　能	内　容	参照ページ
文字入力(編集)画面について	文字入力(編集)画面の文字入力エリアに表示されるマークやガイダンスエリアに表示されるアイコンについて説明しています。	P.503
かな方式による文字入力	「かな方式(モード1)」とはボタンを何回か押すことによって、そのボタンに割り当てられている文字を入力する方式です。ここでは文字や記号、定型文、スペース、改行などの入力方法や全角／半角、大文字／小文字、挿入／上書きモードの切り替え方法、ワード予測機能を利用した入力方法を説明しています。	P.504
定型文の作成	定型文の作成方法について説明しています。あらかじめ定型文を登録しておくと、文字の入力が便利になります。	P.514
文字のコピー／切り取り／貼り付け	文字入力画面で指定した範囲をコピーまたは切り取って、別の場所に貼り付ける方法を説明しています。	P.516
区点コードによる文字入力	区点コードとは、それぞれの文字に割り当てられている4桁の数字です。この数字を入力することで、対応する文字が入力されます。ここでは、区点コードの基本的な入力方法について説明しています。	P.517
よく使う単語の登録	単語をユーザ辞書に登録する方法について説明しています。 よく使う単語をお好きな読みで登録しておくと、文字の入力が便利になります。	P.518
学習履歴の初期化	かな漢字変換と「T9方式(モード3)」の学習履歴、およびワード予測機能の予測候補と履歴候補を初期状態に戻す方法を説明しています。	P.519
ダウンロード辞書	iモードのサイトなどからダウンロードした日本語変換用の辞書を利用する方法について説明しています。あらかじめ辞書を登録しておくと、文字の入力が便利になります。	P.519
入力方式の設定	文字入力方式の切り替え方法、ワード予測機能およびガイダンス表示の設定について説明しています。お買い上げのときはワード予測機能、ガイダンス表示のどちらの機能も使用できるように設定されています。	P.520
T9方式による文字入力	「T9方式(モード3)」とは入力したい文字が割り当てられている行のボタンを1回押すと読み候補が表示され、その中の候補を選んで文字を入力する方式です。ここでは「T9方式(モード3)」の基本的な入力方法、読みの編集方法について説明しています。	P.523
2タッチ方式による文字入力	「2タッチ方式(モード2)」とはボタンで2桁の番号を入力することによって、その2桁の番号に割り当てられている文字を入力する方式です。ここでは「2タッチ方式(モード2)」の基本的な入力方法について説明しています。	P.527
画面の切り替え	各機能の操作画面と文字入力(編集)画面の2つの画面が表示されているときの画面の切り替え方法について説明しています。2つの画面が表示されるのは、受信メールからの参照返信を実行した場合、受信メール、iモード画面からスケジュールの参照登録を実行した場合のみです。	P.528

文字入力（編集）画面について

文字入力（編集）画面は文字入力エリア、操作ガイダンスエリア、情報表示エリアで構成されています。文字入力エリアには入力中の文字やカーソル、エンドマークなどが表示されます。操作ガイダンスエリアには漢字変換や検索、範囲指定など、そのときに操作できる内容が表示されます。情報表示エリアには文字入力方式や入力モード、入力可能な残り文字数などの情報が表示されます。

読み入力
にえい
小／大　ホーム 逆順
挿　漢全　残 14
確定　機能

文字入力エリア

■：カーソルです。この位置に文字が入力されます。
◀：エンドマークです。この位置まで文字を入力できます。
　エンドマークの位置は機能によって異なります。

操作ガイダンスエリア

▲▼ 変換：を押して文字を変換できるときに表示します。→P.505
▲▼ 全件／▲▼ 検索：電話帳の検索画面で、を押して検索できるときに表示します。→P.114
固定入力／固定終了：T9方式（モード3）で固定入力モードが利用できるときに表示します。→P.526
◀▶▲▼ 領域　：文字をコピー（切り取り）するときに表示します。→P.516
小／大：を押して入力した文字が大文字⇔小文字に切り替えられるときに表示します。→P.505
長押 改行：を1秒以上押して改行マークが入力できるときに表示します。→P.508
ホーム逆順：文字入力方式が「かな方式（モード 1）」で、[ホーム]を押して同じボタンに割り当てられた 1 つ前の読みに戻せるときに表示します。

情報表示エリア

T9／2：文字入力方式が「T9方式（モード3）」／「2タッチ方式（モード2）」のときに表示します。「かな方式（モード 1）」のときは何も表示されません。
固：T9方式（モード3）で「固定入力モード」にしたときに表示します。→P.526
挿／上：挿入モードのときに「挿」、上書きモードのときに「上」を表示します。→P.505
漢／カナ／英／数：文字入力方式が「かな方式（モード1）」、「T9方式（モード3）」のときに現在の入力モードを表示します。
区：「区点入力モード」のときに表示します。→P.517
全／半：全角文字を入力しているときに「全」、半角文字を入力しているときに「半」を表示します。→P.504
小：小文字を入力しているときに表示します。→P.505
残：入力可能な残り文字数をバイト数で表示します。文字数は半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。したがって、全角文字は半角文字2文字分となります。
入：FOMAカードへの電話帳登録およびSMSの本文入力時に、入力済みの文字数を文字数単位で表示します。全角文字、半角文字は区別されません。

おしらせ

● 操作ガイダンスを表示しないように設定することもできます。→P.522

かな方式で文字を入力する

「かな方式(モード1)」の基本的な入力方法について説明します。

各モードを切り替える

文字入力画面では、入力モード、全角／半角、大文字／小文字、挿入モード／上書きモードを切り替えることができます。状況に応じて各モードを切り替えてください。

入力モードを切り替える

「かな方式(モード1)」の入力モードには「漢字ひらがな入力モード」、「カナ入力モード」、「英字入力モード」、「数字入力モード」があります。[文字]を押すたびに入力モードが順番に切り替わります。

漢字ひらがな入力モード

漢字、ひらがな、カタカナ、記号、数字を入力します。文字はすべて全角になります。情報表示エリアには「漢」が表示されます。

カナ入力モード

半角または全角のカタカナ、記号を入力します。情報表示エリアには「カナ」が表示されます。

英字入力モード

半角または全角の英字、記号を入力します。情報表示エリアには「英」が表示されます。

数字入力モード

半角または全角の数字、記号を入力します。情報表示エリアには「数」が表示されます。

全角／半角を切り替える

全角／半角を切り替えるには、機能メニューから「全角切替」または「半角切替」を選びます。「全角」に切り替えると情報表示エリアに「全」が、「半角」に切り替えると「半」が表示されます。
「漢字ひらがな入力モード」の場合は全角／半角を切り替えられません。

全角モードのとき

半角モードのとき

小文字／大文字を切り替える

小文字／大文字を切り替えるには、2つの方法があります。

機能メニューから選ぶ

機能メニューから「小文字切替」または「大文字切替」を選びます。「小文字」に切り替えると情報表示エリアに「小」が表示されます。「大文字」の場合は何も表示されません。

小文字入力のとき

大文字入力のとき

を押す

小文字／大文字を切り替えたい文字にカーソルを合わせてを押すたびに、小文字と大文字が切り替わります。操作ガイダンスに「小／大」が表示されている場合のみ操作できます。

挿入モード／上書きモードを切り替える

「挿入モード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字と文字の間に新たに入力した文字を挿入します。「上書きモード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字に新たに入力した文字を上書きします。
挿入モード／上書きモードを切り替えるには、機能メニューから「挿入モード」または「上書きモード」を選びます。「挿入モード」に切り替えると情報表示エリアに「挿」が、「上書きモード」に切り替えると「上」が表示されます。
文字入力（編集）画面を表示したときは常に挿入モードになります。

挿入モードのとき

上書きモードのとき

おしらせ

- 「挿入モード」ですでに入力可能な文字数を入力している場合は、それ以上文字を入力できません。
- 「上書きモード」ですでに入力可能な文字数を入力している場合、半角文字に全角文字を上書き入力することはできません。

文字を入力する

「かな方式（モード1）」で、ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字を入力する方法について説明します。

- ダイヤルボタンの文字割当て一覧→P.558
- 複雑な漢字は一部を変形もしくは省略しています。また、英数記号の一部も変形しています。

ひらがな、漢字を入力する

ひらがなを入力した後、連文節変換で漢字に変換します。入力したひらがなを漢字に変換せずにそのまま確定することもできます。

・漢字に変換できる読み（ひらがな）は20文字まで、一括変換できるのは6文節までです。
・入力できる漢字は、JIS第一水準漢字、第二水準漢字の6,355文字です。

次ページへつづく

＜例：「戸田俊司」と入力する場合＞

1 [文字]を押して「漢字ひらがな入力モード」にする

入力モードの切り替えかた→P.504

2 ひらがなを入力する

4を5回、○を1回、4を1回、#を1回、3を2回、
と　1文字移動　た　゛（濁点）　し

8を2回、を1回、0を3回、3を2回、#を1回
ゆ　小文字変換　ん　し　゛（濁点）

ボタンを押し間違えた場合
CLRを押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合
[ホーム]を押す
同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合
○を押すかそのボタンを1秒以上押す
カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

ひらがなで確定する場合
●[確定]を押す

3 ○を押して漢字に変換する

最初の文節の漢字候補が反転表示され、残りの文節の漢字候補はアンダーライン(＿)で表示されます。

漢字候補が目的の漢字の場合
●[確定]を押す
漢字が確定され、次の文節が反転表示されます。

変換範囲を変更する場合
○または○を押して変換範囲を変更して○を押す
変換した範囲に応じて漢字候補も変更されます。その範囲で変換できる漢字がない場合はひらがなが表示されます。

4 ○または○を押して変換候補を表示する

反転表示している文節の変換候補が一覧で表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。

変換範囲の読みがすべて「あ」段の文字の場合
数字も変換候補として表示されます。

5 入力したい漢字を選ぶ

漢字が確定されます。

6 ●[確定]を押す

入力した文字が確定され、各機能の編集画面に戻ります。

おしらせ

- 希望の漢字に変換されない場合は、読みを音読みや訓読みに変更すると表示される場合があります。
- 一度に変換できない2文字以上の漢字は、1文字ずつ変換してください。
- 変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。→P.517

カタカナを入力する

＜例：「ﾘｰﾀﾞｰ」と入力する場合＞

1 [文字]を押して「カナ入力モード」にする

入力モードの切り替えかた→P.504

2 カタカナを入力する

入力した文字がそのまま確定されます。

9を2回、0を4回、4を1回、#を1回、0を4回
（リ、ー、タ、゛（濁点）、ー）

ボタンを押し間違えた場合

CLRを押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合

[ホーム]を押す
同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

を押すかそのボタンを1秒以上押す
カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

英字を入力する

＜例：「DoCoMo」と入力する場合＞

1 [文字]を押して「英字入力モード」にする

入力モードの切り替えかた→P.504

2 英字を入力する

入力した文字がそのまま確定されます。

3を1回、6を3回、を1回、2を3回、6を3回、
（D、O、小文字変換、C、O）

を1回、6を1回、を1回、6を3回、を1回
（小文字変換、M、1文字移動、O、小文字変換）

ボタンを押し間違えた場合

CLRを押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合

[ホーム]を押す
同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

を押すかそのボタンを1秒以上押す
カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

■ 数字を入力する

<例：「11:30」と入力する場合>

1 [文字]を押して「数字入力モード」にする

入力モードの切り替えかた→P.504

2 数字を入力する

入力した文字がそのまま確定されます。

1を2回、#を12回、3を1回、0を1回
（11　:　3　0）

ボタンを押し間違えた場合

CLRを押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

続けて同じボタンに割り当てられている数字を入力する場合

そのまま同じボタンを押す

■ スペース(空白)を挿入する

スペース(空白)を挿入するには、機能メニューから「スペース入力」を選びます。全角入力の場合は全角スペース、半角入力の場合は半角スペースが挿入されます。
なお、全角スペースは全角1文字分、半角スペースは半角1文字分として、文字数にカウントされます。

■ 文章を改行する

改行マーク「↲」を入力して、文章を改行できます。改行マーク「↲」を入力するには、2つの方法があります。
改行マークは全角1文字分として文字数にカウントされます。

■ 機能メニューから入力する

改行したい位置にカーソルを合わせて機能メニューから「改行入力」を選びます。改行マーク「↲」が入力され、カーソルが次の行に移動します。

■ ☎を1秒以上押す

改行したい位置にカーソルを合わせて☎を1秒以上押します。改行マーク「↲」が入力され、カーソルが次の行に移動します。

文字入力

おしらせ

- 改行マークは文字と同じように削除したり上書きできます。
- iモードのテキストボックスでは、改行マークを入力できない場合があります。

文字を修正する

新しい文字を挿入して追加したり、すでに入力されている文字を削除したりして文字を修正できます。

■ 文字を挿入する

「挿入モード」にしてから を押して挿入したい位置の1つ右の文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、文字はカーソルの位置に挿入されます。

■ 文字を上書きする

「上書きモード」にしてから を押して上書きしたい文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、カーソル上の文字が上書きされます。

■ 文字を削除する

 を押して削除したい文字にカーソルを合わせ、CLRを短く（1秒未満）押します。カーソル上の文字が削除されます。

カーソル上に文字がない場合
　カーソルの左側の1文字が削除されます。

CLRを1秒以上押した場合
　カーソル上の文字とそれより右側にあるすべての文字が削除されます。

カーソルより右側に文字がないときにCLRを1秒以上押した場合
　すべての文字が削除されます。

■ カーソルを文章の文頭／文末へ移動する

文字入力（編集）画面でカーソルを文章の文頭または文末へすばやく移動させることができます。メールの本文やテキストメモなど、入力した文字数が多いときに便利です。

1 **機能メニューから「JUMP」を選ぶ**

2 **項目を選ぶ**

カーソルを文頭へ移動させる場合
　「文頭へJUMP」を選ぶ

カーソルを文末へ移動させる場合
　「文末へJUMP」を選ぶ

次ページへつづく

入力中、編集中のデータを守ります

文字入力(編集)画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力(編集)画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。

電話帳の再編集について→P.105

☎PWR HLDを押した場合

文字の入力中に☎PWR HLDを押した場合は、文字の入力を終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。

<入力中の内容を保存しないで終わる場合>

「YES」を選びます。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。

☎PWR HLDを押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。

編集終了確認
内容を破棄して
編集を終了します
よろしいですか?
YES
NO

<文字の入力を続ける場合>

「NO」を選びます。入力したデータはそのままで文字入力(編集)画面に戻ります。

CLRを押しても文字入力(編集)画面に戻ります。

音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力(編集)画面に戻ります。音声通話中の場合は、(MULTI)を押してタスクメニューを表示させて、通話しながら文字入力(編集)画面に戻ることもできます。

→P.408

ワード予測を利用して文字を入力する

ワード予測とは、過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示する機能です。読みを入力すると、過去に入力した文字の中から入力した文字に続くと予測される文字を予測候補として表示します。また、文字を確定すると、過去にその文字に続けて入力した文字を履歴候補として表示します。すべての文字を入力しなくても目的の文字が入力できるので便利です。

- ワード予測は「かな方式(モード1)」の「漢字ひらがな入力モード」のとき、「2タッチ方式(モード2)」の「全角入力モード」のときのみ利用できます。「T9方式(モード3)」では「漢字ひらがな入力モード」のときに「履歴候補」のみ利用できます。
- 過去に入力していない文字や、「ワード予測」(P.521)を「OFF」に設定している場合は、読みを入力しても候補は表示されません。

1 読みを入力する

予測候補がガイダンスエリアに表示されます。

2 ●をスライドするか◯を1秒以上押す

ガイダンスエリアにカーソルが表示され、予測候補を選べるようになります。

読みの入力に戻る場合

CLRを押す

予測候補が表示されない、または入力したい文字が予測候補にない場合

そのまま読みを入力する

3 予測候補を選ぶ

文字を確定すると、その文字に続く履歴候補が表示されます。

4 履歴候補を選ぶ

履歴候補が表示されない、または入力したい文字が履歴候補にない場合

そのまま次の文字を入力する

おしらせ

- 「学習履歴クリア」の「T9／ワード予測」を行うと、「ワード予測」の予測候補と履歴候補が削除されます。
- 「ニューロポインター設定」で「ポインター表示」を「OFF」に設定している場合は、◯を1秒以上押して予測候補を選べる状態にしてください。
- 履歴候補には確定した文字からはじまる定型文も候補として表示されます。

定型文を入力する

文字入力(編集)画面では、あらかじめ登録されている定型文を入力できます。定型文にはお買い上げのときに登録されている「固定定型文」と自分で登録できる「自作定型文」があります。

- 固定定型文は入力モードによって表示される内容(表現)が次のように異なります。
  なお、変更した固定定型文および自作定型文は入力モードにかかわらず登録された内容(表現)で表示されます。

文字入力方式	入力モード	表示内容
かな方式(モード1)、T9方式(モード3)	漢字ひらがな入力モード	漢字ひらがなで表示されます。
	カナ入力モード、英字入力モード、数字入力モード	半角カタカナで表示されます。
2タッチ方式(モード2)	全角入力モード	漢字ひらがなで表示されます。
	半角入力モード	半角カタカナで表示されます。

● 定型文は次のような文字入力(編集)画面で入力できます。

・テキストメモ	・iモードメールの署名
・定型文	・iモードメールの引用符
・定型文のフォルダ名	・iモードメールの参照返信
・スケジュール	・自動振分け設定の題名入力
・ToDo	・メール検索の題名入力
・ウェイクアップのメッセージ	・iモードのテキストボックスでの編集
・iモードメールの題名	・iアプリでの文字編集
・iモードメールの本文	・辞典
・iモードメールの冒頭文	

● 定型文の作成、編集については、P.514を参照してください。
● 固定定型文の内容について詳しくは、P.562を参照してください。

1 **機能メニューから「定型文入力」を選ぶ**

2 **フォルダを選ぶ**

「固定定型文」を入力する場合
　フォルダ1～2を選ぶ
「自作定型文」を入力する場合
　フォルダ3～5を選ぶ

3 **入力したい定型文を選ぶ**

定型文の詳細画面が表示されます。

4 **◉[選択]を押す**

選んだ定型文が入力されます。

おしらせ

● 定型文を入力したときに入力可能な文字数を超えた場合は、文字数がオーバーすることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと定型文が入力され、入力可能な文字数を超えた文字が、定型文の文末より削除されます。
● すでに最大数の文字が入力されている場合は、定型文を入力できません。

記号・絵文字を入力する

文字入力(編集)画面では、文字以外に記号や絵文字、顔文字などを入力できます。また、記号、絵文字は連続して入力することもできます。

■ 記号を入力する

カッコやギリシャ数字、単位などの記号を入力できます。
メールアドレスの登録画面、iモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。

1 **機能メニューから「記号入力」を選ぶ**

記号の候補が表示されます。

2 **入力する記号を選ぶ**

記号・特殊文字一覧→P.559

■ 文字変換で記号や顔文字を入力する

「漢字ひらがな入力モード」で記号や顔文字の読みを入力して変換すると、その読みに該当する記号や顔文字が入力できます。

■ 記号の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「きごう」と入力して変換すると、記号の候補が表示されます。また「かっこ」、「さんかく」などの記号名を入力して変換しても、記号を入力できます。

変換記号→P.560

■ 顔文字の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると、顔文字の候補が表示されます。また、「ありがとう」、「さよなら」などの顔文字の意味を入力して変換しても、顔文字を入力できます。

顔文字→P.561

■ 絵文字を入力する

メール本文やテキストメモ、定型文などの文字入力(編集)画面で顔や天気、動物などの絵文字を入力できます。

1 **機能メニューから「絵文字入力」を選ぶ**

絵文字の候補が表示されます。

2 **入力したい絵文字を選ぶ**

絵文字一覧→P.561

■ 記号や絵文字を連続入力する

記号や絵文字の候補画面を表示して、候補画面を消すまで記号や絵文字を連続で入力できます。入力のたびに機能メニューから呼び出す必要がないので便利です。

入力できる記号についてはP.559、絵文字についてはP.561を参照してください。

1 **機能メニューから「絵文字記号連続入力」を選ぶ**

絵文字1の候補がガイダンスエリアに表示されます。ガイダンスエリアの右上には「現在のページ/全体のページ数」が表示されます。

2 **[絵記]を押して候補画面を切り替える**

[絵記]を押すたびに「絵文字1入力」―「絵文字2入力」―「全角記号入力」―「特殊記号入力」―「半角記号入力」の順に切り替わります。

3 **入力したい記号・絵文字を選ぶ**

選んだ記号・絵文字が入力されます。そのまま続けてほかの記号や絵文字を入力できます。

4 **入力が終わったらCLRを押す**

絵文字・記号の連続入力が終了します。

電話帳や個人データを引用して入力する

メールの本文や「テキストメモ」などの文字入力(編集)画面で、「電話帳」および「電話番号表示」に登録されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、メモを引用して入力できます。

● 一部の文字入力(編集)画面では引用できません。

1 機能メニューから「電話帳引用」または「個人データ引用」を選ぶ

「電話帳引用」を選んだ場合

「グループ検索」または「行検索」を選んで引用したい電話帳を検索する

電話帳の検索のしかた→P.114

「個人データ引用」を選んだ場合

4～8桁の端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

2 引用したい項目を選ぶ

電話帳引用の場合

3 [完了]を押す

選んだ項目が入力されます。

おしらせ

- 引用する文字列の中に、その文字入力(編集)画面で入力できない文字が含まれる場合は、半角スペースに置換されます。
- 「テキストメモ」や「iモードメール」の文字入力(編集)画面の場合は、引用した項目の間に半角スペースが2つ入力されます。SMSの本文編集画面など改行を直接入力できる文字入力(編集)画面の場合は、引用した項目ごとに改行マーク(↲)が入力されます。
- すでに最大数の文字が入力されている場合は、文字列を引用できません。

定型文

定型文を作成／変更する

定型文をあらかじめ登録しておくと、文字入力(編集)画面で呼び出して入力できます。定型文は5つのフォルダに分けて保存されます。フォルダ1～2にはあらかじめ登録されている固定定型文がそれぞれ10件保存されています。固定定型文の内容は変更できます。フォルダ3～5には自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。また、フォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

● 定型文は1つのフォルダで10件、合計50件まで登録できます。
● 定型文は全角で64文字、半角で128文字まで入力できます。
● 固定定型文の内容については、P.562を参照してください。

新しい定型文を作成する

1   ▶「定型文」の順に選ぶ

2 フォルダを選ぶ

3 <未登録>を選んで［編集］を押す

4 定型文を入力する

定型文を変更する

1 (Menu)▶▶「定型文」の順に選ぶ

2 フォルダを選ぶ

フォルダ名を変更する場合
変更したいフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ名編集」を選ぶ
フォルダ名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

フォルダ名を初期化する場合
初期化したいフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ名初期化」を選ぶ
お買い上げのときのフォルダ名に戻ります。

3 変更したい項目を選んで［編集］を押す

定型文を1件削除する場合
削除したい定型文を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

フォルダ内のすべての定型文を削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

4 内容を変更する

おしらせ

- フォルダ名を変更するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、お買い上げのときのフォルダ名になります。
- 固定定型文を削除した場合は、お買い上げのときの内容に戻ります。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

文字をコピーしたり、切り取ったり、貼り付けたりできます。コピーまたは切り取りした文字はFOMA端末に記憶されるので、別の位置に貼り付けたり、ほかの機能の文字入力(編集)画面に貼り付けることができます。

● コピーまたは切り取りによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字をコピーする／切り取る

1 **機能メニューから「コピー」または「切り取り」を選ぶ**

2 **コピーまたは切り取りする先頭の文字にカーソルを合わせて◉[始点]を押す**

3 **コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動させて◉[終点]を押す**

選んだ範囲の文字が記憶されます。

切り取りした場合

選んだ範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

文字が入力されていない部分を選んだ場合

半角スペースとして記憶されます。

おしらせ

● コピーまたは切り取り範囲はポインターで選ぶこともできます。ただし、iモードメール本文入力画面ではポインターで選べませんので、✥で選んでください。

文字を貼り付ける

コピーまたは切り取った文字は、ほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで何度でも貼り付けることができます。

● バーコードリーダーで取得した文字データを貼り付けることもできます。→P.193

1 **文字を貼り付けたい位置にカーソルを合わせる**

2 機能メニューから「貼り付け」を選ぶ

文字が貼り付けられます。

貼り付け先の文字入力(編集)画面で入力できない文字が含まれている場合

スペースに置き換えたことを通知するメッセージが表示され、スペースが貼り付けられます。

おしらせ

- 貼り付けた文字が入力可能な文字数を超えた場合は、文字数がオーバーすることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと文字が貼り付けられ、入力可能な文字数を超えた文字が、貼り付けた文字の文末より削除されます。「NO」を選ぶと文字は貼り付けられずに元の画面に戻ります。
- すでに最大数の文字が入力されている場合、貼り付けはできません。

区点コードで入力する

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

- 区点コードで文字を入力する前に、あらかじめ文字入力方式に応じて次の入力モードに切り替えておいてください。
  - ・かな方式(モード1)　：漢字ひらがな入力モード
  - ・2タッチ方式(モード2)　：全角入力モード

  ただし、上記の入力モードにしなくても、機能メニューから区点入力モードに切り替えることができます。
- 区点コードおよび区点コードで入力できる文字についてはP.563を参照してください。
- 区点コードは文字が確定されている状態のときに入力できます。

<例:「┌」(区点コード0814)を入力する場合>

1 (＊ http://)を押す

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「区」が表示されます。

文字入力方式が「T9方式(モード3)」の場合

機能メニューから「区点入力」を選ぶ

2 区点コード(0 わをん)(8 や TUV)(1 あ)(4 た GHI)を入力する

入力した区点コードに対応した文字が入力され、元の入力モードに戻ります。

入力した区点コードに対応する文字がない場合

スペースが入力されます。

おしらせ

- 文字入力方式が「かな方式(モード1)」または「2タッチ方式(モード2)」の場合でも、機能メニューから「区点入力」を選んで区点入力モードに切り替えることができます。

よく使う単語を登録する

お買い上げ時	未登録

よく使う単語をお好きな読みでユーザ辞書に登録しておくと、文字入力(編集)画面でその読みを入力して変換したときに登録した単語が表示されます。普通の変換では表示されない単語を登録しておくと便利です。

- ユーザ辞書は100件まで登録できます。
- 単語は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。読みは全角ひらがなで10文字まで入力できます。
- 同じ単語と読みは登録できません。
- 絵文字、改行、定型文は単語および読みに入力できません。スペースは自動的につめて登録されます。
- 読みに濁点、半濁点以外の記号(、。・！？)は登録できません。

単語を新規登録する

1 (Menu)▶ユーザデータ▶「ユーザ辞書」の順に選ぶ

2 <新規登録>を選ぶ

3 単語を入力する

4 読みを入力する

単語の内容を確認する

1 (Menu)▶ユーザデータ▶「ユーザ辞書」の順に選ぶ

2 確認したい単語を選ぶ

単語の内容を変更する場合
変更したい単語を反転表示して[編集]を押す

単語を1件削除する場合
削除したい単語を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数の単語を選んで削除する場合
機能メニューから「選択削除」を選んで削除する単語を選ぶ

単語をすべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

3 内容を確認する

学習履歴クリア

学習履歴を初期状態に戻す

FOMA端末に記憶されている次の学習情報をリセットできます。

・かな漢字変換の学習履歴
・「T9方式（モード3）」の学習履歴
・ワード予測機能の予測候補と履歴候補

1 （Menu）▶各種設定▶「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

2 「学習履歴クリア」を選んで端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

3 削除したい項目を選ぶ

「T9方式（モード3）」および「ワード予測」で蓄積した学習履歴をクリアする場合
　「T9／ワード予測」を選ぶ
かな漢字変換で蓄積した学習履歴をクリアする場合
　「かな漢字変換」を選ぶ

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

お買い上げ時	未登録

iモードのサイトなどからダウンロードした日本語変換用の辞書を変換用辞書として設定できます。専門用語などの辞書をダウンロードして設定すると、その辞書に登録されている用語が変換候補の一覧に表示されます。

● ダウンロード辞書は5件まで登録でき、そのうちの2件を有効にできます。
● 辞書のダウンロードのしかたについては、P.224を参照してください。

1 （Menu）▶ユーザデータ▶「ダウンロード辞書」の順に選ぶ

文字入力

2 設定したい辞書を選ぶ

設定した辞書には「★」がつきます。

設定されている辞書を解除する場合

「★」がついている辞書を選ぶ
設定が解除されて「★」が消えます。

辞書の情報を確認する場合

確認したい辞書を反転表示して機能メニューから「辞書情報」を選ぶ

辞書のタイトルを変更する場合

変更したい辞書を反転表示して機能メニューから「タイトル編集」を選ぶ
タイトルは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

辞書を1件削除する場合

削除したい辞書を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

辞書をすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

おしらせ

- すでにダウンロード辞書が2件設定されている場合は、すでに設定されていることを通知するメッセージが表示されます。「★」がついた辞書の設定を解除してから設定し直してください。
- ダウンロード辞書のタイトルを編集するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、元のタイトルに戻ります。
- FOMAカードが取り付けられていなかったり、辞書をダウンロードしたときと別のFOMAカードに差し替えた場合は、辞書を利用できません。

入力方式について設定する

文字を入力するときに使う文字入力方式やワード予測機能およびガイダンス表示の設定を変更できます。

文字入力方式を切り替える

文字を入力するときに使用する文字入力方式を2つ以上選び、その中から文字入力(編集)画面を表示したときに優先的に使用する文字入力方式(優先入力方式)を設定できます。文字入力方式は文字の入力中でも切り替えることができます。
文字入力方式には、次の3つがあります。

文字入力方式	特徴	入力例：おはよう
かな方式 (モード1)	ボタンを何回か押すことによって、そのボタンに割り当てられている文字を入力する方式です。	1を5回、6を1回、8を3回、1を3回押します。
2タッチ方式 (モード2)	ポケットベル*へ文字を送信するときのように、ボタンで2桁の番号を入力することによって、その2桁の番号に割り当てられている文字を入力する方式です。	1 5 、6 1 、8 5 、1 3 と押します。
T9方式 (モード3)	入力したい文字が割り当てられている行のボタンを1回押すと読み候補が表示され、その中の候補を選んで文字を入力する方式です。続けてボタンを押していくと、その内容に応じて読み候補が変わります。	1、6、8、1と押して、読み候補の中から「おはよう」を選びます。

■ 文字を入力する前に入力方式を切り替える

文字入力方式を1つだけ選ぶことはできません。

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

2 「入力モード」を選ぶ

3 使用する文字入力方式を2つ以上選んで [完了]を押す

4 優先的に使用したい文字入力方式を選ぶ

操作3で選ばなかった文字入力方式は選べません。

■ 文字の入力中に文字入力方式を切り替える

文字入力（編集）画面が表示されたときは、優先的に使用する文字入力方式が設定されています。文字入力（編集）画面でほかの文字入力方式に切り替えるには2つの方法があります。
文字入力方式の切り替えはその文字入力（編集）画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力（編集）画面を表示すると、優先的に使用する文字入力方式に戻ります。

■ 機能メニューから切り替える

機能メニューから「入力モード切替」を選んで使用したい文字入力方式を選びます。

■ [文字]を1秒以上押す

[文字]を1秒以上押すごとに「かな方式（モード1）」ー「2タッチ方式（モード2）」ー「T9方式（モード3）」の順で文字入力方式が切り替わります。

おしらせ

- 「文字入力方式」の「入力モード」で選択されていない文字入力方式に切り替えることはできません。
- 郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力（編集）画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。

ワード予測を利用する／しないを設定する

お買い上げ時	ON

過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示するワード予測機能を利用するかしないかを設定できます。ワード予測機能の利用する／利用しないは文字の入力中でも切り替えることができます。

- ワード予測は「かな方式（モード1）」の「漢字ひらがな入力モード」、「2タッチ方式（モード2）」の「全角入力モード」の場合に利用できます。「T9方式（モード3）」では「漢字ひらがな入力モード」のときに「履歴候補」のみ利用できます。

＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

次ページへつづく

■ 文字の入力前に入力方式を切り替える

1 (Menu)▶[各種設定]▶「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

2 「ワード予測」を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

ワード予測機能を利用する場合
「ON」を選ぶ
ワード予測機能を利用しない場合
「OFF」を選ぶ

■ 文字の入力中にワード予測機能の「ON／OFF」を切り替える

文字入力（編集）画面を表示すると、ワード予測機能は「文字入力方式」の「ワード予測」で設定した状態になります。文字入力（編集）画面でワード予測機能の「ON／OFF」を切り替えるには、機能メニューから「ワード予測ON／OFF」を選びます。ワード予測機能が「ON」の場合は「ワード予測OFF」、「OFF」の場合は「ワード予測ON」が表示されます。
ワード予測機能の切り替えはその文字入力（編集）画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力（編集）画面を表示すると、「ワード予測」で設定した状態に戻ります。

おしらせ

● ワード予測機能の「ON／OFF」を切り替えても、記憶された予測候補と履歴候補は削除されません。

ガイダンスを表示する／しないを設定する

お買い上げ時	ON

文字入力（編集）画面の操作ガイダンスを表示するかしないかを設定できます。表示しないように設定すると操作ガイダンスが表示されなくなるので、文字入力エリアを広く使うことができます。

1 (Menu)▶[各種設定]▶「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

2 「ガイダンス表示」を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

操作ガイダンスを表示する場合
「ON」を選ぶ
操作ガイダンスを表示しない場合
「OFF」を選ぶ

T9方式(モード3)で文字を入力する

「T9方式(モード3)」とは、入力したい文字が割り当てられている行のボタンを1回押すと読みの候補が表示され、その候補を選ぶことによって文字を入力する方式です。わずかなボタン操作で文字を入力できます。
入力モードが「漢字ひらがな入力モード」の場合は、「ワード予測」の「履歴候補」を利用できます。
また、入力したい読み候補が表示されないときのために、入力した読み候補を編集する「読み編集」機能と入力したい読みを直接入力する「固定入力」機能があります。

- 「ワード予測」の「予測候補」は利用できません。
- 「T9方式(モード3)」への切り替えについては、P.520を参照してください。
- 全角/半角モード、大文字/小文字の切り替えや記号、絵文字、定型文などの入力については、「かな方式で文字を入力する」(P.504)を参照してください。

入力モードを切り替える

「T9方式(モード3)」は入力モードが「漢字ひらがな入力モード」と「カナ入力モード」の場合に利用できます。「英字入力モード」または「数字入力モード」の場合は、「かな方式(モード1)」(P.504)の入力方法になります。 [文字]を押すたびに入力モードが順番に切り替わります。

■ 漢字ひらがな入力モード

「T9方式(モード3)」で漢字、ひらがな、カタカナ、記号、数字を入力します。文字はすべて全角になります。情報表示エリアには「漢」が表示されます。

■ カナ入力モード

「T9方式(モード3)」で半角または全角のカタカナ、記号を入力します。情報表示エリアには「カ」が表示されます。

■ 英字入力モード

「かな方式(モード1)」で半角または全角の英字、記号を入力します。情報表示エリアには「英」が表示されます。

■ 数字入力モード

「かな方式(モード1)」で半角または全角の数字、記号を入力します。情報表示エリアには「数」が表示されます。

文字を入力する

「T9方式(モード3)」で文字を入力する方法について説明します。

● T9方式(モード3)の文字割当て一覧→P.558

＜例：「戸田」と入力する場合＞

1 [文字]を押して「漢字ひらがな入力モード」にする

2 読み候補を入力する

4(た行)、4(た行)、#(濁点)

「ただ」から予測できる読み候補が表示されます。

ボタンを押し間違えた場合

CLRを押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

入力した読み候補が候補として認識できない場合

認識できない文字がグレーで表示されるので、を押して読み候補の範囲を変更する

3 をスライドするかを1秒以上押して読み候補を選ぶ

文字入力エリアに選んだ読み候補が表示されます。

「ニューロポインター設定」で「ポインター表示」を「OFF」に設定している場合

で読み候補にカーソルを表示させ、で読み候補を選ぶ

読み候補の入力に戻る場合

CLRを押す

4 漢字に変換する

文字を確定すると履歴候補が表示されます。履歴候補を選んで続きの文字を入力できます。

文字の入力のしかた→P.505

おしらせ

- 読み候補の範囲を変更して複数の文節に分けた場合、それらの文節が1つの単語として蓄積されます。
- FOMAカードの電話帳登録でフリガナを入力する場合、および「ユーザ辞書」の読みを入力する場合は、読み候補に数字は表示されません。

読み候補を編集する

表示された読み候補に入力したい読み候補がない場合は、入力したい読み候補に修正できます。濁点、半濁点を含まない場合、修正された読み候補は次回入力時に読み候補の先頭に表示されます。

<例：「ろーらーと」という読み候補を「らんらんと」に修正する場合>

1 読み候補を入力する

9(ら行)、0(わ行)、9(ら行)、0(わ行)、4(た行)

「らわらわた」から予測できる読み候補が表示されます。この場合「ろーらーと」という読み候補が先頭に表示され、「らんらんと」という読み候補は表示されません。

2 [読み]を押す

読み編集モードになり、カーソルが読みの先頭に移動します。読み候補の表示エリアには、「ら行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合1(ら)を押します。
文字を修正すると次の文字にカーソルが移動します。同じように操作して読みを修正します。

読みを修正しない場合
　を押して次に修正する文字にカーソルを移動させる

途中で読み編集を終了する場合
　[戻る]を押す
　終了するまでに修正した文字が読み候補として表示されます。

4 [確定]を押す

読み候補が確定されます。を押して漢字、カタカナなどに変換できます。
文字の入力のしかた→P.505

固定入力で読みを入力する

あらかじめ入力したい文字が読み候補に表示されないと予想される場合は、固定入力モードでその読みを直接入力します。固定入力モードで読みを入力する場合、読み候補は表示されません。

＜例：「はためく」という読みを入力する場合＞

1 ＊(固定入力)を押す

固定入力モードになり、情報表示エリアの「T9」が「固」に変わります。

2 入力したい文字が割り当てられている行のボタンを押す

この場合6を押します。読み候補の表示エリアには、「は行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合1(は)を押します。
同じように操作して読みを入力します。

4 ＊(固定終了)を押して● [確定]を押す

読み候補が確定されます。○を押して漢字、カタカナなどに変換できます。
文字の入力のしかた→P.505

2タッチ方式(モード2)で文字を入力する

「2タッチ方式(モード2)」とは、ボタンで2桁の番号を入力することによって、その2桁の番号に割り当てられている文字を入力する方式です。ポケットベル*へ文字を送信するときと同じ操作になります。

- 「2タッチ方式(モード2)」への切り替えについては、P.520を参照してください。
- 全角／半角モード、大文字／小文字の切り替えや記号、絵文字、定型文などの入力については、「かな方式で文字を入力する」(P.504)を参照してください。

入力モードを切り替える

「2タッチ方式(モード2)」の入力モードには「全角入力モード」と「半角入力モード」があります。[文字]を押すたびに入力モードが交互に切り替わります。

全角入力モード　半角入力モード

■ 全角入力モード

全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力します。情報表示エリアには「全」が表示されます。

■ 半角入力モード

半角のカタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力します。情報表示エリアには「半」が表示されます。

おしらせ

- FOMAカードの電話帳登録でフリガナを入力するとき、「全角入力モード」ではカタカナのみの入力となります。

文字を入力する

「2タッチ方式(モード2)」で文字を入力する方法について説明します。

- 「2タッチ方式(モード2)」の文字割当て一覧→P.559

<例：「はる」と入力する場合>

1 **[文字]を押して「全角入力モード」にする**

2 **文字を入力する**

おしらせ

- 「2タッチ方式(モード2)」の場合、8 0を押すたびに「小文字入力モード」と「大文字入力モード」を切り替えることができます。
- 一部の機能では、2タッチ方式(モード2)で文字を入力できない場合があります。その場合は、「かな方式(モード1)」で文字を入力してください。

＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

操作する画面を切り替える

受信メールからの参照返信および受信メール、iモード画面からスケジュール参照登録を実行したときは、元の画面に編集画面が重ねて表示されるので、元の画面の内容を確認しながら編集できます。受信メールからの参照返信またはスケジュールの登録が終了すると、元の画面に戻ります。

受信メールからの
スケジュール参照登録

受信メールからの
参照返信

- 元の画面を操作しているときは編集画面で文字を入力できません。
- 参照返信については、P.272を参照してください。
- 受信メールを参照しながらスケジュールを登録するには、受信メールの詳細画面で機能メニューから「スケジュール参照登録」を選びます。
- スケジュールについては、P.413を参照してください。

操作する画面の切り替えかた

編集画面が重ねて表示されているときは、操作する画面を切り替えることができます。操作する画面を切り替えるには、次の3つの方法があります。

■ (i)を1秒以上押す

(i)を1秒以上押すたびに、操作する画面が切り替わります。

■ ポインターで操作する画面を選ぶ

ニューロポインターをスライドしてポインターを表示させ、操作する画面を選びます。

■ 機能メニューを選ぶ

機能メニューから「ウィンドウ切替」を選ぶと、操作する画面が切り替わります。

おしらせ

- 操作する画面を切り替えても、入力した文字やカーソル位置は切り替える前の状態のまま保持されます。
- 読みの入力中は操作する画面を切り替えることはできません。
- 編集画面の表示中に受信メール、iモード画面の操作に切り替えた場合、操作できるのは画面のスクロールのみとなります。ただし、受信メールの場合のみ、コピー、文字サイズ設定も操作できます。

●海外利用

■国際ローミングについて

■滞在先での電話のかけかた／受けかた

■海外のネットワークの設定をする

■海外のネットワークサービスを利用する

■その他の機能を利用する

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)は、ドコモがFOMAをご利用の皆様に提供するサービスで、海外の通信事業者のネットワークを利用して、海外でも通話やiモードなどをご利用いただくものです。
FOMA N900iGは、国内で使用している電話番号で国際ローミングを利用できます。海外でも音声電話、テレビ電話、iモード、SMS、パソコンなどと接続して行うパケット通信を利用できます。さらに、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの便利なネットワークサービスを利用できます。

- 国際ローミングサービスを利用するためには、WORLD WINGのお申し込みが必要です。
- 国際ローミングサービスを利用するためには、WORLD WINGを契約したFOMAカード(緑色)をFOMA N900iGに取り付けておく必要があります。
- ネットワークサービスの利用はお申し込みが必要です。
- 利用できる通信サービスや機能は、接続している通信事業者によって異なります。→P.537
- 海外のネットワークには、3Gネットワーク、GPRSネットワーク、GSMネットワークの3つがあります。
  - 3Gネットワークは、世界標準規格である3GPP※1に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
  - GPRSネットワークは、GSMネットワーク上でGPRS※2による高速パケット通信を利用できるようにした第2.5世代移動体通信ネットワークです。
  - GSM※3ネットワークは、世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動体通信ネットワークです。

※1:3GPP(3rd Generation Partnership Project)
第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
※2:GPRS(General Packet Radio Service)
通信速度最大115kbpsのパケット通信サービスで、ヨーロッパや中国を中心に普及しています。
※3:GSM(Global System for Mobile Communications)
ヨーロッパで規格が統一された携帯電話機の標準規格で、世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動体通信システムです。

■FOMA N900iGを使って海外でできること

できること	詳細
音声電話	● 海外でもそのまま同じ電話番号で、本FOMA端末をご利用できます。 ● 日本への国際電話、その他の海外への国際電話、滞在国内への電話をかけることができます。
テレビ電話	● 海外の特定3G通信事業者ユーザまたは日本のFOMAユーザと国際テレビ電話が可能です。
iモードメール	● いつも通りのアドレスでiモードメールの送受信ができます。画像やメロディなどが添付されたiモードメールの送受信も可能です。
iモード	● 海外でもiモードをご利用いただけます。
ショートメッセージサービス(SMS)	● 海外でもSMSの送受信が行えます。
海外でのパケット通信※	● パソコンと接続してパケット通信を利用できます。

※:2004年12月現在、海外ではパソコンなどと接続して行うパケット通信をご利用できません。最新の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。

- ご利用のネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります(P.537)。また、接続している通信事業者によっても利用できる通信サービスが異なるため、お客様がご利用になりたいサービスをご利用いただけない場合があります。あらかじめご了承ください。サービスエリアについて詳しくは『国際ローミングサービスマニュアル(FOMA N900iG)』やWORLD WINGのホームページをご覧ください。

海外利用

ネットワークの切り替え

お買い上げのときの設定では、接続先の検索と接続は自動で行われますので、お出かけのときも帰国のときも、とくに設定を行う必要はありません。**→P.544**

● 日本国内から海外に移動したとき

FOMA端末の電源を入れ直すだけで、自動的に接続可能な通信事業者を検索して接続します。

● 海外で滞在先を移動したとき

接続していた通信事業者のサービスエリア外に移動したときは、自動的にネットワークの再検索を行い、別の通信事業者に接続し直します。

● 日本に帰国したとき

最初にFOMA端末の電源を入れたときにFOMAネットワークに接続しますので、いままで通りご利用できます。

■「ネットワーク切替」の設定について

- 「ネットワーク切替」(P.544)を「自動」に設定していると、適切なネットワークの検索と接続が自動的に行われますが、利用している場所の電波や海外ネットワークの状況によっては、ネットワークが切り替わりにくい場合があります。
- ネットワークの検索は3Gネットワークを優先して行われるため、ご利用になる地域が3Gネットワークに対応していないことがあらかじめわかっている場合は、「ネットワーク切替」を「GSM」に設定しておくことをおすすめします。

おしらせ

- 接続先の通信事業者の切り替え中は、FOMA端末のボタン操作や機能の一部がご利用になれませんのでご注意ください。
- 電池残量が少ない場合は、ネットワークの切り替えができない場合があります。

主要国の国番号

国際電話を利用するとき(P.67、P.539)や、「国際ダイヤル設定」の設定を行うときなどに入力する「国番号」は、以下の番号を使用してください。

2004年10月現在

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	韓国	82	中国	86	フランス	33
イギリス	44	ギリシャ	30	ドイツ	49	ブラジル	55
イタリア	39	シンガポール	65	トルコ	90	ベトナム	84
インド	91	スイス	41	ニューカレドニア	687	ペルー	51
インドネシア	62	スウェーデン	46	ニュージーランド	64	ベルギー	32
エジプト	20	スペイン	34	ノルウェー	47	香港	852
オーストラリア	61	タイ	66	ハンガリー	36	マカオ	853
オーストリア	43	台湾	886	フィジー	679	マレーシア	60
オランダ	31	タヒチ	689	フィリピン	63	モルディヴ	960
カナダ	1	チェコ	420	フィンランド	358	ロシア	7

※この他の国の番号および詳細については、WORLD WINGのホームページを確認してください。

海外でご利用になる前の確認

● はじめてご利用になる方へ

1　ご出発前の準備（P.534）

ご契約、充電、ネットワークサービスの確認や電話のかけかたの便利な設定について説明します。

2　滞在先での利用（P.535）

海外で快適に利用するための多彩な機能や注意事項について説明します。

3　帰国後の設定（P.536）

ご利用条件によってはネットワークの設定が必要です。

本書とあわせて読んでいただきたい冊子について

海外で利用する際には、本書のほかに以下の冊子もあわせて参照してください。

冊子名	掲載している内容
国際ローミングサービスマニュアル（FOMA N900iG）	本FOMA端末での国際ローミングのサービスのご利用方法、注意事項
国際ローミングご利用ガイドブック	国際ローミングのサービス内容、料金、ご利用方法、注意事項など
ネットワークサービス操作ガイド	ネットワークサービスのサービス内容、ご利用方法、注意事項など

クイックマニュアル

海外利用時に便利なクイックマニュアルが、本書の巻末に記載されています。海外での基本的な操作や表示について記載していますのでご利用ください。

海外でのご利用料金について

海外でのご利用料金は毎月のご利用料金とあわせてご請求させていただきます。
海外事業者の都合で請求が1ヶ月程度、遅れる場合がございます。

困ったときには

海外でFOMA端末をご利用中に困った場合は、「故障かな？と思ったら、まずチェック（海外利用時の場合）」（P.575）を、エラーメッセージについては、「こんな表示が出たら（海外利用時の場合）」（P.582）を参照してください。

海外でのお問い合わせ先

紛失、盗難、利用累積額精算や故障に関して、海外からは、取扱説明書裏面に記載の「海外での紛失、盗難、利用累積額精算などについて」または「海外での故障に関して」までお問い合わせください。

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号をダイヤルし、対応する番号に電話をかけると、海外からでも各種お問い合わせをすることができます。

例：イギリスから故障に関してお問い合わせをする場合

00-800-5931-8600

└ ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	コロンビア	009	ニュージーランド	00
アメリカ合衆国	011	シンガポール	001	ノルウェー	00
アルゼンチン	00	スイス	00	フィリピン	00
イギリス	00	スウェーデン	00	フランス	00
イスラエル	014	スペイン	00	ブラジル	0021
イタリア	00	タイ	001	ベルギー	00
オーストラリア	0011	台湾	00	香港	001
オーストリア	00	中国	00	マレーシア	00
カナダ	011	デンマーク	00	ルクセンブルグ	00
韓国	001	ドイツ	00		

※一部ご利用できない場合があります。

※ユニバーサルナンバーは、上記表に記載のある国のみご利用可能です。

※ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客さまの負担となります）。ホテル側にご確認されてから、ご利用ください。

主要国の国際電話アクセス番号（表2）

海外からのお問い合わせ時に上記のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号がご利用できない場合は、国際電話アクセス番号を利用します。

例：イギリスから故障に関してお問い合わせをする場合

00-81-3-6718-1414

└ 国際電話アクセス番号

主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	韓国	001	デンマーク	00	ベトナム	00
アメリカ合衆国	011	ギリシャ	00	ドイツ	00	ベルギー	00
アラブ首長国連邦	00	シンガポール	001	トルコ	00	ポーランド	00
イギリス	00	スイス	00	ニュージーランド	00	ポルトガル	00
イタリア	00	スウェーデン	00	ノルウェー	00	香港	001
インド	00	スペイン	00	ハンガリー	00	マカオ	00
インドネシア	001	タイ	001	フィリピン	00	マレーシア	00
オーストラリア	00/900/90	台湾	002	フィンランド	00	モナコ	00
オランダ	00	チェコ	00	フランス	00	ルクセンブルグ	00
カナダ	011	中国	00	ブラジル	0041/0021/0023	ロシア	810

ご出発前の準備について

海外で本FOMA端末を利用するためには、日本から海外へ行く前に以下の準備をしておく必要があります。

■ ご契約について

海外で利用するためには、WORLD WINGのお申し込みが必要です。

● 国際ローミング中は、WORLD WINGを契約したFOMAカード（緑色）を本FOMA端末に取り付けておく必要があります。

■ 充電について

滞在先の国や場所で利用できる電圧を確認して、FOMA海外兼用ACアダプタ 01を使用してください。

●「FOMA海外兼用ACアダプタ 01」自体はAC100Vから240Vまで対応していますが、付属のAC電源コード（P.52）のプラグの形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
● 海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
● 卓上ホルダで電池パック単体の充電ができますので、別売の電池パック N07をお買い求めいただければ、予備の電池としてご利用できます。→P.53
● ACアダプタの取扱い上のご注意→P.9、P.16
● ACアダプタでの充電方法→P.52

■ iモード、iモードメールの利用について

● 海外でiモードやiモードメールを利用する場合は、あらかじめ「iMenu」から「海外利用設定」を設定しておく必要があります。詳しくは、『国際ローミングサービスマニュアル（FOMA N900iG）』および『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

■ ネットワークサービスの設定

● 海外の通信事業者によっては、ネットワークサービスの設定や確認ができない場合があります。また、日本国内でのみ設定や確認が可能なネットワークサービスもありますので、ご出発前に『国際ローミングサービスマニュアル（FOMA N900iG）』および『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。
● 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用するには、あらかじめ日本国内で「遠隔操作設定」の設定が必要です。詳しくは『国際ローミングサービスマニュアル（FOMA N900iG）』をご覧ください。

■ 便利な設定

「国際ダイヤル設定」を設定しておくと、国際ローミング中に音声電話やテレビ電話を簡単な操作でかけることができます。

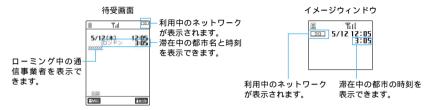
●「国際ダイヤル設定」について→P.542

滞在先でのご利用について

お買い上げのときの設定では、利用可能なネットワークや通信事業者が自動的に識別されるため、滞在中の国や場所を気にせず通信サービスを利用できます。

- 日本国内から海外へ移動した後に、はじめて利用するときは、FOMA端末の電源を入れ直してください。
- 簡単な操作で音声電話やテレビ電話をかけたり受けることができます。→P.539、P.544

■ ディスプレイの表示について

待受画面やイメージウィンドウには、利用しているネットワークが表示されます。また、利用中の通信事業者や、滞在中の都市名や時刻も表示できます。

- 利用中のネットワークは、次のようにアイコン表示されます。

待受画面	イメージウィンドウ	説明
FOMA	FOMA	国内のFOMAネットワークを利用中です。
3G	3G	海外の3Gネットワークを利用中です。
GPRS	GPRS	海外のGPRSネットワークを利用中です。
GSM	GSM	海外のGSMネットワークを利用中です。

- 利用中のネットワークや通信事業者の表示は、「ネットワーク名表示設定」で設定できます。→P.549
- 待受画面に滞在中の都市名と時刻を表示させるには、「リモート時計設定」(P.58)で滞在中の都市名を選び、「時計表示設定」(P.149)で「ローカル&リモート」を選びます。また、イメージウィンドウにも滞在中の都市の時刻を表示させるには、「イメージウィンドウ」(P.143)の「待受画面表示」で「ローカル&リモート時計」を選びます。
- 音声電話やテレビ電話の発信履歴／着信履歴／不在着信履歴は、「ローカル時計設定」で設定した日付・時刻に基づいて表示されます。

■ こんなときは

- 画面に「圏外」や「Select net」が表示されたままになっている
  - ・「ネットワーク切替」(P.544)を確認してください。
  - ・「ネットワーク接続モード選択」(P.545)を確認してください。
  - ・日本国内から海外へ移動した後に、はじめて利用するときは、FOMA端末の電源を入れ直してください。
  - ・本FOMA端末は国際ローミングに対応しているため、電源を入れた直後は対応している電波の検索に時間がかかることがあり、その間は「圏外」と表示される場合があります。
- テレビ電話／SMS／iモードが利用できない
  - ・利用可能な通信事業者かどうか、『国際ローミングサービスマニュアル(FOMA N900iG)』やWORLD WINGのホームページを確認してください。
  - ・「ネットワーク切替」(P.544)を確認してください。
  - ・「ネットワーク接続モード選択」(P.545)を確認してください。
- 相手の電話番号が通知されてこない
  相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。この場合、相手の電話番号が電話帳に登録されていても、以下のような動作になります。
  - ・着信時に相手の名前や電話番号、画像が表示されず、発信者番号非通知理由に「通知不可能」と表示されます。また、着信履歴や伝言メモにも相手の名前や電話番号が表示されません。
  - ・遠隔監視を利用する場合、着信側では遠隔監視として着信されず、テレビ電話の着信となります。
  - ・スピードフォトメールは利用できません。
  - ・電話帳の登録内容によって動作に影響がある機能については、「通知不可能」の着信として動作します(設定したとおりに動作しなかったり、着信が拒否されたり、呼び出し動作が行われなかったりします)。

おしらせ

- 相手が接続しているネットワークによっては、着信時に相手の電話番号とは異なる番号が通知される場合があります。この場合も、「通知不可能」の着信と同様に、発信者番号を利用する機能が利用できません。

■ 必要に応じて機能を使う

海外で快適に利用するために、本FOMA端末には次のような機能が用意されています。必要に応じてご利用ください。

目的	機能名	参照
特定のネットワークだけを利用したい。	ネットワーク切替	P.544
利用中のネットワークが圏外になったときの通信事業者の検索方法を変更したい。	ネットワーク接続モード選択	P.545
優先的に接続する通信事業者を変更したい。	優先ネットワーク設定	P.547
接続中の通信事業者名を待受画面から消したい。	ネットワーク名表示設定	P.549
国際ローミング中であることを相手側に通知したい、国際ローミング中の着信(テレビ電話/全着信)を拒否したい。	ローミング設定	P.549
海外から留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのネットワークサービスを利用したい。	海外用サービス	P.550
iモード中は音声電話の着信を受けないようにしたい。	iモード中着信設定	P.552
パケット通信中は音声電話の着信を受けないようにしたい。	パケット通信中着信設定	P.552

■ 便利な機能を使う

海外で本FOMA端末を快適に利用するために、次のような便利な機能が用意されています。

機能概要	機能名	お買い上げ時の設定	参照
かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音しておくときの応答メッセージを英語にしたい。	伝言メモ	応答メッセージ:標準(日本語)	P.83
わからない単語を入力して英和辞典、和英辞典で確認したい。	辞典	―	P.434

帰国後の設定について

お買い上げのときは「ネットワーク切替」(P.544)が「自動」に設定されているため、帰国後にFOMA端末の電源を入れると自動的にFOMAネットワークに接続します。

■ 日本国内へ帰国後にFOMAネットワークに接続できないときは

- 「ネットワーク切替」を「GSM」に設定していませんか
  - ・「自動」または「3G」に変更してください。
- 「ネットワーク切替」を「3G」、「ネットワーク接続モード選択」(P.545)を「マニュアル」に設定していませんか
  - ・「ネットワーク切替」を「自動」に変更するか、「ネットワーク接続モード選択」を「オート」に変更してください。

おしらせ

- デュアルネットワークサービスをご利用の場合、帰国後はFOMA端末の電源を入れて、「FOMA」が表示されていることを確認してからデュアルネットワークサービスをご利用ください。デュアルネットワークサービスについての詳細は、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

海外で利用するときの機能について

本FOMA端末から利用できる通信サービスや機能は、国内で利用する場合と海外で利用する場合で異なります。また、海外でどのネットワークを利用するかによっても異なります。

● 国際ローミング中にご利用できる通信サービスについて、詳しくは『国際ローミングサービスマニュアル(FOMA N900iG)』をご覧ください。

■ ネットワークによる通信サービスの違いについて

	ネットワーク	音声電話をかける／受ける	テレビ電話をかける／受ける	iモードの利用	メッセージリクエスト／フリーの受信	iモードメールの送受信	パソコンなどと接続して行うパケット通信	SMS送受信
国内	FOMA	○	○	○	○	○	○	○
海外	3G	○	○※1	○	○※3	○	○※4	○
	GPRS	○	×※2	○	○※3	○	○※4	○
	GSM	○	×※2	×	×	×	×	○

○：利用できます(ご利用中の通信事業者や地域によっては、利用できない場合があります)。
×：利用できません。
※1：海外でご利用中に遠隔監視(P.98)を行うこともできます。ただし、受信側のFOMA端末に登録する「対局番号」の設定は、着信番号と一致させる必要があるため、あらかじめどういう番号で着信するか確認し、先頭に「＋81」がついた電話番号で着信した場合はそれと同じ番号(「＋81」つき)を登録する必要があります。また、海外の通信事業者によっては遠隔監視をご利用いただけない場合があります。詳しくは『国際ローミングサービスマニュアル(FOMA N900iG)』やWORLD WINGのホームページをご覧ください。
※2：テレビ電話の着信があっても、着信動作は行いません。発信時は、「音声自動再発信設定」(P.98)が「ON」に設定されている場合は、音声電話で自動的にかけ直します。
※3：メッセージフリーは受信できません。
※4：2004年12月現在、海外ではパソコンなどと接続して行うパケット通信をご利用できません。最新の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。

■ 履歴のアイコン表示について

● 国際ローミングサービス中に表示される発信履歴／着信履歴／不在着信履歴のアイコンは次のとおりです。

アイコン	説明
INT'L 電話	国際電話の発信／着信があったことを示します。
INT'L 電話 (テレビ電話)	国際テレビ電話の発信／着信があったことを示します。
INT'L 不在	かかってきた国際電話に出なかったことを示します。
INT'L 不在 伝言	かかってきた国際電話に出なかったため「伝言メモ」に相手の用件が録音されていることを示します。
INT'L 不在 (テレビ電話)	かかってきた国際テレビ電話に出なかったことを示します。
INT'L 不在 伝言 (テレビ電話)	かかってきた国際テレビ電話に出なかったため「伝言メモ」に相手の用件が録音されていることを示します。
INT'L 不在 (反転)	不在着信履歴のうち、内容を確認していない国際不在着信であることを示します。
INT'L 不在 接続ナシ	GSM／GPRSネットワーク利用時にテレビ電話の着信があったことを示します。

● イメージウィンドウに「不在着信あり」のアイコンが表示されているときに、[ホーム]を押して不在着信履歴を表示すると、以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
INT'L MISS	国際電話の不在着信があったことを示します。
INT'L MISS (テレビ電話)	国際テレビ電話の不在着信があったことを示します。

■ SMSの送受信について

● ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも、SMSの送受信を行うことができるようになります。サービス開始時期および利用可能な海外通信事業者については、ドコモのホームページでお知らせいたします。
● 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信する場合の宛先の指定は以下の表のようになります。また、本文中に相手側が対応していない文字が含まれている場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは、『国際ローミングサービスマニュアル(FOMA N900iG)』をご覧ください。

相手	SMSの宛先の指定
ドコモ(FOMA端末)	国内と同様に、相手の電話番号をそのまま入力します。
ほかの海外通信事業者	送信時は、相手の電話番号の先頭に「+」と相手の国番号を加えた番号※を入力します。

※:電話番号が「0」ではじまる場合は「0」を除いて入力します。

■ ネットワークサービスの設定操作について

● 以下の表は、海外でネットワークサービスの開始/停止などの設定操作ができるかどうかを示しています。
● 海外でネットワークサービスを利用する際には、開始/停止などの操作が可能でも、サービス内容に制限があったり、サービス自体を利用できない場合がありますのでご注意ください。詳細については、『国際ローミングサービスマニュアル(FOMA N900iG)』をご覧ください。
● FOMAネットワークでは、以下のすべてのネットワークサービスについて設定操作が可能です。

名称	設定の対応	備考	参照
留守番電話サービス	△		P.446
キャッチホン	○		P.448
転送でんわサービス	△		P.450
迷惑電話ストップサービス	△		P.452
発信者番号通知サービス	△	発信者番号が、正しく通知できない場合や正しく通知されない場合があります。	P.58
番号通知お願いサービス	△		P.452
ドライブモード	○	ドライブモードはご利用できませんので、海外では設定を解除してください。	P.81
デュアルネットワークサービス	×		P.453
英語ガイダンス	△		P.454
ローミング設定(ローミングガイダンス)	△		P.550
ローミング設定(ローミング時着信規制)	○		P.550
海外用サービス(留守番電話サービス)	○		P.551
海外用サービス(転送でんわサービス)	○		P.551
海外用サービス(ローミングガイダンス)	○		P.551

設定の対応
○:設定できます。×:設定できません。△:一部サービスエリアでは設定できない場合があります。

■ 国際ローミング中にご利用いただけない機能について

アイコン	機能名	参照	機能差分
GPRS GSM	マルチアクセス	P.404	マルチアクセスの機能は利用できません。 例:音声通話中には、iモードメールを送受信できません。
3G GPRS GSM	ソフトウェア更新	P.586	ソフトウェア更新の機能は利用できません。

電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、本FOMA端末で日本以外の国や地域から電話をかけることができます。

- 電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。
- 本FOMA端末では、電話番号の前につける「＋」は国際電話発信を意味します。国内からかけるときも海外からかけるときも、「＋」を使った簡単な操作で国際電話を利用できます。

■ ダイヤリングアシスト（国際電話をより簡単に操作するための機能）について

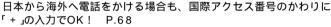
日本でも海外でも、国際電話をかけるときに必要な国際アクセス番号や「＋」、国番号の入力を省略したり簡略化できます。

海外から日本へ電話をかけるときも、電話帳からいつもの電話番号を呼び出してそのまま発信！→P.540

たとえば、電話帳の登録が「090XXXXXXXX」の場合は、「＋8190XXXXXXXX」に自動的に変換して発信します。

機能メニューの「国際電話発信」を利用して、「国番号」の入力を簡略化！→P.68、P.541

「国番号」はあらかじめ調べて登録しておいた中から選ぶだけの簡単操作、国際アクセス番号または「＋」も自動付加されます。

日本から海外へ電話をかける場合も、国際アクセス番号のかわりに「＋」の入力でOK！→P.68

たとえば、「＋33XXXXXXXXX」をダイヤルした場合は、「00913001033XXXXXXXX」に自動的に変換して発信します。

- 本FOMA端末には、簡単な操作で国際電話をかけるための機能（自動付加設定）が搭載されています。電話帳の登録方法や相手の滞在先などによって、電話のかけかたが異なります。
- 相手がFOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合、[通話キー]の代わりに[テレビ電話キー]を押すと、テレビ電話として発信されます。
- 電話帳の登録のしかたについては、P.103を参照してください。

相手の電話番号	電話帳の登録例		電話帳を利用した電話のかけかた		備考
			日本から電話をかける場合	海外から電話をかける場合	
日本国内の電話番号 （携帯・固定電話） 例） 090-XXXX-XXXX 03-XXXX-XXXX	相手の番号をそのまま登録 例） 090XXXXXXXX 03XXXXXXXX	⇨	電話帳から相手の番号を呼び出して[通話キー]を押す	電話帳から相手の番号を呼び出して[通話キー]を押す※2 ● 先頭の「0」が自動的に「+81」に置き換わって発信されます。	相手が海外でWORLD WINGを利用している場合も左記と同じ操作でかけられます。
	「+」と「国番号」を付けて登録※1 例） +8190XXXXXXXX +813XXXXXXXX	⇨	電話帳から相手の番号を呼び出して[通話キー]を押す	電話帳から相手の番号を呼び出して[通話キー]を押す	
海外の電話番号 （携帯・固定電話） 例） 01-XX-XX-XX-XX 93-XXX-XXXX	相手の番号をそのまま登録 例） 01XXXXXXXX 93XXXXXXX ● イタリアなど一部の国・地域の場合は、番号をそのまま登録せず、先頭に「+」と「国番号」を付けて登録してください（下記参照）。	⇨	①電話帳から相手の番号を呼び出す ②機能メニューから「国際電話発信」を選んで、国名を選ぶ ③[通話キー]を押す ● 電話番号の先頭に「国際アクセス番号」と「国番号」が追加されて発信されます。 ● 電話番号が「0」ではじまる場合は、先頭の「0」が「国際アクセス番号」と「国番号」に置き換わって発信されます。	**滞在国内の電話番号へかける場合** 電話帳から相手の番号を呼び出して[通話キー]を押す **滞在国外の電話番号へかける場合** ①電話帳から相手の番号を呼び出す ②機能メニューから「国際電話発信」を選んで、国名を選ぶ ③[通話キー]を押す ● 電話番号の先頭に「+」と「国番号」が追加されて発信されます。 ● 電話番号が「0」ではじまる場合は、先頭の「0」が「+」と「国番号」に置き換わって発信されます。	「国際電話発信」を利用する場合、あらかじめ「国名、国番号」／「国際アクセス名、国際アクセス番号」を登録しておく必要があります。 →P.69、P.542 お買い上げのときの設定 国番号設定：「日本」（国番号：81） 国際電話設定：「WORLD CALL」（国際アクセス番号：009130010）
	「+」と「国番号」を付けて登録※1 例） +331XXXXXXXX +3493XXXXXXX	⇨	電話帳から相手の番号を呼び出して[通話キー]を押す※3 ● 電話番号の「+」が自動的に国際アクセス番号に置き換わって発信されます。	電話帳から相手の番号を呼び出して[通話キー]を押す	

※1：電話番号の市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて登録します。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。また、日本の携帯電話、PHSの場合も先頭の「0」を除いて登録します。
※2：「国際ダイヤル設定」の「自動付加設定」を「自動付加」に設定している必要があります。→P.542
（お買い上げのときの設定は、自動付加設定：自動付加、国番号設定：日本（国番号：81））
※3：「国際ダイヤル設定」の「自動付加設定」を「自動付加」に設定している必要があります。→P.69
（お買い上げのときの設定は、自動付加設定：自動付加、国際電話設定：WORLD CALL（009130010））

電話帳を使って日本に電話をかける

滞在先から日本の一般電話、携帯電話に電話をかける場合、相手が電話帳に登録されていれば、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- 以下の操作は、電話帳に登録されている番号が「0」ではじまる場合にのみ有効です。※ また、あらかじめ、「国際ダイヤル設定」(P.542)の「自動付加設定」を「自動付加」および「日本」に設定しておく必要があります(お買い上げのときの設定)。
  ※:「0」の前に「*31#」／「#31#」をつけて登録している場合も有効です。
- 電話をかける相手が電話帳に登録されていない場合は、P.541の「滞在国以外(日本を含む)に電話をかける」の操作を行ってください。

1 電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた→P.114

2 [電話]または(●)[発信]を押す

先頭の「0」が、「＋」と日本の国番号「81」に置き換わり国際電話をかけるかどうか確認する画面が表示されます。

電話番号が「090XXXXXXXX」の場合
　「090XXXXXXXX」→「+8190XXXXXXXX」に置き換わり表示されます。

3 「発信」を選ぶ

操作2で表示された電話番号に国際電話がかかります。

操作2で置き換える前の番号にかける場合
　「元の番号で発信」を選ぶ

電話をかけるのを中止する場合
　「中止」を選ぶ

おしらせ

- 電話帳を使ってかけた場合のリダイヤルや発信履歴などからも、上記と同じ操作で国際電話をかけることができます。

滞在国以外(日本を含む)に電話をかける

滞在先から滞在国以外の一般電話、携帯電話に電話をかけます。

- よくかける相手先の国名と国番号を「国際ダイヤル設定」で登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。
- お買い上げのときは、「国際ダイヤル設定」に「日本」の国番号が登録されています。

■「国際ダイヤル設定」に登録されている国へ電話をかけるには

1 相手先の番号をダイヤルする

一般電話にかける場合は、市外局番－相手先電話番号をダイヤルします。日本の携帯電話、PHSにかける場合は、電話番号をそのままダイヤルします。

電話帳に登録されている相手先の番号を表示する場合

電話帳の検索のしかた→P.114

2 機能メニューから「国際電話発信」を選んで電話をかけたい国名を選ぶ

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国名として「日本」を選びます。

3 またはⓞ[発信]を押す

「＋」と「国番号」が追加されて国際電話がかかります(入力した電話番号が「0」ではじまる場合は、「0」が削除されます)。

■ イタリアなど一部の国・地域や「国際ダイヤル設定」に未登録の国へ電話をかけるには

- イタリアなど一部の国・地域に国際電話をかけるときは、市外局番の先頭の「0」が必要な場合があります。

1 待受画面表示中に、「＋」(0を1秒以上押す)－国番号－市外局番－相手先電話番号の順にダイヤルする

市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」(日本)をダイヤルしてください。

2 またはⓞ[発信]を押す

国際電話がかかります。

おしらせ

- iモードのサイト画面やメール詳細画面から「Phone To機能」を利用して滞在国以外(日本を含む)に電話をかける場合は、「電話発信」の画面(P.226)で「国際電話発信」を選び、国名を選んで「発信」を選んでください。元の電話番号に「＋」と「国番号」が付加されて発信されます(電話番号が「0」ではじまる場合は、「0」が削除されます)。なお、「国際ダイヤル設定」で国番号が登録されていない国に対しては、「Phone To機能」を利用して国際電話を発信できません。また、イタリアなど一部の国・地域にかけるときも、「Phone To機能」が利用できない場合があります。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号をダイヤルするだけで電話をかけることができます。

● 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、同じ滞在国内にいても、「電話帳を使って日本に電話をかける」(P.540)または「滞在国以外(日本を含む)に電話をかける」(P.541)の操作で日本への国際電話として電話をかけてください。

1 相手先の番号をダイヤルする

一般電話にかける場合は、市外局番－相手先電話番号をダイヤルします。

2 [発信キー]または◉[発信]を押す

電話がかかります。

テレビ電話をかける相手とお客様が、FOMAのテレビ電話に対応した通信事業者※1を利用している場合は、国際電話のダイヤル方法の後に[テレビ電話キー]を押して発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。※2
※1： 2004年10月現在、ドコモ(日本)、Hutchison3GUK(イギリス)、Hutchison3GHK(香港)の間で国際テレビ電話の通信が可能です。
※2： 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
※1・2：詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

簡単な操作で電話をかけられるようにする　＜国際ダイヤル設定＞

お買い上げ時	自動付加設定：自動付加　国番号設定：「日本」(国番号：81) 国際電話設定：「WORLD CALL」(009130010)

電話帳を使って日本に電話をかけるときの「自動付加」の設定を変更したり、よく国際電話をかける相手先の国名を登録します。

● 「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は「国際ダイヤル設定」を修正できません。
● 本機能で、日本国内から国際電話をかけるときに使用する国際アクセス番号を変更することもできます(国際電話設定)。→P.70

■ 自動付加について設定する(自動付加設定)

「自動付加」に設定すると、滞在国から電話帳を使って日本に国際電話をかけるときに、先頭の「0」が、「＋」と日本の国番号「81」に自動的に置き換わります。→P.540

● 「付加なし」に設定すると、日本国内から国際電話をかけるときの「自動付加」も行われなくなります。→P.68

1 [Menuキー](Menu)▶[各種設定]▶「ネットワーク設定」▶「国際ダイヤル設定」の順に選ぶ

2 「自動付加設定」を選ぶ

3 「自動付加」を選ぶ

付加しない場合
「付加なし」を選ぶ

4 「日本」を選ぶ

「国番号設定」に登録されている国名から選びます。国名の設定は、海外で本機能を利用して電話をかけるときのみ有効になります。

おしらせ

- 本機能は、海外から電話帳を使って、「0」ではじまる電話番号に電話をかける場合にのみ有効です。この条件を満たしている場合、操作4で「日本」以外の国を選ぶと、「電話帳を使って日本に電話をかける」(P.540)の操作では、操作4で選んだ国に国際電話として発信されます。ただし、本機能では先頭の「0」を削除してしまうため、イタリアなど一部の国・地域にかけるときはご利用できない場合があります。

■ 国番号を登録する(国番号設定)

よく国際電話をかける相手先の国番号と国名を登録します。国番号は3件まで登録できます。

1 (Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「国際ダイヤル設定」の順に選ぶ

2 「国番号設定」を選ぶ

3 <未登録>を選んで[編集]を押す

すでに登録されている項目を変更する場合
すでに登録されている項目を選んで[編集]を押す

すでに登録されている項目を1件削除する場合
削除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

すでに登録されている項目をすべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

4 国名称を入力する

国名称は全角で8文字、半角で16文字まで入力できます。
文字の入力のしかた→P.502

5 国番号を入力する

国番号は5桁まで入力できます。
国番号について→P.531

おしらせ

- 「自動付加設定」で「自動付加」が設定された国番号は削除できません。また、いずれかの国番号に「自動付加」が設定されているときは「全削除」を行えません。

電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して、電話番号を変えることなく、いつもどおりに電話を受けることができます。

1 **電話がかかってきたら[通話キー]または● [通話]を押して、電話を受ける**

テレビ電話の場合
テレビ電話で出るときは、[テレビ電話キー]を押す
代替画像で出るときは、[通話キー]または●[通話]を押す

音声電話着信の操作について→P.73
テレビ電話着信の操作について→P.91

相手からの電話のかけかた

■ 日本から電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本FOMA端末に電話をかけてもらうには、日本国内にいるときと同様にご自分の電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

090-XXXX-XXXX
または
080-XXXX-XXXX

■ 日本以外から電話をかけてもらう場合

日本以外から電話をかけてもらうには、滞在先が日本国内または海外にかかわらず、日本の国番号「81」を指定してダイヤルしてもらう必要があります。

国際アクセス番号※-81(日本の国番号)-90-XXXX-XXXX
または
80-XXXX-XXXX
(ご自分の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号)

※携帯電話からかけてもらう場合、携帯電話によっては、国際アクセス番号の代わりに「+」をダイヤルする場合もあります。

ネットワーク切替

ネットワークの接続切り替え方法を設定する

お買い上げ時	自動

本FOMA端末のネットワークを受信状態によって次のように切り替えるように設定できます。

設定項目	利用できるネットワーク				備考
	FOMA	3G	GPRS	GSM	
自動	○	○	○	○	海外では3Gネットワーク、GSMネットワーク、GPRSネットワークへ自動的に切り替えます。日本国内では、FOMAネットワークに接続します。
3G	○	○	×	×	海外では3Gネットワークのみに接続します。日本国内では、FOMAネットワークに接続します。
GSM	×	×	○	○	GSMネットワークおよびGPRSネットワークのみを利用します。

● 日本国内でFOMAネットワークを利用するときは、「自動」(推奨)または「3G」に設定してください。
●「セルフモード」設定中に本機能の設定を行うことはできません。

1 (Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「ネットワーク切替」の順に選ぶ

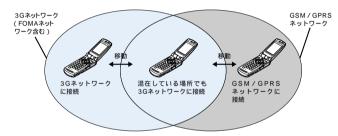
待受画面表示中は、(MULTI)を1秒以上押しても同様の操作となります。

2 設定したい項目を選ぶ

おしらせ

- 本機能の設定を変更すると「ネットワーク接続モード選択」(下記)の設定が「オート」に変更されます。
- 本機能の設定を変更すると、設定に応じて接続先の通信事業者の再検索が行われ、接続先が切り替わります。このとき、電波の状態やネットワークの状況によっては、切り替えに時間がかかったり、接続先が切り替わらない場合もあります。

ネットワーク切替を自動に設定したとき

本機能を「自動」に設定すると、3Gネットワーク(FOMAネットワークを含む)での通信サービスを優先します。3Gネットワークのサービスエリア外に移動した場合は、自動的にGSM/GPRSネットワークでの通信サービスに切り替わります※。また、GSM/GPRSネットワークから3Gネットワークのサービスエリア内に戻った場合も、自動的に3Gネットワークでの通信サービスに切り替わります※。

※:ネットワークの切り替え時は電波の検索に時間がかかることがあり、その間は「圏外」が表示される場合があります。

ネットワーク接続モード選択

通信事業者の検索方法を設定する

お買い上げ時	オート

利用中のネットワークが圏外になった場合に、自動的にネットワークを検索して他の通信事業者に接続し直します。
通信事業者の検索を自動で行わず、接続する通信事業者を手動で切り替えるように設定したり、現在の接続先とは異なる通信事業者を検索して接続し直すこともできます。

- 自動検索の際に優先的に接続する通信事業者を、「優先ネットワーク設定」(P.547)であらかじめ設定しておくことができます。
- 電波の状態やネットワークの状況により、本機能を設定できない場合があります。

接続する通信事業者を手動で切り替える

● 自動的にネットワークを検索および接続することをやめて、接続する通信事業者を手動で切り替えるように設定します。設定後はネットワークの検索が行われ、候補の中から接続したい通信事業者を選びます。

1 **(Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「ネットワーク接続モード選択」の順に選ぶ**

2 **「マニュアル」を選ぶ**

自動的にネットワークを検索して、利用可能な通信事業者が一覧表示されます。
「ネットワーク切替」で「3G」が設定されている場合は3Gネットワークのみを検索し、「GSM」が設定されている場合はGSM／GPRSネットワークのみを検索します。

すでに「マニュアル」に設定されていた場合
現在の接続先の通信事業者名が表示されます。接続先を変更するときは、「ネットワーク再検索」を選んで操作3に進みます。

「オート」に戻す場合
「オート」を選びます。「マニュアル」に設定されているときに「オート」を選ぶと、自動的にネットワークの検索が行われ、接続先が切り替わります。

3 **接続したい通信事業者を選ぶ**

⊗は、利用できない通信事業者の場合に表示されます。

表示されている通信事業者の一覧を更新する場合
[更新]を押す

おしらせ

● 本機能を「マニュアル」に設定していても、「ネットワーク切替」(P.544)の設定を変更すると、自動的に「オート」に設定されます。
● 「ネットワーク切替」(P.544)が「自動」に設定されている場合は、「マニュアル」に設定できません。
● 「マニュアル」で設定した通信事業者が圏外になった場合は、待受画面に「Select net」と表示されます。
● 操作3で選んだ通信事業者へ接続できなかった場合、設定した内容が反映されないことがあります。

接続先のネットワークを再検索する

本機能を「オート」に設定しているときに通信事業者が適切に検出できなかった場合や、「マニュアル」に設定しているときに通信事業者を切り替えたい場合に、ネットワークを再検索して接続先を切り替えます。

1 **(Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「ネットワーク接続モード選択」の順に選ぶ**

2 **「ネットワーク再検索」を選ぶ**

ネットワークの再検索を行います。「ネットワーク切替」で「3G」が設定されている場合は3Gネットワークのみを検索し、「GSM」が設定されている場合はGSM／GPRSネットワークのみを検索します。

「オート」に設定されている場合
自動的に接続先が切り替わります。

「マニュアル」に設定されている場合
利用可能な通信事業者が一覧表示されるので、接続したい通信事業者を選びます。

優先的に接続する通信事業者を設定する

本FOMA端末は、国際ローミング開始時やネットワークエリア外に移動したときに自動的に通信業者を検索して接続します。このときに優先的に接続したい通信事業者を優先ネットワークリストに登録し、優先順位を設定できます。

優先ネットワークリストに通信事業者を追加する

FOMA端末にあらかじめ登録されている通信事業者の一覧から選ぶことも、新たに登録することもできます。

- 優先ネットワークリストには、最大20件までの通信事業者を登録できます。
- 登録する通信事業者ごとに、「3G」または「GSM」の種別を設定できます。

■ FOMA端末に登録されている通信事業者の一覧から選んで追加する

1 (Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「優先ネットワーク設定」の順に選ぶ

2 機能メニューから「リストから登録」を選ぶ

3 優先ネットワークリストに追加したい通信事業者名を選ぶ

国名で通信事業者を検索する場合

[検索]を押し、表示された国名リストで国名を選ぶ

[検索]を押した後さらに[検索]を押して、国名を入力することもできます。

4 通信事業者名を確認して◉[確定]を押す

国名　　　　　　：国名が表示されます。
オペレータ名　　：通信事業者名が表示されます。
オペレータコード：通信事業者コードが表示されます。

5 ネットワークの種別を設定する

3G　：選んだ通信事業者を3Gネットワークとして設定します。
GSM：選んだ通信事業者をGSMネットワークとして設定します。GPRSネットワークの通信事業者の場合もこちらを選んでください。

6 [完了]を押して、「YES」を選ぶ

続けて通信事業者を追加登録する場合

機能メニューを表示して、操作したい項目を選ぶ

■ FOMA端末に登録されていない通信事業者を登録する

1 (Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「優先ネットワーク設定」の順に選ぶ

2 機能メニューから「マニュアル登録」を選ぶ

次ページへつづく

3 それぞれの項目を設定して◉[確定]を押す

通信事業者を特定するために以下の項目を設定してください。
国番号(MCC)　　　　　：国番号(3桁の数字)を設定します。
ネットワーク番号(MNC)：ネットワーク番号(2〜3桁の数字)を設定します。

4 ネットワークの種別を設定する

3G　：選んだ通信事業者を3Gネットワークとして設定します。
GSM：選んだ通信事業者をGSMネットワークとして設定します。GPRSネットワークの通信事業者の場合もこちらを選んでください。

5 [完了]を押して、「YES」を選ぶ

続けて通信事業者を追加登録する場合
機能メニューを表示して、操作したい項目を選ぶ

現在接続中の通信事業者を優先ネットワークリストに登録する

1 (Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「優先ネットワーク設定」の順に選ぶ

2 機能メニューから「在圏ネットワーク登録」を選ぶ

3 [完了]を押して、「YES」を選ぶ

続けて通信事業者を追加登録する場合
機能メニューを表示して、操作したい項目を選ぶ

おしらせ

- 現在接続している通信事業者がすでに優先ネットワークに登録されている場合、この操作はできません。
- 「セルフモード」設定中は設定することができません。

優先ネットワークリストの優先順位を設定する

1 (Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「優先ネットワーク設定」の順に選ぶ

優先ネットワーク設定画面には、接続する優先順位が高い順に通信事業者が表示されます。
登録されている通信事業者の詳細を表示する場合
表示したい通信事業者を選ぶ
国名、通信事業者名(オペレータ名)、ネットワーク番号(オペレータコード)、ネットワーク種別(Access Technology)が表示されます。
登録されている通信事業者を1件削除する場合
削除したい通信事業者を反転表示させて、機能メニューから「1件削除」を選ぶ
登録されている通信事業者をすべて削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

通信事業者名の右側には、ネットワーク種別を示すアイコンが表示されます。各アイコンの意味は以下のとおりです。
FOMA：FOMAネットワーク(国内)
3G：3Gネットワーク(海外)
GSM：GSM／GPRSネットワーク(海外)

2 優先順位を設定する通信事業者を反転表示させて機能メニューから「優先順位変更」を選ぶ

3 変更後の優先順位を選ぶ

4 [完了]を押して、「YES」を選ぶ

続けて優先順位を変更する場合
操作2～3を繰り返す

おしらせ

- 電波の状態やネットワークの状況などによっては、「ネットワーク接続モード選択」による通信事業者の検索時に、本機能で設定した優先順位どおりに通信事業者が優先されないこともあります。
- 「ネットワーク接続モード選択」による通信事業者の検索時は、3Gネットワークの通信事業者がGSM／GPRSネットワークの通信事業者よりも優先されます。

ネットワーク名表示設定

ローミング中の通信事業者名の表示について設定する

お買い上げ時	表示あり

国際ローミング中に、現在接続している通信事業者名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 (Menu)▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「ネットワーク名表示設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

待受画面に通信事業者名を表示する場合
「表示あり」を選ぶ

待受画面に通信事業者名を表示しない場合
「表示なし」を選ぶ

おしらせ

- 本機能は国際ローミング中にのみ有効です。国内で利用しているときは、本機能の設定にかかわらず、待受画面には通信事業者名が表示されません。

ローミング設定

ローミング中の動作について設定する

お申し込み	不要	月額使用料	無料

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときの動作を設定します。

- ネットワークサービスの詳細については、『国際ローミングサービスマニュアル(FOMA N900iG)』をご覧ください。

ローミングガイダンスを開始する　＜ローミングガイダンス設定＞

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

1 **(Menu)▶ ▶「ローミング設定」▶「ローミングガイダンス設定」の順に選ぶ**

2 **「ローミングガイダンス開始」を選ぶ**

ローミングガイダンスを停止する場合
　「ローミングガイダンス停止」を選ぶ
設定状態を確認する場合
　「ローミングガイダンス設定確認」を選ぶ

おしらせ

- ローミングガイダンス設定は、一部のサービスエリアでは設定できない場合があります。

ローミング中は着信を受け付けないように設定する　＜ローミング時着信規制＞

ローミング中に着信を受け付けないように設定します。テレビ電話の着信のみを規制するか、音声電話やテレビ電話を含めすべての着信を規制するかを選べます。

1 **(Menu)▶ ▶「ローミング設定」▶「ローミング時着信規制」の順に選ぶ**

2 **「ローミング時着信規制開始」を選ぶ**

ローミング時着信規制を停止する場合
　「ローミング時着信規制停止」を選んで、ネットワーク暗証番号を入力する
設定状態を確認する場合
　「ローミング時着信規制確認」を選ぶ

3 **設定したい項目を選ぶ**

すべての着信を規制する場合
　「全着信規制」を選ぶ
テレビ電話の着信のみを規制する場合
　「データ呼着信規制」を選ぶ

4 **ネットワーク暗証番号を入力する**

ネットワーク暗証番号について→P.152

海外用サービス

ローミング中にネットワークサービスを操作する

海外から、留守番電話サービスや転送でんわサービスの一部の機能を利用することができます。また、ローミングガイダンスの開始、停止の操作を行うこともできます。

- 留守番電話(海外)や、転送でんわ(海外)を利用するには、あらかじめ「留守番電話サービス」(P.446)、「転送でんわサービス」(P.450)のご契約が必要です。また、あらかじめ日本国内で「遠隔操作設定」の設定が必要です。詳しくは『国際ローミングサービスマニュアル(FOMA N900iG)』をご覧ください。
- 「圏外」が表示されているところで、海外用サービスの操作はできません。
- 海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。
- ネットワークサービスの詳細については、『国際ローミングサービスマニュアル(FOMA N900iG)』をご覧ください。

滞在先で留守番電話サービスの操作をする　＜留守番電話(海外)＞

留守番電話の開始／停止および伝言メッセージ再生の操作ができます。

1 **(Menu)▶ ▶「海外用サービス」▶「留守番電話(海外)」の順に選ぶ**

2 **実行したい操作を選ぶ**

操作を実行するかどうかのメッセージが表示されます。

留守番電話サービスを開始する場合
「留守番サービス開始」を選ぶ

留守番電話サービスを停止する場合
「留守番サービス停止」を選ぶ

伝言メッセージを再生する場合
「留守番メッセージ再生」を選ぶ

留守番電話サービスの設定を変更する場合
「留守番サービス設定」を選ぶ
「留守番サービス設定」では、不在案内機能や応答メッセージの変更などを行えます。

3 **「YES」を選ぶ**

このあとは音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

滞在先で転送でんわサービスの操作をする　＜転送でんわ(海外)＞

転送でんわサービスの開始／停止の操作ができます。

1 **(Menu)▶ ▶「海外用サービス」▶「転送でんわ(海外)」の順に選ぶ**

2 **実行したい操作を選ぶ**

操作を実行するかどうかのメッセージが表示されます。

転送でんわサービスを開始する場合
「転送サービス開始」を選ぶ

転送でんわサービスを停止する場合
「転送サービス停止」を選ぶ

3 **「YES」を選ぶ**

このあとは音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

滞在先でローミングガイダンスの操作をする　＜ローミングガイダンス(海外)＞

ローミングガイダンスの開始／停止の操作ができます。詳しくは『国際ローミングサービスマニュアル(FOMA N900iG)』をご覧ください。

1 **(Menu)▶ ▶「海外用サービス」▶「ローミングガイダンス(海外)」の順に選ぶ**

ローミングガイダンス(海外)を設定するかどうかのメッセージが表示されます。

2 **「YES」を選ぶ**

このあとは音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

iモード中に電話がかかってきたときの応答方法を設定する

お買い上げ時	通常着信

iモード中に音声電話がかかってきたときに、電話を受けるか拒否するかを設定できます。

●「通常着信」を設定した場合、iモード中に音声電話がかかってくると、自動的に着信を知らせる画面に切り替わります。
●「着信拒否」を設定した場合、iモード中に音声電話がかかってくると、着信を知らせる画面に切り替わらずに不在着信として着信履歴に記憶され、待受画面に「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。

1 (Menu)▶各種設定▶「着信」▶「iモード中着信設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

電話を受ける場合
「通常着信」を選ぶ
着信を受けずに不在着信とする場合
「着信拒否」を選ぶ

おしらせ

● 国内で利用している場合や海外で3Gネットワークを利用している場合は、本機能の設定にかかわらず、マルチアクセス機能が働きます。詳しくはP.404を参照してください。

パケット通信中に電話がかかってきたときの応答方法を設定する

お買い上げ時	通常着信

パケット通信中に音声電話がかかってきたときに、電話を受けるか拒否するかを設定できます。

●「通常着信」を設定した場合、パケット通信中に音声電話がかかってくると、自動的に着信を知らせる画面に切り替わります。
●「着信拒否」を設定した場合、パケット通信中に音声電話がかかってくると、着信を知らせる画面に切り替わらずに不在着信として着信履歴に記憶され、待受画面に「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。

1 (Menu)▶各種設定▶「着信」▶「パケット通信中着信設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

電話を受ける場合
「通常着信」を選ぶ
着信を受けずに不在着信とする場合
「着信拒否」を選ぶ

おしらせ

● 国内で利用している場合や海外で3Gネットワークを利用している場合は、本機能の設定にかかわらず、マルチアクセス機能が働きます。詳しくはP.404を参照してください。

●付録

メニュー一覧

- ☆のついている機能はほかの機能が起動中は利用できません。
- ★のついている機能は本FOMA端末では利用できません。
- ▽のついている機能は通話中のみ表示されます。
- 長押は、画面の表示が変わるまで長押の左のボタンを押し続けるという意味を表します。

メニュー名称		メニュー番号(ボタン操作)	参照ページ
メール		—	P.242
iモード		—	P.198
iアプリ		—	P.310
各種設定			
着信	着信音量	5 0	P.126
	着信音選択	1 3	P.124
	☆SRS_WOW設定	—	P.127
	バイブレータ	5 4	P.127
	着信イルミネーション	8 9	P.147
	マナーモード選択	2 0	P.133
	電話帳画像着信設定	—	P.143
	着信アンサー設定	5 8	P.74
	クローズ動作設定	1 8	P.75
	iモード中着信設定	6 9	P.552
	パケット通信中着信設定	—	P.552
	☆メール／メッセージ鳴動	6 8	P.131
	☆呼出時間表示設定	9 0	P.167
	確認機能設定	6 5	P.82
通話	ノイズキャンセラ	7 6	P.72
	通話品質アラーム	7 5	P.130
	再接続機能	7 7	P.71
	通話中イルミネーション	—	P.148
	保留音選択	—	P.80
TV電話	画像品質設定	—	P.95
	発信時自画像送信	—	P.95
	画像選択	—	P.96
	音声自動再発信設定	—	P.98
	遠隔監視設定	—	P.98
	TV電話画面設定	—	P.97
ディスプレイ	画面表示設定	5 6	P.140
	照明設定	7 0	P.145
	☆配色パターン	8 6	P.146
	☆イメージウィンドウ	9 3	P.143
	☆フォント設定	6 6	P.148
	デスクトップ	6 3	P.135
	☆Language	1 5	P.150
	☆オリジナルメニュー登録	5 2	P.425
	メニュー画面設定	5 7	P.425
	☆ピクチャ表示設定	—	P.339
	オート表示	4 7	P.113
	表示アイコン説明	3 6	P.35
時間	通話時間	6 1	P.430
	積算リセット	6 0	P.430
	通話中時間表示	4 8	P.430

メニュー名称		メニュー番号(ボタン操作)	参照ページ
時計	ローカル時計設定	3 1	P.57
	時計表示設定	3 9	P.149
	リモート時計設定	—	P.58
	アラーム通知設定	—	P.409
ロック／セキュリティ	☆オールロック	—	P.156
	☆PIMロック	—	P.158
	☆セルフモード	—	P.157
	☆ダイヤル発信制限	—	P.159
	☆登録外着信拒否	—	P.168
	★FDN設定	—	—
	非通知着信設定	1 0	P.166
	端末暗証番号変更	2 9	P.153
	PIN設定	—	P.153
	☆シークレットモード	4 0	P.161
	☆シークレット専用モード	4 1	P.161
アプリケーション通信設定	☆接続待ち時間設定	—	P.227
	☆iモード問い合わせ設定	—	P.295
	☆接続先選択	8 1	P.228
	☆SMS center設定	—	P.307
	☆証明書	—	P.230
iアプリ設定	☆ソフト情報表示設定	—	P.314
	☆α照明設定	—	P.318
	☆αバイブレータ	—	P.318
	☆αイメージウィンドウ	—	P.318
	☆待受画面終了	—	P.327
外部オプション	イヤホン切替	5 1	P.131
	オート着信	9 4	P.436
ネットワーク設定	☆プレフィックス設定	—	P.66
	☆国際ダイヤル設定	—	P.69、P.542
	ネットワーク接続モード選択	—	P.545
	☆優先ネットワーク設定	—	P.547
	ネットワーク名表示設定	—	P.549
	☆ネットワーク切替	—	P.544
その他	ボタン確認音	3 0	P.129
	充電確認音	—	P.130
	電池残量	7 1	P.55
	サイドボタン操作	* 長押	P.160
	☆文字入力方式	3 5	P.520
	☆履歴表示設定	—	P.160
	ポーズダイヤル	8 4	P.65
	☆サブアドレス設定	—	P.71
	ニューロポインター設定	—	P.437
	USBモード設定	—	P.393
	☆設定リセット	2 3	P.440

メニュー名称		メニュー番号（ボタン操作）	参照ページ
その他	☆端末初期化	－	P.583
	☆ソフトウェア更新	－	P.586
マルチメディア			
イメージ		46	P.338
iモーション		－	P.349
メロディ		16	P.365
キャラ電		－	P.359
アクセサリ			
カメラ		－	P.170
スケジュール		45	P.413
めざまし時計		44	P.412
ToDo		95	P.421
テキストメモ		42	P.432
電卓		85	P.431
メモの再生／消去			P.85
伝言メモ		55	P.83
待受中音声メモ		43	P.429
▽通話中音声メモ		長押	P.429
☆おしゃべり機能		91	P.128
☆赤外線通信		79	P.393
☆FOMAカード操作		－	P.118
電話帳画像転送		－	P.402
バーコードリーダー		－	P.193
☆SD-PIM		－	P.385
辞典		－	P.434
サービス			
サービス問い合わせ		25	P.448
発信者番号通知		17	P.58
留守番電話		－	P.446

メニュー名称	メニュー番号（ボタン操作）	参照ページ
キャッチホン	－	P.448
転送でんわ	－	P.450
迷惑電話ストップ	－	P.452
番号通知お願いサービス	－	P.452
着信動作選択	－	P.454
通話中着信設定	－	P.455
遠隔操作設定	－	P.456
デュアルネットワーク	－	P.453
英語ガイダンス	－	P.454
海外用サービス	－	P.550
ローミング設定	－	P.549
追加サービス	－	P.456
サービスダイヤル	－	P.454
★規制	－	－
電話帳		
電話帳登録	－	P.103
電話帳検索	－	P.114
電話帳登録件数	22	P.120
電話帳便利機能	62	P.109
☆電話帳指定設定	12	P.164
グループ設定	26	P.108
ユーザデータ		
電話番号表示	0	P.426
着信履歴	24	P.75
発信履歴	－	P.75
メールメンバー	97	P.253
定型文	38	P.514
ユーザ辞書	82	P.518
ダウンロード辞書	－	P.519

用語一覧

本書で使用しております用語についてはこちらをご覧ください。

- **3G**
  3Gとは、ITU(国際電気通信連合)が定めた世界標準規格(IMT-2000)に準拠している第3世代移動通信システムの総称です。近年では、日本国内のFOMAをはじめ、世界各国に普及が進んでいます。
- **APN**
  Access Point Nameの略です。接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別します。「mopera.ne.jp」のような文字列で表します。
- **cid**
  FOMA端末にあらかじめ登録したAPNの登録番号です。FOMA端末では、1から10までの10件を登録できます。FOMA端末内の電話帳のメモリ番号に相当します。
- **DNS**
  Domain Name System(Service)の略です。「nttdocomo.co.jp」のような人間が理解しやすい名前を、コンピュータが管理しやすい数字で表したアドレスに変換するシステム、またはそのサービスのことです。
- **DPOF**
  Digital Print Order Formatの略です。画像のプリント枚数などの指定情報をminiSDメモリーカードに記録することができます。
- **DTMF信号**
  Dual Tone Multi Frequency信号の略です。プッシュ式の電話機などで、ボタンを押すたびに発信される音のことです。プッシュ信号、プッシュ音、トーン信号と呼ばれることもあります。
  相手の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- **GPRS**
  General Packet Radio Serviceの略です。通信速度最大115kbpsのパケット通信サービスで、ヨーロッパや中国を中心に普及しています。
- **GSM**
  Global System for Mobile Communicationsの略です。
  ヨーロッパで規格が統一された携帯電話機の標準規格で、世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動体通信システムです。
- **IrDA**
  Infrared Data Associationの略です。赤外線を用いたデータ通信の規格の制定、促進を行う国際的な組織です。
- **IrMC**
  Ir Mobile Communicationsの略です。IrDA(Infrared Data Association)が定めた規格で、電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ等のデータ交換方法が定められています。また、機器間の通信には、OBEX規格を使用することが規定されています。
- **MCC**
  MCCとは、Mobile Country Codeの略です。 3桁の固有の番号で国を識別するため、ITU E.212により定義されています。
- **MNC**
  MNCとは、Mobile Network Codeの略です。2～3桁の固有の番号で、MCCにより指定された国の中でネットワークを識別するため、ITU E.212により定義されています。
- **PIM**
  「電話帳」、「スケジュール」、「テキストメモ」、「電話番号表示」、「ブックマーク」、「メール」などの個人情報管理プログラム(Personal Information Manager)のことです。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

- **PIN1コード、PIN2コード**
  PIN1コードおよびPIN2コードは、FOMAカードを不正に使用されないための4～8桁の番号（コード）です。
  PIN1コードは、FOMA端末の電源を入れたときに、使用者を確認するための暗証番号です。
  PIN2コードについては、本端末には利用する機能はございません。
- **PINロック解除コード**
  PIN1コードおよびPIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。
- **QoS**
  Quality of Serviceの略でネットワークのサービス品質のことです。FOMA端末のパケット通信のQoS設定では、どんな速度でも接続するか、あるいは最高速度（上り64kbps、下り384kbps）のみ接続するかを設定できます（接続後の速度は可変します）。
- **TLS／SSL通信**
  TLSとはTransport Layer Securityの略、SSLとはSecure Sockets Layerの略で、認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。TLS／SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすまし※や書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などの個人情報をより安全にやり取りできるようにしています。
  ※：第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。
- **USBストレージメモリ**
  USBコネクタに接続して使用する、持ち歩き可能な記憶媒体の総称です。
  携帯電話をUSBコネクタに接続してminiSDメモリーカードをストレージメモリとして使用することができます。
- **W-TCP**
  FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。
- **書き換え**
  インターネットを通じてサーバと情報をやりとりするときに第三者が勝手に情報の内容を変えてしまうことです。
- **キャッシュ**
  表示したインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶するFOMA端末内の場所です。
- **バイト**
  データ量を表すときの単位です。半角1文字分が1バイト、全角1文字分が2バイトとしてカウントされます。FOMA端末では、文字入力画面で入力できる残文字数をバイト数で表示します（ただし、SMS本文入力画面では入力された文字数を表示します）。バイトの単位には「K」（キロ）や「M」（メガ）なども使用され、1,024バイト＝1Kバイト、1,024Kバイト＝1Mバイトとなります。
- **パソコンの管理者権限**
  Windows 2000およびWindows XPのシステムのすべてにアクセスできる権限のことを指しています。Windows 2000、Windows XPの場合、この権限を持たないユーザはシステムへのアクセスが制限されているため、ドライバのインストールなどができません。
  Windows 2000では、「Administrator権限」と呼びます。Windows XPでは、「コンピュータの管理者」または「Administrator権限」と呼びます。

ダイヤルボタンの文字割当て一覧（かな方式）

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	?!−/¥&＊()#゛゜ ❤☎※1	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6 は mno	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0 わをん +−	わをんーゎ	ワヲンーヮ※2	────	0
＊ http://	────※3	────	.ne.jp .co.jp .ac.jp ※4 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp	＊ .ne.jp .co.jp .ac.jp ※4 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp
# ゛@/ マナー	゛ ゜、。・！？※5	゛ ゜、。・！？※5	.@/!?(),-_:'~※6&\	#.@/!?(),-_:'~※6&\

※1：SMS本文入力時のみ有効です。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「❤」「☎」は入力できます。また、記号は半角文字として表示されますが、「❤」「☎」は常に全角文字として表示されます。
※2：「ワ」の小文字は全角入力のときに入力できます。
※3：「漢字ひらがな入力モード」で（＊）を押すと「区点入力モード」（P.517）に切り替わります。
※4：全角に切り替えた場合は表示されません（数字入力モードの「＊」は除く）。
※5：「漢字ひらがな入力モード」と全角の「カナ入力モード」の場合は、その前の文字に「゛」「゜」をつけることができるときだけ「゛」「゜」が表示されます。ユーザ辞書の読み入力（P.518）とFOMAカードへの電話帳登録のフリガナ入力（P.106）のときは「、」「。」「・」「！」「？」は入力できません。
※6：「全角入力モード」のときは「￣」となります。
（網掛け）：小文字は次の2つの方法で入力できます。
・大文字で入力した後に（小文字切替ボタン）を押して小文字に変換する。
・機能メニューで「小文字切替」を行った後に入力する。

ダイヤルボタンの文字割当て一覧（T9方式）

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード
1 あ	あ行、1	ア行、1
2 か ABC	か行、2	カ行、2
3 さ DEF	さ行、3	サ行、3
4 た GHI	た行、4	タ行、4
5 な JKL	な行、5	ナ行、5
6 は mno	は行、6	ハ行、6
7 ま PQRS	ま行、7	マ行、7
8 や TUV	や行、8	ヤ行、8
9 ら WXYZ	ら行、9	ラ行、9
0 わをん +−	わ を ん ゎ ー、0	ワ ヲ ン ヮ※3 ー、0
# ゛@/ マナー	※1、※2	※1、※2

・「英字入力モード」、「数字入力モード」の文字割当ては「かな方式（モード1）」の文字割当てを参照してください。
→上記
・FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力、「ユーザ辞書」の読み入力時には、数字候補は表示されません。
※1：読み入力中は、「゛」「゜」（濁点、半濁点）がついた変換候補の切り替えを行います。
※2：読みおよび文字の確定後は、かな方式（モード1）と同じように「゛」「゜」「、」「。」「・」「！」「？」が表示されます。ただし、「゛」「゜」（濁点、半濁点）は、その前の文字につけることができるときだけ表示されます。
※3：「ワ」の小文字は全角入力のみ入力できます。

ダイヤルボタンの文字割当て一覧（2タッチ方式）

■ 全角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	か	き	く	け	こ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	さ	し	す	せ	そ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	た	ち	つ っ	て	と	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	な	に	ぬ	ね	の	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z z	？	！	―	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆		※2 ☎	
	8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	＃		※2 ♥	※1
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ ゎ	を	ん	※3 ゛ 、	※3 ゜ 。	6	7	8	9	0

■ 半角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ ｧ	ｲ ｨ	ｳ ｩ	ｴ ｪ	ｵ ｫ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ ｯ	ﾃ	ﾄ	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	\	&		※2 ☎	
	8	ﾔ ｬ	(	ﾕ ｭ	)	ﾖ ｮ	*	#		※2 ♥	※1
	9	ﾗ @	ﾘ /	ﾙ -	ﾚ _	ﾛ :	1 .ne.jp	2 .co.jp	3 .ac.jp	4 @docomo.ne.jp	5
	0	ﾜ ~	ｦ '	ﾝ	ﾞ ,	ﾟ .	6 www.	7 .com	8 .html	9 http://	0 https://

・ FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力モードでもカタカナ入力になります。

※1 ：［8］［0］を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。また、大文字を入力した後に［ ］を押して小文字に切り替えることもできます。
※2 ：「テキストメモ」や「定型文」の登録など、「絵文字入力」ができるときだけ使えます。また、常に全角文字として入力されます。SMS本文入力時は、「絵文字入力」はできません。「☎」「♥」は入力できます。
※3 ：「全角入力モード」の場合は、「゛」「゜」をつけることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。そのほかの文字に「゛」「゜」を入力するとスペースが入力されます。
［灰色］：スペースが入力されます。

記号・特殊文字一覧

■ 全角記号

、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ ´
｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々
〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ‖ ｜ … ‥
‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝
〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ －
± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂
♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃ ＆
＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■
△ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓 ∈
∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ￢ ⇒ ⇔
∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≪ ≫ √
∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ ♯ ♭ ♪ † ‡
¶ ◯ ゎ ゐ ゑ ヮ ヰ ヱ ヴ ヵ ヶ Α

Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν
Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α
β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν
ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω А
Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л
М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч
Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г
д е ё ж з и й к л м н о
п р с т у ф х ц ч ш щ ъ
ы ь э ю я ─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├
┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗ ┣ ┳
┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸
╂

次ページへつづく

■ 特殊記号

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ
Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧
㌃ ㌶ ㍑ ㍗ ㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝
㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 № ㏍ ℡ ㊤
㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ≡
∫ ∮ ∑ √ ⊥ ∠ ∟ ⊿ ∵ ∩ ∪

■ 半角記号

! ” # $ % & ’ ( ) * + ,
- . / : ; < = > ? @ [¥
] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､
･ ｰ ﾞ ﾟ

おしらせ

● 「特殊記号」は、iモードメール以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示できないことがあります。

■ 変換記号

「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示され、そこから記号を入力することができます。また、次のような記号名をひらがなで入力して記号に変換することもできます。

記号名（入力文字）	記号
あっと、あっとまーく	＠
いこーる	＝
えん	￥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】 ‘ ’“ ”() 〈〉 [] {} ｢｣
から	〜
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	△▲▽▼

記号名（入力文字）	記号
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
たす	＋
どう	ヽヾゝゞ〃々
ぱーせんと	％
ひく	−
ひしがた	◇◆
ほし	☆★
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
わる	÷

付録

絵文字・顔文字一覧

■ 絵文字1

■ 絵文字2

おしらせ

- メールの本文などに絵文字を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字が正しく表示されないことがあります。また、受信側がiモード端末であっても、新絵文字対応機種でない場合は、絵文字が正しく表示されないことがあります。

■ 顔文字

「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると顔文字の候補が表示され、そこから顔文字を入力することができます。また、次のような意味をひらがなで入力して顔文字に変換することもできます。

意味（入力文字）	顔文字
ありがと ありがとう	m(__)m
ばんざい	＼(^O^)／
わーい	(^O^)
おーい	(^O^)／
ぶい	(^^)v
ぎゃはは	(^Q^)/^
あは	(o^o^o)
にこ	(^-^)
にこ	(*^_^*)
ちゅ	(^3^)/
ちゅ	(^ε^)-☆Chu!!
わくわく	o(^-^)o
ういんく	(^_-)
さよなら	(^_^)/~
がんば	p(^^)q
ね	(^.^)b
ぽりぽり	(^^ゞ
ひやあせ	(^o^;
あせあせ	(;^_^A
びくっ	(*_*)
どき	(◎-◎;)
え	(@_@;)
めがてん	(・・;)
はてな	(・・?)
きらーん	(☆。☆)

意味（入力文字）	顔文字
しくしく	(T_T)
さよなら	(T_T)/~
いたた	(>_<)
えーん	(;_;)
なぜ	(?_?)
がーん	(￣□￣;)!!
えへん	(￣^￣)
む	(－_－メ)
いかり	(`´)
むか	(;-_-+
こそこそ	(･_･|
じーっ	(-_-)
きこえない	|(-_-)|
こまったもんだ	(￣～￣)ξ
ぶたー	)^o^(
こあら	(－Q－)
いっぷく	(^!^)y~
いっぷく	(^.^)y-~~~
ほし	☆彡
ねてる	(-_-)zz
ねむい	＼(~o~)／
めも	φ(..)
うん	(°_°)(。_。)
かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)
ども	＼(^_^)(^_^)／

定型文一覧

■ フォルダ1（固定定型文）

No	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
2	ありがとう	ｱﾘｶﾞﾄｳ
3	おめでとう！	ｵﾒﾃﾞﾄｳ!
4	時間だよ！	ｼﾞｶﾝﾀﾞﾖ!
5	もう少し待ってて	ﾓｳｽｺｼﾏｯﾃﾃ
6	今着いた！	ｲﾏﾂｲﾀ!
7	予定変更！	ﾖﾃｲﾍﾝｺｳ!
8	どこにいるの？	ﾄﾞｺﾆｲﾙﾉ?
9	がんばってね	ｶﾞﾝﾊﾞｯﾃﾈ
0	なにしてるの？	ﾅﾆｼﾃﾙﾉ?

■ フォルダ2（固定定型文）

No	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
2	いつも大変お世話になります	ｲﾂﾓﾀｲﾍﾝｵｾﾜﾆﾅﾘﾏｽ
3	お疲れさまです	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
4	至急確認ください	ｼｷｭｳｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
5	いかがでしょうか？	ｲｶｶﾞﾃﾞｼｮｳｶ?
6	電話ください	ﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ
7	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
8	留守電にメッセージを入れてください	ﾙｽﾃﾞﾝﾆﾒｯｾｰｼﾞｦｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
9	ｉモードで連絡ください	iﾓｰﾄﾞﾃﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ
0	よろしくお願い致します	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｲﾀｼﾏｽ

区点コード一覧

各段の左側の3桁の数字は区点コードの1～3桁を示しています。各段の一番上の数字は区点コードの4桁目を示しています。

＜例：「仝」を入力する場合＞

区点1～3桁目の「012」を入力してから、区点4桁目の「4」を入力します。

● 画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡		≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138		≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

次ページへつづく

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ～の									
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る〜れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					

次ページへつづく

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで処理できる主な組み合わせパターンは次のとおりです。

現在の通信状態＼新たに発生した通信	音声電話をかける／受ける	テレビ電話をかける／受ける	iモードを利用	iアプリを利用	iモードメールの送受信	パケット通信	SMS送受信
音声通話中	×※1	×	○	×	○	○	○
テレビ電話中	×	×	×	×	×※4	×	△※2
iモード中	○	△※3	－	－	○	×	○
パソコンなどと接続してパケット通信中	○	×	×	△※5	×	－	○

○：起動できます。　×：起動できません。　△：条件により起動できます。　－：機能的に実現しない組み合わせです。

※1：「キャッチホン」などのネットワークサービスをご契約されていれば、組み合わせによっては処理できます。
※2：SMSの送信はできません。
※3：テレビ電話を受けることはできません。
※4：テレビ電話中は、iモードメールやメッセージリクエスト／フリーは受信されず、いったんiモードセンターに保管されます。iモードセンターに保管されたiモードメールやメッセージリクエスト／フリーは、テレビ電話終了後、「iモード問い合わせ」を行うと受信できます。
※5：通信が必要なiアプリは起動できません。

マルチタスクの組み合わせについて

マルチタスクで同時に利用できる主な機能の組み合わせパターンは次のとおりです。

現在の状態＼利用する機能	メール	iモードメニュー	iアプリ	各種設定	マルチメディア	アクセサリ	サービス	電話帳	ユーザデータ	オリジナルメニュー
メールグループ起動中	○※1	○	○	○※2	○	○※4	○	○※8	○	○
iモードグループ起動中	○	×	×	○※2	○	○※4	○	○※8	○	○
設定グループ起動中	○	○	○	×	○	○※4	×	○※8	○	○
ツールグループ起動中	○	○	○	○※2	×	×	○	×	×	○
テレビ電話中	×	×	×	×	×	×※5	×	×	×	×
音声通話中	○	○	×	×※3	×	×※6	○※7	○※8	○※9	○
iモード通信中	○	△	△	○※2	○	○※4	○	○※8	○	○
パソコンなどと接続してパケット通信中	○	○	○	○※2	○	○※4	○	○※8	○	○

○：起動できます。　×：起動できません。　△：同時には起動できません。
※1：「iモードメール作成」および「SMS作成」を同時に利用することはできません。
※2：機能によって利用できません。
※3：「ローカル時計設定」、「ボタン確認音」、「ポーズダイヤル」のみ利用できます。
※4：「おしゃべり機能」、「赤外線通信」、「FOMAカード操作」、「SD-PIM」は利用できません。
※5：「通話中音声メモ」のみ利用できます（▼［メモ／確認］を1秒以上押す）。
※6：「カメラ」、「スケジュール」、「ToDo」、「テキストメモ」、「電卓」、「通話中音声メモ」、「バーコードリーダー」、「辞典」のみ利用できます。ただし、「バーコードリーダー」は文字認識データ一覧およびその詳細までは表示できますが、新規に文字を読み取ることはできません。また、「カメラ」のうち使用できるのは「フォトモード」と「連写モード」のみとなります。
※7：「留守番電話」の再生はできません。また、特番に対しての「留守番電話」および「追加サービス」の設定もできません。
※8：「電話帳指定設定」は利用できません。
※9：「定型文」、「ユーザ辞書」、「ダウンロード辞書」は利用できません。

● 次の機能を使用している場合は、ほかの機能を利用できません。
- テレビ電話
- iアプリのソフトのダウンロード
- 赤外線通信
- miniSDメモリーカードとのデータエクスポート／インポート
- FOMAカード操作
- カメラ（メガピクセルフォト、長時間ムービー）
- 動画／iモーションの編集
- ケーブル接続によるデータ転送
- ソフトウェア更新

● 機能によってはほかの機能が起動しているときに操作できないものがあります。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス		電話番号
コレクトコール(料金着信払通話)		(局番なし)106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料) (電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません)		(局番なし)104
電報の発信(有料)	午前8時〜午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)		(局番なし)117
天気予報(有料)		知りたい地域の市外局番－177
警察への緊急通報		(局番なし)110
消防・救急への緊急通報		(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)		(局番なし)171

おしらせ

- コレクトコール(106)をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込94.5円)がかかります。(2004年10月現在)
- 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください。(2004年10月現在)
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認等の電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように立ち止まって通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」、「ボイスワープ」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外、および電源を切っているときでも、発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番(NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください(一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます)。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまなオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、当社営業窓口などへお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・スイッチ付イヤホンマイク P001／P002※1
・ステレオイヤホンセット P001※1
・平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
・平型ステレオイヤホンセット P01
・FOMA USB接続ケーブル
・データ通信アダプタ N01
・FOMA DCアダプタ 01
・FOMA ACアダプタ 01※2
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01※3
・卓上ホルダ N05
・電池パック N07
・リアカバー N04
※1：FOMA N900iGと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※2：国内用です。
※3：国内海外兼用共用品です。

データリンクソフトのご紹介

「FOMA N900iG データリンクソフト」を使って電話帳、スケジュール、メール、メロディ、写真(静止画)、動画やiモーションなどのデータをFOMA端末と接続したパソコンとの間で転送できます。
「FOMA N900iG データリンクソフト」はNECのインターネットホームページ「NECワイワイもばいる」からダウンロードしてご利用いただけます。

・NECワイワイもばいる
http://www.n-keitai.com/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページ、またはデータリンクソフトのヘルプをご覧ください。

(FOMA端末のインターネット機能ではダウンロードできません。ダウンロードするにはパソコンをお使いください。また使用料金は無料です。ダウンロード時に別途通信料が必要となります。)

・動作環境および注意事項
パソコンとの接続には「FOMA USB接続ケーブル(別売)」が必要となります。赤外線通信では使用できません。その他の動作環境については、ダウンロードページの「ソフトウェアのご紹介」【動作環境】を参照してください。
また、データリンクソフトは、データ転送にOBEX(Object Exchange)を使用しておりますので、「赤外線通信／ケーブル接続によるデータ転送について」(P.393)もあわせてご覧ください。
なお、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、著作権法によりデータリンクソフトでもFOMA端末外に転送することができません。また、FOMA端末外への出力が禁止されているデータも転送することができません。

■対応OS

Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP(各日本語版)
※上記OSが動作するPC/AT互換機

■ご使用にあたって

・日本電気株式会社は、お客様に対し、許諾プログラムにおける一切の動作保証、使用目的への適合性の保証、使用結果に関わる的確性や信頼性の保証をせず、かついかなる内容の瑕疵担保義務も負いません。また、許諾プログラムに関し発生する問題はお客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
・日本電気株式会社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます。)および第三者からお客様に対してなされた損害賠償責任に基づく損害について一切責任を負いません。又、お客様は弊社に対し、何らの請求も行わないものとします。

データリンクソフトに関するお問い合わせ
NEC(NECモバイルターミナル営業本部)
0120-102-001
受付時間：平日 午前 9：00～12：00 午後 1：00～5：00
(土・日・祝日・NEC所定の休日を除く)

故障かな？と思ったら、まずチェック

操作中に「故障かな？」と思った場合は、次の表を参考に対処してください。

● 海外利用時に「故障かな？」と思った場合は、まずP.575を参照してください。

現象	チェックする箇所	参照ページ
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	● 電池パックが正しく付けられていますか。	P.49
	● 電池切れになっていませんか。	P.55
右のようなアニメーションが表示され、「ピーッピーッピーッ…」というアラーム音が鳴っている	● 電池が切れました。充電してください。	P.50
「圏外」の表示が出て話中音（ツーツー音）が出る	● サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.56
ダイヤルボタンを押しても発信できない	● ダイヤル発信制限設定中ではありませんか。	P.159
	● セルフモード設定中ではありませんか。	P.157
	● 指定発信制限設定中ではありませんか。	P.164
ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない	● 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。	P.62
	● 市外局番を忘れていませんか。	P.62
	●「圏外」の表示が出ていませんか。	P.56
	●「しばらくお待ちください」の表示が出ていませんか。	P.62
着信できない 着信音が鳴っていないのに、着信履歴が記憶されている	● 次の機能を設定していませんか。	
	電話帳指定設定 ・指定着信拒否　・指定着信許可 ・指定転送でんわ　・指定留守番電話	P.164
	呼出時間表示設定 ・無音時間設定　・時間内不在着信表示	P.167
	登録外着信拒否	P.168
	非通知着信設定 ・通知不可能拒否　・公衆電話拒否 ・非通知設定拒否	P.166
	● マナーモード設定中ではありませんか。	P.132
	● ドライブモード設定中ではありませんか。	P.81
	● オールロック設定中ではありませんか。	P.156
	● セルフモード設定中ではありませんか。	P.157
	● 留守番電話サービスや転送でんわサービスの開始時間を「0秒」に設定していませんか。	P.446 P.450
	● 番号通知お願いサービスを開始に設定していませんか。	P.452
	● デュアルネットワークサービスでムーバを有効にしていませんか。	P.453
	● 着信音量を「消去」に設定していませんか。	P.126

現象	チェックする箇所	参照ページ
メール着信音やアラーム音は鳴るのに、電話がかかってきたときの着信音が鳴らない	●「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を長い時間（99秒など）に設定していませんか。「無音時間設定」を短い時間に設定してください。	P.167
発信履歴／着信履歴、リダイヤル、受信アドレス一覧／送信アドレス一覧が勝手に消えてしまう	●「ダイヤル発信制限」を設定しませんでしたか。	P.159
	●「PIMロック」を設定しませんでしたか。	P.158
ニューロポインターの動きがにぶくなった	● スライド調整を行ってください。	P.439
電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合は、次のような優先順位で着信音が鳴ります。①が最も優先順位が高くなります。 ① 電話帳便利機能の着信音 ② グループ便利機能の着信音 ③ 着信音選択	P.109 P.124
	● 別のFOMAカードを挿入していませんか。	P.48
メールを受信したときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合は、次のような優先順位で着信音が鳴ります。①が最も優先順位が高くなります。 ① 電話帳便利機能のメール着信音 ② グループ便利機能のメール着信音 ③ 着信音選択のメール	P.109 P.124
	● 別のFOMAカードを挿入していませんか。	P.48
電話がかかってきたときに設定したイメージと違うイメージが表示される	● 各機能の着信の設定が重なった場合は、次のような優先順位で画像を表示します。①が最も優先順位が高くなります。ただし、着信音としてiモーションが動作した場合はそのiモーションが表示されます。 ① 電話帳登録画像のiモーション ② 電話帳便利機能の着信イメージ ③ グループ便利機能の着信イメージ ④ 電話帳登録画像のイメージ ⑤ 画面表示設定	P.103 P.109 P.124 P.140 P.143
	● 別のFOMAカードを挿入していませんか。	P.48
電話がかかってきたときに設定した色や点滅パターンと違う色や点滅パターンで着信ランプが動作する	● 各機能の着信イルミネーションの設定が重なった場合は、次のような優先順位で動作します。①が最も優先順位が高くなります。 ① 電話帳便利機能の着信イルミネーション設定 ② グループ便利機能の着信イルミネーション設定 ③ 着信イルミネーション設定	P.109 P.147
iモード、iモードメール、iアプリが使えない	● PIMロックを設定していませんか。	P.158
iモード、iモードメール、iアプリに接続できない	●「接続先選択」を「iモード」以外に設定していませんか。	P.228
	● iモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	－
メールを受信しても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われない	●「メール／メッセージ鳴動」を「OFF」に設定していませんか。	P.131
	●「受信表示設定」を「操作優先」に設定していませんか。	P.296
送信したメールが送信BOXに残らない	●「Dimo 絵文字メール」のようなメール連動型iアプリのフォルダに「全件振分け」を設定していませんか。 メール連動型iアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選んで確認してください。	P.291
受信したメールが受信BOXに残らず、「」が消えない	● 受信BOXの中の「Dimo 絵文字メール」のようなメール連動型iアプリのフォルダに「」が表示されていませんか。またはメール連動型iアプリのフォルダに「全件振分け」を設定していませんか。該当するメール連動型iアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選んで確認してください。	P.278 P.291

付録

現象	チェックする箇所	参照ページ
メールを受信したときにメールに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● メールアドレスにメール着信音を設定している場合は、そのメールアドレスに設定された着信音が鳴ります。 ● グループにメール着信音を設定している場合は、そのグループに設定された着信音が鳴ります。 ● グループにもメールアドレスにもメール着信音を設定している場合は、メールアドレスに設定された着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信したとき、最後に受信したメールのメールアドレスにメール着信音を設定している場合は、そのメールアドレスに設定されている着信音が鳴ります。	P.109
	● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信音を設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信音を設定していますか。	P.103 P.109
	● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定された着信音が有効となります。	－
	● 別のFOMAカードを挿入していませんか。	P.48
メールを受信したときにメールに設定した着信イルミネーションの色と違う色で点滅する	● メールアドレスにメールイルミネーションを設定している場合は、そのメールアドレスに設定されたイルミネーションが点滅します。 ● グループにメールイルミネーションを設定している場合は、そのグループに設定されたイルミネーションが点滅します。 ● グループにもメールアドレスにもメールイルミネーションを設定している場合は、メールアドレスに設定されたイルミネーションが点滅します。 ● 複数のメールを受信したとき、最後に受信したメールのメールアドレスにメールイルミネーションを設定している場合は、そのメールアドレスに設定されたイルミネーションが点滅します。	P.109
	● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメールイルミネーションを設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメールイルミネーションを設定していますか。	P.103 P.109
	● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたイルミネーションが有効となります。	－
メール着信音は鳴っているが、新着メールを受信していない	●「件数増加鳴動設定」を設定していませんか。圏外または電源が切れているときに留守番電話の件数が増えた場合、再び圏内になるか、電源を入れると留守番電話の件数が増えたことをメール着信音でお知らせします。	P.447
SMSを受信したときに電話帳に登録した名前が表示されない	● 電話帳の電話番号欄（ ）に送信元の電話番号を正しく登録していますか。	P.103
メールが自動振り分けされない	● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、自動振分け設定には電話番号のみを登録してください。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは自動振分け設定にはドメイン名まですべて登録しないと振り分けされません。	P.291
メールを自動で受信しない	● メール設定の「メール選択受信設定」で「ON」を設定していませんか。「OFF」に設定してください。	P.297
充電ができない（FOMA端末または卓上ホルダの充電ランプが点灯しない）	● FOMA端末本体（電池パックを取り付けたもの）を充電する場合、FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.49
	● アダプタのプラグがコンセントまたはシガーライタソケットにしっかりと差し込まれていますか。 ● アダプタとFOMA端末、またはアダプタと卓上ホルダが正しく取り付けられていますか。 ● 卓上ホルダと組み合わせて充電する場合、FOMA端末または電池パックが卓上ホルダに正しくセットされていますか。	P.52 P.53 P.54

現象	チェックする箇所	参照ページ
ボタン確認音が出ない	● 「ボタン確認音」を「OFF」に設定していませんか。	P.129
	● マナーモード設定中ではありませんか。	P.132
「ボタン確認音」を「OFF」に設定しても、ボタン確認音が鳴る	● 「マナーモード選択」で「オリジナルマナー」の「ボタン確認音」を「ON」に設定した状態で、マナーモードを設定していませんか。	P.133
エニーキーアンサーで音声電話／テレビ電話に出ることができない	● 「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」または「OFF」に設定していませんか。 ● テレビ電話にエニーキーアンサーで出ることはできません。	P.74
通話中、相手の声が聞こえにくい	● 受話口と耳の位置がずれていませんか。 ● 受話口がシールなど何かでふさがれていませんか。 ● ハンズフリー中にスピーカが何かでふさがれていませんか。	P.26
	● 「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.78
通話中、相手の声が大きすぎる	● 「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.78
相手に自分の声が伝わらない	● 送話口が何かでふさがれていませんか。	P.26
「オールロック」と表示され、「」マークが点灯している	● 端末暗証番号を入力し、(●)を押してオールロックを解除してください。	P.156
FOMA端末を折り畳んでいるときに、サイドボタンを押しても操作できない	● 「サイドボタン操作」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.160
FOMA端末を折り畳んでいるときに、[メモ／確認]を押しても不在着信などの確認ができない	● 「確認機能設定」を「OFF」に設定していませんか。	P.82
	● 「サイドボタン操作」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.160
日付が英語で表示されている	● 「Language」で英語表示を設定していませんか。	P.150
	● 時計表示を「英語」に設定していませんか。	P.149
「フォント設定」で設定を変更しても、サイトや画面メモ、メッセージリクエスト／フリー、iモードメールの本文のフォントの太さが変更されない	● サイトや画面メモ、メッセージリクエスト／フリー、iモードメールの本文には「フォント設定」の「文字パターン」は反映されますが、「太さ」の設定は適用されません。	P.148
ディスプレイがなんとなく暗い	● バックライトの明るさの設定を「レベル1」に設定していませんか。	P.145
ディスプレイ、イメージウィンドウ、ダイヤルボタンのバックライトが点灯しない	● バックライトの通常時の点灯を「OFF」に設定していませんか。	P.145
	● (5)を1秒以上押してバックライトの点灯／消灯を切り替えることができます。 メールの作成中などにも、(5)を1秒以上押すとバックライトが消灯しますので、ご注意ください。	P.28
テレビ電話中の画面の動きがなめらかでない	● 「TV電話画面設定」の「画像表示設定」を「画面サイズで表示」に設定していませんか。 「等倍表示」に設定してください。	P.97
電源を入れた直後に電話がかかってきたとき、電話帳に登録した名前が表示されず、電話番号が表示されてしまう	● 電源を入れた直後はFOMAカードを読み込んでいることがあり、すぐに電話帳機能を使えないことがあります。	−
(PWR)を1秒以上押してから電源が入るまで時間がかかる	● 電話帳などのデータがいっぱいのときは、その確認に時間がかかるようになります。	P.120
(PWR)を押しても通話が終わらない	● 音声ガイダンスのボタン操作((0)〜(9)、(*)、(#))を行った場合、(PWR)を押しても通話が終わらないことがあります。もう一度(PWR)を押してください。	−
ディスプレイに何も表示されず、、、マルチファンクションボタン、、が点滅する	● 省電力モード中です。ボタンを押すと、省電力モードが解除されます。	P.145
着信があっても着信動作(着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯)が行われない	● 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を0秒以外に設定している場合、電話帳に登録されていない電話番号や、電話番号を通知しない相手からの着信があると、設定した時間が経過するまで着信動作(着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯)が行われません。	P.167

付録

現象	チェックする箇所	参照ページ
内蔵カメラで撮影すると画像がちらつく	● 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。「画像チューニング」の設定を変更することにより、画面のちらつきを軽減できる場合があります。	P.176
内蔵カメラで撮影した静止画や動画が白っぽくなる	●「画像チューニング」を正しく設定していますか。ご使用になっている地域に合わせて「モード1(50Hz地域)」または「モード2(60Hz地域)」に設定してください。	P.176
外側レンズを使用して内蔵カメラで撮影した静止画や動画がぼやけてしまう	● 外側レンズのレンズ切替スイッチを通常撮影時は●(標準レンズ)に、接写撮影時は(マクロレンズ)に切り替えてください。	P.184
画像表示しようとすると「」が表示される デモやプレビューで「」が表示される	● 画像データがこわれている場合は「」が表示されることがあります。	ー
「」や「Not available」が表示されて表示/再生/利用できないデータやファイルがある	● そのデータやファイルをダウンロードまたは取得した後で、FOMAカードを差し替えていませんか。	P.48
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	● miniSDリーダライタ機能で容量の大きいデータをやり取りしたときに起こる場合があります。	ー
チャンスキャプチャで撮影したときに撮影時間が短くなる	● チャンスキャプチャの撮影時には、動画データとともに管理用データを保存するため、撮影可能な時間が短くなる場合があります。	ー
N900iG通信設定ファイル(ドライバ)のインストールやパケット通信ができない	●「USBモード設定」を「miniSDモード」に設定していませんか。 「通信モード」に設定してください。	P.393

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

■ 海外利用時の場合

現象	チェックする箇所	参照ページ
画面に「圏外」や「Select net」が表示されたままで国際ローミングサービスが利用できない	● 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	−
	● 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『国際ローミングサービスマニュアル（FOMA N900iG）』やWORLD WINGのホームページで確認してください。	−
	●「ネットワーク切替」でサービスに対応しているネットワークに切り替えてください。	P.544
	●「ネットワーク接続モード選択」でサービスに対応している通信事業者を検索してください。	P.545
	● 日本国内から海外へ移動した後にはじめて利用するときは、FOMA端末の電源を入れ直してください。	−
テレビ電話が利用できない SMSが利用できない iモードが利用できない パケット通信が利用できない	● 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『国際ローミングサービスマニュアル（FOMA N900iG）』やWORLD WINGのホームページで確認してください。	−
	●「ネットワーク切替」でサービスに対応しているネットワークに切り替えてください。	P.544
	●「ネットワーク接続モード選択」でサービスに対応している通信事業者を検索してください。	P.545
音声電話やテレビ電話がかかってこない	●「ローミング設定」の「ローミング時着信規制開始」を設定していませんか。	P.550
海外から帰国後、「圏外」のままである	●「ネットワーク切替」を「GSM」に設定していませんか。	P.544
iモード中に電話の着信ができない	●「iモード中着信設定」を「着信拒否」に設定していませんか。	P.552
パケット通信中に電話の着信ができない	●「パケット通信中着信設定」を「着信拒否」に設定していませんか。	P.552
相手の電話番号が通知されてこない 相手の電話番号とは違う番号が通知されてくる 電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者によって、発信者番号が通知されずに「通知不可能」の着信となる場合や、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	P.535

こんな表示が出たら

操作中にエラーメッセージが表示された場合は、次の表を参考にして対処してください。エラーメッセージは英数字、50音順に記載しています。

- 海外利用時にエラーメッセージが表示された場合は、まずP.582を参照してください。
- iモード中に表示されたエラーメッセージの中の「(数字)」は、iモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「FOMAカードが異なるため起動できませんでした」	● FOMAカード動作制限機能によって制限されているiアプリを自動起動しようとした場合に表示されます。	P.48
「FOMAカードが異なるためご利用できません」	● FOMAカード動作制限機能により保護されているデータのデスクトップアイコンを選んで実行しようとしたときに表示されます。 ● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージリクエスト、またはメッセージフリーを選んで実行しようとしたときに表示されます。	P.48
「FOMAカードが異なるため指定されたソフトが起動できませんでした」	● FOMAカード動作制限機能によって制限されているiアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。	P.48
「FOMAカードのSMSがいっぱいになりました」	● FOMAカードがいっぱいになり、これ以上FOMAカードにSMSを保存することができません。保存したいときは「」が消えるまで、FOMAカード内の不要なSMSを削除してください。	P.118
「FOMAカード読み込み中です起動できません」	● FOMAカードを読み込み中にFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。しばらくたってから操作し直してください。	－
「FOMAカードを挿入してください」	● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.46
「iアプリTo設定されていません」	● サイト、メール、赤外線通信、バーコードリーダーからソフトを起動しようとしたときに、指定されたソフトが連携許可されていないため、起動できません。	P.324
「iモーション再生サイズを超えています」	● 標準タイプのiモーションを取り込むときに、iモーションのサイズが300Kバイトを超えているため取り込みができない場合に表示されます。 ● iモードメールに添付されたiモーションが100Kバイトを超えているため取り込みができない場合に表示されます。	P.332
「iモーション再生サイズを超えました」	● 標準タイプのiモーションを取り込むときに、iモーションのサイズが300Kバイトを超えているため取り込みが完了しなかった場合に表示されます。 ● iモードメールに添付されたiモーションが100Kバイトを超えているため取り込みができなかった場合に表示されます。	P.332
「iモーション最大サイズを超えています」	● ストリーミングタイプのiモーションを取り込むときに、iモーションのサイズが2Mバイトを超えているため取り込みができない場合に表示されます。	P.332
「iモーション最大サイズを超えました」	● ストリーミングタイプのiモーションを取り込むときに、iモーションのサイズが2Mバイトを超えているため取り込みが完了しなかった場合に表示されます。	P.332
「iモード問い合わせがすべて無効に設定されています」	● 「iモード問い合わせ設定」がすべて「問い合わせしない」に設定されているためiモード問い合わせができません。 「iモード問い合わせ設定」で問い合わせる項目を指定してください。	P.295
「miniSDが挿入されていません」	● miniSDメモリーカードがFOMA端末に取り付けられていないか、正しく取り付けられていない可能性があります。miniSDメモリーカードをFOMA端末に正しく取り付けてください。	P.377
「miniSDの交換またはチェックディスクをおすすめします」	● miniSDメモリーカードのチェックディスクを行ってください。	P.391
「PIMロック設定中です」	● PIMロック設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.158
「PIN1コードがロックされています」	● PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。◉[選択]を押すとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。	P.155

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「PINロック解除コードがロックされています」	● PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。当社窓口までお問い合わせください。	P.153
「TLS/SSL通信が切断されました」	● TLS／SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再度接続し直してください。	－
「TLS/SSL通信が無効です」	● TLS／SSL通信の認証中にエラーが発生してTLS／SSL通信が切断されたときに表示されます。	－
「TLS/SSL通信が無効に設定されています」	●「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。	P.230
「URLが長すぎて登録できません」	● URLが登録可能文字数を超えるため、ブックマークやホームURLへの登録ができません。	－
「URLが長すぎて貼り付けできません」	● URLが貼り付け可能文字数を超えるため、デスクトップアイコンの貼り付けやiモードメール作成ができません。	－
「URLに誤りがあります」	● URLが間違っているとき、または入力した文字数が許容される文字数を超えているときに表示されます。URLを入力し直してください。 ● URL入力や「ホームURL設定」のホームURL入力のとき、「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない状態で「OK」を選んだときに表示されます。URLを入力し直してください。	P.214 P.219
「空きメモリがないため登録できません」	● すでにFOMA端末(本体)の電話帳に電話番号またはメールアドレスが700件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合に表示されます。すでに登録されている電話帳の中で、不要なものを削除した後、登録し直してください。	P.117
「応答がありませんでした(408)」	● サイトからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続してみてください。	－
「該当するデータはありません」	● 電話帳検索を行ったとき、検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合に表示されます。	P.114
「書き込みできません」 「読み込みエラーです」	● 何らかの原因でエクスポート／インポートすることができませんでした。新しいminiSDメモリーカードと交換してエクスポート／インポートし直してください。	－
「画像に誤りがあり正しく動作しません」	● 画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できなくなったときに表示されます。	－
「携帯電話情報を送信しますか？」	● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。「YES」を選ぶと、携帯電話情報が送信されます。送信したくないときは「NO」を選びます。送信される携帯電話情報は、お客様のFOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号です。これらの情報はインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。	P.206
「圏外です」	● サービスエリア外や電波が届かないところで、iモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。 「圏外アイコン」が表示されるところまで移動してiモードのサービスをご利用ください。	P.204
「このiモーションは再生可能回数が終了しました」	● 再生回数が終了したiモーションのデスクトップアイコンを選んで実行しようとしたときに表示されます。	－
「このiモーションは再生期限が切れました」	● 再生期間または再生期限が終了したiモーションのデスクトップアイコンを選んで実行しようとしたときに表示されます。	－
「このiモーションを再生するためにはiモーションタイプ設定を変更してください」	●「iモーションタイプ設定」を「標準タイプ」に設定しているときに、ストリーミングタイプのiモーションを取り込もうとしたときに表示されます。	P.336
「このminiSDは使用できません」	● 本FOMA端末に対応していないminiSDメモリーカードです。対応しているminiSDメモリーカードを使用してください。	P.376
「このカードでは無効な機能です」	● 現在差し込まれているFOMAカードでは対応していない機能を利用しようとしたときに表示されます。	－
「このカードは認識できません」	● 本FOMA端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。	P.46
「このサイトとのTLS/SSL通信は無効です」	● 書き換えられたTLS／SSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはTLS／SSL通信できません。	－

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」	● サポート外のTLS／SSL証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選びます。接続しないときには「NO」を選びます。	P.212
「このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？」	● 期限切れまたは有効期間前のTLS／SSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選びます。接続しないときには「NO」を選びます。	P.212
	●「ローカル時計設定」が行われていない場合にTLS／SSL通信に対応したサイトやインターネットのホームページに接続しようとしたときに表示されます。「ローカル時計設定」を行ってください。	P.57
「このスケジュールは登録できません」	● すでに設定されている日付、時刻、繰り返しに対するスケジュールと同じ日付、時刻、繰り返しのスケジュールを「追加１件インポート」したときに表示されます。	－
「この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？」	● 端末内のTLS／SSLルート証明書が期限切れの場合に表示されます。接続するときは「YES」を選びます。接続しないときには「NO」を選びます。	P.212
	●「ローカル時計設定」が行われていない場合に、TLS／SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続しようとしたときに表示されます。「ローカル時計設定」を行ってください。	P.57
	● TLS／SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続中に、クライアント証明書の送付要求があったときに表示されます。	P.212
「この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？」	● TLS／SSL証明書のCNが一致しないときに表示されます。接続するときは「YES」を選びます。接続しないときには「NO」を選びます。	P.212
「このデータは再生できない可能性があります」	● MP4（Mobile MP4）形式以外のiモーションを取り込んだときに表示されます。	－
「このデータを取得するためには時計設定をしてください」	●「ローカル時計設定」が行われていないときに、再生期限制限または再生期間制限付きのiモーションのデータを取得しようとした場合に表示されます。「ローカル時計設定」を行ってください。	P.57
「サービス未契約です」	● iモードをご契約いただいていないため、iモードのサービスをご利用になれません。iモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。	－
「再生可能回数が終了しました　削除しますか？」	● 再生回数が終了したiモーションを再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選ぶと、そのiモーションは削除されます。	－
「再生可能期限が切れたため再生できません」	● iモーションの再生可能期限または再生可能期間が過ぎているため再生できません。	－
「再生可能期限が切れました　削除しますか？」	● 再生可能期間が過ぎているiモーションを再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選ぶと、そのiモーションは削除されます。	－
「再生可能日前です　再生できません」	● 再生期間が設定されているiモーションを、再生可能期間前に再生しようとしたときに表示されます。	－
「再生制限データに誤りがあるため取得できません」	● iモーションの再生制限データに誤りがあるために、このiモーションは取得できません。	－
「最大サイズを超えたため受信できません（452）」	● 受信するデータが最大サイズを超えているため受信できない場合に表示されます。	－
「最大サイズを超えたので中断しました」	● サイトやインターネットホームページで受信したデータが１ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、取得したところまでのデータを表示します。 ● メロディやダウンロード辞書、キャラ電を取り込み中に最大サイズを超えた場合に表示されます。	－
「サイトが移動しました（301）」	● サイトが移動したため、URLが変更されています。ブックマークやデスクトップアイコン、ホームURLに登録されている場合は登録し直してください。	P.135 P.215 P.218
「サイトに接続できませんでした（403）」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	－
「削除される添付ファイルがあります」	● 転送するiモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。⦿［選択］を押すと、ファイルが削除された状態でiモードメール編集画面が表示されます。	－
「作成可能サイズを超えるため一部削除されます」	● 宛先、題名、本文のいずれか、または複数のデータが最大サイズを超えているため、超えた部分が削除されて新規メール作成画面が表示されます。	－

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「シークレットデータのため呼び出せません」	● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータをメモリ番号検索しようとしたときに表示されます。 ● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータをツータッチダイヤルで発信しようしたときに表示されます。	P.161
「指定サイトがみつかりません(404)」	● サイトが見つかりませんでした。サイトが存在しない可能性があります。	－
「指定サイトに表示データがありません(204)」	● 接続したサイトなどに表示するデータがない場合に表示されます。	－
「指定されたiモーションがありません」	● 削除された動画やiモーションのデスクトップアイコンを選んで実行しようとしたときに表示されます。	－
「指定されたイメージがありません」	● 削除された画像のデスクトップアイコンを選んで実行しようとしたときに表示されます。	－
「指定されたキャラ電がありません」	● 削除されたキャラ電のデスクトップアイコンを選んで実行しようとしたときに表示されます。	－
「指定されたソフトがありません」	● 削除されたiアプリのソフトのデスクトップアイコンを選んで実行しようとしたときに表示されます。 ● メール、赤外線通信、バーコードリーダーからのiアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。	－
「指定されたソフトが起動できません」	● 赤外線通信、バーコードリーダーからソフトを起動しようとした場合、指定したソフトが起動できなかったときに表示されます。	－
「指定されたソフトが起動できませんでした」	● サイト、メールからソフトを起動しようとした場合、指定したソフトが起動できなかったときに表示されます。	－
「指定されたメロディがありません」	● 削除されたメロディのデスクトップアイコンを選んで実行しようとしたときに表示されます。	－
「指定したサイトへは接続できませんでした(504)」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	－
「指定着信許可すでに20件設定されています」 「指定着信拒否すでに20件設定されています」 「指定転送でんわすでに20件設定されています」 「指定発信制限すでに20件設定されています」 「指定留守番電話すでに20件設定されています」	● すでに電話帳が20件設定されているときに、新たに電話帳指定を設定しようとした場合に表示されます。不要になった電話帳の設定を解除してから設定し直してください。	P.164
「指定の宛先には送信できません」	● 宛先に「,」やスペースが含まれているため送信できません。「,」やスペースを削除してください。 ● 受信したメールのメールアドレスが半角50文字を超えるため、メールを返信することができません。	－
	● SMSを送信できないときに表示されます。 ・宛先に数字、「＃」「＊」「＋」以外の文字およびスペースを含むためSMSを送信できません。数字または「＃」「＊」「＋」以外の文字やスペースを削除してください。 ・宛先に「＋」が複数含まれています。余分な「＋」を削除してください。 ・宛先の先頭以外に「＋」が含まれています（ただし、「＃31＃」、「＊31＃」の後ろのみ「＋」がある場合を除く）。先頭以外の「＋」を削除してください。 ・宛先が最大20桁（「＋」を除く）を超えています。20桁を超える数字や文字、スペースを削除してください。	P.302
「指定発信制限設定中です」	● 指定発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.164
「しばらくお待ちください」	● 発信規制中です。しばらくたってから音声電話やテレビ電話、iモードをご利用ください。	－
「すでに他の機能が起動中です起動できません」 「すでに他の機能が起動中です設定できません」	● ほかの機能が起動しているときに、利用できない機能を操作しようとしたときに表示されます。	P.407

付録

次ページへつづく

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「セキュリティエラーのためiアプリ待受画面を解除しました」 「セキュリティエラーのため終了しました」	● 許可されていない動作を実行しようとしたため、iアプリやiアプリ待受画面（iアプリDXを含む）が終了しました。	P.327 P.329
「セキュリティ設定中のため削除できません」	● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型iアプリで利用しているフォルダにセキュリティがかかっているため、メール連動型iアプリを削除できません。メール連動型iアプリを削除する場合には、メールのセキュリティを解除してください。	P.163
「セキュリティ設定中のためダウンロードできません」	● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型iアプリで利用しているフォルダにセキュリティがかかっているため、メール連動型iアプリをバージョンアップできません。メール連動型iアプリをバージョンアップする場合には、メールのセキュリティを解除してください。	P.163
（赤外線通信中に） 「接続相手が見つかりません続けますか？」	● 接続相手を発見/認識できません。赤外線ポートを平行に置いてください。「YES」を選んで◉［選択］を押すともう一度やり直すことができます。	P.394
「接続が中断されました」	● 電波が弱いため、iモードが中断されました。電波の強い場所に移動してからiモードのサービスをご利用ください。	P.204
	● 電波が強く「Y.ıll」マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトなどが非常に混みあっています。しばらくたってから接続してください。	－
「接続できません」	● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。アプリケーション通信設定の「接続先選択」で接続先を正しく設定し直してください。	P.228
	● 何らかの原因でiモードに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	－
「設定時間内に接続できませんでした」	● 「接続待ち時間設定」で設定した接続待ち時間となったため、サイトへの接続、メールの送信などが中断されました。しばらくたってからサイトへの接続やメール送信などを行ってください。	P.227
「セルフモード設定中です」	● セルフモード設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.157
「操作できませんでした」	● サービスエリア外や電波が届かないところで、ネットワークサービスの操作をしようとしたときに表示されます。「Y.ıll」が表示されるところまで移動してネットワークサービスの操作をしてください。	－
「送信できない宛先があります」	● 複数の宛先にiモードメールを返信するときに、返信できない宛先がある場合に表示されます。	－
「そのソフトは最新です」	● ソフトが更新されていないためバージョンアップができません。	－
「ソフトに誤りがあります」	● ソフトのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	－
「ソフトに誤りがあるためダウンロードできません」	● ソフトのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	－
「ソフトに継続動作できない障害が発生しました」	● ソフト実行中に動作を継続できないエラーが発生したときに表示されます。	－
「対応機種ではありません」	● 取得しようとしたソフトが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。	－
「対応していないコンテンツがあります」	● バーコードリーダーで読み取った情報に、本FOMA端末で対応していないコンテンツが含まれているため認識できません。	－
「対応ソフトが削除されています　フォルダ内表示を参照してください」	● 選んだメールフォルダに対応するメール連動型iアプリが削除されているため、ソフトを起動できません。機能メニューからフォルダ内のメールを参照してください。	P.268 P.278
「ダイヤル発信制限設定中です」	● ダイヤル発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.159
「ダウンロードできませんでした」	● メロディ、キャラ電、ダウンロード辞書をダウンロードしたときに、通信エラーが起きた場合やデータ不正の場合などに表示されます。	－
「端末暗証番号が違います」 「端末暗証番号は4～8桁です」	● 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。端末暗証番号を万一お忘れになった場合は、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、当社窓口まで持参していただくことが必要になります。	P.152

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「通信が許可されていません」	● 「通信設定」を「通信しない」に設定しているとき、ソフトのダウンロード時や起動時に表示されます。「通信設定」を「起動ごとに確認」または「通信する」に設定してください。	P.316
「通話中です起動できません」 「通話中です操作できません」	● 通話中に行えない操作をしようとしたときに表示されます。	P.407
「通話中です切り替えできません」	● 通話中にタスクメニューを表示させ、利用できない機能を選んだときに表示されます。	P.408
「データ取得できませんでした」	● iモーションを取り込もうとしたときに通信エラーが起きた場合などに表示されます。	－
「デスクトップがいっぱいです」	● すでに待受画面にデスクトップアイコンが15件貼り付けられているときに、デスクトップアイコンを貼り付けようとした場合に表示されます。不要なデスクトップアイコンを削除してから貼り付けてください。	P.135
「転送先番号が未登録です」	● 転送でんわサービスを契約されていて、転送先が未設定の状態で着信中に機能メニューの「転送でんわ」を選んだ場合に表示されます。	P.450
「添付のファイルはiモードに送信できません」	● 大容量画像を添付したメールはiモード端末に送信できません。	－
「添付ファイルが削除されます」	● 受信したiモードメールを引用返信しようとしたときに、元のiモードメールに添付ファイルがある場合に表示されます。◉[選択]を押すと、添付ファイルが削除されます。	－
「添付ファイルを登録できません」	● 赤外線通信／ケーブル接続によるデータ転送中に登録できない添付ファイル付きメールを受信したときに表示されます。	－
「時計設定を行ってください」	● 「ローカル時計設定」で日付・時刻が設定されていないときに、日付・時刻が設定されていないと利用できない操作をしようとした場合に表示されます。「ローカル時計設定」で日付・時刻を設定した後、操作し直してください。	P.57
「入力データまたはURLが長すぎます」	● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信することができません。文字数を減らしてから送信し直してください。	P.209
「入力データをご確認ください(205)」	● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信した後に表示されます。◉[選択]を押すと入力した文字や設定が取り消されます(設定・入力した内容は送信されています。送信を取り消す操作ではありません)。	P.209
「認証タイプに未対応です(401)」	● 認証できないときに表示されます。◉[選択]を押すと元のページに戻ります。	－
「認証を中止しました(401)」	● 認証画面で「Cancel」ボタンを押したときに表示されます。	P.209
「ネットワーク暗証番号が誤っています」	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。ネットワーク暗証番号を万一お忘れになった場合は、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)を、当社窓口まで持参していただくことが必要になります。	P.152
「パスワードをご確認ください(401)」	● 「認証」や「再認証」の画面で認証できないときに表示されます。もう一度認証するときは、「YES」を選びます。	P.209
「非対応データのため取得できません」	● iモーション以外のデータや非対応のiモーションを取り込もうとしたときに表示されます。	－
「フォトが大きすぎるため作成できません」	● 内蔵カメラの「フォトモード」で撮影を行い、機能メニューで「iモードメール作成」を選んだとき、その写真がメールに添付できるサイズを超えている場合に表示されます。	P.260
「編集中のため削除できません」	● 保存BOXに保存されているメールを編集中に、そのメールを削除しようとしたときに表示されます。	－
「保存済みです」	● データ取得完了画面でiモーションを連続して保存しようとしたときに表示されます。	－
「保存メールがいっぱいです」	● 保存メールがすでに10件あるため新規メールや新規SMSを作成することができません。保存メールを編集して送信するか、削除してから作成し直してください。	P.250 P.287
「本機で使用できるフォーマットがされていません」	● miniSDメモリーカードがフォーマットされていないなどの異常です。miniSDメモリーカードをフォーマットし直してください。	P.391
「本文編集できません」	● 添付したファイルが全角5,000文字分のため本文の編集ができません。	P.260

次ページへつづく

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「ムービーが大きすぎるため作成できません」	● 内蔵カメラの「ムービーモード」で撮影を行い、機能メニューで「iモードメール作成」を選んだとき、その動画がメールに添付できるサイズを超えている場合に表示されます。	P.260
「無効なデータを受信しました(XXX)」 「無効なデータを受信しました」	● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。なお、"XXX"にエラーの内容を示す番号が表示されることがあります。	－
「メモリ番号：XXX書き換えできません」	● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。	P.161
	● オート表示に設定されている電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。◉［選択］を押すと、再び電話帳編集画面に戻るので「No」を選んで、空いているメモリ番号を入力してから登録し直してください。	P.103
「メモリ不足です」	● メモリが不足したため、ソフトを実行できません。	－
「メモリ不足です　iモードメニューに戻ります」	● メモリが不足したため処理を中断します。◉［選択］を押すとiモードメニューに戻ります。	－
「メモリ不足のため表示できません」	● メモリが不足したため、iモードメールに添付された画像が表示できません。	－
「文字数がオーバーします　作成可能サイズまで本文を削除してください」	● 引用返信／転送するiモードメールの本文と冒頭文／署名／引用符の合計が全角5,000文字分を超えるため冒頭文／署名／引用符を自動貼り付けできません。全角5,000文字以下になるまで本文を削除してください。	－
「文字数がオーバーするため署名を貼り付けできません」	● 本文と署名の合計が全角5,000文字分を超えるため貼り付けできません。全角5,000文字以下になるまで本文を削除してください。	－
「文字数がオーバーするため冒頭文を貼り付けできません」	● 本文と冒頭文の合計が全角5,000文字分を超えるため貼り付けできません。全角5,000文字以下になるまで本文を削除してください。	－
「容量がいっぱいです　空きがないためこれ以上受信できません」	● 受信BOXがいっぱいで、iモードメールやSMSを受信できません。「」(赤)が表示されなくなるまで不要になったメールを削除するか保護解除を行い、iモード問い合わせまたはSMS問い合わせを行ってください。	P.270 P.287 P.304
「容量不足です　エクスポートできません」 「容量不足のため保存できません」	● miniSDメモリーカード内のデータ容量がいっぱいです。miniSDメモリーカード内のデータを消去してからエクスポートし直してください。	P.389
「容量不足のため取得できません」	● iモードメールに添付された動画／iモーションのデータ取得時に、受信BOXの空き容量がない場合に表示されます。不要になったメールを削除するか保護解除を行い、空き容量を増やしてください。	P.287
「リセットできませんでした」	● 「設定リセット」の操作を行ったときに「ネットワーク切替」または「ネットワーク接続モード選択」のいずれかがリセットできなかった場合に表示されます。FOMAカードを取り外して再度「設定リセット」を行ってください。	－
「履歴表示OFF設定中です」	● 「履歴表示設定」が「OFF」に設定されているため、受信アドレス一覧または送信アドレス一覧を利用することができません。「履歴表示設定」を「ON」に設定すると利用できます。	P.160

■ 海外利用時の場合

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「確認に失敗しました」 「ネットワークを見つけられません」 「ネットワークの検出に失敗しました」	● 電波の状態やネットワークの状況により、「ネットワーク接続モード選択」を設定できなかった場合に表示されます。	－
「ネットワーク切替が起動中です発信できません」	● ネットワークの切り替え中のときに利用できない操作をしようとしたときに表示されます。	－
「ネットワーク切替が自動で動作中です　設定できません」	● 「ネットワーク切替」が「自動」に設定されている場合は、「ネットワーク接続モード選択」を「マニュアル」に設定できません。	P.544 P.545

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

設定や登録を元に戻すには

FOMA端末をお買い上げのときの状態にしたり設定や登録を元に戻すには、次のような方法があります。

■ FOMA 端末の各機能の設定をお買い上げのときの状態にするには

「設定リセット」を行うと、FOMA端末の各設定をお買い上げのときの状態に戻すことができます。その際、FOMA端末に保存されているデータはそのままです。
「設定リセット」の実行のしかたとリセットされる機能については、P.440を参照してください。

■ i モードの設定をお買い上げのときの状態にするには

「ラストURL初期化」を行うと、ラストURLがiMenu画面のURLになります。また、「iモード設定リセット」を行うと「iモード設定」がリセットされてiモード利用時の様々な設定をお買い上げのときの状態に戻すことができます。なお、FOMA端末に保存されているデータはそのままです。
「ラストURL初期化」および「iモード設定リセット」の実行のしかたとリセットされる機能については、P.231を参照してください。

■ メール利用時の設定をお買い上げのときの状態にするには

「メール設定リセット」を行うと、「メール設定」がリセットされてメール利用時の様々な設定をお買い上げのときの状態に戻すことができます。なお、FOMA端末に保存されているデータはそのままです。
「メール設定リセット」の実行のしかたとリセットされる機能については、P.301を参照してください。

■ 次の各機能ごとにデータを削除またはリセットするには

次の機能でデータを削除したり設定をリセットできます。

・リダイヤル→P.64
・ポーズダイヤル→P.65
・国際ダイヤル設定の国番号→P.70、P.543
・発信履歴／着信履歴→P.75
・伝言メモ・音声メモ→P.86
・電話帳のグループ名→P.109
・電話帳検索の優先設定→P.114
・電話帳→P.117
・おしゃべり機能→P.128
・デスクトップアイコン→P.139
・バーコードリーダー→P.196
・URL履歴→P.215
・ブックマーク→P.217
・画面メモ→P.221
・メッセージ→P.239
・メールアドレス(アドレスリセット)→P.243
・メール→P.287
・送信アドレス一覧／受信アドレス一覧→P.289
・メールメンバー→P.298
・iアプリ自動起動設定→P.321
・iアプリ実行情報→P.322、P.327、P.329
・iアプリ→P.328
・自作アニメ→P.343
・画像→P.373
・動画／iモーション→P.373
・メロディ→P.373
・キャラ電→P.373
・めざまし時計→P.413
・スケジュール→P.420
・ToDo→P.424
・電話番号表示(自局番号を除く)→P.428
・通話時間／積算通話時間→P.431
・テキストメモ→P.433
・辞典の検索履歴→P.434
・追加サービス→P.457
・定型文→P.515
・ユーザ辞書→P.518
・学習履歴→P.519
・ダウンロード辞書→P.519
・優先ネットワークリスト→P.548

■ FOMA 端末を初期化するには

「端末初期化」を行うと、登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。

●「端末初期化」を行うと、FOMA端末をお買い上げのときの状態に戻すことができます。その際、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、カメラで撮影した写真(静止画)や動画など、お客様の大切なデータも削除されてお買い上げのときの状態に戻ります(保護しているデータも削除されます)。
●FOMA端末に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、データリンクソフト(P.569)やminiSDメモリーカード(P.376)を利用して保管することをおすすめします。

●上記で紹介した方法でリセットされる設定や削除されるデータ※に加え、「ローカル時計設定」がお買い上げのときの状態に戻ります。また、iアプリの「ソフト一覧」でソフトごとに行った各種設定も解除されます。
※ただし、「優先ネットワークリスト」および「メールアドレス(アドレスリセット)」は初期化されません。
●お客様が変更した端末暗証番号、編集したグループ名やフォルダ名などもお買い上げのときの状態に戻ります。
●セルフモード中、シークレットモードまたはシークレット専用モード中の場合は、設定が解除されます。
●お買い上げのときに登録されているデータは削除されません。また、お買い上げのときに登録されているiアプリのソフトやiモーション、ブックマークを削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。
●端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が十分でないときは、充電を促すメッセージが表示されます。その場合は充電完了後、初期化してください。
●端末初期化を行っているときは、ほかの機能を使用できません。また、音声電話／テレビ電話の着信やメールの受信などもできません。

1 (Menu)▶各種設定▶「その他」▶「端末初期化」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末初期化について確認するメッセージが表示されます。
端末暗証番号について→P.152

2 「YES」を選ぶ

電源について確認するメッセージが表示されます。

初期化を中止する場合

「NO」を選ぶ

3 「YES」を選ぶ

初期化がはじまります。初期化中は電源を切らないでください。初期化が完了すると、自動的に再起動します。

初期化を中止する場合

「NO」を選ぶ

おしらせ

- ほかの機能が動作中は、初期化できません。また、パソコンなどの外部機器と接続している場合も、初期化できません。
- FOMAカードやminiSDメモリーカードを取り付けた状態で端末初期化を行っても、FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは初期化されません。
- FOMAカードがFOMA端末に取り付けられていない場合でも、初期化はできますが、その場合「SMS center設定」はリセットされません。
- パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMAをお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面に記載の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

・保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.376

■ 次の場合は、修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有償修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMAの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面に記載の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

お願い

- FOMAおよび付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
  - 改造（部品の交換・改造・塗装等）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMAに貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMAの故障・修理やその他取扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMAの下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：ニューロポインターボタン、スピーカ、受話口部
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身で携帯電話機等に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失等する場合があります。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。当社はこれらの責任を負うものではありません。

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新してください。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびiMenuの「お知らせ＆ヘルプ」でご案内いたします。
※：ソフトウェア更新のパケット通信料は無料となります。

● 更新方法には「即時更新」と「予約更新」の2種類があります。
即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
● iモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
● ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電にしておいてください。
● 次の場合はソフトウェアを更新できません。
・FOMAカードの未挿入時
・FOMAカードの不正時
・PINロック中
・PINロック解除コードロック中
・日付・時刻の未設定時
・着信中
・メール／SMS／メッセージ受信中
・音声通話中
・テレビ電話中
・iモード通信中
・パケット通信中
・セルフモード中
・PIMロック中
・圏外時
・パケット発信規制中
・デュアルネットワークサービスでムーバ利用時
・miniSDリーダライタ機能時
・国際ローミング中
・外部機器接続中
・ネットワーク切替中
・その他機能を起動中
● ソフトウェア更新(ダウンロード、書換え)には時間がかかることがあります。
●「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定している場合にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コードの入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、FOMA端末の操作ができず次の動作も行われません。
・音声電話やテレビ電話の着信
・「スケジュール」や「ToDo」のアラーム通知
・メール、メッセージリクエスト／フリーの受信
・iアプリのソフトの自動起動
・ソフトウェアの予約更新
● ソフトウェア更新中は、ほかの機能を使用できません。ただし、ダウンロード中に音声電話を受けることはでき、着信中の電話の転送や伝言メモなどの操作もできます。
● ソフトウェア更新の際にはサーバ(当社のサイト)へSSL通信を行います。あらかじめ証明書を有効にしておいてください(お買い上げのときは「有効」に設定されています。設定について→P.230)。
● ソフトウェア更新中は、メールやメッセージリクエスト／フリーを受信できません。受信されなかったメールやメッセージリクエスト／フリーはiモードセンターに保管されます。
●「メール選択受信設定」を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
●「」や「」などのアイコンの表示は、ソフトウェア更新後の再起動時に消えますが、iモードセンターや留守番電話サービスセンターに保管されているメールやメッセージなどは消去されません。
● お客様の確認操作なしでソフトウェアの更新が終了すると、待受画面に「更新」(ソフトウェア更新完了)のデスクトップアイコンが表示されます。ご確認いただきたい内容がある場合などには「更新」(ソフトウェア更新　説明あり)が表示されます。「更新」を選んで端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。
● ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態(故障・破損・水濡れ等)によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします(ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。)。
● ソフトウェア更新に失敗した場合は大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

おしらせ

● ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。この場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。
その場合には、ドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。

ソフトウェア更新が必要かチェックする

ソフトウェア更新を行う前に、画面上部のアイコンの表示が右の画面の状態になっているか確認してください。

● ソフトウェア更新は、電波状態が良い場所で「Y.ıl」が表示されているときに、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアのダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を実行してください。

1 (Menu)▶各種設定▶「その他」▶「ソフトウェア更新」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について→P.152

2 注意事項を確認し、ソフトウェア更新が必要かチェックする

ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバ(当社が管理するソフトウェア更新用サーバ)に送信されます。
当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

3 チェックの結果を確認する

「更新が必要です」と表示された場合

「今すぐ更新／予約」を選ぶ

すぐにソフトウェアを更新する場合は「今すぐ更新」を選びます。→P.588

ソフトウェアを更新する日時を予約して、後から更新する場合は「予約」を選びます。→P.589

「更新は必要ありません」と表示された場合

「OK」を選ぶ

ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

「サーバーが混みあっています」と表示された場合

「予約」を選ぶ→P.589

1 チェック結果画面（P.587）で「今すぐ更新」を選び、「ダウンロードします」と表示されたら「OK」を選ぶ

すぐにソフトウェアのダウンロードを開始します。
「OK」を選ばなくても、しばらくするとダウンロードが開始されます。
ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
ダウンロードを開始すると、あとはメニュー等を選択しなくても更新処理を実行します。

2 ダウンロードが終了し「ダウンロードしました　ソフトウェアを書換えます」と表示されたら「OK」を選ぶ

ソフトウェアの書換えを開始します。
「OK」を選ばなくても、しばらくすると書換えが開始されます。書換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

ソフトウェアの書換え中はすべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
ソフトウェアの書換えが完了すると、自動的に再起動します。
再起動後、自動的にサーバに接続し、更新完了のチェックを行います。「ソフトウェア更新完了しました」と表示されたら「OK」を選びます。これでソフトウェアの更新は終了です。

日時を予約してソフトウェアを更新する　＜予約更新＞

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合は、あらかじめソフトウェア更新を実行する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。

＜例：5月13日(金)7：30に予約する場合＞

1 チェック結果画面(P.587)で「予約」を選び、希望日時を選ぶ

希望する日時がない場合
「その他の日時」を選ぶ→P.590

2 選択した日時を確認して「YES」を選ぶ

これでソフトウェア更新の予約は完了です。

希望日時を選び直す場合
「NO」を選ぶ

予約時刻になると左の画面が表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェアの更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受状態にしておいてください。以降の動作は「即時更新」と同じです。

おしらせ

- 予約更新の希望日時には、サーバの時刻が表示されます。
- 予約更新が終了すると、自動的に再起動されます。PIN1コード入力設定(P.154)を「ON」に設定している場合、再起動時にPIN1コード入力画面が表示されたまま(P.155)となり、電話の着信やメールの受信などが行われませんのでご注意ください。
- 次の場合は予約時刻になってもソフトウェア更新を起動できません。
  - 電源が入っていないとき
  - 電池残量不足
  - FOMAカードの未挿入時
  - FOMAカードの不正時
  - PINロック中
  - PINロック解除コードロック中
  - 日付・時刻の未設定時
  - 着信中
  - メール／SMS／メッセージ受信中
  - 音声通話中
  - テレビ電話中
  - iモード通信中
  - パケット通信中
  - オールロック中
  - セルフモード中
  - PIMロック中
  - 圏外時
  - パケット発信規制中
  - デュアルネットワークサービスでムーバ利用時
  - miniSDリーダライタ機能時
  - 国際ローミング中
  - 外部機器接続中
  - ネットワーク切替中
  - その他機能を起動中
- ソフトウェア更新の予約時刻とアラーム通知の時刻が同じ場合は、ソフトウェア更新が優先されます。

次ページへつづく

■「その他の日時」を選択した場合

P.589の希望日時の選択画面で「その他の日時」を選択すると、サーバと通信を行い、希望日と時間帯を選ぶことができます。

1 希望日を選ぶ

希望日の選択画面には各希望日の予約空き状況が次のように表示されます。
○　：空きあり
△　：空きわずか
無印：空きなし

2 時間帯を選ぶ

時間帯の選択画面には各時間帯の予約空き状況が次のように表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか
×：空きなし

3 希望した日時を確認する

選んだ日時を確認して「YES」を選ぶと、再度サーバと通信します。
これでソフトウェア更新の予約は完了です。

■ 予約を確認する

<例：予約を確認した後、予約を取り消す場合>

1 (Menu)▶ 各種設定 ▶「その他」▶「ソフトウェア更新」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

2 「取消」を選ぶ

予約した日時でよい場合
「OK」を選ぶ
予約した日時を変更する場合
「変更」を選ぶ
「変更」を選んだ場合は、携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号など）をサーバに送信した後、「その他の日時」を選んだときと同じ操作を行ってください。→上記

3 「予約を取消しますか？」と表示されたら「YES」を選ぶ

ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。
当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
「予約を取消しました」と表示されたら「OK」を選びます。これで予約の取り消しは完了です。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA N900iGの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA N900iGのSARの値は0.296W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。なお、本機のSARの値は、ご利用いただけます各国の許容値も満足しております。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/p_s/products
ＮＥＣのホームページ http://www.n-keitai.com/lineup

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則14条の2）で規定されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT 'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.33W/kg, and when worn on the body, is 0.05W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/fccid after search on FCC ID A98-FOMA-N900IG.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

＊ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product“ FOMA N900iG ”is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on www.neceurope.com.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.458W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

＊ The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

＊＊ The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

＊＊＊ Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.
DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference,you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

索　引

英字など

次ページへつづく

索引

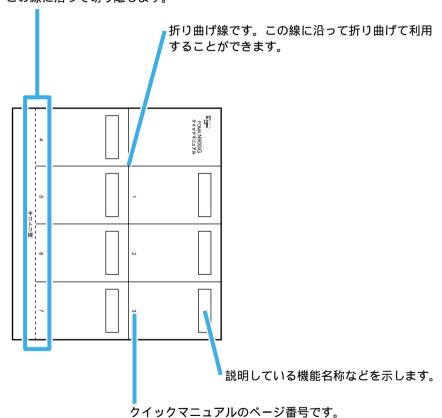
次ページへつづく

索引

次ページへつづく

■クイックマニュアルの使いかた

- クイックマニュアルでは、FOMA端末の基本的な操作や表示について記載しています。
- 本書から切り離し、折り曲げたりして利用できます。
- 切り離すときは、ほかのページを切らないように1ページずつ切り離してください。また、けがなどには十分にご注意ください。

この線に沿って切り離します。

FOMA® N900iG クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳　電話帳を登録する

1 →「電話帳登録」
2 「本体」または「FOMAカード」→姓の入力→姓のフリガナの入力→名の入力→名のフリガナの入力
3 項目を選んでそれぞれ入力
- グループ番号を選ぶ（00〜19）
- 電話番号を登録する（4件まで）
- メールアドレスを登録する（3件まで）
- 郵便番号と住所を登録する
- メモを登録する
- 静止画を登録する
- 動画を登録する
- メモリ番号を登録する（000〜699）※

※設定しない場合には自動的に登録されます。

4 [完了]
FOMAカードへの登録では、名前、フリガナ、グループ、電話番号、メールアドレスのみの登録になります。

着信履歴から登録する場合
→着信履歴を反転表示させ[機能]→「電話帳登録」→手順2へ

リダイヤルから登録する場合
→リダイヤルを反転表示させ[機能]→「電話帳登録」→手順2へ

電話帳　電話帳を検索する

→検索方法を選んで検索

フリガナ検索
フリガナを入力してまたはで検索します。

名前検索
名前を入力してまたはで検索します。

電話番号検索
電話番号を入力してまたはで検索します。

メールアドレス検索
メールアドレスを入力してまたはで検索します。

メモリ番号検索
メモリ番号（3桁）を入力します。
FOMAカードの電話帳は検索できません。

グループ検索
目的のグループを選択してグループ別に検索します。
FOMAカードの電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳とは別のグループになります。

行検索
先頭文字の行（ア〜ワ行、英数記号）に対応するボタンを押して検索します。

電話帳　電話帳を修正・削除する

●**電話帳を修正する**
1 電話帳を検索して呼び出す→[編集]→必要な項目を修正→[完了]
2 本体の場合→「YES」
FOMAカードの場合→「上書き登録」または「追加登録」

●**電話帳を削除する**
電話帳を検索して呼び出す→[機能]→「電話帳削除」→「1件削除」

電話帳　便利な機能

●**電話帳の指定設定をする**
電話帳を検索して呼び出す→[機能]→「電話帳指定設定」→端末暗証番号を入力→設定したい機能を選ぶ
設定した機能に★マークが付きます。

●**FOMA端末を開くだけで電話番号を表示させるようにする**
1 電話帳の詳細画面を呼び出す→[機能]→「オート表示」
2 →→「ディスプレイ」→「オート表示」→「ON」

文字入力　入力方式と入力モード

●**入力モードを切り替える**
[文字]（押すたびに次のように切り替え）
かな方式（モード1）
漢字ひらがな（「漢」）／カナ（「カ」）／英字（「英」）／数字（「数」）
2タッチ方式（モード2）
全角（「全」）／半角（「半」）
T9方式（モード3）
漢字ひらがな（「漢」）／カナ（「カ」）／英字（「英」）／数字（「数」）
※英字／数字モードでは「かな方式」で入力

●**入力方式を切り替える**
[文字]長押
かな方式（表示なし）／2タッチ方式（「2」）／T9方式（「T9」）

文字入力　入力方式と入力モード

●**半角（「半」）／全角（「全」）を切り替える**
かな方式（モード1）
[機能]→「全角切替」または「半角切替」
※漢字ひらがなモード以外
2タッチ方式（モード2）
[文字]
T9方式（モード3）
[機能]→「全角切替」または「半角切替」
※漢字ひらがなモード以外

●**大文字／小文字を切り替える**
- [機能]→「大文字切替」または「小文字切替」
- 切り替えたい文字にカーソルを合わせて

●**挿入モード（「挿」）／上書きモード（「上」）を切り替える**
[機能]→「挿入モード」または「上書きモード」

文字入力　文字を入力する

<例：かな方式で「鈴木」と入力する>
[文字]を押し、「漢字ひらがな入力モード」にする→
3を3回（す）、、3を3回、#（ず）、2を2回（き）
→を押す→またはを押して変換候補「鈴木」を選び、[選択]

<例：2タッチ方式で「鈴木」と入力する>
[文字]を押し、「全角入力モード」にする→
33（す）、3304（ず）、22（き）
→を押す→またはを押して変換候補「鈴木」を選び、[選択]

<例：T9方式（漢字ひらがな入力モード）で「鈴木」と入力する>
[文字]を押し、「漢字ひらがな入力モード」にする→3、3#、2→を押すかニューロポインターで変換候補「すずき」を選び、[選択]→またはを押して変換候補「鈴木」を選び、[選択]

文字入力　文字のコピー／切り取り／貼り付け

●**文字をコピー／切り取りする**
[機能]→「コピー」または「切り取り」→始点にカーソルを合わせて[始点]→終点にカーソルを合わせて[終点]

●**文字を貼り付ける**
文字を貼り付けたい位置にカーソルを合わせる→[機能]→「貼り付け」

文字入力　記号／絵文字／顔文字の入力

●**記号・絵文字を入力する**
- [機能]→「記号入力」または「絵文字入力」→記号／絵文字を選ぶ
- [機能]→「絵文字記号連続入力」→[絵記]（候補画面の切り替え）→候補から記号／絵文字を選ぶ

●**記号・顔文字を文字変換で入力する**
- 「漢字ひらがな入力モード」で記号を入力する
「きごう」、または「かっこ」、「さんかく」などの記号名を入力→変換する
- 「漢字ひらがな入力モード」で顔文字を入力する
「かお」、「かおもじ」、または「ありがとう」、「さよなら」などの顔文字の意味を入力→変換する

キリトリ線

カメラ　撮影時の機能

静止画撮影画面

動画撮影画面

A ●ズーム機能
→●[確定]

●ライトの点灯／消灯
・[点灯／消灯]
・[ホーム]

●明るさの調節
[機能]→「明るさ調節」→

B ●撮影サイズの切り替え
[機能]→「画像サイズ設定」→撮影サイズを選ぶ
※撮影モードによって選択できるサイズは異なります。

●カメラの切り替え
[機能]→「内側カメラ／外側カメラ」を選ぶ

●空き容量の確認
[機能]→「保存容量確認」を選ぶ

●セルフタイマー撮影
[機能]→「セルフタイマー設定」→「ON」→作動時間（01～15秒）を設定する→撮影する

●ホワイトバランス調整（光源にあった色合いに調節）
[機能]→「ホワイトバランス設定」→最適な設定を選ぶ

カメラ　写真（静止画）を撮影する

1 →「カメラ」→「フォトモード」または「メガピクセルフォト」→被写体を表示させ、●[撮影]または[メモ／確認]
フォトモード　：撮影サイズ640×480ドットまで
メガピクセルフォト：撮影サイズ1280×960ドット

2 （自動保存設定を「OFF」にしていた場合）●[保存]→「YES」→「本体」または「miniSD」→（本体の場合）フォルダを選ぶ

撮影をやり直したい場合
手順2で[取消]または→「YES」
撮影直後に撮影処理中のメッセージが表示されたときは、FOMA端末を動かさないようにしてください。

カメラ　動画を撮影する

1 →「カメラ」→「ムービーモード」または「長時間ムービー」→被写体を表示させ、●[撮影]または[メモ／確認]→●[終了]または[メモ／確認]

2 （自動保存設定を「OFF」にしていた場合）●[保存]→「YES」→必要であればタイトルを編集して●[確定]→「本体」または「miniSD」→（本体の場合）フォルダを選ぶ

保存前に動画を確認したい場合
手順2で[再生]

撮影をやり直したい場合
手順2で[機能]→「取り消し」→「YES」
※長時間ムービーモードでは自動的にminiSDメモリーカードへ保存します。

カメラ　撮影した写真や動画を見る

→「イメージ」（写真）または「iモーション」（動画）→フォルダを選ぶ→写真／動画を選ぶ

●写真表示中の操作
前後の写真を表示
表示の終了

画面表示サイズを変更する場合
[機能]→「画像表示設定」→表示サイズを選ぶ

●動画再生中の操作
● 再生の一時停止と再開
前後の動画の再生
スキップ送り
再生の終了
／ 音量調節
消音（ミュート）
スキップ戻し
早送り再生

スロー再生／早送り再生をする場合
●[停止]（再生を一時停止）→[機能]→「スロー再生」または「早送り再生」

テレビ電話　テレビ電話をかける

相手の市外局番からダイヤルし、→お話しが終わったら

一般電話：市外局番－市内局番－電話番号
携帯電話：090－XXXX－XXXXまたは080－XXXX－XXXX

●通話中の操作
ハンズフリーへの切り替えと解除
● カメラの切り替え（内側カメラ／外側カメラ）
自分のカメラ映像の拡大／縮小
通話中保留
保留中からカメラ映像で電話に出る場合
保留中から代替画像で電話に出る場合

テレビ電話　テレビ電話を受ける

テレビ電話がかかってきたら→お話しが終わったら

代替画像で出る場合
または●[通話]

着信を転送したい場合
[機能]→「転送でんわ」
※「転送でんわサービス」のご契約が必要です。（無料）

着信を拒否したい場合
[機能]→「着信拒否」

スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押して電話に出た場合や、オート着信を設定している場合は、代替画像で受けることになります。（電話に出た後で切り替え可能）

●通話中の操作
カメラ映像／代替画像の切り替え
こちらから相手に送るカメラ映像の拡大／縮小

●着信中の操作
応答保留
保留中からカメラ映像で電話に出る場合
保留中から代替画像で電話に出る場合
または●[通話]

テレビ電話　通話中の機能

親画面　子画面

●親画面／子画面の切り替え
[機能]→「親画面自局表示」または「親画面対局表示」

●明るさの調節
[機能]→「TV電話設定」→「明るさ調節」→

●ホワイトバランス調整（光源にあった色合いに調節）
[機能]→「TV電話設定」→「ホワイトバランス設定」→設定したい項目を選ぶ

メール　メールを送信する

1 [MAIL]→「iモードメール作成」→[機能]→「宛先参照入力」→「電話帳」→電話帳を検索して宛先のメールアドレスを選ぶ

宛先を追加する場合
[機能]→「宛先追加」

To 宛先は合計5件まで追加できます。
@docomo.ne.jpは省略可能です。

2 **題名と本文を入力する**
Subject 題名を入力して●[確定]
本文を入力して●[確定]

3 **送信プレビュー画面を確認して[送信]**

●テンプレートを利用してデコメールを送る
手順1のあと、[機能]→「テンプレート」⇒テンプレートを選んで手順2（本文の編集）へ

●本文を装飾する（デコメール）
本文入力中に[機能]→「デコレーション」⇒装飾方法を選ぶ⇒装飾したい文字を入力

装飾方法に「点滅」、「テロップ」、「スウィング」を選んだ場合
装飾したい文字を入力後、[機能]→「デコレーション」⇒先に選んだ装飾方法を再度選ぶ→[終了]

メール　メールを受信する

●メールが届いているか確認する
・[MAIL]→「iモード問い合わせ」
・[MAIL]

●受信したiモードメールを見る
[MAIL]→「受信BOX」→フォルダを選ぶ→表示したいメールを選ぶ

前後のメールを表示したい場合
受信メール詳細画面で

●受信メールを転送する
受信メール詳細画面で[機能]→「転送」→宛先を編集して送信する
※とくに編集しない場合、題名は「Fw:（受信メールの題名）」の形式になります。

●受信メールに返信する
受信メール詳細画面で[返信]→（受信メールに複数の宛先がある場合）「送信元へ」または「すべてへ」→題名／本文を編集して送信する
※とくに編集しない場合、題名は「Re:（受信メールの題名）」の形式になります。

キリトリ線

メニュー　メニュー一覧

大項目	中項目	小項目
メール	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	iモードメール作成	
	SMS作成	
	iモード問い合わせ	
	メール選択受信	
	SMS問い合わせ	
	メール設定	
iモード	iMenu	
	Bookmark	
	画面メモ	
	ラストURL	
	Internet	
	メッセージ	
	iモード問い合わせ	
	iモード設定	
iアプリ	ソフト一覧	
	自動起動設定	
	iアプリ実行情報	

大項目	中項目	小項目
各種設定	着信	着信音量(5 0)
		着信音選択(1 3)

16

メニュー　メニュー一覧

大項目	中項目	小項目
各種設定	着信	SRS_WOW設定
		バイブレータ(5 4)
		着信イルミネーション(8 9)
		マナーモード選択(2 0)
		電話帳画像着信設定
		着信アンサー設定(5 8)
		クローズ動作設定(1 8)
		iモード中着信設定(6 9)
		パケット通信中着信設定
		メール／メッセージ鳴動(6 8)
		呼出時間表示設定(9 0)
		確認機能設定(6 5)
	通話	ノイズキャンセラ(7 6)
		通話品質アラーム(7 5)
		再接続機能(7 7)
		通話中イルミネーション
		保留音選択
	TV電話	画像品質設定
		発信時自画像送信
		画像選択
		音声自動再発信設定

17

メニュー　メニュー一覧

大項目	中項目	小項目
各種設定	TV電話	遠隔監視設定
		TV電話画面設定
	ディスプレイ	画面表示設定(5 6)
		照明設定(7 0)
		配色パターン(8 6)
		イメージウィンドウ(9 3)
		フォント設定(6 6)
		デスクトップ(6 3)
		Language(1 5)
		オリジナルメニュー登録(5 2)
		メニュー画面設定(5 7)
		ピクチャ表示設定
		オート表示(4 7)
		表示アイコン説明(3 6)
	時間	通話時間(6 1)
		積算リセット(6 0)
		通話中時間表示(4 8)
	時計	ローカル時計設定(3 1)
		時計表示設定(3 9)
		リモート時計設定
		アラーム通知設定

18

メニュー　メニュー一覧

大項目	中項目	小項目
各種設定	ロック/セキュリティ	オールロック
		PIMロック
		セルフモード
		ダイヤル発信制限
		登録外着信拒否
		FDN設定(本FOMA端末ではご利用になれません。)
		非通知着信設定(1 0)
		端末暗証番号変更(2 9)
		PIN設定
		シークレットモード(4 0)
		シークレット専用モード(4 1)
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定
		i モード問い合わせ設定
		接続先選択(8 1)
		SMS center設定
		証明書
	iアプリ設定	ソフト情報表示設定
		α照明設定
		αバイブレータ
		αイメージウィンドウ
		待受画面終了

19

メニュー　メニュー一覧

大項目	中項目	小項目
各種設定	外部オプション	イヤホン切替(5 1)
		オート着信(9 4)
	ネットワーク設定	プレフィックス設定
		国際ダイヤル設定
		ネットワーク接続モード選択
		優先ネットワーク設定
		ネットワーク名表示設定
		ネットワーク切替
	その他	ボタン確認音(3 0)
		充電確認音
		電池残量(7 1)
		サイドボタン操作(＊ 長押)
		文字入力方式(3 5)
		履歴表示設定
		ポーズダイヤル(8 4)
		サブアドレス設定
		ニューロポインター設定
		USBモード設定
		設定リセット(2 3)
		端末初期化
		ソフトウェア更新

20

メニュー　メニュー一覧

大項目	中項目	小項目
マルチメディア	イメージ(4 6)	
	iモーション	
	メロディ(1 6)	
	キャラ電	
アクセサリ	カメラ	
	スケジュール(4 5)	
	めざまし時計(4 4)	
	ToDo(9 5)	
	テキストメモ(4 2)	
	電卓(8 5)	
	メモの再生／消去()	
	伝言メモ(5 5)	
	待受中音声メモ(4 3)	
	通話中音声メモ(長押)(通話中のみ表示)	
	おしゃべり機能(9 1)	
	赤外線通信(7 9)	
	FOMAカード操作	
	電話帳画像転送	
	バーコードリーダー	
	SD-PIM	
	辞典	

21

メニュー　メニュー一覧

大項目	中項目	小項目
サービス	サービス問い合わせ(2 5)	
	発信者番号通知(1 7)	
	留守番電話	
	キャッチホン	
	転送でんわ	
	迷惑電話ストップ	
	番号通知お願いサービス	
	着信動作選択	
	通話中着信設定	
	遠隔操作設定	
	デュアルネットワーク	
	英語ガイダンス	
	海外用サービス	
	ローミング設定	
	追加サービス	
	サービスダイヤル	
	規制(本FOMA端末ではご利用になれません。)	
電話帳	電話帳登録	
	電話帳検索	
	電話帳登録件数(2 2)	
	電話帳便利機能(6 2)	

22

メニュー　メニュー一覧

大項目	中項目	小項目
電話帳	電話帳指定設定(1 2)	
	グループ設定(2 6)	
ユーザデータ	電話番号表示(0)	
	着信履歴(2 4)	
	発信履歴	
	メールメンバー(9 7)	
	定型文(3 8)	
	ユーザ辞書(8 2)	
	ダウンロード辞書	

メニュー　その他の機能

- ●マナーモード　＃ 長押(押すたびに設定／解除します)
- ●ドライブモード　＊ 長押(押すたびに設定／解除します)
- ●サイドボタン操作無効　＊ 長押(押すたびに設定／解除します)
- ●iモード問い合わせ　MAIL 長押
- ●受話音量　待受中：長押　通話中：または

23

キリトリ線

ネットワークサービス

●留守番電話サービス
別途お申し込みが必要なサービスです。(有料)
1 →「留守番電話」
2 メニューから行いたい操作を選ぶ
伝言メッセージがあるかどうか確認する場合
→「サービス問い合わせ」

●キャッチホン
別途お申し込みが必要なサービスです。(有料)
1 →「キャッチホン」
2 メニューから行いたい操作を選ぶ
●キャッチホンを使用する
1 通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出ます
通話中に「ププ・・・ププ・・・」という音が聞こえる→または[通話]
2 通話を切り替えます
後からかかってきた電話を切る場合
→または[通話]で元の相手との通話に戻る
後からかかってきた電話を保留にする場合
(押すたびに通話相手を切り替え)
切り替えた相手との通話中にを押すとその通話が終了します。またはで[通話]でもう一方との通話に復帰します。

24

ネットワークサービス

●転送でんわサービス
別途お申し込みが必要なサービスです。(無料)
1 →「転送でんわ」
2 メニューから行いたい操作を選ぶ

●迷惑電話ストップサービス
別途お申し込みが必要なサービスです。(有料)
1 →「迷惑電話ストップ」
2 メニューから行いたい操作を選ぶ
「迷惑電話着信拒否登録」で最後に着信した迷惑電話を着信拒否する番号として登録します。
電話番号を指定して拒否登録する場合
→音声ガイダンスの指示に従う

●番号通知お願いサービス
お申し込みなしでご使用いただけるサービスです。(無料)
「番号通知お願いサービス」を設定すると、番号非通知でかかってきた電話に対して、ガイダンスで番号を通知するようにお願いし、着信しません。
1 →「番号通知お願いサービス」
2 メニューから行いたい操作を選ぶ

25

ネットワークサービス

●発信者番号通知サービス
お申し込みなしでご使用いただけるサービスです。(無料)
1 →「発信者番号通知」
2 メニューから行いたい操作を選ぶ

●デュアルネットワークサービス
別途お申し込みが必要なサービスです。(有料)
FOMA端末と従来のムーバとを同じ電話番号で切り替えて使用できるサービスです。
1 →「デュアルネットワーク」
2 メニューから行いたい操作を選ぶ

26

FOMA端末からご利用可能なサービス

コレクトコール(料金着信払通話)	(局番なし)106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料)	(局番なし)104
※電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません。	
電報の発信(有料) ※午前8時〜午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番-177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171

* おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

WORLD CALL(ドコモの国際電話サービス)

009130−010−国番号−市外局番−相手先電話番号の順にダイヤルして
市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
※FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

27

アイコン表示 お知らせ表示

電池残量表示
未読メールあり
電波の受信レベル表示
サービスエリア外、または電波が届かない場所では「圏外」が表示されます。
miniSDメモリーカード挿入時に表示
利用中のネットワーク

以下の操作でそれぞれの機能を呼び出すことができます。
→アイコンを選択して[選択]

デスクトップアイコン	デスクトップアイコンとして登録したデータや機能を呼び出します。
新着メールあり	受信メール一覧を表示します。
不在着信あり	不在着信履歴を表示します。
伝言メモあり	「メモの再生/消去」画面を表示します。
留守番電話あり	「留守番電話」画面を表示します。
未通知アラームあり	アラームの情報画面を表示します。
未起動ソフトあり	自動起動情報画面を表示します。
セキュリティエラーあり	セキュリティエラー履歴を表示します。
ソフトウェア更新終了画面	更新結果の内容を表示します。

28

アイコン表示 設定中の表示

オールロック中
シークレットモード/シークレット専用モード中
PIMロック中
ダイヤル発信制限中
ダイヤル発信制限+シークレットモード/シークレット専用モード
ダイヤル発信制限+PIMロック

バイブレータ設定中
着信音量を「消去」に設定中
マナーモード設定中
ドライブモード設定中
アラーム通知機能設定中
伝言メモ設定中
バックライトを「OFF」に設定中
サイドボタン操作無効設定中

●アイコンの意味を確認する
→アイコンを選ぶ

29

アイコン表示 イメージウィンドウ

●お知らせ表示
電池残量表示
未読メールあり
電波の受信レベル表示
サービスエリア外、または電波が届かない場所では「圏外」が表示されます。
miniSDメモリーカード挿入時に表示
利用中のネットワーク

●設定中の表示
マナーモード設定中
ドライブモード設定中
シークレットモード、シークレット専用モード、PIMロック、ダイヤル発信制限のいずれか、または同時に設定中
サイドボタン操作無効設定中

30

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
■ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)151 (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先
■ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)113 (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

31

キリトリ線

NTT DoCoMo

FOMA® N900iG クイックマニュアル(海外利用)

海外での紛失、盗難、利用累積額精算などについて

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉(24時間受付)

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表1) **-800-0120-0151**

※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表2) **-81-3-5366-3114**※

※日本向け通話料がかかります。

※900iGから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表1)/主要国の国際電話アクセス番号(表2)は、P.15をご覧ください。

海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉(24時間受付)

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表1) **-800-5931-8600**

※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表2) **-81-3-6718-1414**※

※日本向け通話料がかかります。

※表1、表2の番号形態は変更になる場合があります。

※900iGから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表1)/主要国の国際電話アクセス番号(表2)は、P.15をご覧ください。

海外利用 画面の表示

●ディスプレイ

ネットワーク種別
3G:3Gネットワークに接続中
GPRS:GPRSネットワークに接続中
GSM:GSMネットワークに接続中

滞在先の都市名と時刻

接続中の通信事業者名

●イメージウィンドウ

ネットワーク種別
3G:3Gネットワークに接続中
GPRS:GPRSネットワークに接続中
GSM:GSMネットワークに接続中

滞在先の都市の時刻

日本国内から海外に移動した後にはじめて利用するときは、FOMA端末の電源を入れ直してください。

海外利用 時刻の設定

●リモート時計の都市名と時刻を設定する

1 →「時計」→「リモート時計設定」→「タイムゾーン」→都市名を選ぶ

●リモート時計の都市名と時刻をディスプレイに表示する

1 →「時計」→「時計表示設定」→「表示時計種別」→「ローカル&リモート」

●リモート時計の都市名の時刻をイメージウィンドウに表示する

1 →「ディスプレイ」→「イメージウィンドウ」→「ON」→「待受画面表示」→「ローカル&リモート時計」→「ON」または「OFF」

●サマータイムを設定する

1 →「時計」→「リモート時計設定」→「サマータイム」→「ON」

海外利用 ネットワークによる通信サービスの違い

ご利用中の通信事業者や地域によっては、下の表で「○」となっている通信サービスであっても、利用できない場合があります。

	音声電話をかける/受ける	テレビ電話をかける/受ける	iモードの利用	メッセージリクエスト/フリーの受信	iモードメールの送受信	パソコンなどと接続して行うパケット通信	SMS送受信
3G	○	○	○	○※2	○	○	○
GPRS	○	×※1	○	○※2	○	○	○
GSM	○	×※1	×	×	×	×	○

○ :利用できます。

× :利用できません。

※1 :テレビ電話の着信があっても、着信動作は行いません。発信時は、「音声自動再発信設定」が「ON」に設定されている場合は、音声電話で自動的にかけ直します。

※2 :メッセージフリーは受信できません。

海外利用 電話帳を利用した電話のかけかた

相手がFOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合、の代わりにを押すと、テレビ電話として発信されます。

●**電話帳に日本国内の電話番号をそのまま登録している場合**

電話帳から相手の番号を呼び出す→※1→「発信」

●**電話帳に日本国内の電話番号に「+」と「国番号」を付けて登録している場合**※2

電話帳から相手の番号を呼び出す→

●**電話帳に海外の電話番号をそのまま登録している場合**※3**で、滞在国内の電話番号へかけるとき**

電話帳から相手の番号を呼び出す→→「元の番号で発信」

●**電話帳に海外の電話番号をそのまま登録している場合**※3**で、滞在国外の電話番号へかける場合**

電話帳から相手の番号を呼び出す→[機能]→「国際電話発信」→国名を選ぶ→を押す

●**電話帳に海外の電話番号に「+」と「国番号」を付けて登録している場合**※2

電話帳から相手の番号を呼び出す→

※1 :「国際ダイヤル設定」の「自動付加設定」を「自動付加」に設定している必要があります。

※2 :電話番号の市外局番が「0」ではじまる場合は、「0」を除いて登録します。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。また、日本の携帯電話、PHSの場合も先頭の「0」を除いて登録します。

※3 :イタリアなど一部の国・地域では市外局番の先頭の「0」が必要な場合があります。この場合は、番号をそのまま登録せず、先頭に「+」と「国番号」を付けて登録してください。

海外利用 日本に電話をかける

電話をかける相手が電話帳に登録されていない場合は、「滞在国以外(日本を含む)に電話をかける」の操作を行ってください。

1 **電話帳の詳細画面を表示する**

2 **または[発信]**

先頭の「0」が、「+」と日本の国番号「81」に置き換わり国際電話をかけるかどうか確認する画面が表示されます。

テレビ電話をかける場合

3 **「発信」を選ぶ**

電話がかかります。

海外利用 滞在国内に電話をかける

相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、同じ滞在国内にいても、「日本に電話をかける」または「滞在国以外(日本を含む)に電話をかける」の操作で日本への国際電話として電話をかけてください。

1 **相手先の番号をダイヤルする**

2 **または[発信]**

電話がかかります。

テレビ電話をかける場合

海外利用 滞在国以外(日本を含む)に電話をかける

●**「国際ダイヤル設定」に登録されている国に電話をかける**

1 **相手先の番号をダイヤルする**

2 **[機能]→「国際電話発信」→国名を選ぶ**

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国名として「日本」を選びます。

3 **または[発信]**

電話がかかります。

テレビ電話をかける場合

●**イタリアなど一部の国・地域や「国際ダイヤル設定」に未登録の国へ電話をかける**

イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは市外局番の先頭の「0」が必要な場合があります。

1 **待受画面表示中に、「+」(を1秒以上押す)ー国番号ー市外局番ー相手先電話番号の順にダイヤルする**

市外局番が「0」ではじまる場合は「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」(日本)をダイヤルしてください。

2 **または[発信]**

電話がかかります。

テレビ電話をかける場合

海外利用 簡単な操作で電話をかけられるようにする

●**国際電話発信時に「+」と「81」を自動的に追加するように設定する**

1 **→「ネットワーク設定」→「国際ダイヤル設定」→「自動付加設定」→「自動付加」**

自動付加しない場合

「付加なし」

2 **「日本」を選ぶ**

●**国番号を登録する**

1 **→「ネットワーク設定」→「国際ダイヤル設定」→「国番号設定」**

2 **<未登録>→[編集]**

登録されている項目を変更する場合

登録されている項目を選ぶ→[編集]

3 **国名称を入力する**

4 **国番号を入力する**

キリトリ線

海外利用　電話を受ける

●電話の受けかた

1　電話がかかってきたら、 または◉［通話］

テレビ電話の場合

カメラ画像で出るときは、

代替画像で出るときは、 または◉［通話］

●相手からの電話のかけかた

日本から電話をかけてもらう場合

090-XXXX-XXXX
または
080-XXXX-XXXX

日本以外から電話をかけてもらう場合

国際アクセス番号※－81（日本の国番号）－90-XXXX-XXXX
または
80-XXXX-XXXX
（ご自分の電話番号から
先頭の「0」を除いた電話番号）

※携帯電話からかけてもらう場合、携帯電話によっては、国際アクセス番号の代わりに「+」をダイヤルする場合もあります。

海外利用　ネットワークの接続切り替え方法を設定する

お買い上げ時の設定：自動

1　→ →「ネットワーク設定」→「ネットワーク切替」

2　設定したい項目を選ぶ

自動：海外では3Gネットワーク、GSM／GPRSネットワークを自動で切り替える。日本国内ではFOMAネットワークに接続する。

3G：海外では3Gネットワークに接続する。日本国内ではFOMAネットワークに接続する。

GSM：GSM／GPRSネットワークのみを利用

海外利用　通信事業者の検索方法を設定する

お買い上げ時の設定：オート

●接続する通信事業者を手動で切り替える

1　→ →「ネットワーク設定」→「ネットワーク接続モード選択」

2　「マニュアル」

3　接続したい通信事業者を選ぶ

●接続先のネットワークを再検索する

1　→ →「ネットワーク設定」→「ネットワーク接続モード選択」→「ネットワーク再検索」

「オート」に設定されている場合

自動的に接続先が切り替わる

「マニュアル」に設定されている場合

接続したい通信事業者を選ぶ

海外利用　優先的に接続する通信事業者を設定する

●優先ネットワークリストに通信事業者を追加する

1　→ →「ネットワーク設定」→「優先ネットワーク設定」

登録されている通信事業者の一覧から選ぶ場合

［機能］→「リストから登録」→追加したい通信事業者名を選ぶ→◉［確定］→ネットワーク種別を設定する→［完了］

登録されていない通信事業者を登録する場合

［機能］→「マニュアル登録」→項目を設定→◉［確定］→ネットワーク種別を設定する→［完了］

●現在接続中の通信事業者を優先ネットワークリストに登録する

1　→ →「ネットワーク設定」→「優先ネットワーク設定」→［機能］→「在圏ネットワーク登録」→［完了］

●優先ネットワークリストの優先順位を設定する

1　→ →「ネットワーク設定」→「優先ネットワーク設定」→通信事業者を選ぶ→［機能］→「優先順位変更」→優先順位を選ぶ→［完了］

海外利用　通信事業者名の表示を設定する

お買い上げ時の設定：表示あり

1　→ →「ネットワーク設定」→「ネットワーク名表示設定」→設定したい項目を選ぶ

表示あり：待受画面に通信事業者名を表示する

表示なし：待受画面に通信事業者名を表示しない

海外利用　ローミング中の動作を設定する

●ローミングガイダンスを開始する

1　→ →「ローミング設定」→「ローミングガイダンス設定」

2　「ローミングガイダンス開始」

ローミングガイダンスを停止する場合

「ローミングガイダンス停止」

●ローミング中は着信を受け付けないように設定する

1　→ →「ローミング設定」→「ローミング時着信規制」

2　「ローミング時着信規制開始」

ローミング時着信規制を停止する場合

「ローミング時着信規制停止」

3　設定したい項目を選ぶ

全着信規制：すべての着信を規制する

データ呼着信規制：テレビ電話の着信のみを規制する

4　ネットワーク暗証番号を入力する

海外利用　ネットワークサービスを利用する

●留守番電話サービスを操作する

1　→ →「海外用サービス」→「留守番電話（海外）」

2　実行したい操作を選ぶ→「YES」を選ぶ→音声ガイダンスに従い設定する

留守番サービス開始　：留守番サービスを開始する

留守番サービス停止　：留守番サービスを停止する

留守番メッセージ再生：伝言メッセージを再生する

留守番サービス設定　：不在案内機能や応答メッセージの変更などを行う

●転送でんわサービスを操作する

1　→ →「海外用サービス」→「転送でんわ（海外）」

2　実行したい操作を選ぶ→「YES」→音声ガイダンスに従い設定する

転送サービス開始：転送でんわサービスを開始する

転送サービス停止：転送でんわサービスを停止する

●ローミングガイダンスを操作する

1　→ →「海外用サービス」→「ローミングガイダンス（海外）」→「YES」→音声ガイダンスに従い設定する

海外利用　応答方法の設定

●iモード中に電話がかかってきたときの応答方法を設定する

お買い上げ時の設定：通常着信

1　→ →「着信」→「iモード中着信設定」→設定したい項目を選ぶ

通常着信：電話を受ける

着信拒否：着信を受けずに不在着信とする

●パケット通信中に電話がかかってきたときの応答方法を設定する

お買い上げ時の設定：通常着信

1　→ →「着信」→「パケット通信中着信設定」→設定したい項目を選ぶ

通常着信：電話を受ける

着信拒否：着信を受けずに不在着信とする

海外利用　便利な機能

●伝言メモの応答メッセージを英語に設定する

お買い上げ時の設定：標準

1　→ →「伝言メモ」→「ON」→「英語」

2　呼出時間を入力する

●英語辞典を利用する

1　→ →「辞典」

2　「直接入力」→ 検索したい語句を入力する

3　「英和辞典」または「和英辞典」を選ぶ

4　検索結果の一覧から単語を選ぶ

海外利用　帰国後の設定について

●FOMAネットワークに接続できるように設定する

1　→ →「ネットワーク設定」→「ネットワーク切替」

2　「自動」または「3G」を選ぶ

海外利用　主要国の国番号

2004年10月現在

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	カナダ	1
イギリス	44	韓国	82
イタリア	39	ギリシャ	30
インドネシア	62	シンガポール	65
オーストラリア	61	スイス	41

※この他の国の番号および詳細については、WORLD WINGのホームページを確認してください。

海外利用　主要国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	011	韓国	001
イギリス	00	シンガポール	001
イタリア	00	スイス	00
オーストラリア	0011	タイ	001
カナダ	011	台湾	00

※この他の国の番号および詳細については、WORLD WINGのホームページを確認してください。

海外利用　主要国の国際電話アクセス番号（表2）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	011	カナダ	011
イギリス	00	韓国	001
イタリア	00	ギリシャ	00
インドネシア	001	シンガポール	001
オーストラリア	00/900/90	スイス	00

※この他の国の番号および詳細については、WORLD WINGのホームページを確認してください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・航空機内　・病院内
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合
運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。
※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーを守りましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード／オリジナルマナーモード】
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。また、オリジナルマナーモードでは伝言メモ機能やバイブレータ、着信音など、機能ごとに設定を変更できます。ただし、マナーモード／オリジナルマナーモードのどちらでも、カメラのシャッター音を消すことはできません。

【ドライブモード】
電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。

【バイブレータ】
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

【伝言メモ機能】
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。
そのほかにも、留守番電話サービス（P.446）、転送でんわサービス（P.450）などのオプションサービスが利用できます。

「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」はドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

●iモードはこちら　iMenu ▶ □料金&お申込 ▶ ■ドコモeサイト　**パケット通信料無料**

●パソコンなどはこちら　http://www.nttdocomo.co.jp/ ▶ オンライン手続き/照会サービス ▶ ドコモeサイト
またはhttp://www.esite.nttdocomo.co.jp/

※iモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし一部パケット通信料がかかる場合があります。
※パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。
※一部ご利用できない料金プランがあります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、利用累積額精算などについて

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉(24時間受付)

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表1) **-800-0120-0151**

※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表2) **-81-3-5366-3114**※

※日本向け通話料がかかります。

※900iGから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表1)／主要国の国際電話アクセス番号(表2)は、取扱説明書P.533をご覧ください。

海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉(24時間受付)

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表1) **-800-5931-8600**

※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表2) **-81-3-6718-1414**※

※日本向け通話料がかかります。
※表1、表2の番号形態は変更になる場合があります。

※900iGから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表1)／主要国の国際電話アクセス番号(表2)は、取扱説明書P.533をご覧ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道	株式会社NTTドコモ東北	株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海	株式会社NTTドコモ北陸	株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国	株式会社NTTドコモ四国	株式会社NTTドコモ九州

製造元 日本電気株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

'05.1 (2版)
MDS-000055-JAA0